

京都市

子育て支援に関する市民ニーズ調査

【結果報告書】

平成21年6月

京 都 市

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的.....	2
2 調査概要.....	2
3 報告書の見方.....	2
II 調査結果のまとめ	3
1 子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり.....	4
2 次世代をはぐくむすべての家庭を支援し支え合えるまちづくり.....	7
3 子どもを安心して生み健やかに育てることのできるまちづくり.....	13
4 次代を担う子どもたちが心豊かに生きる力をはぐくむことができるまちづくり.....	17
III 調査結果 (就学前児童調査)	21
1 こどもと家族の状況について.....	22
2 保護者の就労状況について.....	32
3 子育て支援施策・サービスの利用について.....	37
4 土曜日や日曜日・祝日における子育て支援施策・サービスの利用希望について.....	60
5 小学校入学以降の学童クラブ事業利用の希望について.....	63
6 病気・病後時の対応について.....	65
7 宿泊を伴わない一時預かりについて.....	69
8 宿泊を伴う一時預かりについて.....	76
9 ベビーシッターの利用について.....	78
10 ファミリーサポート事業の利用について.....	79
11 地域の子育て支援活動の利用について.....	83
12 子育て支援施策・サービスの認知度、利用度について.....	87
13 子育てと仕事(育児休業制度の利用など)について.....	89
14 子育て環境などについて.....	102
IV 調査結果 (小学生児童調査)	151
1 こどもと家族の状況について.....	152
2 保護者の就労状況について.....	161
3 学童クラブ事業の利用について.....	165
4 病気・病後時の対応について.....	185
5 宿泊を伴わない一時預かりについて.....	188
6 宿泊を伴う一時預かりについて.....	195
7 ベビーシッターの利用について.....	197
8 ファミリーサポート事業の利用について.....	199

9	トワイライトステイの利用について	202
10	子育て支援施策・サービスの認知度、利用度について	204
11	子育てと仕事（育児休業制度の利用など）について	206
12	子育て環境などについて	215
V	資料編	261

I 調査の概要

1 調査の目的

京都市では、平成17年1月に策定した子育て支援施策の総合計画である新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」※1（以下「現行プラン」といいます。）に基づき、市民・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくりを進めてきましたが、現行プランの計画期間が平成21年度までとなっていることから、これを見直し、平成22年度から平成26年度までの5年間を計画期間とする新たな計画※2を策定することとしています。

本調査は、この新たな計画の策定に際し、子育て支援施策の展開の方向性を検討する基礎資料として活用する目的で実施しました。

※1 次世代育成支援対策推進法に規定される市町村行動計画の前期計画（計画期間：平成17～21年度）に位置付けるものです。

※2 次世代育成支援対策推進法に規定される市町村行動計画の後期計画（計画期間：平成22～26年度）に位置付けるものです。

2 調査概要

- ・ 調査地域 : 京都市全域
- ・ 調査対象者 : 京都市内在住の就学前児童の保護者（就学前児童調査）
京都市内在住の小学生児童の保護者（小学生児童調査）
- ・ 調査期間 : 平成20年12月12日から12月26日まで
- ・ 調査方法 : 郵送配布・郵送回収（無記名回答）

	調査票配布数	有効サンプル数	回収率
子育て支援に関する市民ニーズ調査 （就学前児童調査）	6,100	2,742	45.0%
子育て支援に関する市民ニーズ調査 （小学生児童調査）	4,200	1,747	41.6%
合計	10,300	4,489	43.6%

3 報告書の見方

●回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。

●複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

●図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

II 調査結果のまとめ

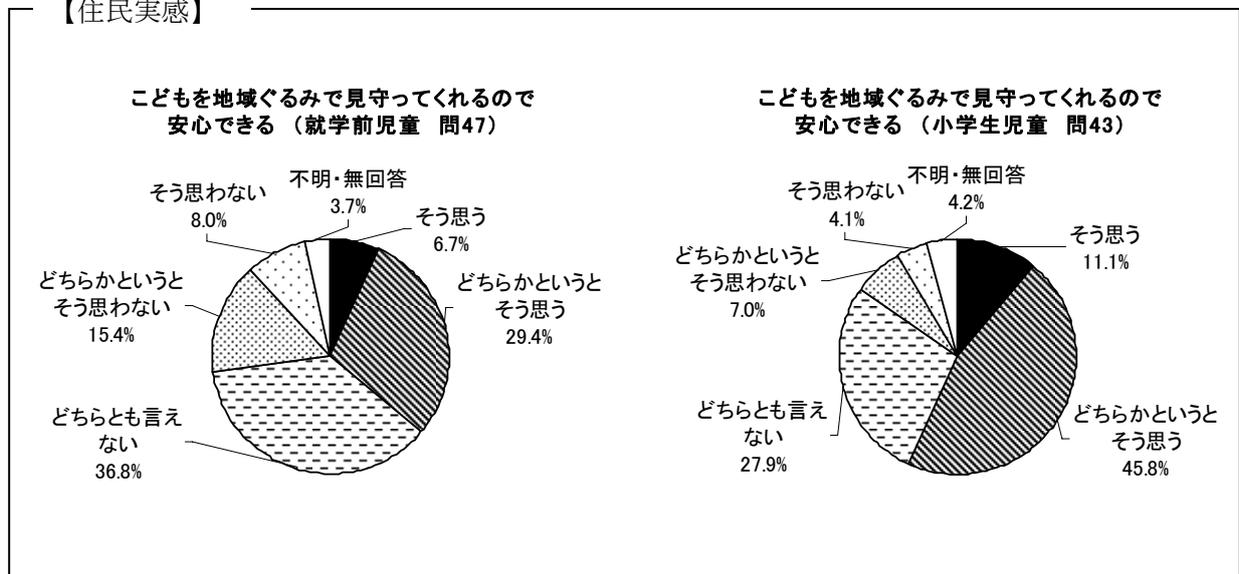
1 子どものいのちと人権が大切にされるまちづくり

(1) 市民・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり

【調査結果からみる現状】

アンケート調査から、子育てをするうえで、ご近所・地域の人々にどのようなことを期待するか（就学前 問 39）については、「特にない」が 3.2%、そして「こどもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配りあうこと」が 78.9%、「こどもの危険な行為やいたずらを注意しあえること」が 67.6%となっていることから、多くの回答者が子育てをするうえで地域のかかわりを期待しており、特にこどもの安全面や健全育成といった見守り支援への期待が高くなっていることがうかがえます。住民実感（就学前 問 47、小学生 問 43）の「こどもを地域ぐるみで見守ってくれるので安心できる」をみると、「小学生児童調査」では『プラス評価（「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計、以下同様）』が 56.9%となっており、こどもの見守りについては、地域を中心とした見守り体制が構築されている現状がうかがえます。しかし、「就学前児童調査」では『プラス評価』が 36.1%と「小学生児童」と比較し 20 ポイントの差が生じており、地域の見守り体制が就学前児童には浸透していないことがうかがえます。

【住民実感】



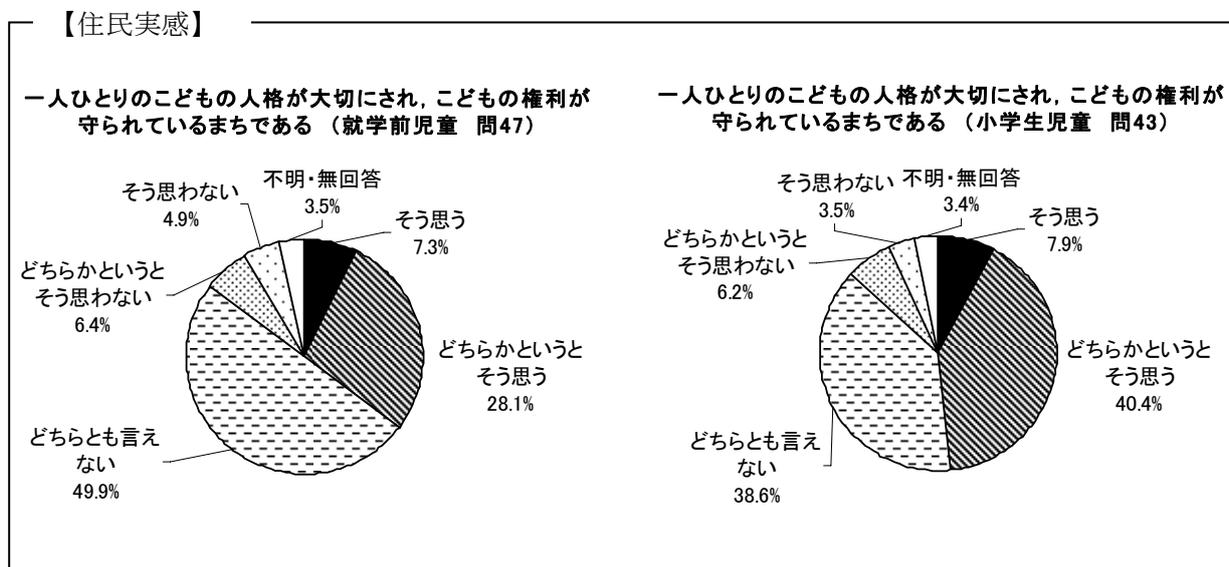
※就学前児童）問 39, 47 小学生児童）問 43 結果から引用

(2) 子どものいのちと人権を守るネットワーク，虐待防止

【調査結果からみる現状】

住民実感（就学前 問 47，小学生 問 43）の「一人ひとりのこどもの人格が大切にされ，こどもの権利が守られているまちである」をみると，「就学前児童調査」「小学生児童調査」ともに『プラス評価』が『マイナス評価（「どちらかというと思わない」と「そう思わない」の合計，以下同様）』を上回っているものの，『プラス評価』については「就学前児童調査」（35.4%）と「小学生児童調査」（48.3%）で10ポイント以上の差が生じる結果となっています。

一方，アンケート調査から，子育てしている今の気持ち（就学前 問 29，小学生 問 26）をみると「こどもを虐待しているのではないかと思うことがある」と回答した割合については「就学前児童調査」「小学生児童調査」ともに母親の方が父親より高いものの，3.0%未満と低い値となっています。子育て支援施策・サービスの認知度，利用意向（就学前 問 22，小学生 問 20）をみると，「就学前児童調査」「小学生児童調査」ともに，「こども虐待 SOS 専用電話」の利用意向が2割弱となっており，「小学生児童調査」では「いじめ相談ホットライン」の利用意向が2割強となっています。



※就学前児童）問 22，29，47 小学生児童）問 20，26，43 結果から引用

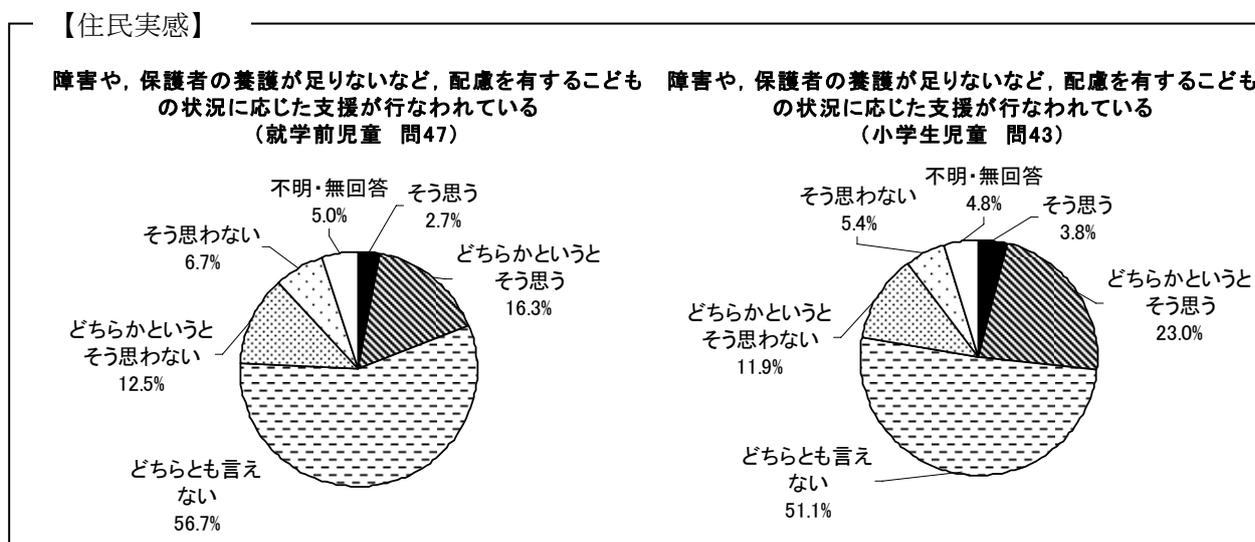
(3) 養護等が必要な子どもの福祉／障害や疾病等で支援が必要な子どもの福祉

【調査結果からみる現状】

住民実感（就学前 問 47，小学生 問 43）の「障害や，保護者の養護が足りないなど，配慮を有するこどもの状況に応じた支援が行なわれている」をみると，「就学前児童調査」は『プラス評価』（19.0%）と『マイナス評価』（19.2%）がほぼ同じ割合となっており，「小学生児童調査」は『プラス評価』（26.8%）が『マイナス評価』（17.3%）を上回る結果となっています。

子育て支援施策・サービスの認知度，利用意向（就学前 問 22，小学生 問 20）をみると，「就学前児童調査」「小学生児童調査」ともに，「こども虐待 SOS 専用電話」の利用意向が2割弱と他の施策・サービスに比べて低くなっています。こども虐待 SOS 専用電話などの相談や支援機関は，児童虐待への早急な対応を図るうえで大変重要なものとなります。そこで，子育て支援施策・サービスの認知度（就学前 問 22，小学生 問 20）をみると，児童虐待や非行などの相談や障害のあるこどもへの支援を行う「児童福祉センター」については，「小学生児童調査」が 81.2%と「就学前児童調査」の 63.7%に比べ差が生じる結果となっています。しかし，平成 16 年調査と比較してもそれぞれの認知度に経年的な差がないことから，こどものライフステージにより周知状況に差が生じていると考えられます。また，保護者の諸事情により夜間，小学生のお子さんを児童養護施設などで預かるトワイライトステイの利用状況（小学生 問 20）をみると，利用状況は 0.2%と低い値ですが，今後の利用意向については 11.3%となっています。

一方，こどもの疾病や事故等への相談を専門的に行う「京（みやこ）あんしんこども館」の認知度については，「就学前児童調査」で 32.1%，また，学習障害などの発達障害のあるこどもへの教育相談や支援を行う「総合育成支援教育相談センター」の認知度については，「小学生児童調査」で 19.2%となっています。



※就学前児童) 問 22, 47 小学生児童) 問 20, 43 結果から引用

2 次世代をはぐくむすべての家庭を支援し支え合えるまちづくり

(1) 子育てを支え合える地域のネットワーク，情報発信

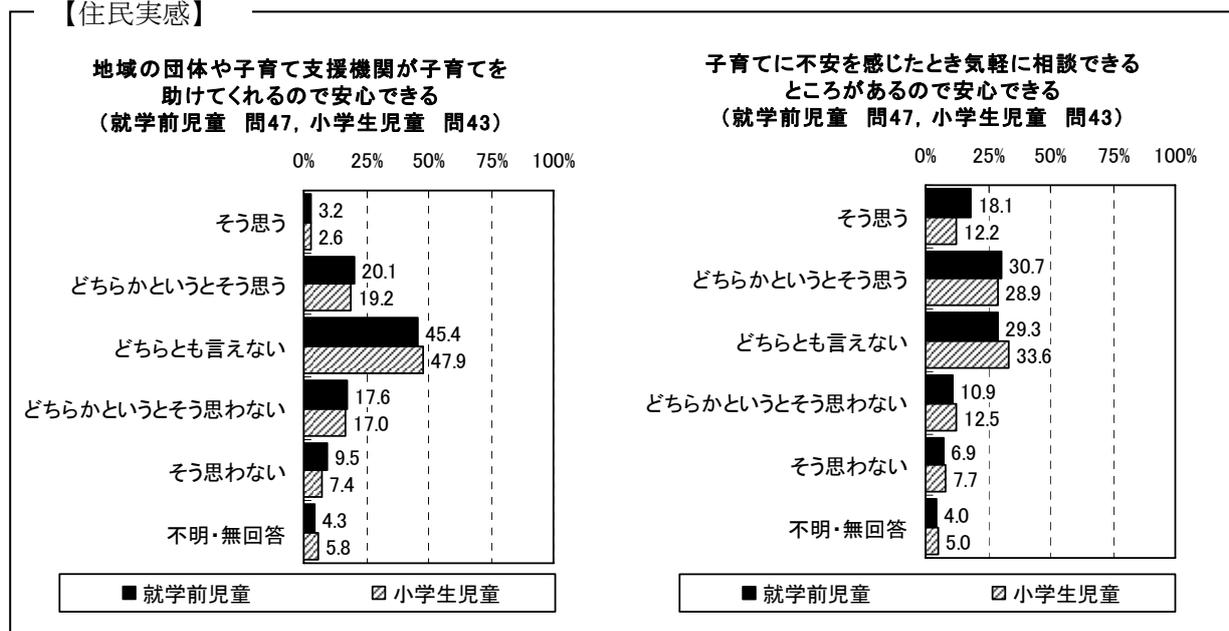
【調査結果からみる現状】

住民実感（就学前 問 47，小学生 問 43）の「地域の団体や子育て支援機関が子育てを助けてくれるので安心できる」をみると、「就学前児童」「小学生児童」ともに『マイナス評価』が『プラス評価』を上回る結果となっています。アンケート調査から、つどいの広場や乳幼児クラブなど地域の子育て支援活動の認知度（就学前 問 22）をみると、「児童館での乳幼児クラブ」が 71.4% に対し、「児童館での母親クラブ」は 42.6%，「子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）」は 20.2% となっており、「児童館での乳幼児クラブ」と比べ周知が進んでいない状況がみてとれます。「児童館での母親クラブ」や「子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）」の利用状況についても「これまでに利用したことがある」は 1 割未満となっています。

子育てに必要な情報の入手先（就学前 問 38 - 1）については、「市民しんぶん」（52.9%）や「隣近所の人，地域の知人，友人」（41.2%），「インターネット」（31.1%），「保育所（園），幼稚園，学校などの保護者仲間」（31.0%）が上位を占めています。また，情報の入手先を関係機関に注目してみると，「保育所（園），幼稚園，学校の先生，職員」（24.1%），「児童館」（16.2%），「保健所」（15.0%）が多くなっており，身近な機関から情報を入手する傾向にあります。

住民実感（就学前 問 47，小学生 問 43）の「子育てに不安を感じたとき気軽に相談できるところがあるので安心できる」をみると、『プラス評価』については「就学前児童調査」が 5 割，「小学生児童調査」が 4 割と，ともに『マイナス評価』を上回る結果となっています。アンケート調査から，困ったときの相談先（就学前 問 32，小学生 問 29）については，「就学前児童調査」「小学生児童調査」ともに「配偶者・パートナー」「その他の親族（親，兄弟姉妹など）」「隣近所の人，地域の知人，友人」「職場の人」「保育所（園），幼稚園，学校の先生，職員」「保育所（園），幼稚園，学校などの保護者仲間」など身近な人の割合が高く，先の情報の入手先と重なることがみられます。子育て支援施策・サービスの認知度（就学前 問 22，小学生 問 20）についてみると，「就学前児童調査」「小学生児童調査」ともに「子育て支援総合センターこどもみらい館」（「就学前児童調査」のみ）や「児童福祉センター」「子ども支援センター」などの公的機関については 5 割をこえて高く，また，「こども虐待 SOS 専用電話」や「いじめ相談ホットライン」（「小学生児童調査」のみ）などの相談窓口についても認知度が 5 割をこえていることから，各子育て支援機関や相談窓口の周知が進んでいることが住民実感に影響を与えていることがうかがえます。

【住民実感】



※就学前児童) 問 22, 32, 38-1, 47 小学生児童) 問 20, 29, 43 結果から引用

(2) 子どもという生活に生きがいを感じられる家庭, 職場, 地域社会づくり

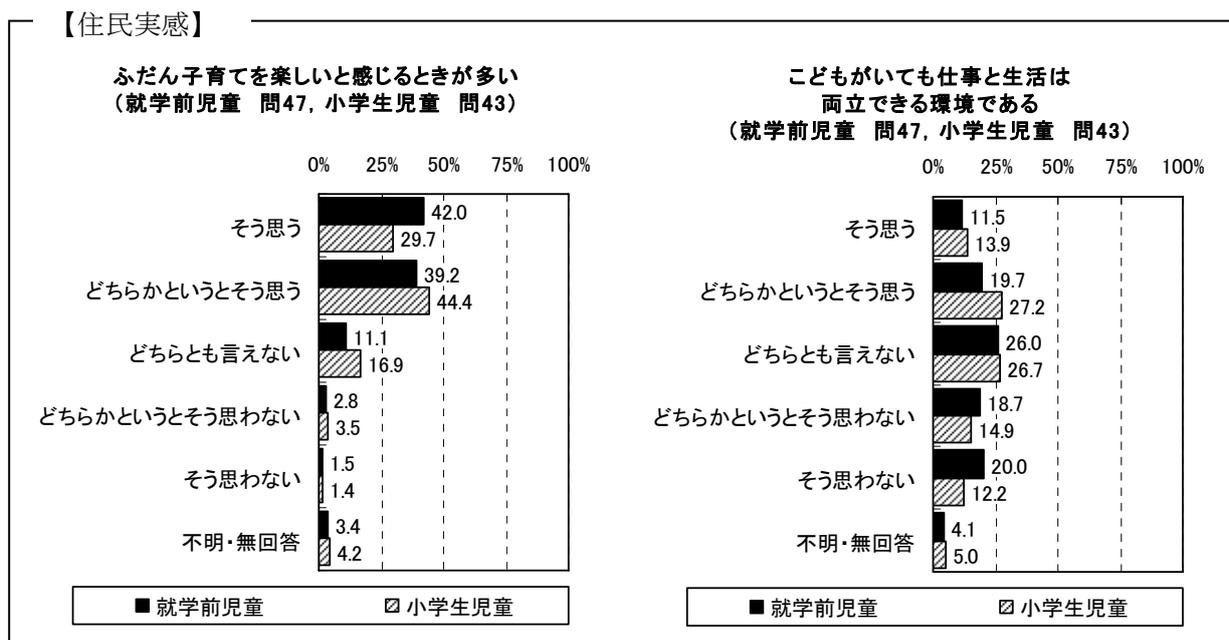
【調査結果からみる現状】

アンケート調査から、子育てしている今の気持ち(就学前 問 29, 小学生 問 26)をみると、「こどもがいると毎日の生活が楽しい」で「就学前児童調査」が6割強、「小学生児童調査」が6割弱と最も高くなっています。住民実感(就学前 問 47, 小学生 問 43)についても「ふだん子育てを楽しんでいると感じるときが多い」については、『プラス評価』が「就学前児童調査」で8割、「小学生児童調査」で7割となっていることから、子育て世帯の多くが子育てを楽しんでいることがうかがえます。また、子育てを楽しんでいるとき(就学前 問 30, 小学生 問 27)については、「就学前児童調査」「小学生児童調査」ともに差はあるものの「こどもの成長・発達に感動した」が最も多くなっており、こどもの成長が子育ての楽しみとなっていることがうかがえます。しかし一方で、「就学前児童調査」「小学生児童調査」ともに「子育てについて不安になったり、悩むときがある」(3割)や「生活や気持ちにゆとりがなく、いらだつことがある」(3割)、「子育てから開放されたいと思うときがある」(1割強)の割合が、「母親」において高い傾向がみられます。

住民実感(就学前 問 47, 小学生 問 43)の「こどもがいても仕事と生活は両立できる環境である」については、「就学前児童調査」では『マイナス評価』(38.7%)が『プラス評価』(31.2%)を上回る結果となっていますが、「小学生児童調査」では『プラス評価』(41.1%)が『マイナス評価』(27.1%)を上回る結果となっています。また、生活の中で仕事と家事等の優先度(就学前 問 24, 小学生 問 22)をみると、「仕事時間を優先」について、「就学前児童調査」では、「希望」

6.6%、「現実」24.9%とその差18.3ポイントであるのに対し、「小学生児童調査」では、「希望」9.4%、「現実」37.7%とその差28.3ポイントと10ポイントの差が生じています。家族類型別にみると、「現実」での「仕事を優先」については、「ひとり親」や「共働き」では「就学前児童調査」が5割、「小学生児童調査」では7割と、他の類型より割合が高くなっています。子どものライフステージがあがると「仕事を優先」する割合が高くなるとともに、仕事を持つ限りは仕事を優先せざるをえない現状もうかがえます。

こどもの地域的なグループ活動の参加状況（小学生 問39）については、「地域の祭りなどの伝統行事」が59.4%と最も多いものの、「子ども会活動」（31.2%）や「スポーツ活動」（30.4%）についても3割が参加したことがあると回答しています。平成16年調査と比較しても大きな変化がみられないことから、少子化が進む中でも、これらの活動については一定の参加が見込まれると考えられます。一方、子育てをするうえで、ご近所・地域の人々にどのようなことを期待するか（就学前 問39）については、「特にない」が3.2%、そして「こどもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配りあうこと」が78.9%、「こどもの危険な行為やいたずらを注意しあえること」が67.6%となっていることから、多くの回答者が子育てをするうえで地域のかかわりを期待しており、特にこどもの安全面や健全育成といった見守り支援への期待が高くなっていることがうかがえます。



※就学前児童) 問24, 29, 30, 39, 47 小学生児童) 問22, 26, 27, 39, 43 結果から引用

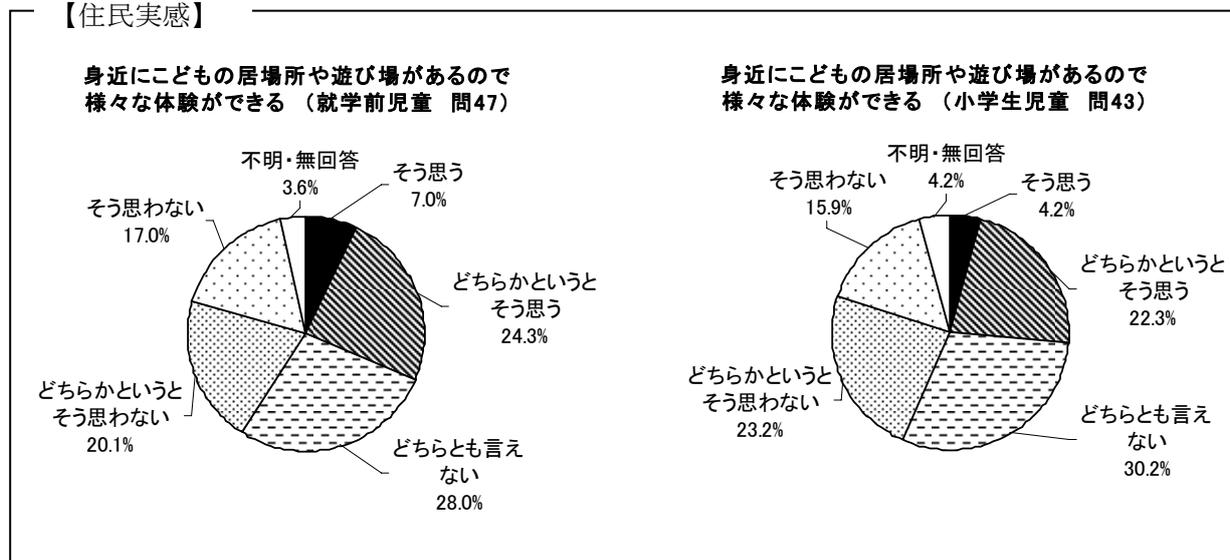
(3) 子どもの生活環境の整備

【調査結果からみる現状】

アンケート調査から、こどもの遊び場については（就学前 問 40、小学生 問 36）「就学前児童調査」「小学生児童調査」とともに「自宅」の割合が最も高くなっています。一方、今後市に期待する施策（就学前 問 46、小学生 問 42）をみると、「就学前児童調査」「小学生児童調査」とともに「こどもたちが安心して遊べる場所の整備」が3割をこえて高い割合となっており、住民実感（就学前 問 47、小学生 問 43）の「身近にこどもの居場所や遊び場があるので様々な体験ができる」についても、「就学前児童調査」「小学生児童調査」とともに、『マイナス評価』が『プラス評価』を上回る結果となっていることから、身近で安全に遊べる場が少ないことがうかがえます。

また、こどもと外出する際に困ること（就学前 問 44）については、道路や建物がベビーカーなどでの移動に配慮されていないことや、買い物や用事の合間にこどもを遊ばせる場所が少ないなどが多く、平成 16 年調査と比較しても大きな変化がみられません。

【住民実感】



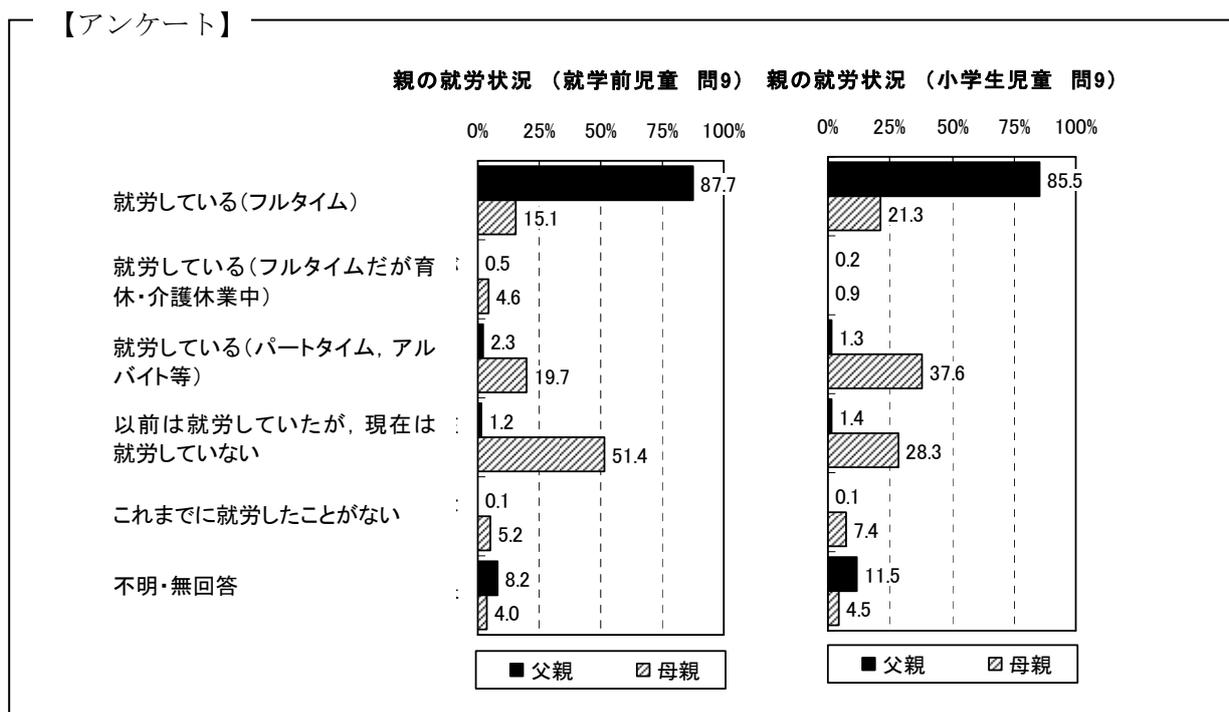
※就学前児童）問 40, 44, 46, 47 小学生児童）問 36, 42, 43 結果から引用

(4) 子育てに必要な経済負担のあり方

【調査結果からみる現状】

アンケート調査から、子育てで日頃感じる悩み(就学前 問 31, 小学生 問 28)をみると、「就学前児童調査」「小学生児童調査」とともに「経済的な不安」が上位に位置しており、また、今後市に期待する施策(就学前 問 46, 小学生 問 42)をみると、「就学前児童調査」「小学生児童調査」とともに医療費の軽減や教育費の負担軽減など費用面での支援が上位を占めており、子育てにおいて経済的な負担を感じている世帯が多いことがうかがえます。

また、親の就労状況(就学前 問 9, 小学生 問 9)について、「母親」の「以前は就労していたが、現在は就労していない」についてみると、「就学前児童調査」が 51.4%であるのに対し、「小学生児童調査」では 28.3%と 20 ポイント以上の差が生じており、こどものライフステージがあがるごとに就労する母親が増えていることがうかがえます。



※就学前児童) 問 9, 31, 46 小学生児童) 問 9, 28, 42 結果から引用

(5) 多様で柔軟な保育サービスの提供

【調査結果からみる現状】

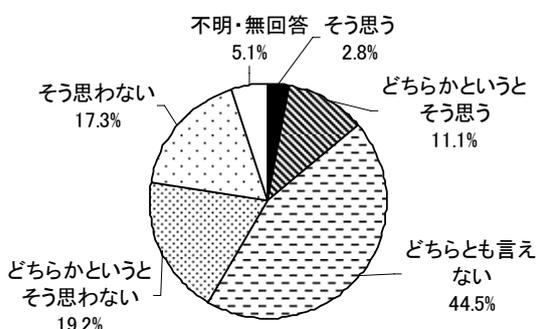
住民実感（就学前 問 47，小学生 問 43）の「希望した時期に，希望したサービスを利用できていると思う」については「就学前児童調査」「小学生児童調査」とも『マイナス評価』が『プラス評価』を上回る結果となっています。しかし，アンケート調査から，保育サービスの利用状況（就学前 問 10）をみると，保育所や幼稚園等の保育サービスを「利用している」は 56.2%，平成 16 年調査と比較すると 20 ポイント近く伸びており，保育サービスを利用する世帯が増加するとともに，需要に応じたサービス提供が進められていることがうかがえます。利用している保育サービスの内訳（就学前 問 10-1）をみると，「保育所（園）」が 57.2%，「幼稚園」が 37.6% と高く，ニーズの高さがうかがえます。また，家族類型別にみると，「専業主婦（夫）」において「保育所」の割合が他の類型より顕著に低く，「幼稚園」の割合が顕著に高くなっており，家族類型別に利用ニーズが異なっていることがみられます。保育所や幼稚園等の保育施設の選択基準（就学前 問 10-3）をみると，保育・教育内容（30.0%）よりも立地面（67.2%）が優先される傾向にあります。

さらに，できれば利用したい保育サービス（就学前 問 11）の内容をみると，「保育所（園）」（20.4%），「幼稚園」（11.8%）以外にも「一時保育」（13.7%）や「病児・病後児保育」（13.1%），「延長保育」（10.0%）の利用意向も高くなっており，保育ニーズの多様化がうかがえます。

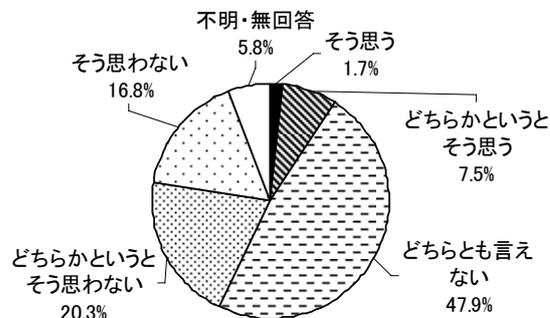
一方，学童クラブ事業の利用状況（小学生 問 10）をみると，11.6%が利用していると回答しており，平成 16 年調査と比較すると 5 ポイント近く増えています。学童クラブ事業を利用している理由（小学生 問 10-2）については，「現在就労している」（88.6%）が最も多くなっています。

【住民実感】

希望した時期に，希望したサービスを利用できていると思う
（就学前児童 問47）



希望した時期に，希望したサービスを利用できていると思う
（小学生児童 問43）



※就学前児童）問 10，10-1，10-3，11，47 小学生児童）問 10，10-2，43 結果から引用

3 子どもを安心して生み健やかに育てることのできるまちづくり

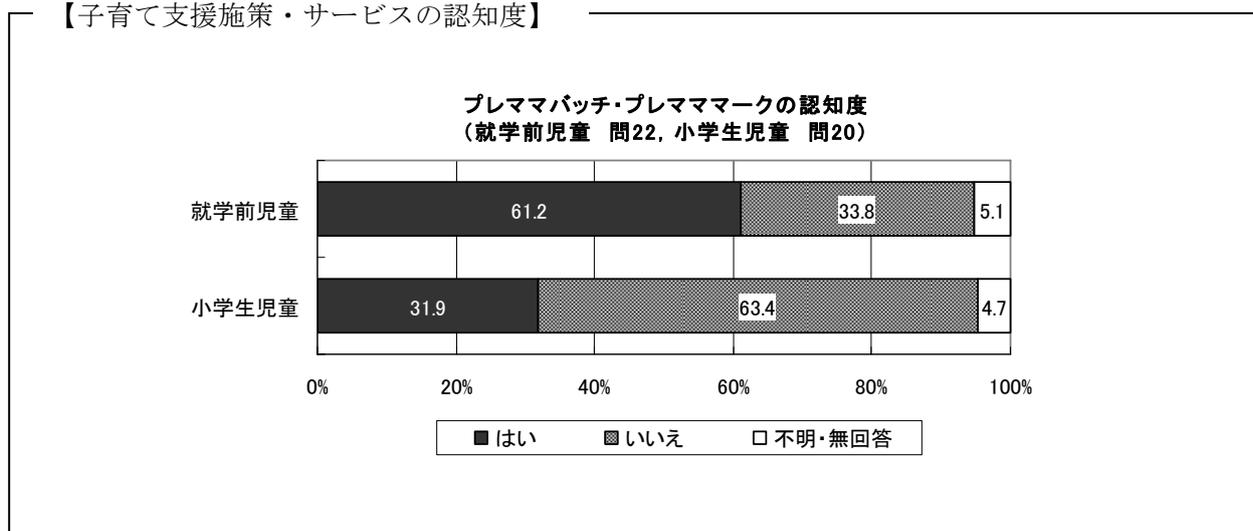
(1) 安心して妊娠・出産できる環境づくり

【調査結果からみる現状】

アンケート調査でプレママバッチ・プレマママークの認知度（就学前 問 22，小学生 問 20）で「知っている」については「就学前児童調査」では 61.2%，「小学生児童調査」では 31.9%となっており，平成 16 年調査と比較すると，「就学前児童調査」「小学生児童調査」ともに認知度が高くなっています。

アンケート調査で，今後，京都市・京都府・国にどのようなことを期待するか（就学前 問 46，小学生 問 42）についての，「安心して出産や育児ができる母子保健サービスの充実」が「就学前児童調査」で 18.1%，「小学生児童調査」で 7.2%となっています。

【子育て支援施策・サービスの認知度】



※就学前児童) 問 22, 46 小学生児童) 問 20, 42 結果から引用

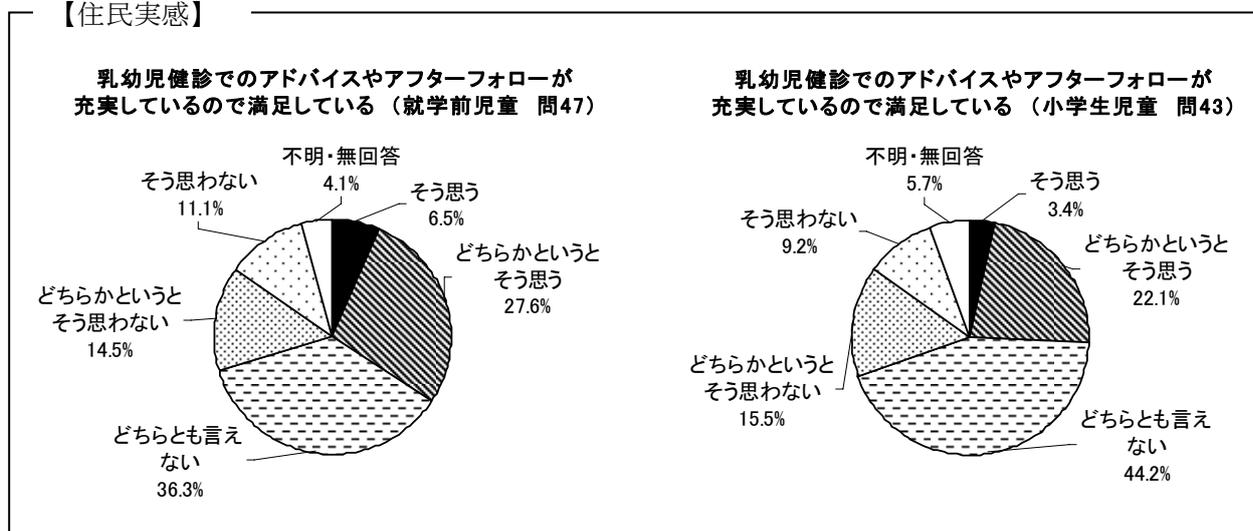
(2) 子どもの健やかな発達と育児不安を軽減するための支援

【調査結果からみる現状】

住民実感（就学前 問 47, 小学生 問 43）の「乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実しているので満足している」をみると、「就学前児童調査」「小学生児童調査」ともに『プラス評価』が『マイナス評価』を上回っているものの、「就学前児童調査」が 34.1%、「小学生児童調査」は 25.5%にとどまっています。

アンケート調査から、子育てをしている今の気持ち（就学前 問 29, 小学生 問 26）をみると、「こどもがいると毎日の生活が楽しい」が多くを占めている中、母親については「子育てについて不安になったり、悩むときがある」が「就学前児童調査」で 28.9%、「小学生児童調査」で 34.5%、「生活や気持ちにゆとりがなく、いらだつことがある」が「就学前児童調査」で 29.3%、「小学生児童調査」で 29.7%となっており、子育てに関する不安や負担を感じている状況があることがうかがえます。また、子育てへの不安について、「就学前児童調査」では子育て仲間が「いない」と回答している人ほど割合が高い傾向にあります。

【住民実感】



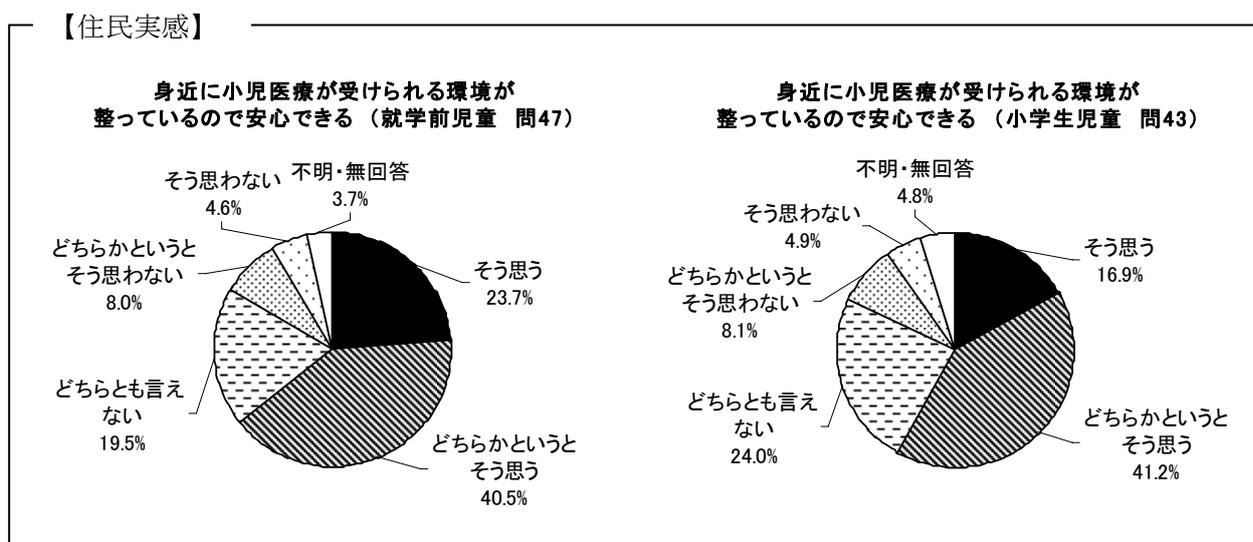
※就学前児童) 問 29, 47 小学生児童) 問 26, 43 結果から引用

(3) 子どもが健やかに育つための安全な環境づくり

【調査結果からみる現状】

住民実感（就学前 問 47，小学生 問 43）の「身近に小児医療が受けられる環境が整っているので安心できる」をみると、「就学前児童調査」「小学生児童調査」ともに『プラス評価』が6割と高くなっています。また、かかりつけの医師の有無（就学前 問 34，小学生 問 31）や休日・夜間の小児救急医療機関の認知度（就学前 問 35，小学生 問 32）についても「就学前児童調査」「小学生児童調査」ともに高くなっていますが、1割程度の方はかかりつけ医が「いない」としており、休日・夜間の小児医療機関についても「知らない」と回答しています。

これまでに転倒や交通事故、やけどなどの事故にあったことがあるか（就学前 問 36，小学生 問 33）についてみると、「就学前児童調査」では 25.0%、「小学生児童調査」では 36.3%が「ある」としています。また、チャイルドシートの着用（就学前 問 37（4），小学生 問 34）については、「就学前児童調査」で 89.2%、「小学生児童調査」で 38.9%が着用しています。その他、「就学前児童調査」では「家庭では、ボタン、電池、たばこの吸殻など、子どもが誤飲するようなものを置かないよう心がけている」「ポット、ストーブ、コンロなど、やけどにつながる物に子どもを近づけないよう心がけている」「お風呂、洗濯の際などには、水の事故が起こらないよう心がけている」（就学前 問 37（1）（2）（3））についても「はい」が9割以上と高くなっています。事故防止に向けた配慮が行われていることがうかがえます。



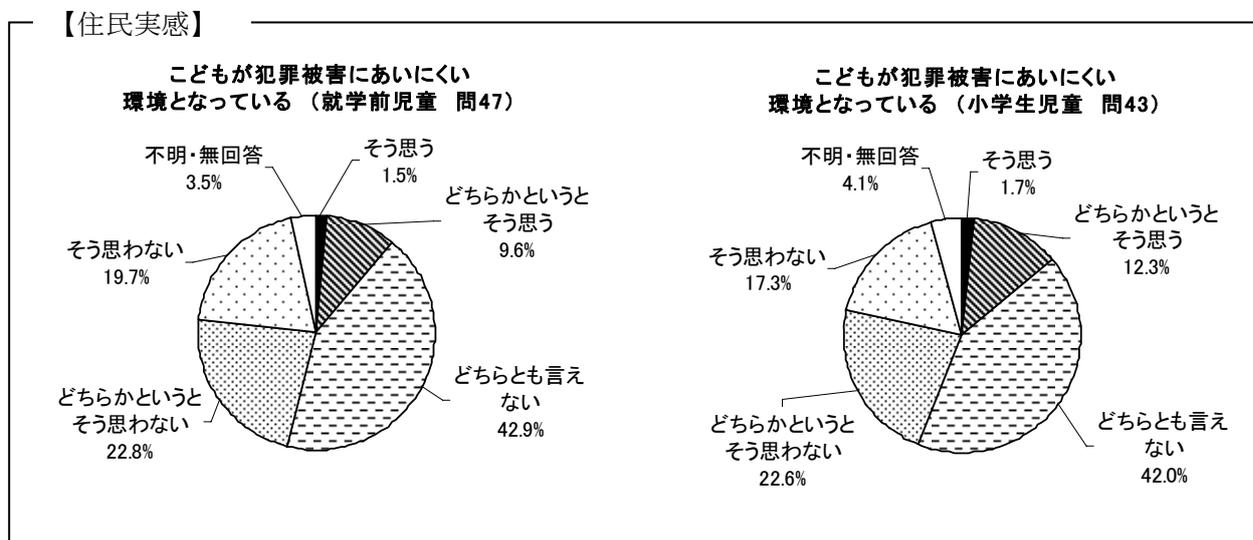
※就学前児童) 問 34, 35, 36, 37, 47 小学生児童) 問 31, 32, 33, 34, 43 結果から引用

(4) 子どもの安全な生活が確保される安心して暮らせるまちづくり

【調査結果からみる現状】

住民実感（就学前 問 47，小学生 問 43）で「子どもが犯罪被害にあいにくい環境となっている」について『プラス評価』が「就学前児童」で 11.1%，「小学生児童調査」で 14.0%と低くなっています。この結果の背景として，全国的にも子どもが犯罪被害にあう事件が多くなっていることがあげられます。

このような状況の中，アンケート調査で，今後，京都市・京都府・国にどのようなことを期待するか（就学前 問 46，小学生 問 42）についてみると「交通事故・犯罪の予防・防止など，子どもの安全対策の充実」が「就学前児童調査」では 26.4%（20 項目中 6 番目），「小学生児童調査」では 32.6%（20 項目中 4 番目）と比較的高くなっており，子どもの安全な生活の確保が求められていることがうかがえます。また，子どもが被害者となる犯罪の被害を予防・防止するために必要なこと（小学生 問 35）については，「地域コミュニティーの活性化」「街灯（防犯灯）などの防犯設備の充実」「子どもへの防犯教育の充実」が高くなっています。



※就学前児童) 問 46, 47 小学生児童) 問 35, 42, 43 結果から引用

4 次代を担う子どもたちが心豊かに生きる力をはぐくむことができるまちづくり

(1) 生きる力をはぐくむ教育環境づくり

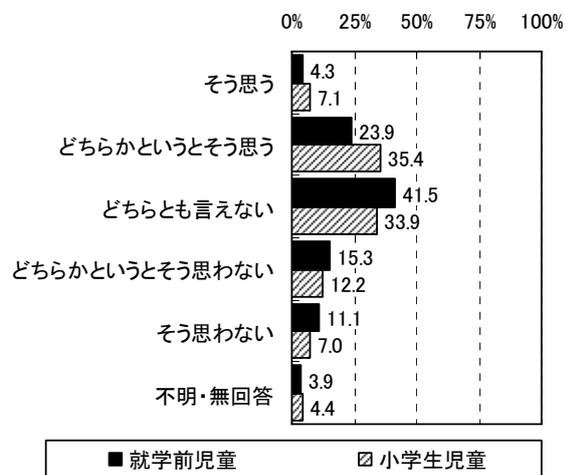
【調査結果からみる現状】

住民実感（就学前 問 47，小学生 問 43）の「学校などの公共施設はこどもにとって安全な場だと思う」をみると、「就学前児童調査」「小学生児童調査」ともに『プラス評価』が『マイナス評価』を上回る結果となっています。しかし、「小学生児童調査」の『プラス評価』が 42.5% に対し、「就学前児童調査」では 28.2% と 10 ポイント以上の差が生じる結果となっており、特に就学前児童では幼稚園や保育所等の施設整備に対し不安があることがうかがえる結果となっています。

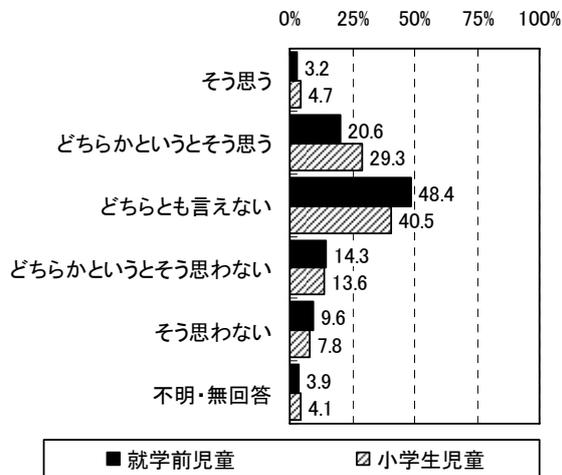
一方、アンケート調査から、子育てで日頃感じる悩み（就学前 問 31，小学生 問 28）をみると、こどもの教育や勉強・進学関係の悩みが「就学前児童調査」より「小学生児童調査」において高くなっており、こどもの年齢やライフステージがあがるにつれて教育や進学への関心が高まっていることがうかがえます。住民実感（就学前 問 47，小学生 問 43）の「こどもへの教育環境は充実していると思う」をみると、「就学前児童調査」では『マイナス評価』と『プラス評価』がほぼ同じ割合となっていますが、「小学生児童調査」では『プラス評価』が『マイナス評価』を上回っており、「就学前児童調査」と「小学生児童調査」とで差が生じる結果となっています。しかし、住民実感の「こどもへの進路指導は充実していると思う」をみると、「就学前児童調査」「小学生児童調査」ともに「どちらとも言えない」が半数を上回っています。

【住民実感】

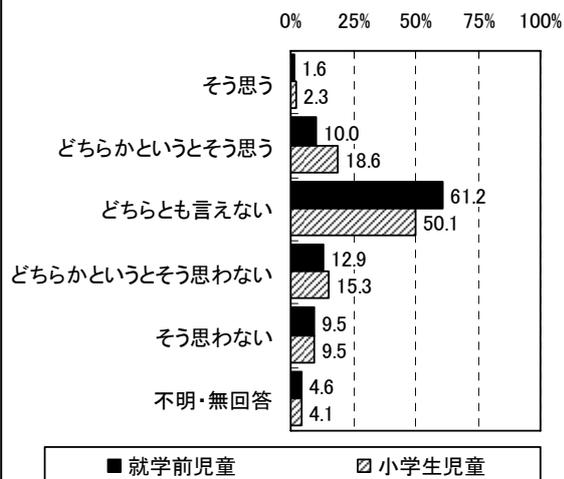
学校などの公共施設は子どもにとって
安全な場だと思う
(就学前児童 問47, 小学生児童 問43)



子どもへの教育環境は充実していると思う
(就学前児童 問47, 小学生児童 問43)



子どもへの進路指導は充実していると思う
(就学前児童 問47, 小学生児童 問43)



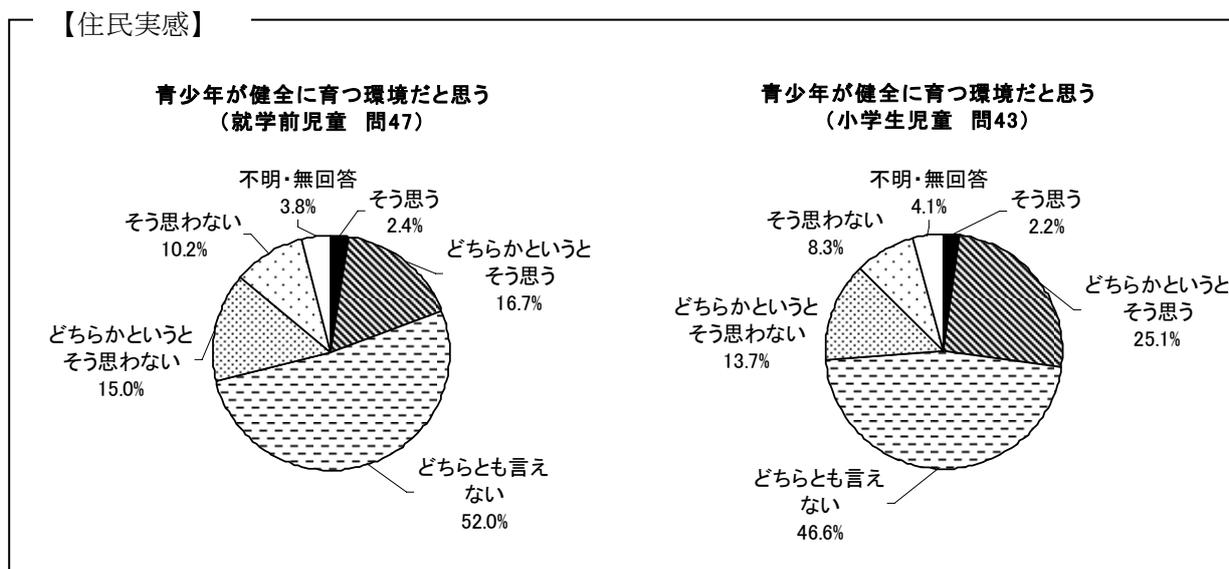
※就学前児童) 問 31, 47 小学生児童) 問 28, 43 結果から引用

(2) 子どもの健全育成のための環境づくり／青少年の自主性と創造力をはぐくむまちづくり

【調査結果からみる現状】

アンケート調査から、お子さんの地域的なグループ活動の参加状況(小学生 問 39)をみると、「参加したことはない」が17.6%となっており、8割程度のこどもが地域で何らかのグループ活動に参加している状況がうかがえます。また、今後の参加意向(小学生 問 40)をみると、「参加させたいと思わない」が4.9%となっていることから、多くの回答者が地域のグループ活動がこどもの健全育成につながると考えていることがうかがえます。一方、今後市に期待する施策(就学前 問 46, 小学生 問 42)をみると、「就学前児童調査」「小学生児童調査」ともに「地域におけるこどもの健全育成活動(こども会など)の充実」は3.0%未満となっています。

住民実感(就学前 問 47, 小学生 問 43)の「青少年が健全に育つ環境だと思う」をみると、「就学前児童調査」では、『マイナス評価』が『プラス評価』を上回り、「小学生児童調査」では『プラス評価』が『マイナス評価』を上回る結果となっています。



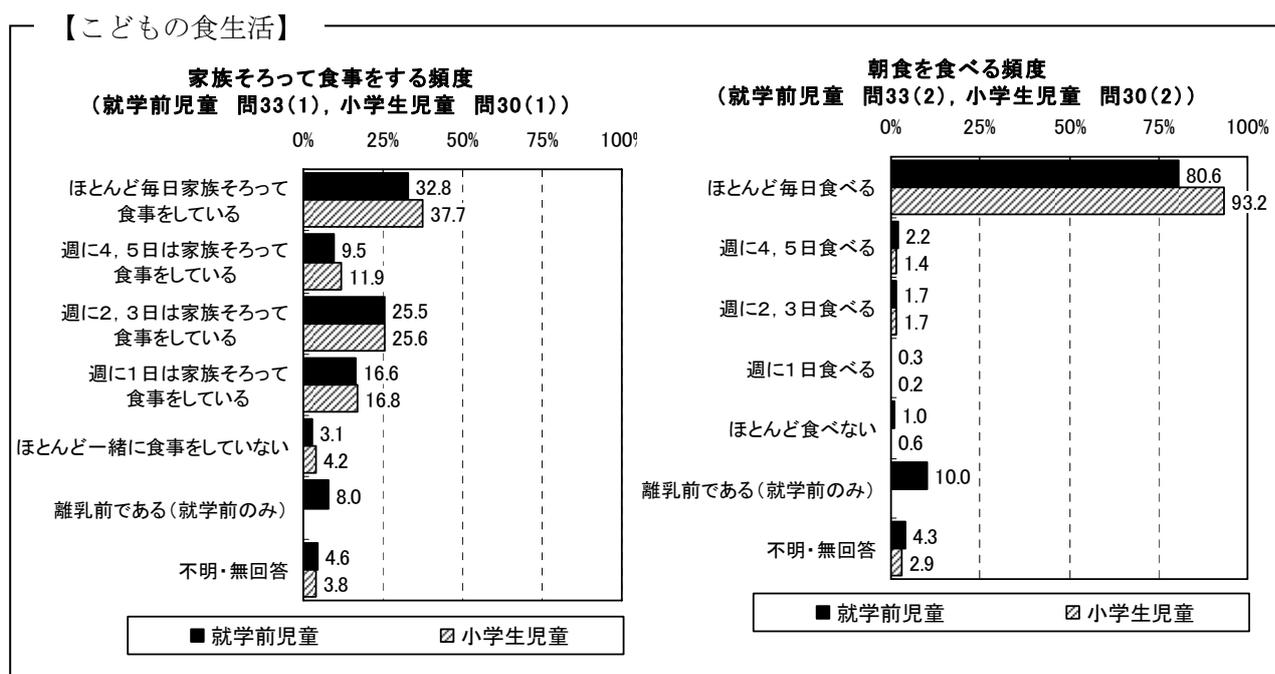
※就学前児童) 問 46, 47 小学生児童) 問 39, 40, 42, 43 結果から引用

(3) 望ましい食べる力をはぐくむための環境づくり

【調査結果からみる現状】

アンケート調査からこどもの食生活（就学前 問 33（1），小学生 問 30（1））についてみると、家族そろって毎日食事をしている人の割合は「就学前児童調査」で 32.8%、「小学生児童調査」で 37.7%となっており、一方「ほとんど一緒に食事をしていない」人の割合は「就学前児童調査」で 3.1%、「小学生児童調査」で 4.2%にとどまっており、家庭によって日数は異なるものの、家族でそろって食事をしている状況であることがうかがえます。

また、こどもが朝食を食べる頻度（就学前 問 33（2），小学生 問 30（2））についてみると、「ほとんど毎日食べる」が「就学前児童調査」で 80.6%、「小学生児童調査」で 93.2%とほとんどの人が毎日食べています。



※就学前児童) 問 33（1）（2） 小学生児童) 問 30（1）（2）結果から引用

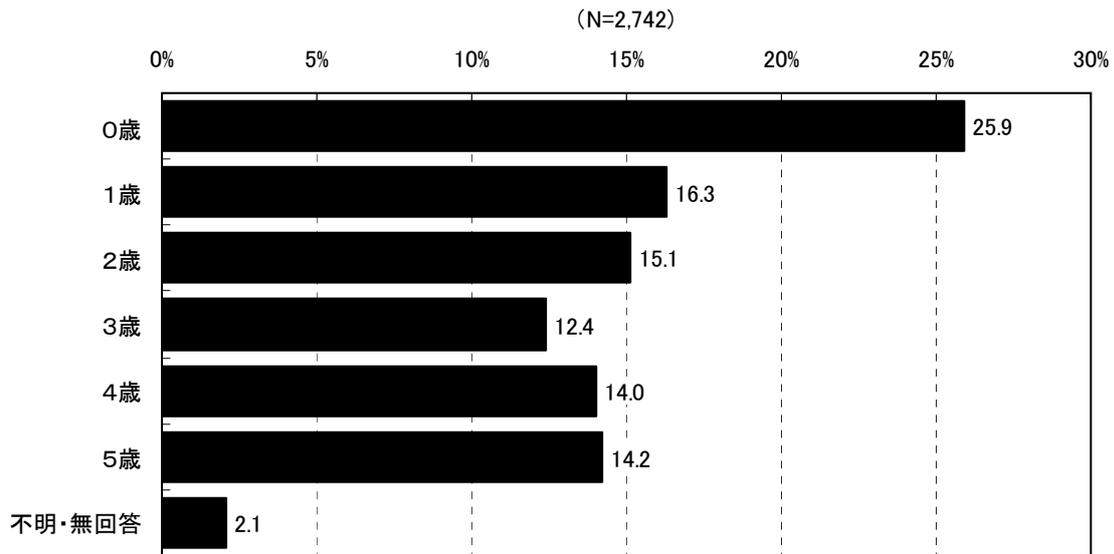
Ⅲ 調査結果

（就学前児童調査）

1 こどもと家族の状況について

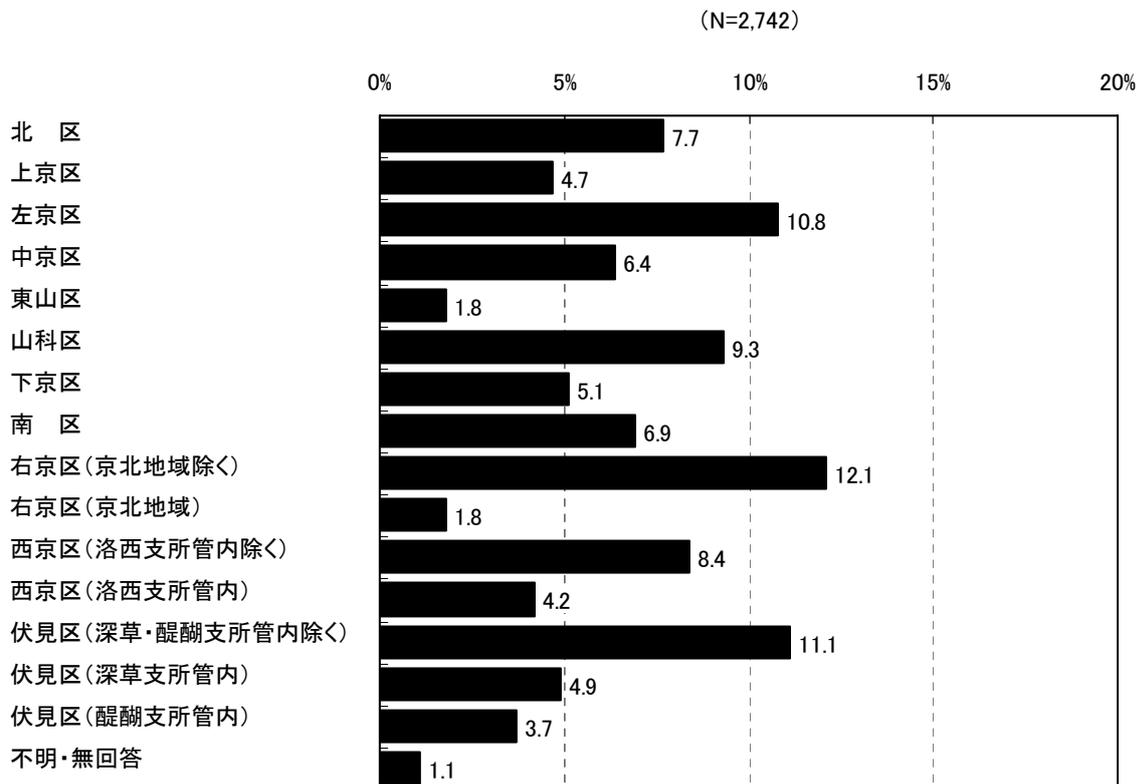
問1 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

【こどもの年齢（平成20年4月1日現在）】

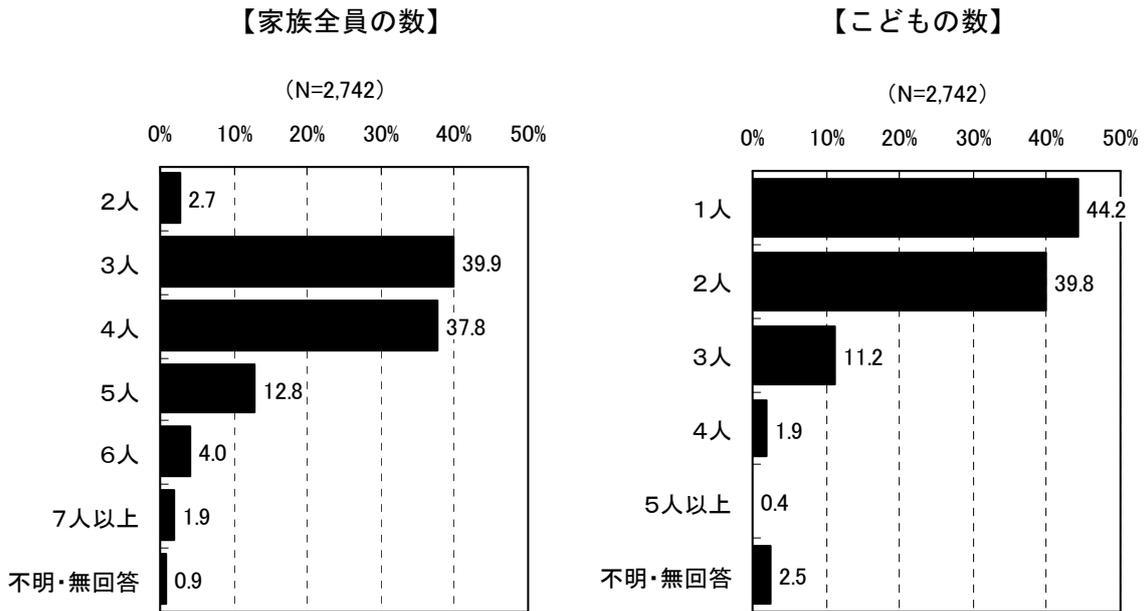


※回答された「生年月」から年齢を換算

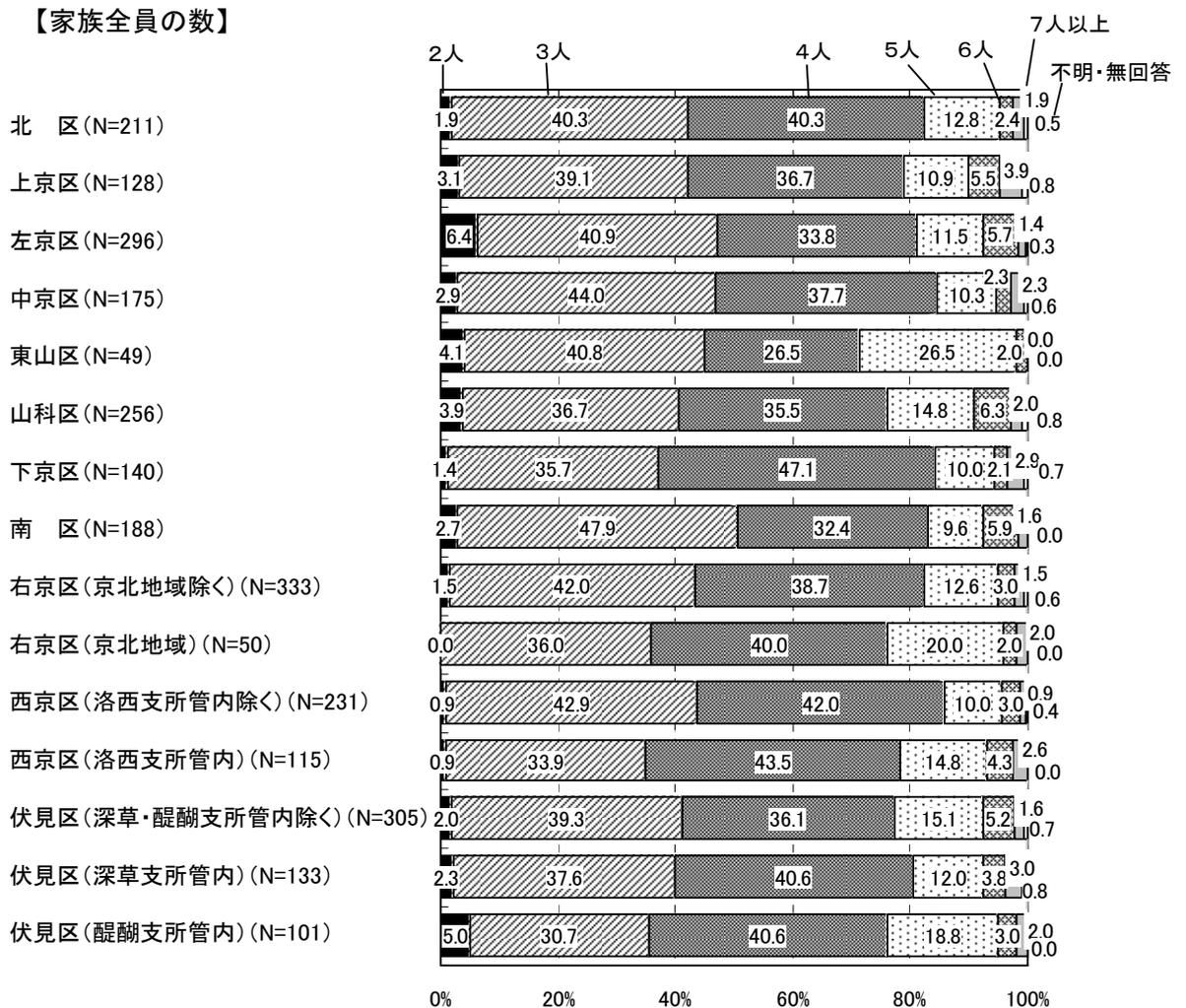
問2 お住まいの区等はどちらですか。



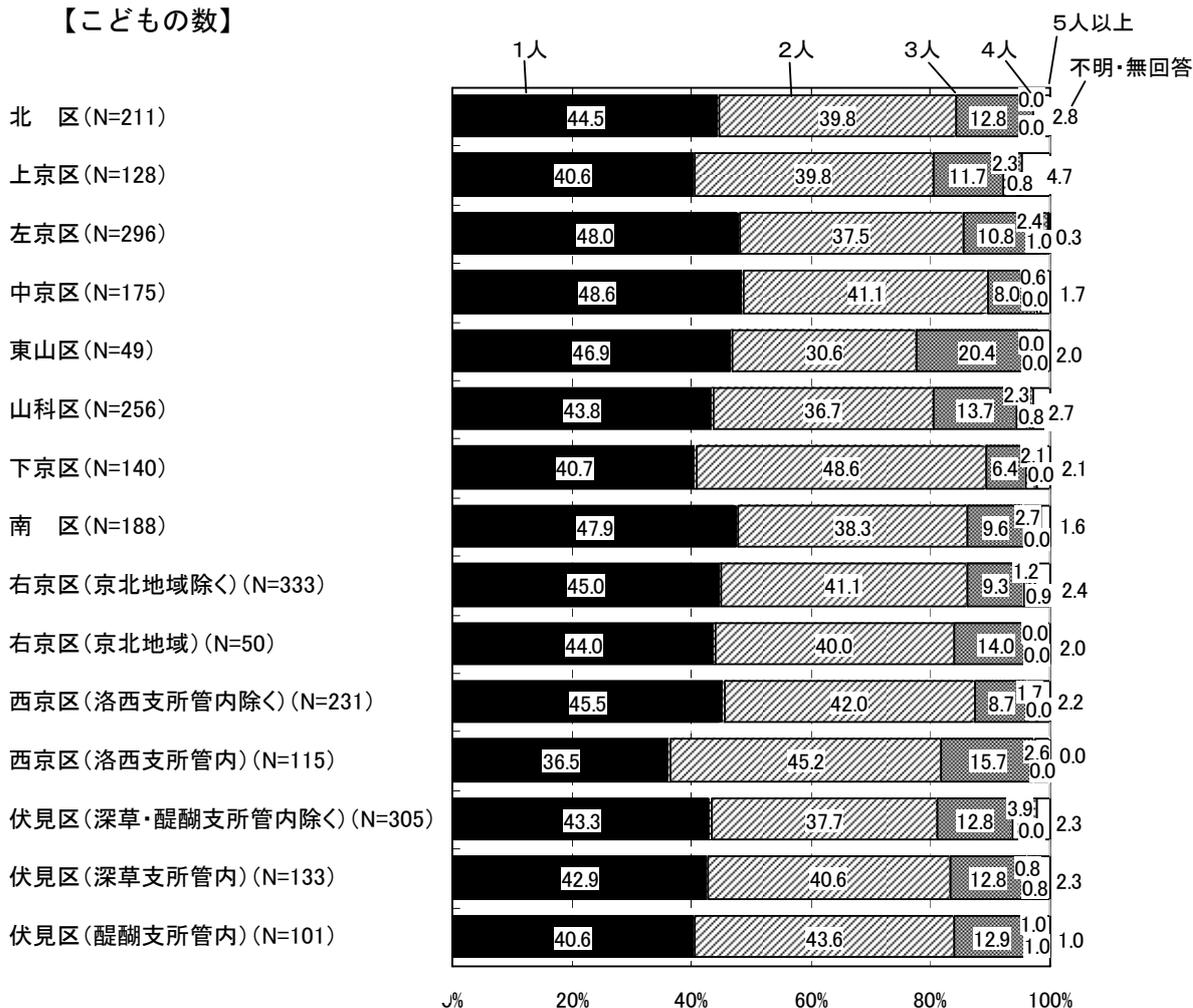
問3 ご家族全員とお子さんの人数をおたずねします。



【居住区別】

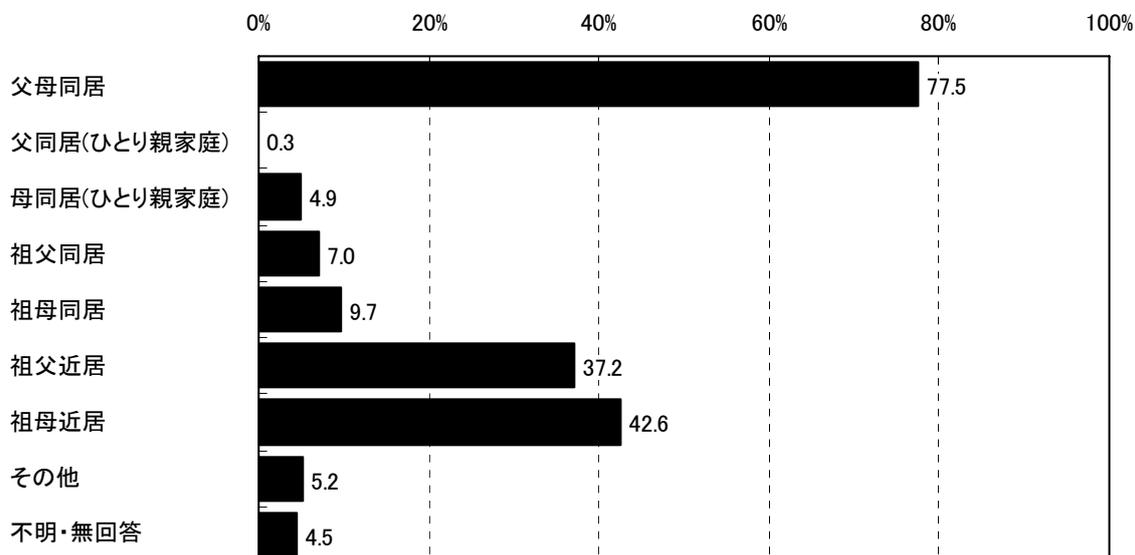


【こどもの数】



問4 あて名のお子さんとの同居・近居（概ね 30 分以内程度に行き来できる範囲）の状況についておうかがいします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。（あてはまるものすべて）

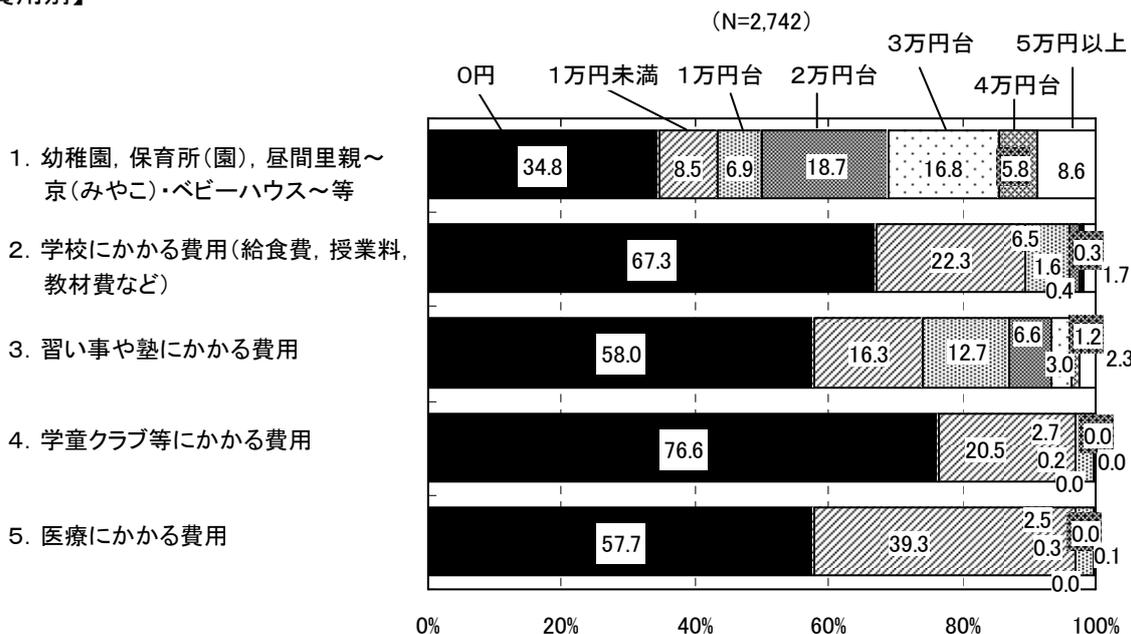
(N=2,742)



問5 世帯のお子さん全員の子育てについて、一か月にどのくらいの費用がかかりますか。おおよその金額をご記入ください。また、世帯全員の収入のおおよそ何%を占めますか。

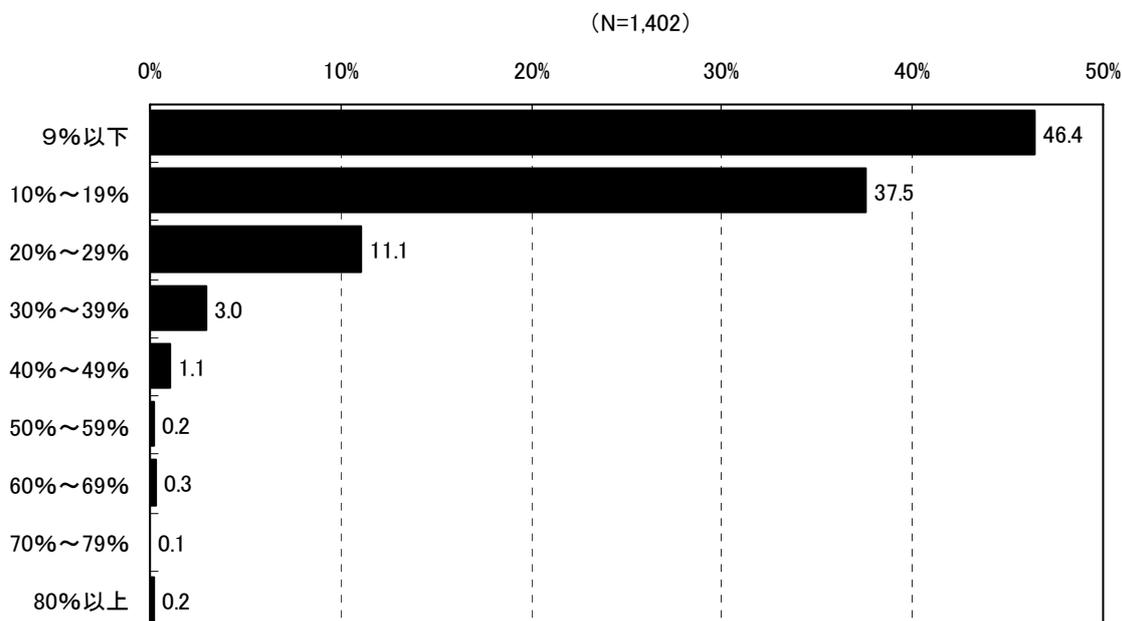
こどもの子育てにかかる費用についてみると、「2. 学校にかかる費用（給食費，授業料，教材費など）」「4. 学童クラブ等にかかる費用」で、「0円」が6割を超え、高くなっている。

【費用別】



世帯収入に占める割合についてみると、「9%以下」が46.4%と最も高く、次いで、「10%～19%」が37.5%となっている。

【世帯収入に占める割合】



問6 同居しているすべてのご家族について、あて名のお子さんからみた続柄、職業、年齢、健康状態や心身の状況について、下記の選択肢番号でお答えください。年齢は、平成20年4月1日現在の年齢をご記入ください。

【職業×続柄】

単位：%

	回答者数 (人)	常勤(正規 職員等)	パート・ アルバイト	自営業	在宅勤務・ 内職	無職・ 家事専業	大学生・ 大学院生	中学生・ 高校生
父	2,542	81.6	2.3	12.9	0.4	0.7	0.7	-
母	2,691	16.0	19.5	2.7	1.9	57.1	0.5	0.1
祖父	229	22.7	8.3	27.1	2.2	34.5	-	-
祖母	291	7.9	17.9	15.5	2.7	52.6	-	0.3
兄	773	1.6	0.4	-	-	1.0	0.8	8.9
姉	667	0.1	0.1	-	-	0.6	0.6	7.0
本人(あて名のお子さん)	1,036	-	-	-	-	-	-	-
弟	214	-	-	-	-	6.5	-	-
妹	225	-	-	-	-	9.8	-	-
その他	89	31.5	9.0	3.4	1.1	32.6	-	4.5

	回答者数 (人)	小学生	幼稚園に 通園	保育所(園)・ 昼間里親～ 京(みやこ)・ ベビーハウ ス～に通園	認可外保 育所 に通園	その他	不明・ 無回答
父	2,542	-	-	-	-	0.8	0.4
母	2,691	-	-	-	-	1.4	0.8
祖父	229	-	-	-	-	2.2	3.0
祖母	291	-	-	-	-	1.7	1.4
兄	773	56.0	15.3	9.1	0.3	4.5	2.2
姉	667	58.8	13.2	12.0	0.1	5.8	1.5
本人(あて名のお子さん)	1,036	-	25.1	31.2	1.9	29.0	12.8
弟	214	-	8.9	24.8	0.5	49.5	9.8
妹	225	-	6.2	29.8	2.2	44.0	7.9
その他	89	3.4	-	1.1	1.1	11.2	1.1

【健康状態×続柄】

単位：%

	回答者数 (人)	健康	どちらか といえば健康	あまり健康 でない	現在、病気 療養中	介護が必要 な状態	不明・ 無回答
父	2,542	82.2	14.2	1.5	1.7	-	0.3
母	2,691	83.2	12.7	1.8	1.8	-	0.4
祖父	229	52.4	24.9	7.9	10.9	3.1	0.9
祖母	291	53.3	24.1	9.6	7.9	4.5	0.7
兄	773	92.0	4.8	1.6	0.8	0.4	0.5
姉	667	94.2	4.8	0.3	0.3	0.3	0.1
本人(あて名のお子さん)	1,036	91.2	6.1	0.5	1.1	0.4	0.8
弟	214	93.0	2.8	0.9	1.4	-	1.9
妹	225	95.6	3.1	0.4	0.4	-	0.4
その他	89	58.4	16.9	4.5	6.7	10.1	3.4

【心身状態×続柄】

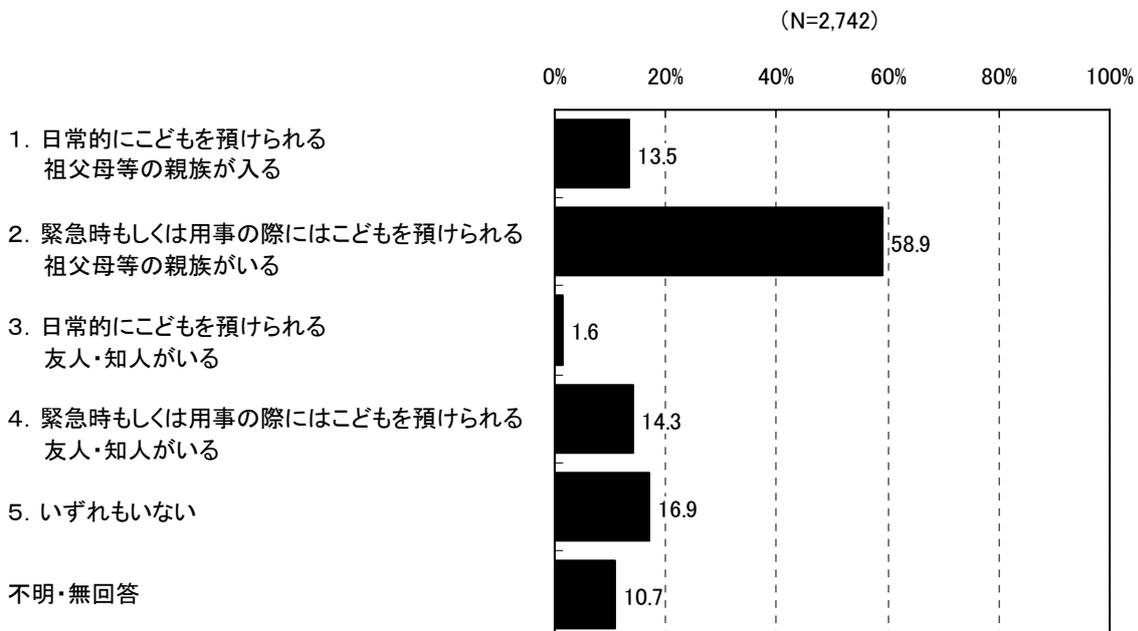
単位：%

	回答者数 (人)	心身に障 がいがある	心身に障 がいは無い	不明・ 無回答
父	2,542	3.2	96.3	0.5
母	2,691	3.6	95.7	0.7
祖父	229	6.1	92.6	1.3
祖母	291	8.6	90.0	1.4
兄	773	6.6	92.8	0.6
姉	667	4.2	94.9	0.9
本人(あて名のお子さん)	1,036	4.1	94.8	1.2
弟	214	2.3	96.3	1.4
妹	225	4.9	94.2	0.9
その他	89	6.7	88.8	4.5

問7 日頃、保育所（園）等以外でお子さんを預けられる人はいますか。（あてはまるものすべて）

また、日常的に預かってもらっている場合には、預けている日数や時間帯をご記入ください。

「2. 緊急時もしくは用事の際にはこどもを預けられる祖父母等の親族がいる」が 58.9%と高いが、「1. 日常的にこどもを預けられる祖父母等の親族がいる」になると 13.5%と低くなる。友人・知人についても、祖父母等に比べ相対的に割合が低いと同様の傾向にある。



【同居・近居の状況別，家族類型別】

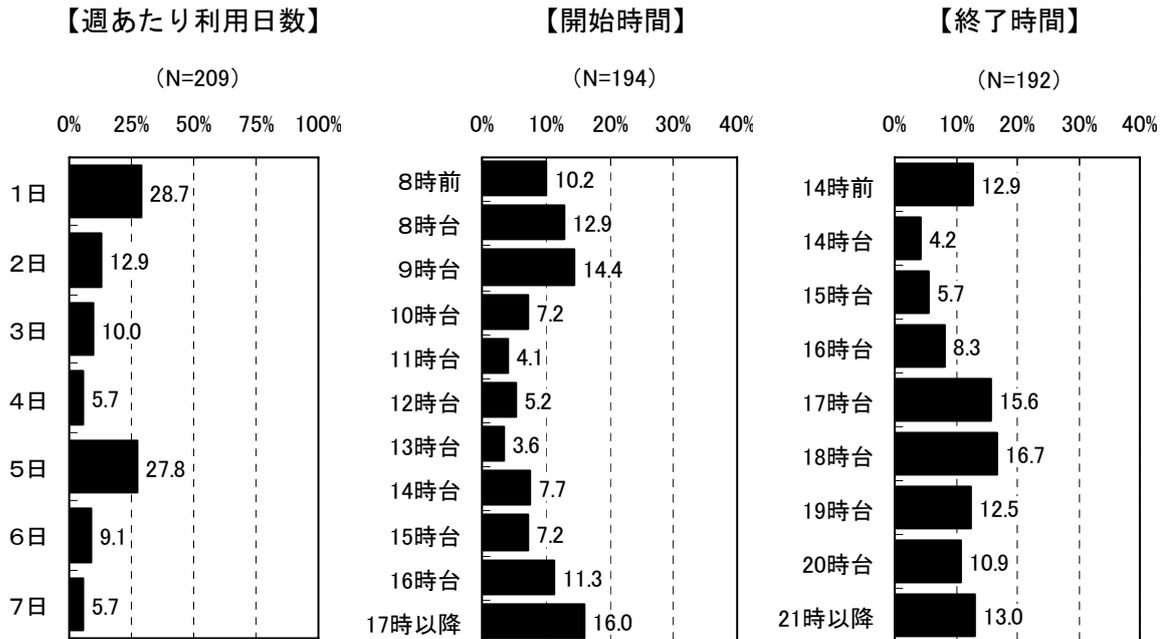
同居・近居の状況別にみると、「父同居（ひとり親家庭）」「祖父同居」「祖母同居」について，他の区分と比較して「日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」の割合が高くなっている。

家族類型別にみると、「ひとり親」について，他の区分と比較して「日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」の割合が高くなっている。

単位：%

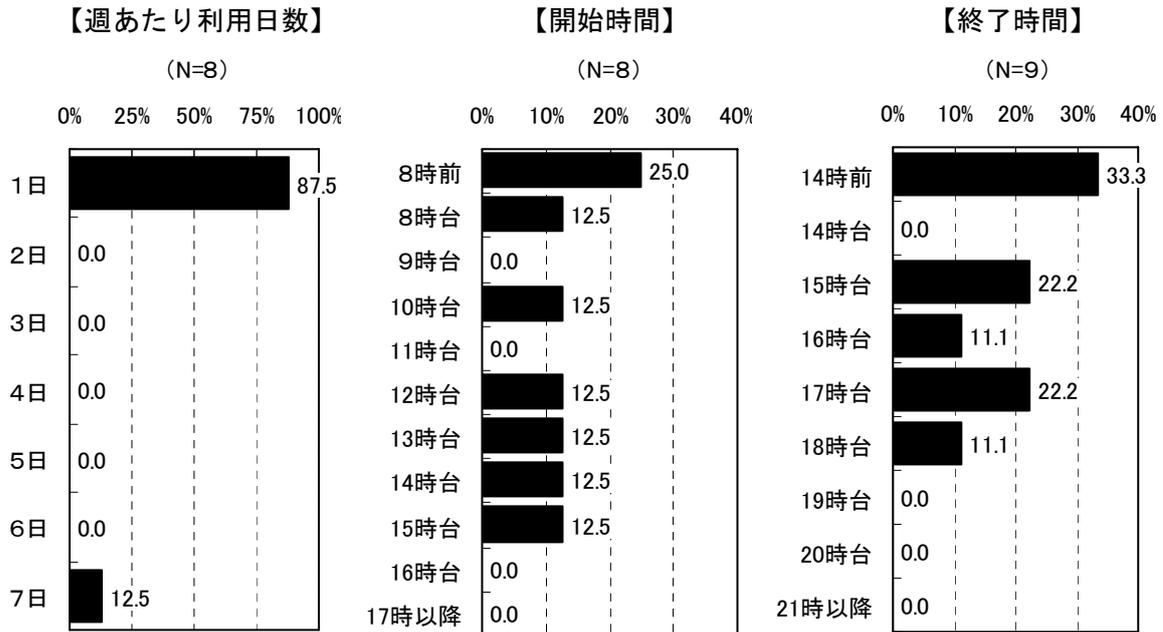
		回答者数 (人)	日常的に 子どもを預 けられる 祖父母等 の親族が いる	緊急時も しくは用事 の際には 子どもを預 けられる 祖父母等 の親族が いる	日常的に 子どもを預 けられる 友人・知人 がいる	緊急時も しくは用事 の際には 子どもを預 けられる 友人・知人 がいる	いずれも いない	不明・ 無回答
同居・ 近居の 状況別	父母同居	2,126	12.9	60.0	1.9	15.1	16.7	9.7
	父同居（ひとり親家庭）	9	44.4	44.4	-	22.2	22.2	11.1
	母同居（ひとり親家庭）	133	24.8	46.6	1.5	8.3	21.8	15.0
	祖父同居	193	33.2	54.9	3.1	7.3	9.3	13.0
	祖母同居	267	28.8	56.2	4.1	6.4	10.9	12.0
	祖父近居	1,019	17.7	74.1	1.6	11.9	5.4	10.2
	祖母近居	1,169	17.3	74.1	1.4	11.2	5.6	10.5
	その他	143	18.9	60.8	1.4	14.7	17.5	10.5
家族類 型別	ひとり親	121	26.4	45.5	1.7	9.1	23.1	12.4
	共働き	369	17.3	57.5	1.9	10.6	17.9	6.5
	フルタイム・パート	386	15.8	59.6	1.3	16.1	15.3	11.7
	専業主婦（夫）	1,203	10.4	61.7	2.2	16.3	16.9	9.2
	両親ともパート	11	-	63.6	-	27.3	9.1	-
	両親とも無業	13	7.7	46.2	-	23.1	15.4	23.1

【日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる】



※不明・無回答除く

【日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる】

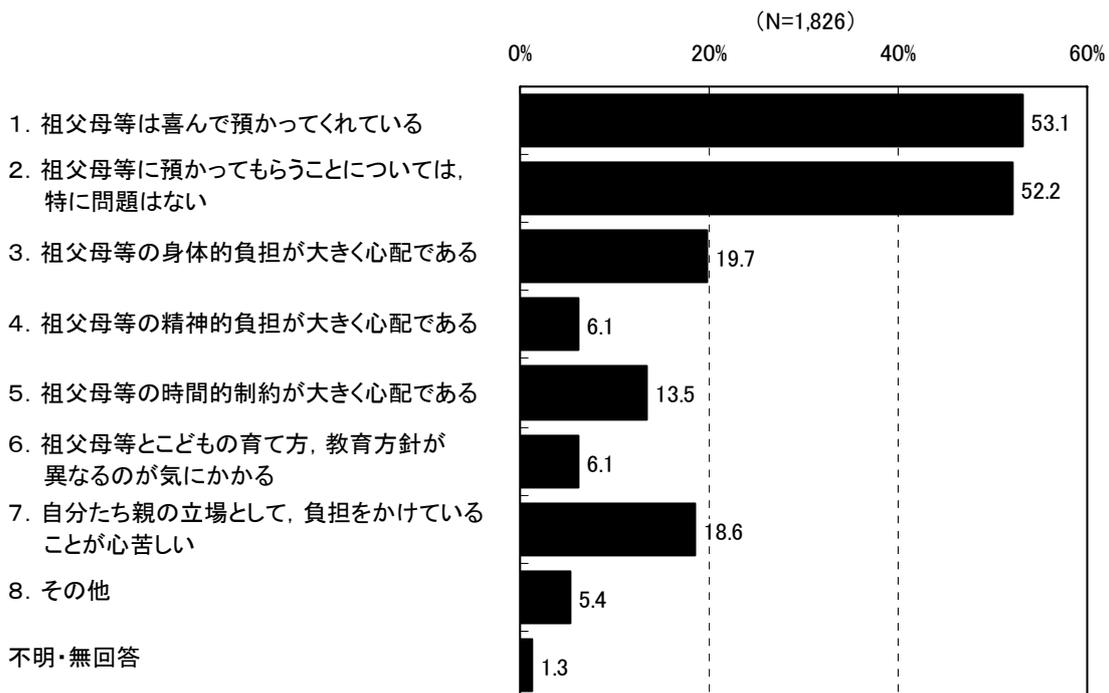


※不明・無回答除く

問7-1 問7で「1」または「2」を選ばれた方におうかがいします。

祖父母等に預かってもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべて）

「1. 祖父母等は喜んで預かってきている」、「2. 祖父母等に預かってもらうことについては、特に問題はない」が5割以上と高くなっている。



【同居・近居の状況別】

同居・近居の状況別にみると、「父同居（ひとり親家庭）」「祖母同居」については「祖父母等に預かってもらうことについては、特に問題はない」が最も高く、「母同居（ひとり親家庭）」については、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が最も高くなっている。

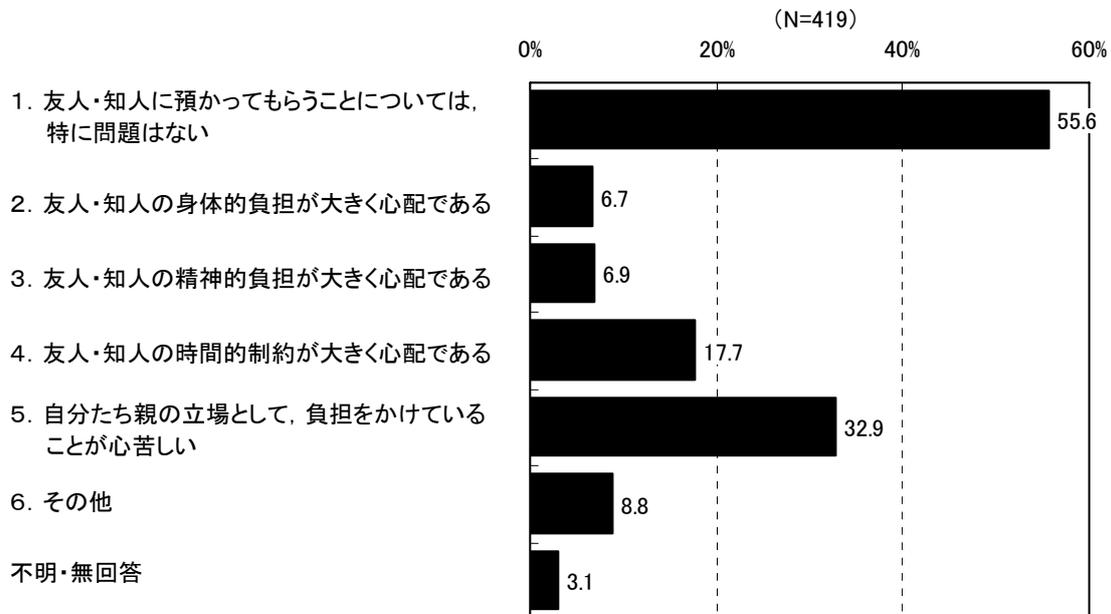
単位：%

		回答者数 (人)	祖父母等 は喜んで 預かってく れている	祖父母等 に預かっ てもらっ たことにつ いては、特 に問題 はない	祖父母等 の身体的 負担が大 きく心配 である	祖父母等 の精神的 負担が大 きく心配 である	祖父母等 の時間的 制約が大 きく心配 である	祖父母等 とこども の育て方 、教育方 針が異な るのが気 にかかる	自分たち 親の立場 として、負 担をかけ ているこ とが心苦 しい	その他	不明・ 無回答
同居・ 近居の 状況別	父母同居	1,431	55.0	52.8	18.2	5.2	13.0	6.0	16.9	5.3	0.9
	父同居(ひとり親家庭)	6	66.7	83.3	16.7	16.7	-	-	-	-	-
	母同居(ひとり親家庭)	82	34.1	40.2	39.0	24.4	30.5	8.5	41.5	3.7	1.2
	祖父同居	147	51.7	46.9	29.3	13.6	13.6	11.6	21.1	5.4	-
	祖母同居	202	49.0	49.5	28.7	10.9	14.9	9.9	20.8	6.4	1.0
	祖父近居	851	57.0	56.2	18.3	6.6	13.3	6.3	19.3	4.6	1.1
	祖母近居	973	55.9	55.3	18.8	6.3	13.1	6.3	18.9	4.5	1.3
	その他	97	60.8	52.6	22.7	10.3	14.4	8.2	26.8	10.3	1.0

問7-2 問7で「3」または「4」を選ばれた方におうかがいします。

友人や知人に預かってもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべて)

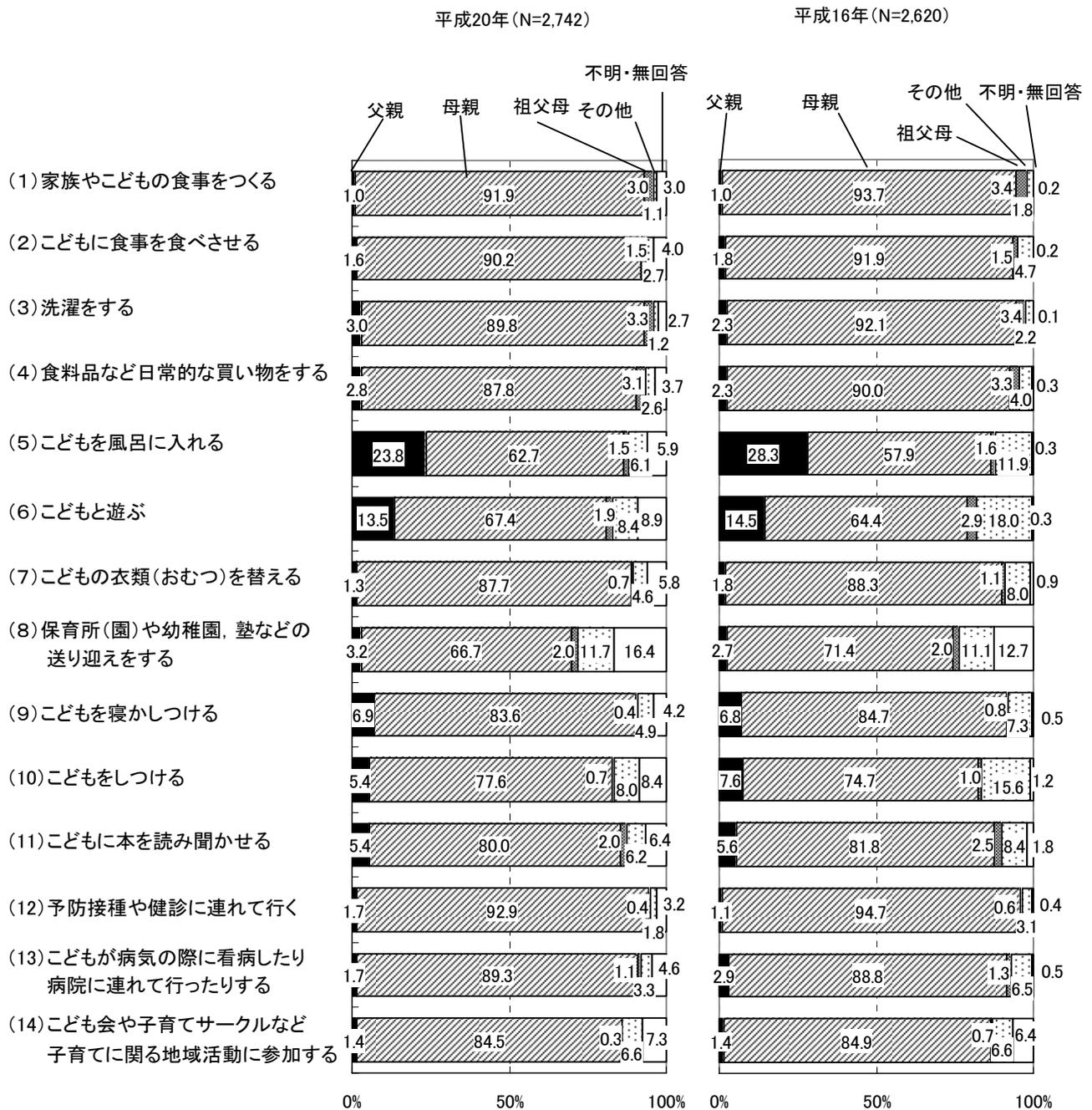
「1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」が55.6%、「5. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が32.9%と高くなっている。



問8 あて名のお子さんの育児をはじめ、家事等に主に関わっている方はどなたですか。

平成20年調査では、すべての項目において、「母親」が60%~90%台を占めるが、「(5) 子どもを風呂に入れる」と「(6) 子どもと遊ぶ」は、「父親」が10%~20%台と他の項目に比べて高くなっている。

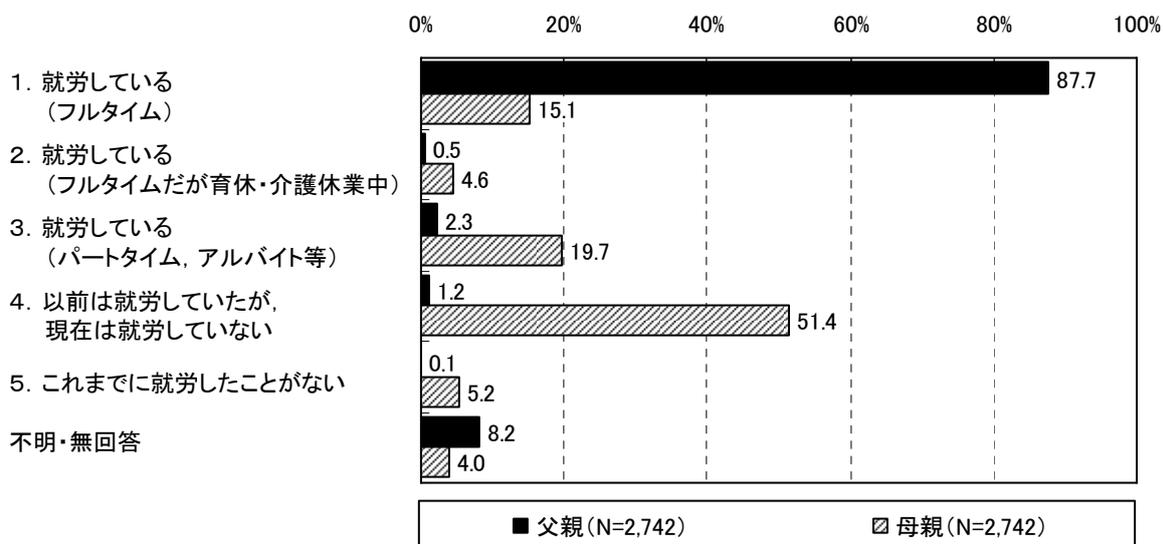
平成16年調査と比較すると、家庭での育児に関する多くの項目について「父親」の割合が低いか同程度となっているのに対して、「(3) 洗濯をする」「(4) 食料品など日常的な買い物をする」などについては高くなっている。



2 保護者の就労状況について

問9 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）おうかがいします。

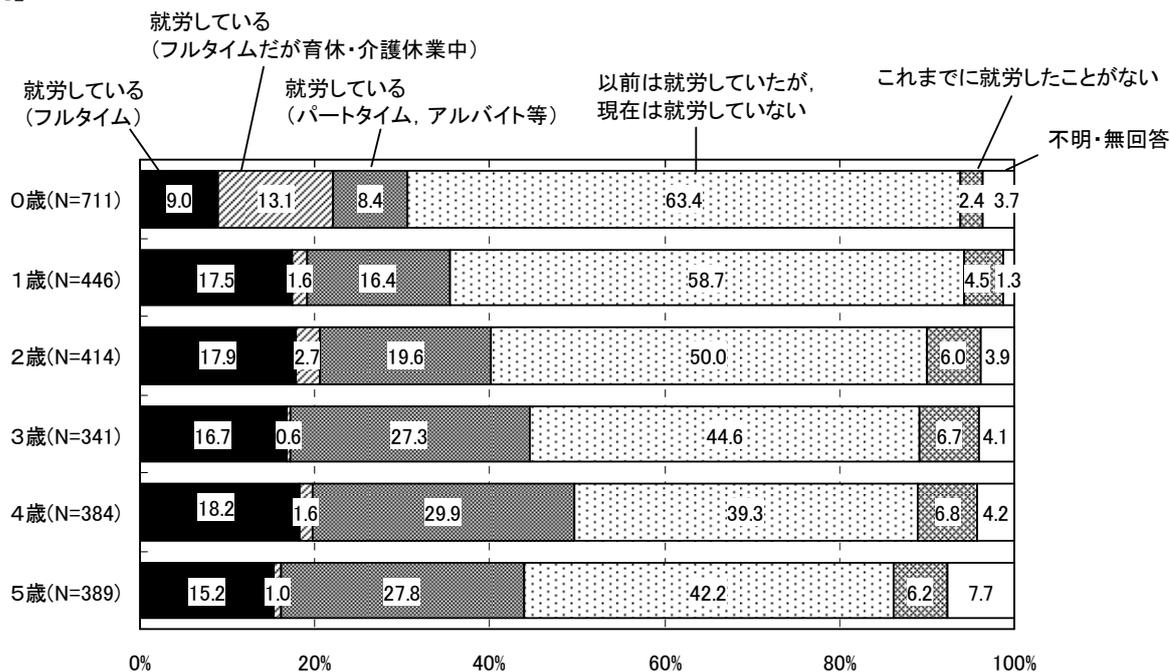
「父親」は「1. 就労している（フルタイム）」が87.7%と大半を占め、「母親」は「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」が51.4%と過半数を占めている。



【こどもの年齢別】

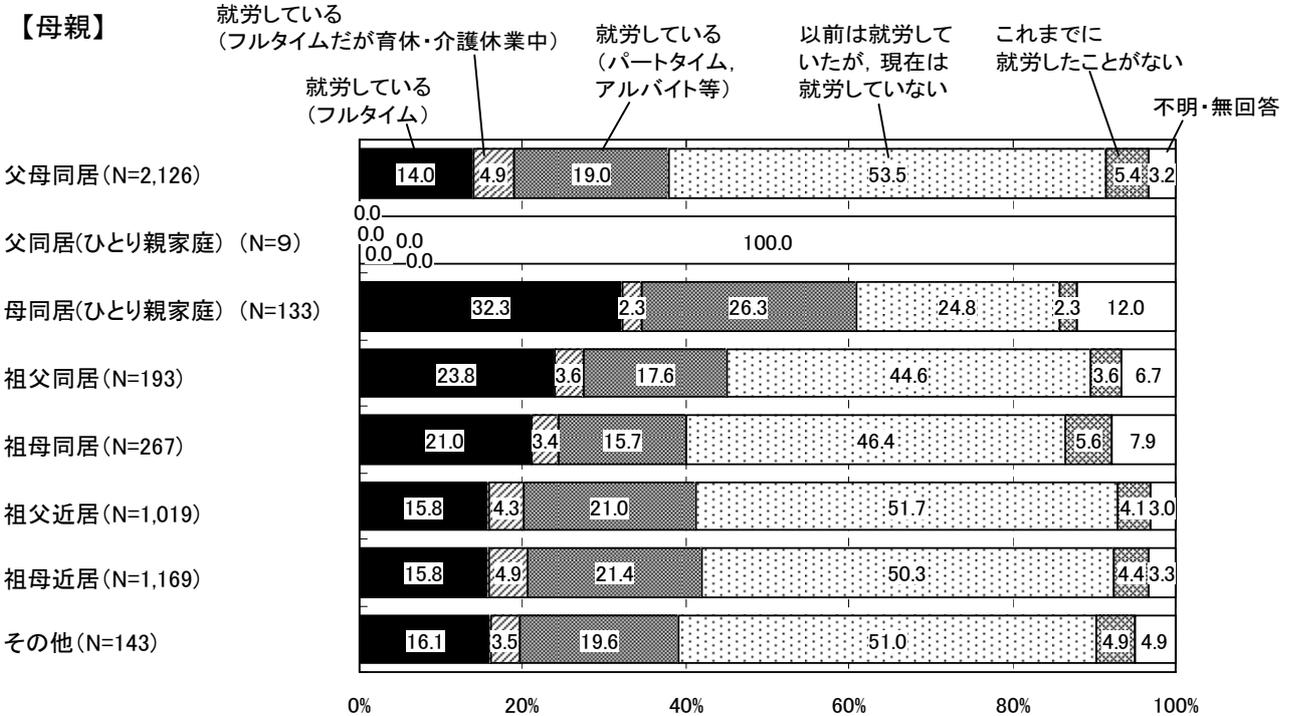
母親の就労状況についてこどもの年齢別にみると、年齢があがるにつれて「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が低くなる傾向がある。

【母親】



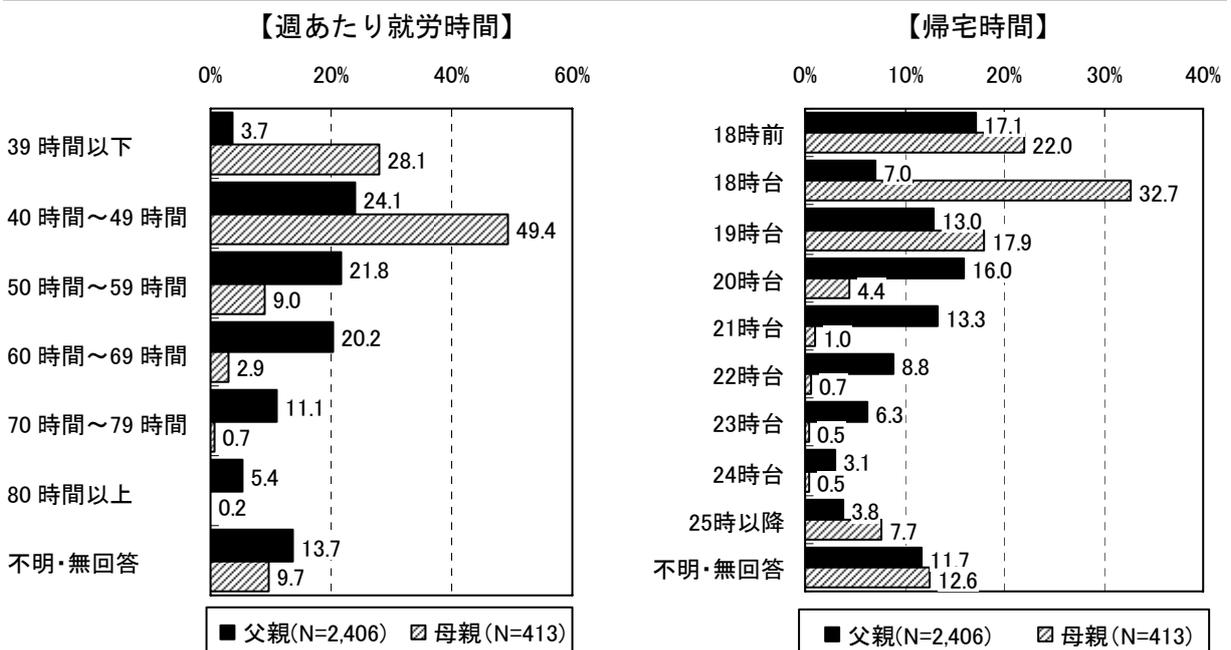
【同居・近居の状況別】

母親の就労状況について同居・近居の状況別にみると、「母同居（ひとり親家庭）」について、他の区分と比較して『就労している』（「就労している（フルタイム）」と「就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）」と「就労している（パートタイム、アルバイト等）」の合計）の割合が高くなっている。



①フルタイムで就労している保護者の状況

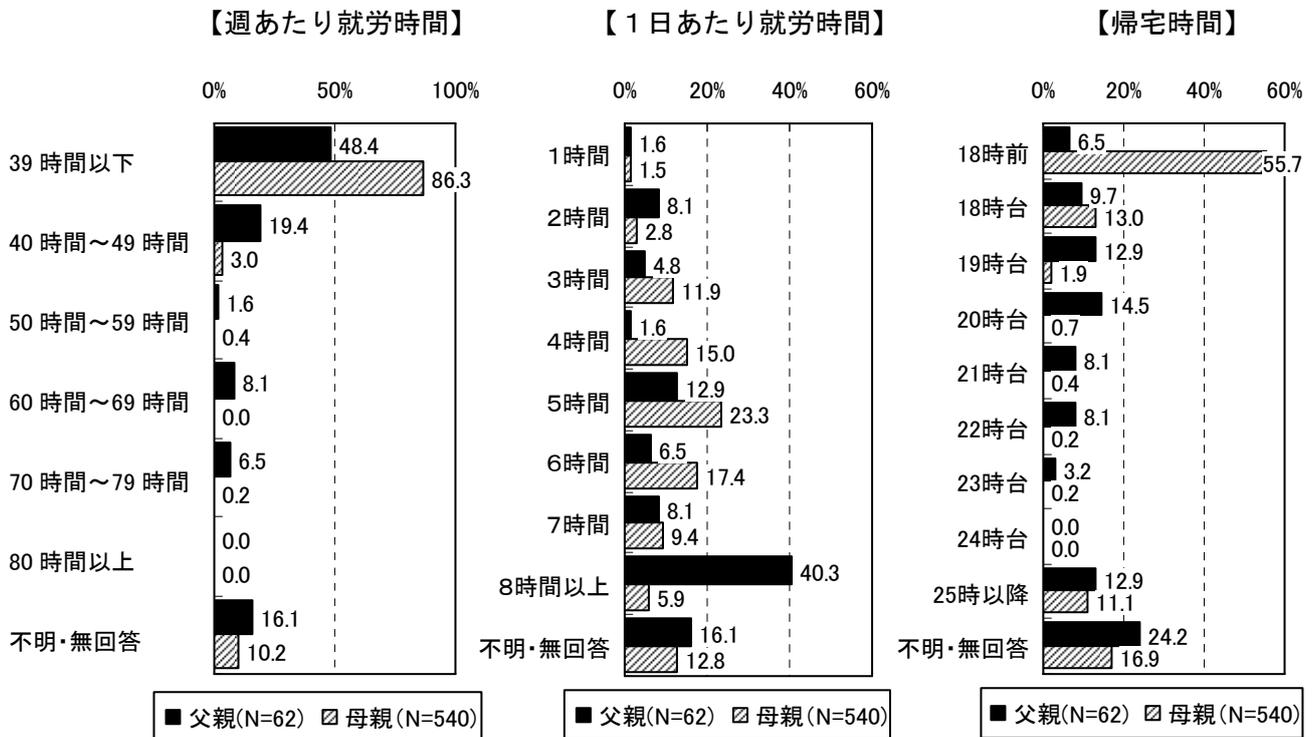
フルタイムの場合の1週間あたりの就労時間については、「母親」では「40時間～49時間」が約半数となっているのに対し、「父親」では50時間以上が半数以上となっている。それに比例して、帰宅時間についても、「母親」では「18時台」が最も高いのに対し、「父親」では「20時台」以降が約半数になっており、父親の帰宅時間が母親より遅くなっている。



②パートタイム、アルバイト等で就労している保護者の状況

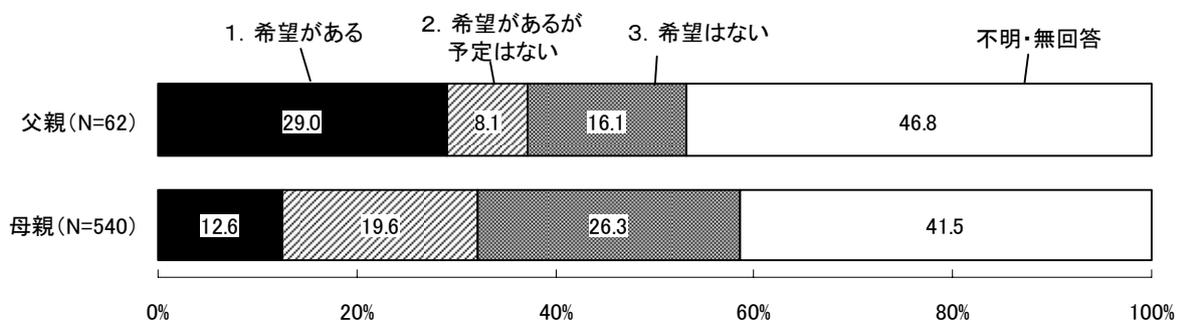
パートタイム、アルバイト等の場合の就労時間については、週あたりの就労時間は、「母親」「父親」ともに「39時間以下」が最も高いが、「父親」は40時間以上が3割以上となっている。

1日あたりの就労時間は、「父親」は8時間以上が約4割と高くなっているが、「母親」は4～6時間が約半数を占めている。帰宅時間は、「父親」は「20時台」が最も高くなっているのに対し、「母親」は「18時前」が半数以上となっている。



③パートタイム、アルバイト等で就労している保護者のフルタイムへの転換希望

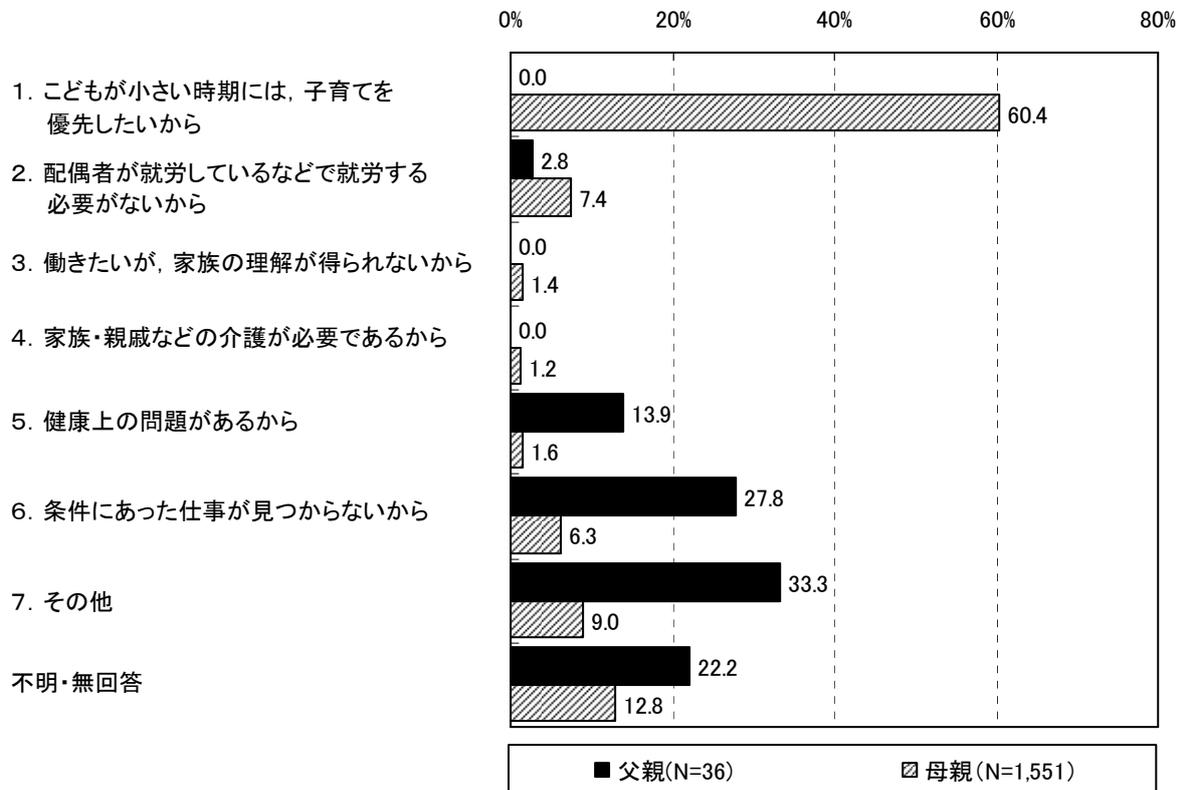
フルタイムへの転換希望については、「父親」が「1. 希望がある」が29.0%と高いのに対し、「母親」は「3. 希望はない」が26.3%と高くなっている。



問9-1 問9で「4」、「5」を選ばれた方におうかがいします。

就労されていない理由について、お答えください。

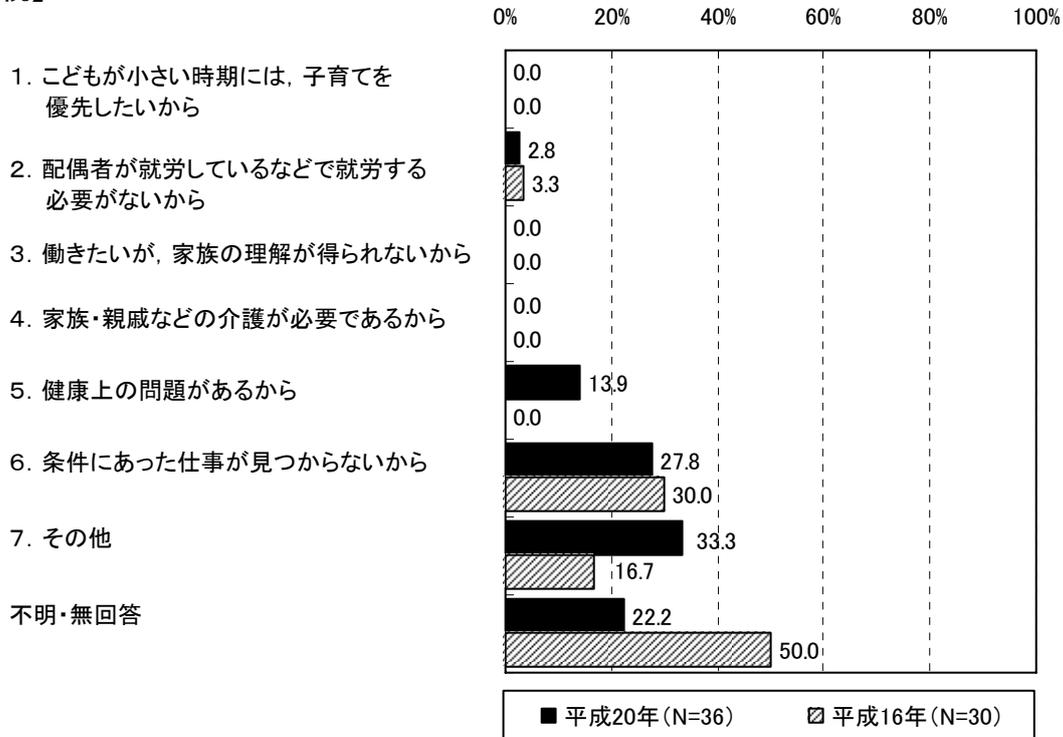
就労されていない理由については、「父親」では「6. 条件にあった仕事が見つからないから」が27.8%と最も高くなっているのに対し、「母親」では「1. こどもが小さい時期には、子育てを優先したいから」が60.4%と最も高くなっている。



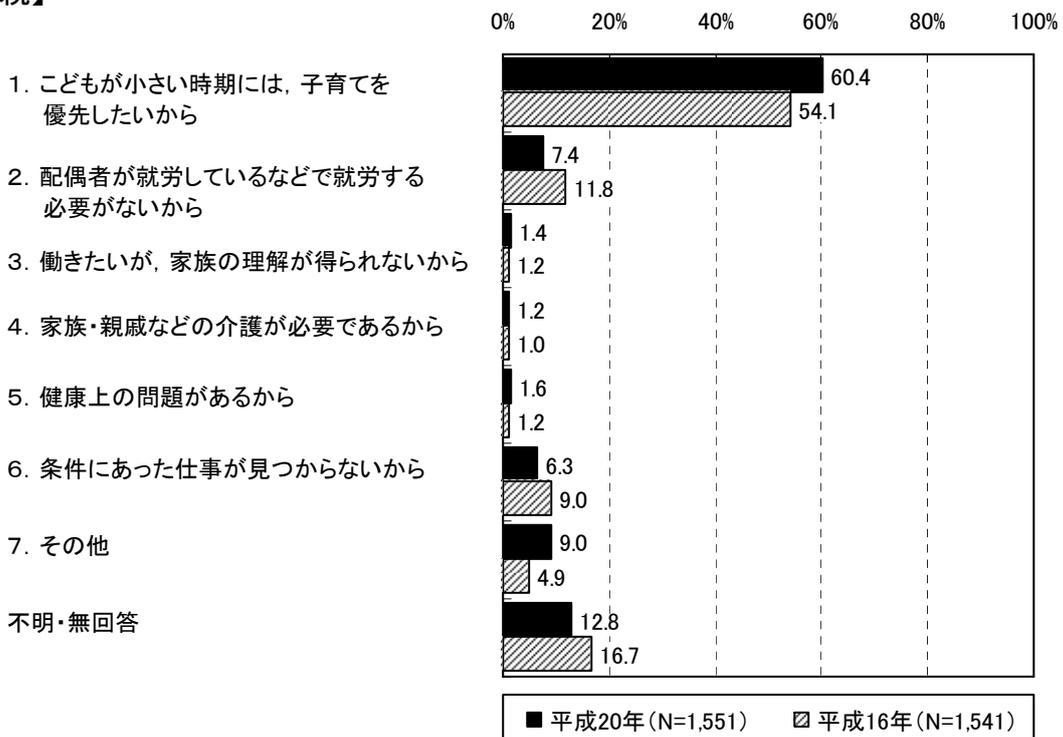
【平成16年調査との比較】

平成16年調査と比較すると、「父親」については「5. 健康上の問題があるから」が0.0%から13.9%と高くなっている。また、「母親」については「2. 配偶者が就労しているなどで就労する必要がないから」が11.8%から7.4%と、4.4ポイント低くなっている。

【父親】



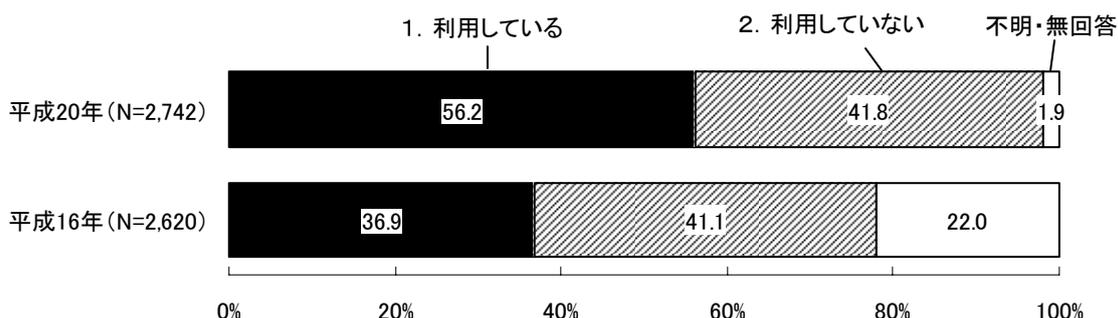
【母親】



3 子育て支援施策・サービスの利用について

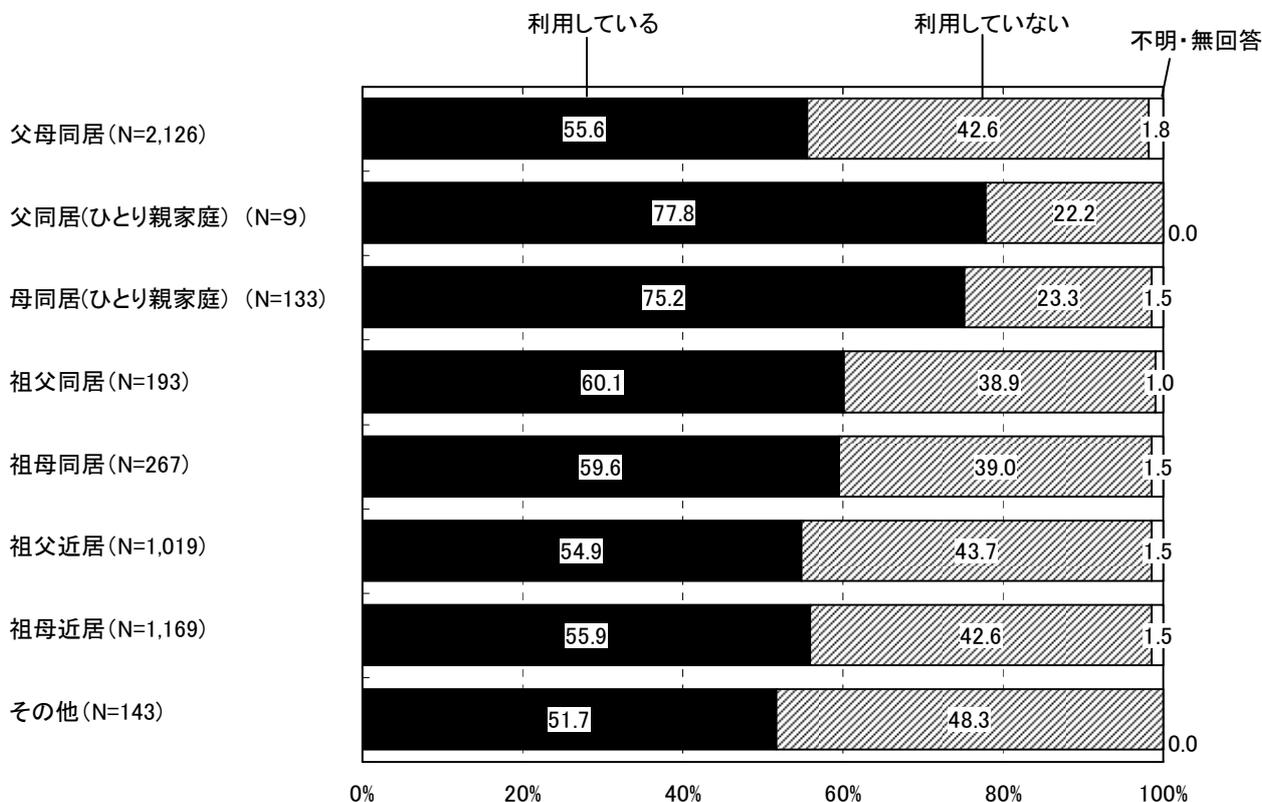
問 10 平日に、あて名のお子さんは保育所・幼稚園などの子育て支援施策や子育て支援サービスを利用していますか。

「1. 利用している」が56.2%、「2. 利用していない」が41.8%となっている。
 平成16年調査と比較すると、「1. 利用している」が19.3ポイント高くなっている。



【同居・近居の状況別】

同居・近居の状況別にみると、「父同居（ひとり親家庭）」「母同居（ひとり親家庭）」において、「利用している」が7割を超えて高くなっている。

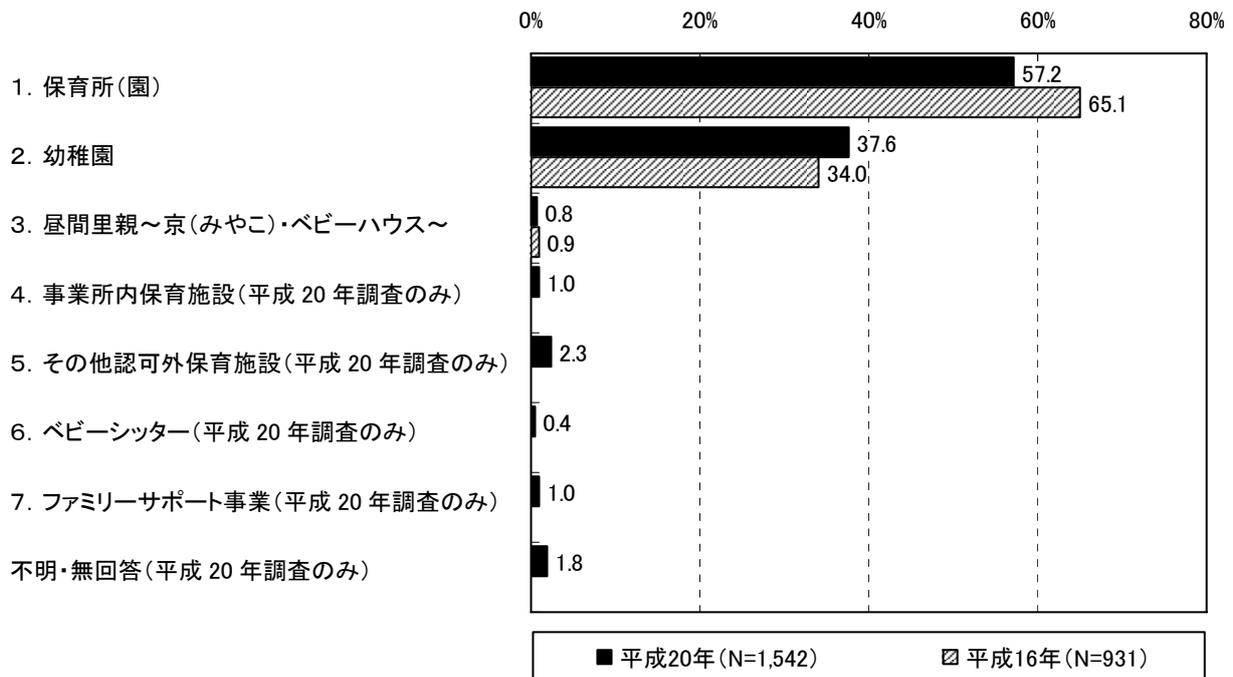


問 10-1 問 10 で「1」を選ばれた方におうかがいします。

あて名のお子さんは、現在、どのような子育て支援施策・サービスをどれくらい利用していますか。（あてはまるものすべて）

また、それぞれの利用時間をお答えください。

「1. 保育所（園）」が57.2%と最も高く、次いで「2. 幼稚園」が37.6%となっている。平成 16 年調査と比較すると、「1. 保育所（園）」が 7.9 ポイント低くなっているのに対して、「2. 幼稚園」は 3.6 ポイント高くなっている。



【利用日数・利用時間】

週あたりの利用日数は、「保育所（園）」「幼稚園」「昼間里親～京（みやこ）・ベビーハウス～」「事業所内保育施設」「その他認可外保育施設」のいずれも「5日」が最も高くなっている。

開始時間は、「保育所（園）」「事業所内保育施設」では「8時台」が最も高く、「幼稚園」「昼間里親～京（みやこ）・ベビーハウス～」「その他認可外保育施設」では「9時台」が最も高くなっている。

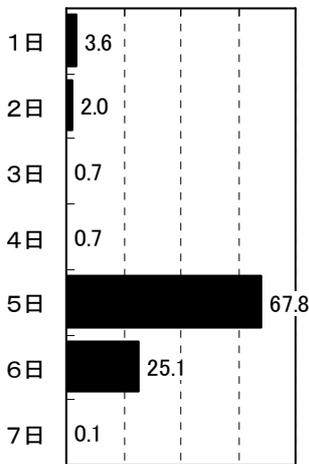
終了時間は、「保育所（園）」「昼間里親～京（みやこ）・ベビーハウス～」「その他認可外保育施設」では「17時台」が最も高く、「幼稚園」では「14時台」が最も高くなっている。

①保育所（園）

【週あたり利用日数】

(N=858)

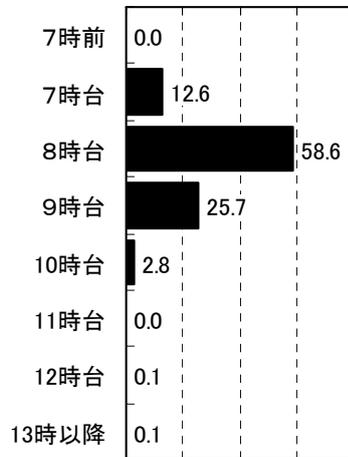
0% 20% 40% 60% 80%



【利用開始時間】

(N=870)

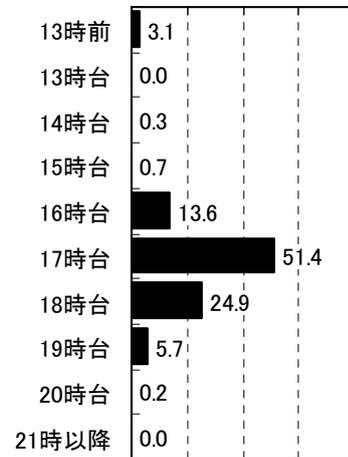
0% 20% 40% 60% 80%



【利用終了時間】

(N=874)

0% 20% 40% 60% 80%

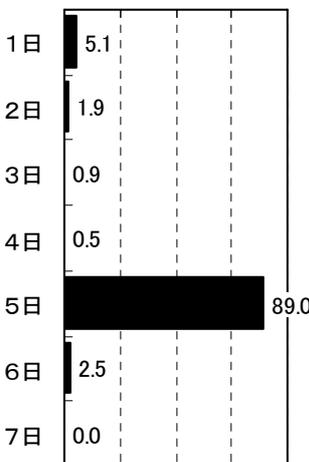


②幼稚園

【週あたり利用日数】

(N=566)

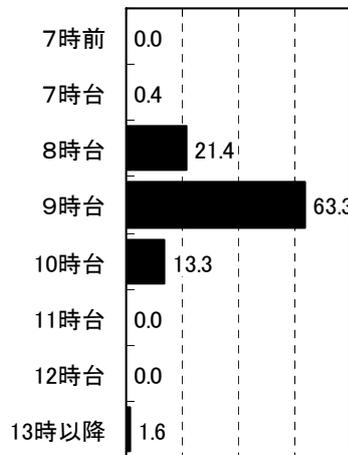
0% 25% 50% 75% 100%



【利用開始時間】

(N=570)

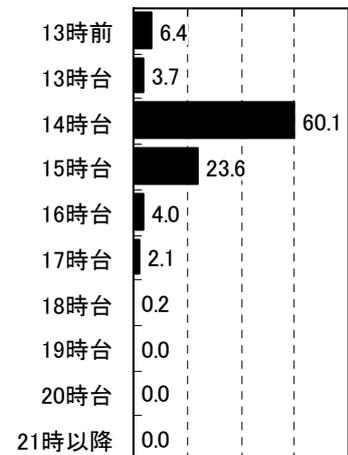
0% 20% 40% 60% 80%



【利用終了時間】

(N=569)

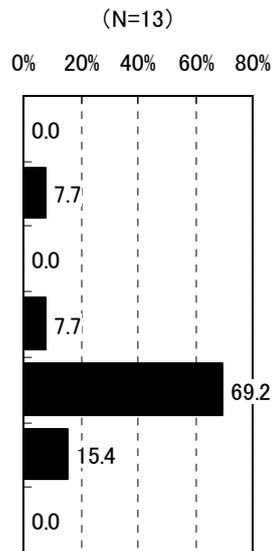
0% 20% 40% 60% 80%



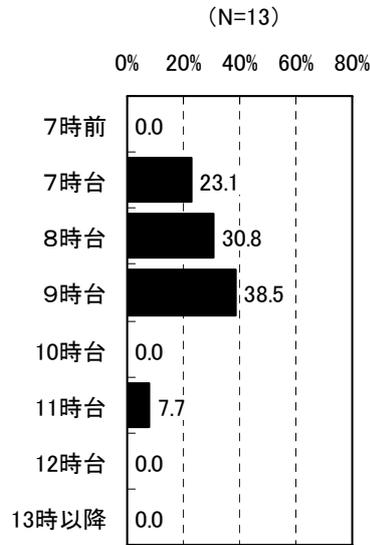
※不明・無回答除く

③ 昼間里親～京（みやこ）・ベビーハウス～

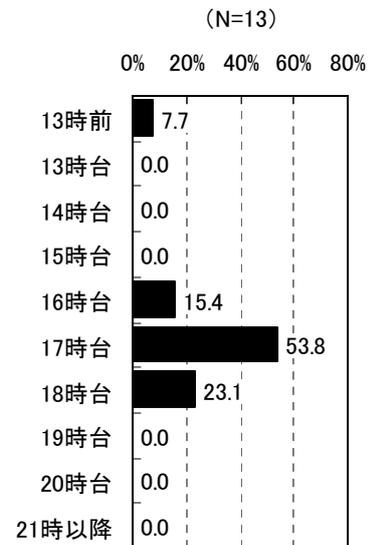
【週あたり利用日数】



【利用開始時間】

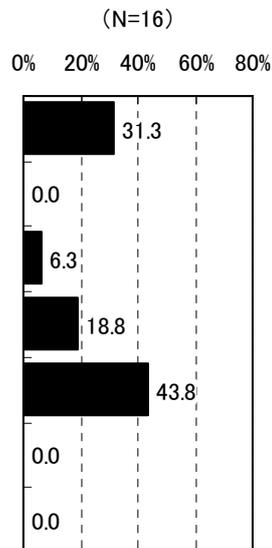


【利用終了時間】

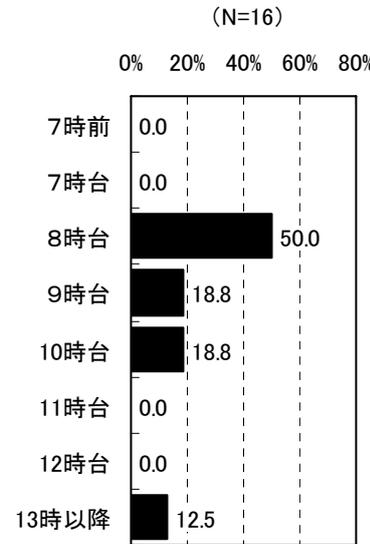


④ 事業所内保育施設

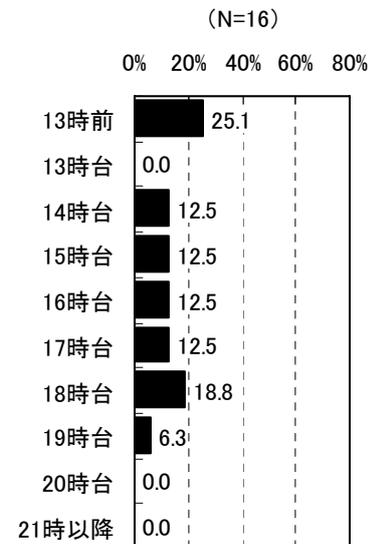
【週あたり利用日数】



【利用開始時間】



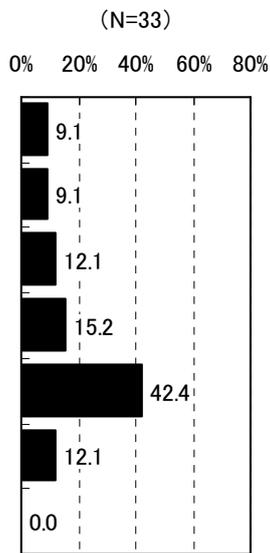
【利用終了時間】



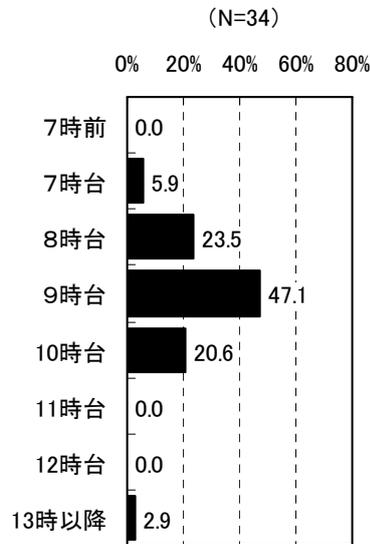
※不明・無回答除く

⑤その他認可外保育施設

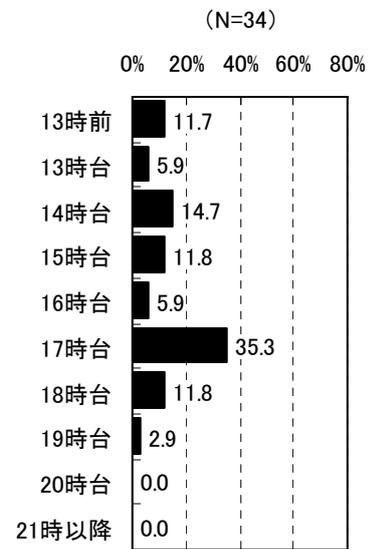
【週あたり利用日数】



【利用開始時間】

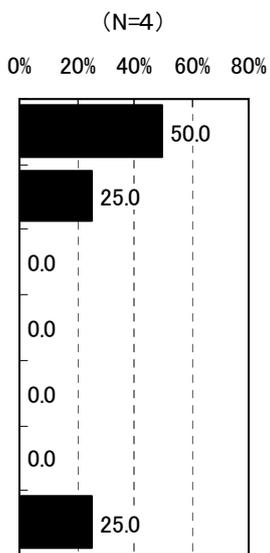


【利用終了時間】

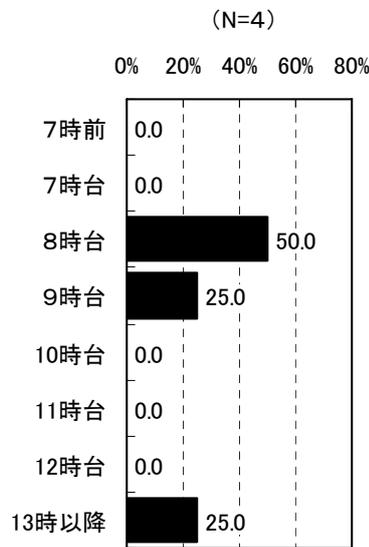


⑥ベビーシッター

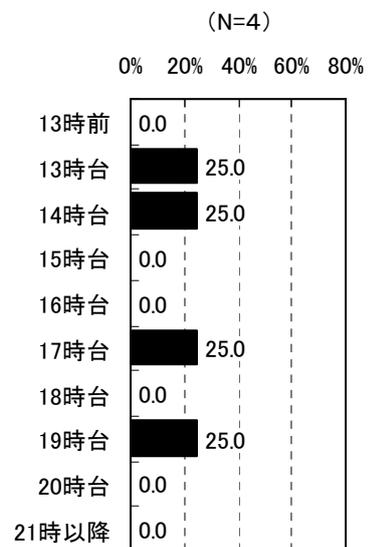
【週あたり利用日数】



【利用開始時間】



【利用終了時間】

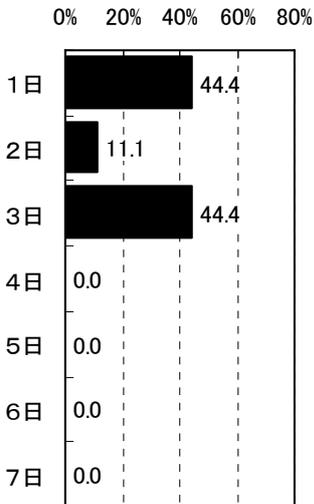


※不明・無回答除く

⑦ファミリーサポート事業

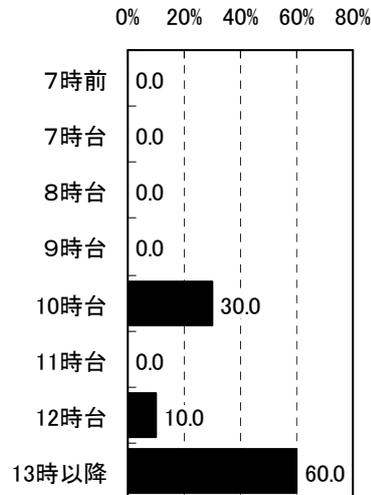
【週あたり利用日数】

(N=9)



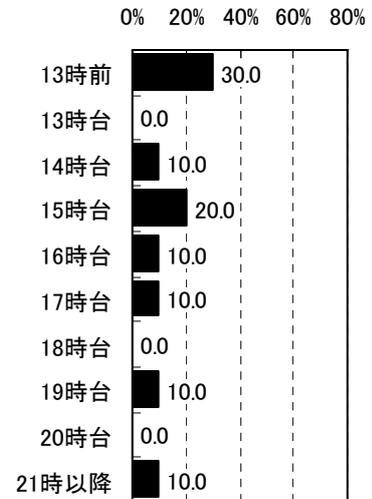
【利用開始時間】

(N=10)



【利用終了時間】

(N=10)



※不明・無回答除く

【こどもの年齢別，家族類型別】

こどもの年齢別にみると、「0歳」～「2歳」は「保育所（園）」、「3歳」～「5歳」は「幼稚園」が最も高くなっている。

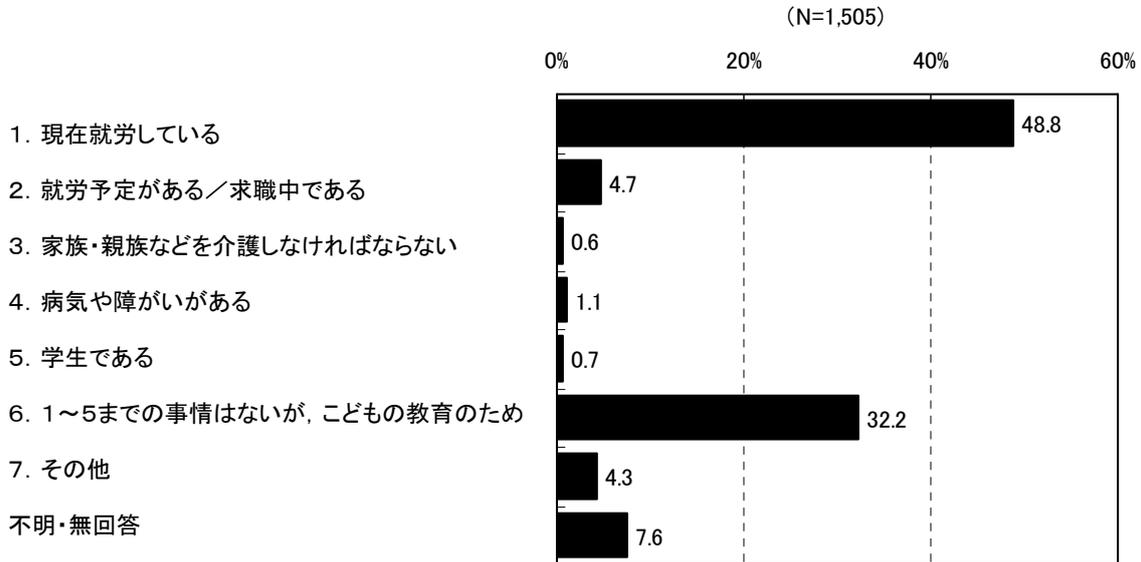
家族類型別にみると、「専業主婦（夫）」については，他の区分と比較して「幼稚園」の割合が高くなっている。

単位：%

		回答者数 (人)	保育所 (園)	幼稚園	昼間里親 ～京(みやこ)・ベビー ハウス～	事業所内 保育施設	その他認 可外保育 施設	ベビーシッ ター	ファミリー サポート事 業	不明・ 無回答
年 齢 別	0歳	136	74.3	10.3	2.9	5.9	4.4	1.5	3.7	0.7
	1歳	182	81.9	6.6	2.2	1.6	4.9	1.1	2.2	3.3
	2歳	227	72.7	20.7	1.8	0.9	4.0	0.4	-	3.1
	3歳	299	45.8	51.2	-	0.7	1.7	0.3	0.3	1.7
	4歳	336	47.3	50.6	0.3	-	1.5	-	0.3	1.2
	5歳	329	46.2	52.0	-	0.3	0.3	-	0.9	1.5
家 族 類 型 別	ひとり親	93	84.9	8.6	2.2	1.1	3.2	1.1	2.2	1.1
	共働き	281	85.1	8.2	2.8	1.1	2.5	0.7	1.4	0.7
	フルタイム・パート	320	72.2	21.6	0.6	1.6	3.1	0.3	0.6	1.6
	専業主婦(夫)	493	23.7	71.6	-	1.2	1.8	-	0.8	2.2
	両親ともパート	10	80.0	20.0	-	-	-	-	-	-
	両親とも無業	5	80.0	20.0	-	-	-	-	-	-

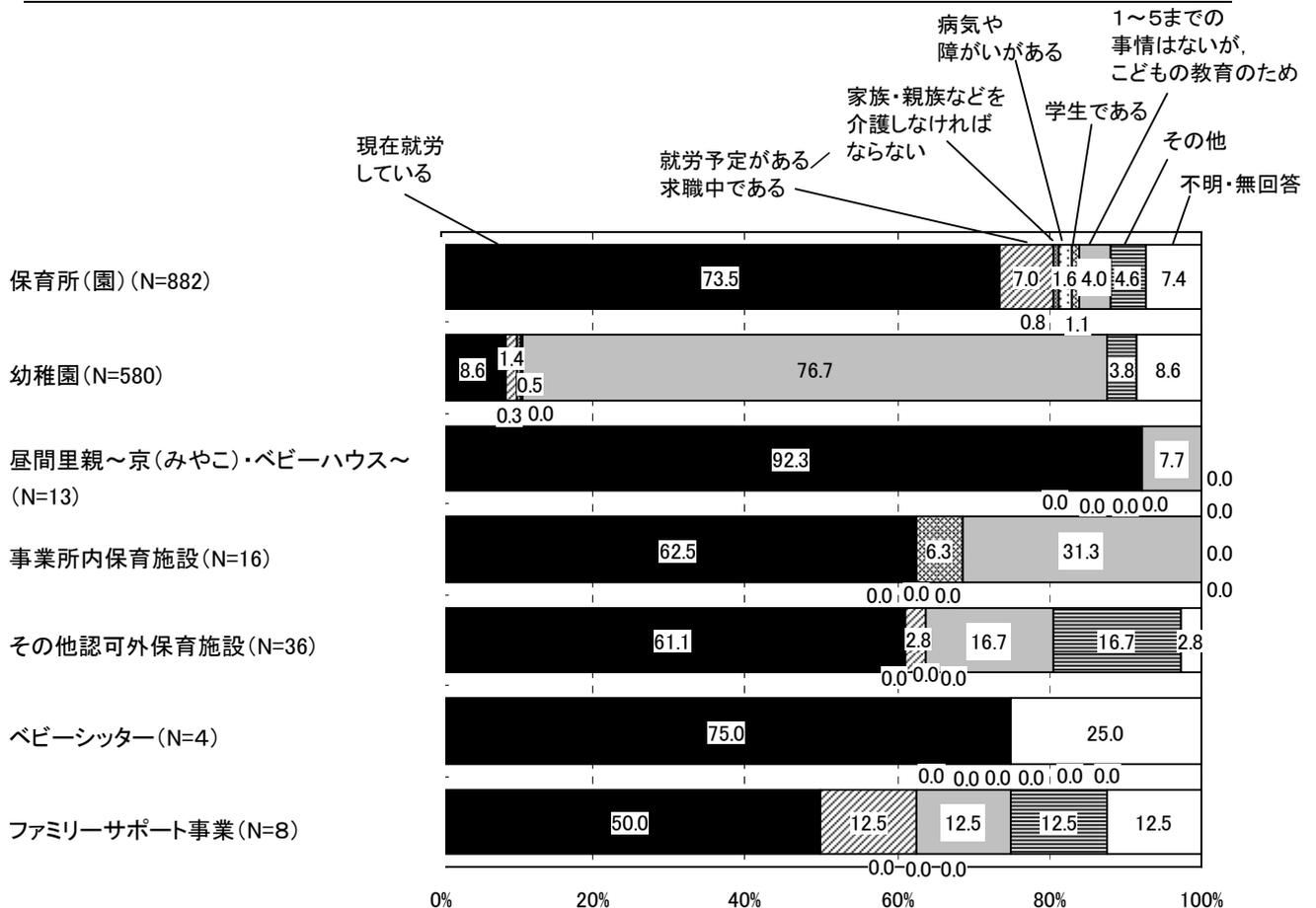
問 10-2～問 10-4 は、問 10-1 で「1」～「5」を選ばれた方におうかがいします。
 問 10-2 子育て支援施策・サービスを利用されている理由についておうかがいします。

「1. 現在就労している」が48.8%と最も高いが、「6. 1～5までの事情はないが、こどもの教育のため」に利用されている方も32.2%と高くなっている。



【利用施設別】

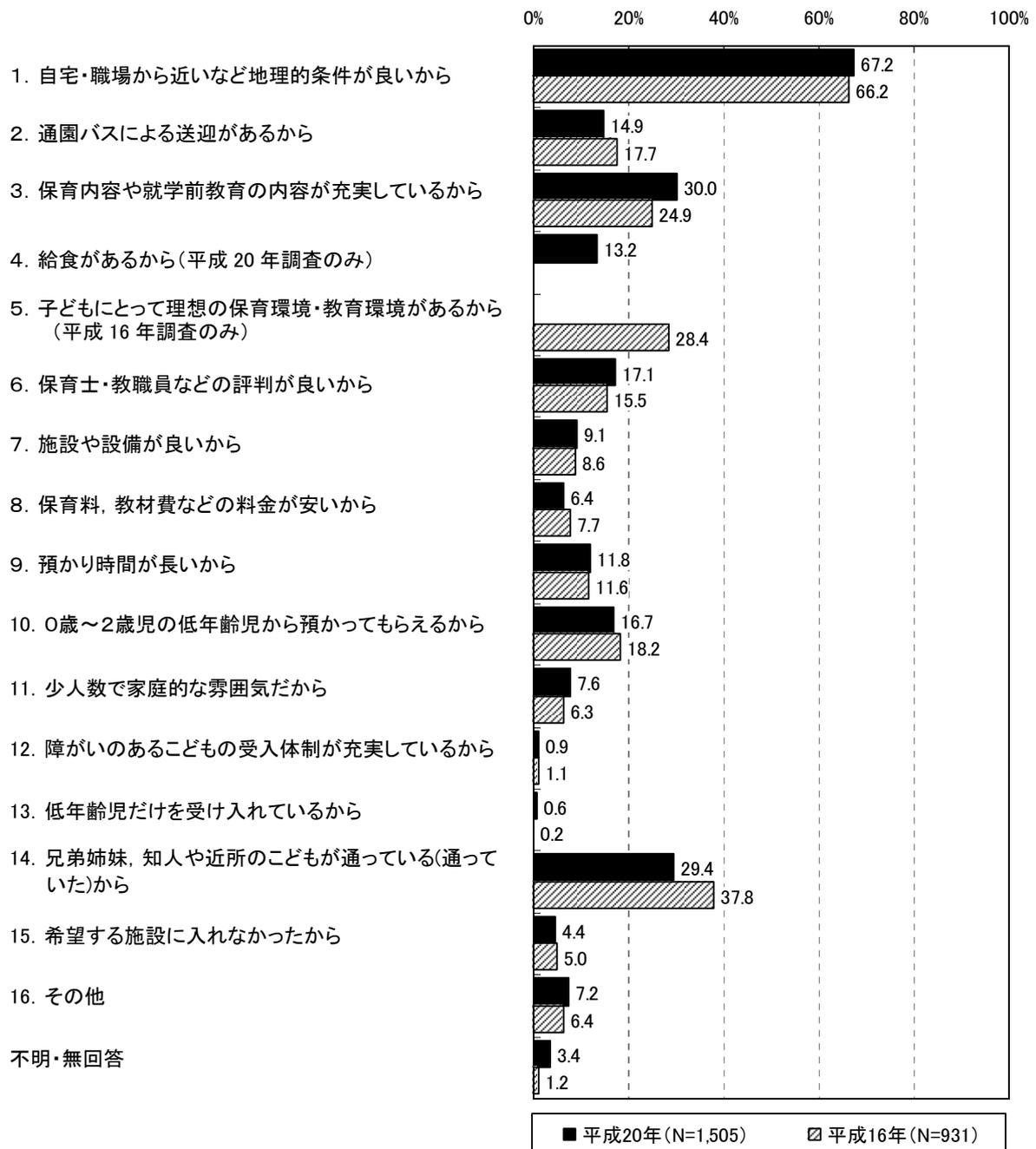
利用施設別にみると、「幼稚園」については、他の区分と比較して「1～5までの事情はないが、こどもの教育のため」の割合が高くなっている。



問 10-3 現在、お子さんが通っている施設を選択された理由は何ですか。(主な理由 3 つまで)

施設を選択された理由については、「1. 自宅・職場から近いなど地理的条件が良いから」が67.2%と最も高く、次いで「3. 保育内容や就学前教育の内容が充実しているから」が30.0%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



【こどもの年齢別，利用施設別】

こどもの年齢別にみると，どの区分においても「自宅・職場から近いなど地理的条件が良いから」の割合が最も高くなっている。

利用施設別にみると，「幼稚園」において他の区分と比較して「通園バスによる送迎があるから」の割合が高くなっている。

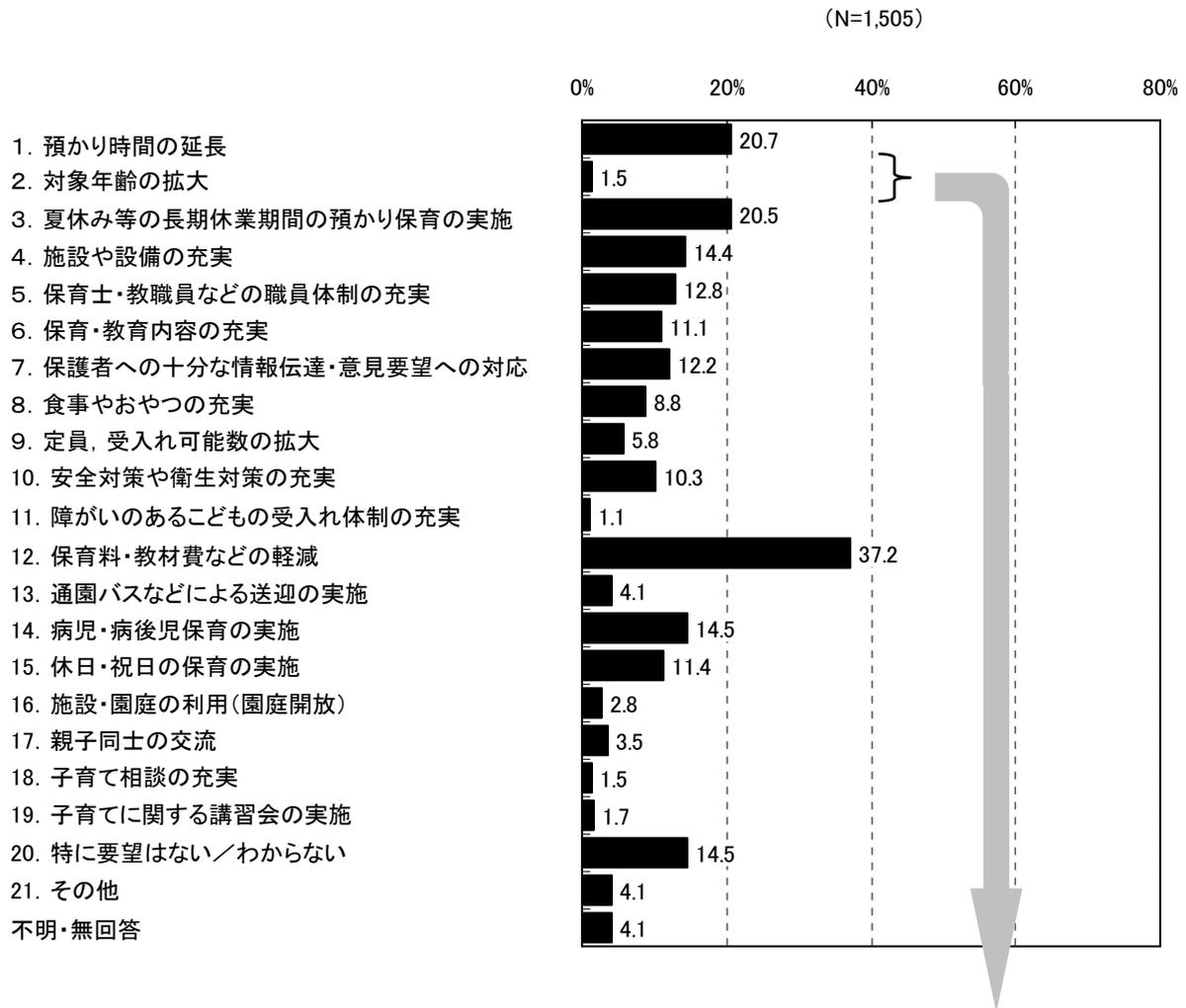
単位：％

	回答者数(人)	自宅・職場から近いなど地理的条件が良いから	通園バスによる送迎があるから	保育内容や就学前教育の内容が充実しているから	給食があるから	保育士・教職員などの評判が良いから	施設や設備が良いから	保育料，教材費などの料金が安いから	預かり時間が長いから	
年齢別	0歳	131	77.1	3.1	18.3	9.2	13.7	9.9	6.1	9.2
	1歳	173	77.5	2.9	18.5	11.0	13.9	4.0	3.5	15.0
	2歳	220	70.9	6.8	23.6	10.5	17.3	7.7	0.9	14.1
	3歳	293	65.2	20.8	37.2	17.4	20.8	10.9	7.8	10.2
	4歳	332	61.1	20.2	32.2	14.2	17.5	11.7	9.3	11.4
	5歳	323	64.1	20.7	34.7	13.9	16.1	8.0	8.0	10.2
利用施設別	保育所(園)	882	77.1	3.5	25.5	13.9	17.5	5.8	1.6	16.2
	幼稚園	580	52.6	33.1	38.4	12.6	17.4	14.7	12.9	5.2
	屋間里親～京(みやこ)・ベビーハウス～	13	76.9	—	15.4	—	23.1	—	7.7	—
	事業所内保育施設	16	68.8	—	12.5	6.3	—	18.8	18.8	12.5
	その他認可外保育施設	36	55.6	11.1	19.4	11.1	8.3	2.8	13.9	8.3
	ベビーシッター	4	100.0	—	—	—	—	25.0	—	—
	ファミリーサポート事業	8	50.0	—	37.5	25.0	37.5	—	12.5	12.5

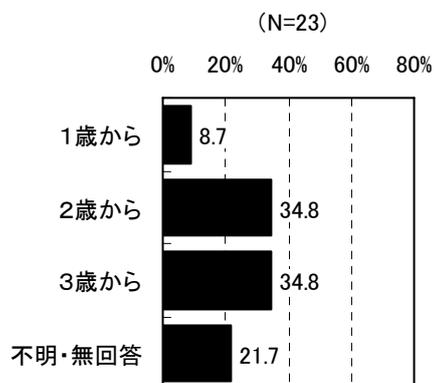
	回答者数(人)	0歳～2歳児の低年齢児から預かってもらえるから	少数で家庭的な雰囲気だから	障がいのあるこどもの受入体制が充実しているから	低年齢児だけを受け入れているから	兄弟姉妹，知人や近所のこどもが通っている(通っていた)から	希望する施設に入らなかったから	その他	不明・無回答	
年齢別	0歳	131	31.3	9.2	—	1.5	21.4	7.6	9.2	3.8
	1歳	173	33.5	5.2	0.6	—	22.5	6.4	5.8	2.9
	2歳	220	22.3	6.4	1.4	2.7	28.2	4.1	10.9	4.1
	3歳	293	11.3	10.2	0.7	0.3	32.4	4.4	4.4	2.7
	4歳	332	11.1	5.7	0.9	—	31.6	3.9	6.9	2.7
	5歳	323	8.0	8.7	1.5	—	31.9	3.1	7.1	4.3
利用施設別	保育所(園)	882	25.9	5.3	1.1	0.7	24.9	5.8	7.3	3.1
	幼稚園	580	1.9	9.7	0.5	—	38.3	1.2	6.7	4.3
	屋間里親～京(みやこ)・ベビーハウス～	13	23.1	53.8	—	15.4	15.4	—	15.4	—
	事業所内保育施設	16	37.5	6.3	6.3	6.3	12.5	6.3	6.3	—
	その他認可外保育施設	36	19.4	16.7	—	—	11.1	19.4	13.9	2.8
	ベビーシッター	4	75.0	—	—	—	25.0	—	—	—
	ファミリーサポート事業	8	—	12.5	—	—	25.0	12.5	—	12.5

問 10-4 現在、お子さんが通っている保育所（園）や幼稚園等に関してどのような要望をお持ちですか。（主な要望3つまで）

通っている保育所（園）や幼稚園等への要望については、「12. 保育料・教材費などの軽減」が37.2%と最も高く、次いで「1. 預かり時間の延長」が20.7%となっている。



【「対象年齢の拡大」と答えた人が、希望している年齢】



【こどもの年齢別，利用施設別】

こどもの年齢別にみると，すべての区分で「保育料・教材費などの軽減」が最も高くなっている。

利用施設別にみると，「保育所（園）」「幼稚園」「その他認可外保育施設」「ファミリーサポート事業」で「保育料・教材費などの軽減」が最も高くなっている。

単位：%

		回答者数(人)	預かり時間の延長	対象年齢の拡大	夏休み等の長期休業期間の預かり保育の実施	施設や設備の充実	保育士・教職員などの職員体制の充実	保育・教育内容の充実	保護者への十分な情報伝達・意見要望への対応	食事やおやつの実施	定員，受入れ可能数の拡大	安全対策や衛生対策の充実	障がいのあるこどもへの受入れ体制の充実
年齢別	0歳	131	21.4	1.5	8.4	9.9	13.7	13.0	6.9	3.8	12.2	8.4	-
	1歳	173	18.5	1.2	11.6	11.6	12.1	12.7	9.2	7.5	13.3	8.7	-
	2歳	220	15.0	1.8	18.2	16.8	16.8	10.5	9.1	8.6	7.3	10.0	0.9
	3歳	293	23.2	1.0	24.2	18.4	9.6	9.9	11.9	9.9	2.7	12.3	1.7
	4歳	332	21.4	1.5	25.6	14.2	12.7	10.5	13.3	10.2	3.0	10.5	1.8
	5歳	323	23.8	2.2	23.2	13.6	12.4	12.1	17.3	9.6	4.3	10.5	0.9
利用施設別	保育所(園)	882	14.7	0.7	14.1	14.3	14.7	11.3	11.5	8.7	9.2	9.0	0.9
	幼稚園	580	30.9	2.9	31.6	14.0	9.8	10.5	13.3	9.3	0.9	12.2	1.4
	屋間里親～京(みやこ)・ベビーハウス～	13	7.7	-	23.1	15.4	15.4	-	7.7	7.7	15.4	-	-
	事業所内保育施設	16	25.0	-	6.3	18.8	12.5	18.8	6.3	-	-	12.5	-
	その他認可外保育施設	36	22.2	5.6	13.9	22.2	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	11.1	-
	ベビーシッター	4	25.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	25.0	-
	ファミリーサポート事業	8	25.0	-	12.5	12.5	-	-	-	-	-	25.0	12.5

		回答者数(人)	保育料・教材費などの軽減	通園バスなどによる送迎の実施	病児・病後児保育の実施	休日・祝日の保育の実施	施設・園庭の利用(園庭開放)	親子同士の交流	子育て相談の充実	子育てに関する講習会の実施	特に要望はない／わからない	その他	不明・無回答
年齢別	0歳	131	38.9	3.8	20.6	19.1	2.3	2.3	0.8	1.5	13.7	5.3	6.9
	1歳	173	34.7	6.4	23.7	15.6	2.9	4.0	2.3	1.2	12.7	5.2	4.0
	2歳	220	39.5	4.1	14.1	11.8	3.2	4.5	2.3	2.3	10.0	3.6	6.4
	3歳	293	36.9	3.4	11.9	9.2	2.7	3.8	1.0	2.4	15.4	4.4	2.7
	4歳	332	37.7	5.1	13.3	9.9	3.0	3.0	0.9	1.2	16.0	4.2	3.0
	5歳	323	35.6	2.5	10.8	8.4	2.2	2.8	1.9	1.2	16.4	2.5	4.0
利用施設別	保育所(園)	882	35.4	5.3	22.3	15.1	1.4	4.1	1.4	1.6	15.1	5.0	4.4
	幼稚園	580	40.0	2.4	1.9	5.3	4.8	2.2	1.6	1.7	13.6	2.8	3.6
	屋間里親～京(みやこ)・ベビーハウス～	13	23.1	-	15.4	15.4	-	7.7	7.7	15.4	30.8	15.4	-
	事業所内保育施設	16	12.5	-	12.5	18.8	6.3	12.5	6.3	6.3	12.5	6.3	6.3
	その他認可外保育施設	36	50.0	-	16.7	8.3	5.6	-	-	-	8.3	-	5.6
	ベビーシッター	4	-	-	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-
	ファミリーサポート事業	8	37.5	-	-	25.0	-	-	-	12.5	25.0	-	12.5

【家族類型別】

家族類型別にみると、「ひとり親」については、他の区分と比較して「病児・病後児保育の実施」「休日・祝日の保育の実施」の割合が高くなっている。

単位：％

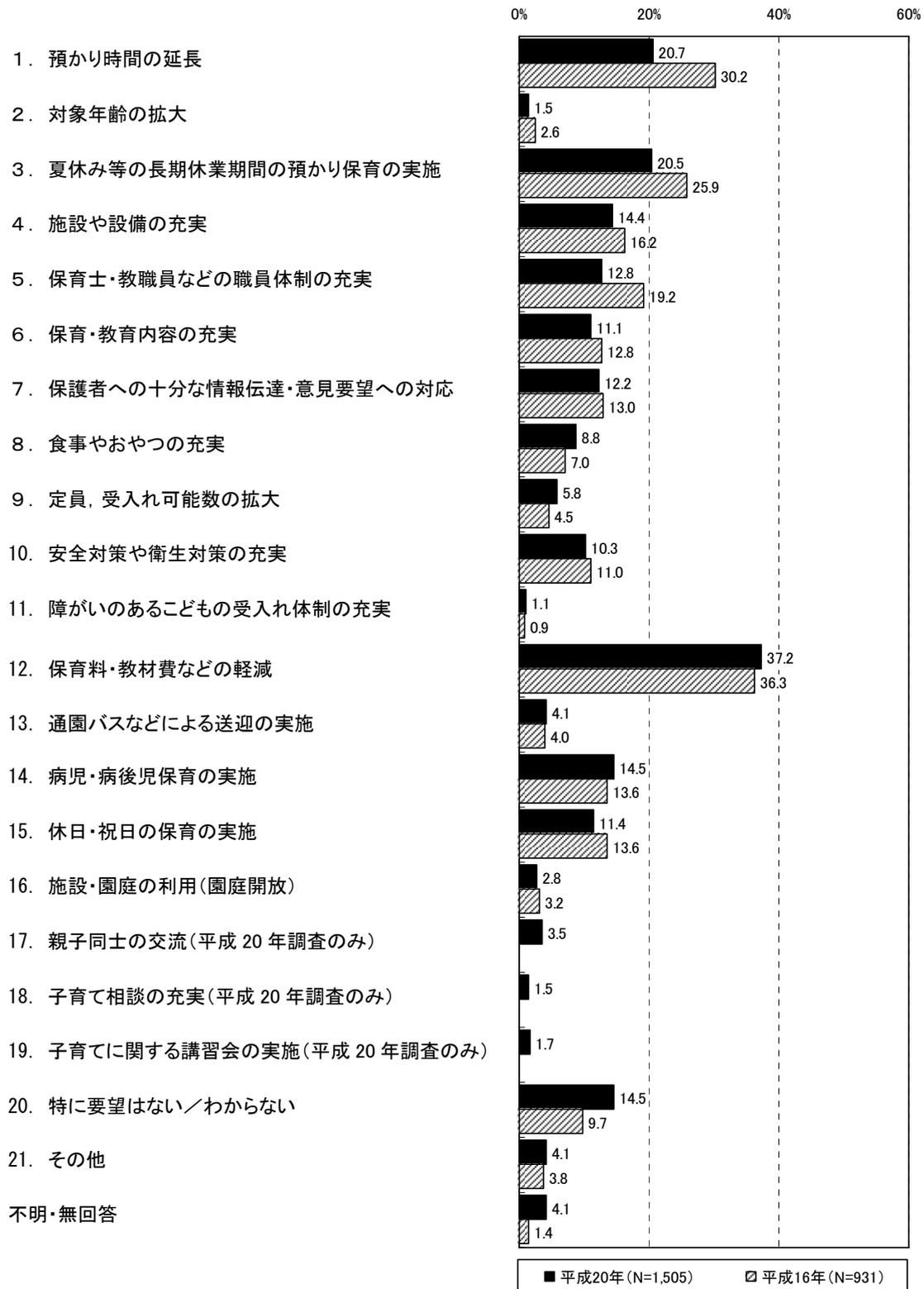
		回答者数 (人)	預かり時 間の延長	対象年齢 の拡大	夏休み等 の長期休 業期間の 預かり保 育の実施	施設や設 備の充実	保育士・教 職員など の職員体 制の充実	保育・教育 内容の充 実	保護者へ の十分な 情報伝達・ 意見要望 への対応	食事やお やつの充 実
家族 類型 別	ひとり親	92	19.6	1.1	28.3	10.9	16.3	8.7	12.0	9.8
	共働き	277	17.0	1.4	17.3	19.9	14.1	14.8	8.7	9.4
	フルタイム・パート	314	14.6	0.3	20.1	14.6	15.0	11.5	14.0	8.0
	専業主婦(夫)	479	26.9	2.5	21.5	14.0	10.2	10.4	12.9	7.9
	両親ともパート	10	10.0	-	-	30.0	30.0	20.0	-	20.0
	両親とも無業	5	-	-	-	-	20.0	20.0	20.0	-

		回答者数 (人)	定員、受 入れ可能 数の拡大	安全対策 や衛生対 策の充実	障がい のあるこ どもも の受入れ 体制の充 実	保育料・教 材費など の軽減	通園バス などによ る送迎の 実施	病児・病後 児保育の 実施	休日・祝日 の保育の 実施	施設・園庭 の利用(園 庭開放)
家族 類型 別	ひとり親	92	5.4	12.0	2.2	27.2	8.7	30.4	30.4	-
	共働き	277	8.7	7.9	0.4	36.1	2.2	22.4	13.4	0.7
	フルタイム・パート	314	7.0	12.4	1.3	43.3	4.8	19.7	10.2	1.9
	専業主婦(夫)	479	3.5	13.2	1.5	36.3	4.0	4.2	6.7	5.2
	両親ともパート	10	-	10.0	10.0	70.0	10.0	40.0	-	-
	両親とも無業	5	20.0	-	-	-	-	20.0	-	-

		回答者数 (人)	親子同士 の交流	子育て相 談の充実	子育てに 関する講 習会の実 施	特に要望 はない/ わからない	その他	不明・ 無回答
家族 類型 別	ひとり親	92	4.3	1.1	1.1	15.2	4.3	2.2
	共働き	277	1.8	1.4	1.8	13.7	6.1	4.0
	フルタイム・パート	314	5.1	0.6	2.2	13.4	2.5	3.2
	専業主婦(夫)	479	2.7	2.1	1.7	13.6	4.2	4.8
	両親ともパート	10	-	-	-	-	-	-
	両親とも無業	5	-	-	-	40.0	-	20.0

【平成 16 年調査との比較】

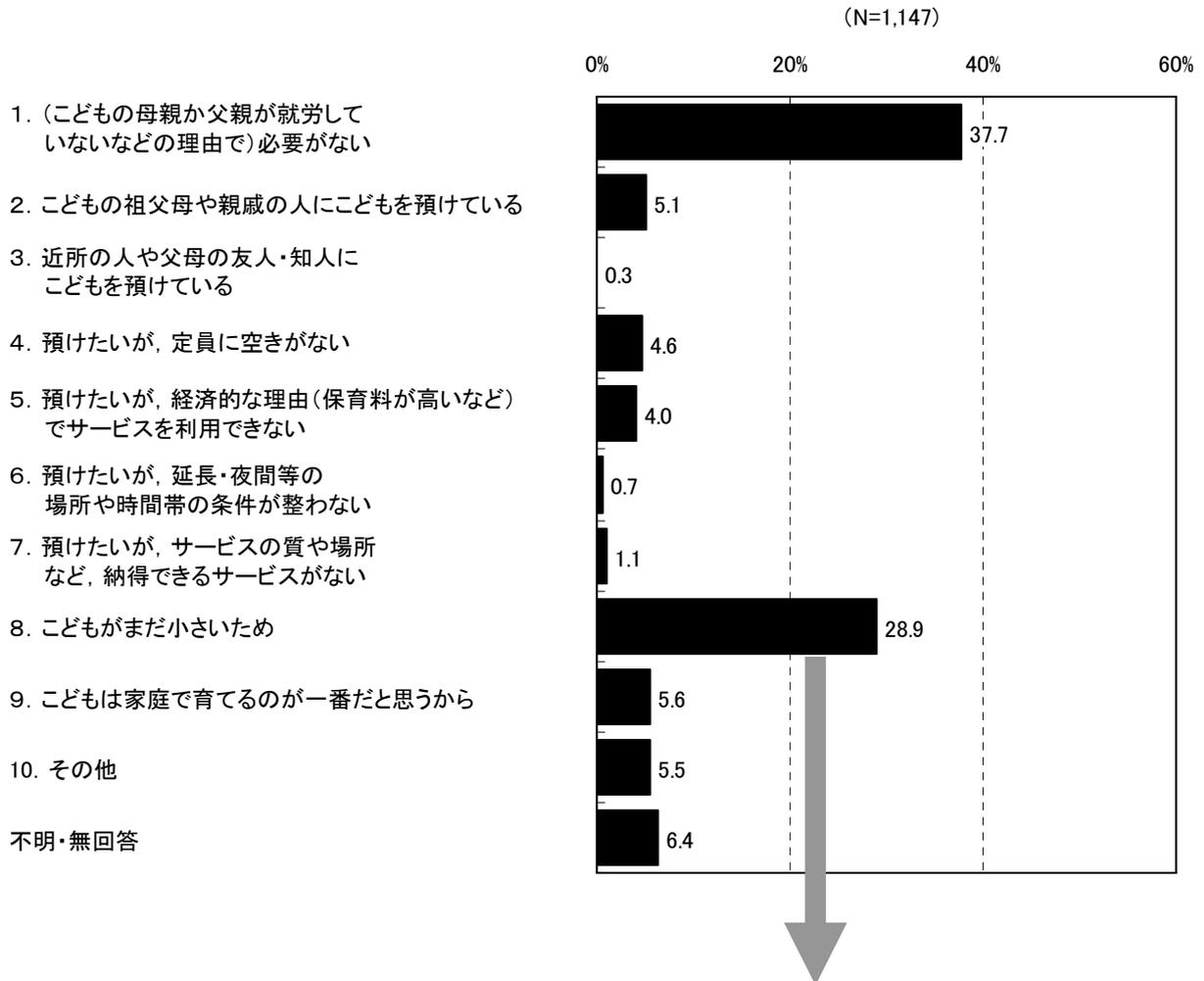
平成 16 年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっているが、「1. 預かり時間の延長」が 30.2% から 20.7%と、9.5 ポイント低く、「3. 夏休み等の長期休業期間の預かり保育の実施」は 25.9% から 20.5%と、5.4 ポイント低くなっている。



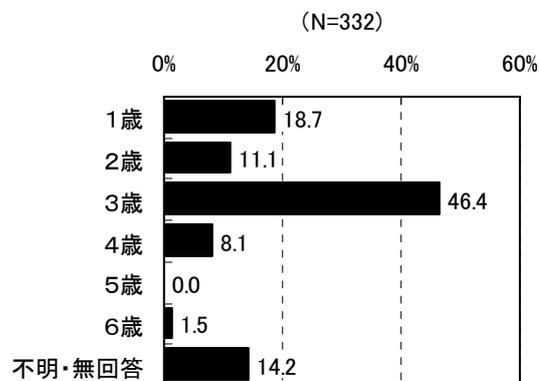
問 10-5 問 10 で「2」を選ばれた方におうかがいします。

子育て支援施策・サービスを利用していない理由は何ですか。

「1. (こどもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない」が 37.7% と最も高く、次いで「8. こどもがまだ小さいため」が 28.9% となっている。

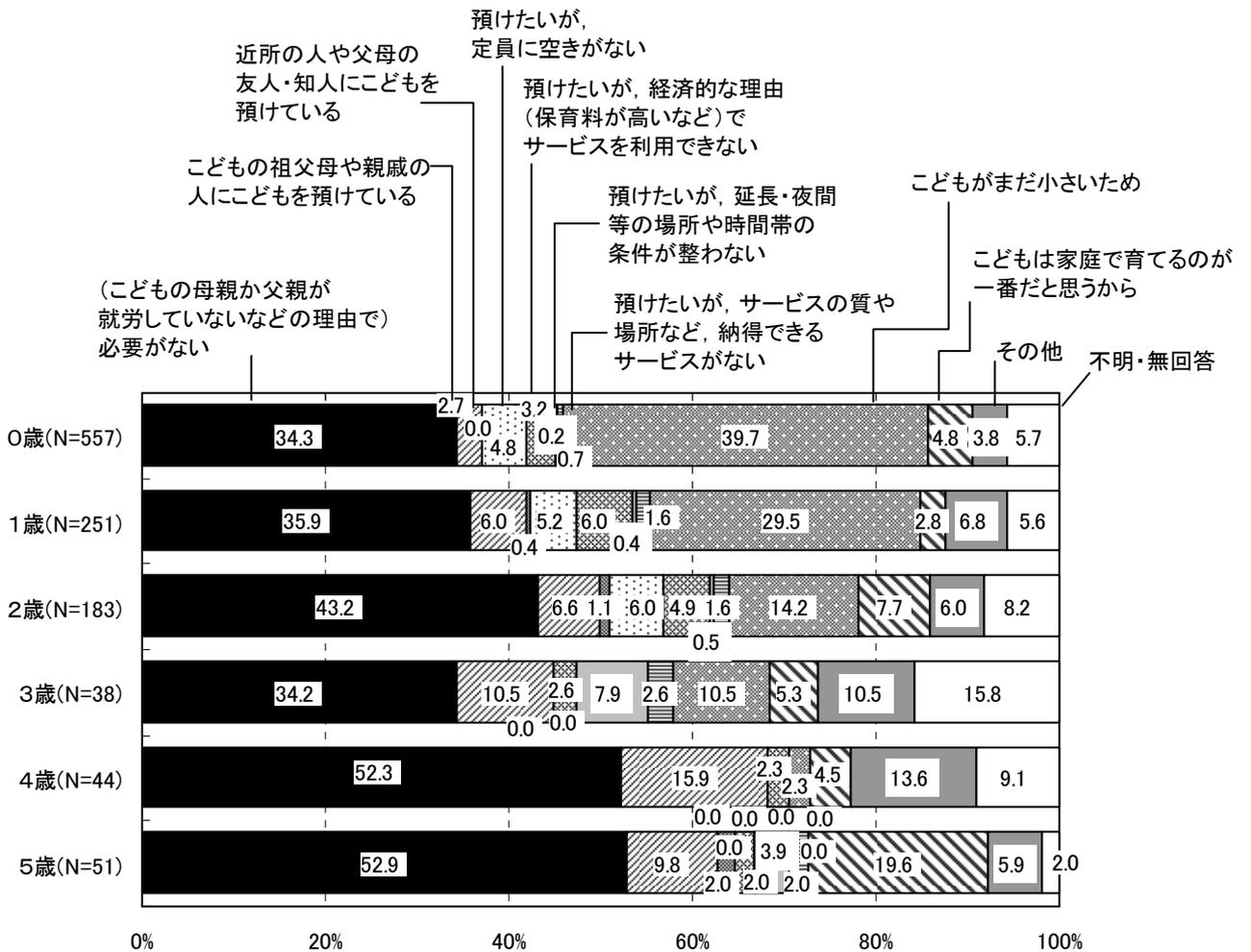


【「こどもがまだ小さいため」と答えた人が、預けようと考えている年齢】



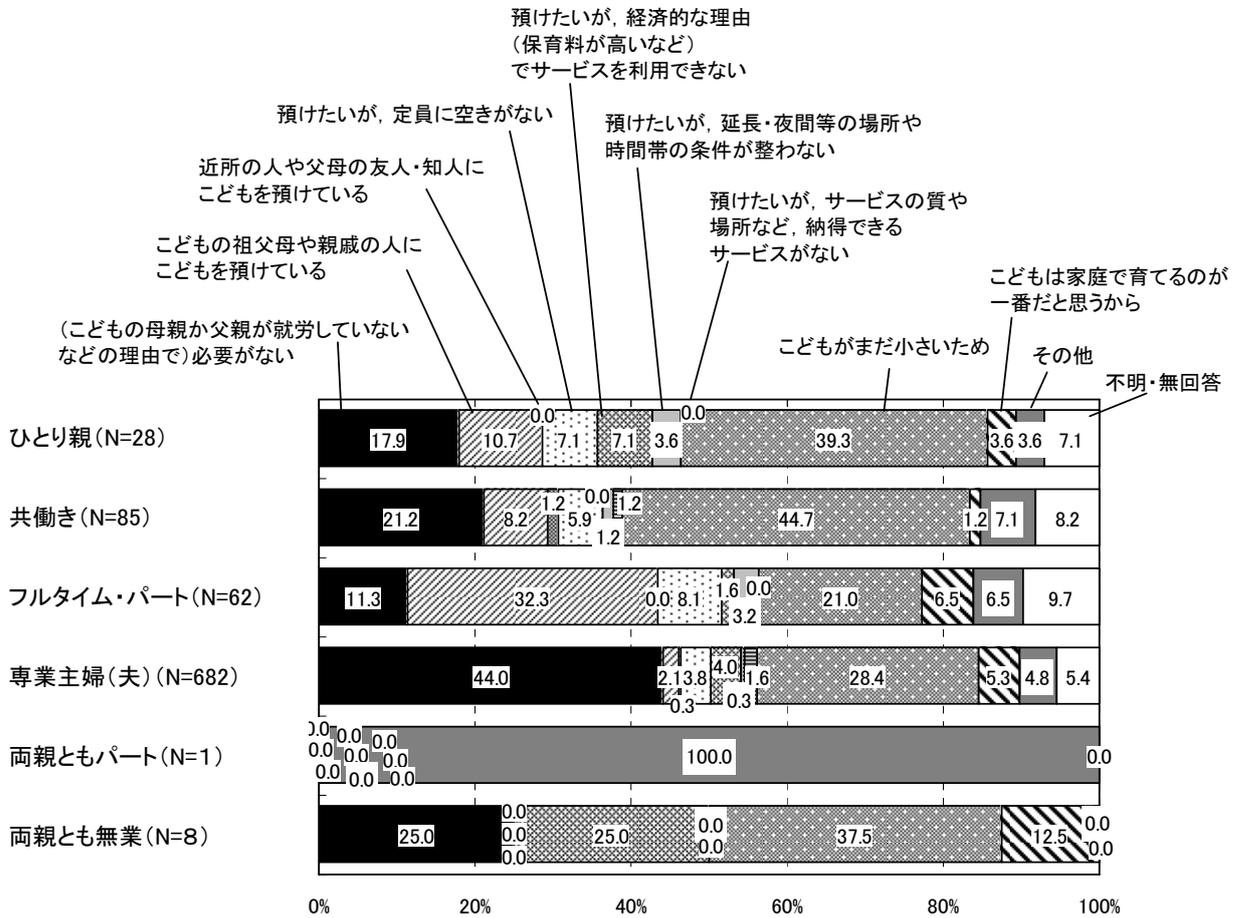
【こどもの年齢別】

こどもの年齢別にみると、「0歳」については他の区分と比較して「こどもがまだ小さいため」の割合が高く、「4歳」「5歳」については他の区分と比較して「（こどもの母親か父親が就労していないなどの理由で）必要がない」の割合が高くなっている。



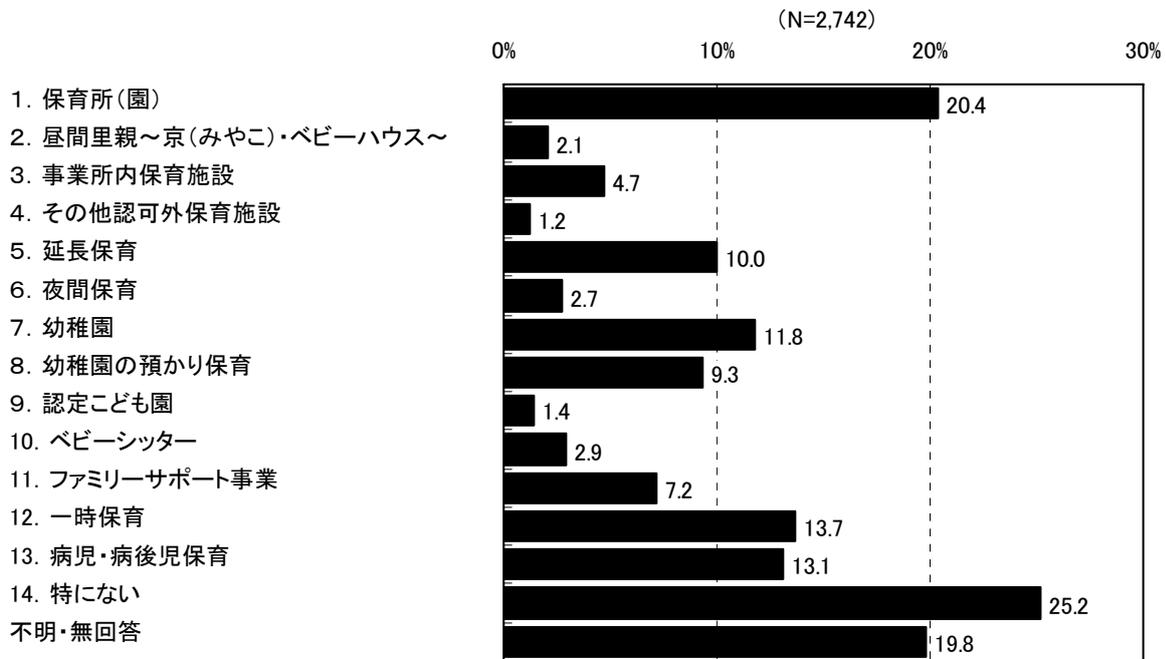
【家族類型別】

家族類型別にみると、「フルタイム・パート」については、他の区分と比較して「こどもの祖父母や親戚の人に子どもを預けている」の割合が高くなっている。



問 11 平日に、あて名のお子さんに関して、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数・回数や利用時間が足りていないと思うサービスはどれですか。（あてはまるもの3つまで）

「1. 保育所（園）」が 20.4%、「12. 一時保育」が 13.7%と高いが、「14. 特にない」と回答した方が 25.2%と最も高くなっている。



【こどもの年齢別，同居・近居の状況別，家族類型別】

こどもの年齢別にみると、「0歳」「1歳」について，他の区分と比較して「保育所（園）」の割合が高くなっている。

同居・近居の状況別にみると，「父同居（ひとり親家庭）」について「延長保育」の割合が高く，「母同居（ひとり親家庭）」について「病児・病後児保育」の割合が高くなっている。

家族類型別にみると，「ひとり親」「共働き」について「病児・病後児保育」の割合が高くなっている。

単位：%

		回答者数 (人)	保育所 (園)	昼間里親 ～京(みやこ)・ベビー ハウス～	事業所内 保育施設	その他認 可外保育 施設	延長保育	夜間保育	幼稚園	幼稚園の 預かり保育
年齢別	0歳	711	44.0	4.1	6.8	2.1	11.7	2.4	19.8	5.8
	1歳	446	27.6	2.5	5.6	1.1	8.5	3.4	17.3	10.8
	2歳	414	15.0	1.7	3.1	1.0	7.2	1.2	15.9	12.8
	3歳	341	6.7	1.8	4.7	0.3	11.4	4.1	4.4	11.7
	4歳	384	2.6	0.5	1.6	0.3	10.7	3.1	2.3	6.8
	5歳	389	3.1	0.5	3.9	0.8	9.0	2.3	2.6	10.3
同居・近居の 状況別	父母同居	2,126	20.7	2.1	4.4	1.1	9.9	2.4	12.6	9.7
	父同居(ひとり親家庭)	9	22.2	-	-	-	33.3	-	11.1	-
	母同居(ひとり親家庭)	133	15.8	0.8	8.3	1.5	12.8	7.5	5.3	3.8
	祖父同居	193	18.1	1.0	4.1	1.0	8.8	3.1	10.4	6.7
	祖母同居	267	17.2	1.5	3.0	0.4	9.7	1.5	10.9	7.9
	祖父近居	1,019	21.3	1.6	4.5	1.1	9.9	2.0	12.1	9.7
	祖母近居	1,169	21.1	1.9	4.7	1.2	10.1	2.3	12.7	9.6
	その他	143	18.9	1.4	3.5	0.7	12.6	2.8	7.7	14.7
家族類型別	ひとり親	121	16.5	0.8	8.3	1.7	14.9	5.8	6.6	3.3
	共働き	369	22.0	2.4	3.8	1.1	18.4	3.3	2.7	3.8
	フルタイム・パート	386	12.4	2.1	4.7	0.8	9.3	3.4	4.1	6.0
	専業主婦(夫)	1,203	22.4	2.2	4.6	0.9	7.6	1.4	18.4	13.1
	両親ともパート	11	-	-	9.1	-	9.1	18.2	-	-
	両親とも無業	13	53.8	-	-	-	7.7	7.7	38.5	7.7

		回答者数 (人)	認定こども 園	ベビーシッ ター	ファミリー サポート事 業	一時保育	病児・病後 児保育	特にない	不明・ 無回答
年齢別	0歳	711	2.0	3.1	7.2	22.4	10.1	15.6	10.1
	1歳	446	2.0	3.6	5.8	19.5	14.6	20.0	15.0
	2歳	414	1.9	3.6	8.2	12.3	13.8	24.6	21.3
	3歳	341	1.2	3.8	5.6	7.9	15.5	32.3	22.9
	4歳	384	0.3	1.6	10.9	6.8	14.1	32.8	30.7
	5歳	389	0.5	1.3	5.7	5.7	13.4	37.8	26.5
同居・近居の 状況別	父母同居	2,126	1.3	2.8	7.0	14.4	12.1	26.3	19.2
	父同居(ひとり親家庭)	9	-	-	11.1	11.1	11.1	11.1	33.3
	母同居(ひとり親家庭)	133	2.3	1.5	7.5	5.3	30.8	20.3	22.6
	祖父同居	193	2.6	2.6	4.7	8.3	11.9	34.2	20.7
	祖母同居	267	1.1	2.2	5.2	8.2	12.0	29.6	24.3
	祖父近居	1,019	0.9	2.0	5.4	11.7	12.7	27.4	19.6
	祖母近居	1,169	0.9	2.1	5.6	12.0	12.7	27.9	19.2
	その他	143	1.4	2.8	12.6	11.9	13.3	32.9	10.5
家族類型別	ひとり親	121	2.5	1.7	6.6	6.6	33.9	19.0	20.7
	共働き	369	1.4	3.3	7.3	9.2	26.0	19.5	22.5
	フルタイム・パート	386	0.5	2.6	8.0	10.1	18.7	30.8	23.8
	専業主婦(夫)	1,203	1.6	2.7	7.1	18.1	6.6	27.7	15.2
	両親ともパート	11	-	-	-	18.2	18.2	27.3	36.4
	両親とも無業	13	7.7	-	-	-	7.7	15.4	15.4

【居住区別】

居住区別にみると、「右京区（京北地域）」「西京区（洛西支所管内）」について、他の区分と比較して「保育所（園）」の割合が高くなっている。

また、「上京区」について、他の区分と比較して「病児・病後児保育」の割合が高くなっている。

単位：％

	回答者数 (人)	保育所 (園)	昼間里親 ～京(みや こ)・ベビー ハウス～	事業所内 保育施設	その他認 可外保育 施設	延長保育	夜間保育	幼稚園	幼稚園の 預かり保 育	
居住区別	北区	211	17.1	1.4	4.3	1.9	8.5	2.4	12.3	7.1
	上京区	128	19.5	0.8	5.5	0.8	8.6	2.3	10.2	8.6
	左京区	296	17.6	1.4	3.0	1.4	7.8	2.7	13.2	10.5
	中京区	175	21.7	4.6	7.4	1.1	17.1	2.9	12.6	10.3
	東山区	49	18.4	-	6.1	-	8.2	-	8.2	14.3
	山科区	256	21.5	3.1	5.5	-	9.0	2.7	10.2	7.4
	下京区	140	18.6	2.1	4.3	-	8.6	2.9	7.9	5.7
	南区	188	21.8	1.6	5.9	-	10.6	3.7	14.9	7.4
	右京区 (京北地域除く)	333	20.4	3.0	4.8	1.5	10.5	3.3	12.6	14.1
	右京区 (京北地域)	50	24.0	-	2.0	-	16.0	2.0	8.0	4.0
	西京区 (洛西支所管内除く)	231	20.8	0.9	5.6	1.3	8.2	2.6	12.6	8.7
	西京区 (洛西支所管内)	115	28.7	4.3	3.5	-	8.7	2.6	7.0	10.4
	伏見区(深草・ 醍醐支所管内除く)	305	23.9	2.0	4.6	2.3	12.1	1.6	12.8	9.2
	伏見区 (深草支所管内)	133	16.5	0.8	3.8	1.5	9.8	5.3	12.8	9.0
	伏見区 (醍醐支所管内)	101	17.8	4.0	1.0	2.0	8.9	1.0	11.9	7.9

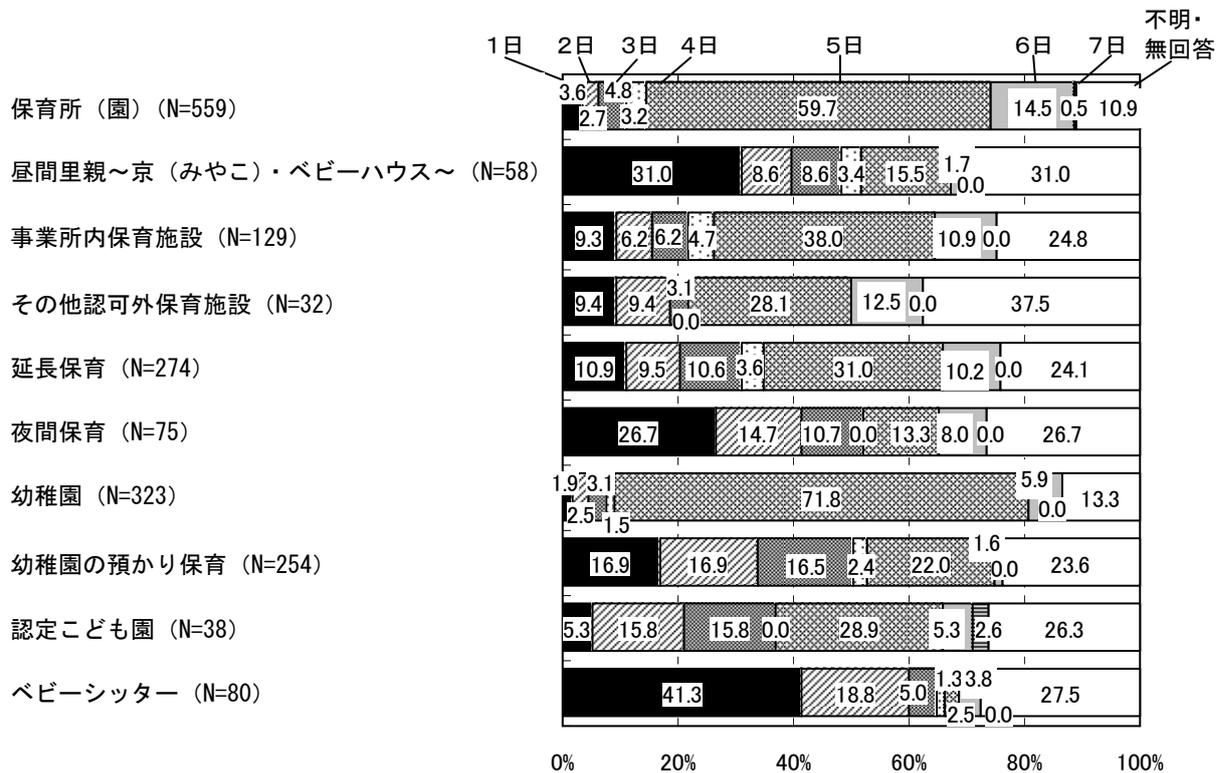
	回答者数 (人)	認定こども 園	ベビーシッ ター	ファミリー サポート事 業	一時保育	病児・病後 児保育	特にない	不明・ 無回答	
居住区別	北区	211	1.4	2.4	6.6	14.2	15.6	24.2	21.8
	上京区	128	1.6	3.9	5.5	19.5	23.4	21.9	19.5
	左京区	296	1.0	4.4	8.4	12.5	10.5	22.0	21.6
	中京区	175	2.3	1.7	8.0	20.6	12.6	21.7	18.3
	東山区	49	2.0	8.2	6.1	10.2	8.2	26.5	30.6
	山科区	256	1.2	2.3	5.1	11.3	16.0	25.4	19.9
	下京区	140	0.7	3.6	8.6	16.4	5.0	31.4	22.1
	南区	188	1.1	3.7	9.0	13.3	14.4	23.4	19.7
	右京区 (京北地域除く)	333	1.2	3.3	8.4	11.4	15.3	27.0	16.8
	右京区 (京北地域)	50	-	6.0	14.0	12.0	16.0	22.0	22.0
	西京区 (洛西支所管内除く)	231	1.7	2.6	4.3	17.7	10.0	27.7	19.5
	西京区 (洛西支所管内)	115	2.6	2.6	7.8	16.5	10.4	26.1	14.8
	伏見区(深草・ 醍醐支所管内除く)	305	1.6	1.6	7.9	10.8	11.5	26.2	18.7
	伏見区 (深草支所管内)	133	2.3	1.5	5.3	12.8	11.3	30.8	15.8
	伏見区 (醍醐支所管内)	101	-	1.0	5.0	6.9	14.9	21.8	25.7

問 11-1, 問 11-2 は, 問 11 で「1」～「10」を選ばれた方におうかがいします。

問 11-1 選択されたサービスそれぞれについて, 利用を希望する日数や時間帯をお答えください。

①週あたり利用希望日数

1 週あたりの利用希望日数は, 全体的に「5日」が高いが, 「昼間里親～京(みやこ)・ベビーハウス～」 「夜間保育」 「ベビーシッター」では, 「1日」が高くなっている。

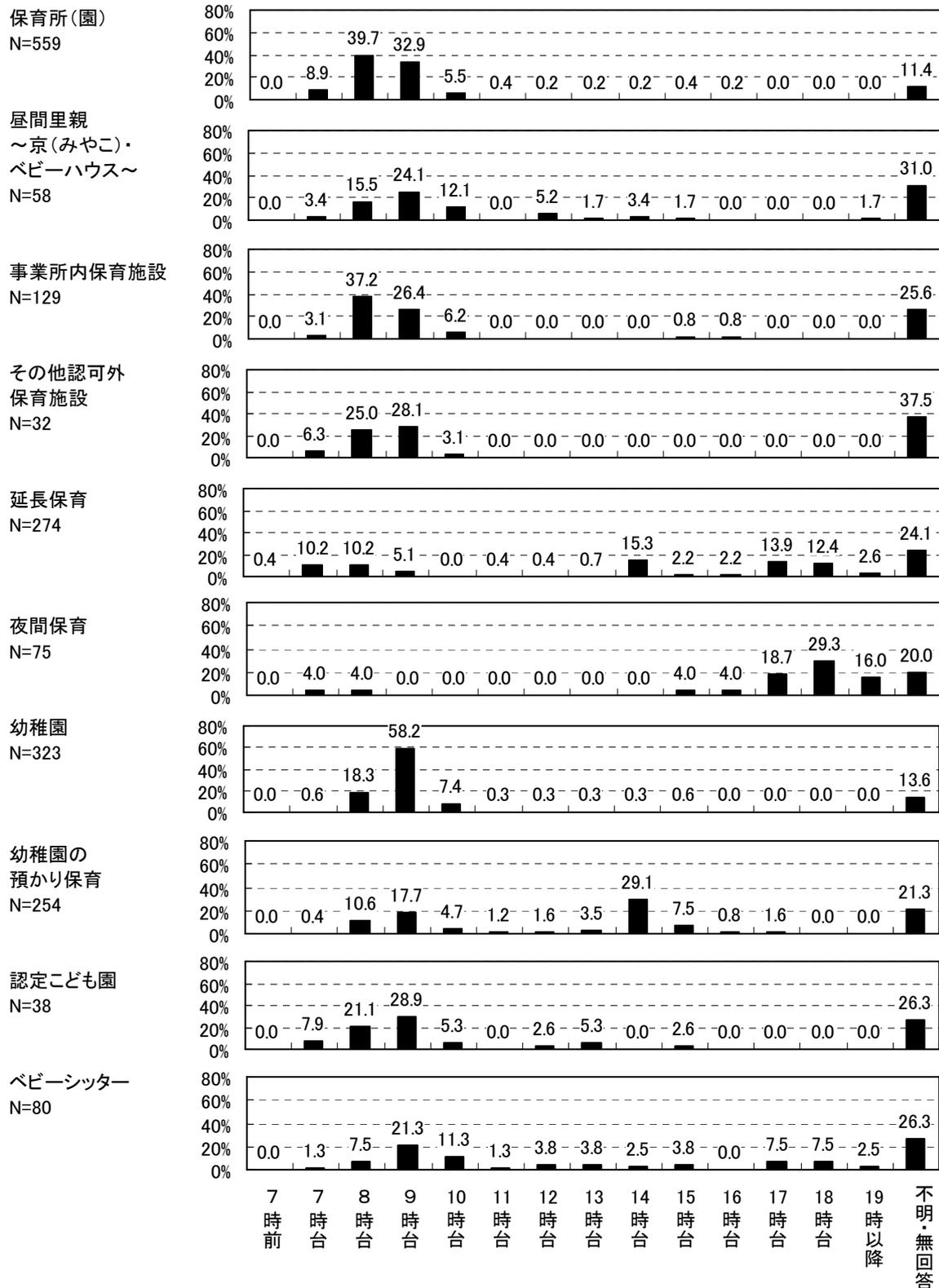


②利用希望時間

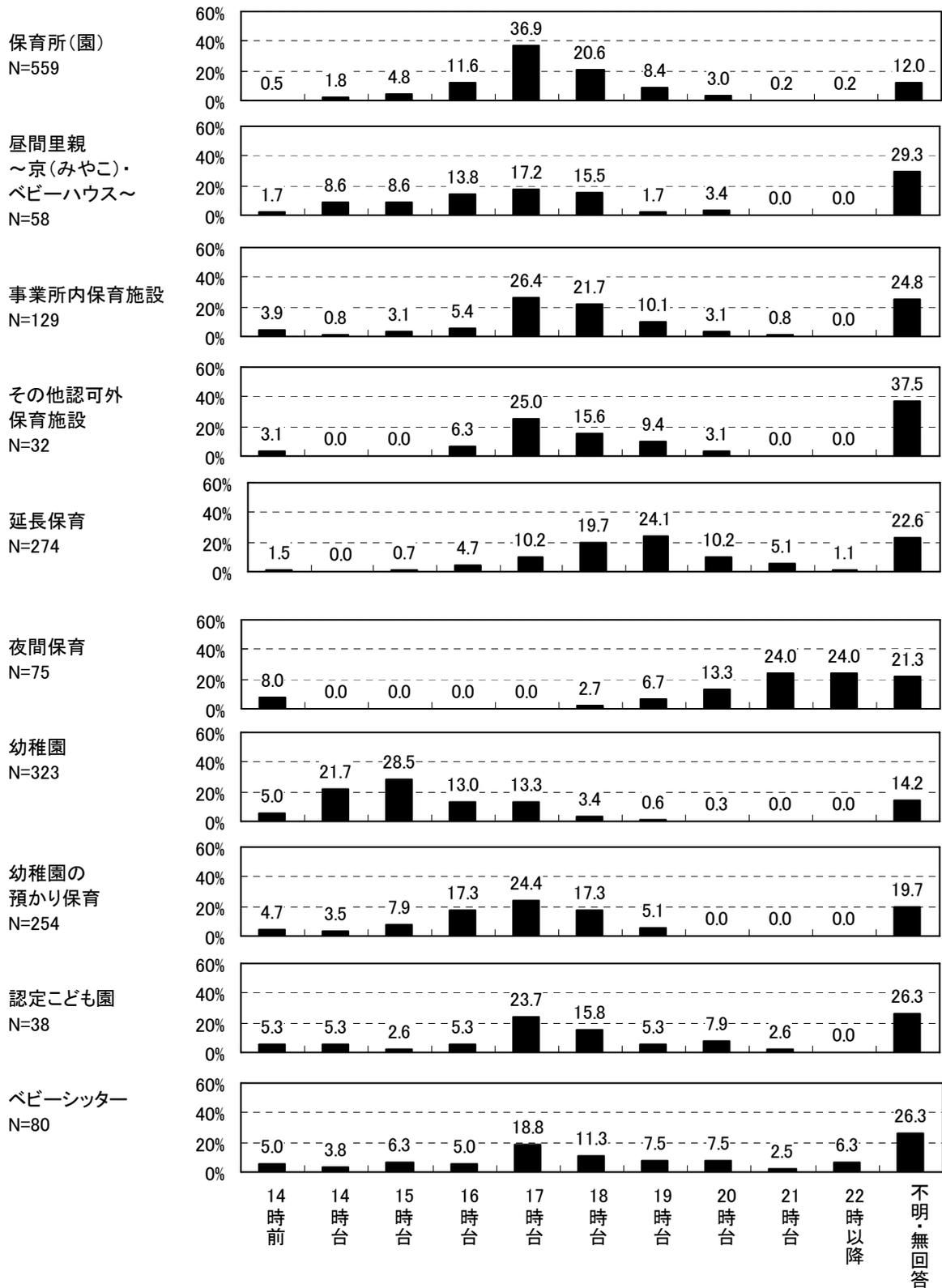
希望する利用開始時間は、「延長保育」「夜間保育」「幼稚園の預かり保育」以外の日中保育については「8時台」と「9時台」が中心になっている。

終了時間は、「幼稚園」では「15時台」,「延長保育」では「19時台」,「夜間保育」では21時以降が高くなっており、それ以外では「17時台」が中心になっている。

【開始時間】

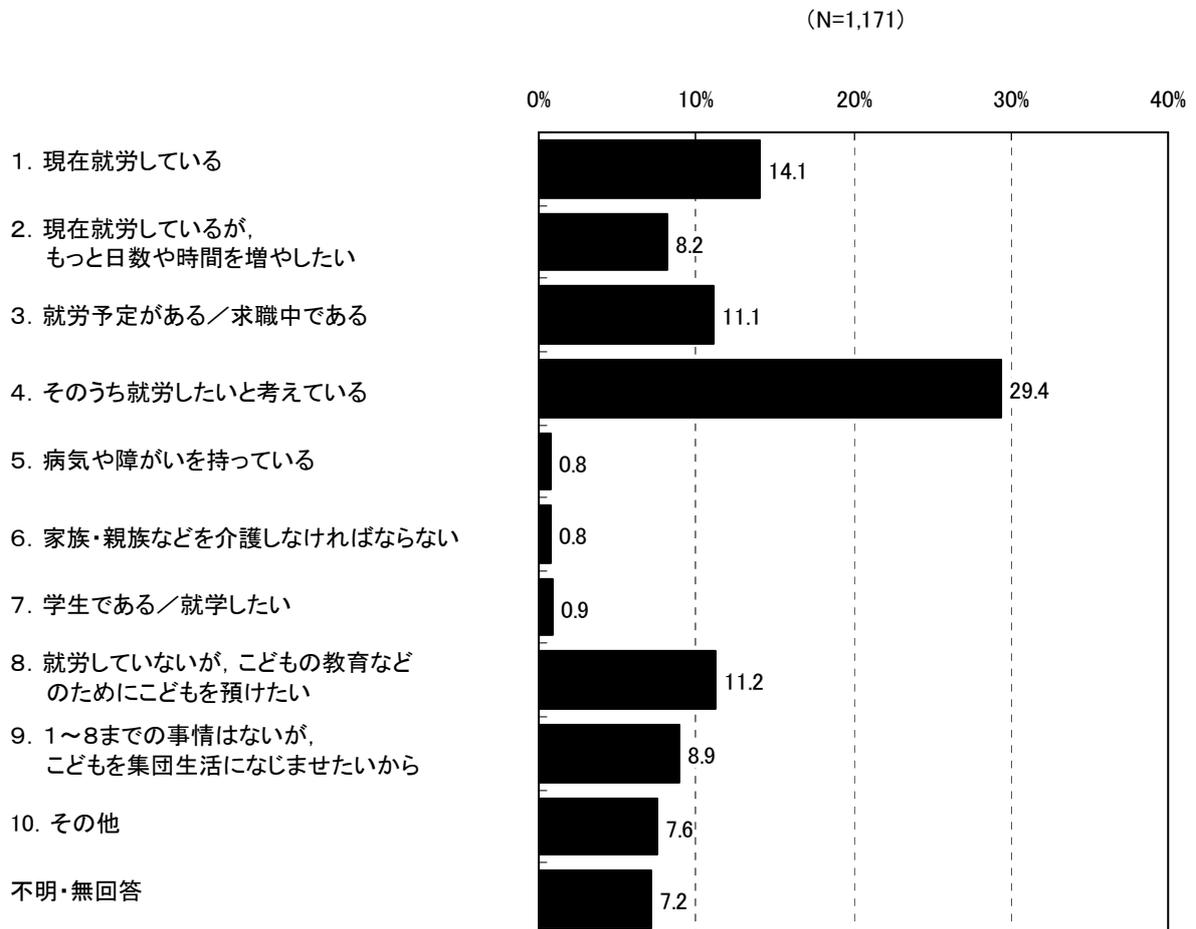


【終了時間】



問 11-2 サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。

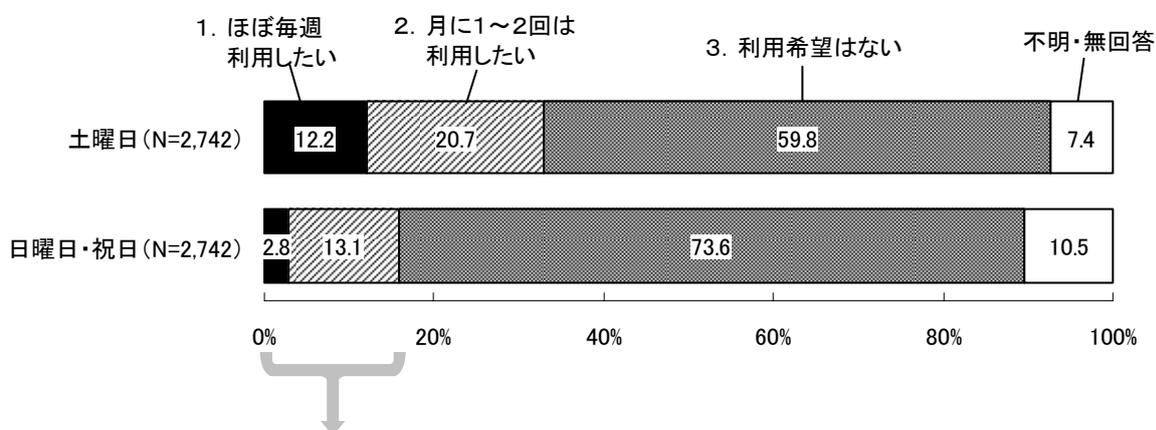
「4. そのうち就労したいと考えている」が 29.4%と最も高く、次いで「1. 現在就労している」が 14.1%と高くなっている。



4 土曜日や日曜日・祝日における子育て支援施策・サービスの利用希望について

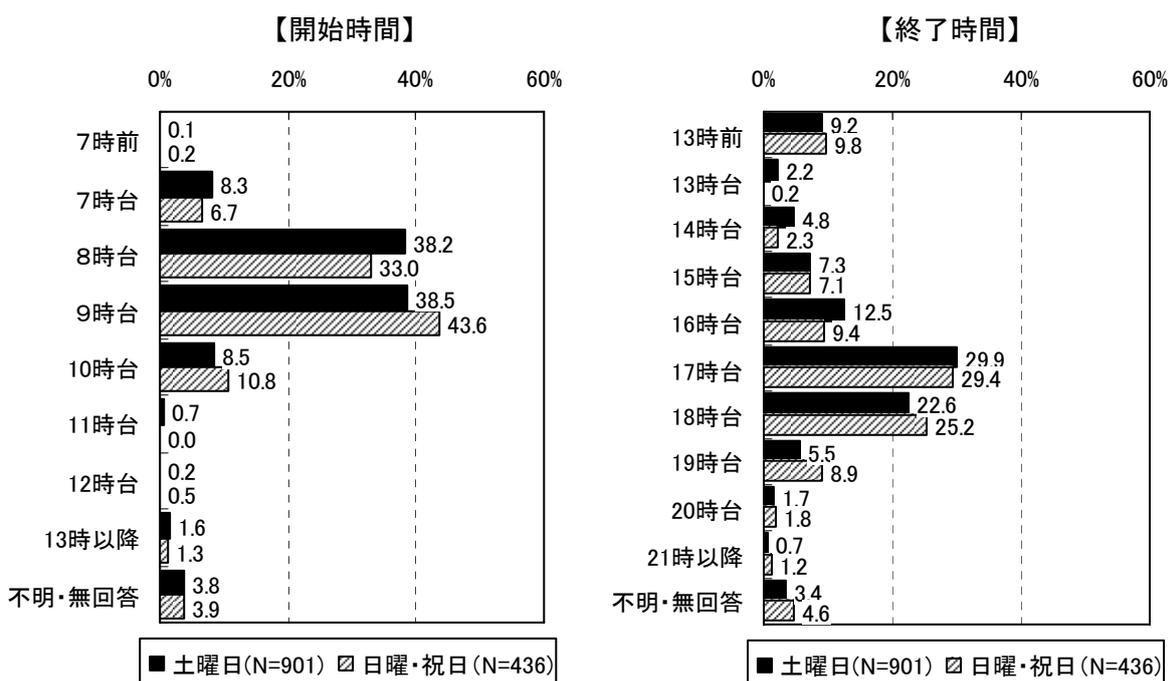
問 12 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育所（園）・幼稚園などの子育て支援施策・サービス（一時的な利用は除きます）の利用を希望されますか。

「土曜日」「日曜日・祝日」とともに「3. 利用希望はない」が半数以上を占めているが、「2. 月に1～2回は利用したい」と回答した方も、「土曜日」が20.7%、「日曜日・祝日」が13.1%あった。



〔利用希望時間〕

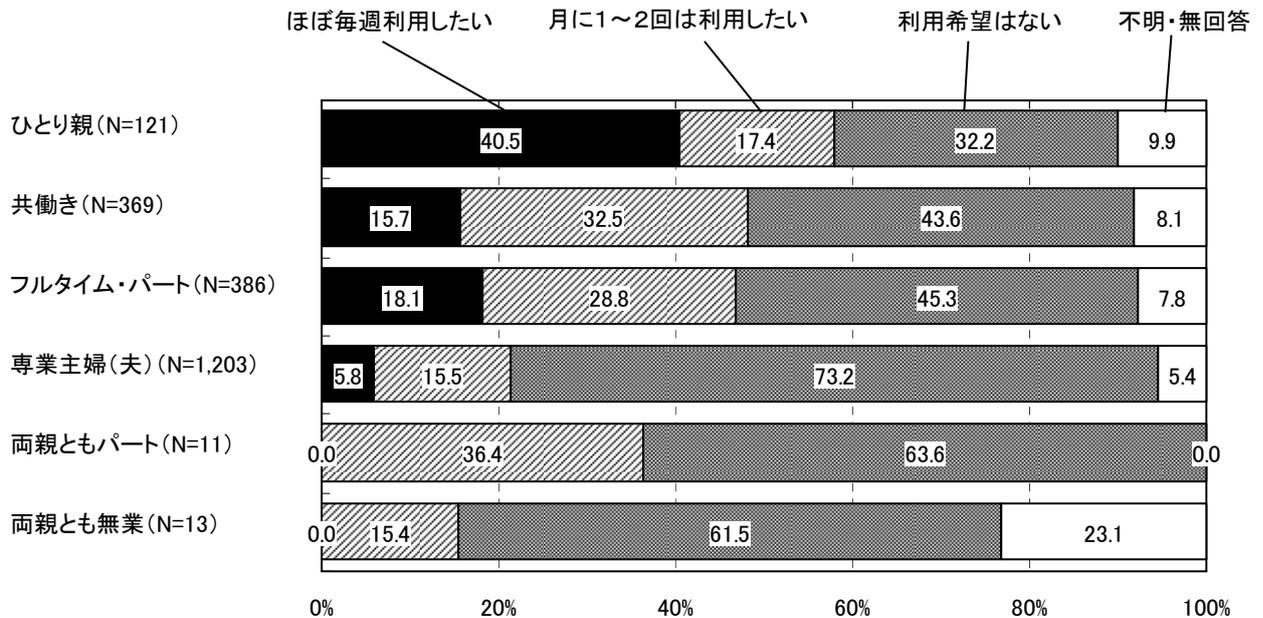
利用希望時間は、「土曜日」「日曜日・祝日」とともに、開始時間については「8時台」と「9時台」が高く、終了時間については「17時台」と「18時台」が高くなっている。



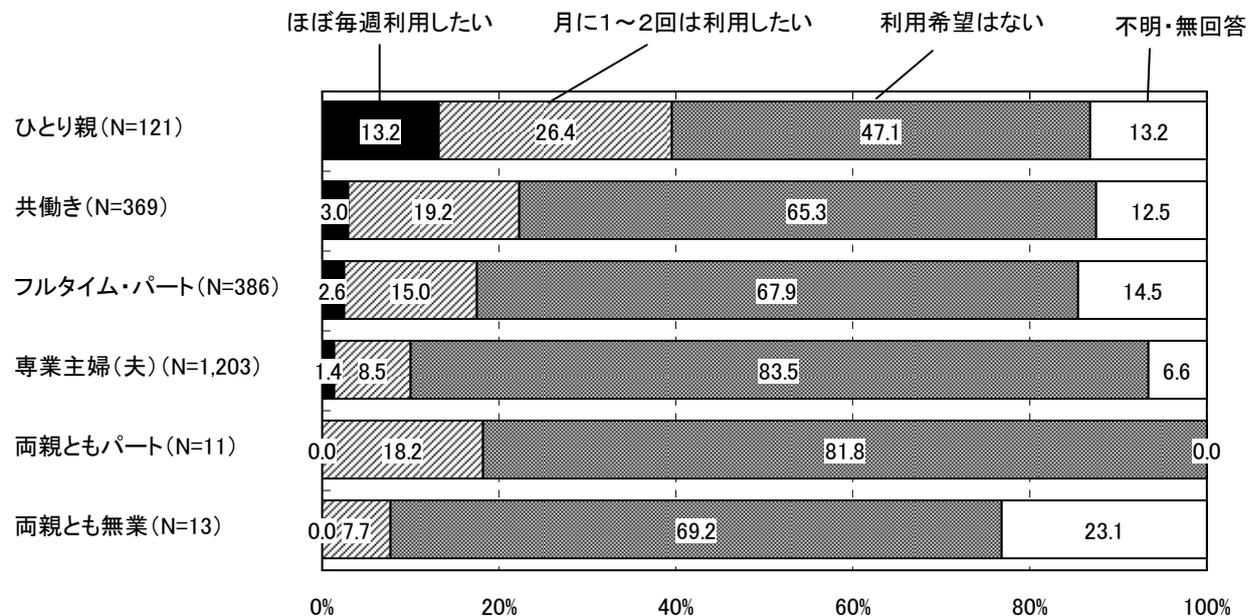
【家族類型別】

家族類型別にみると、「ひとり親」について「土曜日」では、他の区分と比較して「ほぼ毎週利用したい」の割合が最も高くなっているのに対し、「日曜日・祝日」では、他の区分と同様に「利用希望はない」の割合が最も高くなっている。

【土曜日】



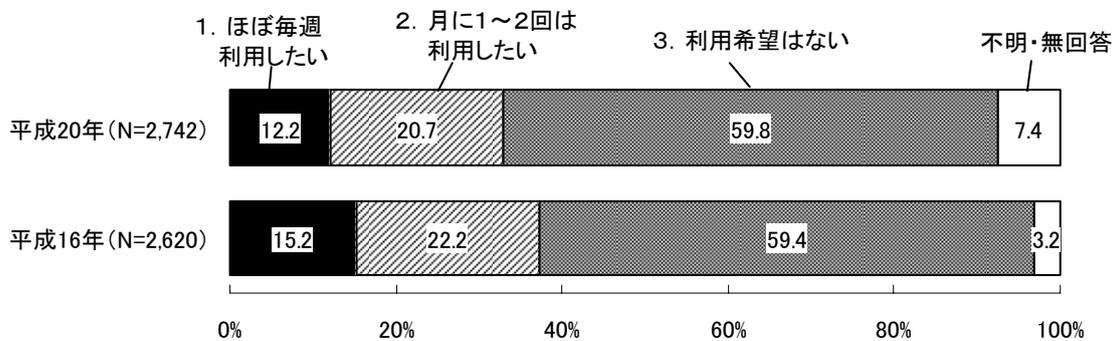
【日曜日・祝日】



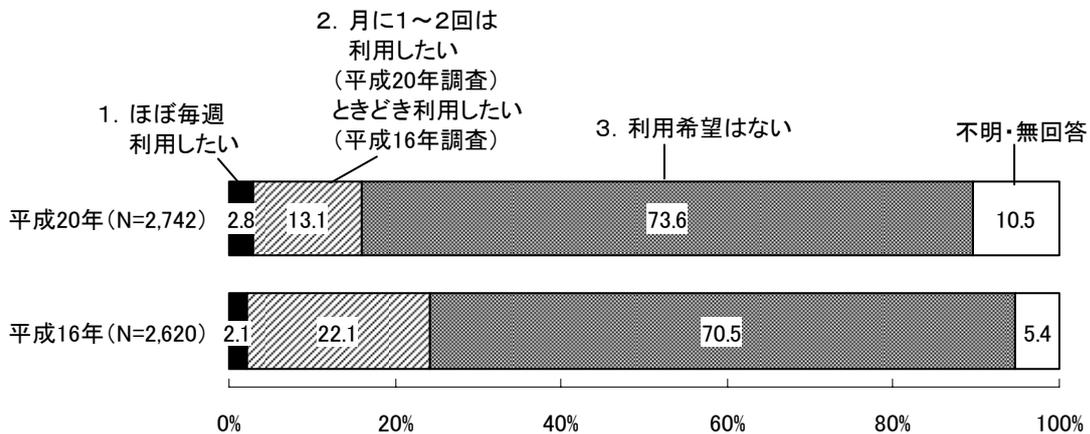
【平成 16 年調査との比較】

平成 16 年調査と比較すると、「土曜日」「日曜日・祝日」ともに「2. 月に1～2回は利用したい/ときどき利用したい」の割合が低くなっている。

【土曜日】



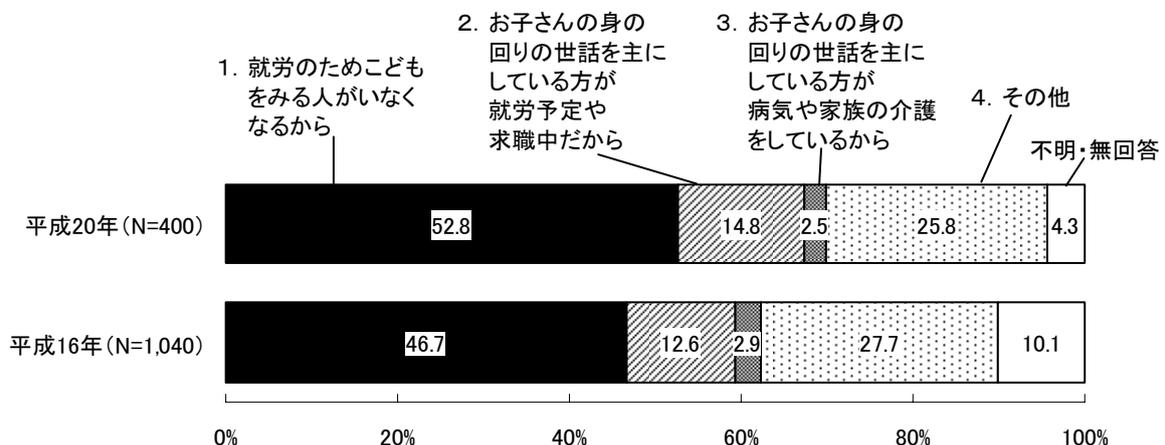
【日曜日・祝日】



問 12-1 土曜日、日曜日・祝日にお子さんを預けたい理由は何ですか。

土曜日、日曜日・祝日に預けたい理由をみると、「1. 就労のためこどもをみる人がいなくなるから」が52.8%となっている。

平成 16 年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。

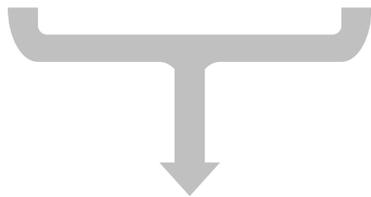
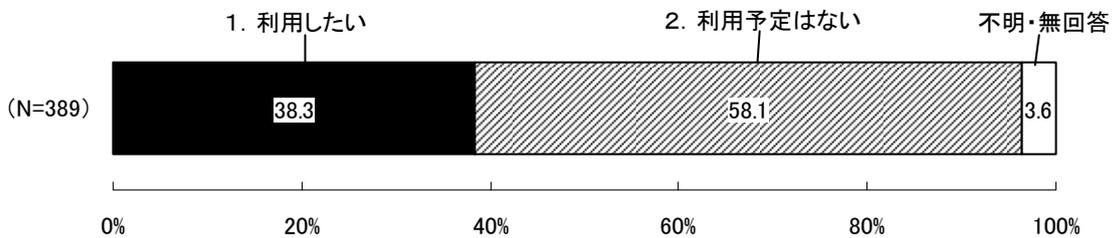


5 小学校入学以降の学童クラブ事業利用の希望について

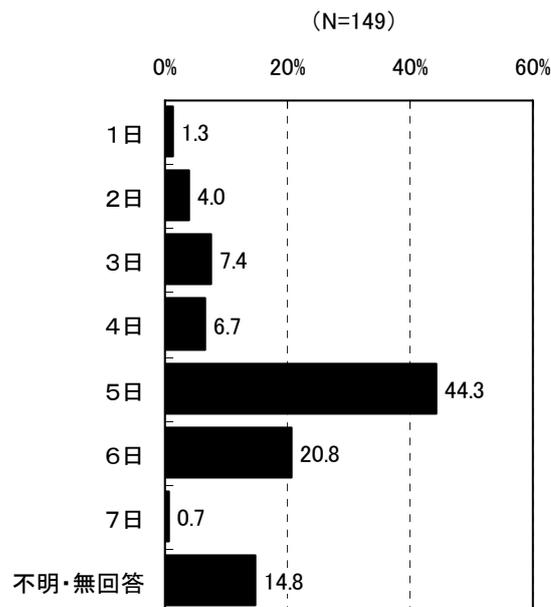
問 13 来年度就学予定の児童を持つ保護者の方におうかがいします。

あて名のお子さんについて、小学校入学以降、学童クラブ事業を利用したいと思いませんか。

「1. 利用したい」が38.3%、「2. 利用予定はない」が58.1%となっている。利用希望日数は「5日」が44.3%と最も高くなっている。

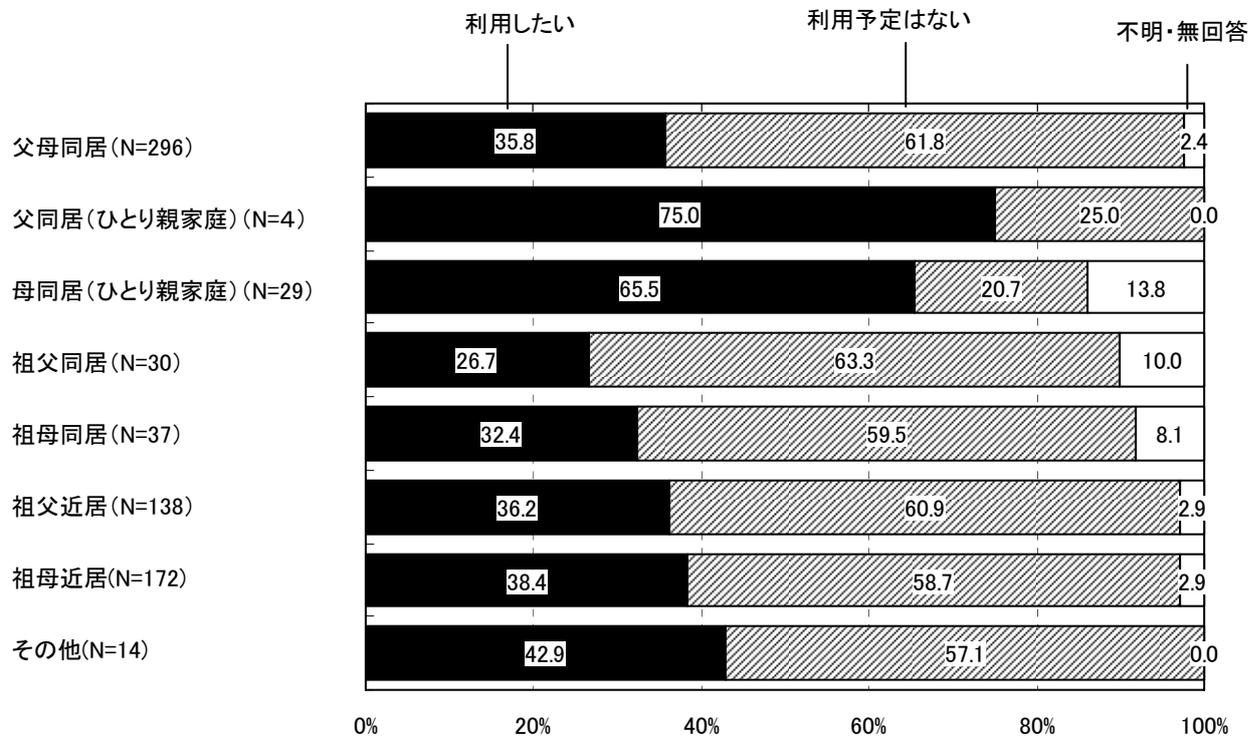


〔利用希望日数〕



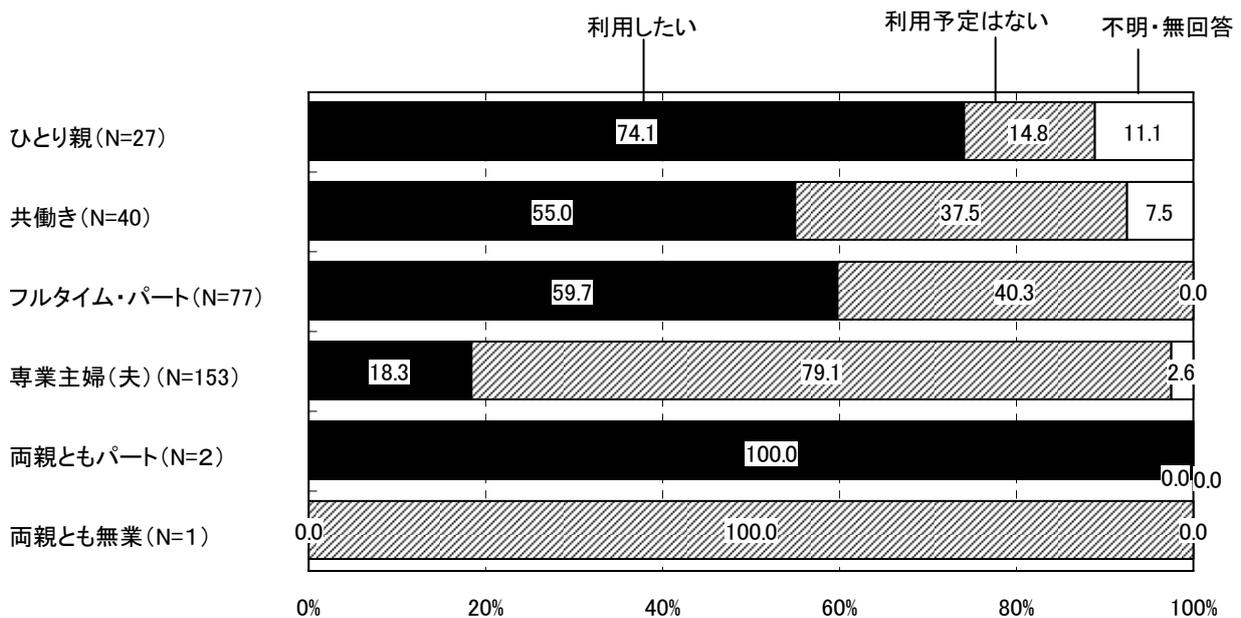
【同居・近居の状況別】

同居・近居の状況別にみると、「父同居（ひとり親家庭）」「母同居（ひとり親家庭）」において、「利用したい」が6割以上と高くなっている。



【家族類型別】

家族類型別にみると、「専業主婦（夫）」について、他の区分と比較して「利用予定はない」の割合が高くなっている。



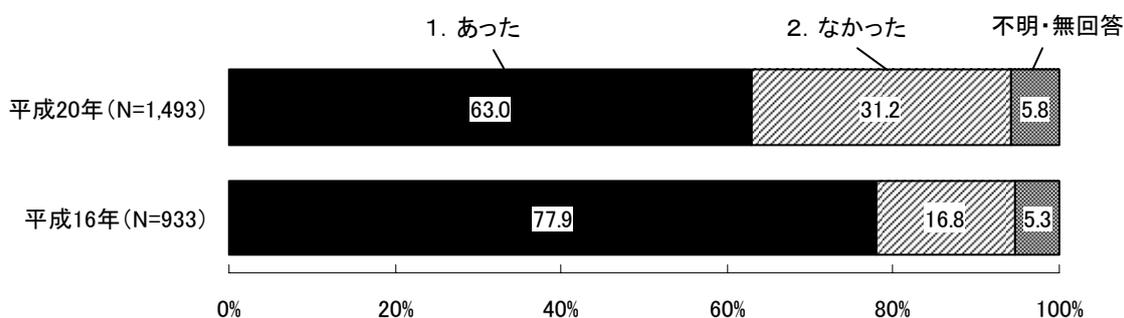
6 病気・病後時の対応について

現在、保育所（園）、幼稚園、昼間里親、その他認可外保育施設を利用されている方におうかがいします。

問 14 この1年間に、あて名のお子さんが病気や病気の回復期であるために、保育所（園）、幼稚園、昼間里親、その他認可外保育施設を利用できなかったことがありましたか。

「1. あった」が63.0%、「2. なかった」が31.2%となっている。

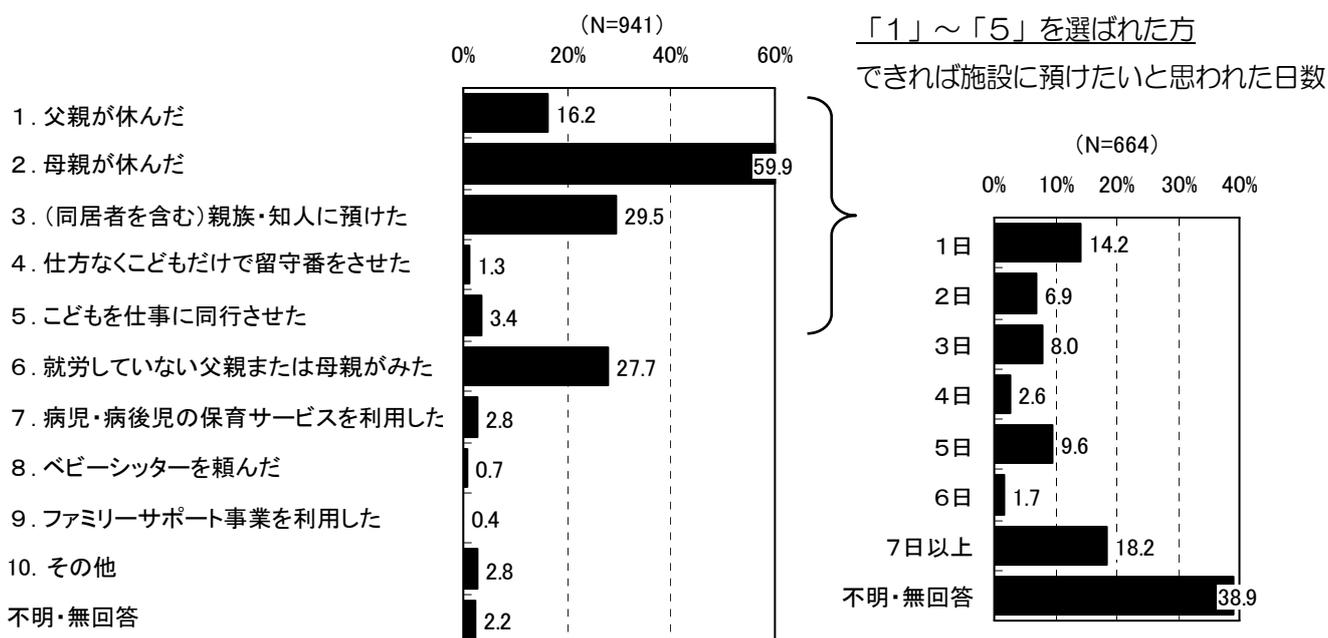
平成16年調査と比較すると、「1. あった」が14.9ポイント低くなっている。



問 14-1 問 14 で「1」を選ばれた方におうかがいします。

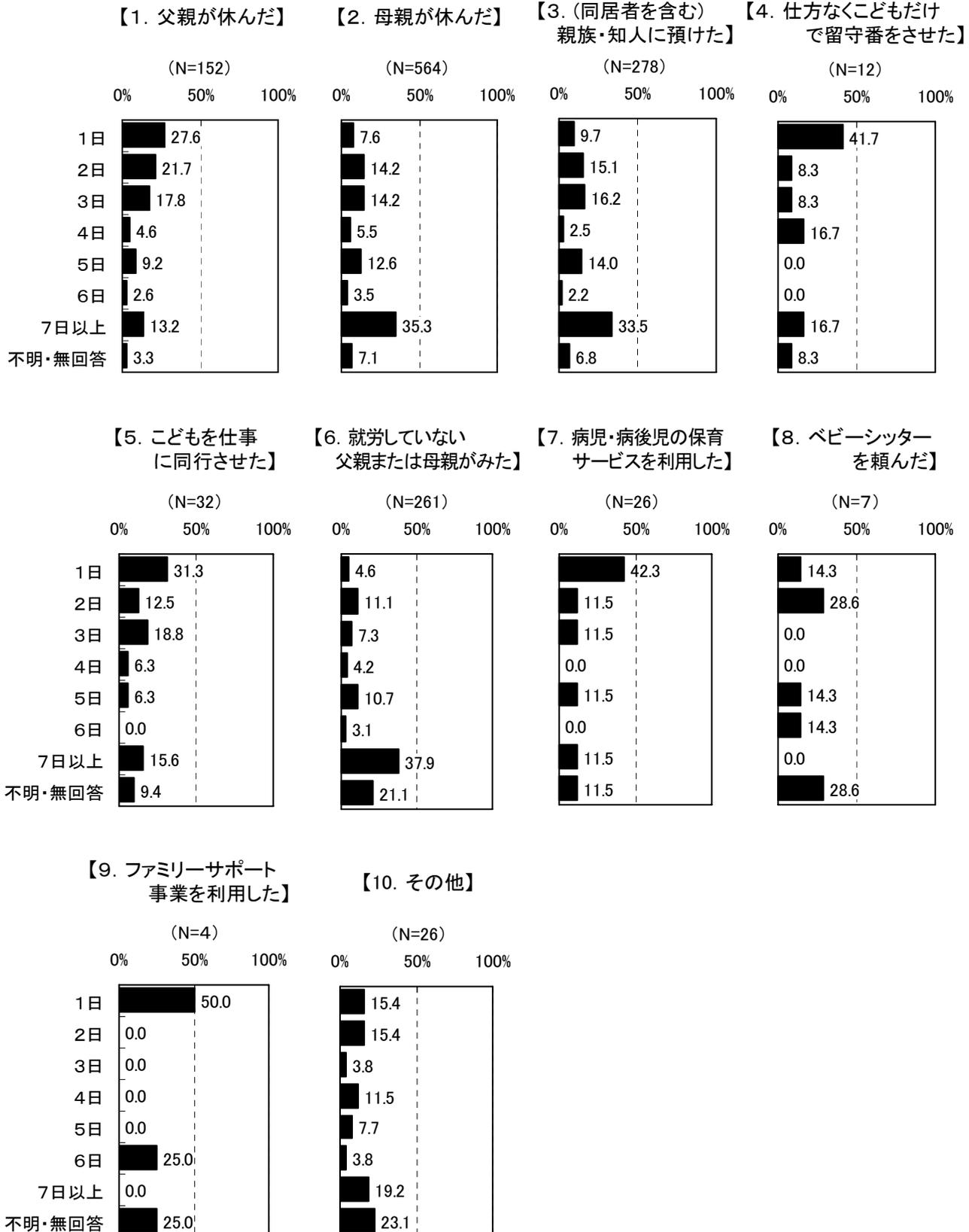
この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。（あてはまるものすべて）

「2. 母親が休んだ」が59.9%と最も高く、次いで「3.（同居者を含む）親族・知人に預けた」「6. 就労していない父親または母親がみた」がそれぞれ3割弱と高くなっている。できれば施設に預けたい日数については、「7日以上」が18.2%、「1日」が14.2%と高くなっている。



〔対処方法別日数〕

全体的に「1日」が多いが、「2. 母親が休んだ」「3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた」「就労していない父親または母親がみた」では「7日以上」も高くなっている。



【こどもの年齢別，家族類型別】

こどもの年齢別にみると，どの区分についても「母親が休んだ」の割合が最も高くなっている。家族類型別にみると，「ひとり親」「共働き」「フルタイム・パート」「両親ともパート」について，「母親が休んだ」の割合が最も高くなっている。

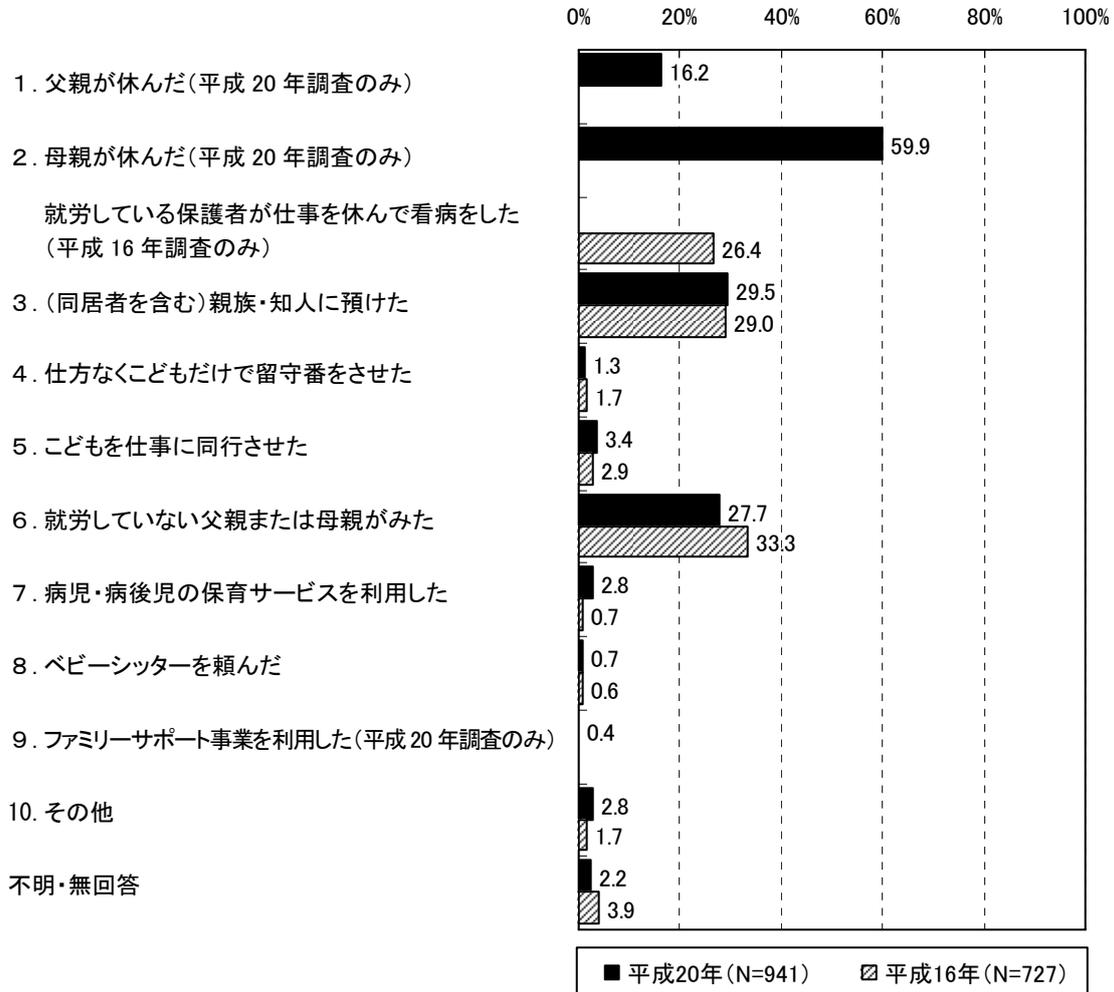
単位：％

		回答者数 (人)	父親が休 んだ	母親が休 んだ	(同居者を 含む)親 族・知人に 預けた	仕方なくこ どもだけで 留守番を させた	こどもを仕 事に同行 させた	就労して いない父 親または 母親がみ た
年齢別	0歳	87	28.7	74.7	36.8	-	2.3	14.9
	1歳	121	27.3	81.8	39.7	0.8	4.1	8.3
	2歳	140	17.1	70.7	36.4	0.7	4.3	15.7
	3歳	191	13.6	49.7	23.0	1.0	2.6	39.8
	4歳	209	10.5	48.8	22.5	1.4	2.9	39.2
	5歳	174	10.9	54.6	29.9	2.9	4.6	28.7
家族類型別	ひとり親	71	8.5	64.8	39.4	-	4.2	8.5
	共働き	216	34.3	81.0	49.1	1.9	4.6	3.7
	フルタイム・パート	233	11.2	84.1	35.6	1.7	3.4	7.3
	専業主婦(夫)	226	4.9	10.6	4.9	0.4	0.4	81.0
	両親ともパート	9	66.7	66.7	33.3	-	11.1	11.1
	両親とも無業	2	50.0	-	-	-	-	100.0

		回答者数 (人)	病児・病後 児の保育 サービス を利用し た	ベビーシッ ターを頼 んだ	ファミリー サポート 事業を利用 した	その他	不明・ 無回答
年齢別	0歳	87	1.1	-	-	4.6	3.4
	1歳	121	5.0	2.5	2.5	1.7	1.7
	2歳	140	5.0	0.7	0.7	2.9	1.4
	3歳	191	1.6	1.0	-	3.1	3.1
	4歳	209	1.4	0.5	-	2.9	1.0
	5歳	174	2.9	-	-	2.3	2.9
家族類型別	ひとり親	71	5.6	-	-	5.6	2.8
	共働き	216	5.1	1.9	0.5	3.2	1.4
	フルタイム・パート	233	1.3	0.9	-	2.6	-
	専業主婦(夫)	226	1.3	0.4	0.4	1.8	4.0
	両親ともパート	9	11.1	-	-	11.1	-
	両親とも無業	2	-	-	-	-	-

【平成16年調査との比較】

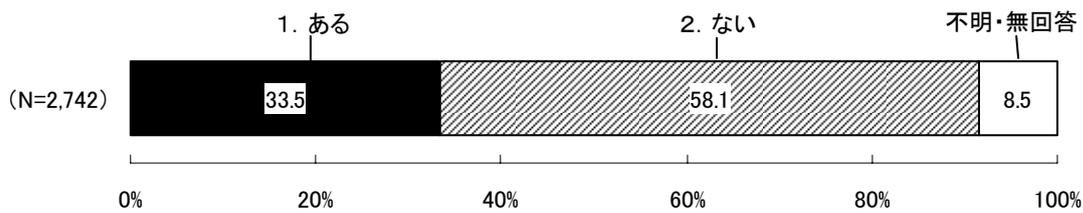
平成16年調査と比較すると、「就労している保護者が仕事を休んで看病をした」が26.4%であったのに対して、「2. 母親が休んだ」が59.9%と高くなっている。



7 宿泊を伴わない一時預かりについて

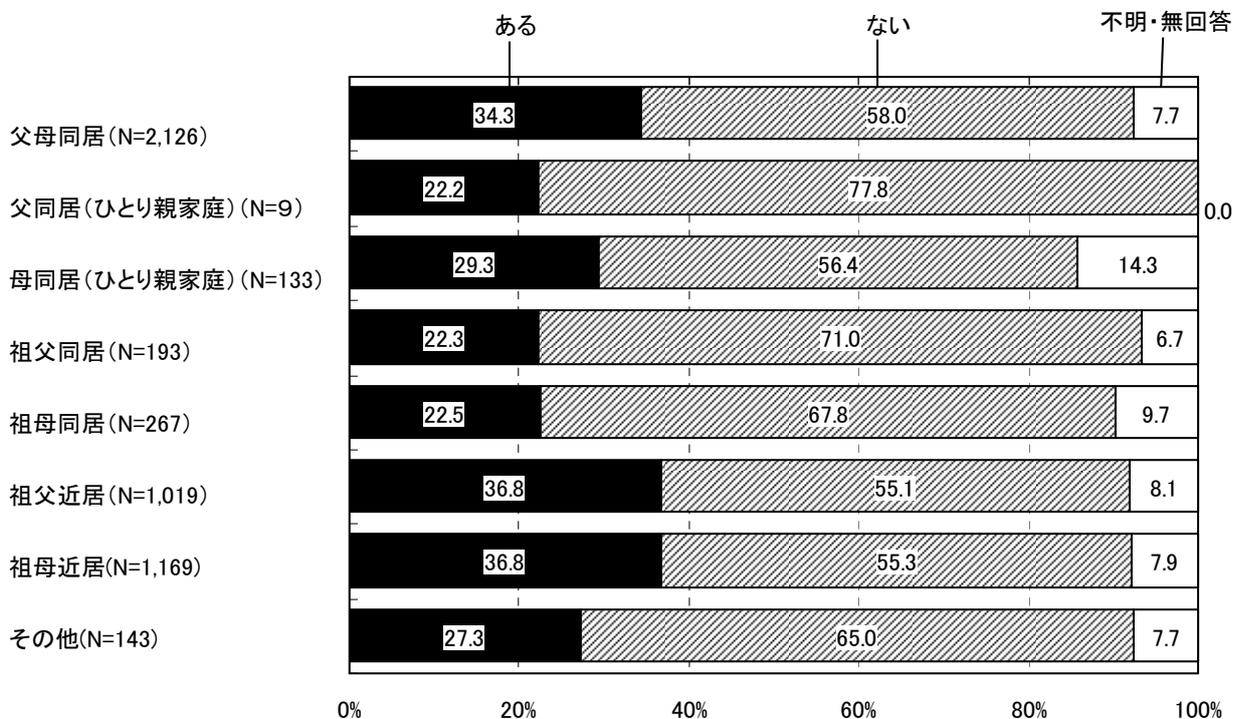
問 15 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や保護者の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。

「1. ある」が33.5%、「2. ない」が58.1%となっている。



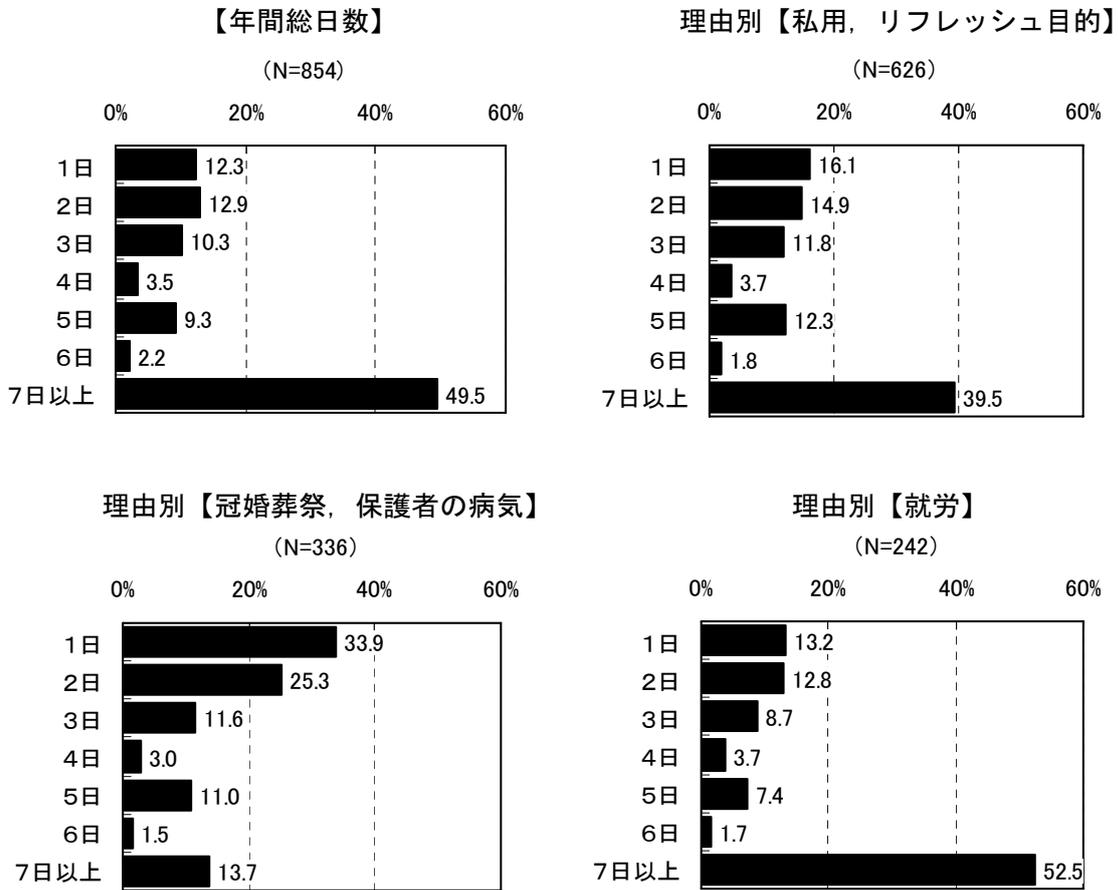
【同居・近居の状況別】

同居・近居の状況別にみると、どの区分についても「ない」の割合が高くなっている。



〔こどもを家族以外に預けた日数〕

預けた年間総日数については、「7日以上」が49.5%と高くなっており、理由別にみても、「冠婚葬祭、保護者の病気」以外では「7日以上」が高くなっている。

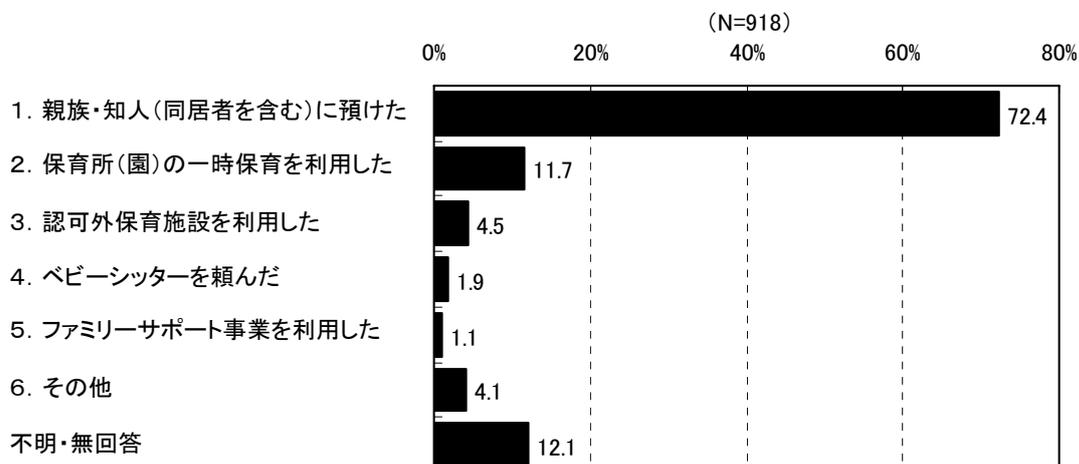


※不明・無回答除く

問 15-1 問 15 で「1」を選ばれた方におうかがいします。

この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。（あてはまるものすべて）

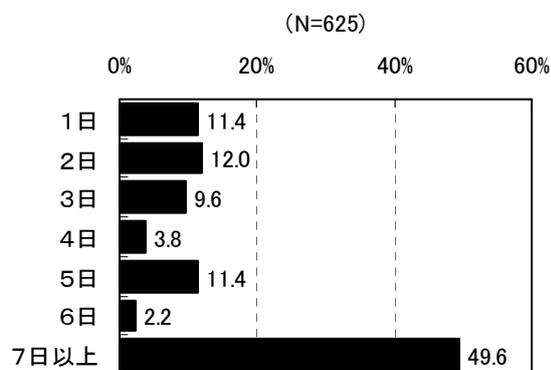
この1年間に、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことがある方の対処方法については「1. 親族・知人（同居者を含む）に預けた」が7割以上を占めている。



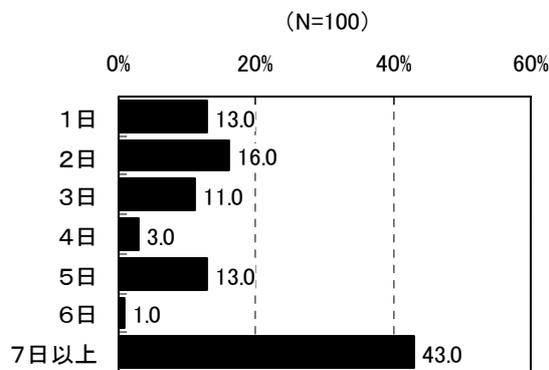
〔対処方法別日数〕

対処方法別日数については、「5. ファミリーサポート事業を利用した」を除き「1日」から「3日」、または「7日以上」が中心となっている。

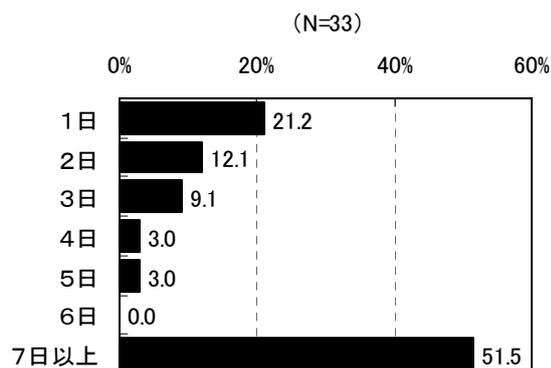
【1. 親族・知人(同居者を含む)に預けた】



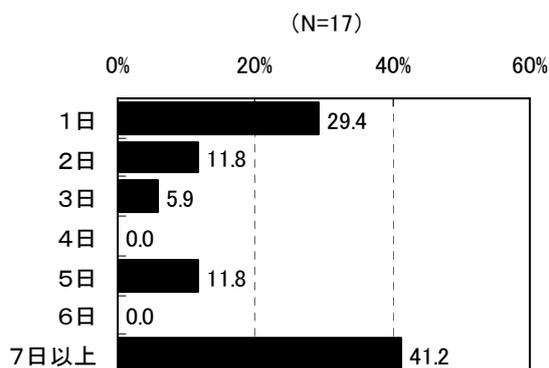
【2. 保育所(園)の一時保育を利用した】



【3. 認可外保育施設を利用した】

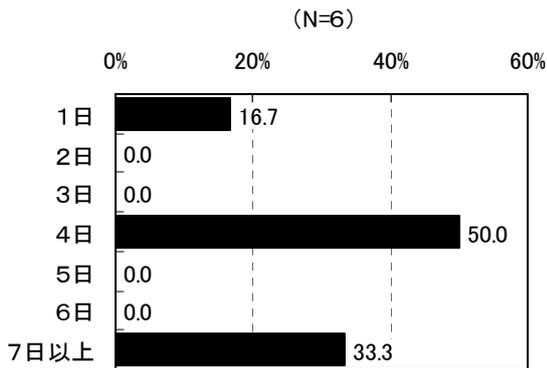


【4. ベビーシッターを頼んだ】

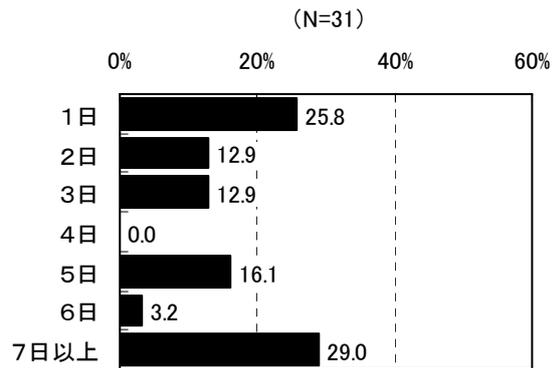


※不明・無回答除く

【5. ファミリーサポート事業を利用した】



【6. その他】

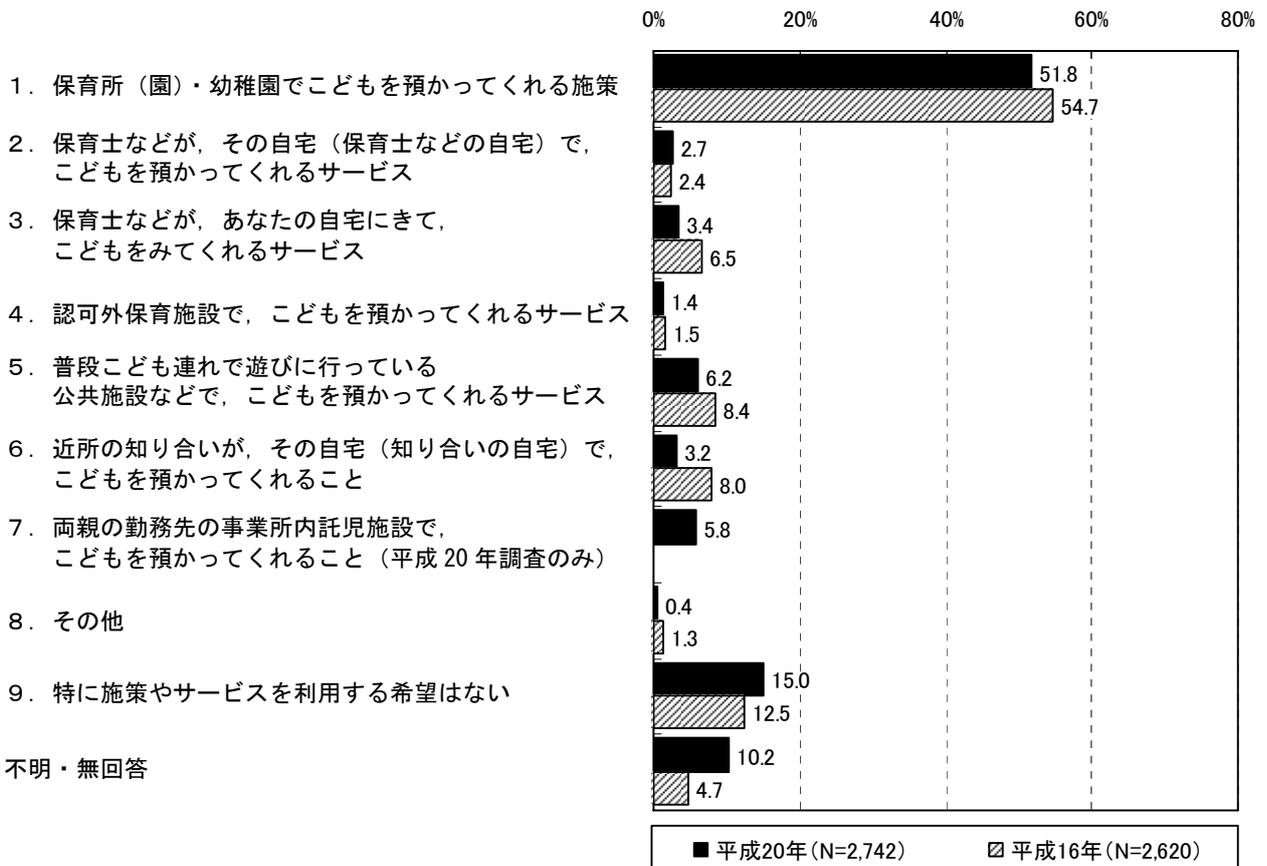


※不明・無回答除く

問 16 日中（宿泊を伴わない時間帯）に一時的にお子さんを預けたい場合、どのような子育て支援施策・サービスを最も利用したいと思いますか。

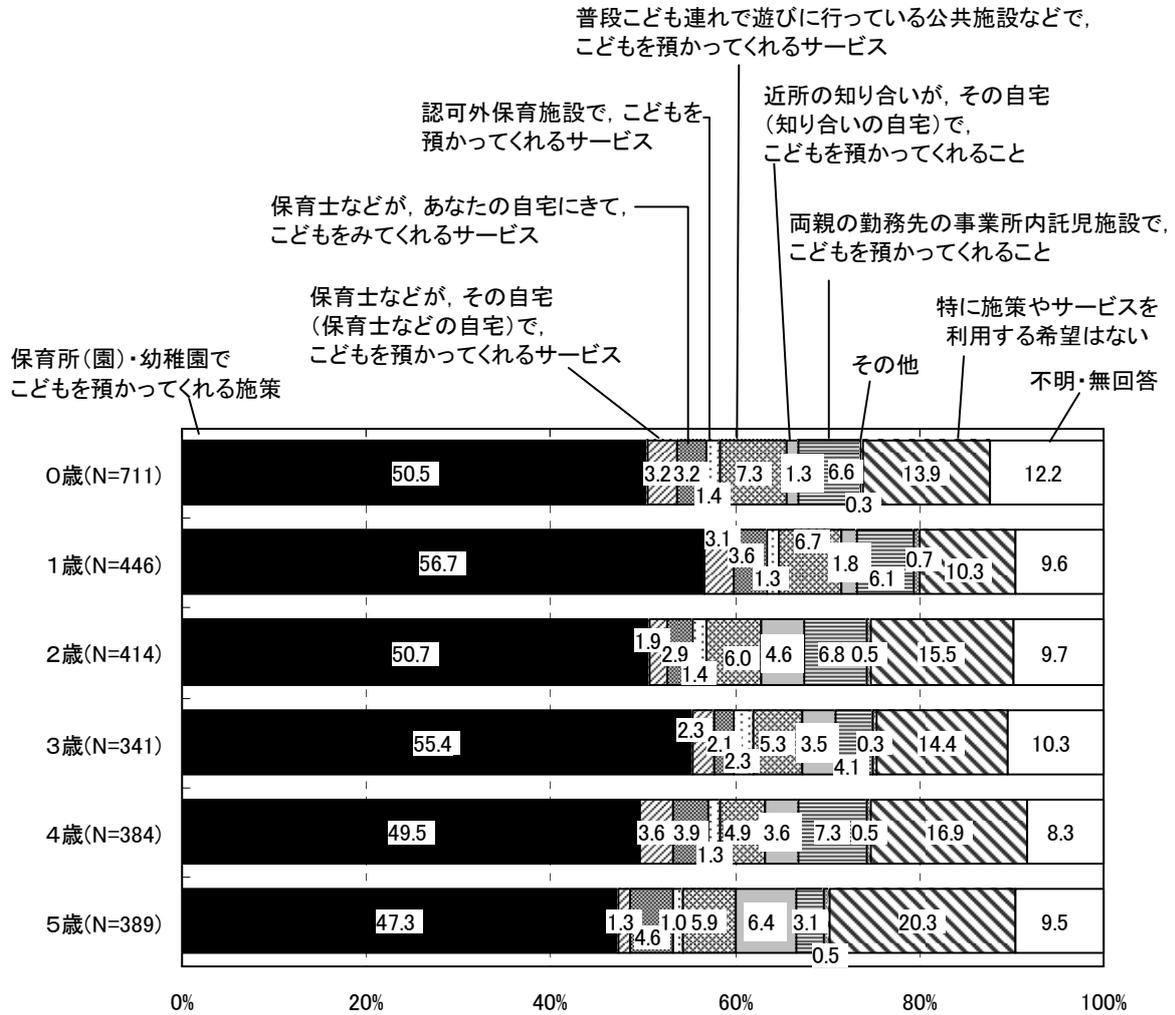
「1. 保育所（園）・幼稚園で子どもを預かってくれる施策」が5割以上となっている。

平成16年調査と比較すると、全体的に同様の結果となっているが、「6. 近所の知り合いが、その自宅（知り合いの自宅）で、子どもを預かってくれること」「3. 保育士などが、あなたの自宅にきて、子どもをみてくれるサービス」が低くなっている。



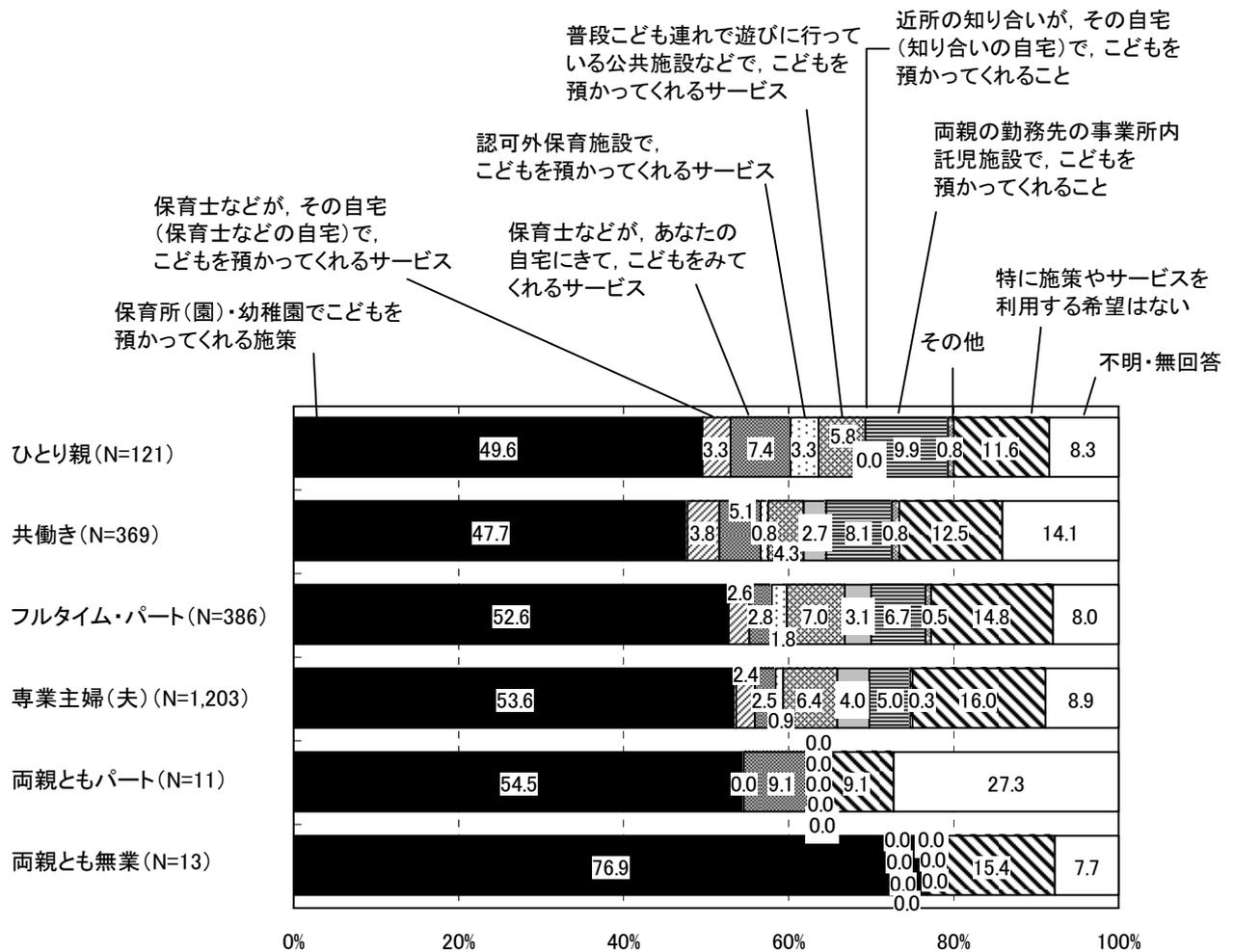
【こどもの年齢別】

こどもの年齢別にみると、どの区分についても「保育所（園）・幼稚園でこどもを預かってくれる施策」の割合が最も高くなっている。



【家族類型別】

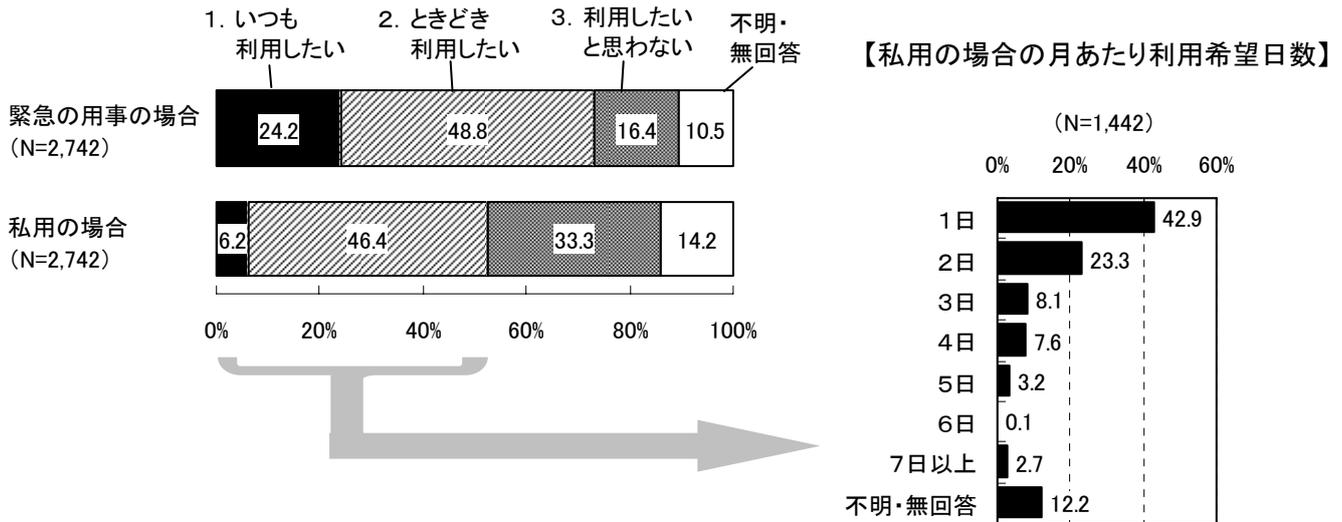
家族類型別にみると、どの区分についても「保育所（園）・幼稚園で子どもを預かってくれる施策」の割合が最も高くなっている。



問 16-1 上記のような施策やサービスをどの程度利用したいと思いますか。緊急の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）と私用（美容院、習い事、趣味の活動など）の別にお答えください。

「1. いつも利用したい」と「2. ときどき利用したい」を合わせた『利用したい』が、緊急の用事の場合については7割以上、私用の場合については5割以上と高くなっている。

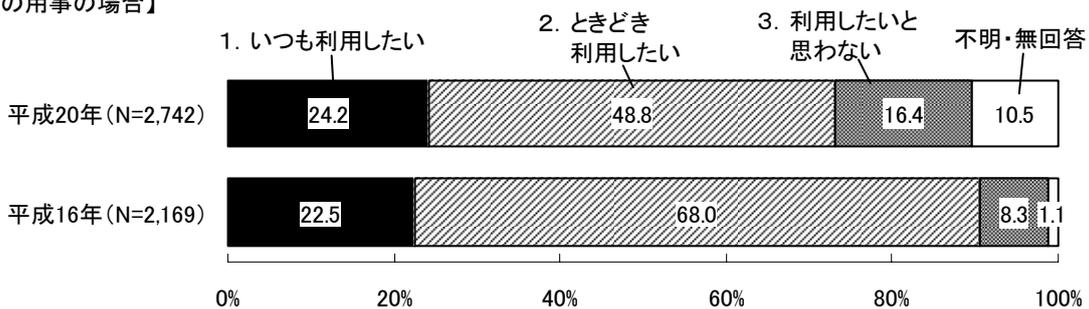
私用の場合の1月あたりの利用希望日数は、1日～2日が6割以上を占めている。



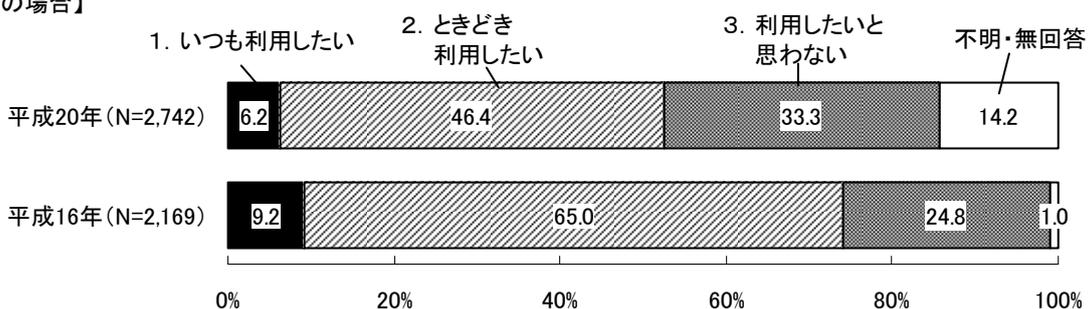
【平成 16 年調査との比較】

平成 16 年調査と比較すると、緊急の用事の場合、私用の場合ともに「2. ときどき利用したい」が 20 ポイント程度低くなっている。

【緊急の用事の場合】



【私用の場合】

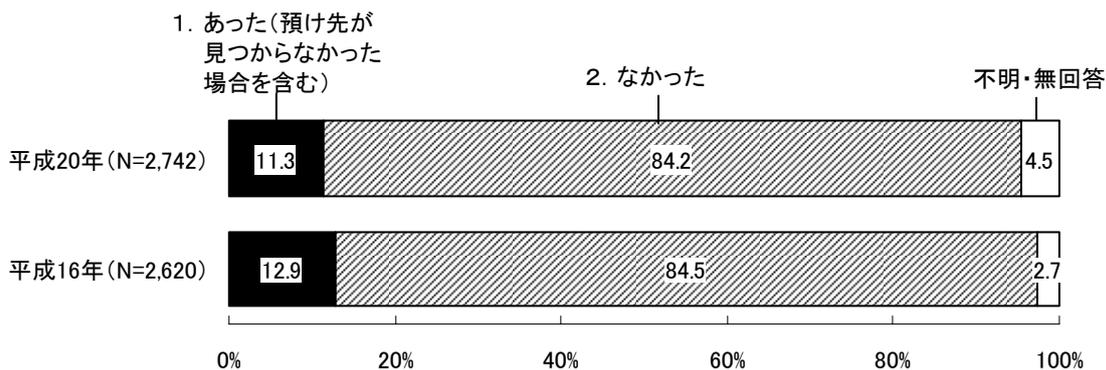


8 宿泊を伴う一時預かりについて

問 17 この 1 年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

「1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」が 11.3%、「2. なかった」が 84.2% となっている。

平成 16 年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。

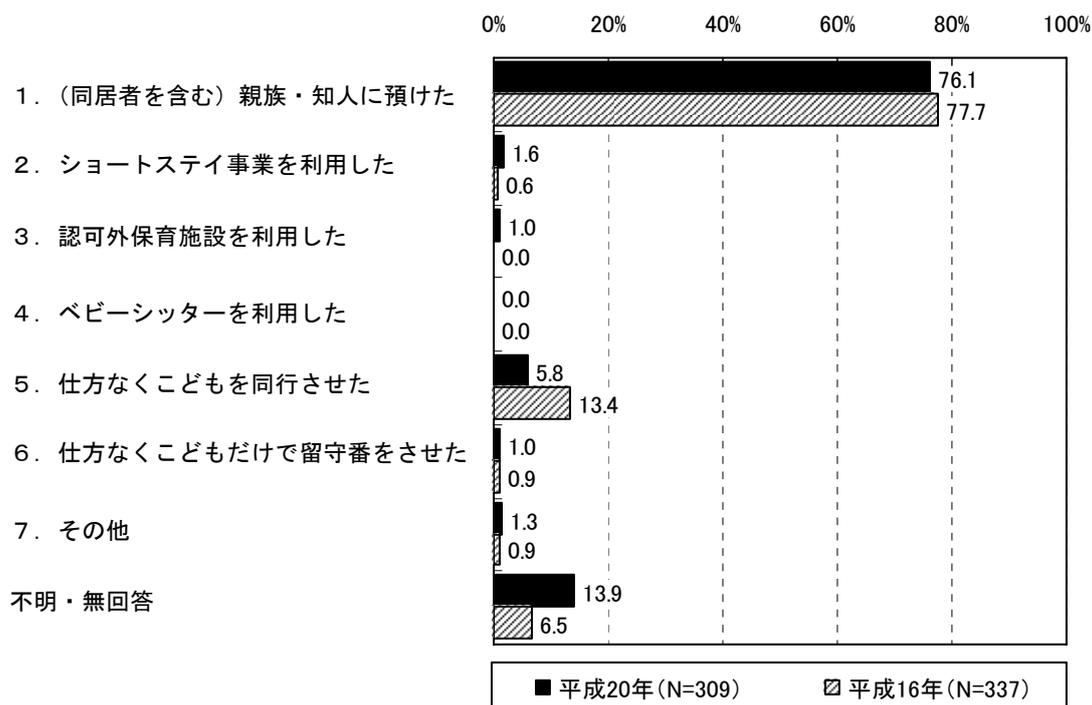


問 17-1 問 17 で「1」を選ばれた方におうかがいします。

この 1 年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。（あてはまるものすべて）

対処方法についてみると、「1.（同居者を含む）親族・知人に預けた」が 7 割を超えている。

平成 16 年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっているが、「5. 仕方なく子どもを同行させた」が 7.6 ポイント低くなっている。

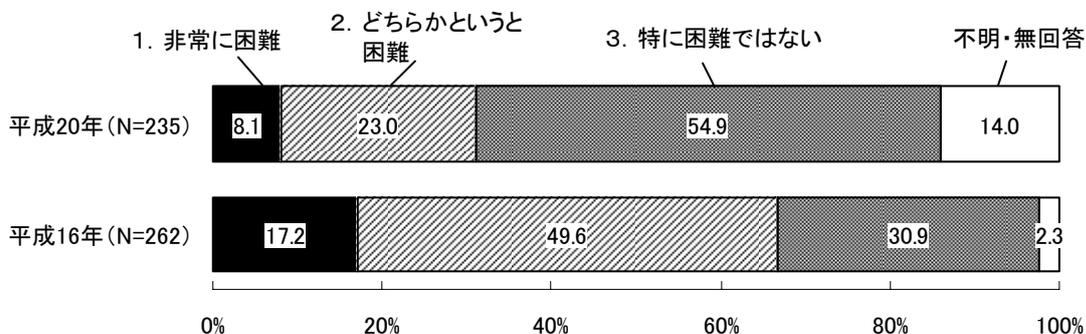


問 17-2 問 17-1 で「1」に回答された方におうかがいします。

その際の困難度はどの程度でしたか。

親族・知人に預けた際の困難度についてみると、「3. 特に困難ではない」が54.9%と過半数を超えている。

平成16年調査と比較すると、「3. 特に困難ではない」が24.0ポイント高くなっている。

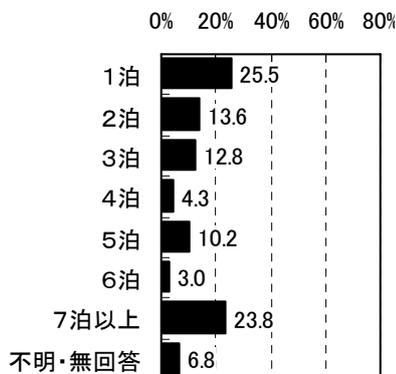


〔対処方法別泊数〕

対処方法別の泊数は、主に1泊～3泊が中心となっている。

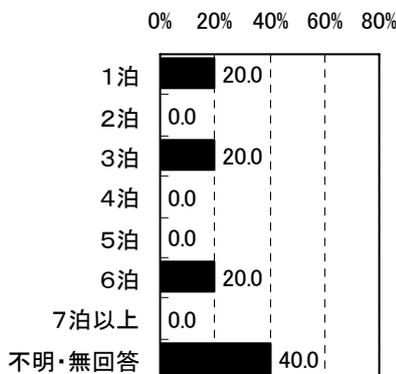
【1. (同居者を含む) 親族・知人に預けた】

(N=235)



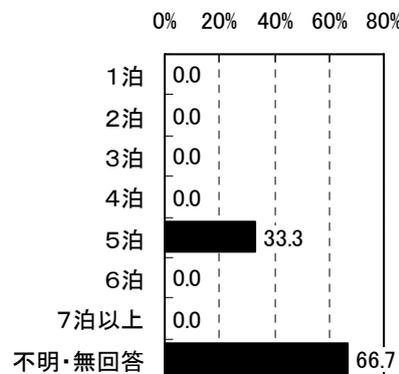
【2. ショートステイ 事業を利用した】

(N=5)



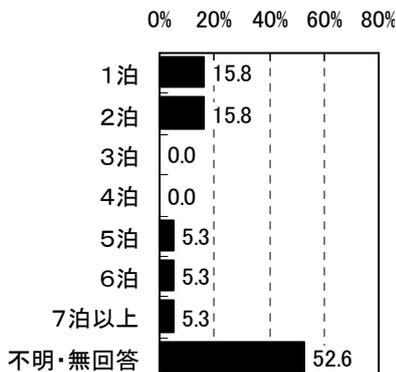
【3. 認可外保育 施設を利用した】

(N=3)



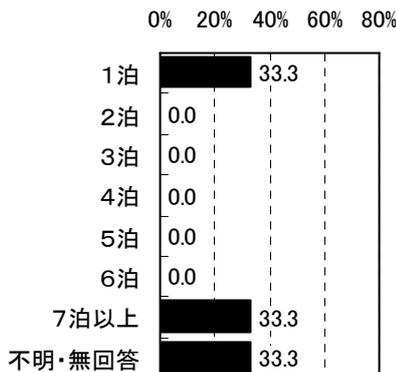
【5. 仕方なく子どもを同行させた】

(N=19)



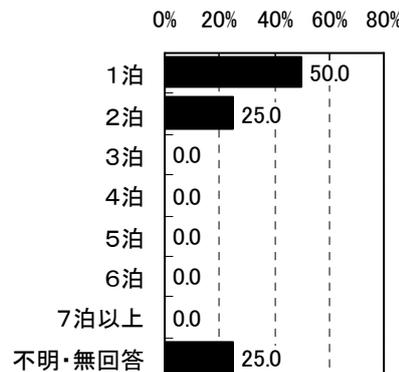
【6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた】

(N=3)



【7. その他】

(N=4)



※「4. ベビーシッターを利用した」は回答なし

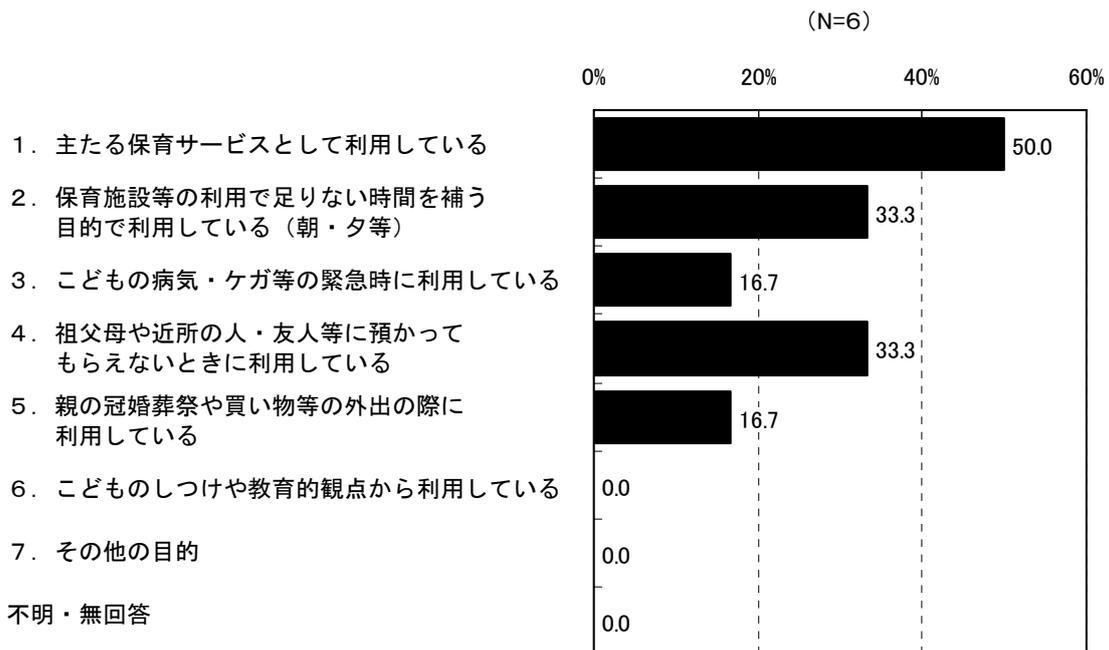
9 ベビーシッターの利用について

問 18, 19 はベビーシッターを利用されている方におうかがいします。

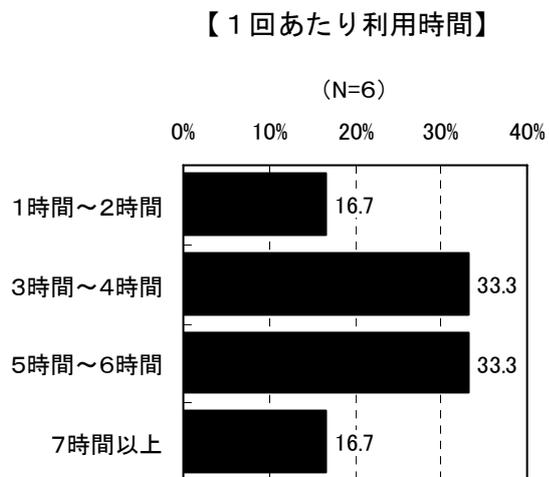
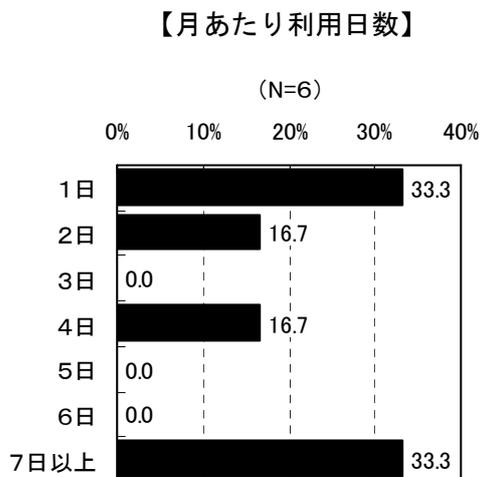
問 18 どのような目的で利用していますか。(あてはまるものすべて)

「1. 主たる保育サービスとして利用している」が50.0%と最も高くなっている。

1月あたりの利用日数については「1日」「7日以上」が高くなっており、1回あたりの利用時間については3時間～6時間が高くなっている。



問 19 どれくらいの頻度で利用していますか。



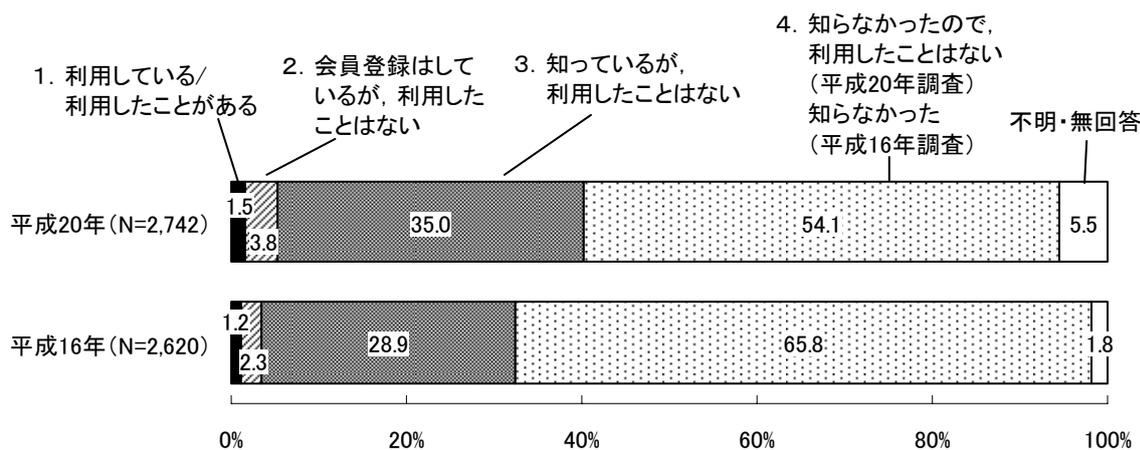
※不明・無回答除く

10 ファミリーサポート事業の利用について

問 20 ファミリーサポート事業を利用していますか。

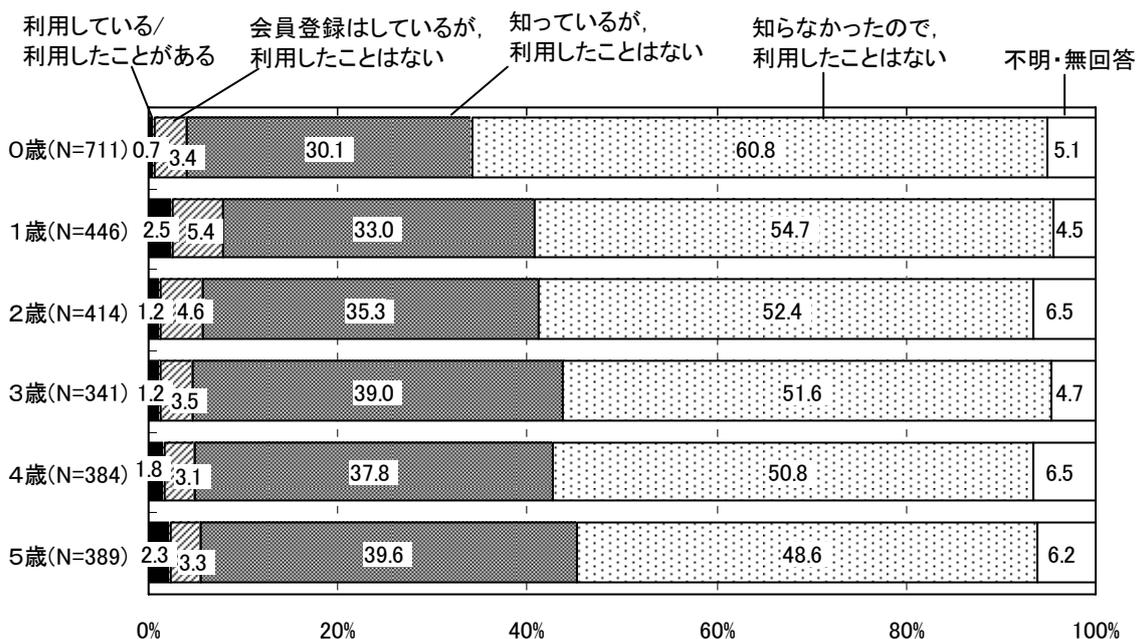
「4. 知らなかったため、利用したことはない」が54.1%、「3. 知っているが、利用したことはない」が35.0%と高くなっている。

平成16年調査と比較すると、「4. 知らなかったため、利用したことはない（平成20年調査）/知らなかった（平成16年調査）」が11.7ポイント低くなっている。



【こどもの年齢別】

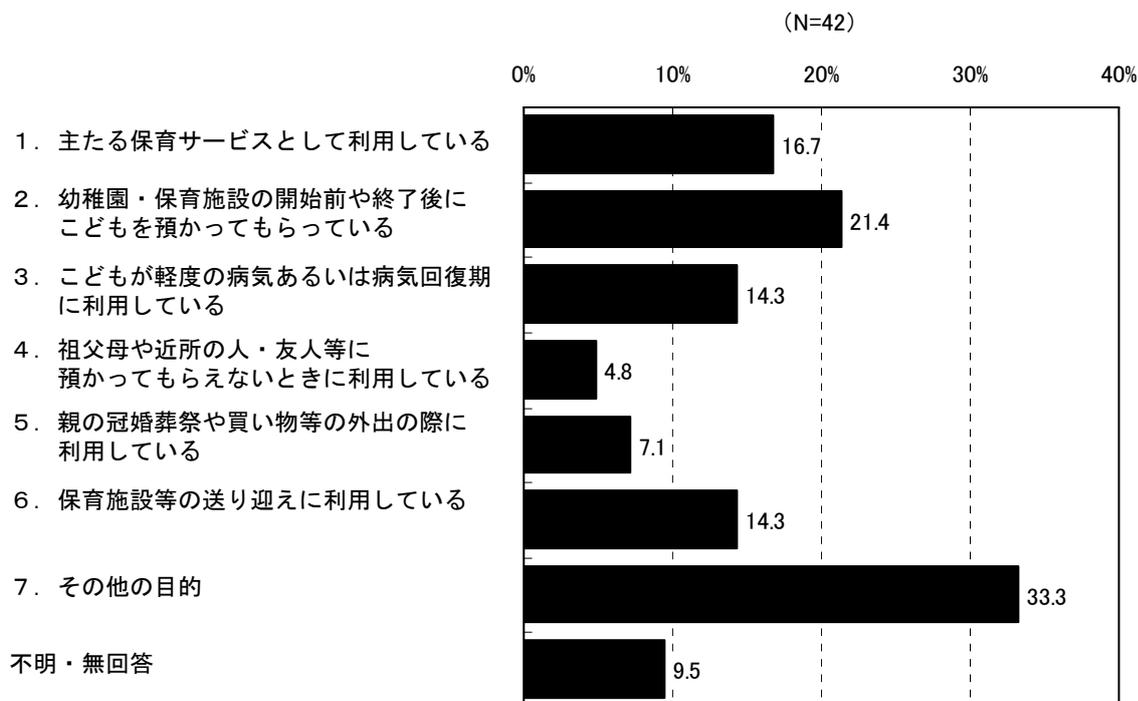
こどもの年齢別にみると、どの区分についても「知らなかったため、利用したことはない」の割合が最も高くなっている。



問 20-1～問 20-3 は、問 20 で「1」を選ばれた方におうかがいします。

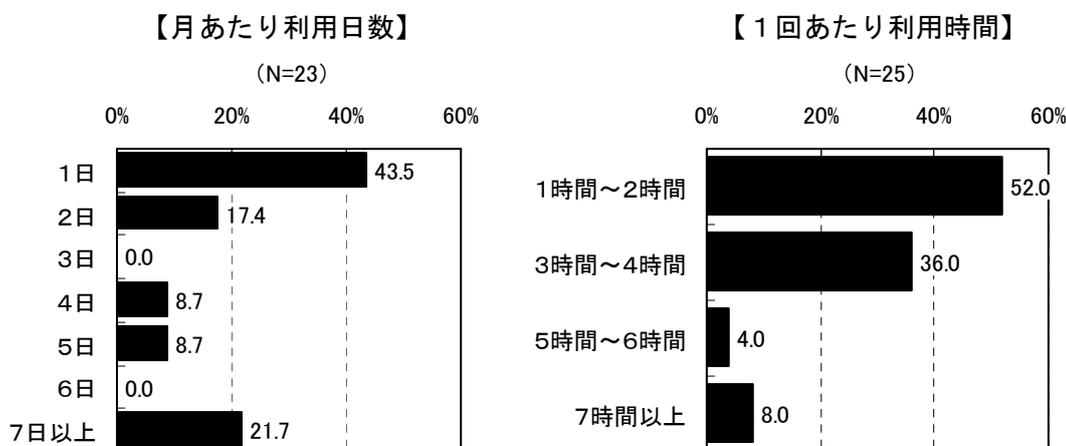
問 20-1 どのような目的で利用していますか。(あてはまるものすべて)

「2. 幼稚園・保育施設の開始前や終了後にこどもを預かってもらっている」が 21.4%、「1. 主たる保育サービスとして利用している」が 16.7%と高くなっているが、「7. その他の目的」も 33.3%となっている。



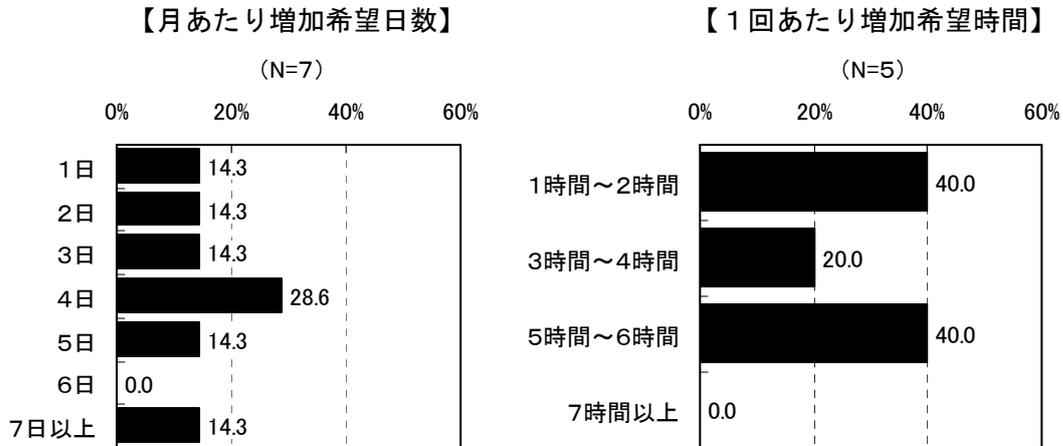
問 20-2 どれくらいの頻度で利用していますか。

1月あたりの利用日数については「1日」が 43.5%と最も高くなっており、1回あたりの利用時間については「1時間～2時間」が 52.0%と最も高くなっている。



※不明・無回答除く

問 20-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方はどの程度増やしたいと思いますか。

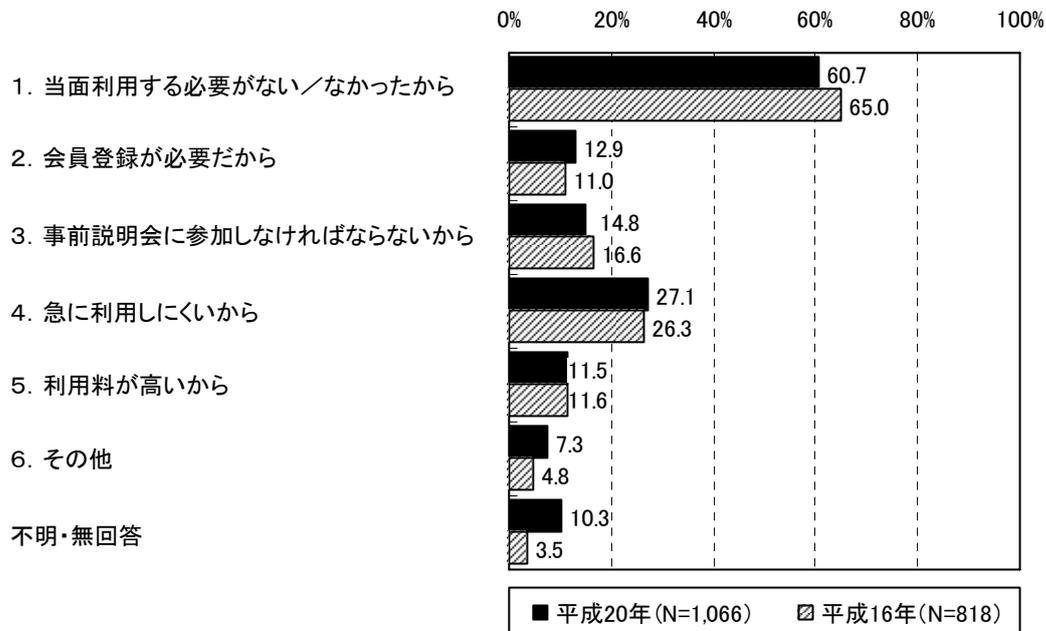


※不明・無回答除く

問 20-4 問 20 で「2」、「3」を選ばれた方におうかがいします。
 利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべて）

利用していない理由についてみると、「1. 当面利用する必要がない／なかったから」が60.7%と最も高く、次いで、「4. 急に利用しにくいから」が27.1%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



【こどもの年齢別】

こどもの年齢別にみると、どの区分についても「当面利用する必要がない／なかったから」の割合が最も高くなっている。

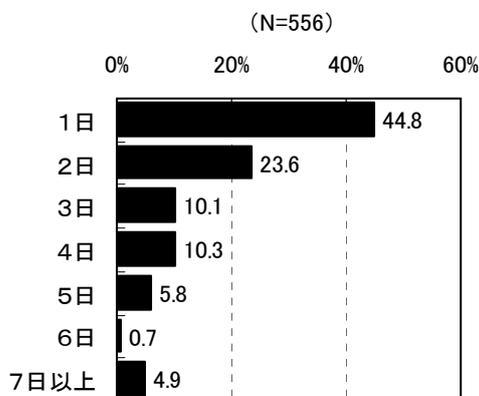
単位：%

		回答者数 (人)	当面利用 する必要 がない／ なかった から	会員登録 が必要だ から	事前説明 会に参加 しなければ ならない から	急に利用 しにくい から	利用料が 高いから	その他	不明・ 無回答
年齢別	0歳	238	63.0	10.9	10.5	20.6	9.2	6.7	11.8
	1歳	171	57.3	13.5	16.4	26.3	9.9	8.8	10.5
	2歳	165	57.6	14.5	14.5	33.3	13.3	6.1	10.3
	3歳	145	57.9	15.9	20.0	34.5	13.8	9.0	8.3
	4歳	157	64.3	13.4	17.2	26.8	10.8	8.3	6.4
	5歳	167	62.9	10.8	13.2	25.7	13.2	5.4	11.4

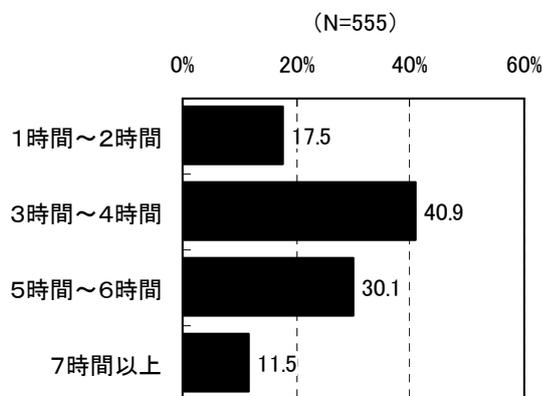
問 20-5 問 20 で「2」、「3」、「4」を選ばれた方におうかがいします。

今は利用していないが、できれば利用したい方は、どの程度利用したいと思いますか。

【月あたり利用希望日数】



【1回あたり利用希望時間】



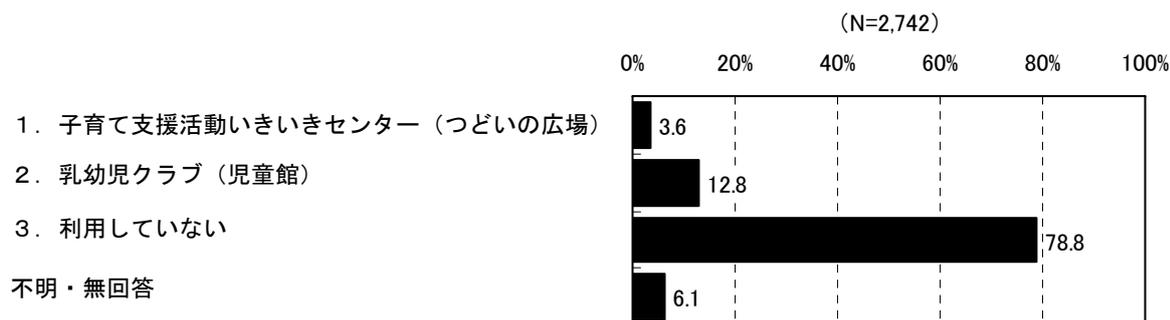
※不明・無回答除く

11 地域の子育て支援活動の利用について

問 21 あなたとあて名のお子さんは、現在、子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）や児童館で実施している乳幼児クラブを利用していますか。
また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

「3. 利用していない」が78.8%と高くなっている。

利用回数は、「子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）」「乳幼児クラブ（児童館）」ともに、1週あたり、1月あたりのどちらも1回～2回が高くなっている。



【家族類型別】

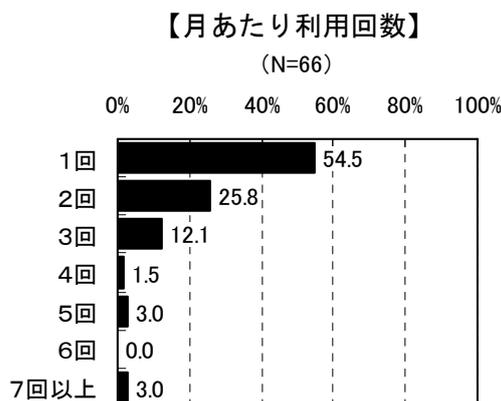
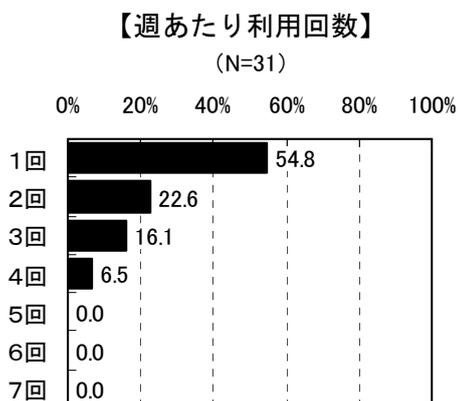
家族類型別にみると、「専業主婦（夫）」では、「乳幼児クラブ（児童館）」の割合が他の区分と比較して高くなっている。

単位：%

家族類型別		回答者数 (人)	子育て支援活動 いきいきセンター (つどいの広場)	乳幼児クラブ (児童館)	利用していない	不明・無回答
家族類型別	ひとり親	121	-	5.0	90.9	4.1
	共働き	369	3.5	5.7	85.1	6.5
	フルタイム・パート	386	1.6	5.7	89.1	4.4
	専業主婦(夫)	1,203	4.6	17.8	75.1	4.4
	両親ともパート	11	-	9.1	90.9	-
	両親とも無業	13	7.7	-	84.6	7.7

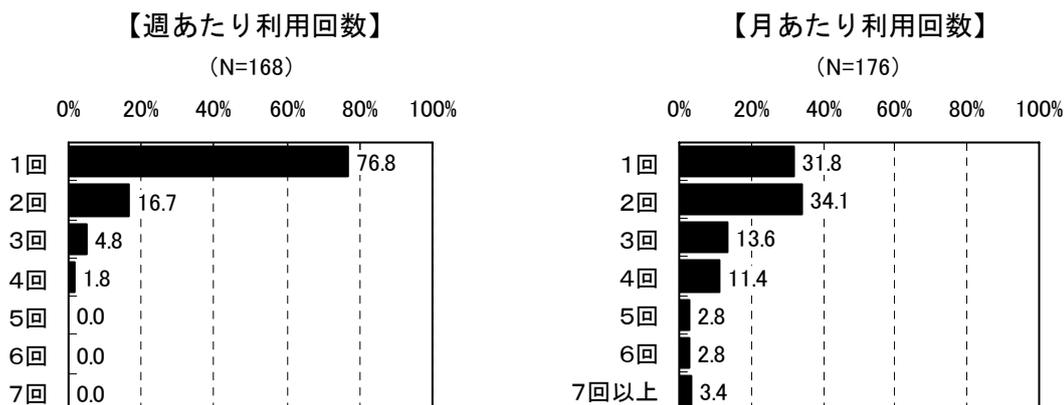
〔利用回数〕

1. 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）



※不明・無回答除く

2. 乳幼児クラブ（児童館）



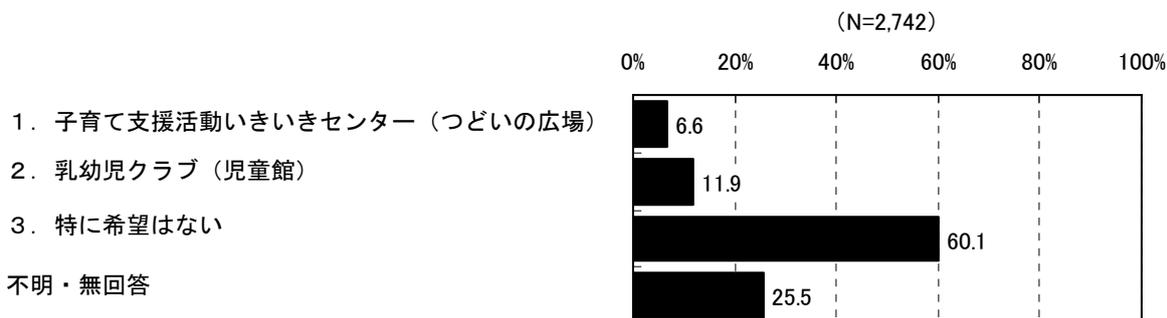
※不明・無回答除く

問 21-1 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。

希望がある方はどの程度利用したいと思いますか。

「3. 特に希望はない」が60.1%と過半数を占めている。

利用希望回数や増加希望回数では、全体的に1回～2回が高くなっている。



【こどもの年齢別】

こどもの年齢別にみると、どの区分についても「特に希望はない」の割合が最も高くなっている。また、年齢が低くなるほど「乳幼児クラブ（児童館）」の割合が高い傾向にある。

単位：%

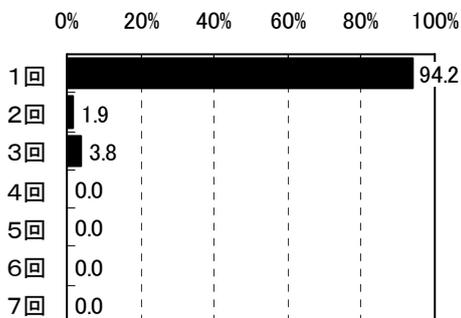
		回答者数 (人)	子育て支援活動 いきいきセン ター(つどいの 広場)	乳幼児クラブ(児 童館)	特に希望はない	不明・無回答
年 齢 別	0歳	711	11.8	22.9	41.8	30.9
	1歳	446	11.0	17.5	56.3	22.6
	2歳	414	3.6	9.7	60.6	28.0
	3歳	341	3.5	4.4	70.1	23.8
	4歳	384	2.1	3.6	71.4	24.2
	5歳	389	2.1	1.8	77.1	20.1

〔利用希望回数〕

1. 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）

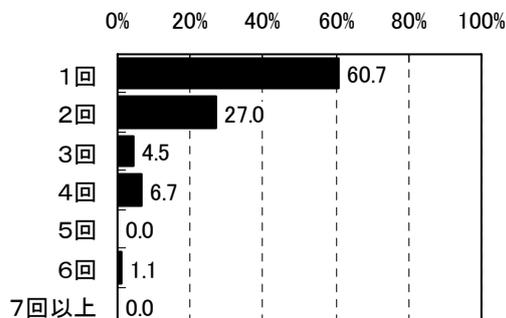
【週あたり利用希望回数】

(N=52)



【月あたり利用希望回数】

(N=89)

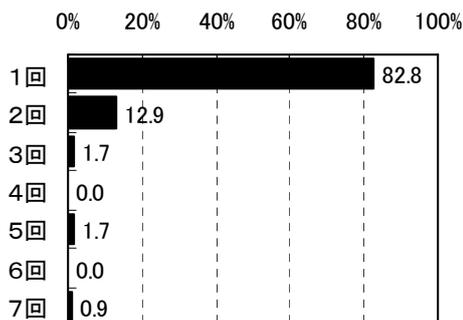


※不明・無回答除く

2. 乳幼児クラブ

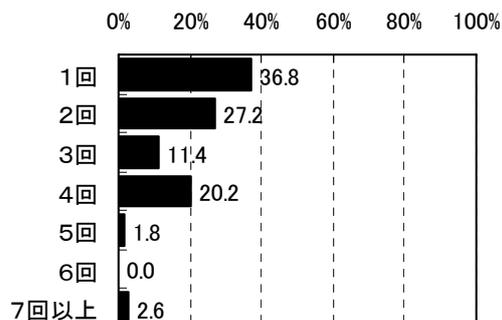
【週あたり利用希望回数】

(N=116)



【月あたり利用希望回数】

(N=114)



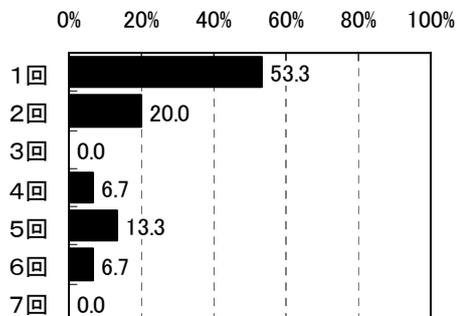
※不明・無回答除く

〔増加希望回数〕

1. 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）

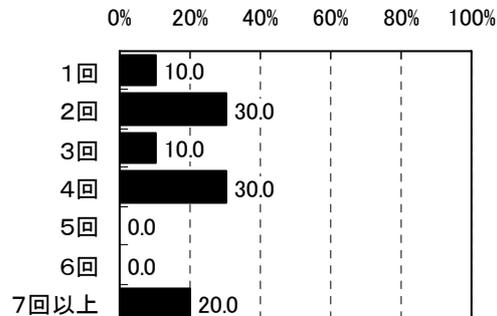
【週あたり増加希望回数】

(N=15)



【月あたり増加希望回数】

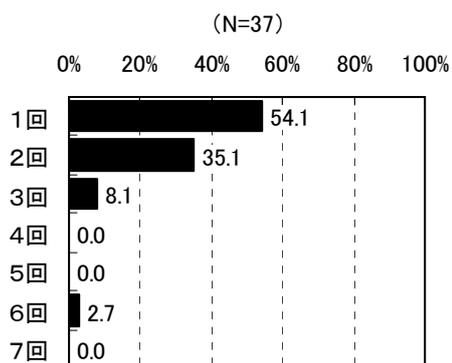
(N=10)



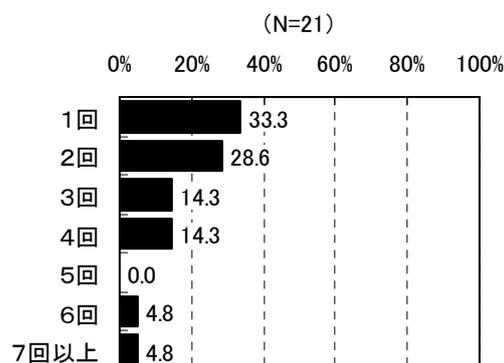
※不明・無回答除く

2. 乳幼児クラブ

【週あたり増加希望回数】



【月あたり増加希望回数】

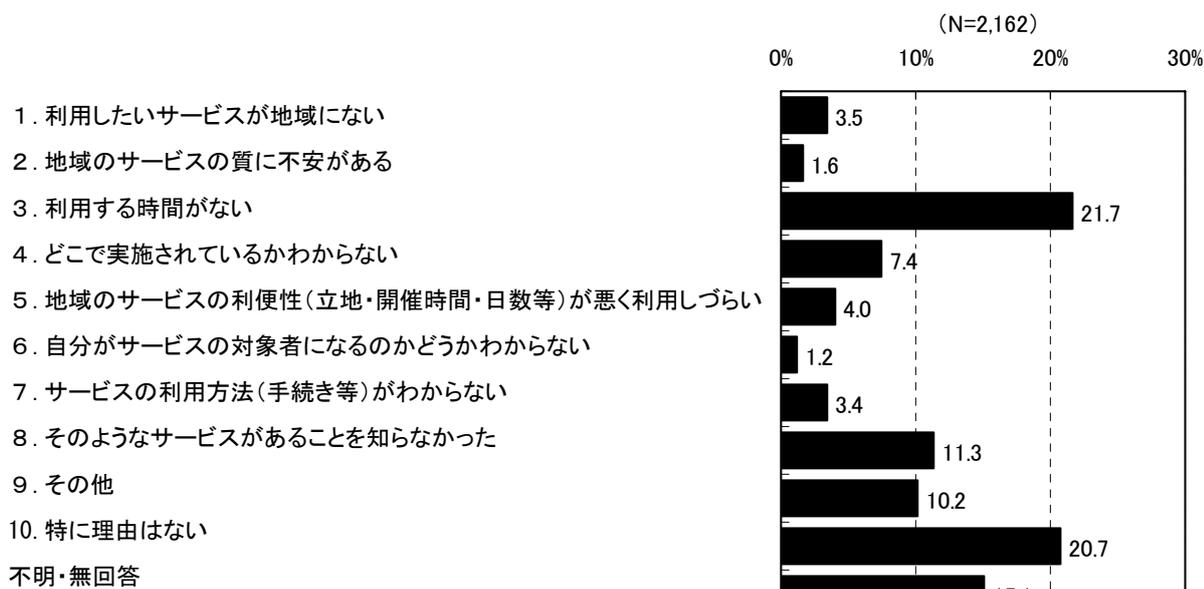


※不明・無回答除く

問 21-2 問 21 で「3」を選んだ方におうかがいします。

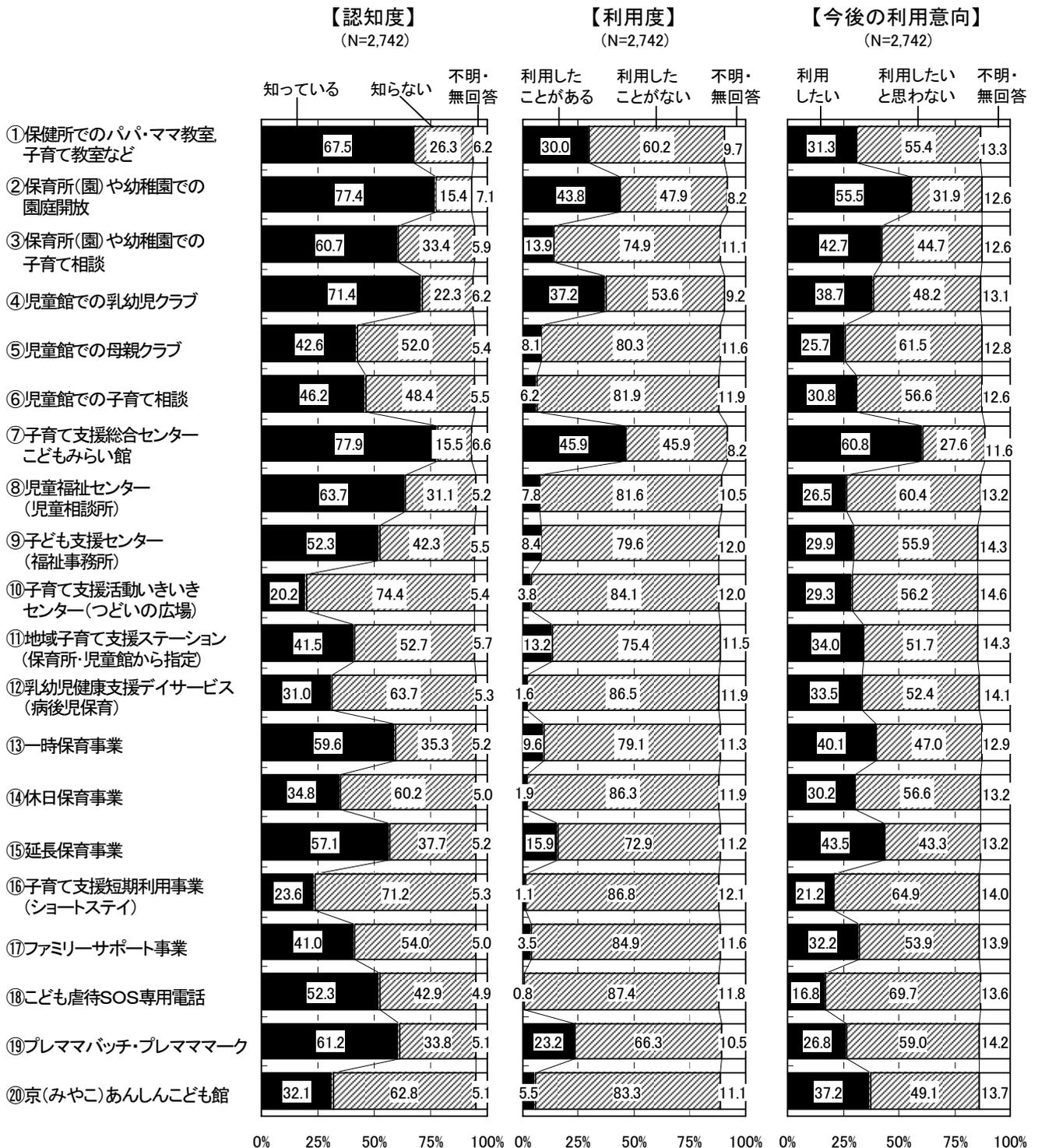
現在利用していない理由はどのようなことですか。

「3. 利用する時間がない」「10. 特に理由はない」が高くなっている。



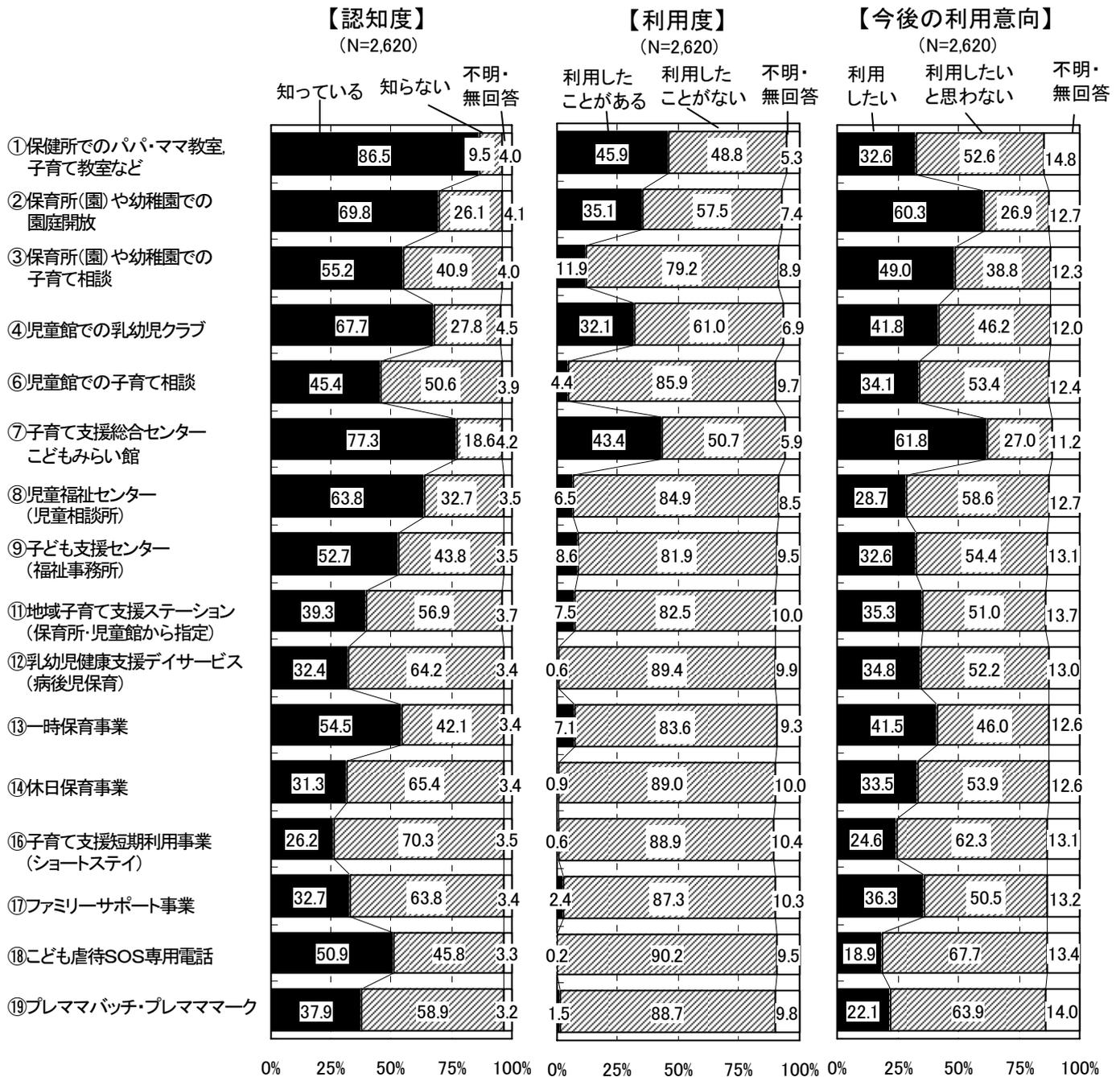
12 子育て支援施策・サービスの認知度， 利用度について

問 22 以下の①～⑳の子育て支援施策・サービスを知っていたり，これまでに利用したことがありますか。また，今後利用したいと思いますか。



平成 16 年調査と比較すると、認知度、利用度については「①保健所でのパパ・ママ教室、子育て教室など」で平成 16 年調査より平成 20 年調査が低く、「⑩プレママバッチ・プレマママーク」では平成 16 年調査より平成 20 年調査が高くなっている。今後の利用意向についてはほぼ同様の結果となっている。

【平成 16 年調査】

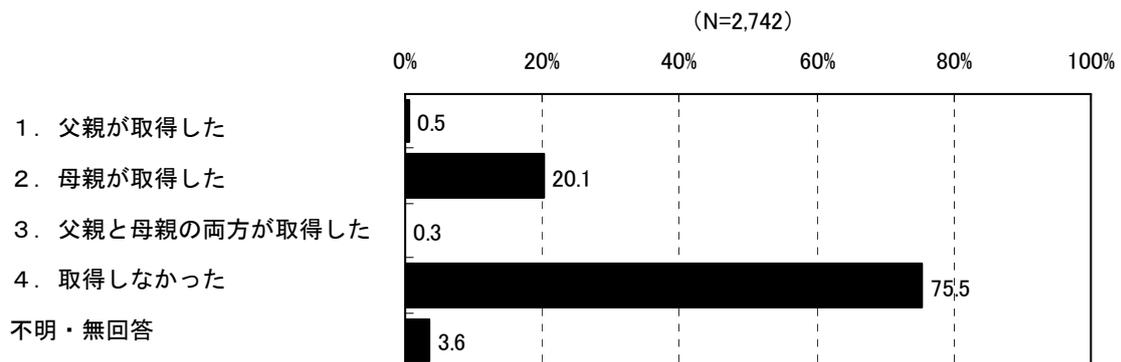


※「⑤児童館での母親クラブ」「⑩子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)」「⑮延長保育事業」「⑳京(みやこ)あんしんこども館」は平成 20 年調査のみ

13 子育てと仕事（育児休業制度の利用など） について

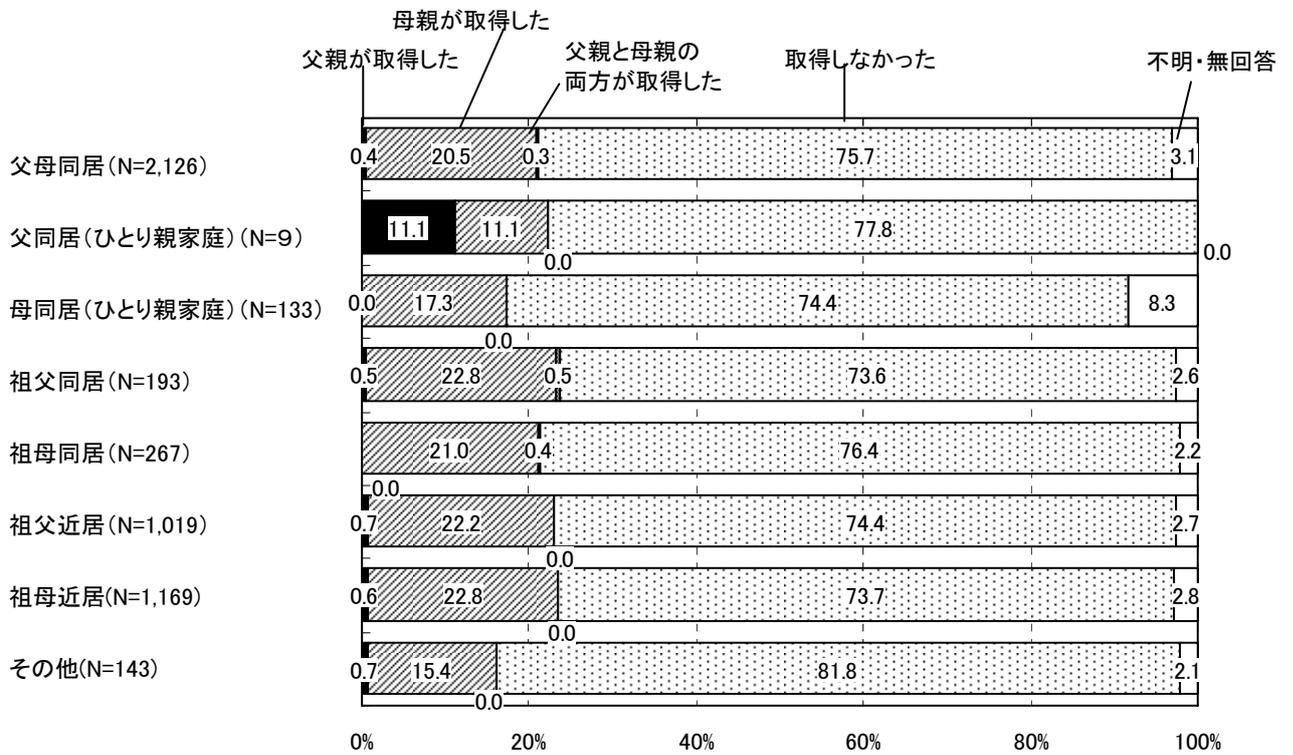
問 23 あて名のお子さんについて、父親または母親が育児休業を取得されましたか。

「4. 取得しなかった」が 75.5%を占め、取得したと回答した方では、母親の取得が 20%以上と高く、父親の取得は 1%弱にとどまっている。



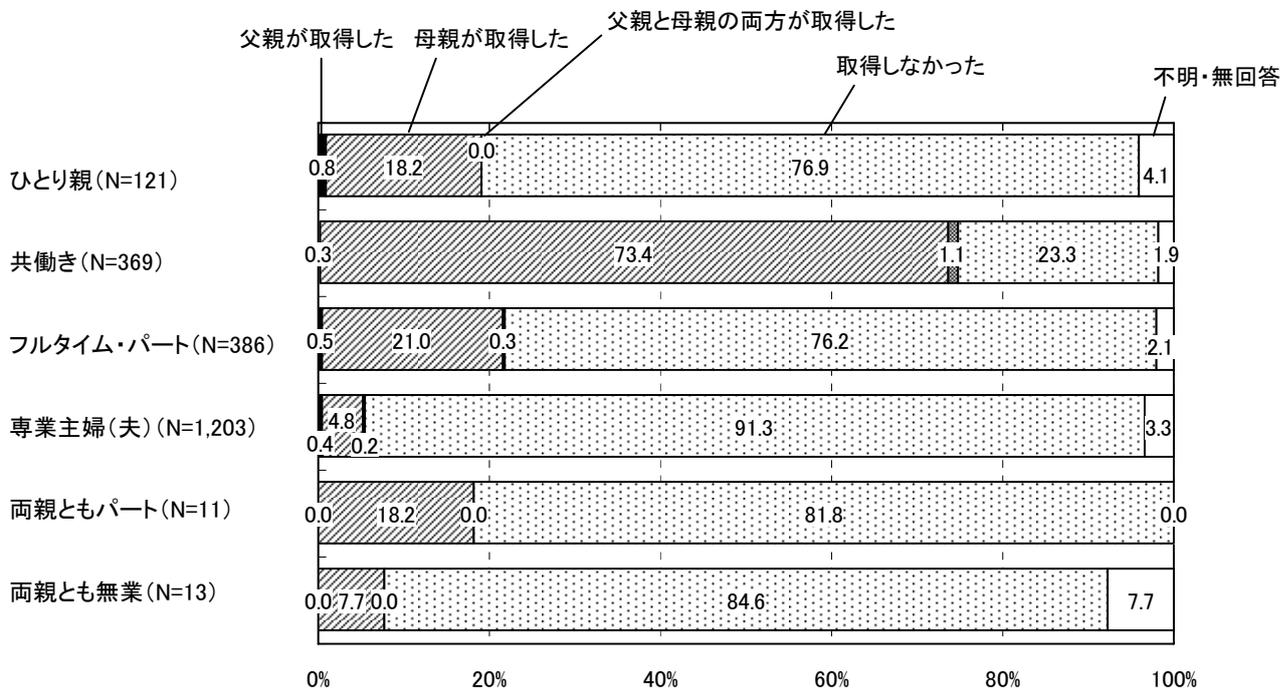
【同居・近居の状況別】

同居・近居の状況別にみると、「父同居（ひとり親家庭）」について、他の区分と比較して「父親が取得した」の割合が高くなっている。



【家族類型別】

家族類型別にみると、「共働き」について、他の区分と比較して「母親が取得した」の割合が高くなっている。

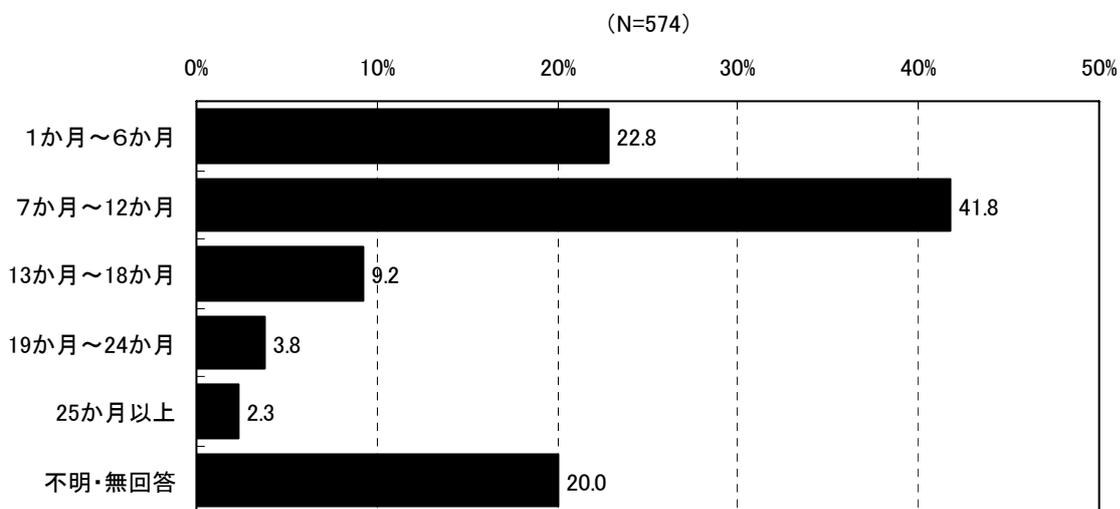


問 23-1, 問 23-2 は問 23 で「1」～「3」を選ばれた方におうかがいします。

問 23-1 育児休業から復帰したとき、お子さんの月齢は何か月でしたか。

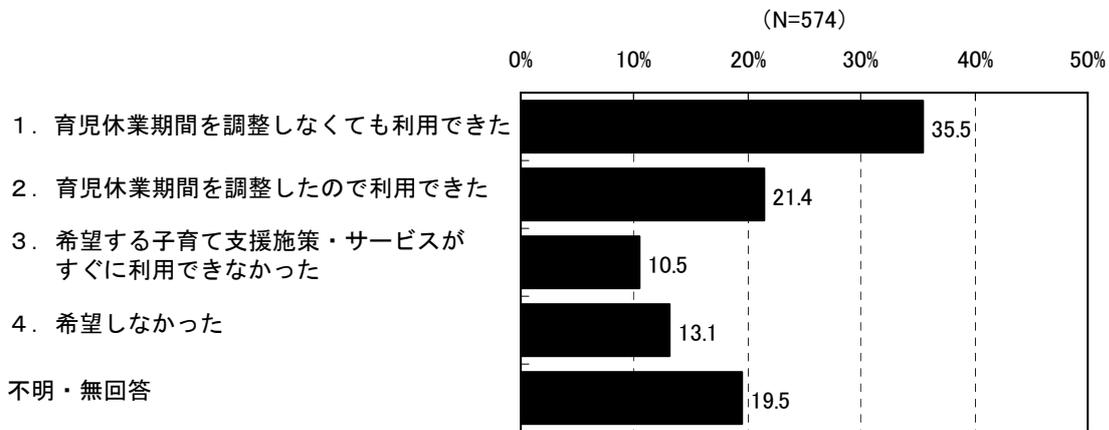
(問 23 で「3」とお答えになった方は、最後の育児休業取得者が復帰したときについてお答えください。)

育児休業からの復帰時期については、「7か月～12か月」が41.8%と最も高く、次いで「1か月～6か月」が22.8%と高くなっている。



問 23-2 育児休業明けに、希望する保育所（園）や昼間里親などの子育て支援施策・サービスをすぐ利用できましたか。

「1. 育児休業期間を調整しなくても利用できた」が 35.5%と最も高く、次いで「2. 育児休業期間を調整したので利用できた」が 21.4%と高くなっている。

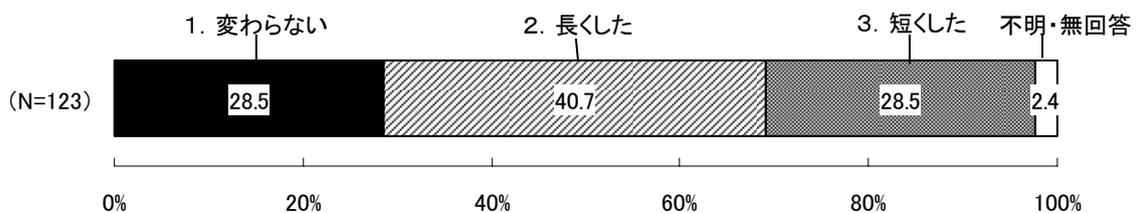


問 23-3 問 23-2 で「2」を選ばれた方におうかがいします。

育児休業から復帰するときに希望する子育て支援施策・サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。

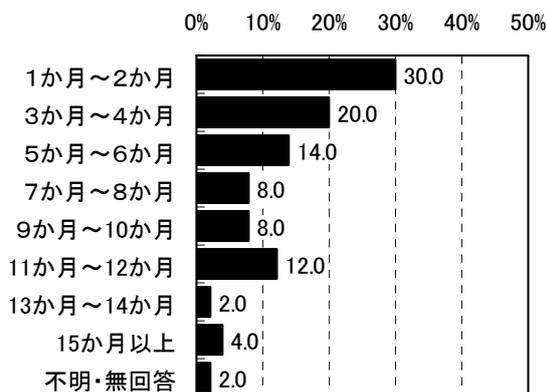
「2」および「3」を選ばれた方は、月数もお答えください。

「2. 長くした」が 40.7%、「3. 短くした」が 28.5%となっており、長くした場合の期間は「1か月～2か月」、短くした場合の期間は「3か月～4か月」が最も高くなっている。



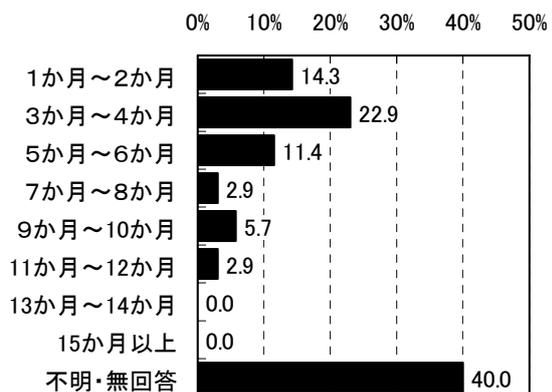
【長くした】

(N=50)



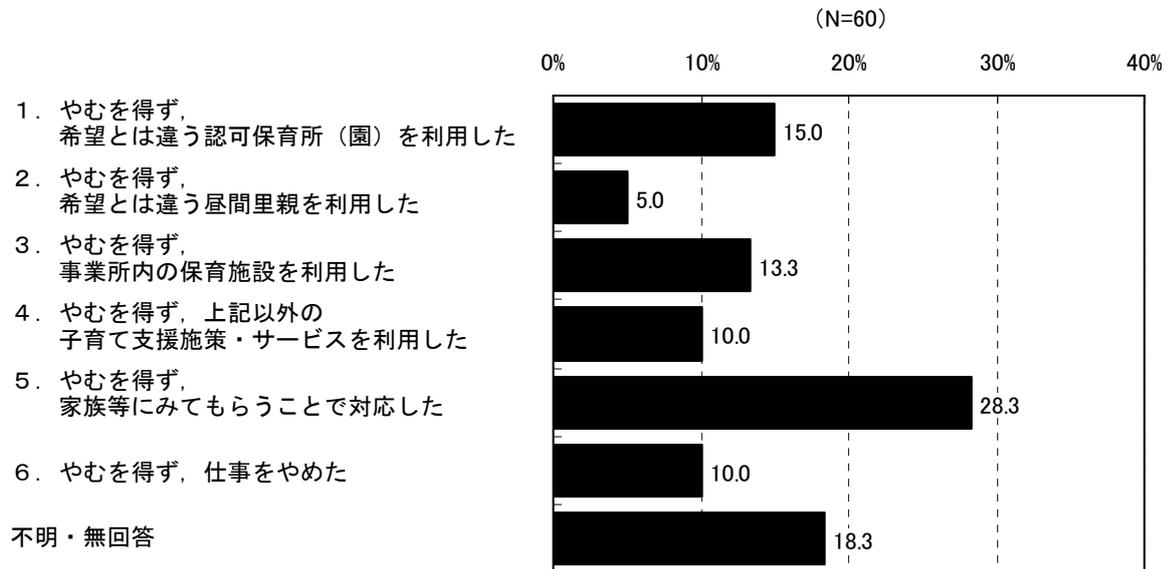
【短くした】

(N=35)



問 23-4 問 23-2 で「3」を選ばれた方におうかがいします。
 どのように対応されましたか。

「5. やむを得ず、家族等にみてもらうことで対応した」が28.3%と最も高く、次いで「1. やむを得ず、希望とは違う認可保育所（園）を利用した」が15.0%と高くなっている。

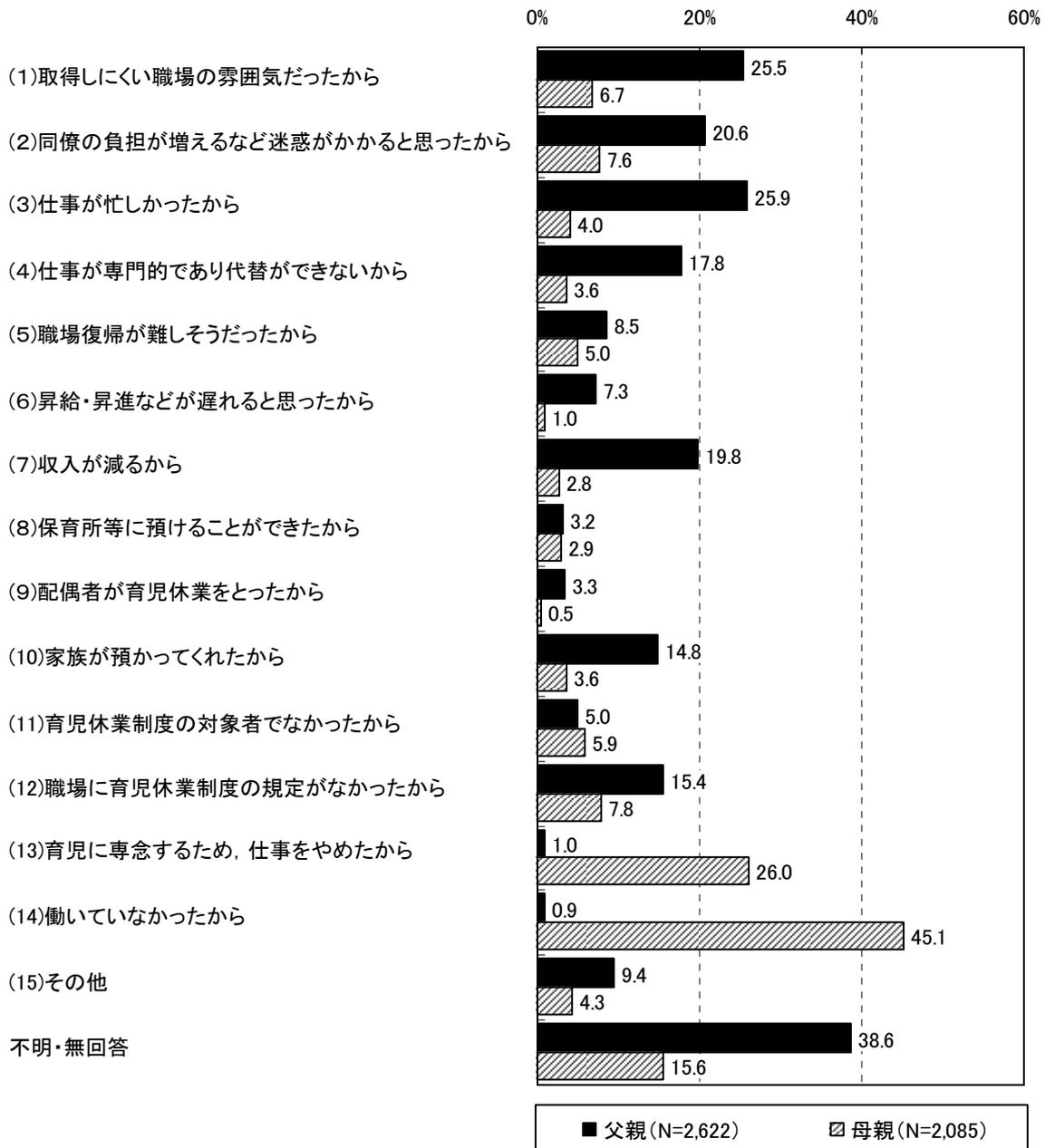


問 23-5 問 23 で「1」、「2」、「4」を選ばれた方におうかがいします。

育児休業を取得しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべて)

育児休業を取得しなかった理由についてみると、「父親」では「(3) 仕事が忙しかったから」が 25.9%と最も高くなっており、次いで「(1) 取得しにくい職場の雰囲気だったから」が 25.5%となっている。

「母親」では、「(14) 働いていなかったから」が 45.1%と最も高く、次いで「(13) 育児に専念するため、仕事をやめたから」が 26.0%となっている。



【家族類型別】

家族類型別にみると、「父親」では「ひとり親」「フルタイム・パート」「専業主婦（夫）」「両親ともパート」について、「取得しにくい職場の雰囲気だったから」の割合が高くなっている。

一方、「母親」では「ひとり親」「共働き」「フルタイム・パート」「専業主婦（夫）」について、「働いていなかったから」の割合が高くなっている。

単位：％

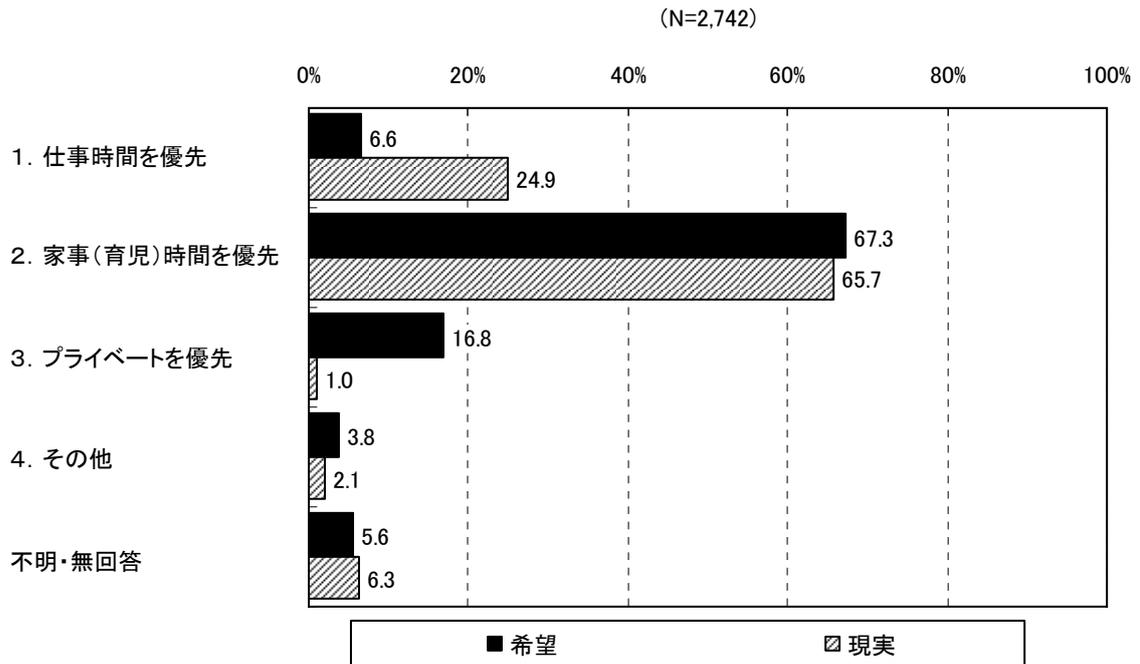
		回答者数 (人)	取得しにくい職場の 雰囲気だったから	同僚の負担が増えるなど迷 惑がかかると思った から	仕事が忙しかったから	仕事が専門的であり代替が できないから	職場復帰が難しそう だったから	昇給・昇進 などが遅れると思っ たから	収入が減 るから	保育所等 に預けるこ とができな いから
家族類型別 (父親)	ひとり親	115	7.0	3.5	5.2	2.6	1.7	1.7	4.3	2.6
	共働き	357	7.8	5.6	9.2	9.5	2.8	2.5	6.7	3.6
	フルタイム・パート	375	32.8	26.1	29.6	22.7	11.5	10.4	24.8	7.5
	専業主婦(夫)	1,156	30.4	24.4	31.5	20.7	8.6	8.5	23.3	1.2
	両親ともパート	11	36.4	18.2	27.3	18.2	9.1	9.1	18.2	-
両親とも無業	12	8.3	-	-	-	-	-	8.3	-	
家族類型別 (母親)	ひとり親	94	7.4	12.8	7.4	3.2	7.4	1.1	5.3	4.3
	共働き	87	8.0	10.3	18.4	19.5	9.2	3.4	10.3	16.1
	フルタイム・パート	296	8.8	11.1	5.4	5.4	5.4	0.7	5.7	6.8
	専業主婦(夫)	1,103	4.5	4.6	1.6	1.5	3.8	0.3	0.8	0.5
	両親ともパート	9	22.2	33.3	22.2	11.1	11.1	11.1	-	-
両親とも無業	11	-	9.1	-	-	-	-	-	-	

		回答者数 (人)	配偶者が 育児休業 をとったか ら	家族が預 かってくれ たから	育児休業 制度の対 象者でな かったか ら	職場に育 児休業制 度の規定 がなかつ たから	育児に専 念するた め、仕事 をやめた から	働いてい なかつた から	その他	不明・ 無回答
家族類型別 (父親)	ひとり親	115	2.6	4.3	1.7	4.3	-	0.9	1.7	80.9
	共働き	357	4.5	3.9	2.5	6.7	-	-	5.0	75.9
	フルタイム・パート	375	4.8	18.1	6.9	24.5	0.8	0.5	4.8	33.6
	専業主婦(夫)	1,156	2.9	20.2	5.2	16.3	1.2	0.8	12.5	23.1
	両親ともパート	11	-	27.3	27.3	27.3	-	-	9.1	18.2
両親とも無業	12	-	16.7	-	16.7	-	33.3	-	16.7	
家族類型別 (母親)	ひとり親	94	-	2.1	10.6	16.0	14.9	45.7	7.4	13.8
	共働き	87	2.3	11.5	12.6	18.4	14.9	21.8	20.7	12.6
	フルタイム・パート	296	0.3	7.8	12.8	13.9	32.1	34.5	5.1	8.8
	専業主婦(夫)	1,103	-	1.7	3.0	4.4	27.7	52.4	1.8	15.5
	両親ともパート	9	-	22.2	22.2	33.3	44.4	11.1	-	11.1
両親とも無業	11	-	-	9.1	9.1	54.5	36.4	-	-	

問 24 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についておうかがいします。

「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についてみると、「2. 家事（育児）時間を優先」が「希望」では67.3%、「現実」では65.7%とそれぞれ最も高くなっており、希望と現実が近い状態となっている。

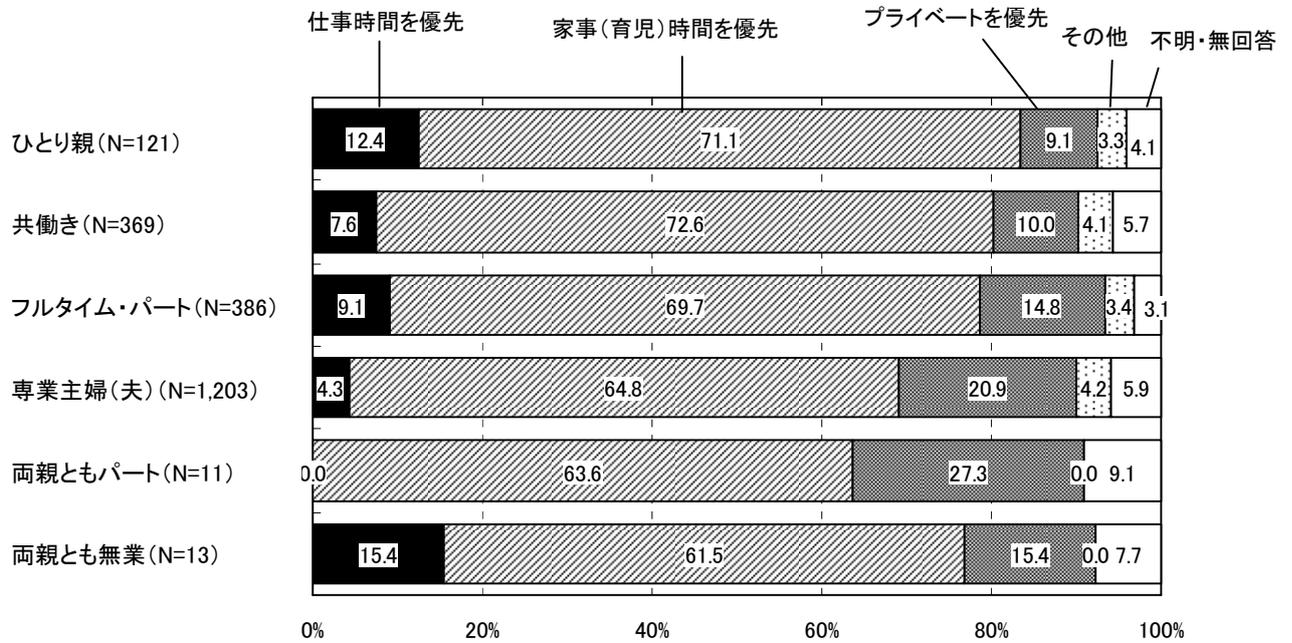
一方で、「1. 仕事時間を優先」については「希望」と「現実」の差が18.3ポイント、「3. プライベートを優先」については15.8ポイントと、その差が大きくなっている。



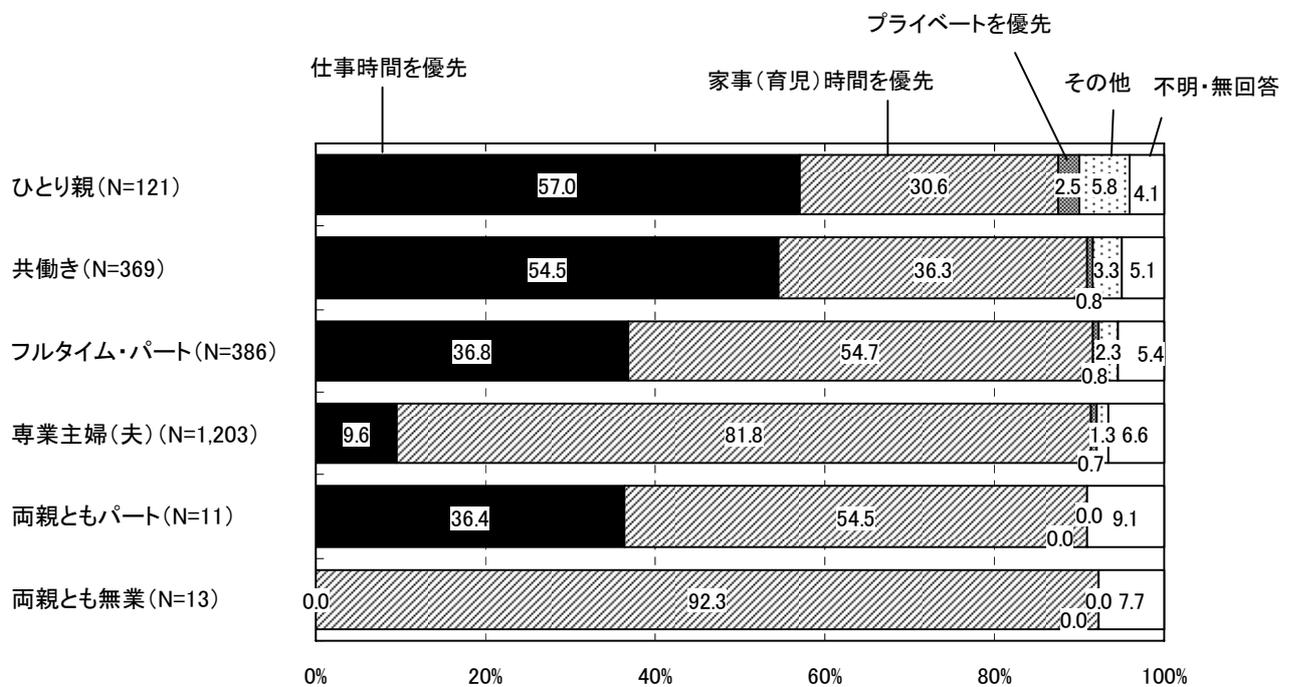
【家族類型別】

家族類型別にみると、「ひとり親」や「共働き」について、「希望」では「家事（育児）時間を優先」が7割を超えているが、「現実」では3割程度と、希望と現実との差が大きくなっている。

【希望】



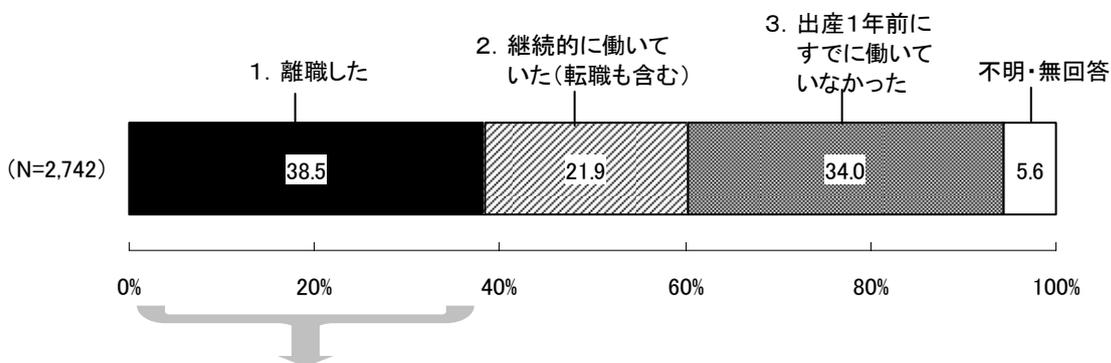
【現実】



問 25 母親のみなさんすべてにおうかがいします。

あて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。

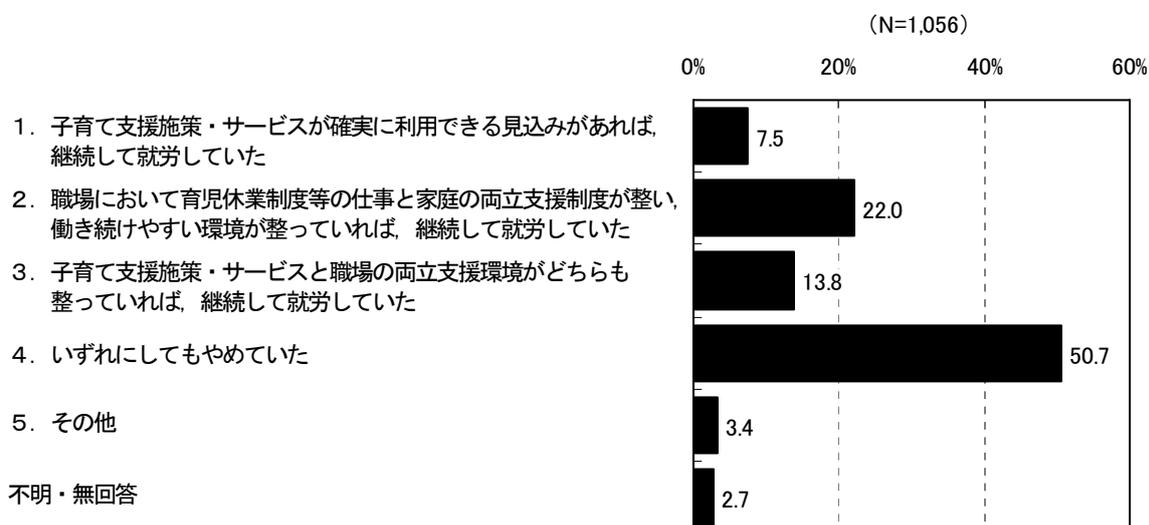
「1. 離職した」が38.5%と最も高く、次いで「3. 出産1年前にすでに働いていなかった」が34.0%となっている。



問 25-1 問 25 で「1」を選ばれた方におうかがいします。

仕事と家庭の両立を支援する子育て支援施策・サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。

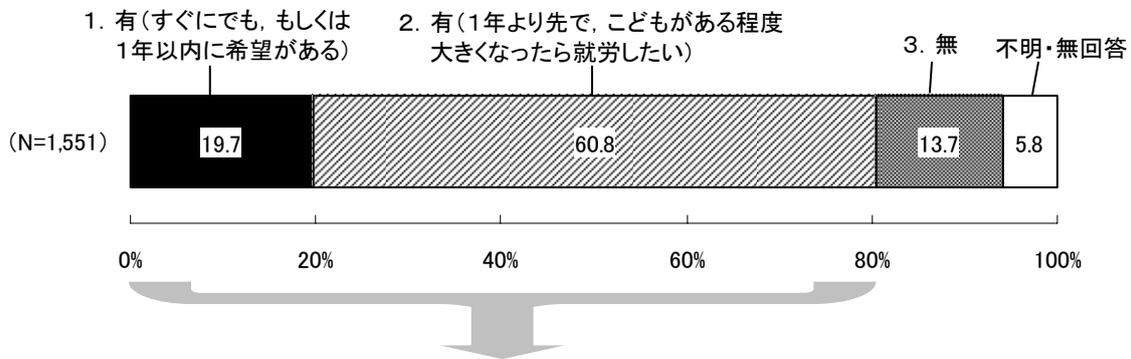
「4. いずれにしてもやめていた」が50.7%と最も高く、次いで「2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が22.0%となっている。



問 26～問 26-3 は現在、就労されていない母親の方におうかがいします。

問 26 就労希望はありますか。

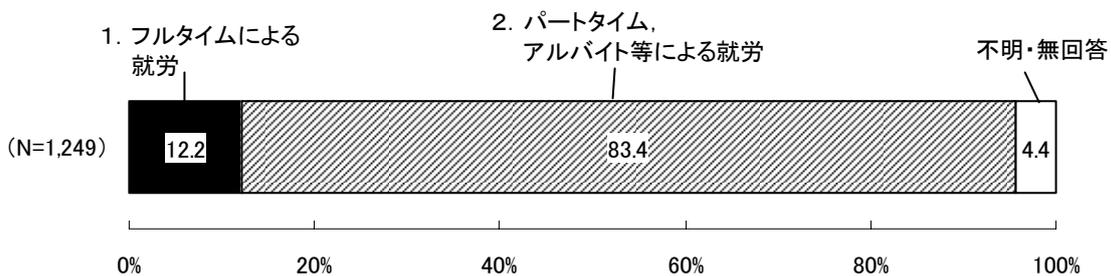
就労希望者は約8割に上っている。就労希望の形態は「2. パートタイム, アルバイト等による就労」が83.4%, 「1. フルタイムによる就労」が12.2%となっている。



問 26-1, 問 26-2 は問 26 で「1」, 「2」を選んだ方におうかがいします。

問 26-1 就労希望の形態はどのようなものですか。

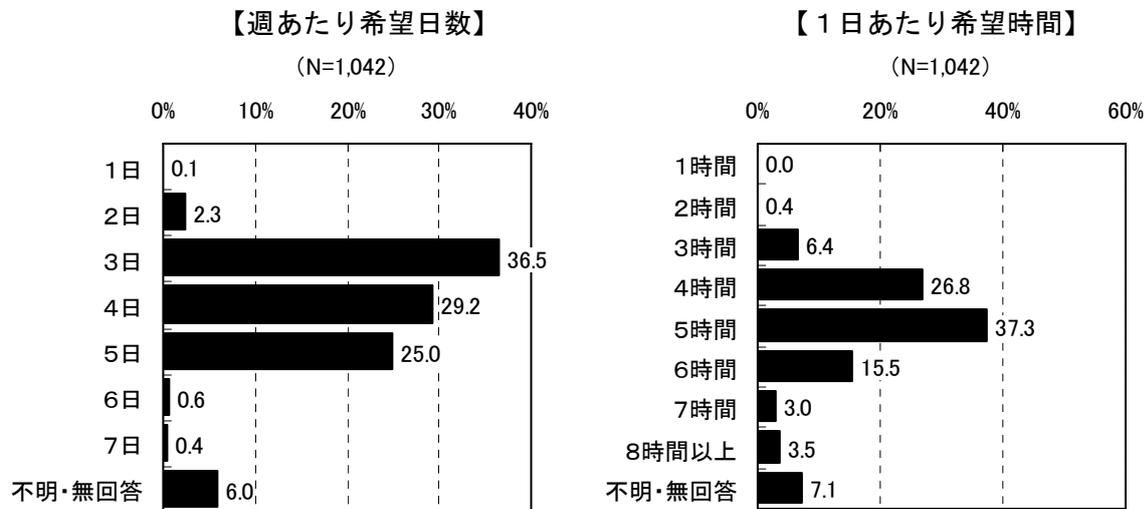
パートタイム, アルバイトを希望の方は一週あたり日数および一日あたり時間もお答えください。



〔パートタイム、アルバイト等による就労を希望する場合の就労希望日数・時間〕

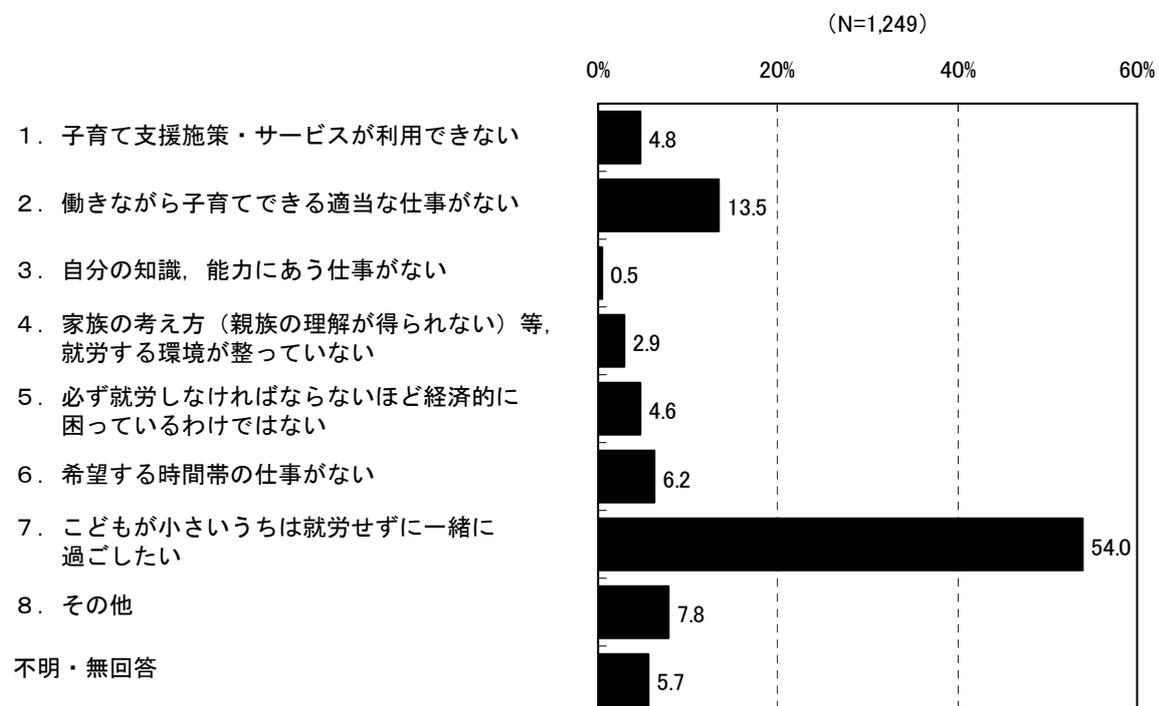
1週あたりの就労希望日数は、「3日」が36.5%と最も高い。

1日あたりの就労希望時間は「5時間」が37.3%と最も高い。



問 26-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。

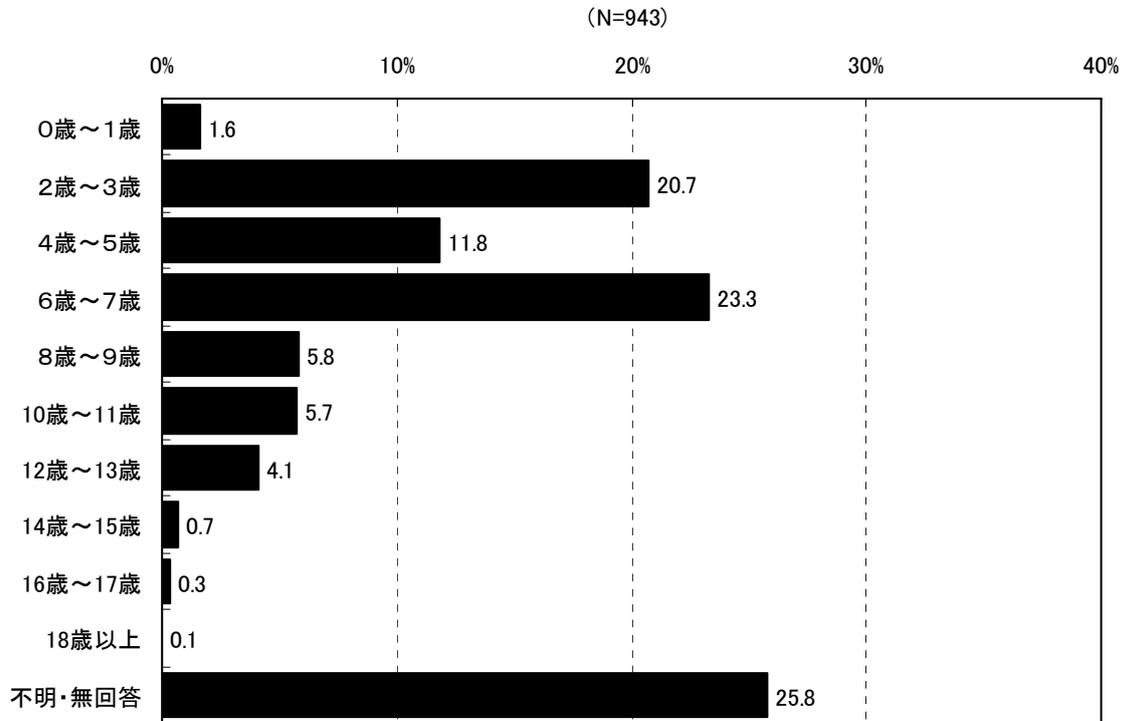
「7. こどもが小さいうちは就労せずと一緒に過ごしたい」が54.0%と過半数を占め、次いで「2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない」が13.5%となっている。



問 26-3 問 26 で「2」を選ばれた方におうかがいします。

あて名のお子さんも含めて一番小さいお子さんが何歳になったときに就労を希望されますか。

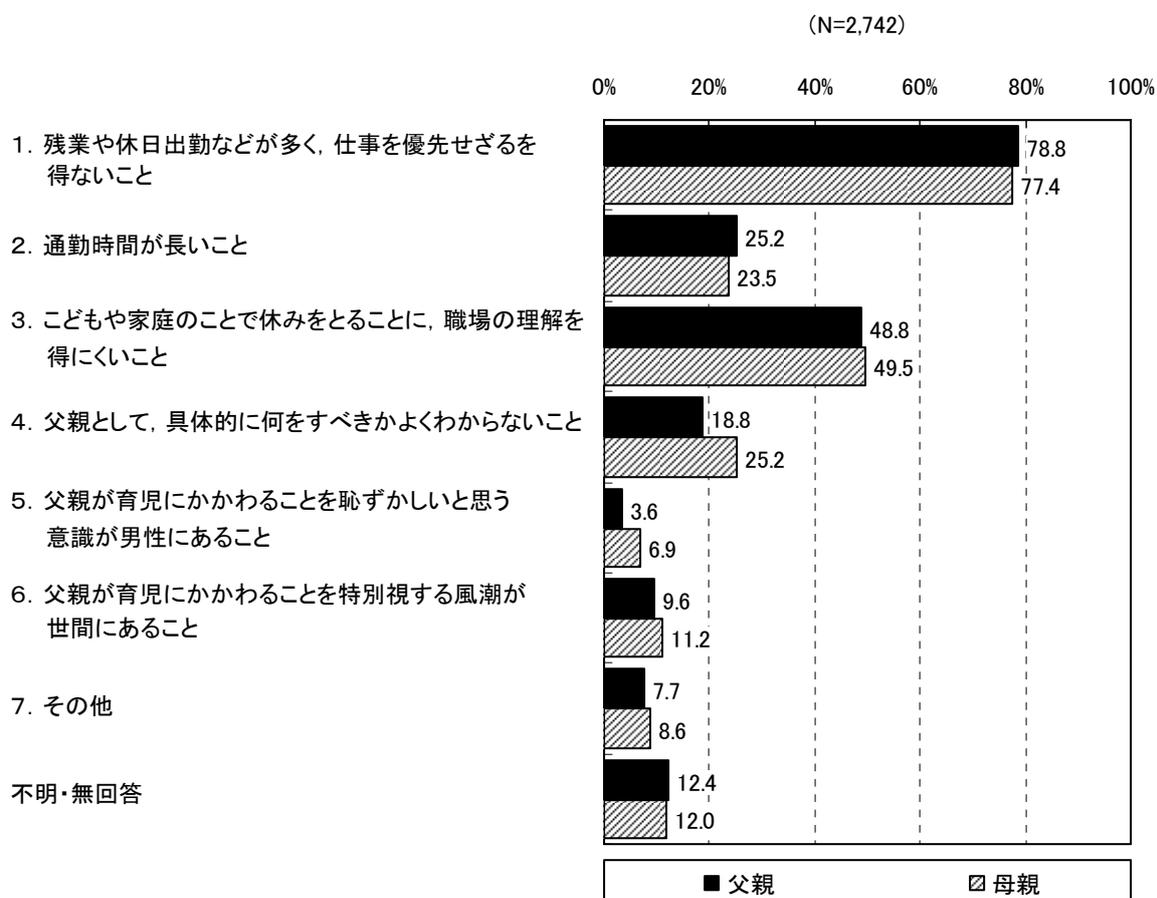
「6歳～7歳」が23.3%、「2歳～3歳」が20.7%と高くなっている。



14 子育て環境などについて

問 27 近年、子育て中の家庭での父親不在（父親が、子育てにあまりかかわらない、かかわる時間がないこと）が問題となっていますが、父親が子育てにかかわりづらいのは、どうしてだと思いますか。（あてはまるもの3つまで）

父親が子育てにかかわりづらい理由についてみると、「父親」「母親」ともに「1. 残業や休日出勤などが多く、仕事を優先せざるを得ないこと」が約8割と最も高く、次いで「3. こどもや家庭のことで休みをとることに、職場の理解を得にくいこと」が約5割となっている。



【家族類型別】

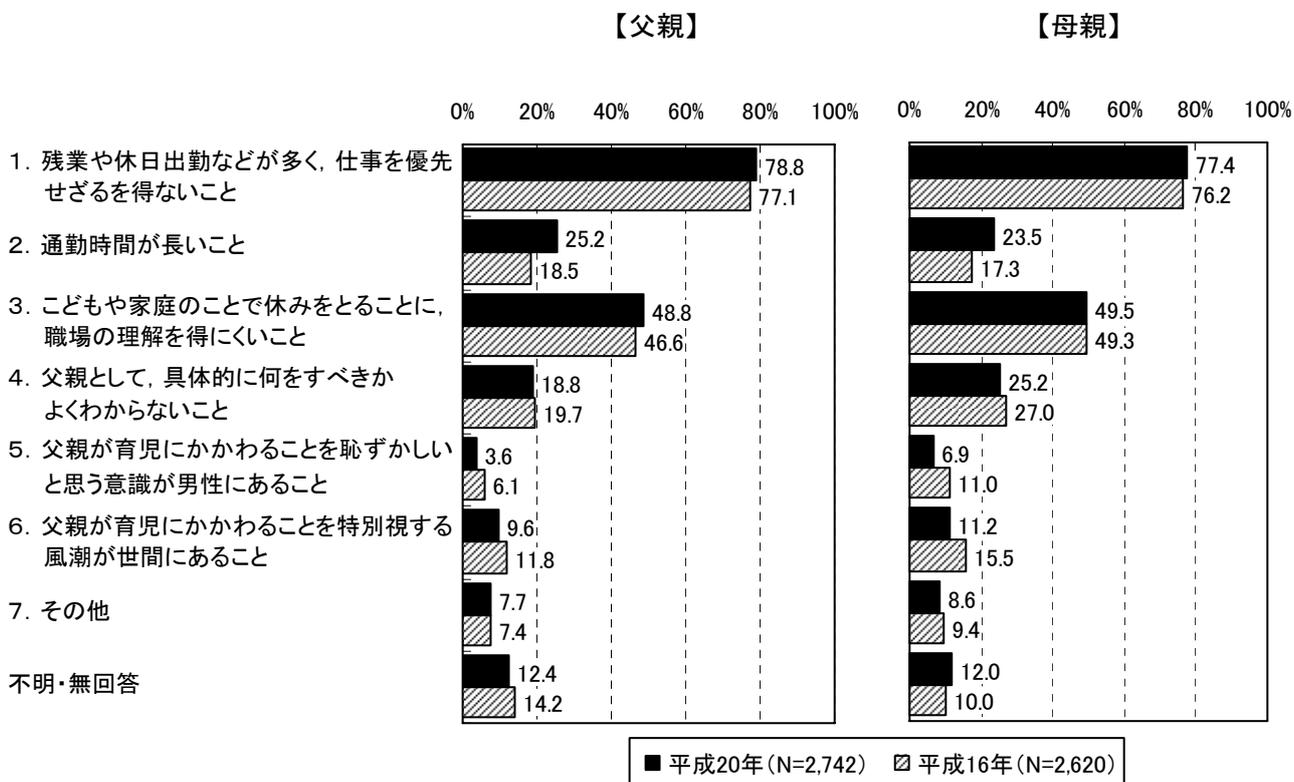
家族類型別にみると、「父親」「母親」ともに、どの区分についても「残業や休日出勤などが多く、仕事を優先せざるを得ないこと」の割合が最も高くなっている。

単位：％

家族類型別	回答者数 (人)	残業や休日出勤などが多く、仕事を優先せざるを得ないこと	通勤時間が長いこと	子どもや家庭のことで休みをとることに、職場の理解を得にくいこと	父親として、具体的に何をすべきかわからないこと	父親が育児にかかわることを恥ずかしいと思う意識が男性にあること	父親が育児にかかわることを特別視する風潮が世間にあること	その他	不明・無回答	
家族類型別 (父親)	ひとり親	121	15.7	5.0	9.1	8.3	2.5	3.3	3.3	80.2
	共働き	369	79.1	26.6	48.5	15.2	4.9	13.3	10.3	10.6
	フルタイム・パート	386	82.9	23.8	57.5	23.1	3.6	9.8	8.8	9.8
	専業主婦(夫)	1,203	85.2	26.1	49.6	18.6	3.1	9.1	7.0	6.8
	両親ともパート	11	72.7	27.3	63.6	27.3	9.1	9.1	9.1	-
両親とも無業	13	92.3	15.4	84.6	15.4	15.4	23.1	15.4	7.7	
家族類型別 (母親)	ひとり親	121	55.4	13.2	41.3	34.7	13.2	7.4	14.0	23.1
	共働き	369	81.0	27.6	50.4	20.9	7.3	14.6	7.6	9.2
	フルタイム・パート	386	80.3	18.7	57.0	26.9	6.0	12.2	8.3	11.9
	専業主婦(夫)	1,203	80.1	24.0	48.5	25.5	6.4	11.1	8.3	10.3
	両親ともパート	11	90.9	45.5	54.5	18.2	9.1	9.1	9.1	9.1
両親とも無業	13	84.6	30.8	84.6	15.4	-	15.4	15.4	7.7	

【平成16年調査との比較】

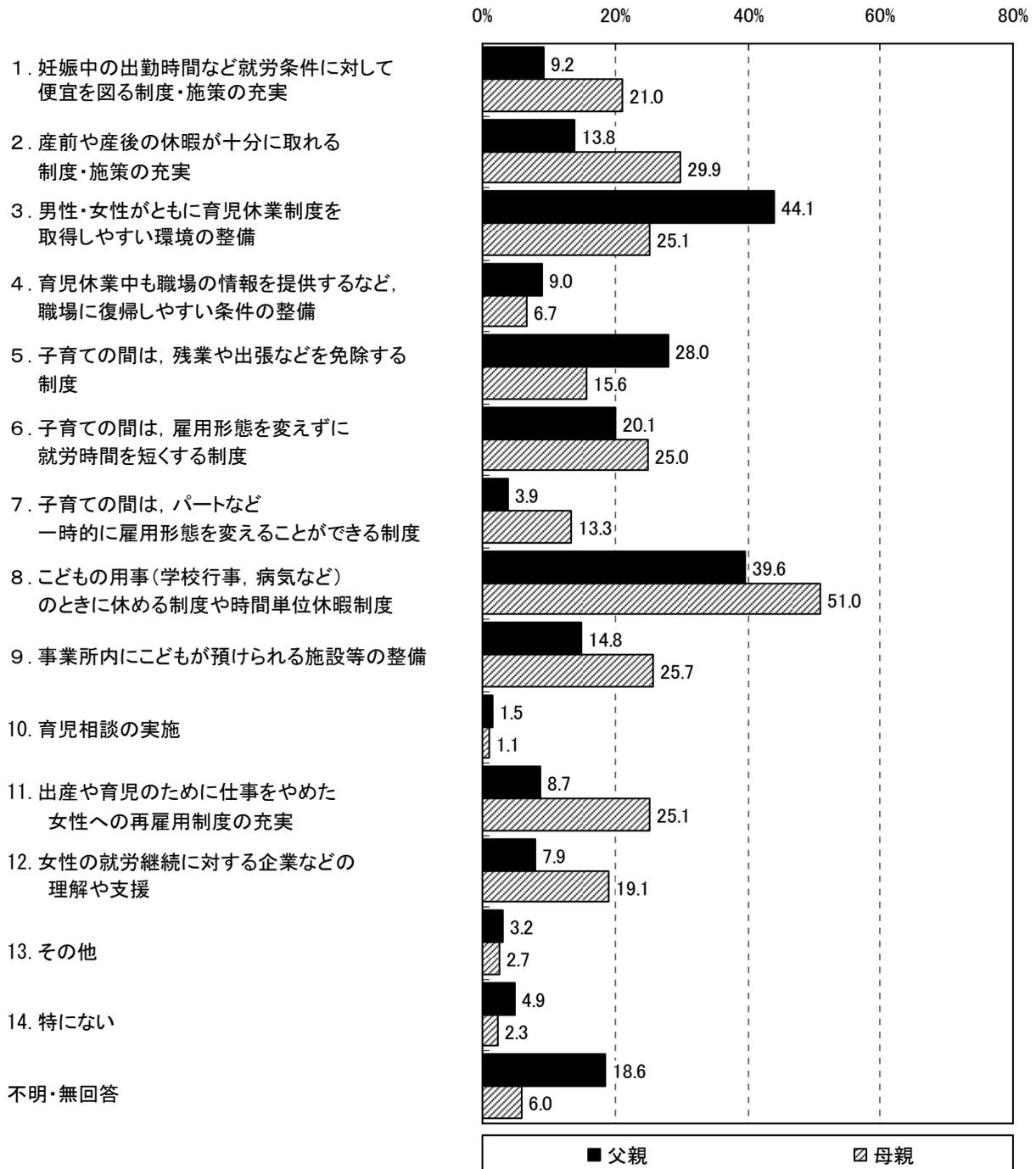
平成16年調査と比較すると、「父親」「母親」ともに、ほぼ同様の結果となっているが、「2. 通勤時間が長いこと」がそれぞれ高くなっている。



問 28 子育てと仕事の両立を支援していくため、社会全体でどのような制度や支援策に取り組んでほしいと思いますか。（あてはまるもの3つまで）

子育てと仕事の両立のために希望する制度や支援策についてみると、「3. 男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備」では「父親」と「母親」の差が19.0ポイント、「11. 出産や育児のために仕事をやめた女性への再雇用制度の充実」では16.4ポイントと、その差が大きくなっている。

(N=2,742)



【家族類型別】

家族類型別にみると、「父親」では、どの区分についても「男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備」の割合が高くなっている。

一方、「母親」では、「両親ともパート」を除いて「こどもの用事（学校行事、病気など）のときに休める制度や時間単位休暇制度」の割合が高くなっている。

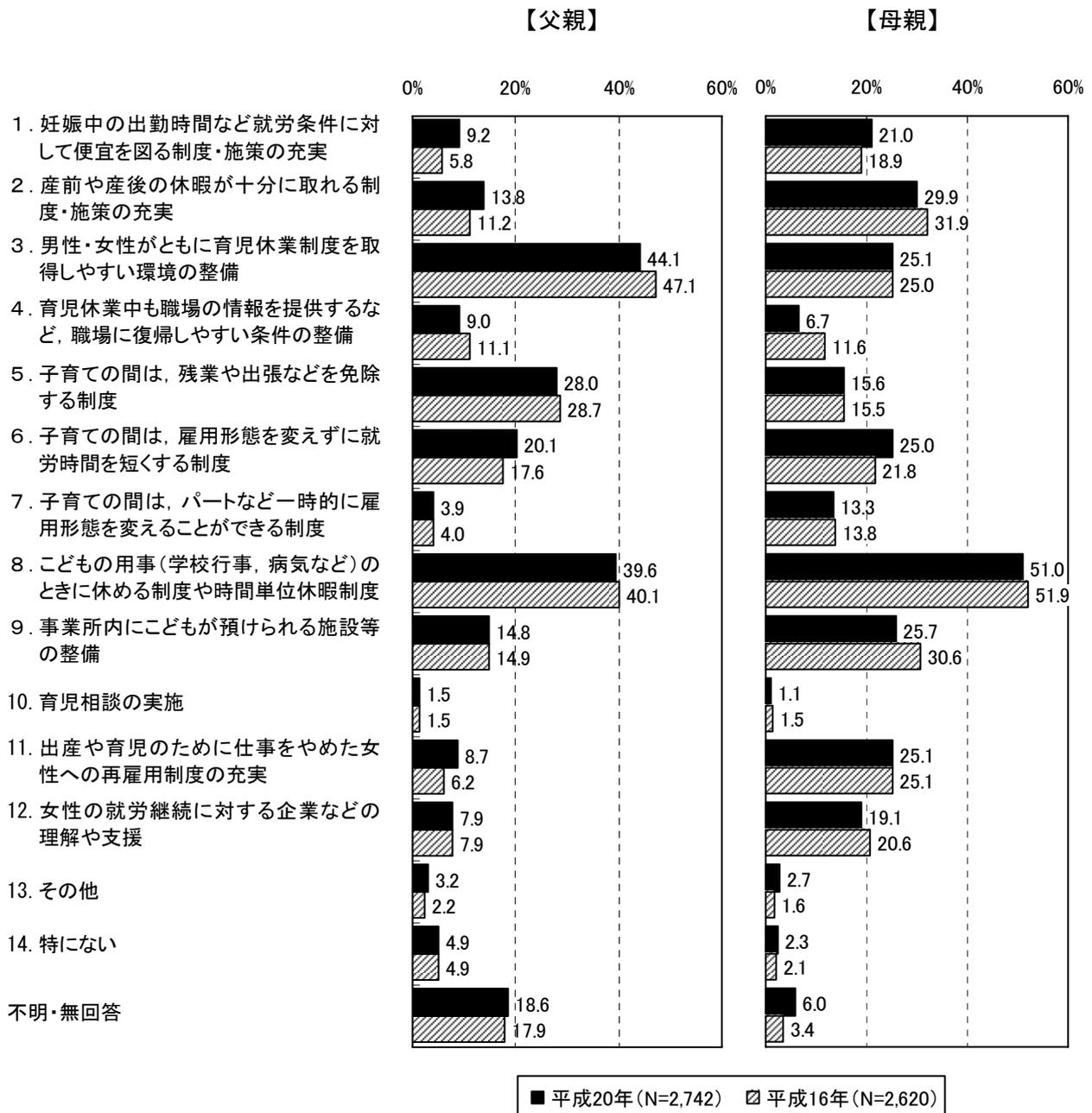
単位：%

		回答者数 (人)	妊娠中の出勤時間など就労条件に 対して便宜を図る制度・ 施策の充実	産前や産後の休暇が十分 に取れる制度・施策の 充実	男性・女性がともに育児 休業制度を取得しやすい 環境の整備	育児休業中も職場の情報 を提供するなど、職場に 復帰しやすい条件の整備	子育ての間は、残業や出張 などを免除する制度	子育ての間は、雇用形態 を変えずに就労時間を短 くする制度	子育ての間は、パートな ど一時的に雇用形態を 変えることができる制 度	こどもの用事（学校行事、 病気など）のときに休 める制度や時間単位休 暇制度
家族類型別 (父親)	ひとり親	121	3.3	5.0	9.1	3.3	6.6	5.8	-	6.6
	共働き	369	14.1	13.3	41.2	7.6	27.6	27.4	4.3	34.7
	フルタイム・パート	386	10.4	13.2	47.9	9.1	28.8	20.7	4.1	43.5
	専業主婦(夫)	1,203	9.1	14.1	46.5	9.7	28.9	20.6	4.6	43.2
	両親ともパート	11	18.2	18.2	63.6	-	27.3	36.4	9.1	36.4
	両親とも無業	13	-	7.7	46.2	7.7	46.2	46.2	-	46.2
家族類型別 (母親)	ひとり親	121	14.0	28.1	13.2	11.6	14.9	24.0	9.9	59.5
	共働き	369	25.5	22.8	25.7	7.9	21.7	37.4	10.6	44.7
	フルタイム・パート	386	24.6	28.8	20.7	3.9	9.8	24.9	15.8	55.2
	専業主婦(夫)	1,203	19.7	31.5	26.3	5.7	15.9	22.1	13.5	52.9
	両親ともパート	11	36.4	36.4	45.5	9.1	-	81.8	-	54.5
	両親とも無業	13	7.7	38.5	7.7	-	7.7	15.4	23.1	53.8

		回答者数 (人)	事業所内にこどもが預 けられる施設等の整備	育児相談の 実施	出産や育児のために仕 事をやめた女性への再 雇用制度の充実	女性の就労継続に対 する企業などの理解 や支援	その他	特にな い	不明・ 無回答
家族類型別 (父親)	ひとり親	121	0.8	-	2.5	-	1.7	1.7	81.0
	共働き	369	16.0	1.4	7.3	11.1	6.2	4.1	17.3
	フルタイム・パート	386	14.0	1.3	8.8	11.1	2.3	4.7	15.5
	専業主婦(夫)	1,203	16.8	2.0	10.0	7.1	3.1	5.7	13.2
	両親ともパート	11	-	-	18.2	18.2	9.1	-	9.1
	両親とも無業	13	7.7	-	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7
家族類型別 (母親)	ひとり親	121	22.3	1.7	19.8	22.3	5.8	-	12.4
	共働き	369	25.2	1.1	13.0	25.5	4.9	2.2	4.9
	フルタイム・パート	386	24.6	-	26.7	24.6	3.6	1.8	5.2
	専業主婦(夫)	1,203	26.8	1.1	29.2	15.5	1.9	2.7	5.2
	両親ともパート	11	9.1	-	18.2	9.1	-	-	-
	両親とも無業	13	30.8	-	30.8	30.8	7.7	-	7.7

【平成16年調査との比較】

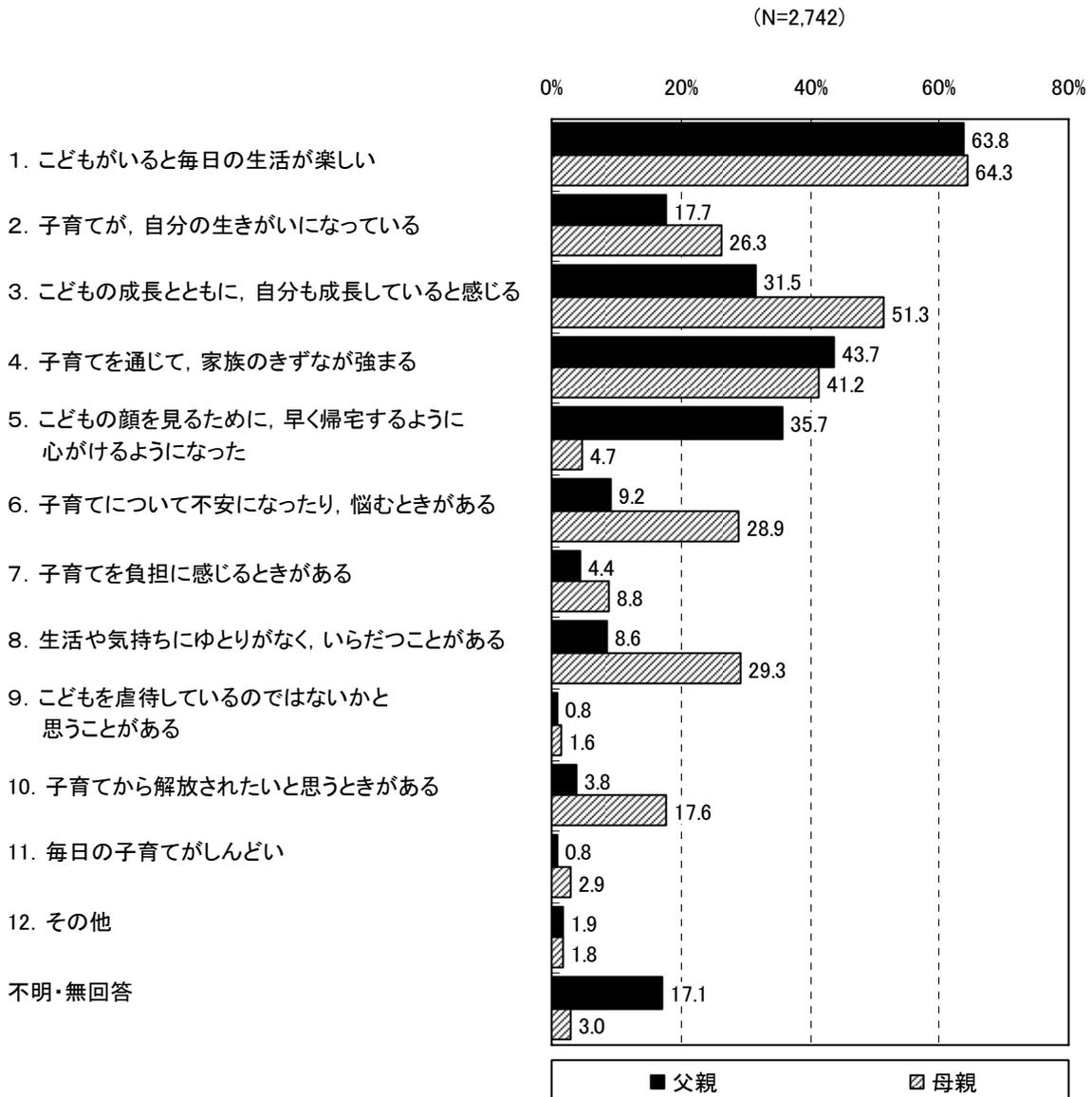
平成16年調査と比較すると、「父親」「母親」ともに、ほぼ同様の結果となっている。



問 29 子育てをしている今はどんな気持ちですか。（あてはまるもの3つまで）

子育て中の感情についてみると、「父親」「母親」ともに「1. こどもがいると毎日の生活が楽しい」が6割を超えている。

また、「8. 生活や気持ちにゆとりがなく、いらだつことがある」については、「母親」が「父親」より 20.7 ポイント、「6. 子育てについて不安になったり、悩むときがある」については19.7 ポイント高く、母親と父親の差が大きくなっている。



【こどもの年齢別，子育て仲間の有無別】

こどもの年齢別，子育て仲間の有無別にみると、「父親」「母親」ともに，どの区分についても「子どもがいると毎日の生活が楽しい」の割合が高くなっている。

※「子育て仲間の有無別」については，後出，問 49 の回答者により限定し，問 42 のデータによりクロス集計を行った。

単位：％

		回答者数 (人)	子どもが いると毎 日の生 活が楽 しい	子育 てが、 自分 の生 きが い な っ て い る	こ ど も の 成 長 と と も に、 自 分 も 成 長 し て い る と 感 じ る	子育 てを 通 じ て、 家 族 の き ず な が 強 ま る	こ ど も の 顔 を 見 る た め に、 早 く 帰 宅 す る よ う に 心 が け る よ う に な っ た	子育 てに つ い て 不 安 に な っ た り、 悩 む と き が あ る	子育 てを 負 担 に 感 じ る と き が あ る
年齢別 (父親)	0歳	711	72.3	17.3	30.4	45.4	44.9	7.5	3.5
	1歳	446	69.1	19.5	29.4	48.4	43.3	10.1	5.2
	2歳	414	58.5	14.3	31.2	44.0	27.8	10.9	6.3
	3歳	341	62.2	17.9	32.6	44.9	34.6	7.3	5.3
	4歳	384	55.7	18.8	32.3	37.0	30.2	8.9	2.6
	5歳	389	57.6	18.8	35.0	39.1	25.7	10.8	4.6
年齢別 (母親)	0歳	711	73.0	28.4	54.1	44.6	3.2	26.4	7.5
	1歳	446	70.2	28.9	47.5	44.2	5.2	26.9	9.9
	2歳	414	57.5	21.7	50.2	39.1	4.8	30.7	10.6
	3歳	341	60.7	25.5	51.3	40.5	4.7	27.9	9.1
	4歳	384	55.7	27.6	50.8	35.4	3.9	33.3	9.6
	5歳	389	60.4	24.2	52.2	39.6	6.9	30.1	7.7
子育て仲間の 有無別(父親)	子どもを預けあえることができ るくらいの仲間がいる	38	92.1	36.8	52.6	39.5	34.2	7.9	5.3
	一緒に外出したり，子ども同士 を遊ばせる仲間がいる	45	66.7	22.2	55.6	60.0	22.2	22.2	8.9
	話をし合える仲間がいる	38	86.8	18.4	42.1	39.5	26.3	18.4	7.9
	いない	24	70.8	16.7	37.5	33.3	29.2	20.8	20.8
子育て仲間の 有無別(母親)	子どもを預けあえることができ るくらいの仲間がいる	455	65.5	23.3	59.6	47.5	4.6	28.8	6.2
	一緒に外出したり，子ども同士 を遊ばせる仲間がいる	1,010	66.9	26.0	56.0	43.6	4.5	27.6	7.3
	話をし合える仲間がいる	610	63.6	28.4	47.0	39.0	4.1	30.8	10.8
	いない	212	54.2	21.7	45.3	29.7	6.1	34.0	13.2

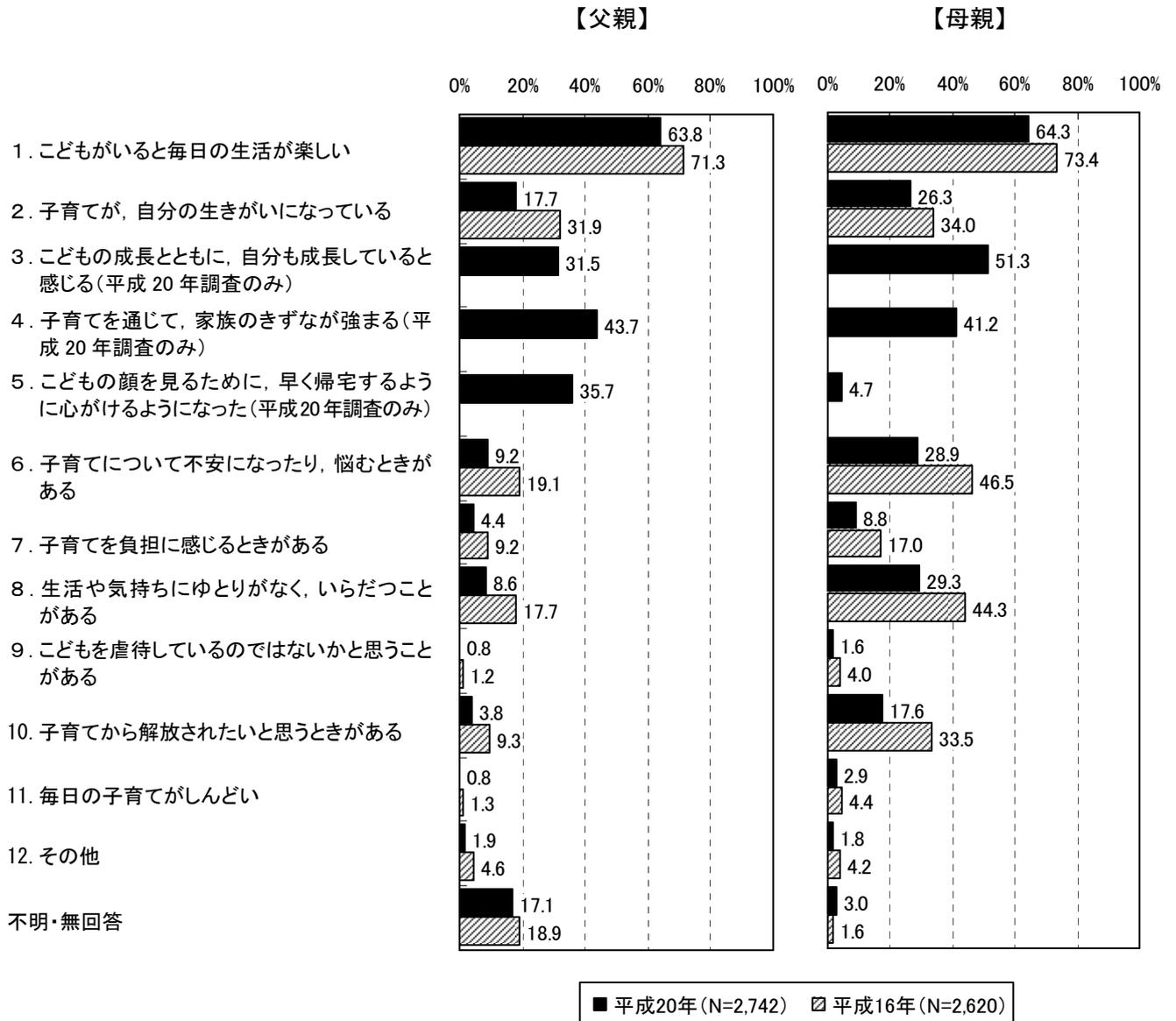
Ⅲ 調査結果（就学前児童調査）

単位：%

		回答者数 (人)	生活や気 持ちにゆ とりがな く、いら だつこと がある	こどもを 虐待して いるので はないか と思うこ とがある	子育てか ら解放さ れたいと 思うとき がある	毎日の子 育てがし んどい	その他	不明・ 無回答
年齢別 (父親)	0歳	711	6.0	0.7	3.9	1.0	2.5	13.6
	1歳	446	8.3	0.4	3.4	1.6	1.6	11.7
	2歳	414	12.1	1.7	3.1	0.5	2.7	20.5
	3歳	341	8.8	0.9	4.1	-	0.9	17.9
	4歳	384	11.2	1.0	5.5	0.5	0.8	21.1
	5歳	389	6.9	-	3.1	0.8	1.8	21.6
年齢別 (母親)	0歳	711	24.6	0.7	15.2	2.4	1.5	2.5
	1歳	446	26.0	2.2	18.2	2.0	2.2	2.2
	2歳	414	33.6	1.2	21.7	3.9	1.9	3.4
	3歳	341	32.8	2.1	19.1	2.6	2.1	3.2
	4歳	384	34.4	2.1	18.8	2.9	1.8	2.9
	5歳	389	29.8	2.1	14.9	4.1	0.8	3.9
子育て仲間の 有無別(父親)	こどもを預けあえることができ るくらいの仲間がいる	38	5.3	-	2.6	-	-	-
	一緒に外出したり、こども同士 を遊ばせる仲間がいる	45	6.7	-	8.9	2.2	-	-
	話をし合える仲間がいる	38	15.8	-	2.6	2.6	10.5	-
	いない	24	20.8	-	20.8	4.2	-	-
子育て仲間の 有無別(母親)	こどもを預けあえることができ るくらいの仲間がいる	455	26.6	0.9	17.8	1.8	1.8	1.8
	一緒に外出したり、こども同士 を遊ばせる仲間がいる	1,010	29.0	1.1	17.8	2.1	2.1	1.7
	話をし合える仲間がいる	610	32.5	1.6	18.2	3.6	1.5	1.6
	いない	212	36.3	3.3	21.2	5.7	3.3	2.4

【平成16年調査との比較】

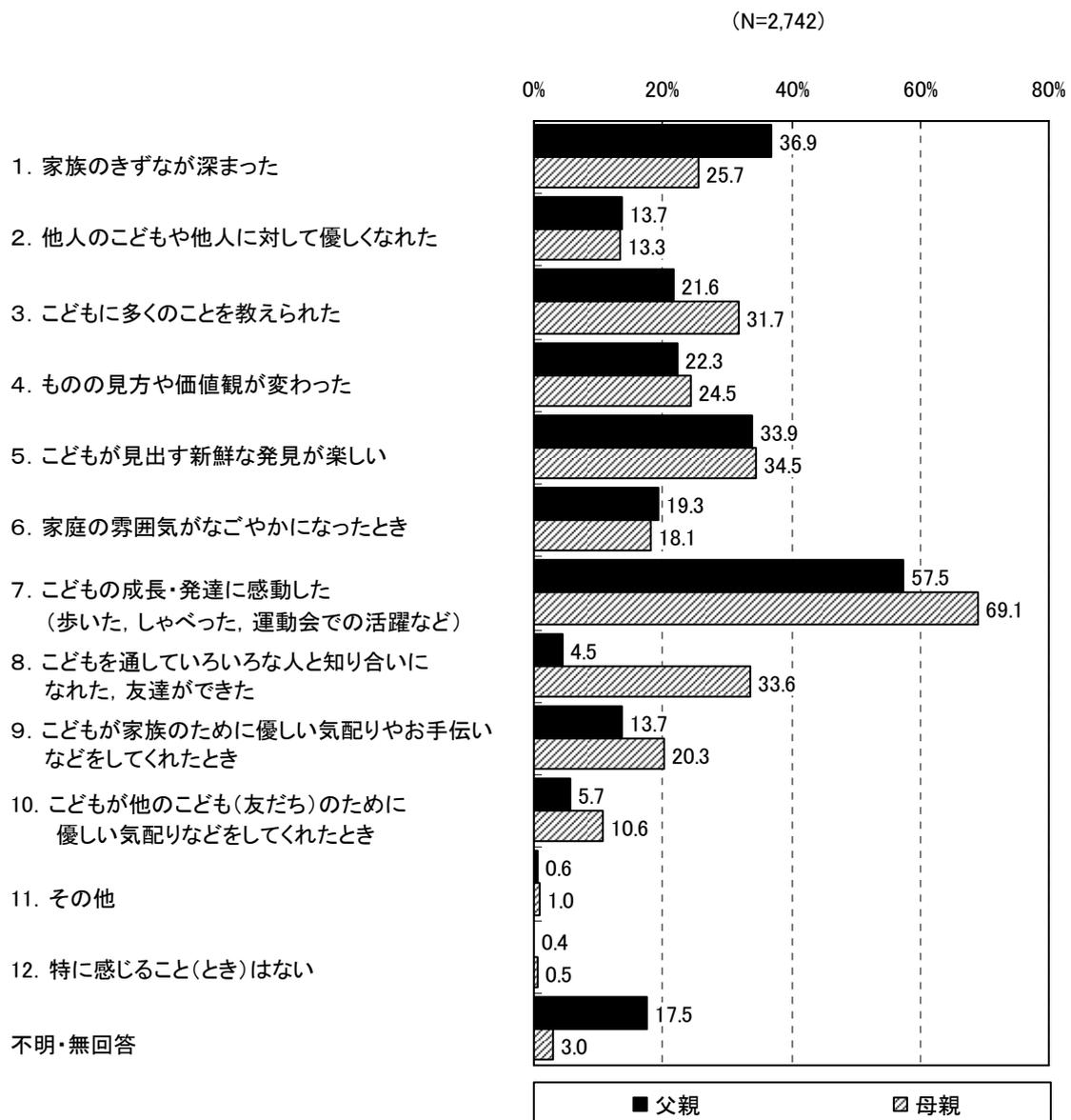
平成16年調査と比較すると、「父親」「母親」ともに、ほぼ同様の結果となっているが、選択肢が増えているため全体的に割合が分散され低くなっている。



問 30 子育てをしていて、「楽しい」「良かった」と感じる事、感じる時はどのようなこと（とき）ですか。（あてはまるもの3つまで）

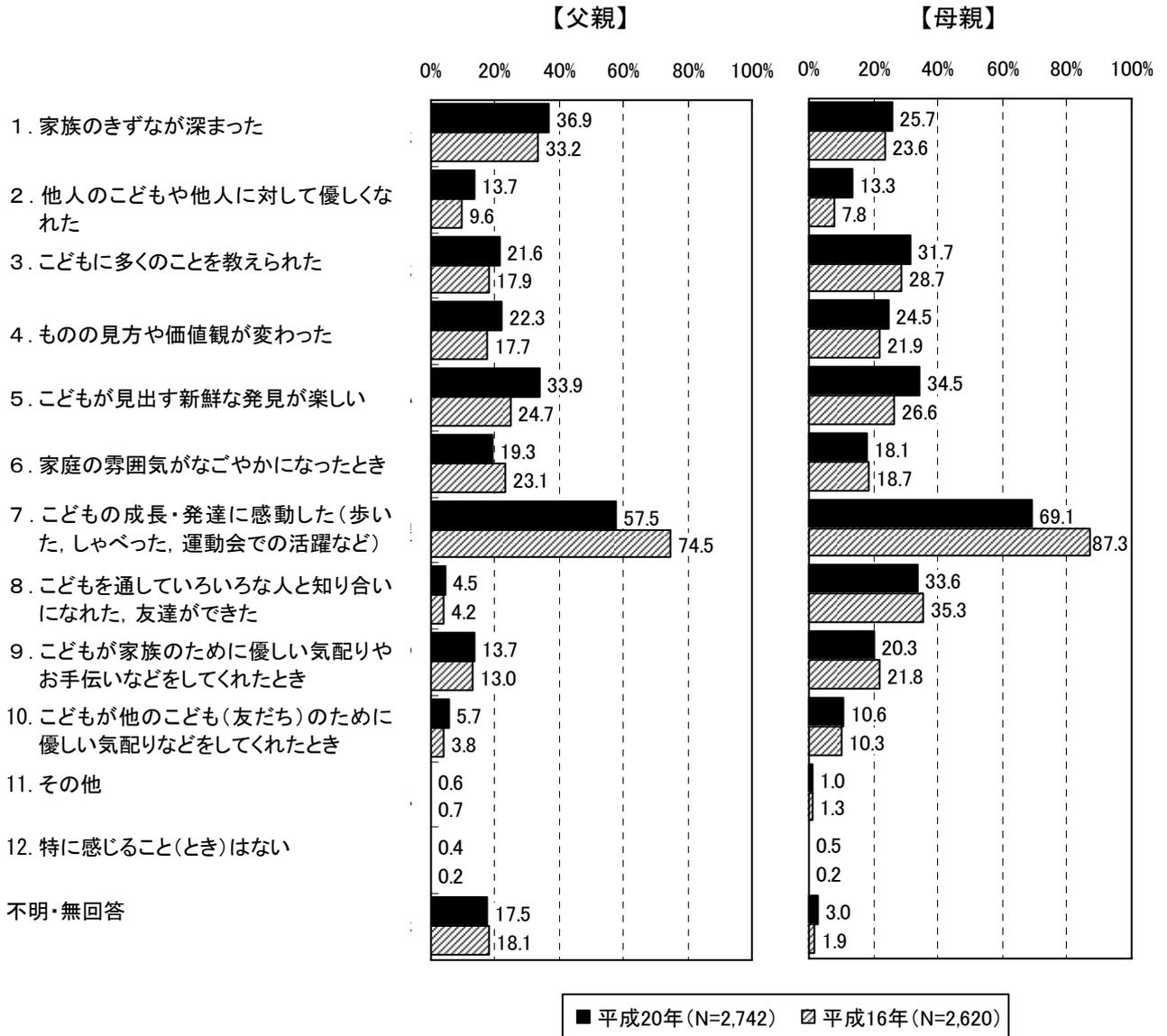
子育てをしていて、「楽しい」「良かった」と感じる事、感じる時についてみると、「父親」「母親」ともに「7. こどもの成長・発達に感動した（歩いた、しゃべった、運動会での活躍など）」が約6割程度となっている。

「8. こどもを通していろいろな人と知り合いになれた、友達ができた」については、「母親」が「父親」より29.1ポイント高く、父親と母親の差が大きくなっている。



【平成16年調査との比較】

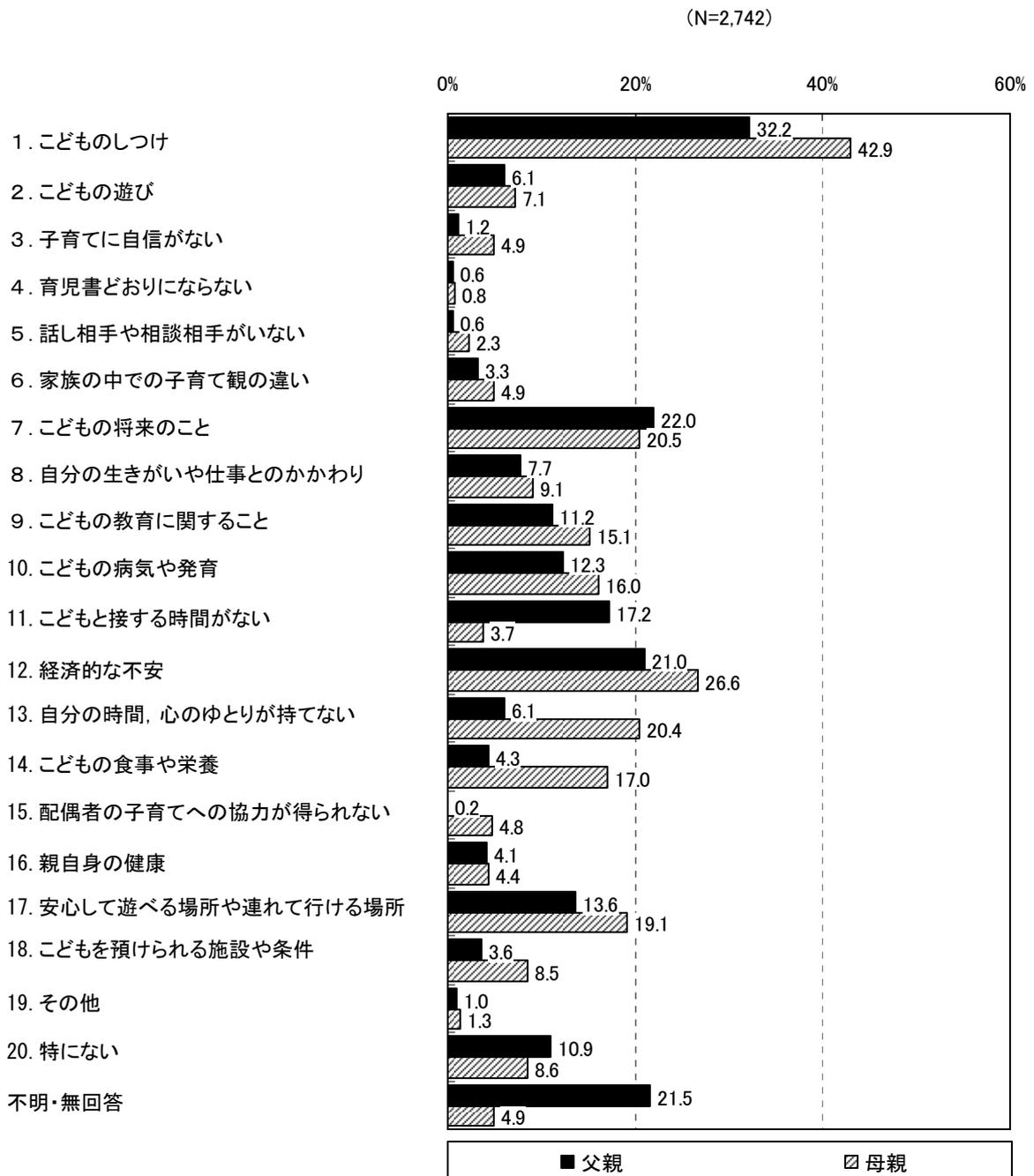
平成16年調査と比較すると、「父親」「母親」ともに、「5. こどもが見出す新鮮な発見が楽しい」が高くなっており、「7. こどもの成長・発達に感動した（歩いた、しゃべった、運動会での活躍など）」は低くなっている、



問 31 あて名のお子さんを育てていて、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。（あてはまるもの3つまで）

子育てをされていて、日頃悩んでいること、または気になることについてみると、「父親」「母親」ともに「1. こどものしつけ」が最も高くなっている。

また、「13. 自分の時間、心のゆとりが持てない」については、「母親」が「父親」より 14.3 ポイント、「14. こどもの食事や栄養」については 12.7 ポイント高く、父親と母親の差が大きくなっている。



【こどもの年齢別，同居・近居別】

こどもの年齢別にみると，どの区分についても「こどものしつけ」の割合が最も高くなっているが，「母親」では年齢が上がるにつれて「こどもの将来のこと」の割合が高くなる傾向がある。また，「こどもを預けられる施設や条件」の割合は「父親」「母親」ともに，年齢が低いほど高い傾向がある。

同居・近居の状況別にみると，「父親」「母親」ともにほぼすべての区分で「こどものしつけ」の割合が最も高くなっているのに対し，「母親」の「母同居（ひとり親家庭）」については「経済的な不安」が最も高くなっている。

単位：％

		回答者数 (人)	こどものし つけ	こどもの遊 び	子育てに 自信がな い	育児書ど おりにな らない	話し相手 や相談相 手がいな い	家族の中 での子育 て親の違 い	こどもの将 来のこと	自分の生 きがいや 仕事との かわり	こどもの教 育に関する こと	こどもの病 気や発育	こどもと接 する時間 がない
年齢別 (父親)	0歳	711	23.5	5.3	1.5	0.8	0.6	2.7	24.1	10.0	10.8	18.3	19.7
	1歳	446	37.9	7.4	0.9	0.9	0.2	3.1	19.5	8.7	10.3	11.4	19.3
	2歳	414	36.0	6.0	1.7	0.7	1.0	4.1	19.6	6.0	10.1	10.6	16.7
	3歳	341	37.5	4.4	1.2	-	0.9	3.5	21.1	7.9	12.6	9.1	16.1
	4歳	384	31.8	5.7	1.0	0.5	0.8	3.6	22.7	6.8	11.2	12.0	15.6
年齢別 (母親)	0歳	389	34.2	6.9	0.3	0.3	0.3	3.3	24.2	5.1	13.1	6.9	13.6
	1歳	711	30.0	7.3	4.6	1.0	4.6	3.9	17.4	11.0	10.1	22.1	3.0
	2歳	446	51.1	7.0	4.0	1.6	2.0	4.7	16.6	8.5	13.2	14.3	2.2
	3歳	414	47.8	7.0	5.6	0.7	1.7	4.8	18.8	9.7	12.1	16.9	2.9
	4歳	341	47.2	6.5	6.2	0.3	2.3	4.4	22.0	9.7	17.6	12.6	4.7
同居・近居の 状況別(父親)	父母同居	2,126	33.9	6.3	1.2	0.5	0.6	3.4	23.0	7.9	12.0	12.6	18.3
	父同居(ひとり親家庭)	9	33.3	-	-	-	-	-	22.2	22.2	-	11.1	-
	母同居(ひとり親家庭)	133	2.3	0.8	1.5	0.8	0.8	1.5	3.8	-	3.0	3.0	2.3
	祖父同居	193	30.6	6.7	-	-	0.5	5.2	24.9	4.7	13.0	12.4	14.5
	祖母同居	267	30.0	6.7	1.1	-	0.4	5.2	22.8	5.6	10.9	13.1	13.5
	祖父近居	1,019	32.3	5.6	1.5	1.1	0.4	3.5	22.5	8.0	10.7	12.3	17.3
	祖母近居	1,169	32.5	5.6	1.3	0.9	0.3	3.6	22.8	7.7	10.6	12.8	16.9
その他	143	26.6	6.3	-	0.7	-	2.8	20.3	9.1	12.6	13.3	18.2	
同居・近居の 状況別(母親)	父母同居	2,126	43.4	7.5	4.5	0.6	2.1	5.2	19.4	9.4	15.9	15.7	3.7
	父同居(ひとり親家庭)	9	11.1	-	-	-	-	-	11.1	-	-	-	-
	母同居(ひとり親家庭)	133	37.6	4.5	2.3	1.5	3.0	4.5	31.6	11.3	9.0	18.0	7.5
	祖父同居	193	43.5	6.7	2.6	0.5	1.0	8.8	24.9	7.8	18.1	16.6	7.3
	祖母同居	267	44.9	7.9	2.6	0.4	0.4	10.9	23.2	7.1	16.1	19.9	6.4
	祖父近居	1,019	40.6	7.4	3.8	0.9	1.5	4.5	20.6	8.8	14.8	16.1	3.6
	祖母近居	1,169	41.6	7.0	4.1	0.9	1.6	4.8	21.1	8.4	15.0	17.1	3.9
その他	143	44.8	9.1	4.2	-	2.1	4.2	25.2	4.2	21.7	14.0	3.5	

		回答者数 (人)	経済的な 不安	自分の時 間、心の ゆとりが持 てない	こどもの食 事や栄養	配偶者の 子育てへ の協力が 得られない	親自身の 健康	安心して遊 べる場所 や連れて 行ける場 所	こどもを預 けられる施 設や条件	その他	特にな い	不明・ 無回答
年齢別 (父親)	0歳	711	22.4	6.5	3.5	-	4.8	13.6	5.9	1.4	10.3	19.4
	1歳	446	21.7	6.1	5.6	-	4.7	14.8	4.7	1.1	11.2	15.9
	2歳	414	21.5	6.8	3.1	0.2	3.9	10.4	3.4	0.7	9.9	24.4
	3歳	341	22.6	7.6	7.0	0.6	2.1	15.5	1.2	0.6	10.3	20.8
	4歳	384	17.7	4.7	3.1	-	2.9	14.8	0.8	1.0	12.8	25.8
年齢別 (母親)	0歳	389	17.0	5.1	3.6	0.3	5.4	13.4	2.3	0.5	11.6	25.2
	1歳	711	26.7	20.5	20.4	4.8	4.8	18.7	14.1	1.5	9.1	5.6
	2歳	446	22.2	21.5	24.0	4.3	3.6	24.4	10.8	2.0	7.6	3.8
	3歳	414	26.3	24.4	20.3	3.6	4.1	13.0	7.0	0.7	8.9	5.3
	4歳	341	28.7	20.2	13.2	3.5	3.8	20.5	5.3	1.8	7.0	4.1
同居・近居の 状況別(父親)	父母同居	2,126	21.8	6.4	4.4	0.2	4.3	14.6	3.7	1.1	11.3	17.5
	父同居(ひとり親家庭)	9	22.2	22.2	11.1	-	-	22.2	11.1	-	11.1	11.1
	母同居(ひとり親家庭)	133	5.3	0.8	1.5	-	-	2.3	0.8	-	1.5	88.0
	祖父同居	193	15.0	4.1	2.1	-	2.6	13.0	2.1	0.5	10.9	29.0
	祖母同居	267	19.1	3.7	1.9	-	2.2	8.6	1.9	0.4	9.0	33.0
	祖父近居	1,019	22.8	7.1	4.8	-	4.1	14.3	2.8	1.1	12.8	18.4
	祖母近居	1,169	22.8	6.8	4.6	0.1	4.2	13.9	2.9	1.2	11.9	19.8
その他	143	14.0	5.6	2.1	0.7	7.7	11.9	2.8	-	8.4	25.2	
同居・近居の 状況別(母親)	父母同居	2,126	25.8	21.0	17.4	4.8	3.8	19.2	8.6	1.1	8.9	4.5
	父同居(ひとり親家庭)	9	11.1	-	-	-	-	11.1	-	-	-	77.8
	母同居(ひとり親家庭)	133	42.9	18.0	8.3	4.5	11.3	18.8	7.5	2.3	3.8	6.8
	祖父同居	193	25.9	19.2	14.5	3.6	4.1	17.1	5.7	2.1	10.4	5.7
	祖母同居	267	25.5	20.6	15.4	4.5	3.4	18.4	5.2	2.2	7.5	5.6
	祖父近居	1,019	27.7	18.5	18.3	4.4	3.9	18.5	7.7	1.2	11.0	4.1
	祖母近居	1,169	26.9	18.4	18.2	4.7	4.2	18.9	7.8	1.3	10.4	4.1
その他	143	28.0	19.6	14.0	7.0	4.2	22.4	11.2	1.4	7.7	3.5	

【家族類型別】

家族類型別にみると、父親では「共働き」「フルタイム・パート」「専業主婦（夫）」について、「こどものしつけ」の割合が最も高いのに対し、「ひとり親」「両親ともパート」「両親とも無業」については、「経済的な不安」の割合が最も高くなっている。

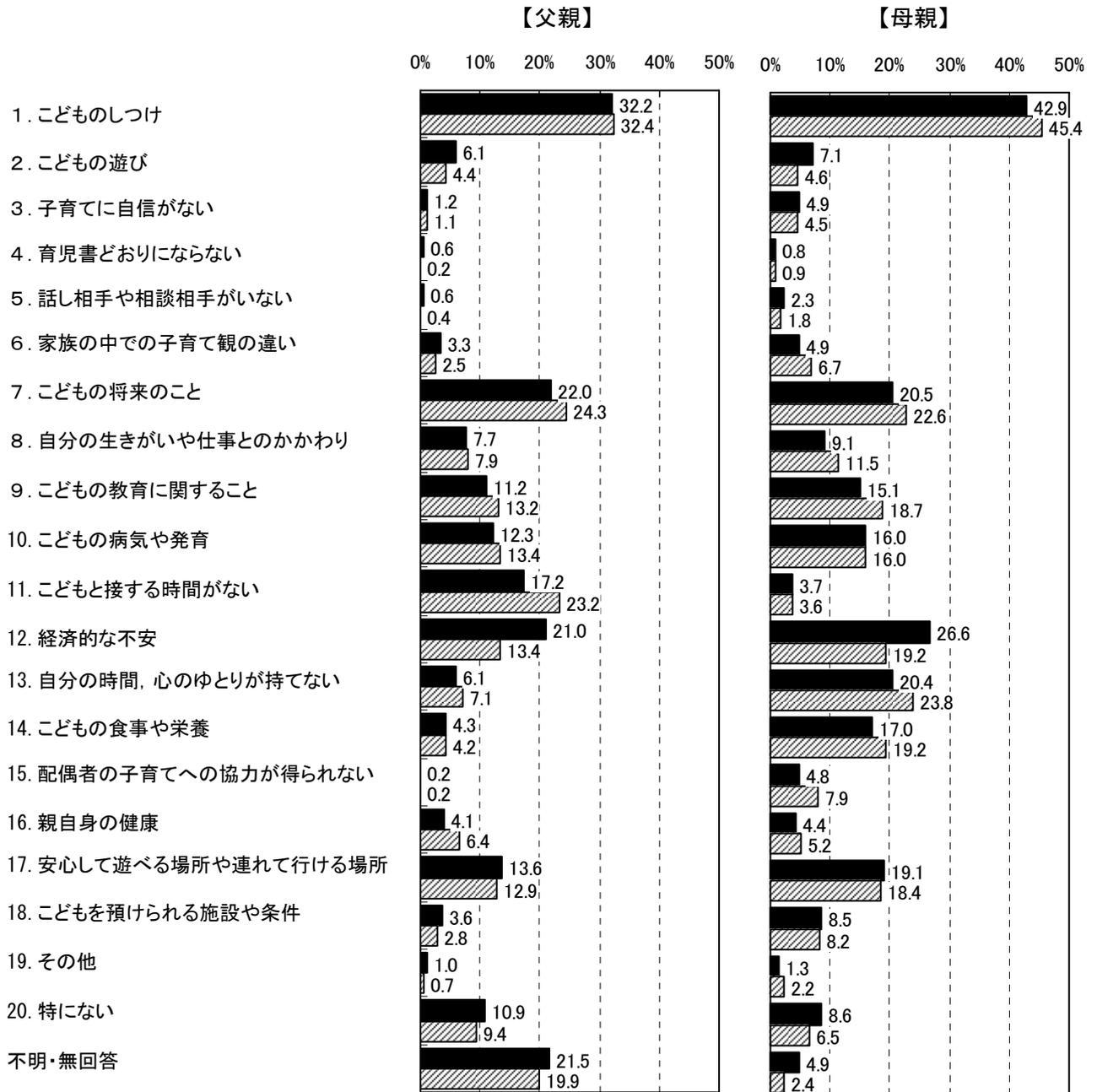
単位：%

		回答者数 (人)	こどものし つけ	こどもの遊 び	子育てに 自信がな い	育児書ど おりになら ない	話し相手 や相談相 手がいな い	家族の中 での子育 て観の違 い	こどもの将 来のこと	自分の生 きがいや 仕事との かわり	こどもの教 育に関す ること	こどもの病 気や発育	こどもと接 する時間 がない
家族類型別 (父親)	ひとり親	121	4.1	-	0.8	0.8	0.8	1.7	4.1	1.7	3.3	3.3	2.5
	共働き	369	33.1	4.9	1.6	0.8	0.5	3.8	20.9	9.2	10.3	14.4	17.3
	フルタイム・パート	386	33.2	7.0	0.3	-	0.5	4.1	21.0	8.0	11.1	8.8	16.8
	専業主婦(夫)	1,203	34.3	6.0	1.3	0.3	0.4	2.7	24.6	8.0	13.1	13.3	19.7
	両親ともパート	11	27.3	9.1	-	-	-	9.1	18.2	-	18.2	18.2	18.2
両親とも無業	13	38.5	15.4	7.7	7.7	15.4	7.7	30.8	7.7	7.7	7.7	7.7	
家族類型別 (母親)	ひとり親	121	38.0	3.3	2.5	0.8	2.5	2.5	29.8	11.6	9.9	17.4	7.4
	共働き	369	37.1	4.9	1.9	0.3	1.9	4.9	17.1	18.7	17.6	16.3	13.0
	フルタイム・パート	386	42.5	6.0	4.1	0.5	1.3	7.3	20.2	13.2	16.3	10.9	2.3
	専業主婦(夫)	1,203	45.0	8.6	5.0	0.7	2.4	4.7	20.3	6.0	15.1	17.5	1.1
	両親ともパート	11	27.3	9.1	-	-	-	-	18.2	9.1	18.2	9.1	18.2
両親とも無業	13	23.1	-	30.8	7.7	7.7	7.7	23.1	-	15.4	15.4	-	

		回答者数 (人)	経済的な 不安	自分の時 間、心の ゆとりが持 てない	こどもの食 事や栄養	配偶者の 子育てへ の協力が 得られない	親自身の 健康	安心して遊 べる場所 や連れて 行ける場 所	こどもを預 けられる施 設や条件	その他	特にな い	不明・ 無回答
家族類型別 (父親)	ひとり親	121	6.6	2.5	2.5	-	-	3.3	1.7	-	2.5	83.5
	共働き	369	18.4	9.8	6.0	-	3.8	13.6	5.4	2.2	8.4	20.9
	フルタイム・パート	386	23.6	7.0	4.1	0.3	2.8	17.9	4.1	0.5	13.2	20.2
	専業主婦(夫)	1,203	22.1	5.7	3.8	0.1	4.8	13.8	2.9	0.9	12.1	15.0
	両親ともパート	11	45.5	-	-	-	27.3	27.3	9.1	-	9.1	9.1
両親とも無業	13	61.5	-	15.4	-	15.4	7.7	15.4	-	7.7	-	
家族類型別 (母親)	ひとり親	121	42.1	18.2	8.3	4.1	11.6	19.8	6.6	2.5	3.3	10.7
	共働き	369	24.1	22.8	16.8	5.7	3.5	15.7	11.1	1.1	6.5	6.0
	フルタイム・パート	386	33.7	21.8	14.8	4.9	4.1	20.2	8.0	1.0	7.3	5.7
	専業主婦(夫)	1,203	23.9	19.7	18.9	4.3	3.6	20.0	8.2	0.9	10.6	3.3
	両親ともパート	11	45.5	9.1	27.3	9.1	9.1	9.1	9.1	-	18.2	-
両親とも無業	13	46.2	38.5	7.7	-	-	30.8	23.1	-	-	7.7	

【平成 16 年調査との比較】

平成 16 年調査との比較をみると、「父親」では「経済的な不安」の割合が平成 16 年調査より 6.6 ポイント、「母親」では 7.4 ポイント高くなっている。

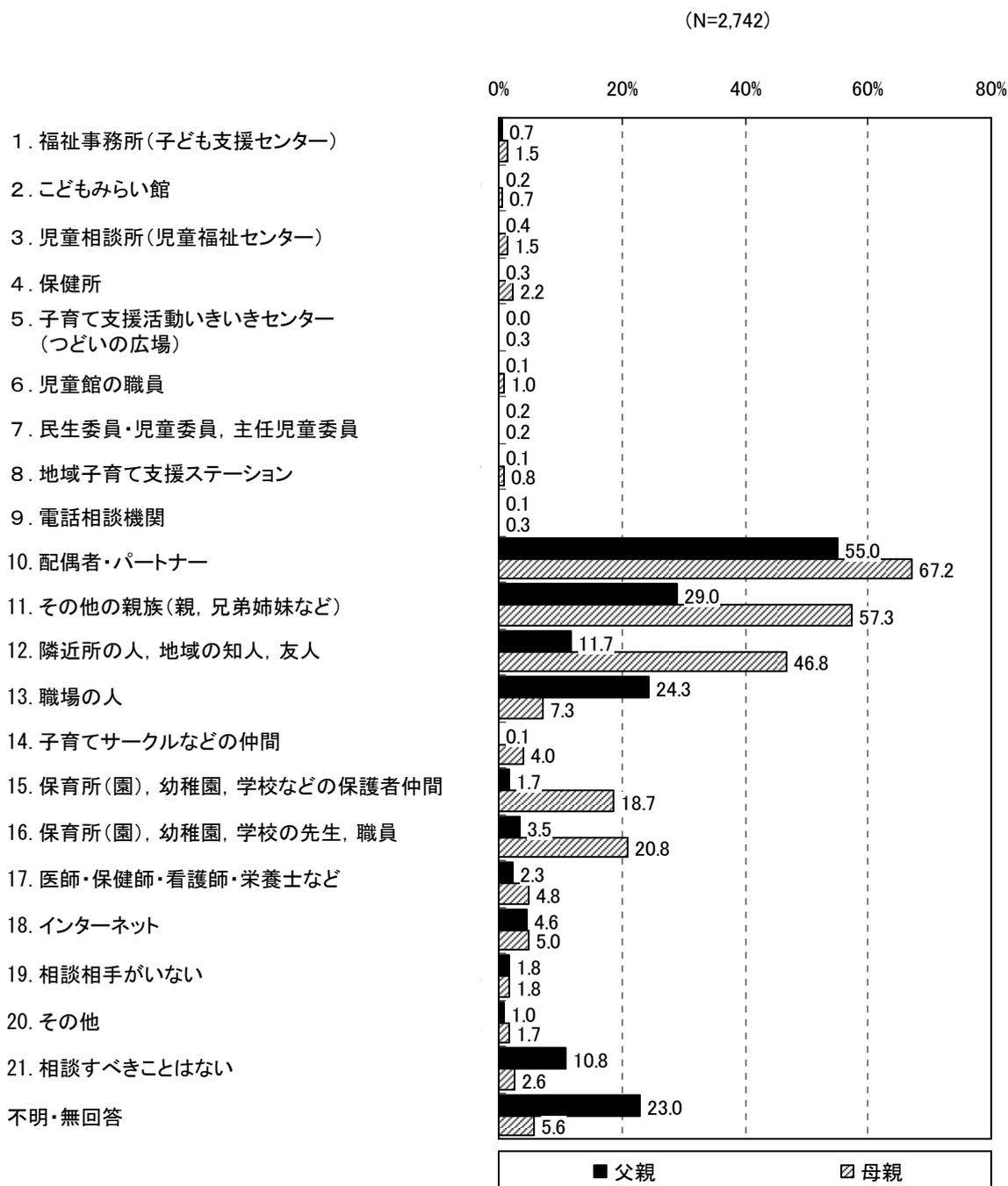


■ 平成20年 (N=2,742) ▨ 平成16年 (N=2,620)

問 32 あて名のお子さんを育てるうえで、日頃感じられる悩みや不安を、誰に、またはどこに相談していらっしゃるでしょうか。（あてはまるもの3つまで）

子育てについての相談先についてみると、「父親」「母親」ともに「10. 配偶者・パートナー」が最も高くなっている。

また、「12. 隣近所の人、地域の知人、友人」については、「母親」が「父親」より35.1ポイント、「11. その他の親族（親、兄弟姉妹など）」については28.3ポイント高く、父親と母親の差が大きくなっている。



【こどもの年齢別】

こどもの年齢別にみると、「父親」「母親」ともにどの区分についても「配偶者・パートナー」の割合が最も高くなっている。

単位：％

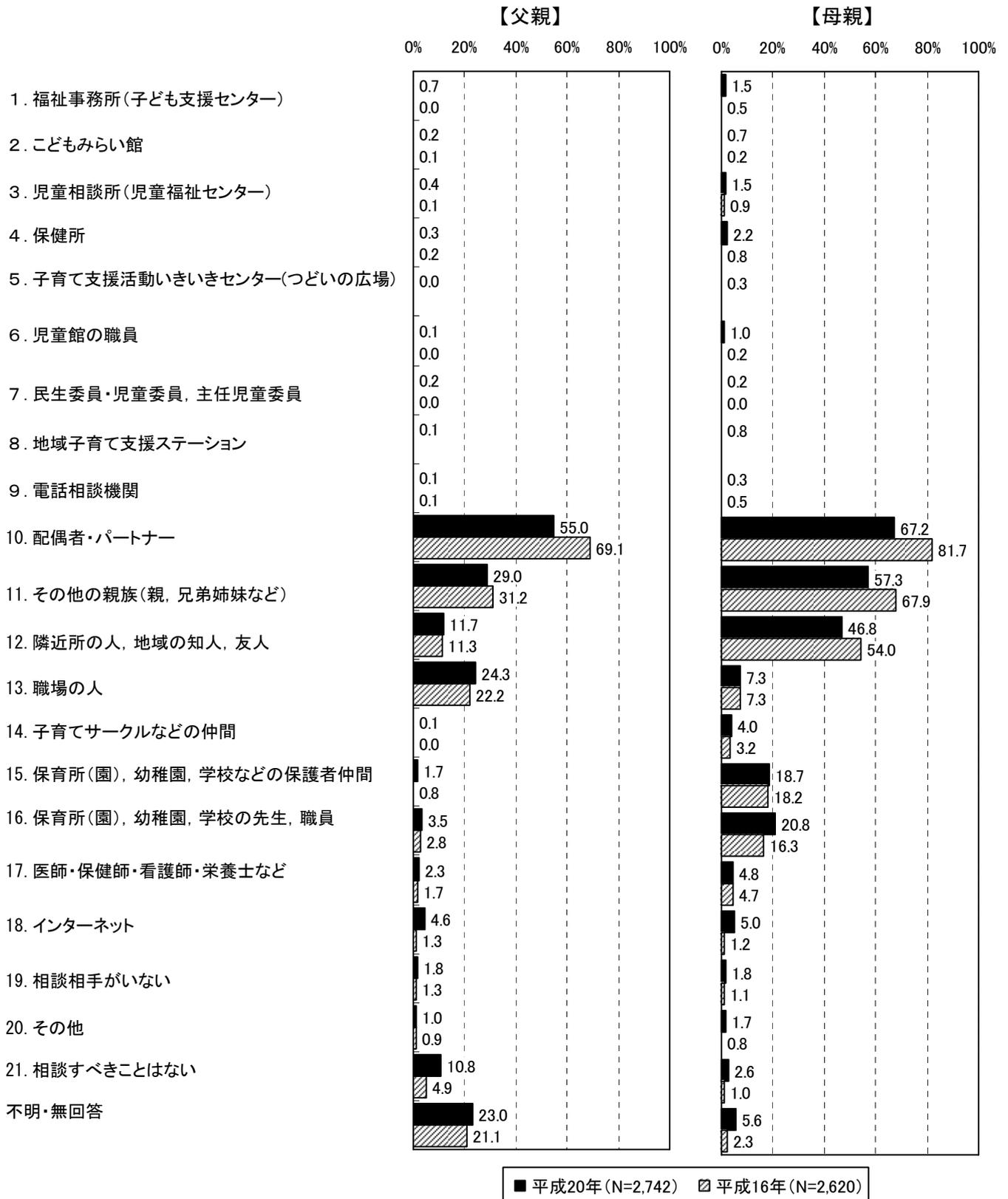
	年齢別	回答者数 (人)	福祉事務所 (子ども 支援セン ター)	こどもみら い館	児童相談 所(児童福 祉セン ター)	保健所	子育て支 援活動い きいきセン ター(つど いの広場)	児童館の 職員	民生委員・ 児童委員、 主任児童 委員	地域子育 て支援ス テーション
年齢別 (父親)	0歳	711	0.3	0.1	0.1	0.6	-	-	0.1	0.1
	1歳	446	0.7	-	-	0.4	-	-	-	0.2
	2歳	414	2.2	0.5	0.5	-	-	-	0.2	-
	3歳	341	-	-	0.6	-	-	-	0.6	0.3
	4歳	384	1.0	0.5	0.8	-	-	-	-	0.3
	5歳	389	-	-	0.5	-	-	-	0.3	-
年齢別 (母親)	0歳	711	1.0	0.8	0.6	3.5	0.4	0.8	-	1.4
	1歳	446	2.0	0.2	0.7	2.9	0.4	1.8	0.2	1.6
	2歳	414	2.4	1.4	2.2	1.9	0.7	1.9	-	0.7
	3歳	341	1.5	1.2	2.1	1.2	-	0.6	1.5	0.3
	4歳	384	1.8	-	2.6	0.8	-	0.5	-	-
	5歳	389	0.5	0.3	2.1	1.3	-	0.5	-	-

	年齢別	回答者数 (人)	電話相談 機関	配偶者・ パート ナー	その他の 親族(親、 兄弟姉妹 など)	隣近所の 人、地域 の知人、 友人	職場の人	子育て サークルな どの仲間	保育所 (園)、幼稚 園、学校な どの保護 者仲間	保育所 (園)、幼稚 園、学校の 先生、職員
年齢別 (父親)	0歳	711	0.1	55.7	35.2	13.4	28.0	-	0.4	1.8
	1歳	446	0.2	60.5	32.7	10.1	29.4	-	0.7	4.0
	2歳	414	-	53.6	24.9	10.6	21.7	0.2	1.2	3.6
	3歳	341	0.3	57.2	24.3	10.3	26.7	0.3	2.3	4.1
	4歳	384	-	50.8	26.0	11.2	19.8	0.3	4.4	4.9
	5歳	389	-	51.4	24.7	11.6	17.0	-	2.6	3.6
年齢別 (母親)	0歳	711	0.4	68.8	66.4	51.3	4.5	6.0	5.9	8.9
	1歳	446	0.2	68.4	59.2	53.8	8.5	7.4	10.8	17.3
	2歳	414	0.2	66.4	53.9	43.2	7.5	5.1	19.8	23.4
	3歳	341	0.6	71.3	54.5	42.2	6.5	2.1	26.7	28.4
	4歳	384	0.3	60.7	51.6	39.6	7.8	0.5	33.1	32.3
	5歳	389	-	66.6	50.4	45.8	12.1	0.5	28.8	25.4

	年齢別	回答者数 (人)	医師・保健 師・看護 師・栄養士 など	インター ネット	相談相手 がいない	その他	相談すべ きことはな い	不明・ 無回答
年齢別 (父親)	0歳	711	2.4	6.9	1.5	0.8	12.4	20.5
	1歳	446	3.8	4.9	2.0	0.2	10.5	17.5
	2歳	414	1.2	5.8	1.4	1.4	7.5	26.3
	3歳	341	2.9	2.6	2.6	1.5	10.9	21.1
	4歳	384	2.1	2.6	1.0	1.6	10.4	27.6
	5歳	389	1.3	2.3	2.6	0.8	11.8	28.3
年齢別 (母親)	0歳	711	7.2	10.4	1.7	1.3	2.8	6.5
	1歳	446	5.4	4.3	1.6	2.7	2.5	4.3
	2歳	414	6.5	3.6	1.9	2.4	2.2	5.6
	3歳	341	2.9	1.5	1.5	1.5	1.5	3.8
	4歳	384	2.9	3.4	2.9	1.0	2.9	5.5
	5歳	389	1.5	1.5	1.0	1.8	3.1	7.2

【平成16年調査との比較】

平成16年調査と比較すると、「父親」「母親」ともに「10. 配偶者・パートナー」が低くなっている。「母親」では「16. 保育所（園），幼稚園，学校の先生，職員」が4.5ポイント高くなっている。

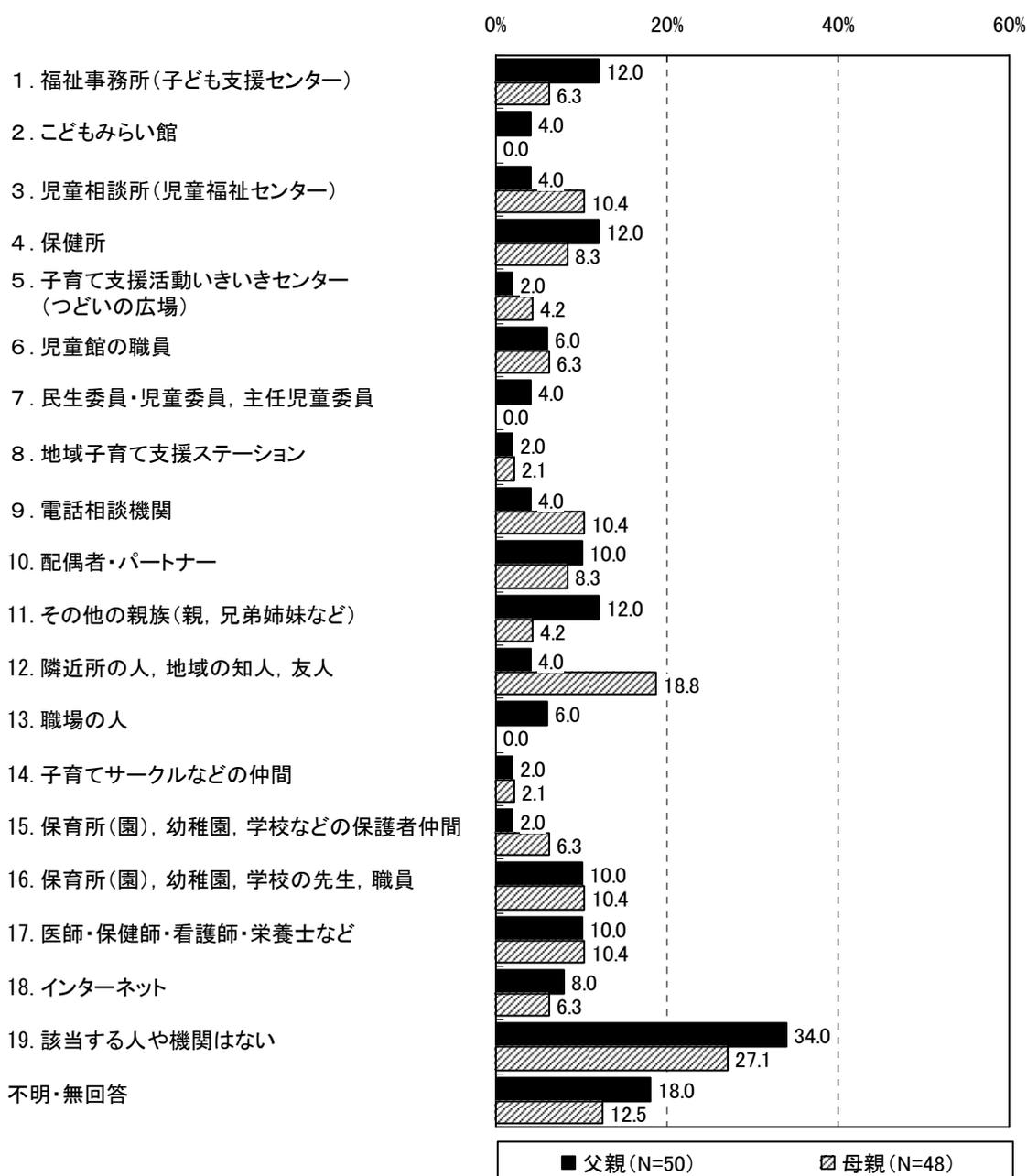


問 32-1 問 32 で「19」を選ばれた方におうかがいします。

次のうち、もう少し気軽に相談できるなど条件が整っていれば、相談してみようと思う人や機関はありますか。(あてはまるもの3つまで)

もう少し気軽に相談できるなど条件が整っていれば、相談してみようと思う人や機関についてみると、「父親」「母親」とともに「19. 該当する人や機関はない」が最も高くなっている。

また、「12. 隣近所の人、地域の知人、友人」については、「母親」が「父親」より 14.8 ポイント高く、父親と母親の差が大きくなっている。

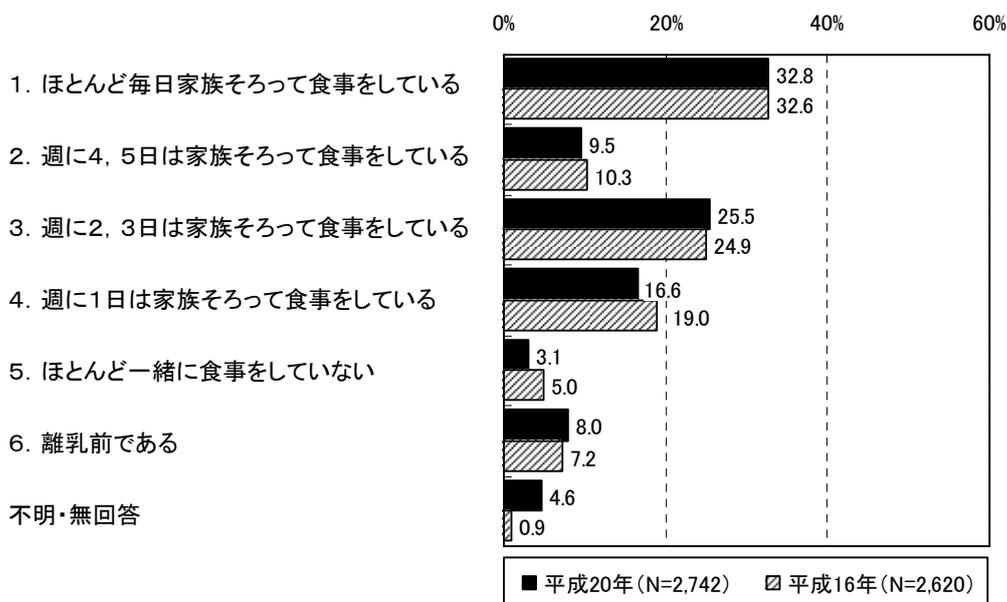


問 33 あて名のお子さんの食生活についてお答えください。

（１）ふだん家族そろって食事をすることがどのくらいありますか。

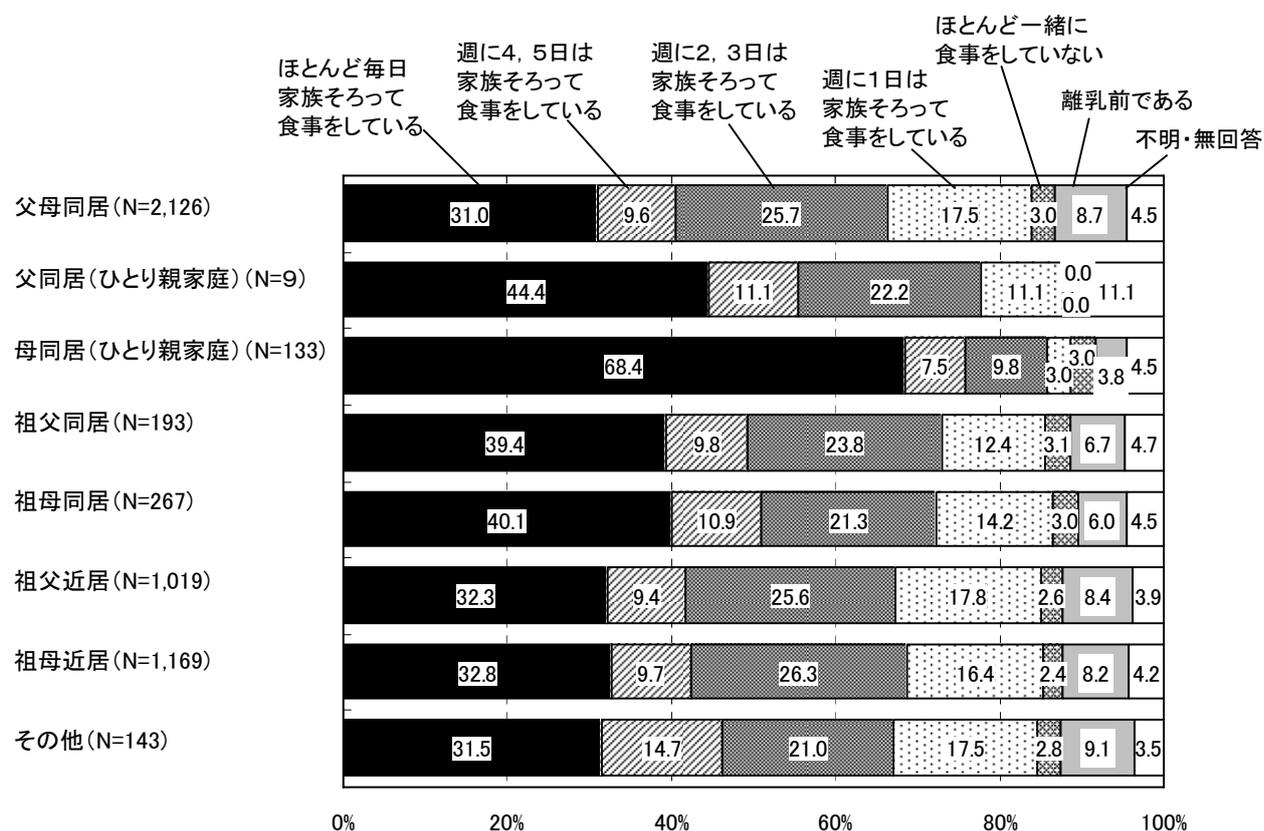
ふだん家族そろって食事をすることがどれくらいあるかについてみると、「1. ほとんど毎日家族そろって食事をしている」が32.8%と最も高くなっており、次いで「3. 週に2, 3日は家族そろって食事をしている」が25.5%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



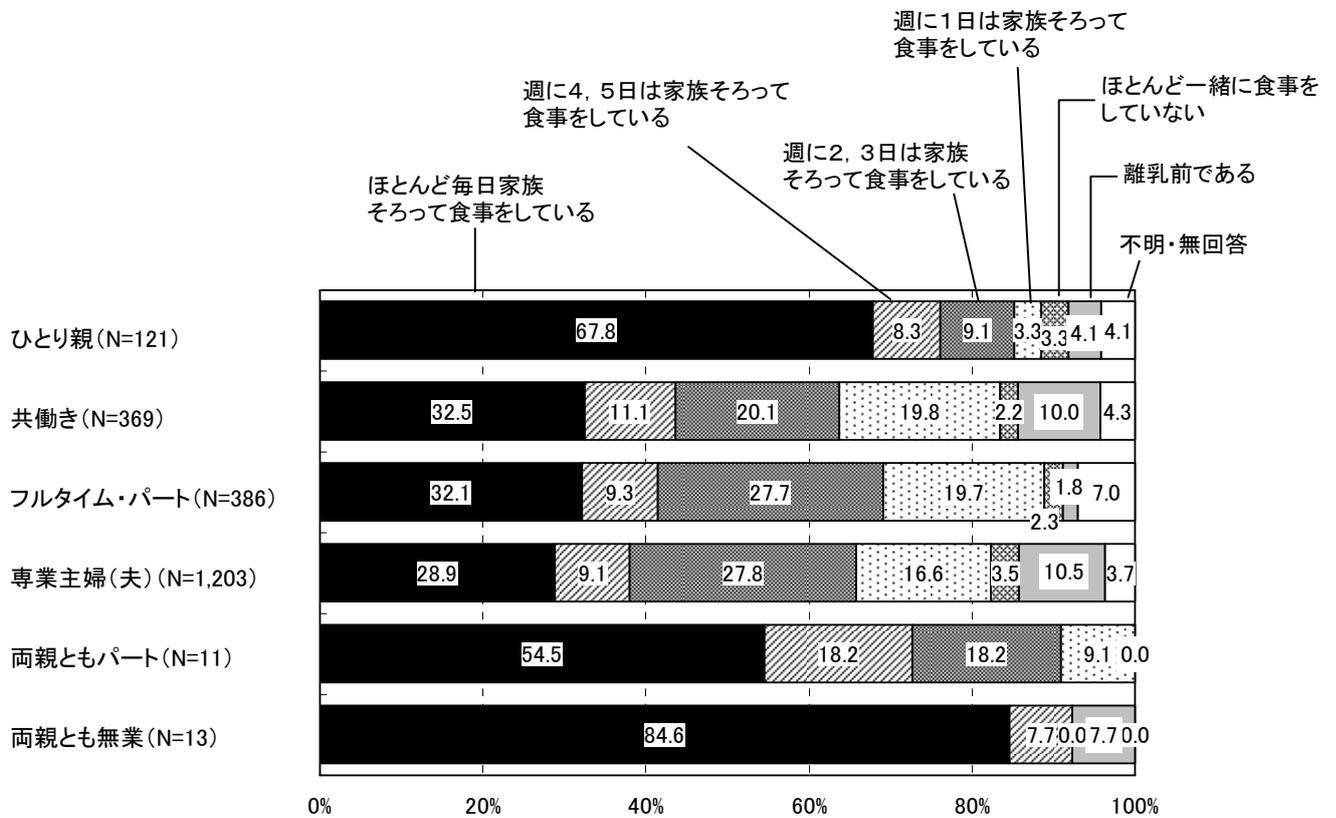
【同居・近居の状況別】

同居・近居の状況別にみると、「母同居（ひとり親家庭）」について、他の区分と比較して「ほとんど毎日家族そろって食事をしている」の割合が高くなっている。



【家族類型別】

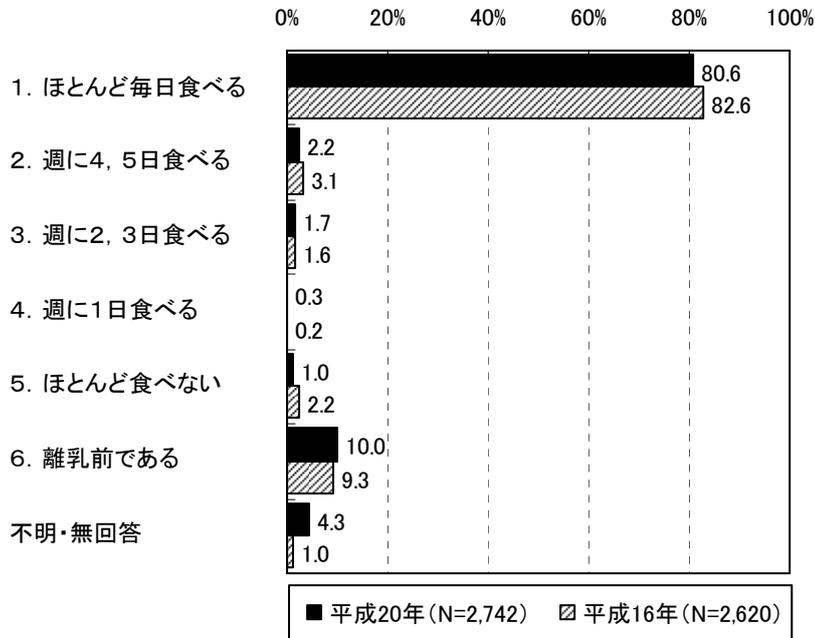
家族類型別にみると、「ひとり親」「両親ともパート」「両親とも無業」については、他の区分と比較して「ほとんど毎日家族そろって食事をしている」の割合が高くなっている。



（2）あて名のお子さんは、ふだん朝食を食べていますか。

朝食を食べる頻度についてみると、「1. ほとんど毎日食べる」が80.6%と最も高くなっている。

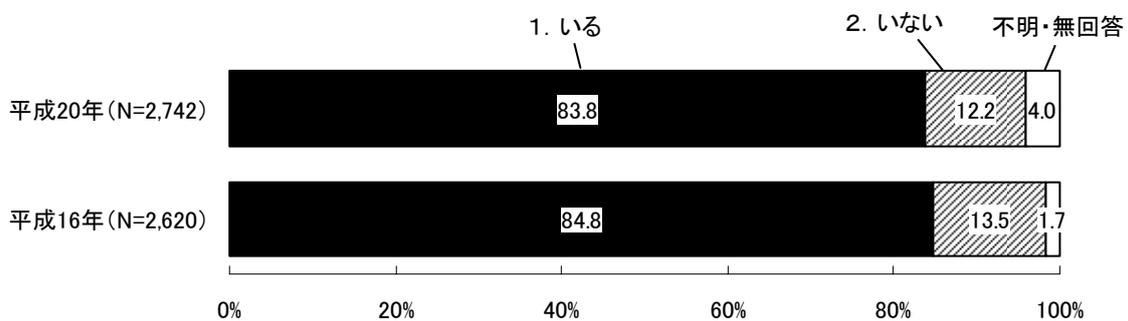
平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



問 34 あて名のお子さんには、かかりつけの医師がいますか。

かかりつけの医師の有無についてみると、「1. いる」が83.8%、「2. いない」が12.2%となっている。

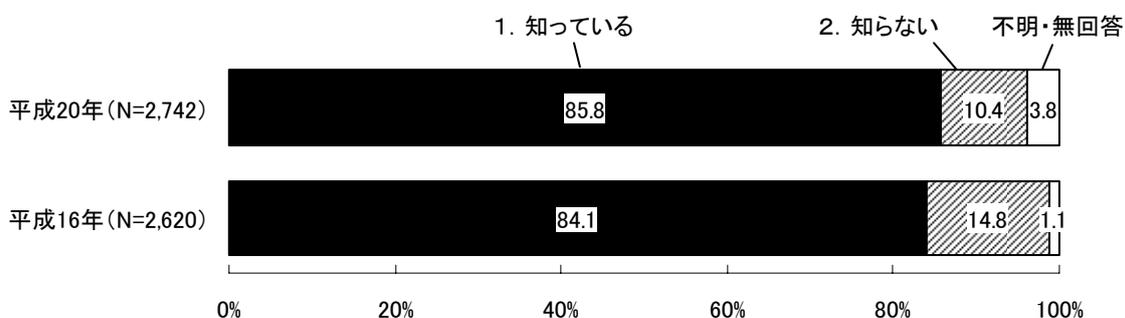
平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



問 35 あなたは、休日・夜間に診てもらえる小児救急医療機関を知っていますか。

小児救急医療機関の認知度についてみると、「1. 知っている」が85.8%、「2. 知らない」が10.4%となっている。

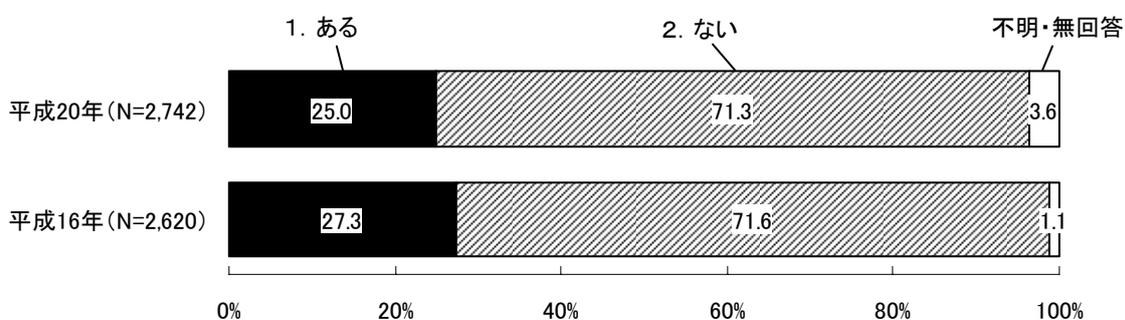
平成16年調査と比較すると、「2. 知らない」が4.4ポイント低くなっている。



問 36 あて名のお子さんは、いままでに事故（転倒・交通事故・やけど・誤飲・溺水など）にあったことがありますか。

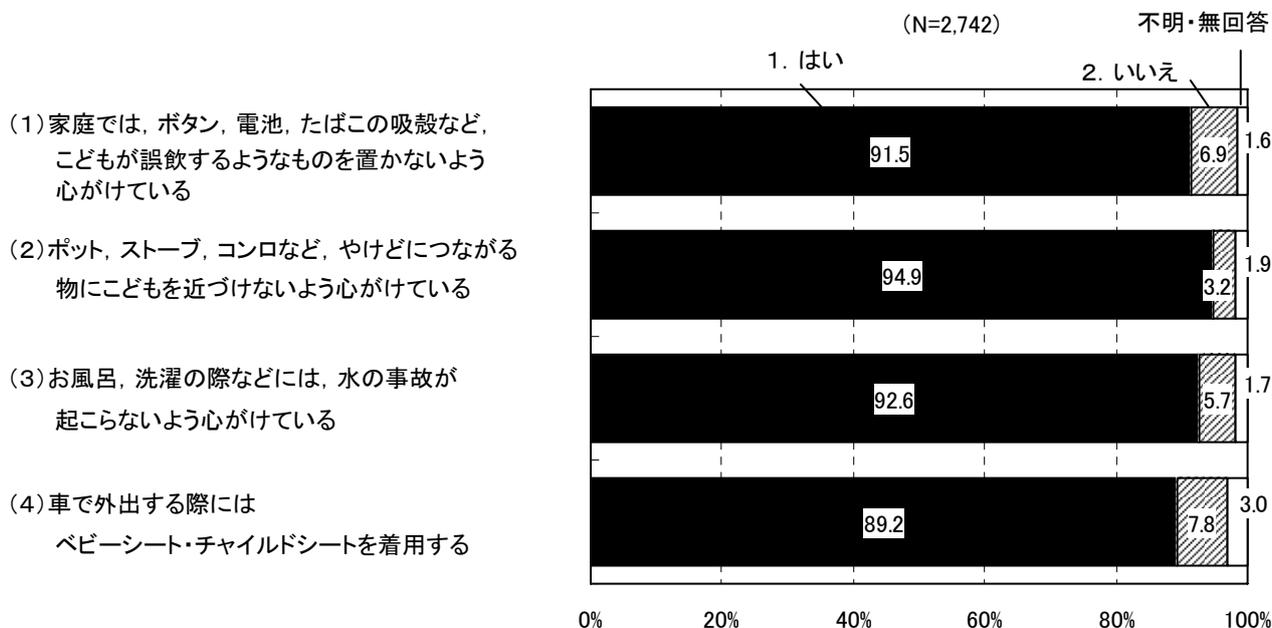
事故の経験についてみると、「2. ない」が71.3%、「1. ある」が25.0%となっている。

平成16年調査と比較すると、「1. ある」が2.3ポイント低くなっている。



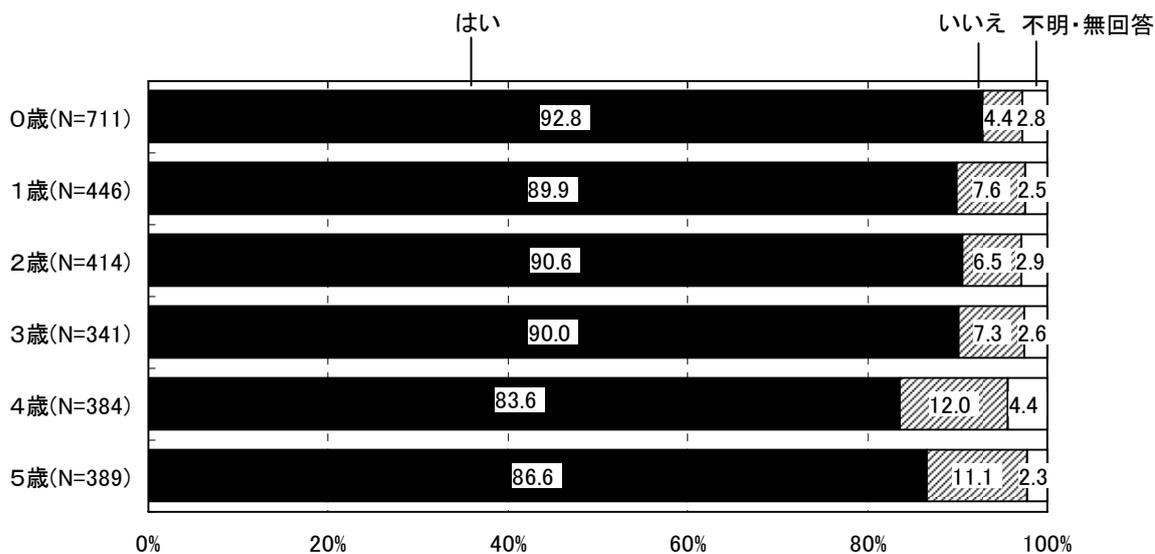
問 37 次の（１）～（４）はいずれも事故防止や健康のための対策ですが、あて名のお子さんについて意識して行っています（ました）か。（１）～（４）のそれぞれの設問についてお答えください。

事故防止や健康のための対策を意識して行っているかについてみると、すべての項目において、「１．はい」が約９割と高くなっている。



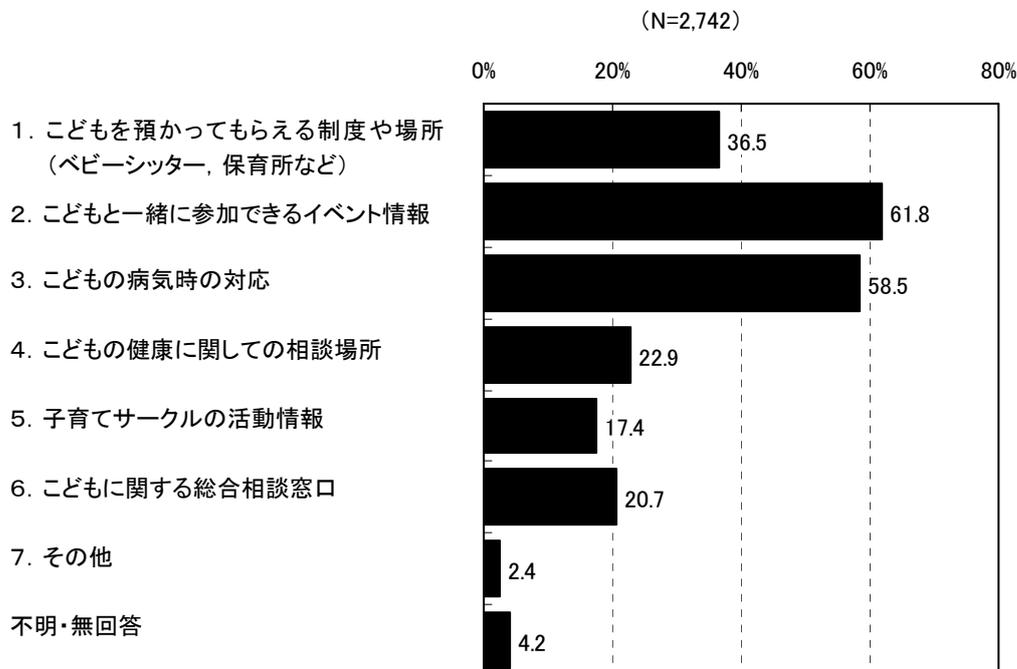
【こどもの年齢別】

ベビーシート・チャイルドシートの着用をこどもの年齢別にみると、すべての区分において「はい」の割合が高くなっている。



問 38 あなたが子育てに関して知りたい情報とはどのようなものですか。(あてはまるものすべて)

子育てに関して知りたい情報についてみると、「2. こどもと一緒に参加できるイベント情報」が61.8%と最も高く、次いで「3. こどもの病気時の対応」が58.5%となっている。



【こどもの年齢別】

こどもの年齢別にみると、「0歳」以外の区分において「こどもと一緒に参加できるイベント情報」の割合が高くなっている。また、「子育てサークルの活動情報」の割合は、「0歳」「1歳」が他の区分と比較して高くなっている。

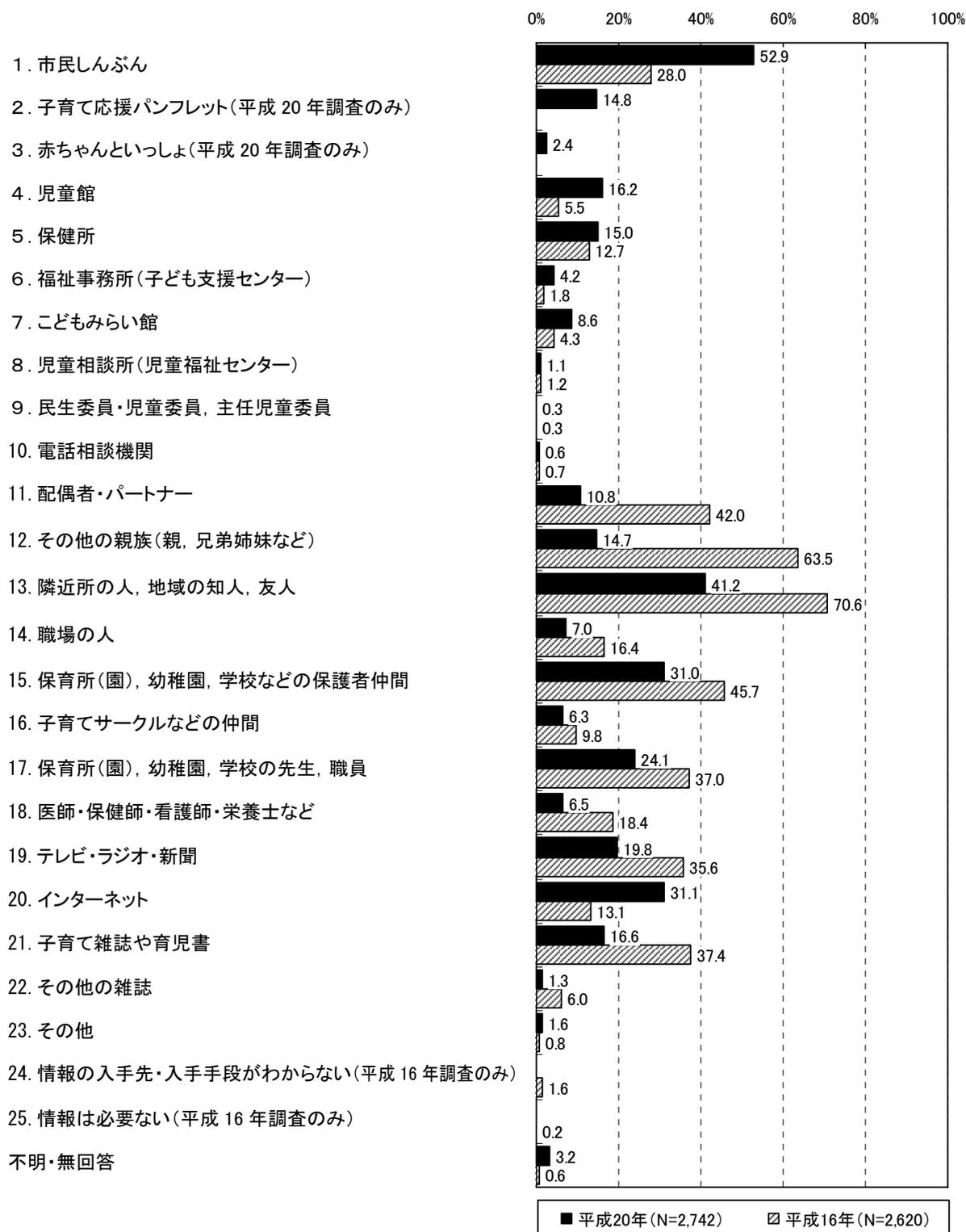
単位: %

年齢別	年齢	回答者数 (人)	こどもを預かってもらえる制度や場所 (ベビーシッター, 保育所など)	こどもと一緒に参加できるイベント情報	こどもの病気時の対応	こどもの健康に関する相談場所	子育てサークルの活動情報	こどもに関する総合相談窓口	その他	不明・無回答
			割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
年齢別	0歳	711	45.1	62.6	65.7	32.3	29.1	25.0	3.2	2.5
	1歳	446	40.6	67.7	54.9	20.4	21.3	20.2	1.8	2.9
	2歳	414	35.0	62.6	58.9	19.6	16.4	17.9	1.2	5.1
	3歳	341	35.8	65.4	60.1	22.6	10.6	20.8	1.8	3.8
	4歳	384	28.6	57.6	54.4	18.5	8.3	18.2	3.9	6.8
	5歳	389	26.5	53.7	51.4	15.9	7.5	17.7	2.1	5.7

問 38-1 問 38 のような子育てに必要な施策情報等をどのように入手されていますか。
（あてはまるものすべて）

子育てに必要な施策情報等の入手先についてみると、「1. 市民しんぶん」が52.9%と最も高く、次いで「13. 隣近所の人，地域の知人，友人」が41.2%となっている。

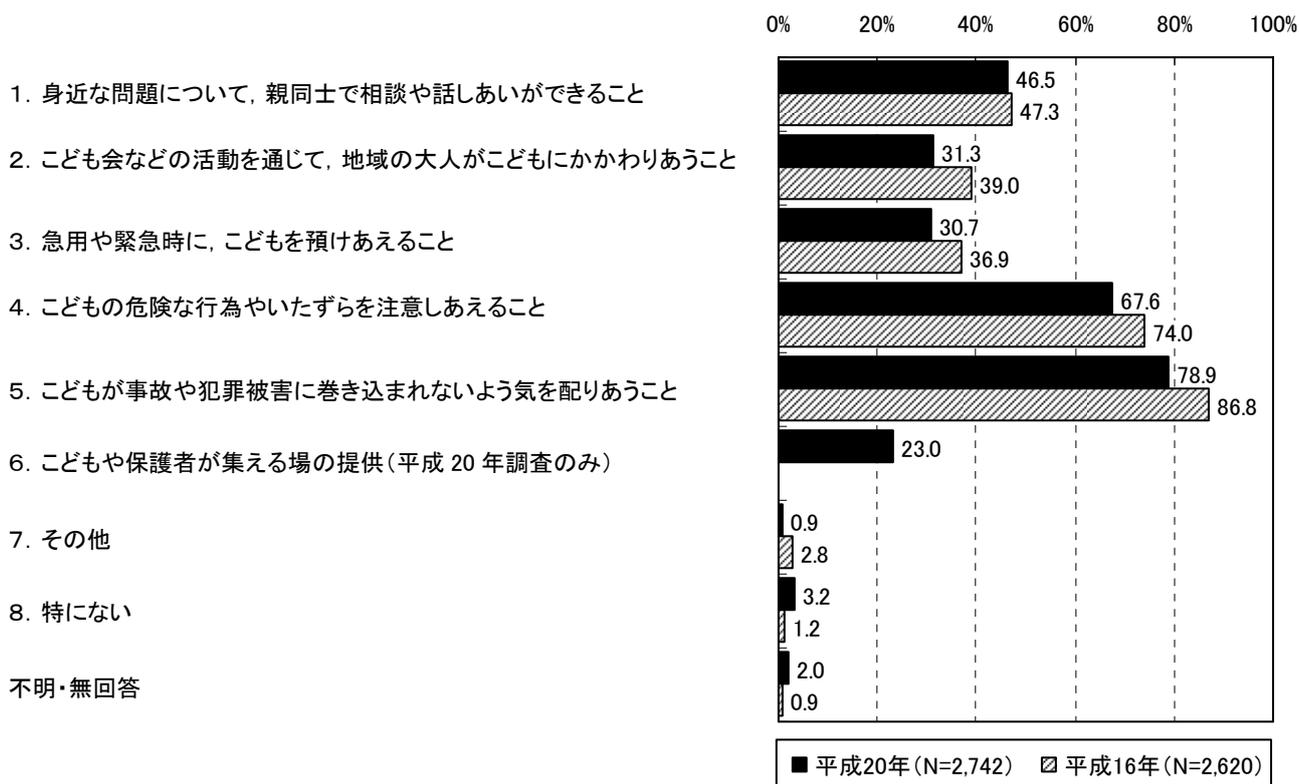
平成16年調査と比較すると、「1. 市民しんぶん」は24.9ポイント高くなっており、「11. 配偶者・パートナー」「12. その他の親族（親，兄弟姉妹など）」「13. 隣近所の人，地域の知人，友人」はそれぞれ31.2ポイント，48.8ポイント，29.4ポイント低くなっている。



問 39 あなたは、子育てをするうえで、ご近所・地域の人々にどのようなことを期待しますか。(あてはまるものすべて)

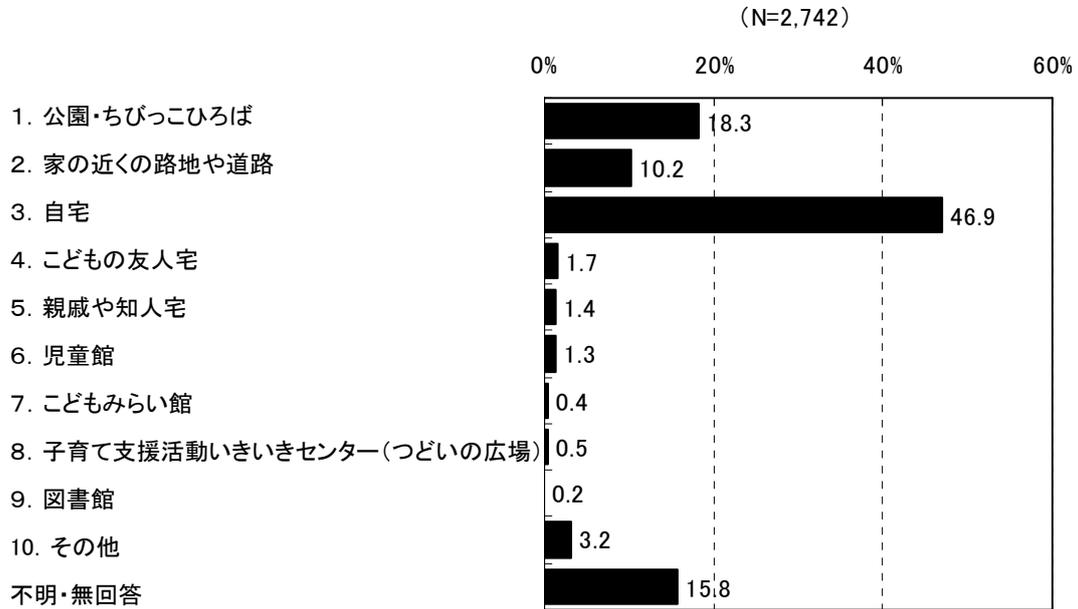
子育てについて地域の人々に期待することについてみると、「5. 子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配りあうこと」が78.9%と最も高く、次いで「4. 子どもの危険な行為やいたずらを注意しあえること」が67.6%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっているが、選択肢が増えているため全体的に割合が分散され低くなっている。



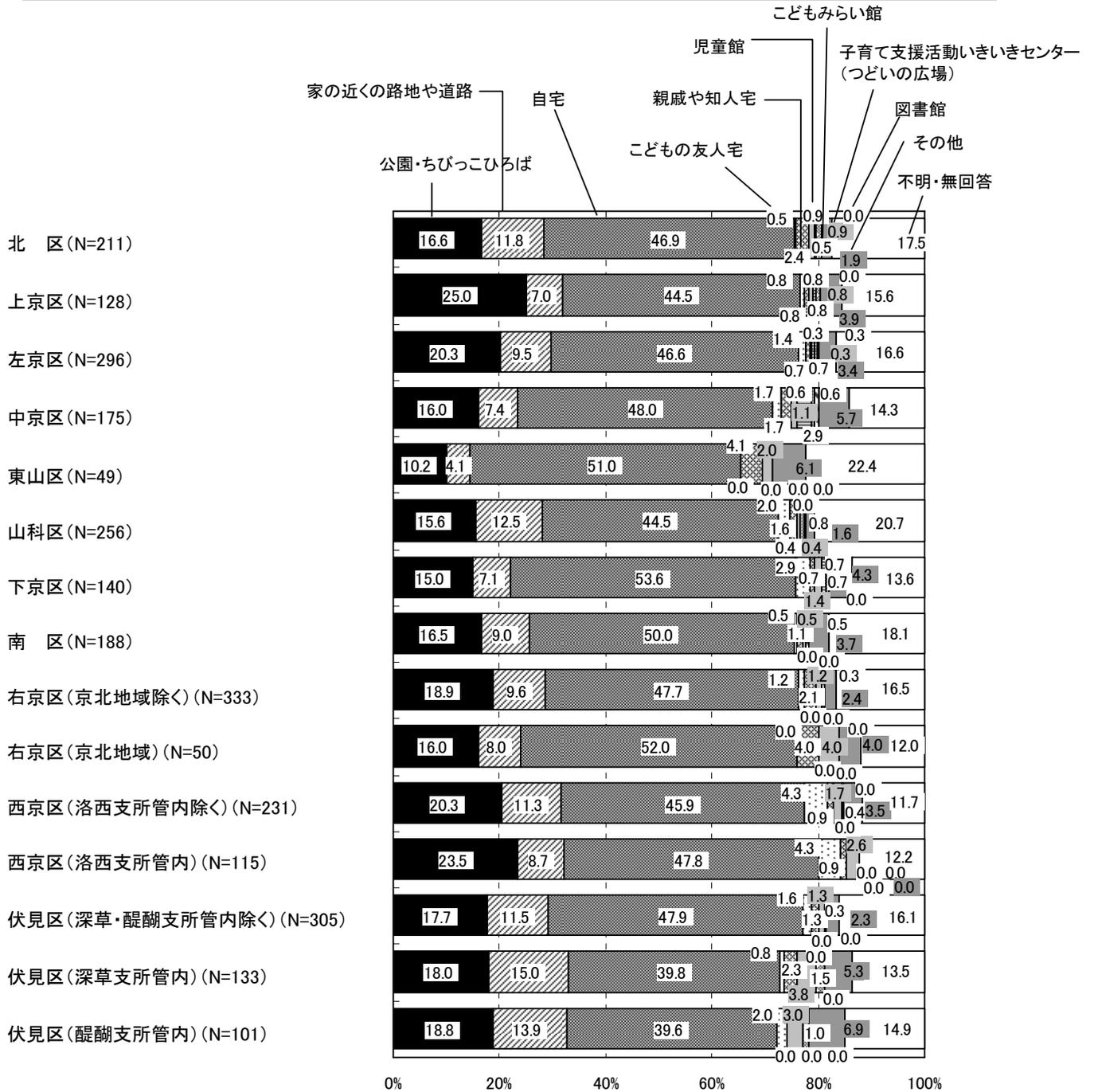
問 40 あて名のお子さんを、平日の日中どこで遊ばせることが多いですか。

平日の日中どこで遊ばせるかについてみると、「3. 自宅」が 46.9%と最も高く、次いで「1. 公園・ちびっこひろば」が 18.3%となっている。



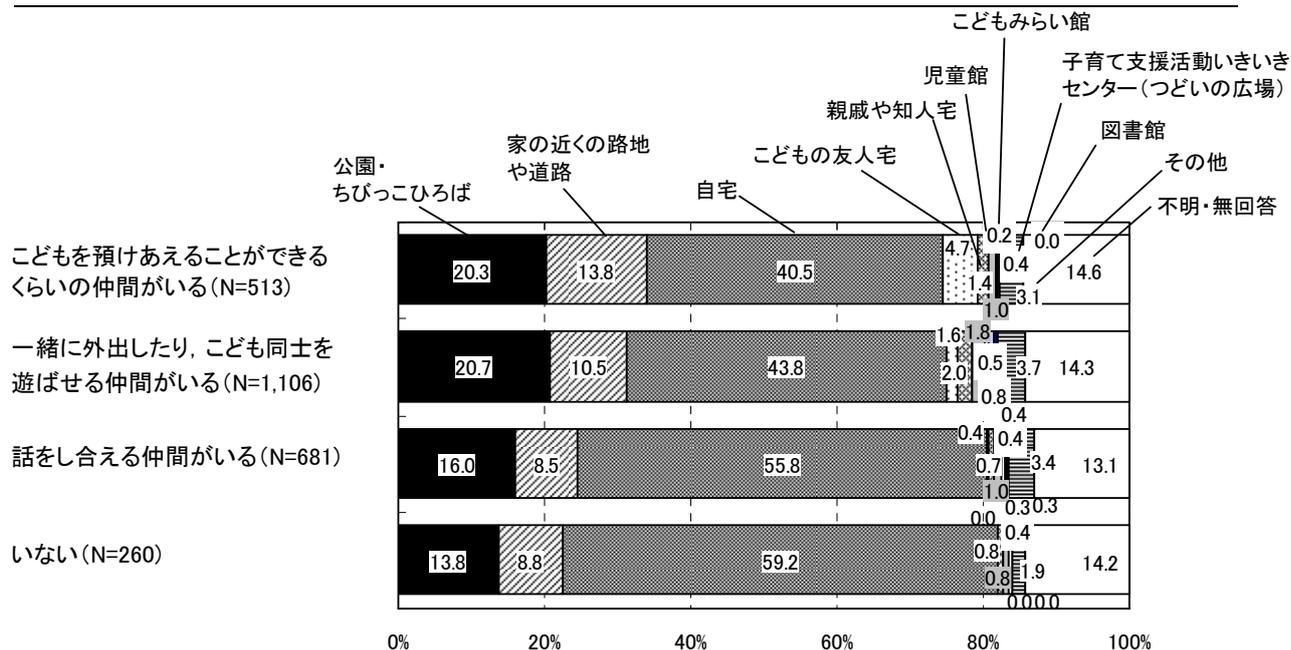
【居住区別】

居住区別にみると、すべての区分で「自宅」の割合が高くなっている。



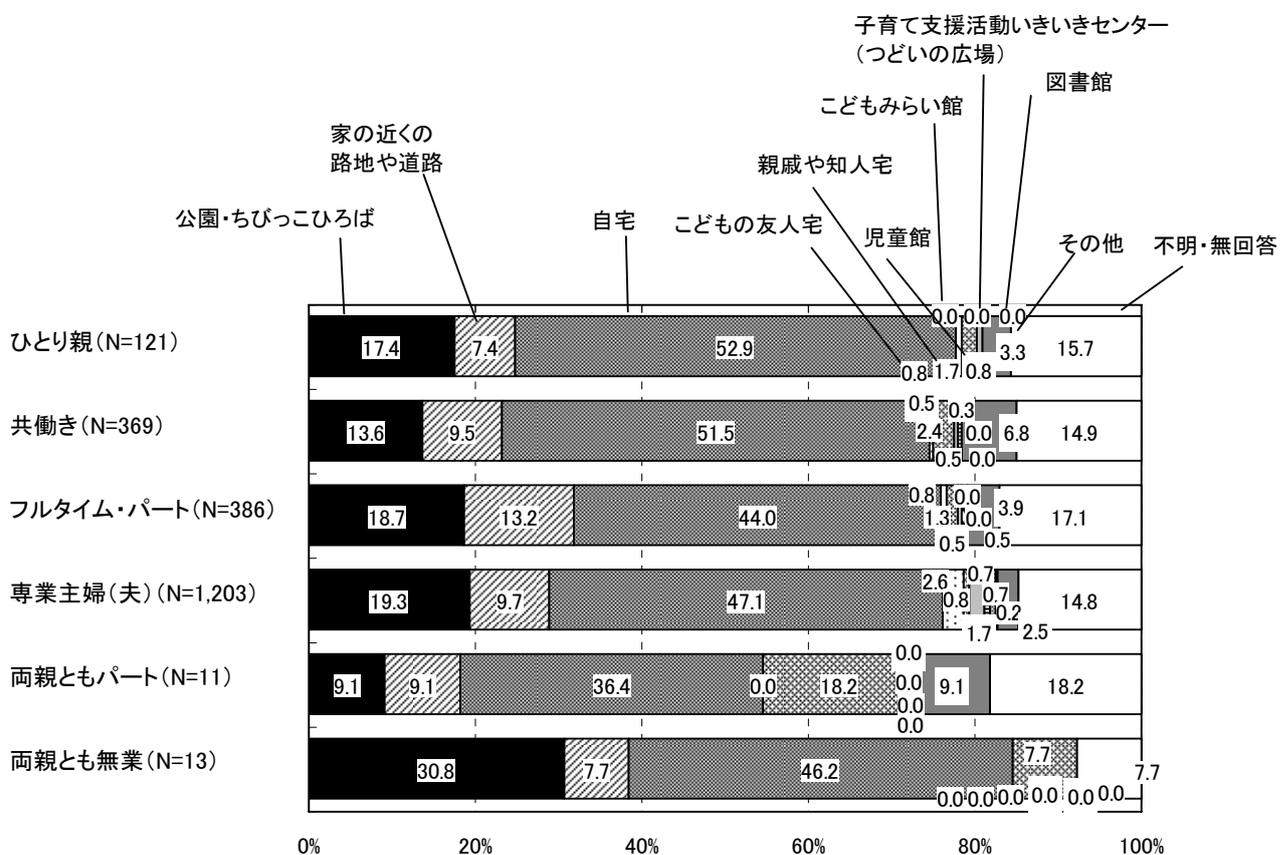
【子育て仲間の有無別】

子育て仲間の有無別にみると、すべての区分で「自宅」の割合が高くなっている。



【家族類型別】

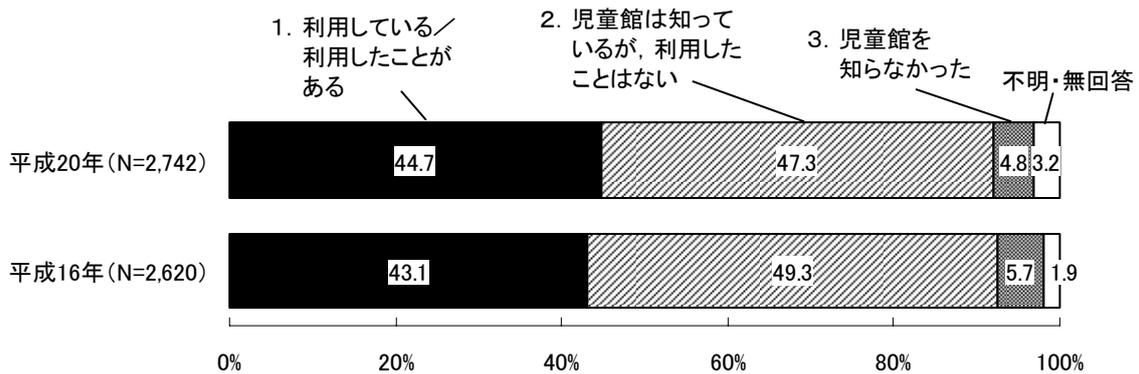
家族類型別にみると、すべての区分で「自宅」の割合が高くなっている。



問 41 京都市では、遊びを通じて児童の健全育成を図る地域の拠点として、児童館の整備・運営を行っています。あて名のお子さんは、これまでに児童館を利用したことがありますか。

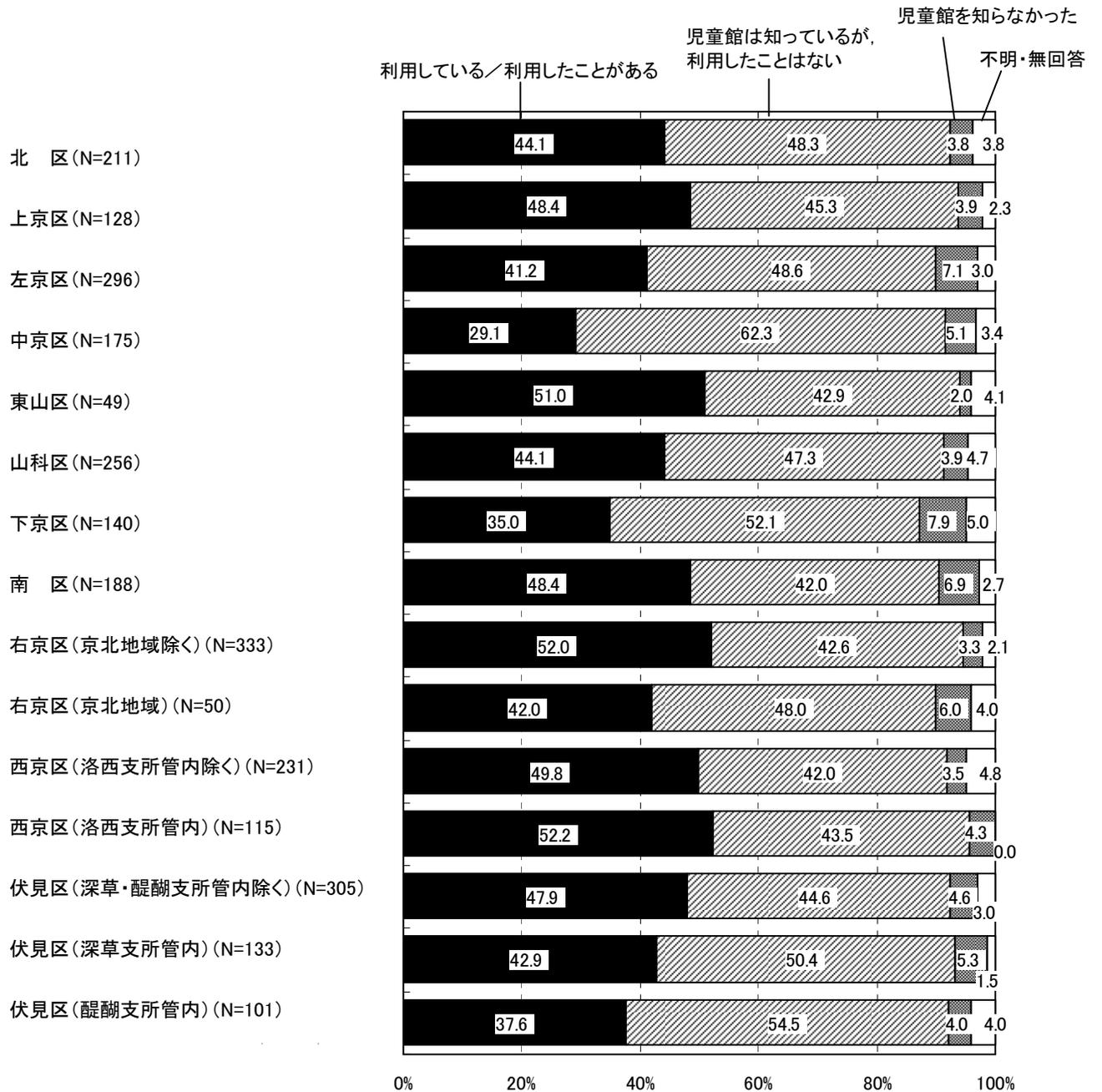
これまで児童館を利用したことがあるかについてみると、「2. 児童館は知っているが、利用したことはない」が47.3%と最も高く、次いで「1. 利用している／利用したことがある」が44.7%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



【居住区別】

居住区別にみると、「中京区」については、他の区分と比較して「児童館は知っているが、利用したことはない」の割合が高くなっている。

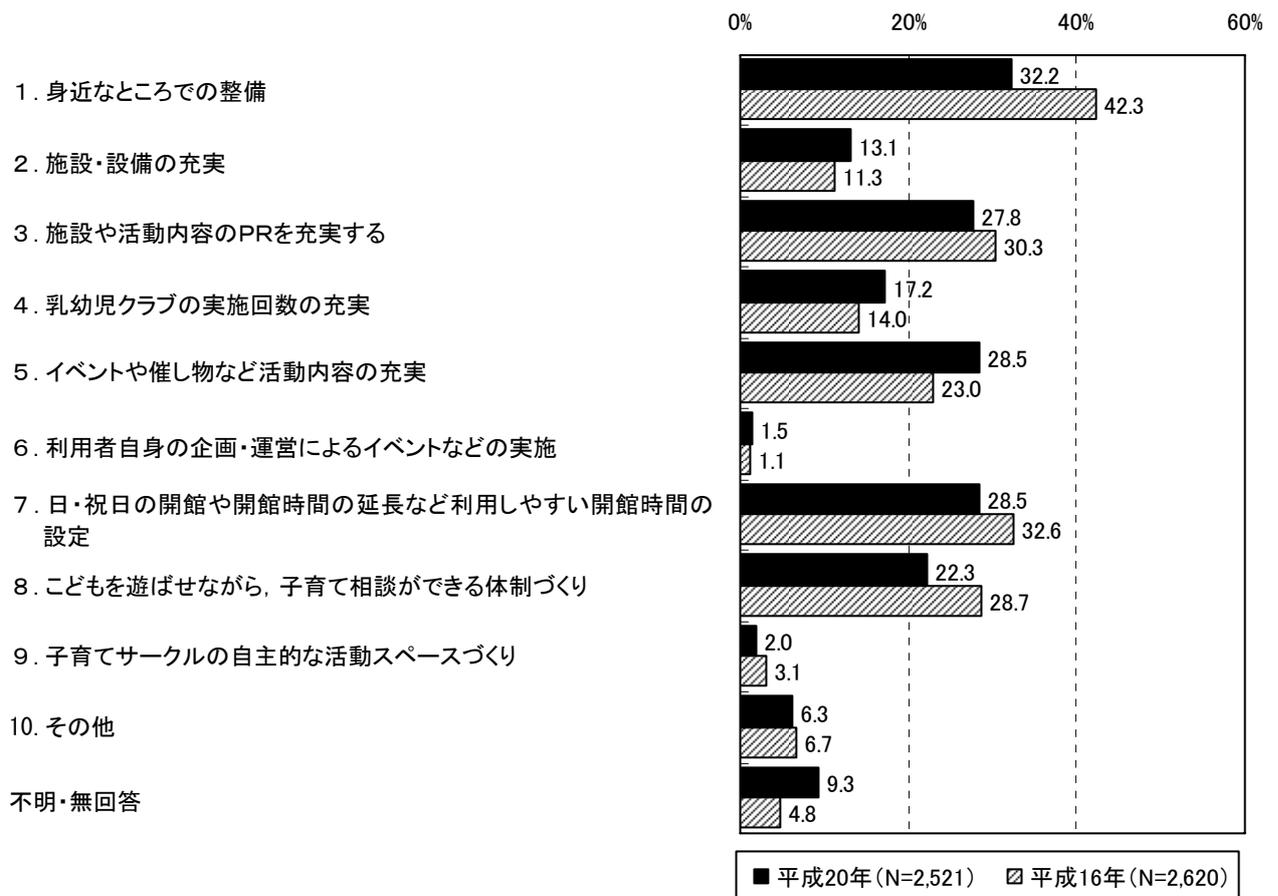


問 41-1 問 41 で「1」、「2」を選ばれた方におうかがいします。

あて名のお子さんが利用しやすくするために、児童館について期待すること
は何ですか。(主なもの3つまで)

児童館に期待することについてみると、「1. 身近なところでの整備」が32.2%と最も高く、次いで「5. イベントや催し物など活動内容の充実」「7. 日・祝日の開館や開館時間の延長など利用しやすい開館時間の設定」がそれぞれ28.5%となっている。

平成16年調査と比較すると、「1. 身近なところでの整備」は10.1ポイント低くなっている。一方、「5. イベントや催し物など活動内容の充実」は5.5ポイント高くなっている。



【こどもの年齢別】

こどもの年齢別にみると、「0歳」～「3歳」は「身近なところでの整備」,「4歳」「5歳」は「日・祝日の開館や開館時間の延長など利用しやすい開館時間の設定」の割合が高くなっている。

単位：%

		回答者数 (人)	身近なところでの整備	施設・設備 の充実	施設や活動 内容のPR を充実する	乳幼児クラ ブの実施回 数の充実	イベントや催 し物など活 動内容の充 実	利用者自身 の企画・運 営によるイ ベントなど の実施
年 齢 別	0歳	641	31.8	11.5	30.4	29.0	25.9	1.2
	1歳	418	35.4	14.4	24.2	23.9	28.9	1.4
	2歳	380	30.8	15.3	23.7	17.4	27.6	1.6
	3歳	322	33.5	11.8	27.0	6.8	33.2	2.2
	4歳	351	30.8	13.4	27.9	7.4	30.2	0.6
	5歳	358	31.0	13.1	31.6	6.7	28.2	2.2

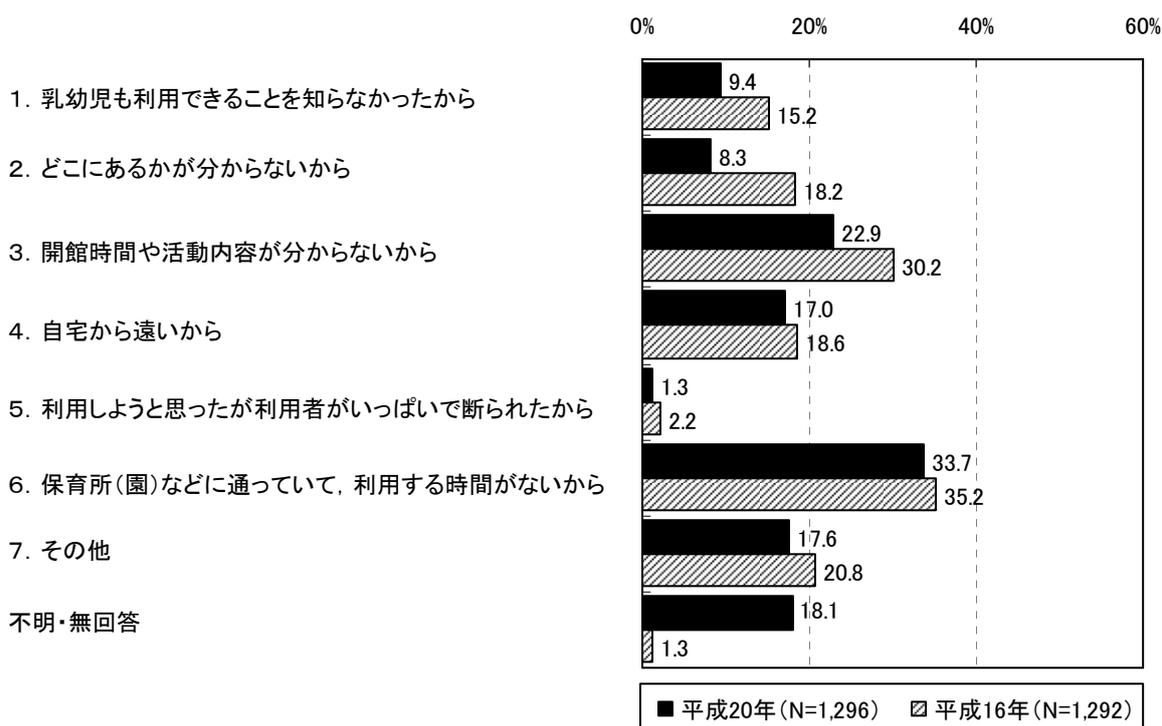
		回答者数 (人)	日・祝日の 開館や開館 時間の延長 など利用し やすい開館 時間の設定	こどもを遊 ばせなが ら、子育て 相談ができ る体制づく り	子育てサー クルの自主 的な活動ス ペースづくり	その他	不明・ 無回答
年 齢 別	0歳	641	21.2	25.4	2.5	5.8	9.4
	1歳	418	28.9	22.7	1.7	6.2	9.8
	2歳	380	28.4	24.5	2.1	6.8	6.6
	3歳	322	32.3	23.3	1.2	5.3	10.2
	4歳	351	33.9	19.4	2.6	7.7	8.8
	5歳	358	33.0	14.8	1.7	6.1	11.5

問 41-2 問 41 で「2」を選ばれた方におうかがいします。

あて名のお子さんが児童館を利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべて)

児童館を利用していない理由についてみると、「6. 保育所(園)などに通っていて、利用する時間がないから」が33.7%と最も高く、次いで「3. 開館時間や活動内容が分からないから」が22.9%となっている。

平成16年調査と比較すると、「2. どこにあるかが分からないから」が9.9ポイント低くなっている。



【こどもの年齢別】

こどもの年齢別にみると、「0歳」以外の区分では「保育所(園)などに通っていて、利用する時間がないから」の割合が高くなっている。

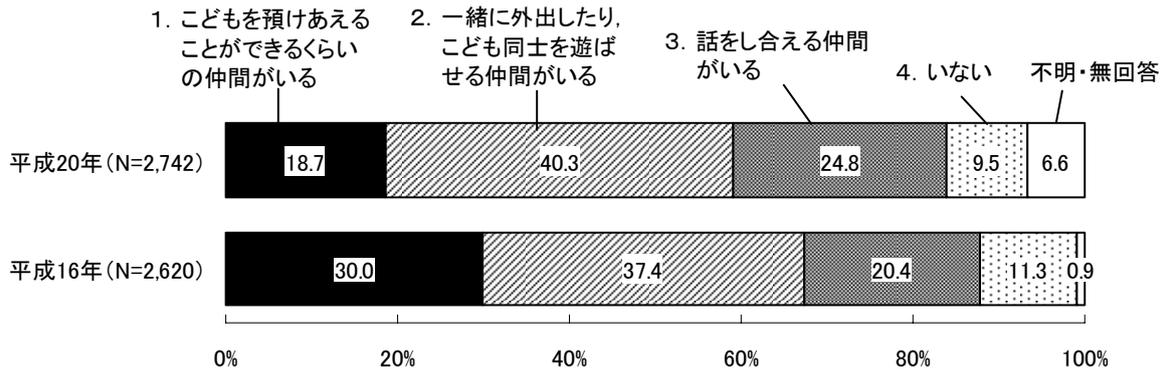
単位: %

年齢別	回答者数(人)	乳幼児も利用できることを知らなかったから	どこにあるかが分からないから	開館時間や活動内容が分からないから	自宅から遠いから	利用しようと思ったが利用者がいっぱいだから	保育所(園)などに通っていて、利用する時間がないから	その他	不明・無回答
		0歳	407	14.7	7.4	24.3	15.7	0.7	12.5
1歳	181	8.8	8.8	24.9	18.8	1.1	28.2	13.8	19.9
2歳	163	6.1	9.2	23.9	17.8	-	39.3	17.8	16.6
3歳	159	7.5	11.3	20.8	17.6	3.1	49.7	12.6	14.5
4歳	191	5.2	7.3	23.0	15.7	1.6	51.8	7.9	16.2
5歳	170	7.1	7.6	18.2	18.8	1.8	50.0	10.6	15.9

問 42 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。

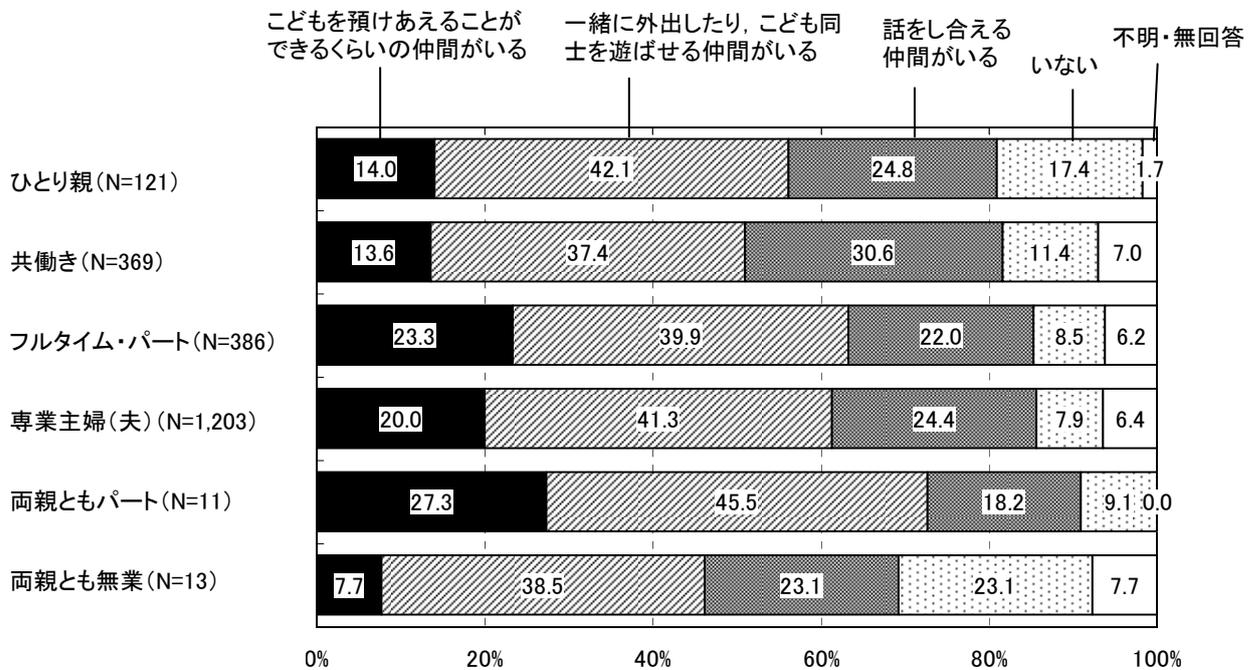
子育て仲間の有無についてみると、「2. 一緒に外出したり、子ども同士を遊ばせる仲間がいる」が40.3%と最も高く、次いで「3. 話をし合える仲間がいる」が24.8%となっている。

平成16年調査と比較すると、「2. 一緒に外出したり、子ども同士を遊ばせる仲間がいる」「3. 話をし合える仲間がいる」が高くなっている一方、「1. 子どもを預けあえることができるくらいの仲間がいる」は低くなっている。



【家族類型別】

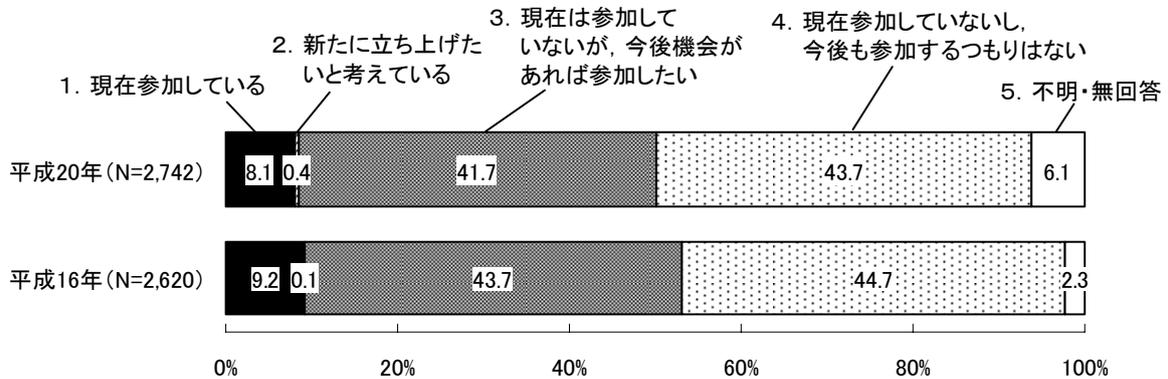
家族類型別にみると、すべての区分で「一緒に外出したり、子ども同士を遊ばせる仲間がいる」の割合が高くなっている。



問 43 あなたは子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加していますか。

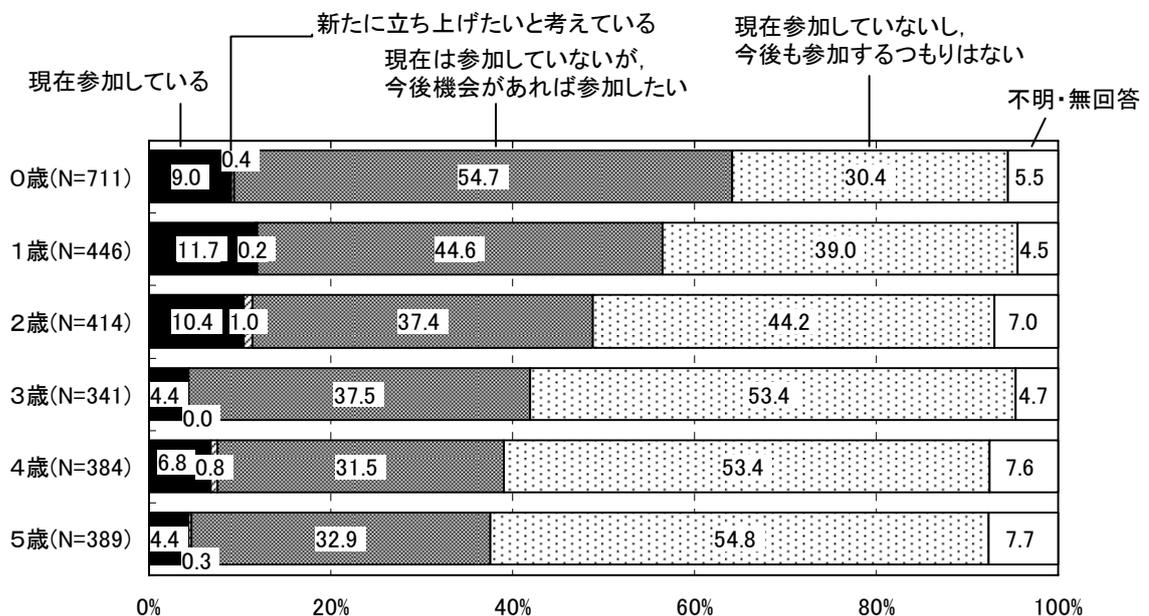
自主的な活動に参加しているかについてみると、「4. 現在参加していないし、今後も参加するつもりはない」が43.7%と最も高く、次いで「3. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が41.7%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



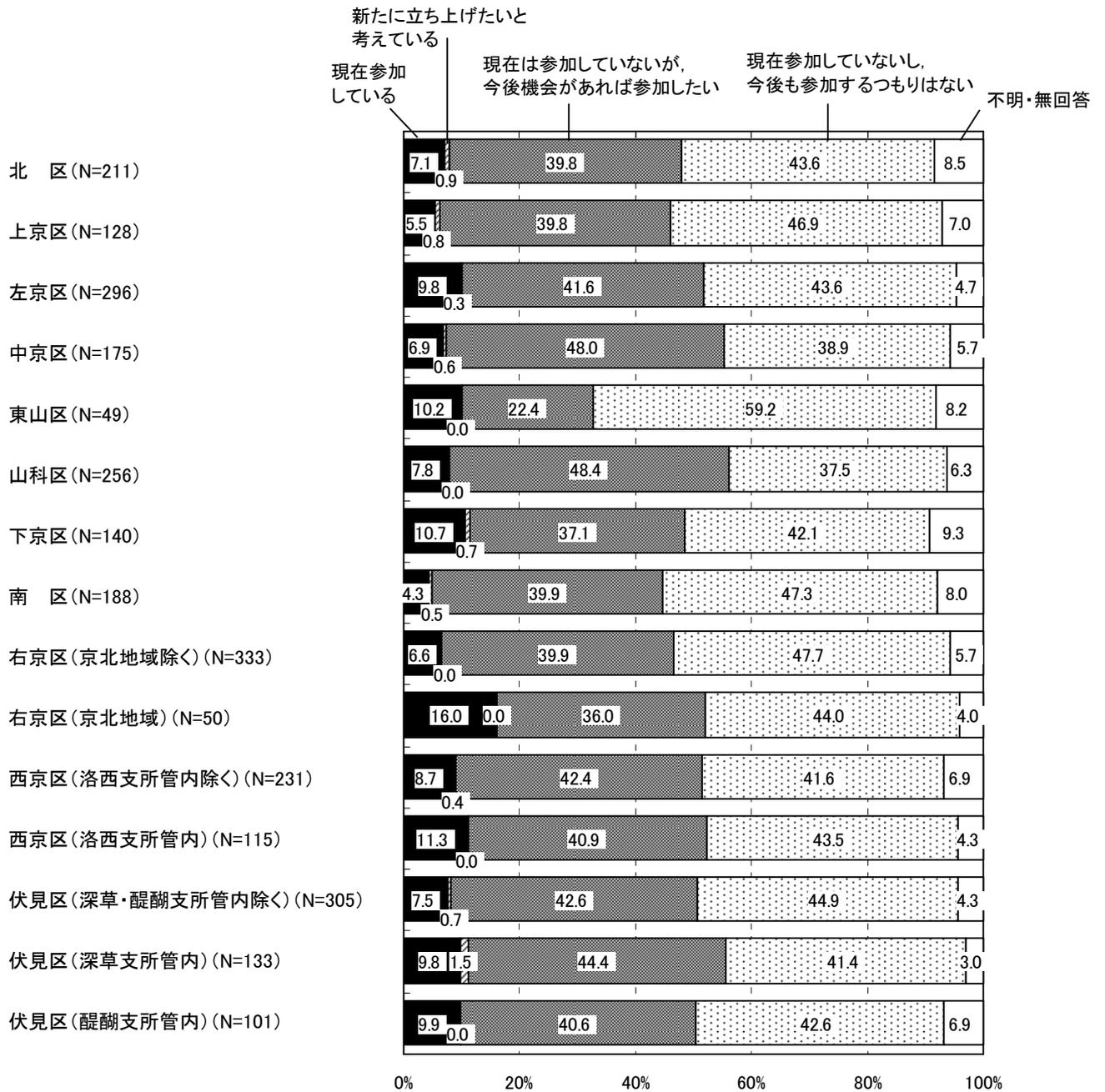
【こどもの年齢別】

こどもの年齢別にみると、「0歳」では「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」の割合が高いが、「3歳」～「5歳」では「現在参加していないし、今後も参加するつもりはない」の割合が高くなっている。



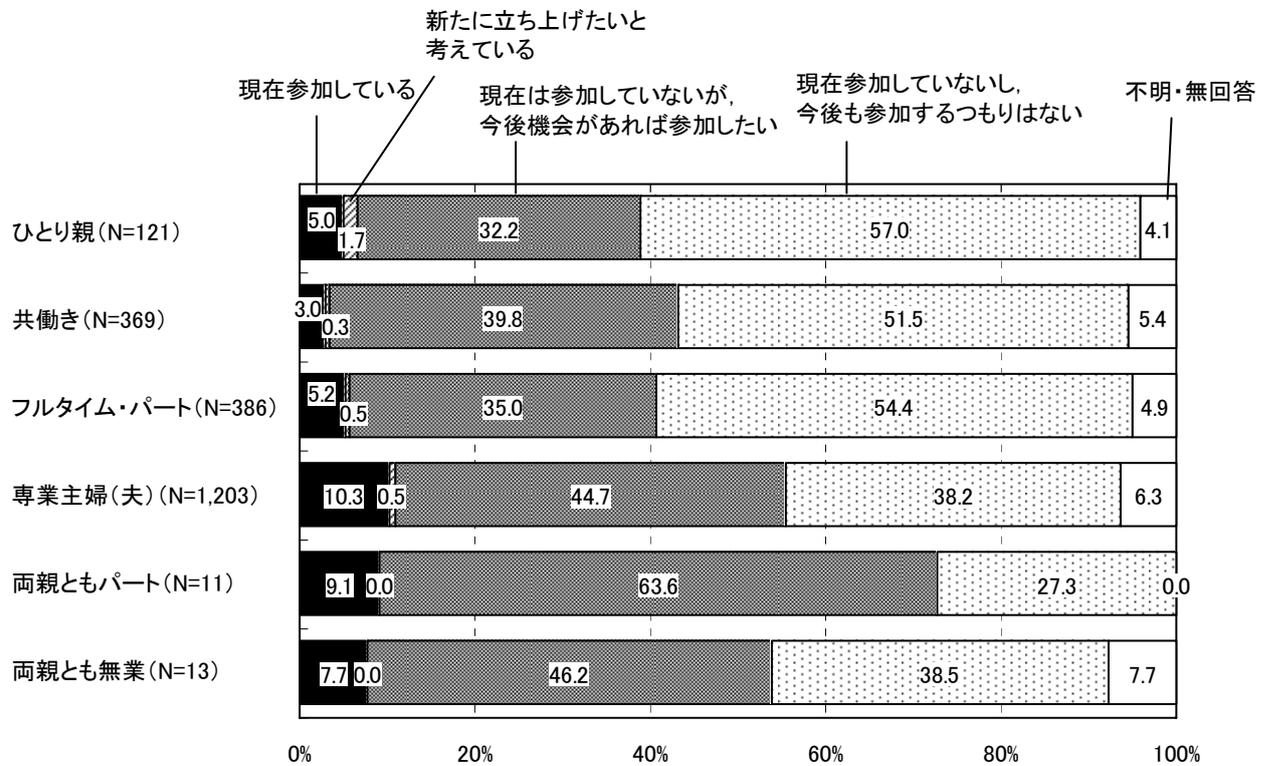
【居住区別】

居住区別にみると、「東山区」については、他の区分と比較して「現在参加していないし、今後も参加するつもりはない」の割合が高くなっている。



【家族類型別】

家族類型別にみると、「両親ともパート」については、他の区分と比較して「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」の割合が高くなっている。

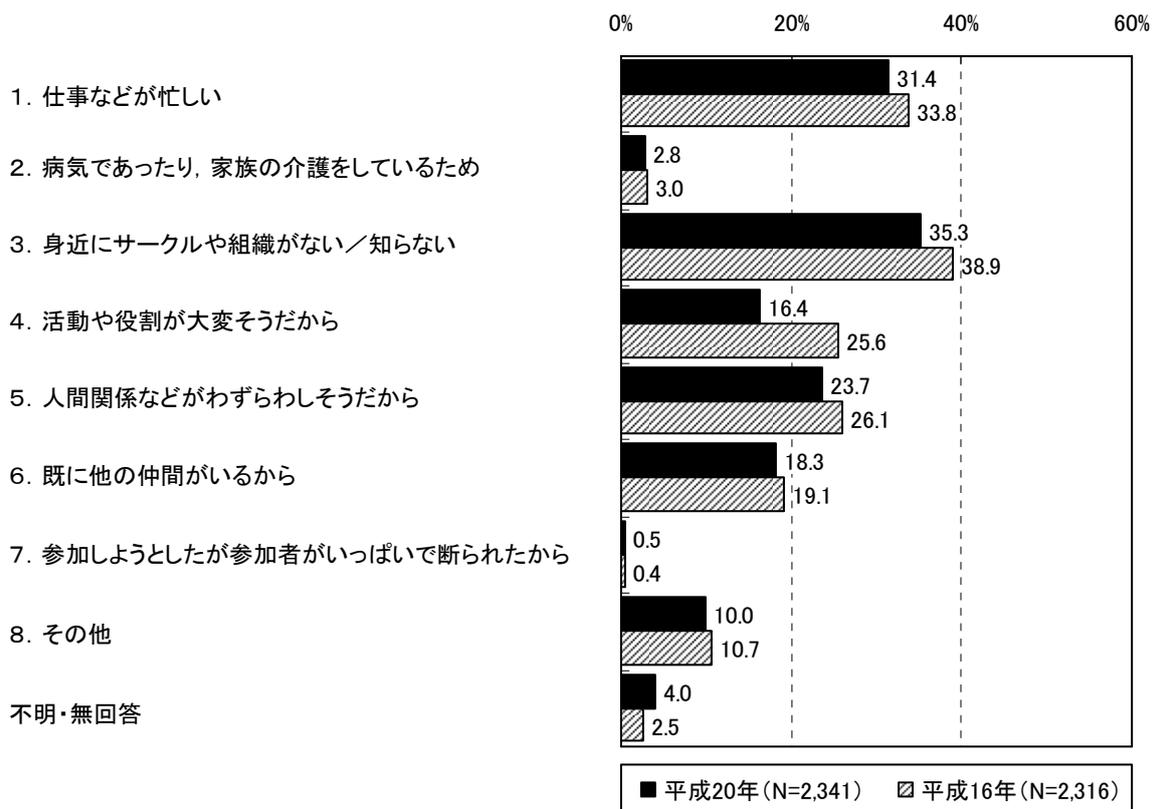


問 43-1 問 43 で「3」、「4」を選ばれた方におうかがいします。

子育てサークルなどの自主的な活動に参加していないのはなぜですか。（あてはまるものすべて）

自主的な活動に参加していない理由についてみると、「3. 身近にサークルや組織がない／知らない」が35.3%と最も高く、次いで「1. 仕事などが忙しい」が31.4%となっている。

平成 16 年調査と比較すると、「4. 活動や役割が大変そうだから」が9.2 ポイント低くなっている。

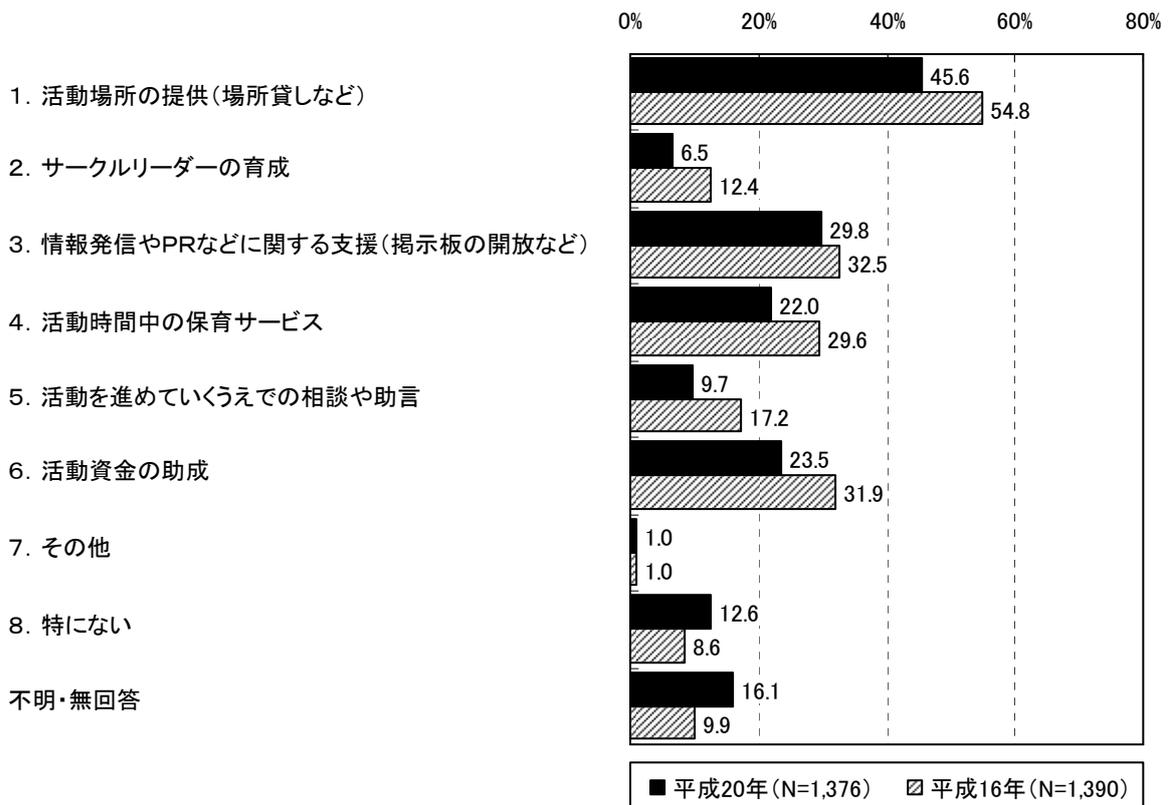


問 43-2 問 43 で「1」、「2」、「3」を選ばれた方におうかがいします。

子育てサークルなどの自主的な活動をしていくにあたって行政や地域に行
ってほしい支援はどのようなものですか。(主なもの3つまで)

自主的な活動をしていくにあたって行政や地域に行きってほしい支援についてみると、「1. 活動場所の提供(場所貸しなど)」が45.6%と最も高く、次いで「3. 情報発信やPRなどに関する支援(掲示板の開放など)」が29.8%となっている。

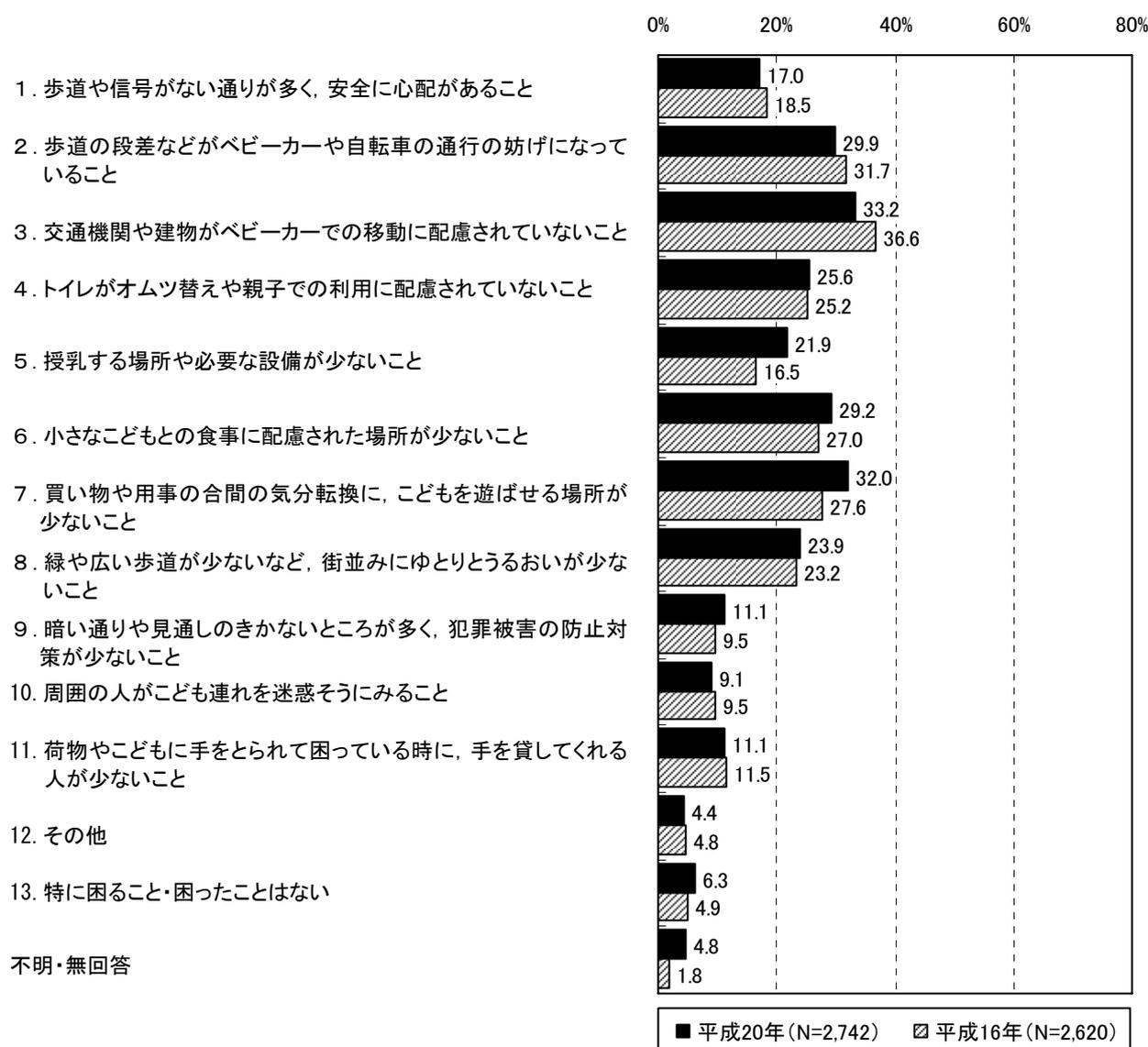
平成16年調査と比較すると、全体的に割合が低くなっており、「1. 活動場所の提供(場所貸しなど)」では9.2ポイント低くなっている。



問 44 あて名のお子さんと外出する際に、困ること・困ったことは何ですか。（あてはまるもの3つまで）

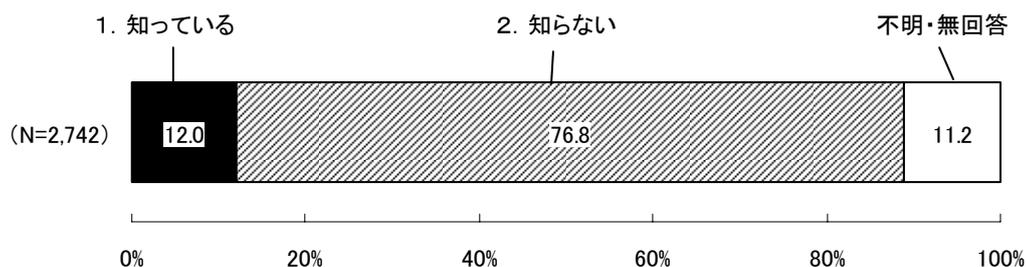
こどもとの外出の際に困ることについてみると、「3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと」が33.2%と最も高く、次いで「7. 買い物や用事の合間の気分転換に、こどもを遊ばせる場所が少ないこと」が32.0%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっているが、「5. 授乳する場所や必要な設備が少ないこと」「6. 小さなこどもとの食事に配慮された場所が少ないこと」「7. 買い物や用事の合間の気分転換に、こどもを遊ばせる場所が少ないこと」などが高くなっている。



問 45 平成 19 年 2 月制定の「子どもを共に育む京都市民憲章」についておうかがい
 します。あなたは、この憲章を知っていますか。また、憲章の実践についてど
 う思われますか。

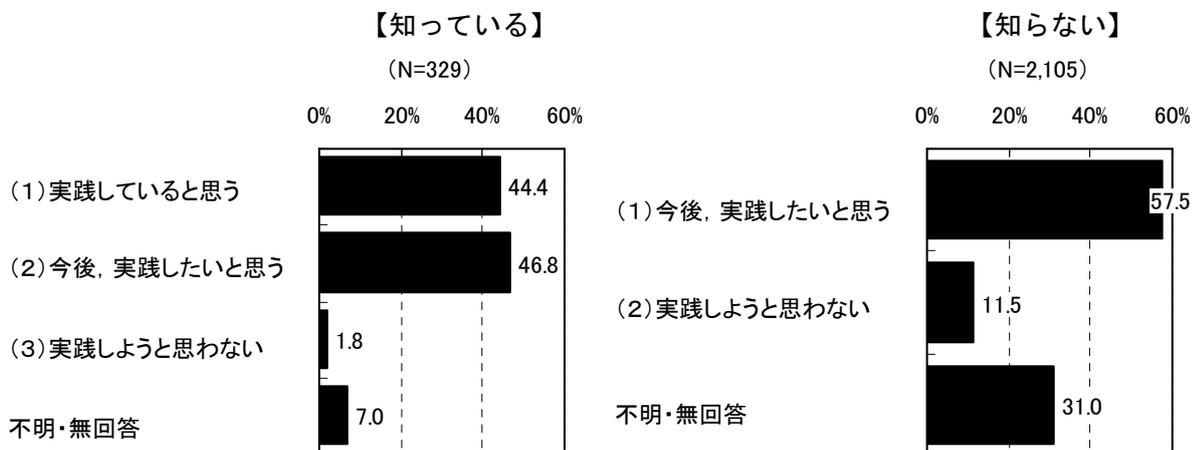
「子どもを共に育む京都市民憲章」の認知度についてみると、「2. 知らない」が 76.8%、「1.
 知っている」が 12.0%となっている。



〔憲章の実践について〕

憲章を知っている方についてみると、「(2) 今後、実践したいと思う」が 46.8%と最も高く、
 次いで「(1) 実践していると思う」が 44.4%となっている。

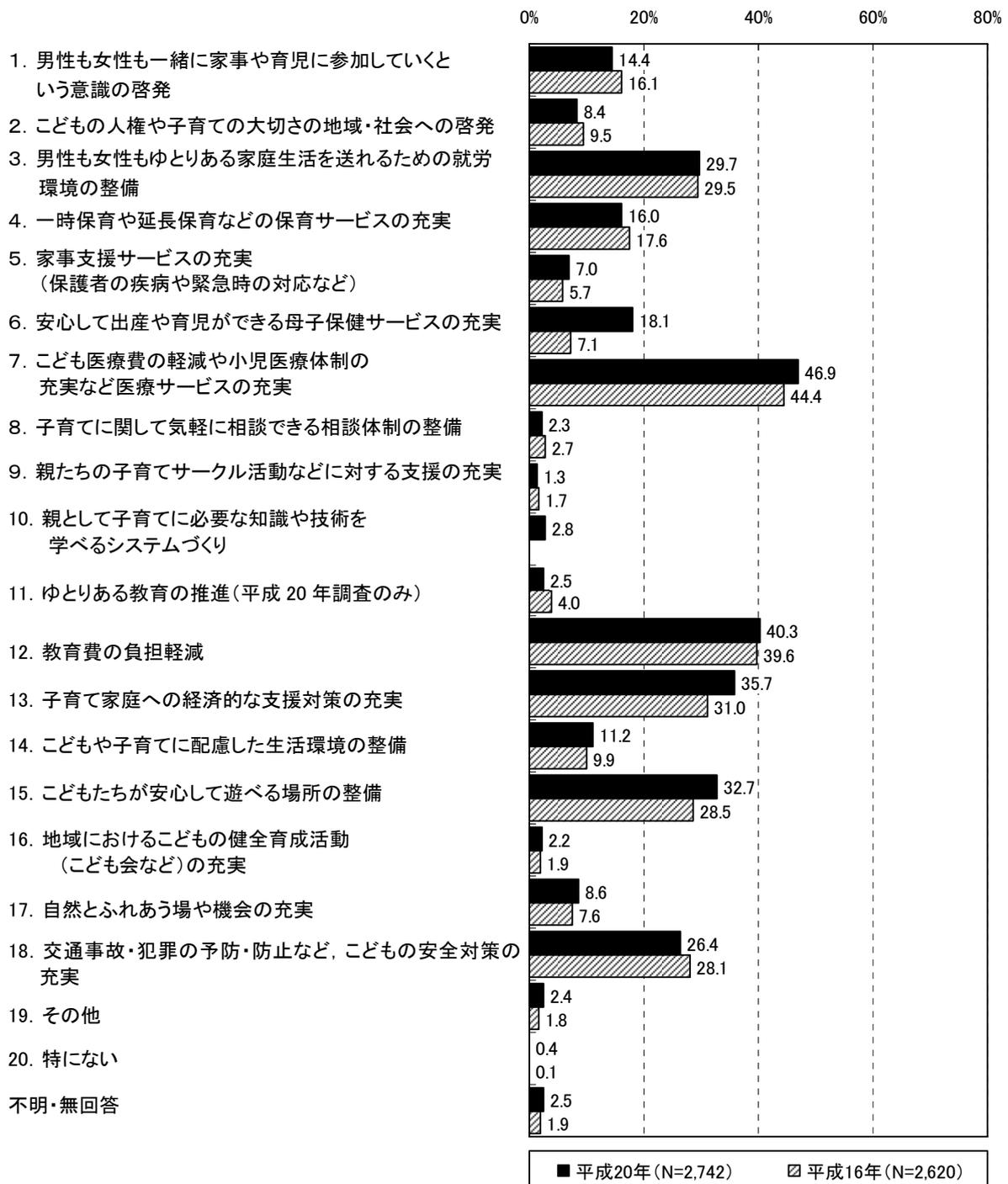
知らない方についてみると、「(1) 今後、実践したいと思う」が 57.5%となっている。



問 46 あなたは、あて名のお子さんを健やかに育てるために、今後、京都市・京都府・国にどのようなことを期待しますか。（あてはまるもの3つまで）

子育てのために行政に期待することについてみると、「7. こども医療費の軽減や小児医療体制の充実など医療サービスの充実」が46.9と最も高く、次いで「12. 教育費の負担軽減」が40.3%となっている。

平成16年調査と比較すると、「6. 安心して出産や育児ができる母子保健サービスの充実」では11.0ポイント高くなっている。



【こどもの年齢別，家族類型別】

こどもの年齢別，家族類型別にみると、「こども医療費の軽減や小児医療体制の充実など医療サービスの充実」の割合が高くなっている。

単位：％

	回答者数(人)	男性も女性も一緒に家事や育児に参加していくという意識の啓発	こどもの人権や子育ての大切さの地域・社会への啓発	男性も女性もゆとりある家庭生活を送れるための就労環境の整備	一時保育や延長保育などの保育サービスの充実	家事支援サービスの充実(保護者の疾病や緊急時の対応など)	安心して出産や育児ができる母子保健サービスの充実	こども医療費の軽減や小児医療体制の充実など医療サービスの充実	子育てに気軽に相談できる相談体制の整備	親たちの子育てサークル活動などに対する支援の充実	
年齢別	0歳	711	17.2	7.6	34.7	18.8	5.5	27.4	33.1	2.8	2.0
	1歳	446	12.3	7.0	30.9	19.5	7.2	20.4	41.7	1.8	2.0
	2歳	414	14.7	9.2	30.0	14.0	8.0	15.0	53.4	2.2	1.7
	3歳	341	12.6	8.5	30.2	14.7	8.5	15.0	58.7	2.1	0.9
	4歳	384	14.3	8.6	23.7	14.3	5.7	11.2	57.3	1.8	0.3
	5歳	389	13.1	10.0	24.4	11.1	8.5	10.5	53.2	2.6	0.8
家族類型別	ひとり親	121	9.9	7.4	28.1	22.3	14.0	14.9	31.4	2.5	1.7
	共働き	369	18.7	7.0	40.4	23.6	8.7	15.7	43.4	1.6	0.8
	フルタイム・パート	386	14.8	9.8	27.5	15.3	6.2	13.0	50.5	2.3	0.3
	専業主婦(夫)	1,203	13.0	7.4	27.6	14.1	5.4	20.0	49.3	1.7	1.3
	両親ともパート	11	18.2	9.1	36.4	18.2	-	27.3	36.4	-	-
	両親とも無業	13	7.7	-	46.2	-	-	7.7	23.1	7.7	-

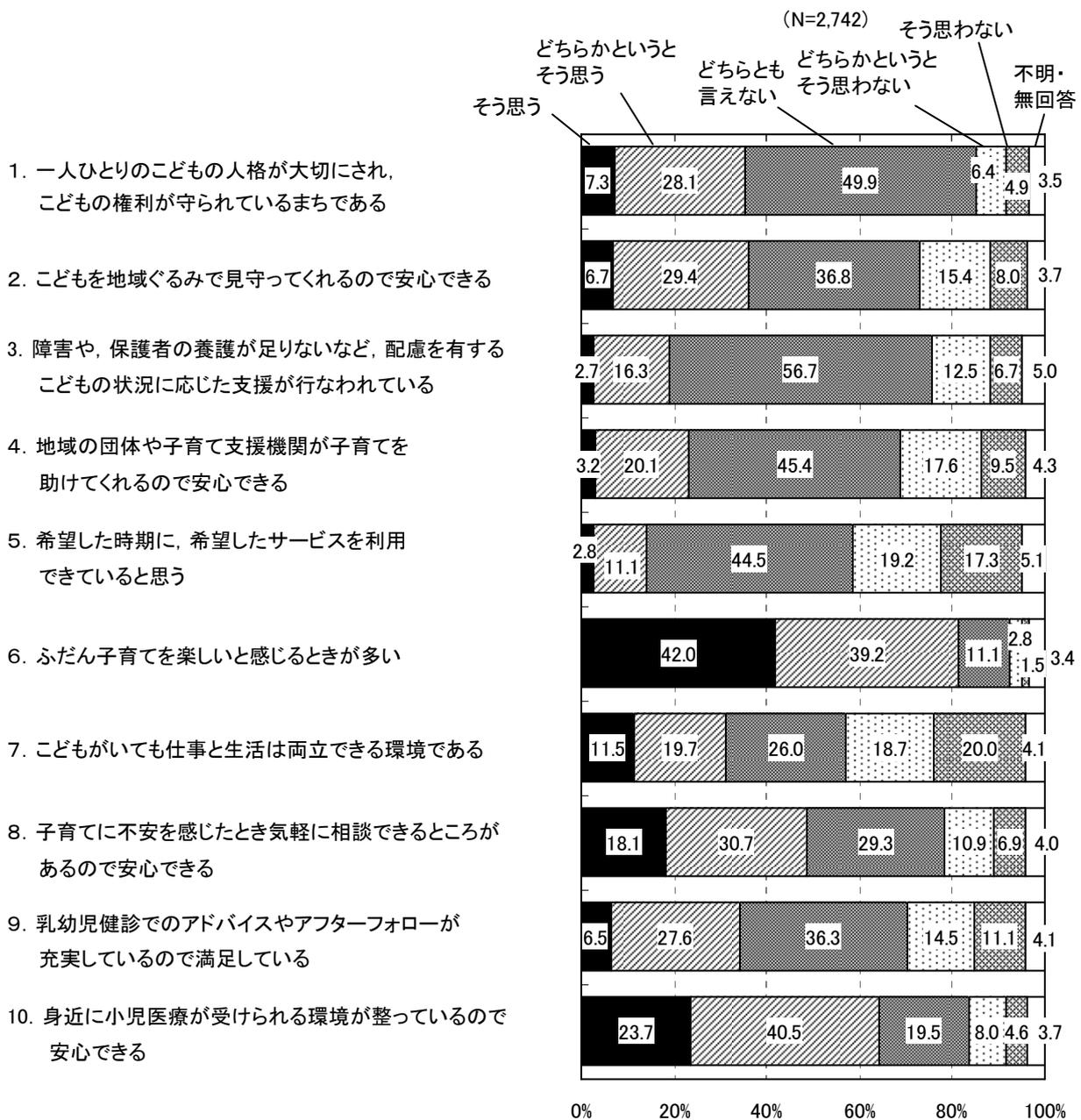
	回答者数(人)	親として子育てに必要な知識や技術を学べるシステムづくり	ゆとりある教育の推進	教育費の負担軽減	子育て家庭への経済的な支援対策の充実	こどもや子育てに配慮した生活環境の整備	こどもたちが安心して遊べる場所の整備	地域におけるこどもの健全育成活動(こども会など)の充実	自然とふれあう場や機会の充実	交通事故・犯罪の予防・防止など、こどもの安全対策の充実	
年齢別	0歳	711	3.2	2.3	36.7	40.2	13.4	29.4	2.0	8.4	26.2
	1歳	446	2.9	2.2	40.1	31.2	12.3	31.6	1.3	5.6	28.3
	2歳	414	2.2	1.4	41.1	34.8	11.1	34.8	2.2	8.9	22.9
	3歳	341	3.5	2.6	42.8	37.2	7.0	31.7	2.9	8.5	24.9
	4歳	384	1.3	3.1	44.5	33.1	10.9	35.2	1.3	10.7	25.8
	5歳	389	3.1	3.3	41.6	36.0	8.7	36.2	3.6	10.3	29.8
家族類型別	ひとり親	121	2.5	2.5	43.0	37.2	9.9	25.6	1.7	6.6	21.5
	共働き	369	2.4	2.2	35.8	34.1	12.7	28.5	3.0	8.7	29.5
	フルタイム・パート	386	1.0	2.1	44.0	37.8	11.7	31.6	2.8	7.5	25.6
	専業主婦(夫)	1,203	3.3	2.2	39.9	37.2	10.3	34.2	1.9	8.6	25.1
	両親ともパート	11	-	-	27.3	36.4	9.1	27.3	-	18.2	9.1
	両親とも無業	13	7.7	7.7	53.8	46.2	7.7	15.4	-	23.1	30.8

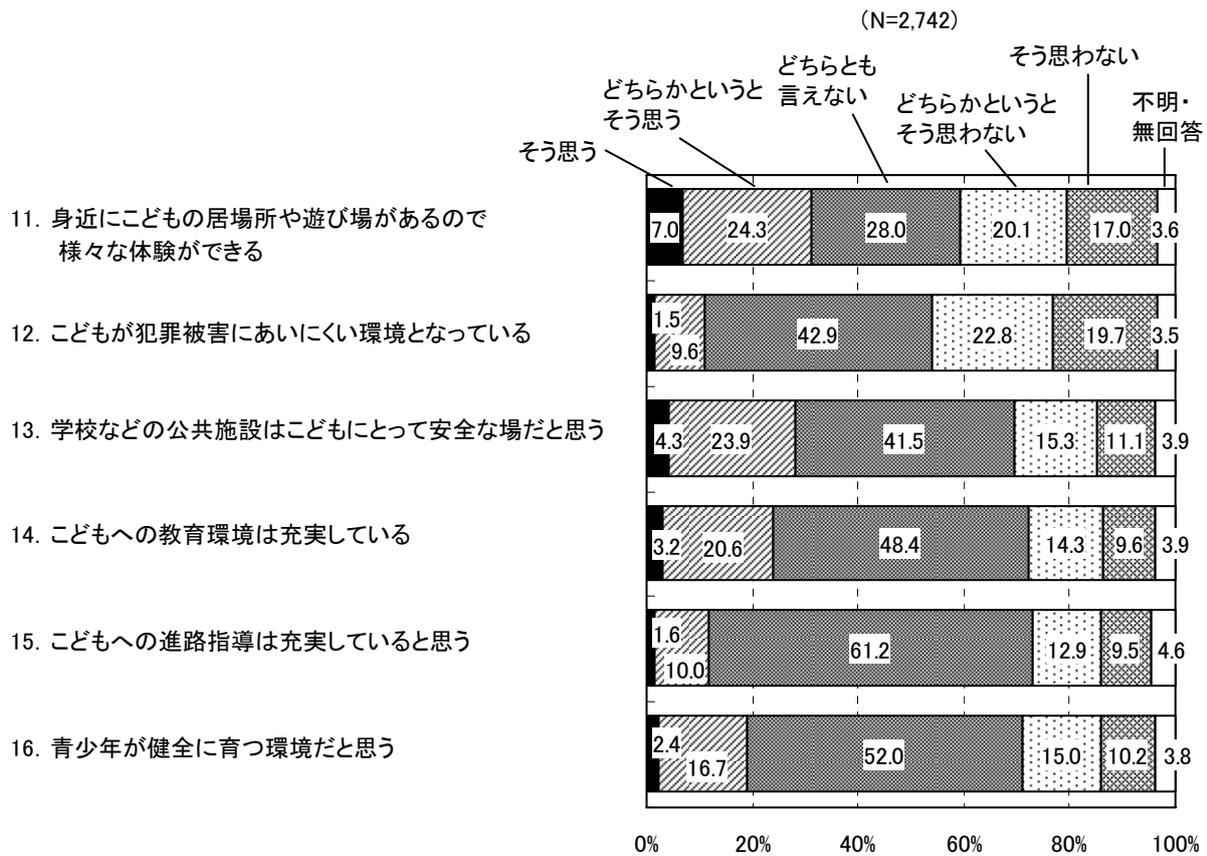
	回答者数(人)	その他	特にない	不明・無回答	
年齢別	0歳	711	1.5	-	2.4
	1歳	446	2.9	0.4	1.6
	2歳	414	3.1	0.7	1.7
	3歳	341	2.9	0.3	2.6
	4歳	384	1.8	1.0	3.9
	5歳	389	1.5	0.3	2.8
家族類型別	ひとり親	121	5.8	1.7	3.3
	共働き	369	3.8	0.8	2.4
	フルタイム・パート	386	2.1	0.8	3.1
	専業主婦(夫)	1,203	1.2	0.1	2.0
	両親ともパート	11	-	-	9.1
	両親とも無業	13	-	-	-

問 47 下記の問いについてあなたの実感に近いものに○をつけてください。

住民実感についてみると、「12. こどもが犯罪被害にあいにくい環境となっている」について、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかというそう思う」の合計）が約1割とすべての項目の中で最も低くなっている。

「6. ふだん子育てを楽しんでいると感じるときが多い」については、『そう思う』が8割以上とすべての項目の中で最も高く、次いで「10. 身近に小児医療が受けられる環境が整っているので安心できる」について、『そう思う』が6割以上となっている。

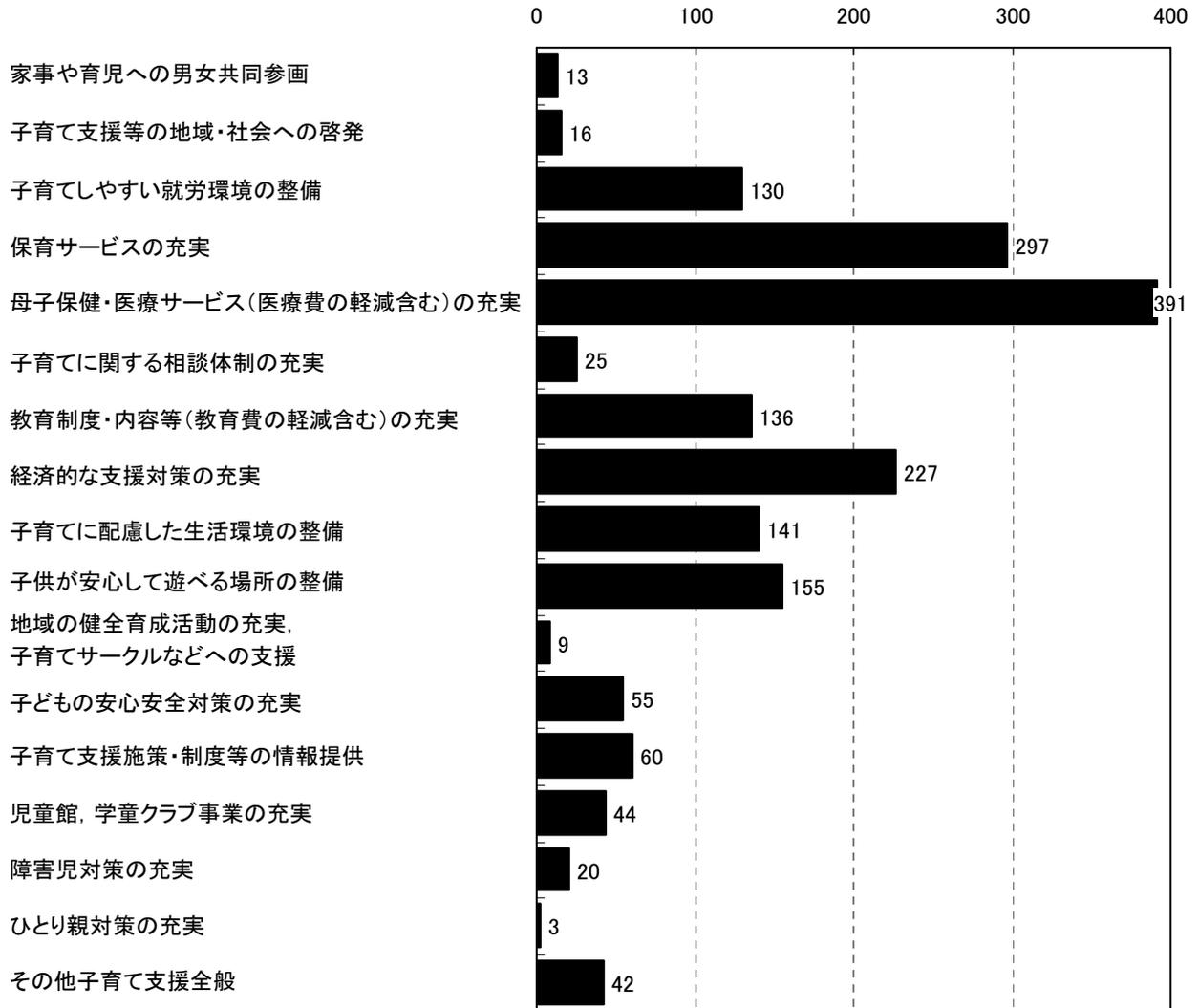




問 48 安心してこどもを産み、こどもを健やかに育てていくための行政の施策や、社会の制度のあり方について、特に望むことやご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

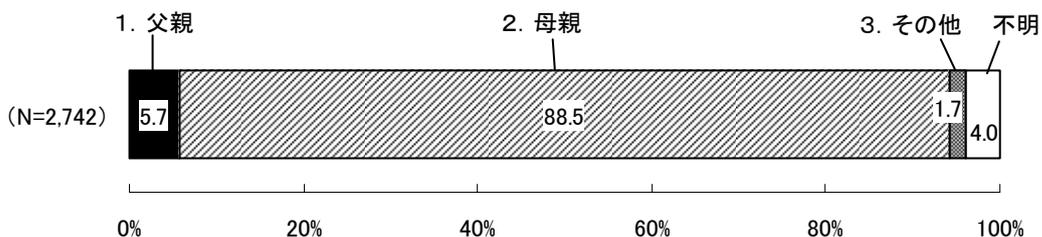
〔自由意見のまとめ〕

単位：件



問 49 この調査票にご記入されている方はどなたですか。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

回答者についてみると、「2. 母親」が88.5%、「1. 父親」が5.7%となっている。



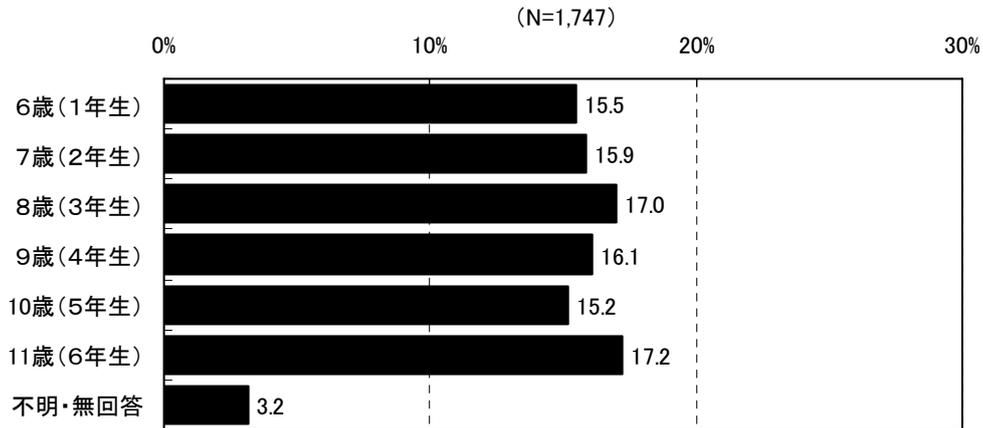
IV 調査結果

（小学生児童調査）

1 こどもと家族の状況について

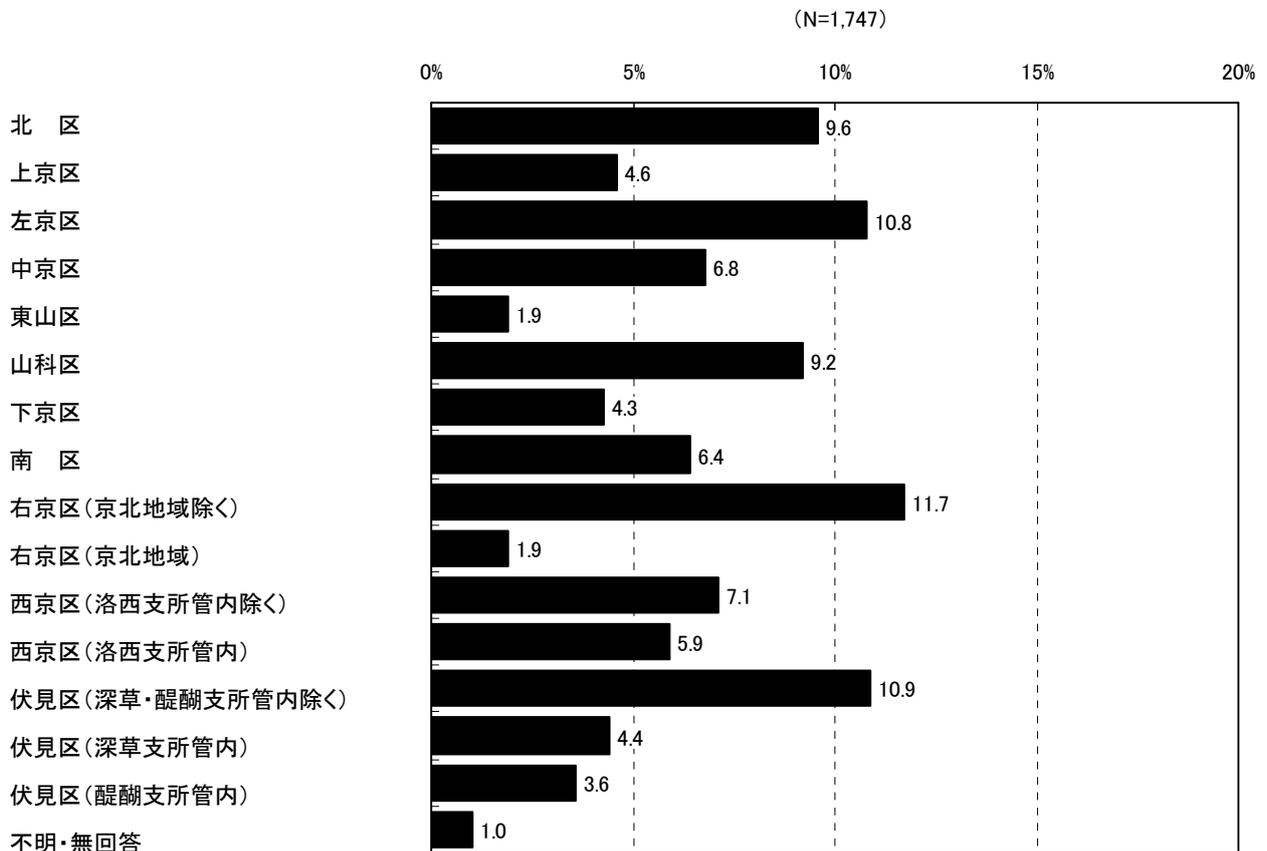
問1 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

【こどもの年齢（学年）（平成20年4月1日現在）】

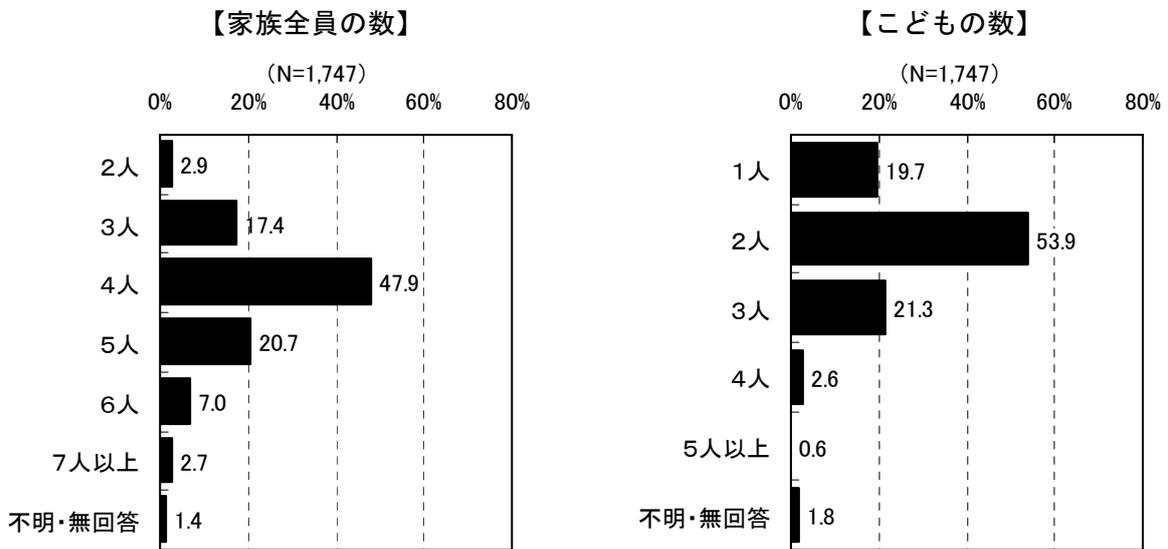


※回答された「生年月」から年齢（学年）を換算

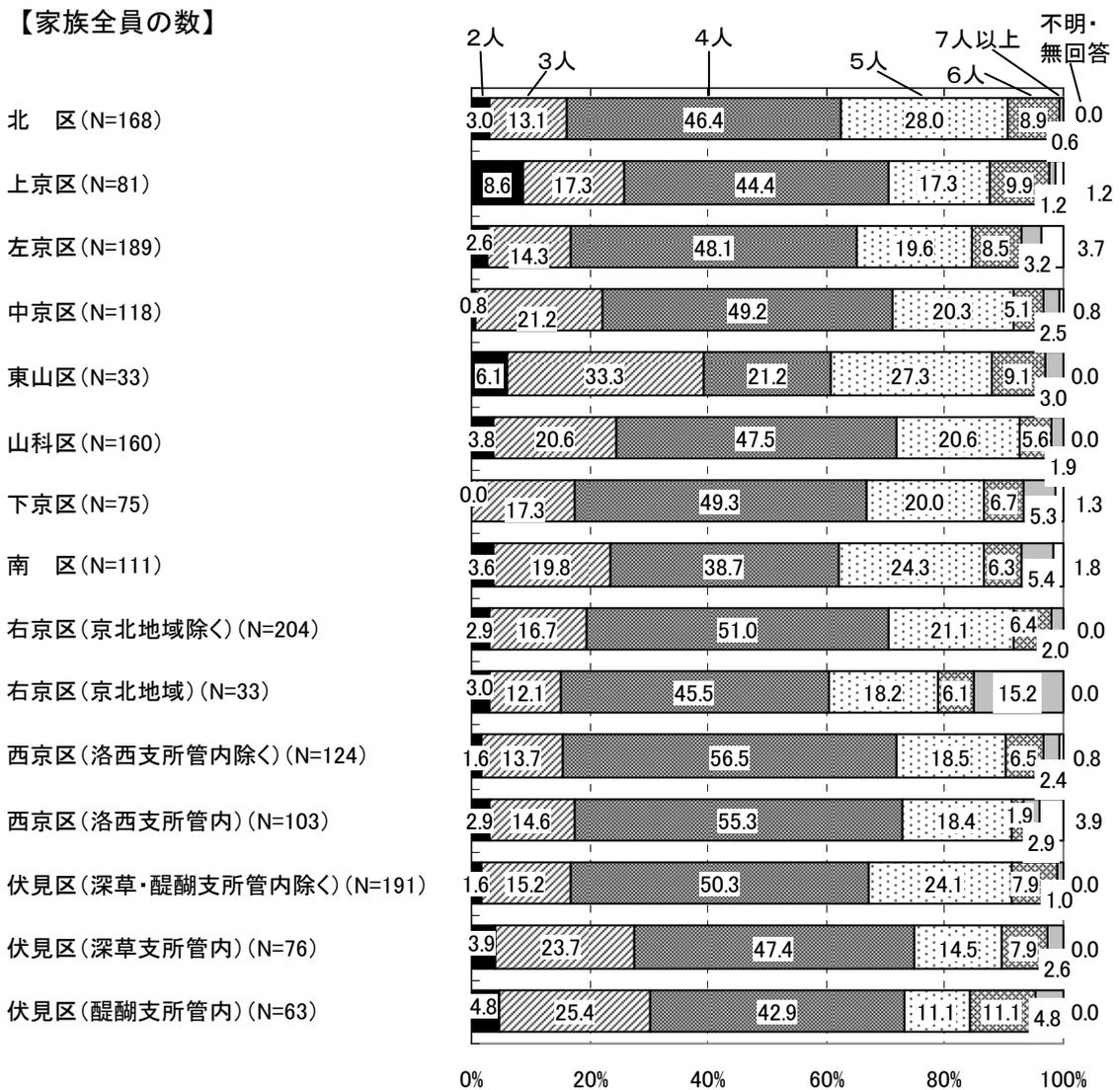
問2 お住まいの区等はどちらですか。



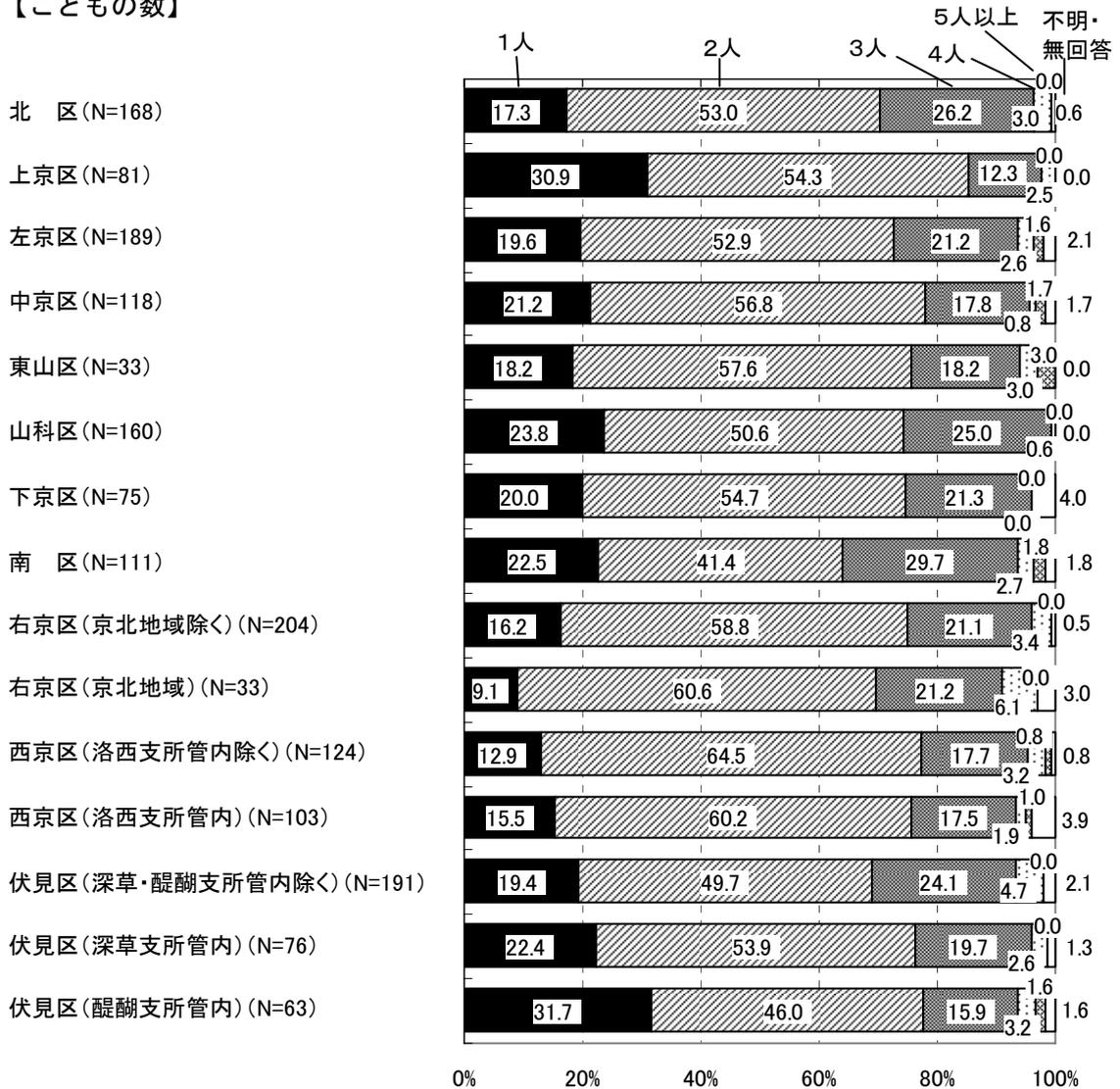
問3 ご家族全員とお子さんの人数をおたずねします。



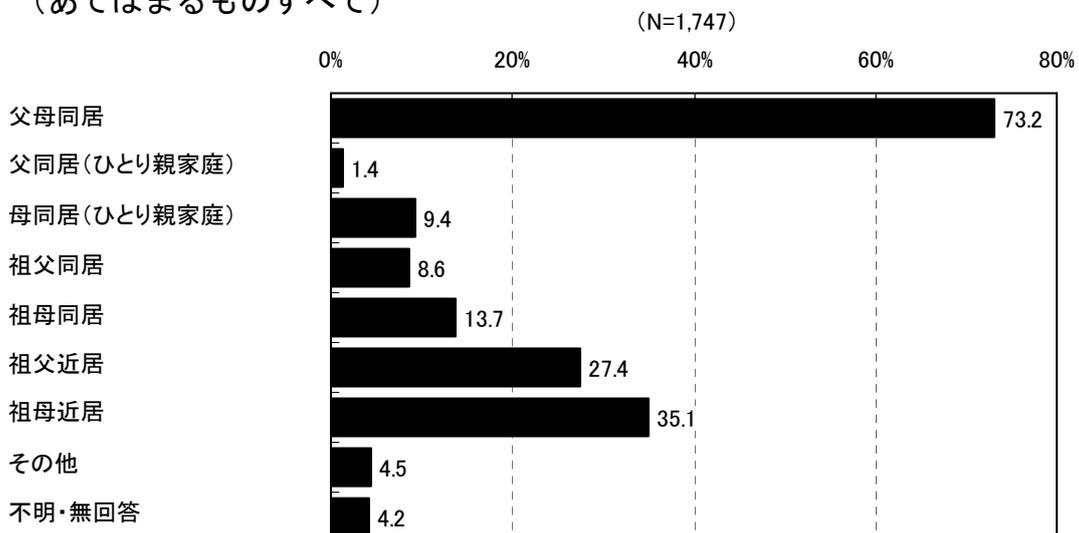
【居住区別】



【こどもの数】



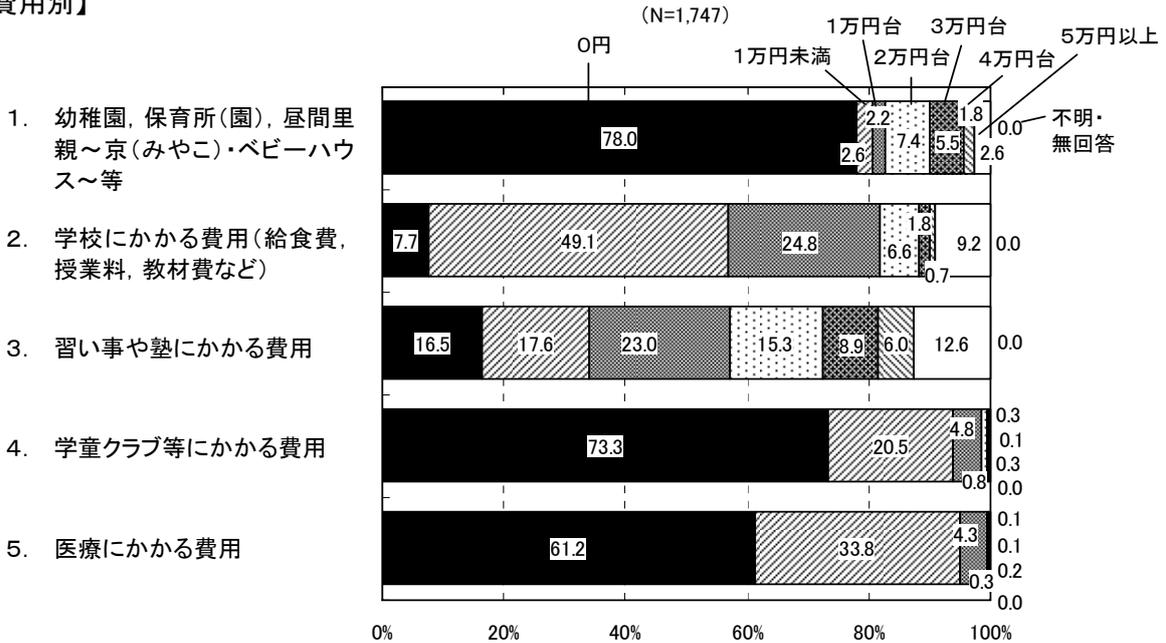
問4 あて名のお子さんとの同居・近居（概ね 30 分以内程度に行き来できる範囲）の状況についておうかがいします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。（あてはまるものすべて）



問5 世帯のお子さん全員の子育てについて、一か月にどのくらいの費用がかかりますか。おおよその金額をご記入ください。また、世帯全員の収入のおおよそ何%を占めますか。

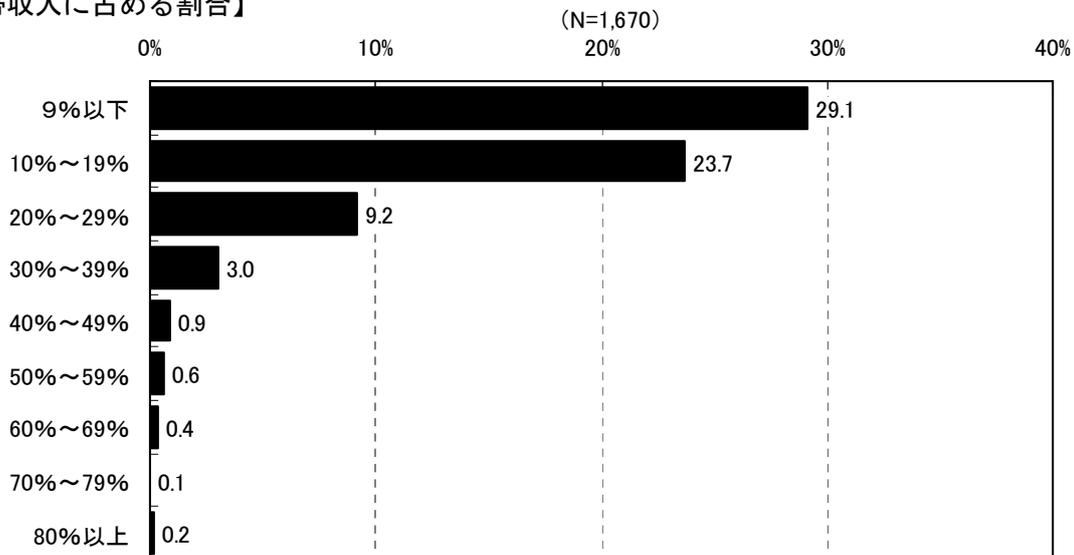
こどもの子育てにかかる費用についてみると、「1. 幼稚園、保育所（園）、昼間里親～京（みやこ）・ベビーハウス～等」「4. 学童クラブ等にかかる費用」「5. 医療にかかる費用」で、「0円」が6割を超え、高くなっている。

【費用別】



世帯収入に占める割合についてみると、「9%以下」が29.1%と最も高く、次いで、「10～19%」が23.7%となっている。

【世帯収入に占める割合】



問6 同居しているすべてのご家族について、あて名のお子さんからみた続柄、職業、年齢、健康状態や心身の状況について、下記の選択肢番号でお答えください。年齢は、平成20年4月1日現在の年齢をご記入ください。

【職業×続柄】

単位：%

	回答者数 (人)	常勤(正規 職員等)	パート・ アルバイト	自営業	在宅勤務・ 内職	無職・ 家事専業	大学生・ 大学院生	中学生・ 高校生
父	1,524	79.7	1.8	15.9	0.2	0.6	-	0.1
母	1,671	17.4	38.1	3.5	2.3	36.0	0.1	0.1
祖父	162	11.1	8.6	22.2	1.9	46.9	-	-
祖母	249	4.4	8.0	8.4	0.8	73.1	-	-
兄	540	2.4	1.5	0.2	-	0.2	5.7	64.3
姉	496	2.2	1.0	-	-	0.0	5.4	62.9
本人(あて名のお子さん)	730	-	-	-	-	-	-	-
弟	431	-	-	-	-	0.7	-	-
妹	379	-	-	-	-	0.8	-	-
その他	50	36.0	12.0	8.0	2.0	32.0	4.0	-

	回答者数 (人)	小学生	幼稚園に 通園	保育所 (園)・ 昼間里親 ~京(みや こ)・ベビー ハウス~ に通園	認可外 保育所に 通園	その他	不明・ 無回答
父	1,524	-	-	-	-	0.9	0.8
母	1,671	-	-	-	-	1.6	1.0
祖父	162	-	-	-	-	7.4	1.8
祖母	249	-	-	-	-	3.6	1.6
兄	540	23.7	-	-	-	0.9	1.1
姉	496	27.0	-	-	-	1.2	0.2
本人(あて名のお子さん)	730	99.3	-	-	-	-	0.6
弟	431	30.6	25.8	27.8	0.9	12.5	1.6
妹	379	28.5	25.9	28.5	-	13.7	2.6
その他	50	2.0	-	-	-	4.0	-

【健康状態×続柄】

単位：%

	回答者数 (人)	健康	どちらか といえ ば健康	あまり健康 でない	現在、病 気療養中	介護が必 要な状態	不明・ 無回答
父	1,524	78.3	16.4	2.8	1.9	0.2	0.4
母	1,671	75.8	17.4	2.8	2.9	0.2	0.9
祖父	162	39.5	33.3	11.7	10.5	4.3	0.6
祖母	249	43.4	29.3	11.6	10.8	4.0	0.8
兄	540	90.4	7.0	0.9	1.3	0.4	-
姉	496	92.1	5.8	0.8	0.8	0.2	0.2
本人(あて名のお子さん)	730	91.6	6.3	0.5	0.8	0.3	0.4
弟	431	94.4	4.2	0.5	0.5	0.2	0.2
妹	379	93.1	4.5	0.3	1.6	0.3	0.3
その他	50	66.0	14.0	10.0	2.0	8.0	-

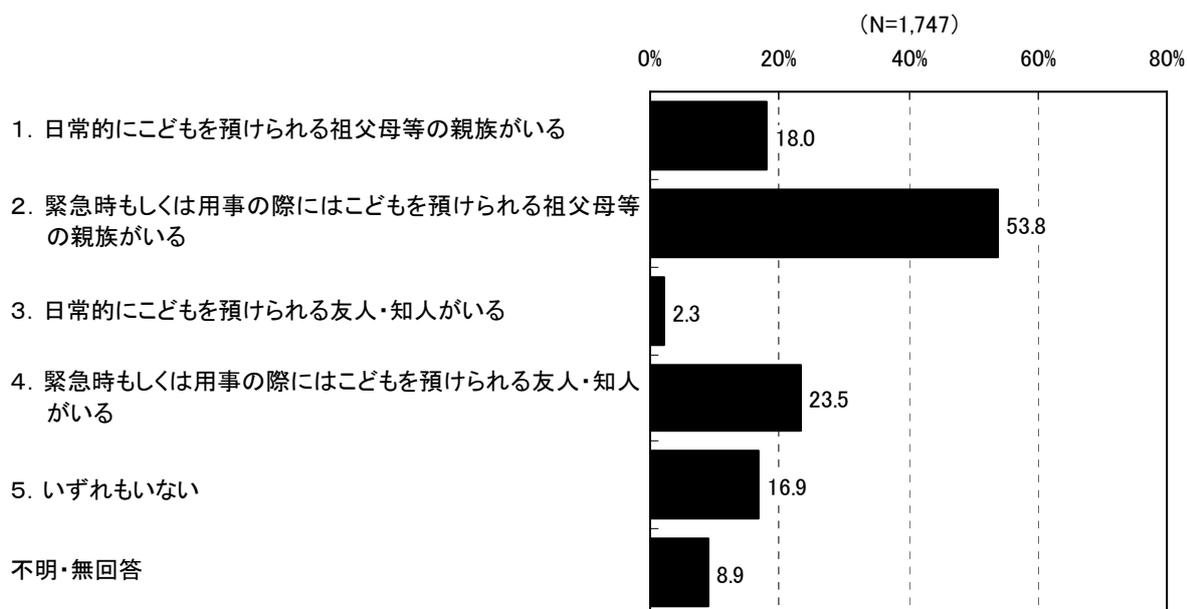
【心身状態×続柄】

単位：%

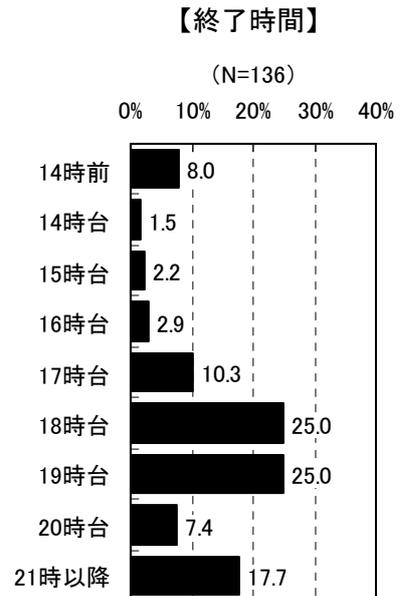
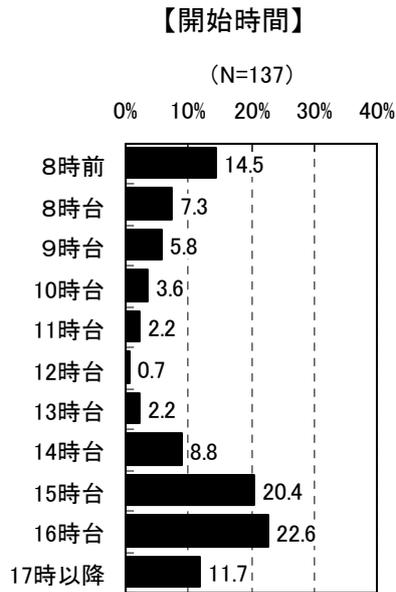
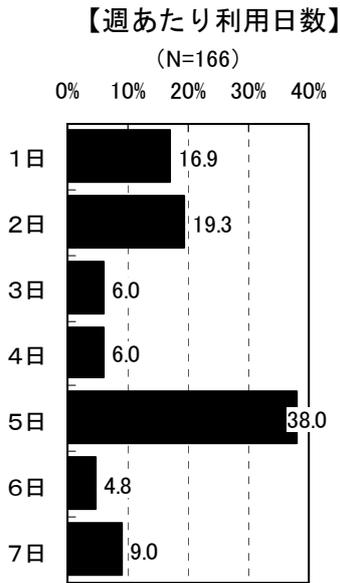
	回答者数 (人)	心身に障 がいが ある	心身に障 がいは 無い	不明・ 無回答
父	1,524	4.8	94.6	0.7
母	1,671	5.3	93.7	1.0
祖父	162	9.3	89.5	1.2
祖母	249	8.8	90.4	0.8
兄	540	5.9	93.0	1.1
姉	496	6.0	93.3	0.6
本人(あて名のお子さん)	730	7.9	91.2	0.8
弟	431	5.1	94.0	0.9
妹	379	7.1	91.6	1.3
その他	50	16.0	84.0	-

問7 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。(あてはまるものすべて)
また、日常的に預かってもらっている場合には、預けている日数や時間帯をご
記入ください。

「2. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」が 53.8%と高
いが、「1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」になると 18.0%と低くなる。友
人・知人についても、祖父母等に比べ相対的に割合が低いが同様の傾向にある。

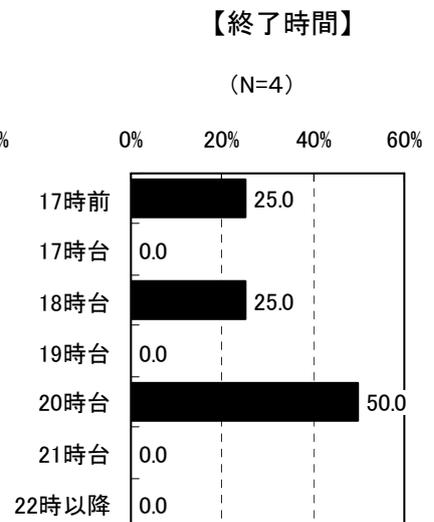
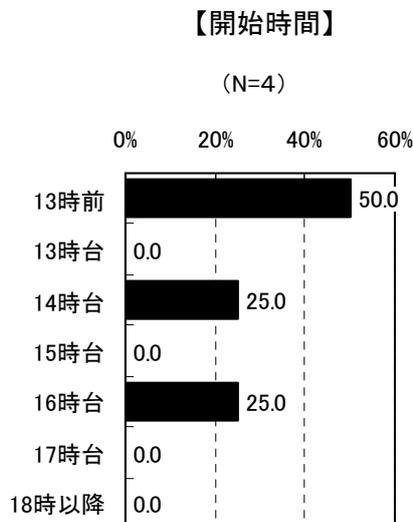
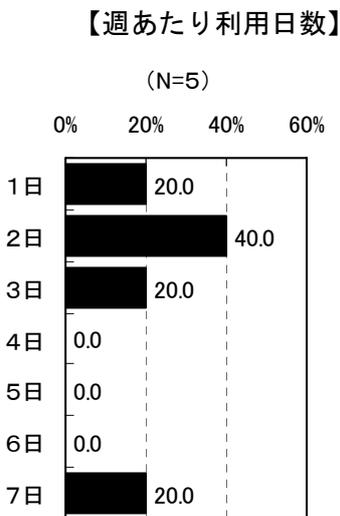


【日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる】



※不明・無回答除く

【日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる】



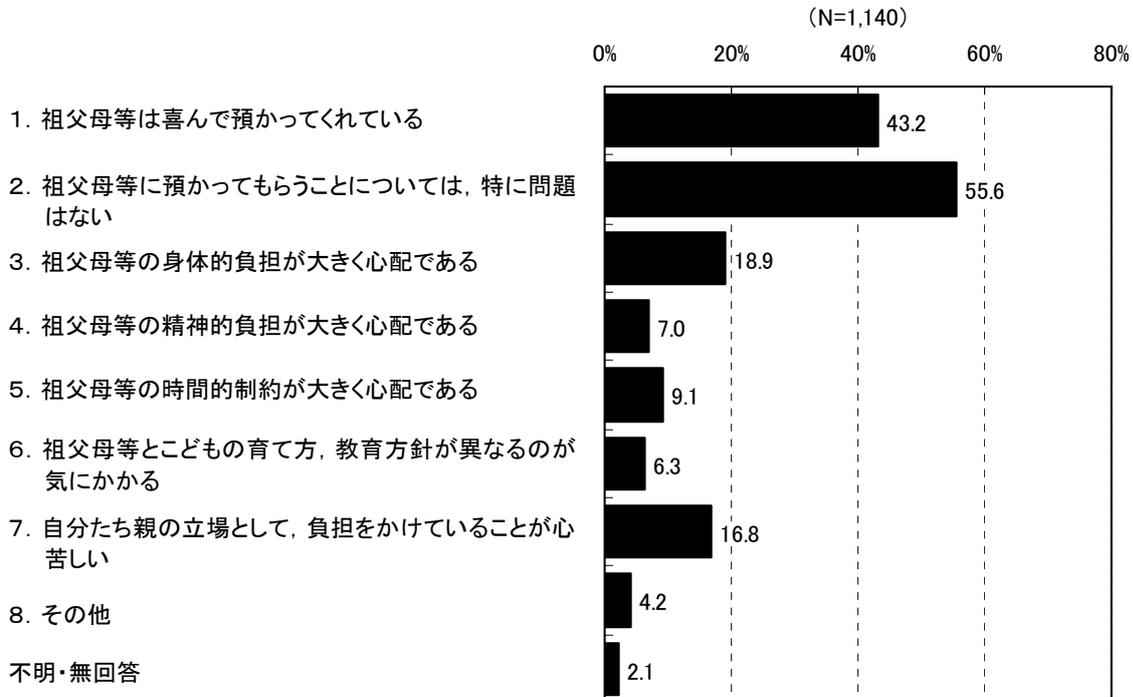
※不明・無回答除く

問7-1 問7で「1」または「2」を選ばれた方におうかがいします。

祖父母等に預かってもらっている状況についてお答えください。

（あてはまるものすべて）

「2. 祖父母等に預かってもらうことについては、特に問題はない」が55.6%、「1. 祖父母等は喜んで預かってきている」が43.2%と高くなっている。

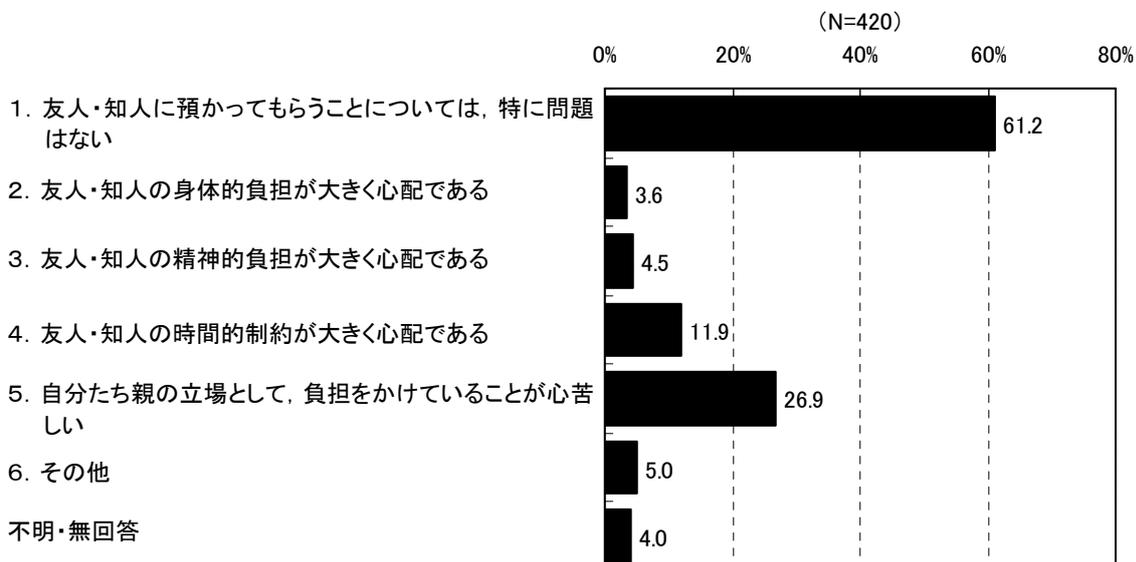


問7-2 問7で「3」または「4」を選ばれた方におうかがいします。

友人や知人に預かってもらっている状況についてお答えください。

（あてはまるものすべて）

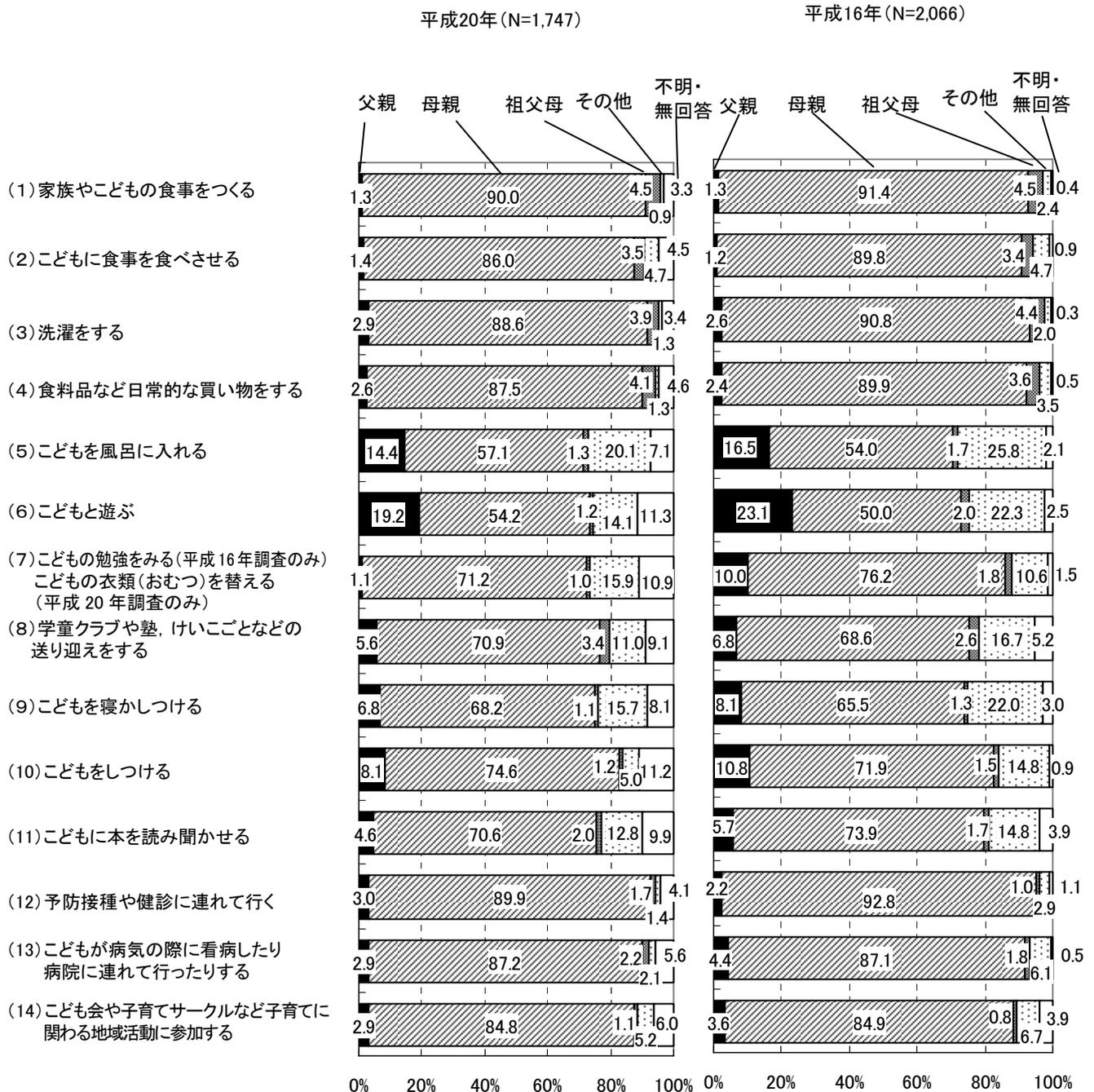
「1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」が61.2%、「5. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が26.9%と高くなっている。



問8 あて名のお子さんの育児をはじめ、家事等に主に関わっている方はどなたですか。

すべての項目において「母親」が50%~90%を占めるが、「(5)こどもを風呂に入れる」と「(6)こどもと遊ぶ」は、「父親」が10%台と他の項目に比べて高くなっている。

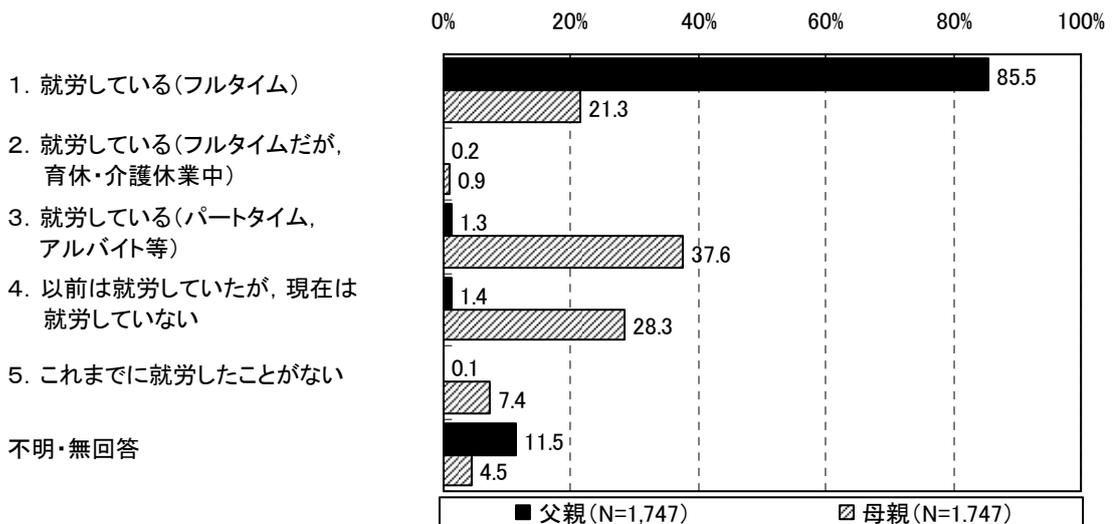
平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



2 保護者の就労状況について

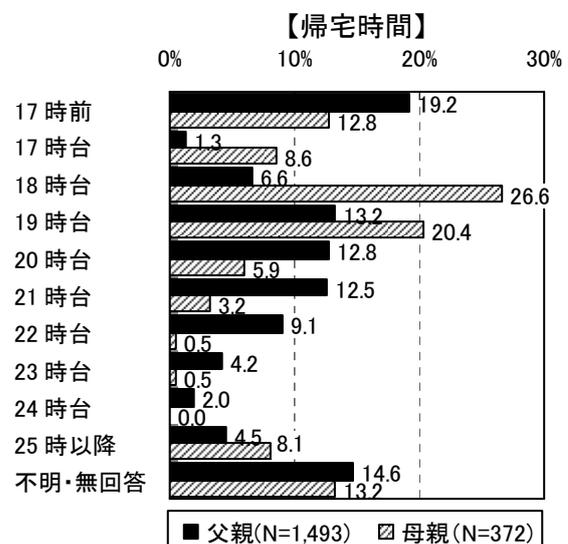
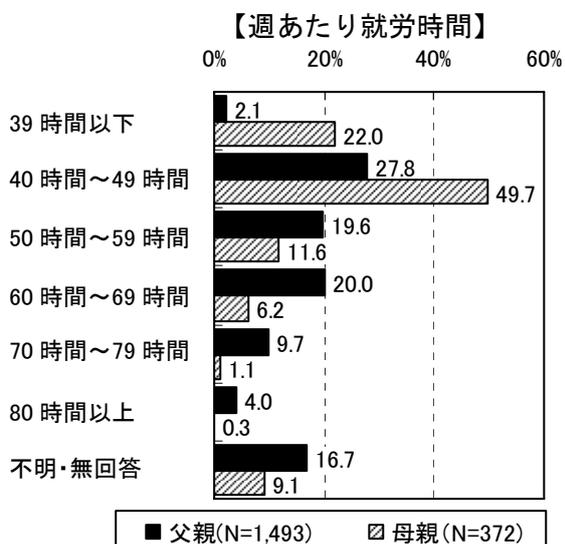
問9 現在の就労状況を（自営業，家族従事者含む）おうかがいします。

「父親」は「1. 就労している（フルタイム）」が85.5%と大半を占め、「母親」は「3. 就労している（パートタイム，アルバイト等）」が37.6%と高くなっている。



①フルタイムで就労している保護者の状況

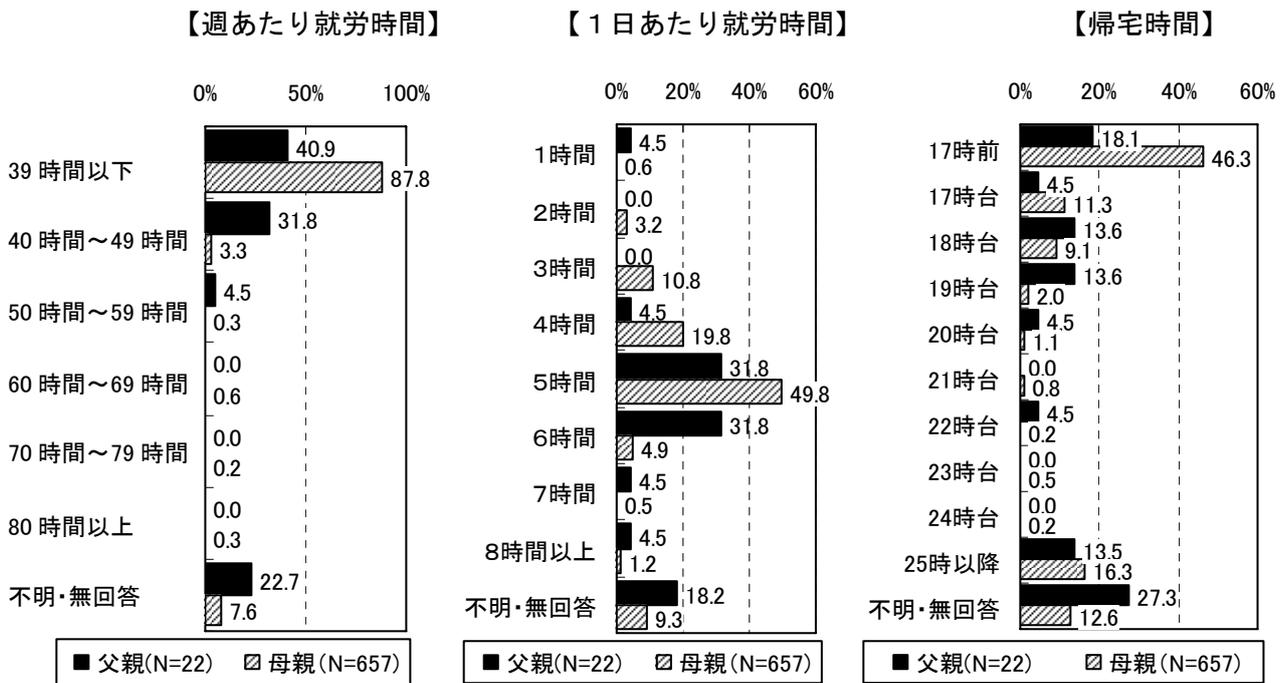
フルタイムの場合の1週間あたりの就労時間については、「母親」では「40時間～49時間」が約半数を占めるのに対し、「父親」では50時間以上が半数以上となっている。それに比例して、帰宅時間についても、「母親」では「18時台」が最も高いのに対し、「父親」では「20時以降」が4割を超えており、父親の帰宅時間が母親より遅くなっている。



②パートタイム、アルバイト等で就労している保護者の状況

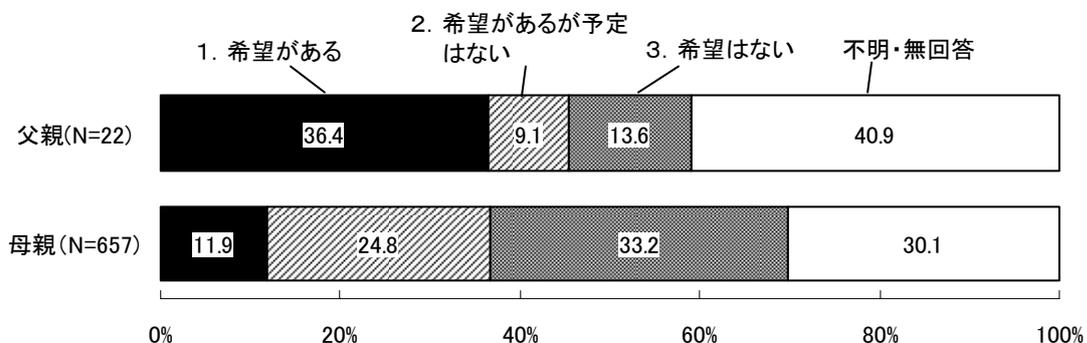
パートタイム、アルバイト等の場合の就労時間については、週あたりの就労時間は、「母親」「父親」とともに「39時間以下」が最も高いが、「父親」は「40時間～49時間」も約3割と高くなっている。

1日あたりの就労時間は、「母親」が「5時間」が約半数を占めているが、「父親」は「5時間」と「6時間」がともに31.8%と高くなっている。



③パートタイム、アルバイト等で就労している保護者のフルタイムへの転換希望

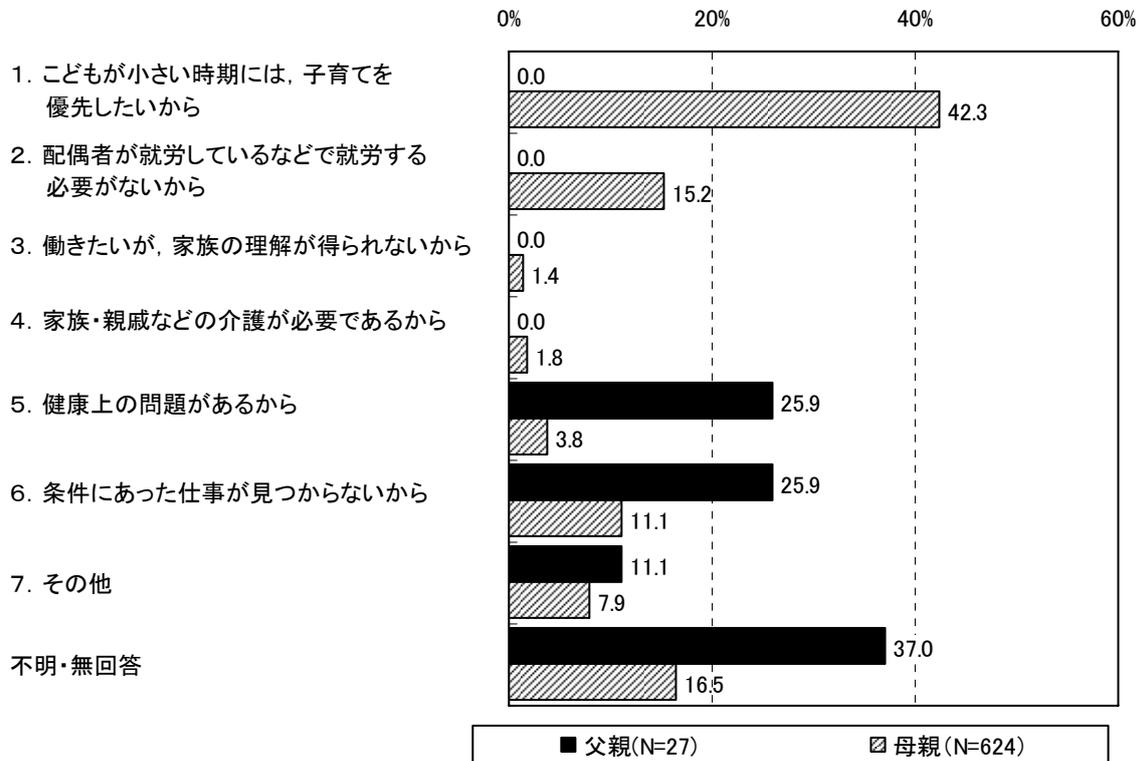
フルタイムへの転換希望については、「父親」が「1. 希望がある」が36.4%と高いのに対し、「母親」は「3. 希望はない」が33.2%と高くなっている。



問9-1 問9で「4」、「5」を選ばれた方におうかがいします。

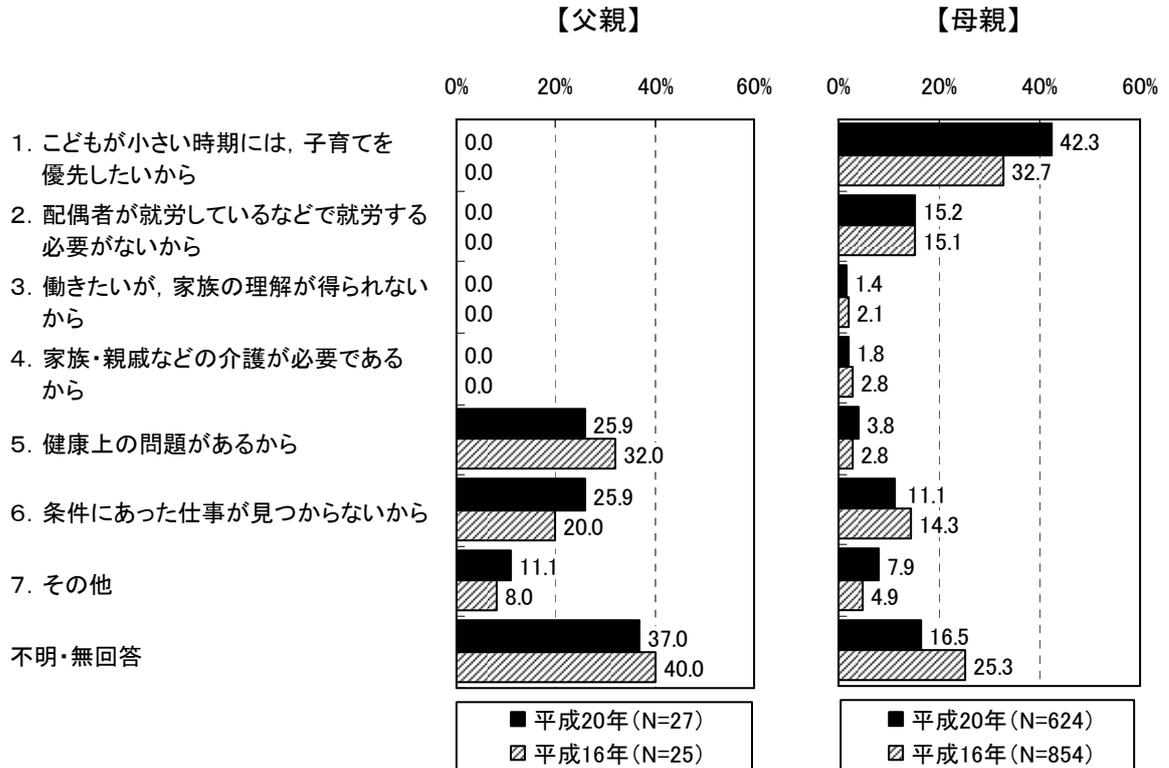
就労されていない理由について、お答えください。

就労されていない理由については、「父親」では「5. 健康上の問題があるから」と「6. 条件にあった仕事が見つからないから」が25.9%と高くなっているのに対し、「母親」では「1. こどもが小さい時期には、子育てを優先したいから」が42.3%と最も高くなっている。



【平成16年調査との比較】

平成16年調査と比較すると、「父親」について平成16年調査では「健康上の問題があるから」が最も高くなっていたのに対して、平成20年調査では、「健康上の問題があるから」と「条件にあった仕事が見つからないから」が同率で高くなっている。また、「母親」については「こどもが小さい時期には、子育てを優先したいから」が32.7%から42.3%と、9.6ポイント高くなっている。

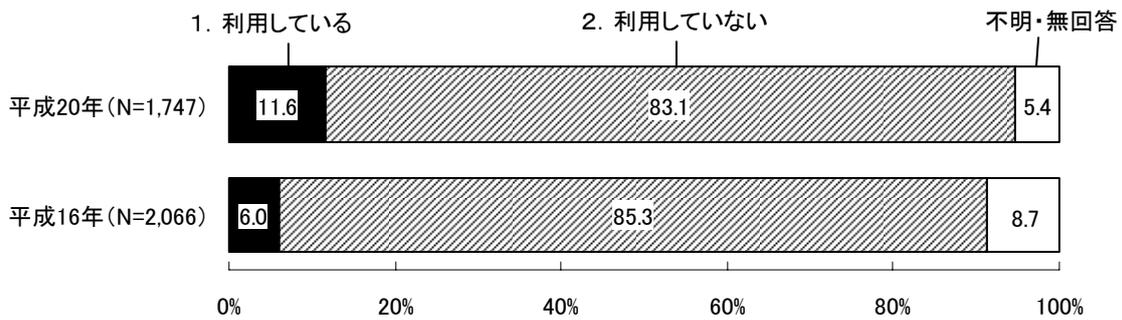


3 学童クラブ事業の利用について

問 10 あて名のお子さんは、現在、学童クラブ事業を利用していますか。

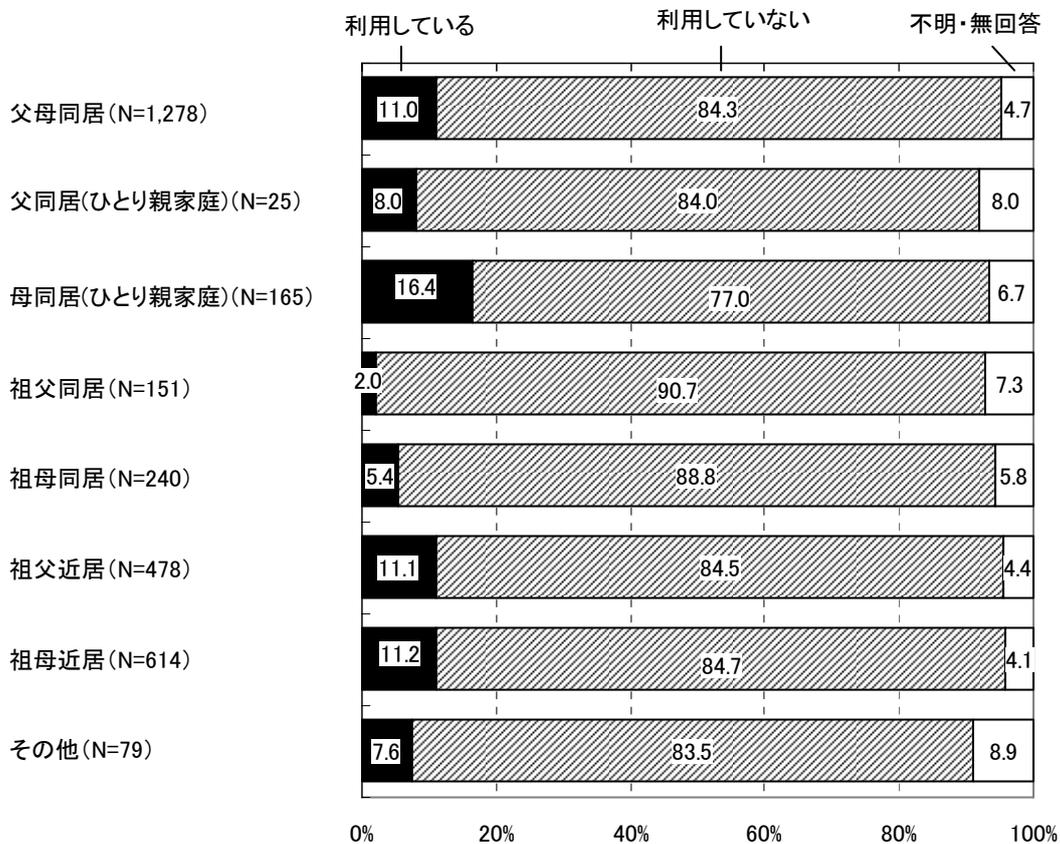
学童クラブ事業の利用者の割合は 11.6%となっている。

平成 16 年調査と比較すると、「1. 利用している」がやや高くなっている。



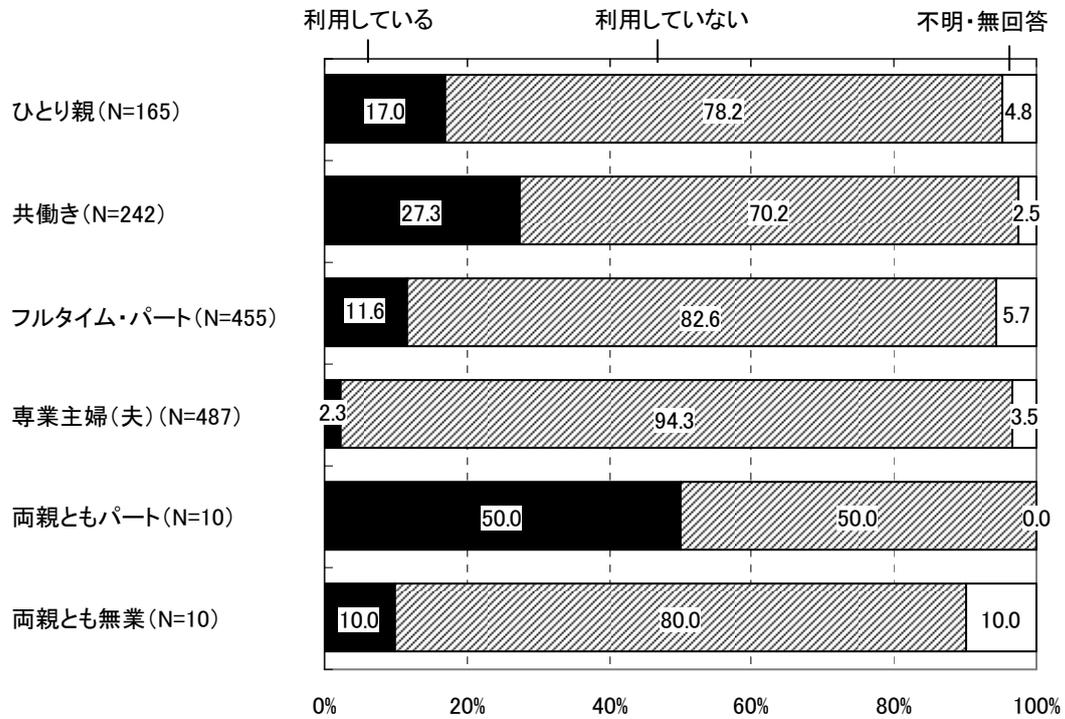
【同居・近居の状況別】

同居・近居の状況別にみると、「父母同居」「母同居（ひとり親家庭）」「祖父同居」「祖母同居」については、他の区分と比較して「利用している」の割合が高くなっている。



【家族類型別】

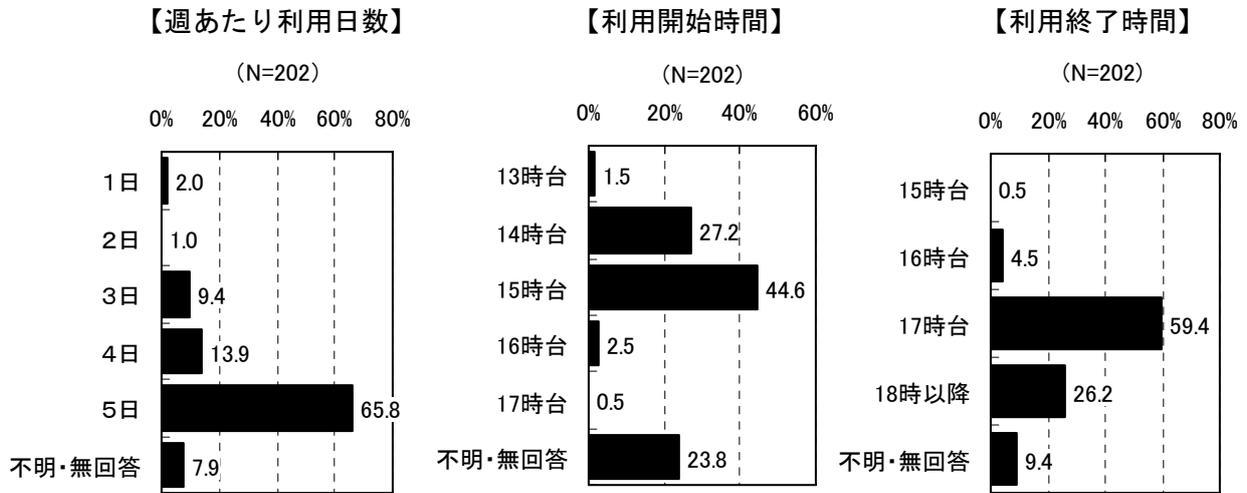
家族類型別にみると、「両親ともパート」については、他の区分と比較して「利用している」の割合が高くなっている。



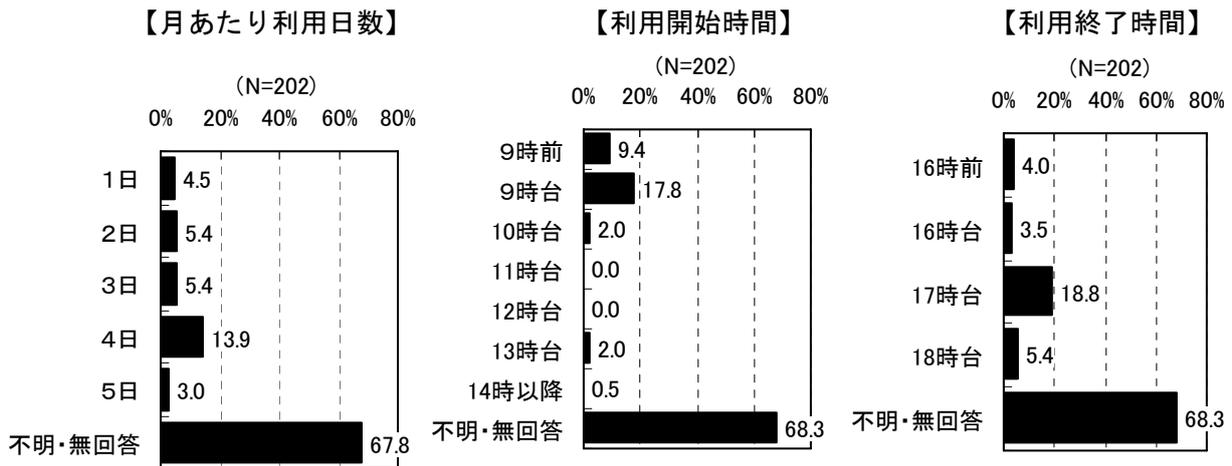
問 10-1～問 10-3 は、問 10 で「1」を選ばれた方におうかがいします。

問 10-1 学童クラブ事業を利用されている時間をお答えください。

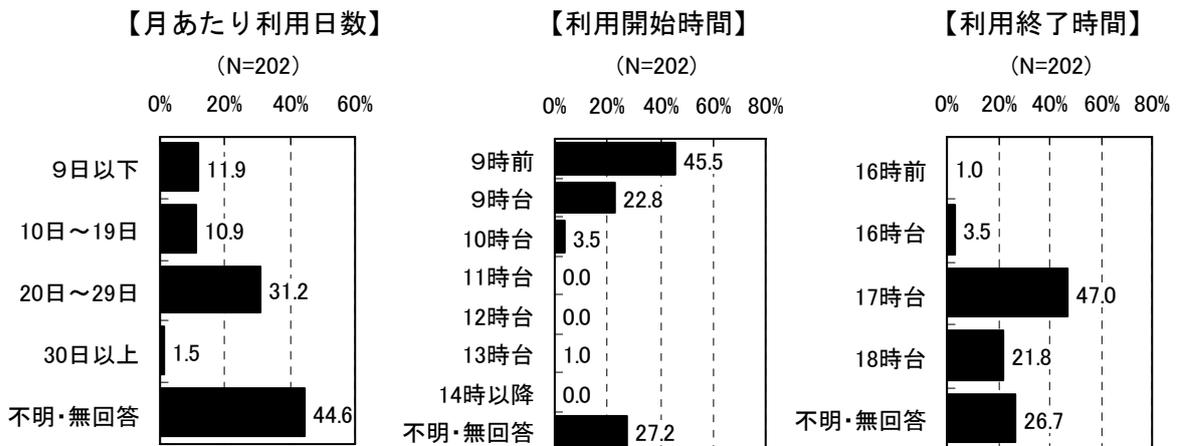
①平日の利用時間



②土曜日の利用時間

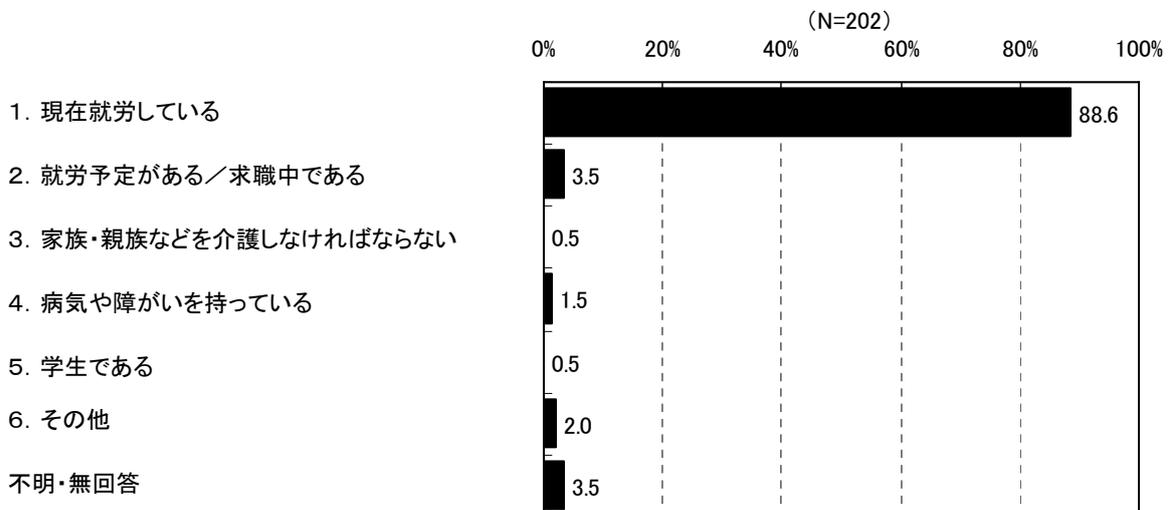


③学校長期休業中の利用時間



問 10-2 利用している理由についてお答えください。

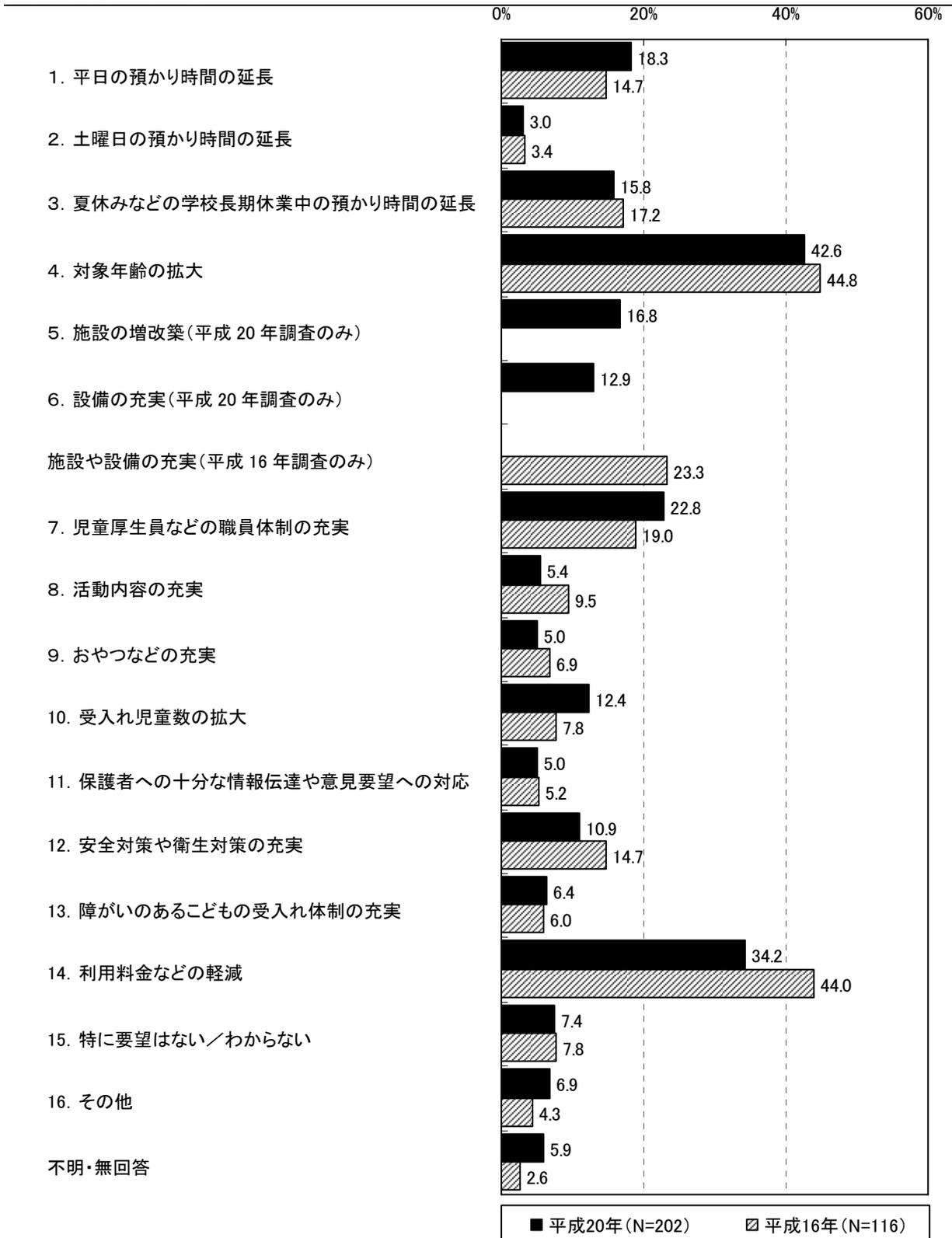
学童クラブ事業を利用している理由については「1. 現在就労している」が 88.6%と最も高くなっている。



問 10-3 現在、お子さんが通っている学童クラブに関してどのような要望をお持ちですか。（主な要望3つまで）

「4. 対象年齢の拡大」が 42.6%と最も高く、このほか「14. 利用料金などの軽減」「7. 児童厚生員などの職員体制の充実」「1. 平日の預かり時間の延長」などの要望が高くなっている。

平成 16 年調査と比較すると、「14. 利用料金などの軽減」が 44.0%から 34.2%と、9.8 ポイント低くなっている。



【こどもの学年別，家族類型別】

こどもの学年別にみると，多くの区分で「対象年齢の拡大」の割合が最も高くなっている。

家族類型別にみると，「フルタイム・パート」では，「利用料金などの軽減」，その他の区分では「対象年齢の拡大」の割合が最も高くなっている。

単位：％

		回答者数 (人)	平日の預かり時間の 延長	土曜日の預かり時間の 延長	夏休みなどの学校長期 休業中の預かり時間の 延長	対象年齢の 拡大	施設の 増改築	設備の充実	児童厚生員 などの職員 体制の充実	活動内容の 充実	おやつなど の充実
学年別	1年生	74	20.3	2.7	18.9	36.5	13.5	10.8	18.9	4.1	4.1
	2年生	58	13.8	5.2	13.8	39.7	17.2	15.5	24.1	5.2	10.3
	3年生	46	28.3	2.2	19.6	63.0	21.7	13.0	19.6	2.2	-
	4年生	8	12.5	-	12.5	25.0	25.0	12.5	50.0	25.0	12.5
	5年生	7	-	-	-	28.6	-	14.3	14.3	14.3	-
	6年生	5	-	-	-	20.0	-	-	20.0	20.0	-
家族類型別	ひとり親	28	14.3	3.6	7.1	53.6	17.9	7.1	32.1	-	7.1
	共働き	66	28.8	6.1	28.8	43.9	15.2	10.6	16.7	6.1	6.1
	フルタイム・パート	53	11.3	1.9	7.5	39.6	20.8	11.3	22.6	3.8	5.7
	専業主婦(夫)	11	18.2	-	9.1	36.4	9.1	27.3	18.2	9.1	-
	両親ともパート	5	-	-	-	60.0	20.0	20.0	60.0	20.0	20.0
	両親とも無業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

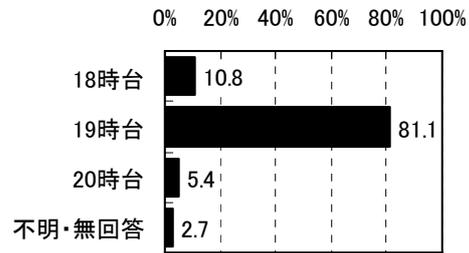
		回答者数 (人)	受入れ児童 数の拡大	保護者への 十分な情報 伝達や意見 要望への 対応	安全対策や 衛生対策の 充実	障がいのある こどもの 受入れ体制 の充実	利用料金な どの軽減	特に要望は ない／わか らない	その他	不明・ 無回答
学年別	1年生	74	17.6	6.8	12.2	2.7	40.5	6.8	9.5	4.1
	2年生	58	5.2	8.6	10.3	6.9	34.5	6.9	1.7	6.9
	3年生	46	10.9	-	10.9	8.7	28.3	6.5	10.9	-
	4年生	8	25.0	-	12.5	12.5	50.0	12.5	-	-
	5年生	7	-	-	-	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6
	6年生	5	20.0	-	20.0	20.0	-	-	-	60.0
家族類型別	ひとり親	28	7.1	7.1	14.3	7.1	25.0	14.3	-	3.6
	共働き	66	9.1	4.5	6.1	4.5	34.8	6.1	7.6	4.5
	フルタイム・パート	53	20.8	3.8	15.1	11.3	41.5	3.8	7.5	9.4
	専業主婦(夫)	11	18.2	9.1	18.2	9.1	18.2	-	9.1	18.2
	両親ともパート	5	-	-	20.0	-	40.0	-	-	-
	両親とも無業	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-

①平日の預かり時間の延長希望

「19時台」への延長の要望が高くなっている。

【閉所時間】

(N=37)

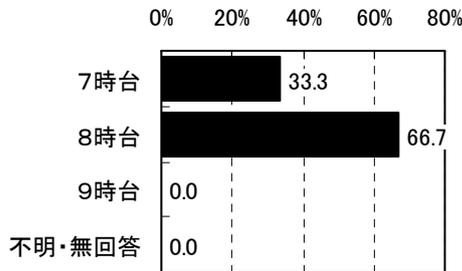


②土曜日の預かり時間の延長希望

開所時間は「8時台」、閉所時間は「19時台」の要望が高くなっている。

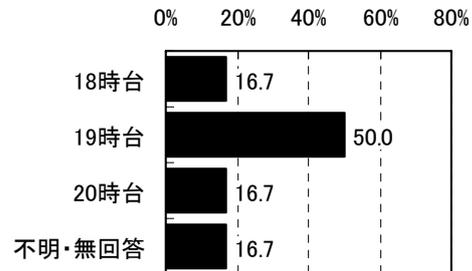
【開所時間】

(N=6)



【閉所時間】

(N=6)

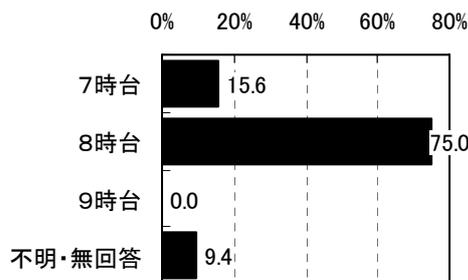


③夏休みなどの学校長期休業中の預かり時間の延長希望

開所時間は「8時台」、閉所時間は「19時台」の要望が高くなっている。

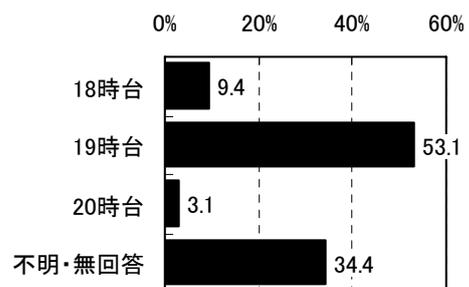
【開所時間】

(N=32)



【閉所時間】

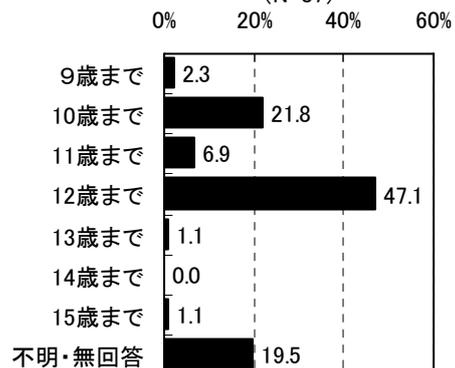
(N=32)



④対象年齢の拡大希望

「12歳まで」の拡大の要望が高くなっている。

(N=87)



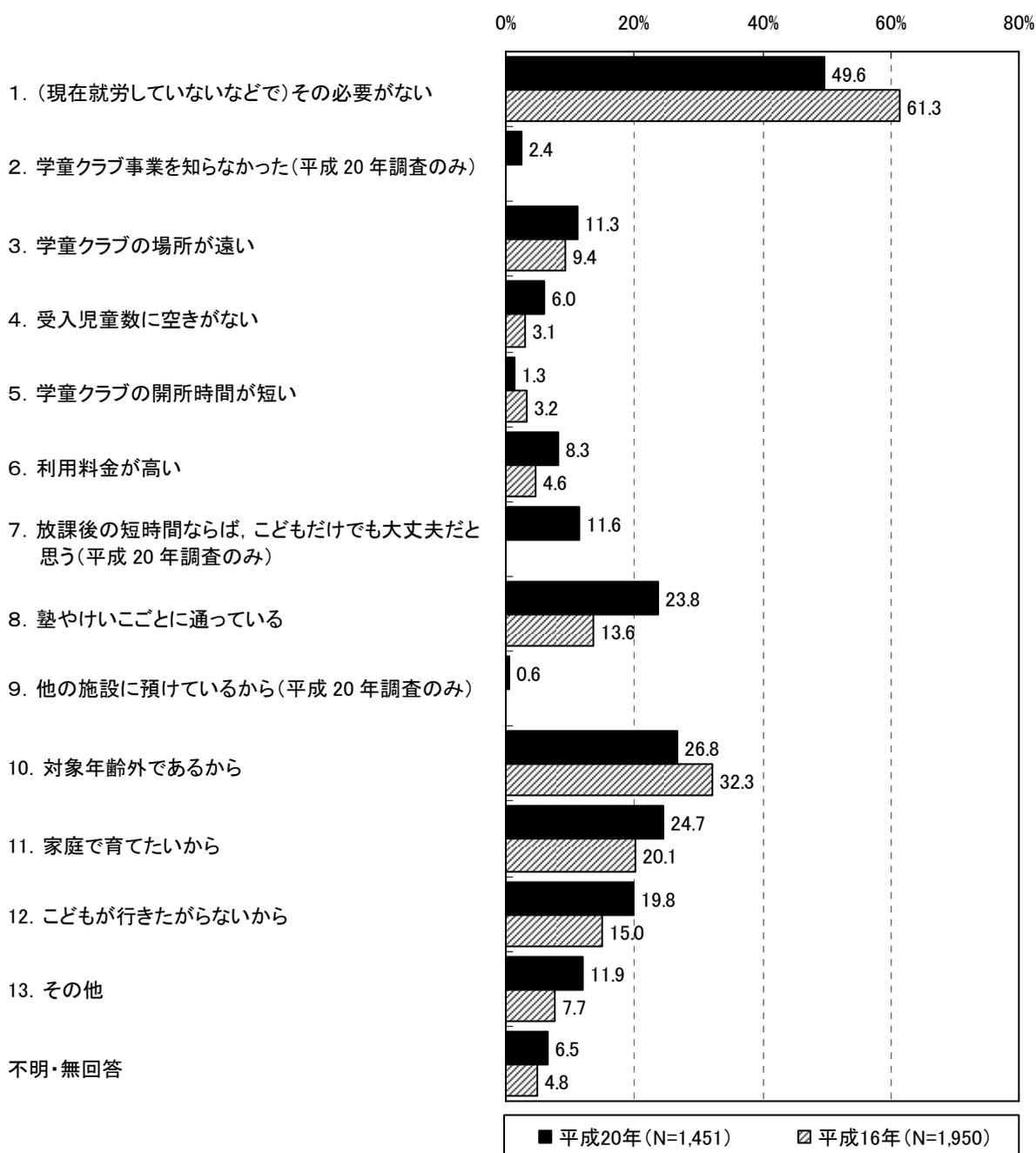
問 10-4, 問 10-5 は, 問 10 で「2」を選ばれた方におうかがいします。

問 10-4 学童クラブ事業を利用していない理由についてお答えください。

(理由の大きい順に3つまで)

「1. (現在就労していないなどで) その必要がない」が 49.6%と最も高く, このほか「10. 対象年齢外であるから」が 26.8%, 「11. 家庭で育てたいから」が 24.7%, 「8. 塾やけいごとに通っている」が 23.8%と高くなっている。

平成 16 年調査と比較すると, 「1. (現在就労していないなどで) その必要がない」が 11.7 ポイント低く, 「8. 塾やけいごとに通っている」は 10.2 ポイント高くなっている。



【こどもの学年別，家族類型別】

こどもの学年別にみると、「1年生」～「4年生」では「（現在就労していないなどで）その必要がない」，「5年生」「6年生」では「対象年齢外であるから」の割合が最も高くなっている。

家族類型別にみると，「専業主婦（夫）」「両親とも無業」では「（現在就労していないなどで）その必要がない」，その他の区分では「対象年齢外であるから」の割合が最も高くなっている。

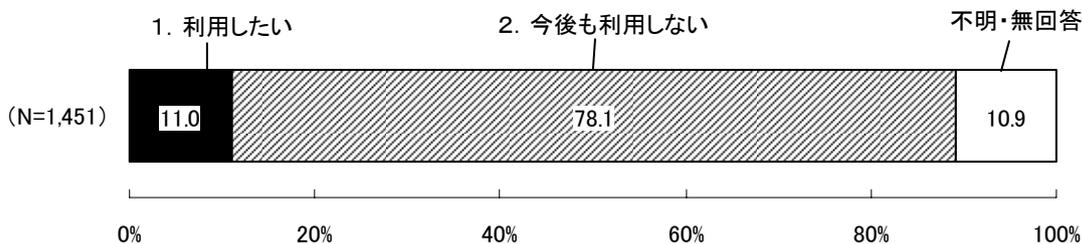
単位：%

		回答者数 (人)	(現在就労していないなどで)その必要がない	学童クラブ事業を知らなかった	学童クラブの場所が遠い	受入児童数に空きがない	学童クラブの開所時間が短い	利用料金が 高い	放課後の短時間ならば、こどもだけでも大丈夫だと思う
学年別	1年生	187	63.1	1.6	18.2	12.3	1.6	10.2	9.6
	2年生	206	57.3	2.9	16.5	10.2	2.4	11.2	11.7
	3年生	234	53.4	3.0	13.7	6.4	1.7	11.1	12.0
	4年生	259	49.0	2.3	9.7	5.4	0.8	7.7	12.0
	5年生	242	44.2	2.9	7.9	2.1	1.7	4.5	11.6
	6年生	277	35.0	2.2	5.4	2.2	0.4	6.1	13.0
家族類型別	ひとり親	129	24.0	3.1	9.3	3.9	1.6	10.9	7.8
	共働き	170	18.2	2.4	13.5	7.1	4.1	7.1	11.2
	フルタイム・パート	376	33.2	2.7	13.3	6.9	0.8	11.4	20.7
	専業主婦(夫)	459	81.9	2.4	8.9	6.1	0.4	4.6	5.2
	両親ともパート	5	20.0	-	20.0	-	-	20.0	-
	両親とも無業	8	100.0	-	12.5	12.5	-	12.5	-

		回答者数 (人)	塾やけいごごとに通っている	他の施設に預けているから	対象年齢外であるから	家庭で育てたいから	こどもが行きたがらないから	その他	不明・無回答
学年別	1年生	187	23.0	2.1	-	30.5	20.3	17.1	4.3
	2年生	206	23.8	1.0	1.5	29.1	18.9	11.2	5.8
	3年生	234	28.6	-	3.8	26.9	27.4	16.2	5.1
	4年生	259	22.0	0.4	44.4	25.9	21.6	8.1	5.4
	5年生	242	28.9	-	46.7	19.4	16.1	10.3	7.9
	6年生	277	17.3	0.4	50.9	19.5	15.9	10.1	9.4
家族類型別	ひとり親	129	18.6	-	38.8	12.4	21.7	17.1	8.5
	共働き	170	24.7	2.4	38.2	10.6	21.2	21.8	7.6
	フルタイム・パート	376	22.9	0.3	34.8	25.5	23.4	10.9	4.5
	専業主婦(夫)	459	24.6	-	17.4	33.8	14.8	7.6	5.7
	両親ともパート	5	-	-	60.0	20.0	20.0	20.0	-
	両親とも無業	8	37.5	-	37.5	37.5	-	-	-

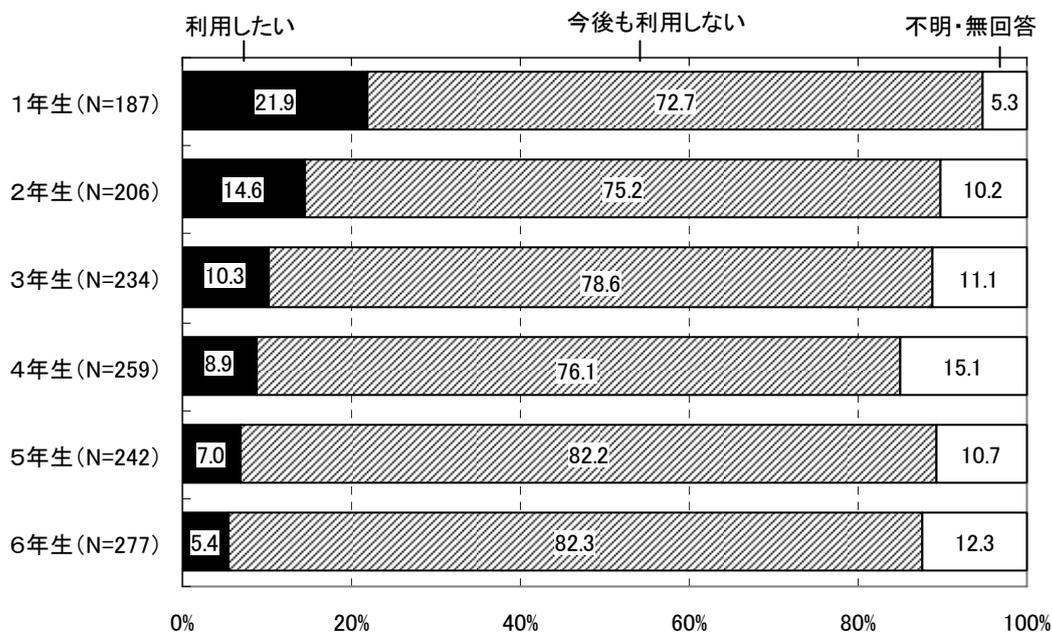
問 10-5 今後、学童クラブ事業を利用したいとお考えですか。

学童クラブ事業の今後の利用意向については「1. 利用したい」が11.0%となっている。



【こどもの学年別】

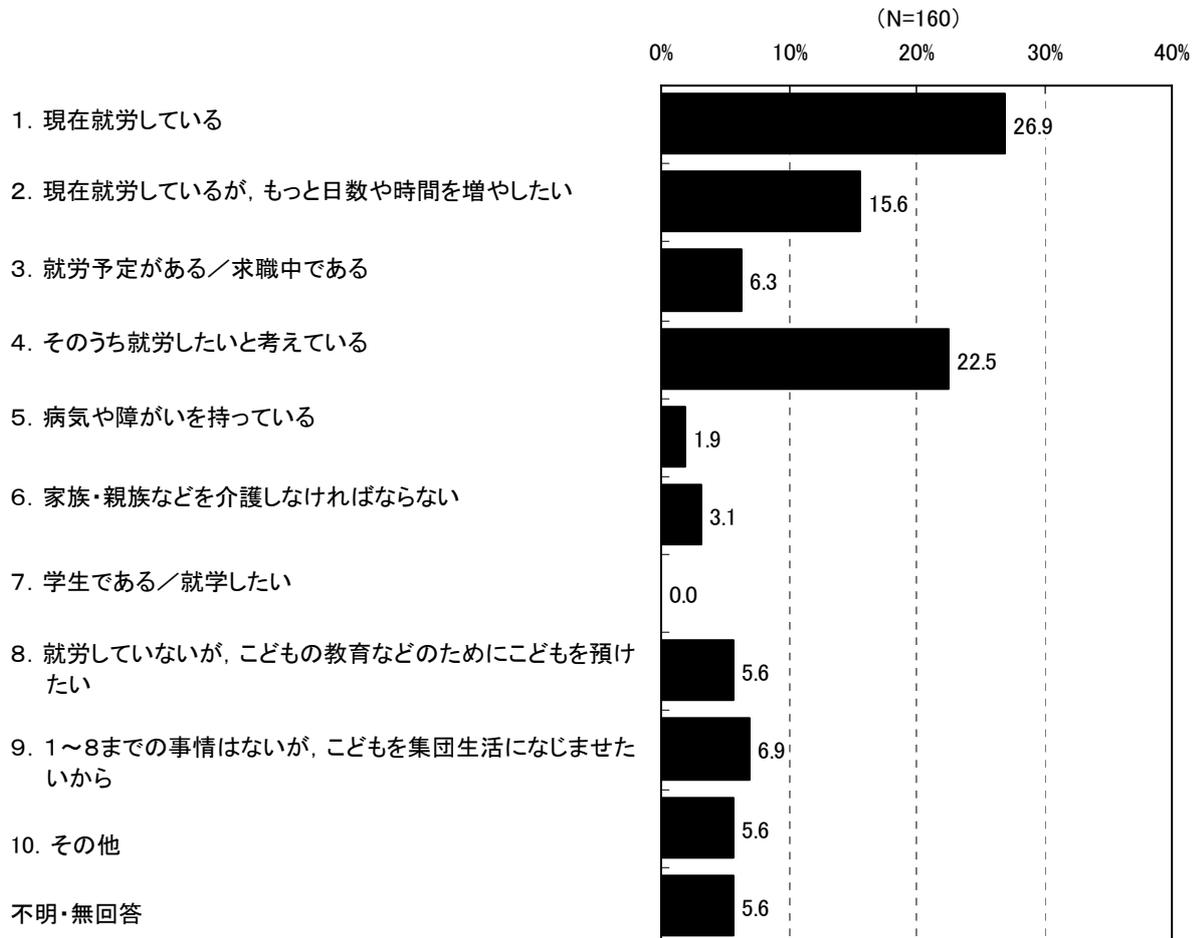
こどもの学年別にみると、学年があがるにつれ「利用したい」の割合が低くなっている。



問 10-6, 問 10-7 は, 問 10-5 で「1」を選ばれた方におうかがいします。

問 10-6 今後, 学童クラブ事業を利用したいと考えている理由はどのようなことですか。

「1. 現在就労している」が 26.9%と最も高く, 次いで「4. そのうち就労したいと考えている」が 22.5%と高くなっている。

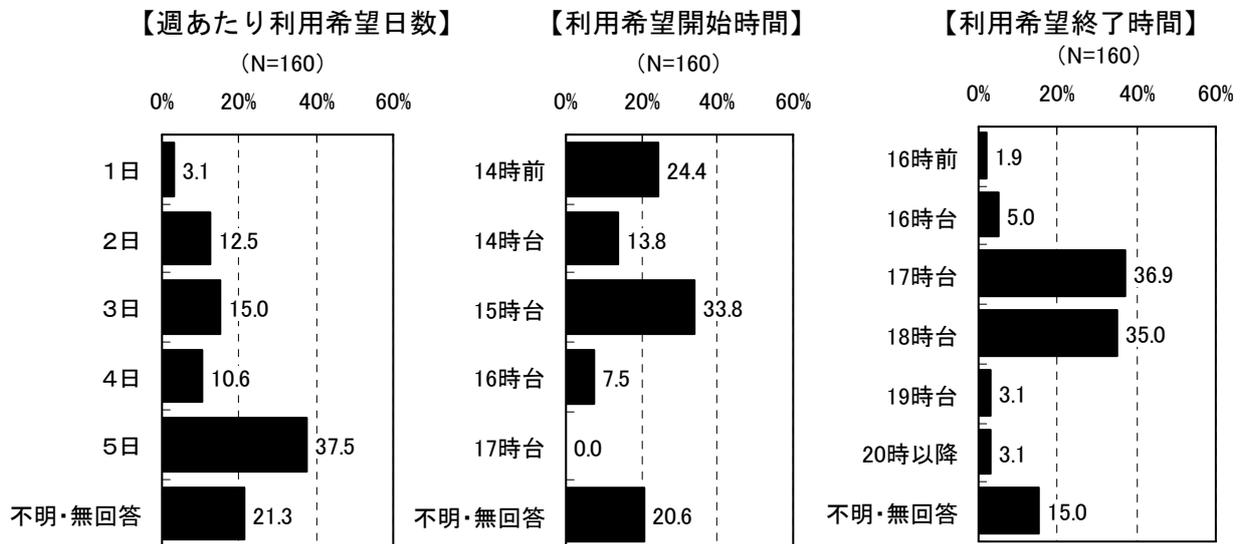


問 10-7 利用を希望する日数や時間帯をお答えください。

①平日の利用希望

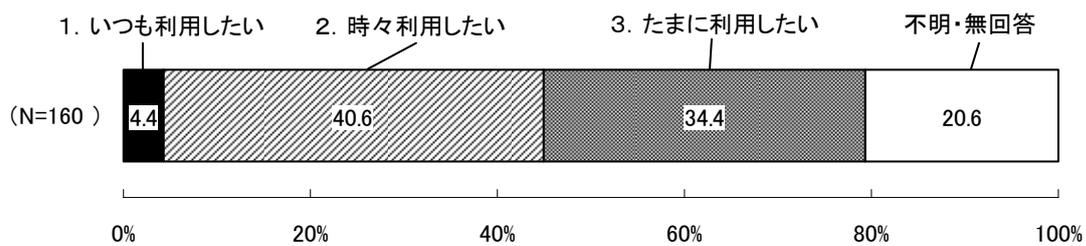
週あたりの利用希望日数は「5日」が37.5%と最も高くなっている。

利用時間は、開始時間が「15時台」、終了時間が「17時台」と「18時台」で高くなっている。



②休日の利用希望

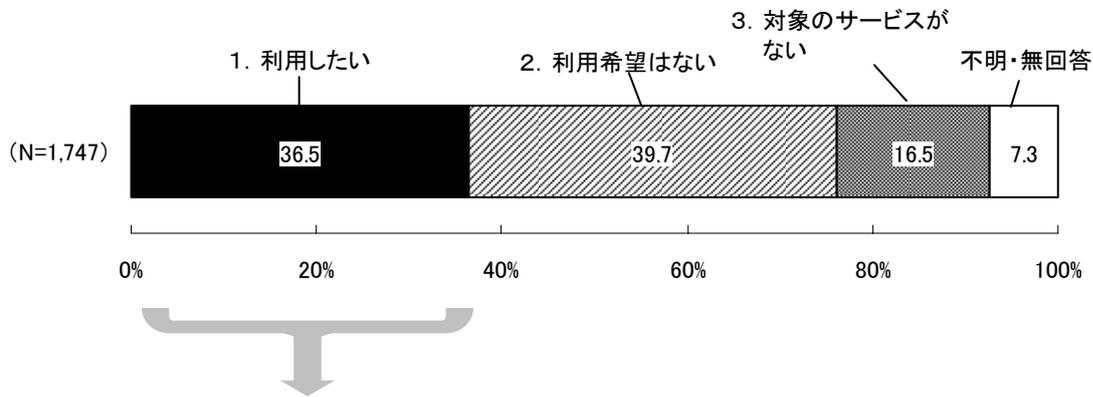
「2. 時々利用したい」が40.6%、「3. たまに利用したい」が34.4%と高くなっている。



ここからはすべての方におうかがいします。

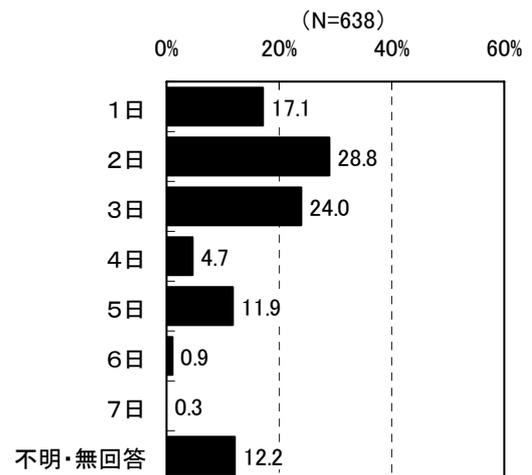
問 11 地域によっては、学童クラブ事業と連携して行うサービスとして『放課後まなび教室』がありますが、その利用希望はありますか。

「2. 利用希望はない」が39.7%と高い一方、「1. 利用したい」も36.5%と高くなっている。



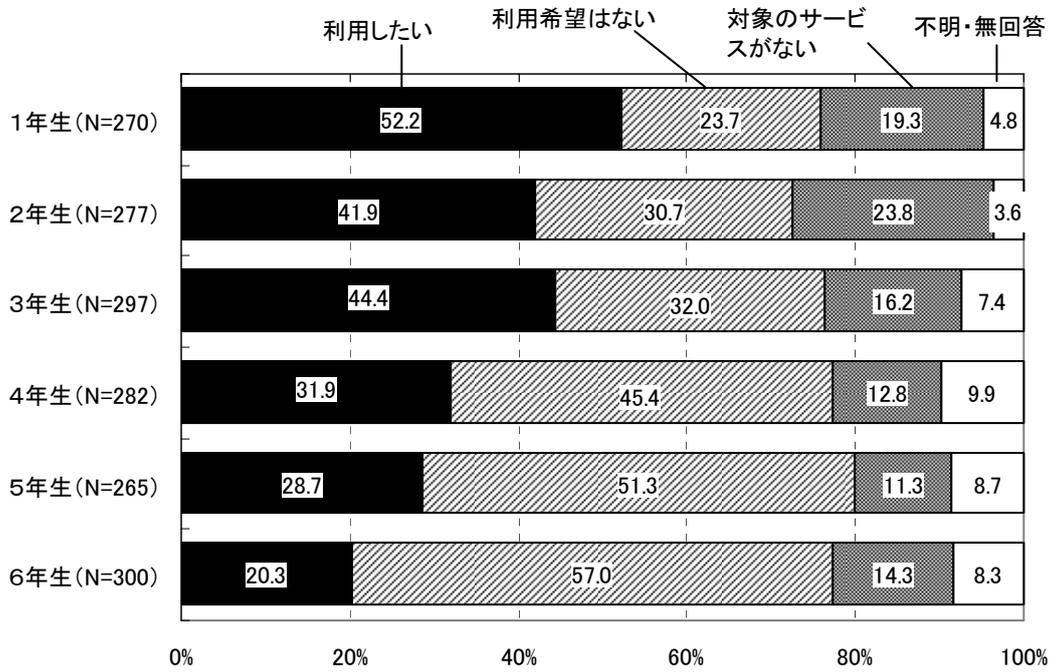
〔週あたりの利用希望〕

週あたりの利用希望日数は、「2日」と「3日」が高くなっている。



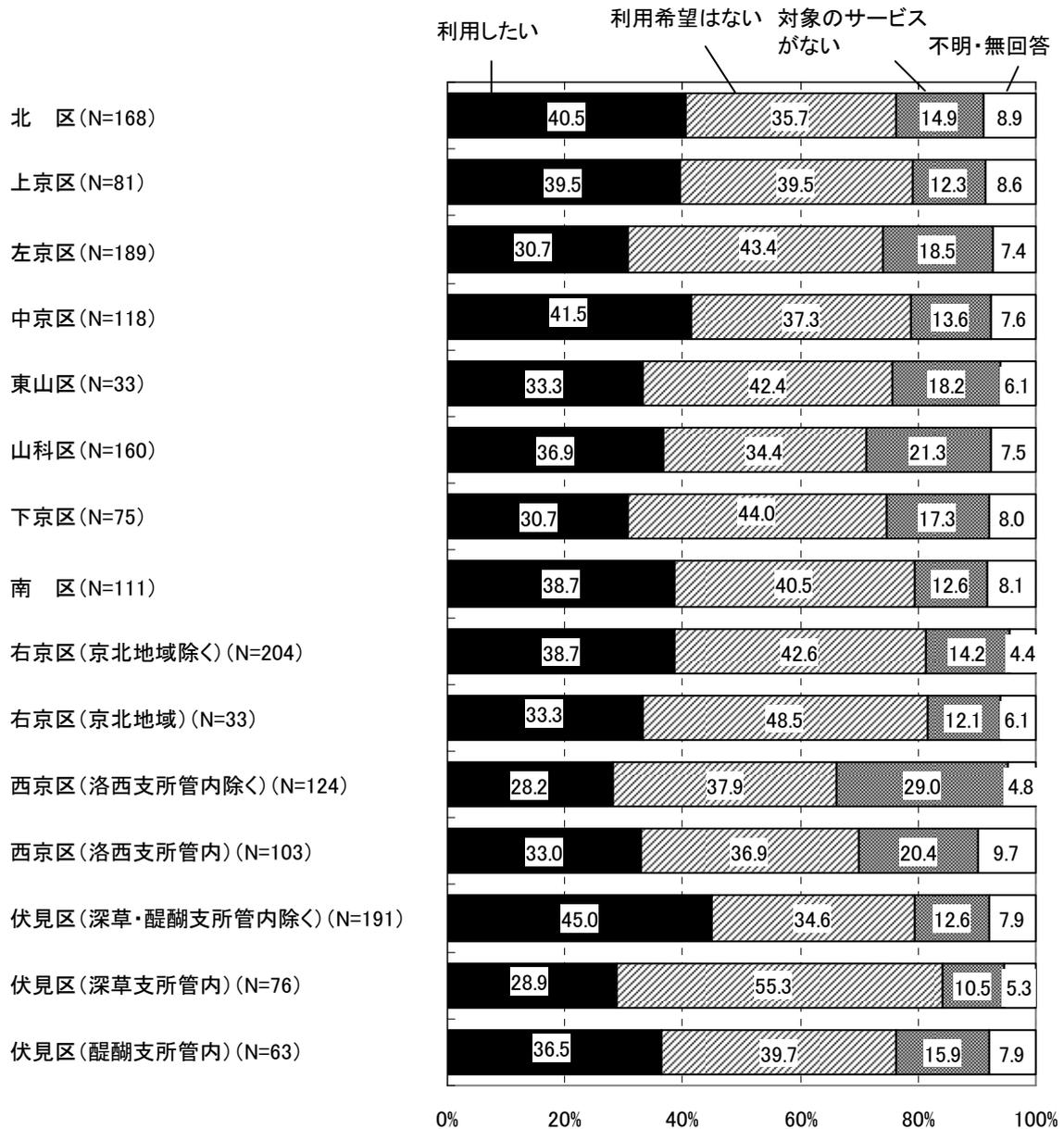
【こどもの学年別】

こどもの学年別にみると、学年があがるにつれ「利用したい」の割合が低くなっている。

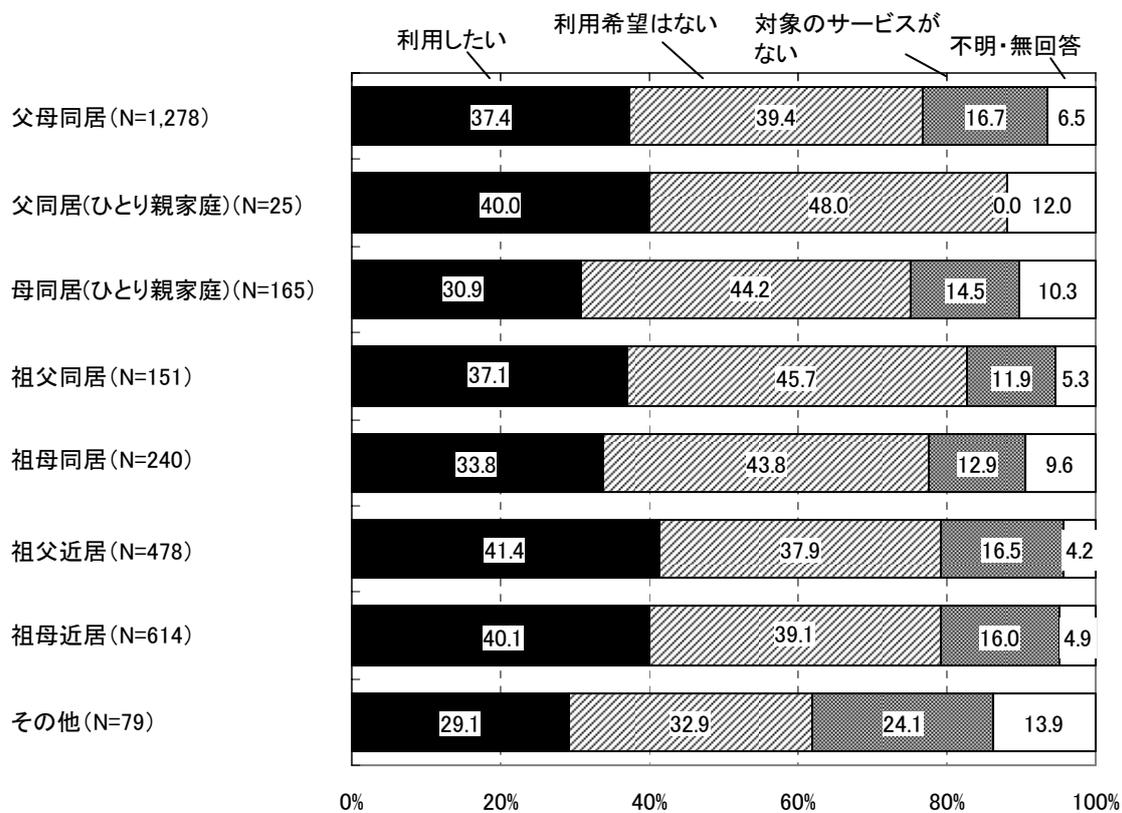


【居住区別】

居住区別にみると、「伏見区（深草・醍醐支所管内除く）」については、他の区分と比較して「利用したい」の割合が高くなっている。

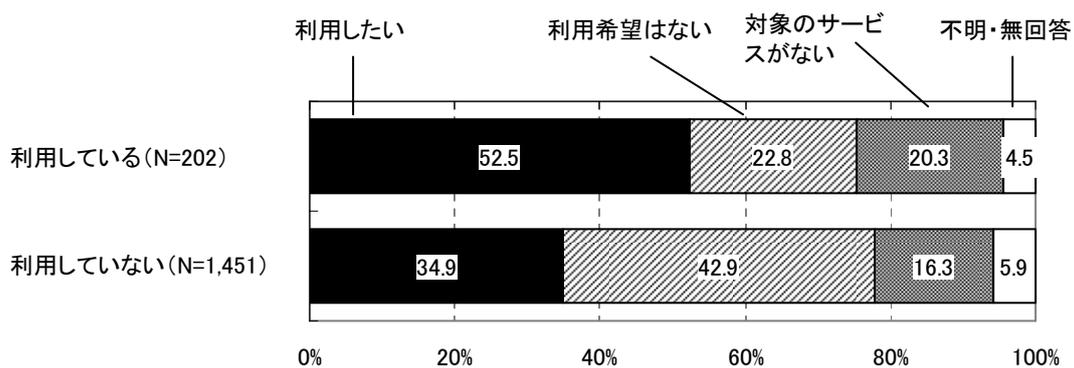


【同居・近居の状況別】



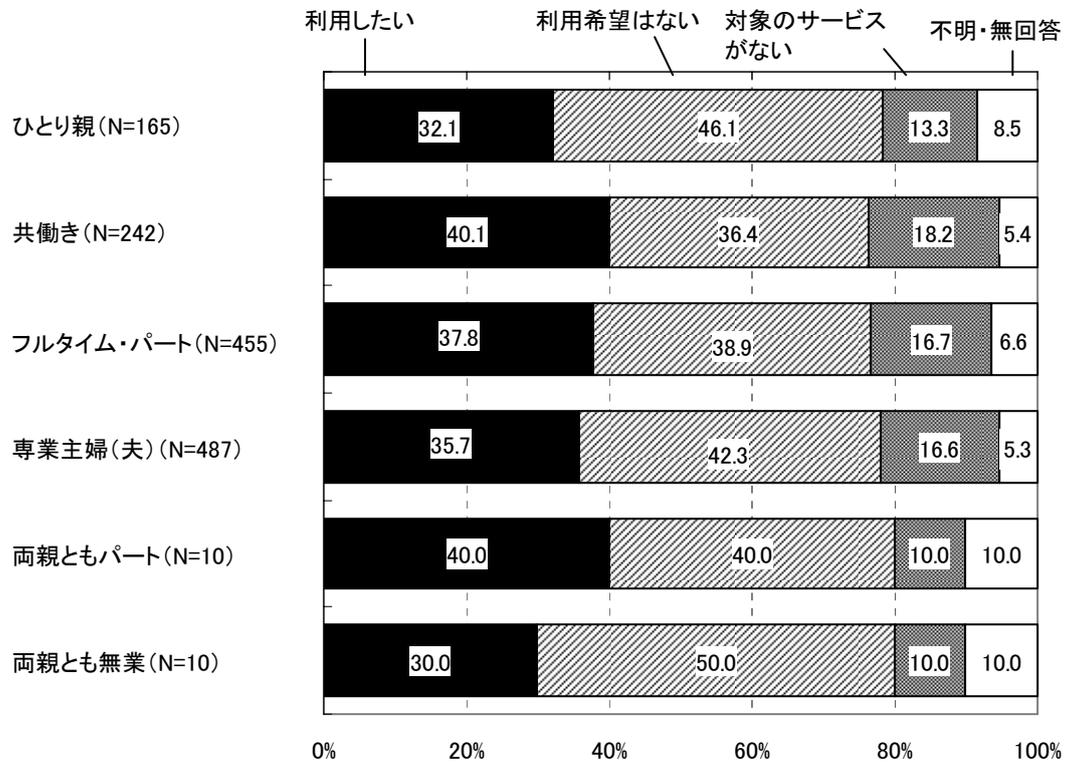
【学童クラブの利用状況別】

学童クラブの利用状況別にみると、「利用していない」では「利用希望はない」の割合が最も高くなっているが、「利用したい」についても3割以上の割合となっている。



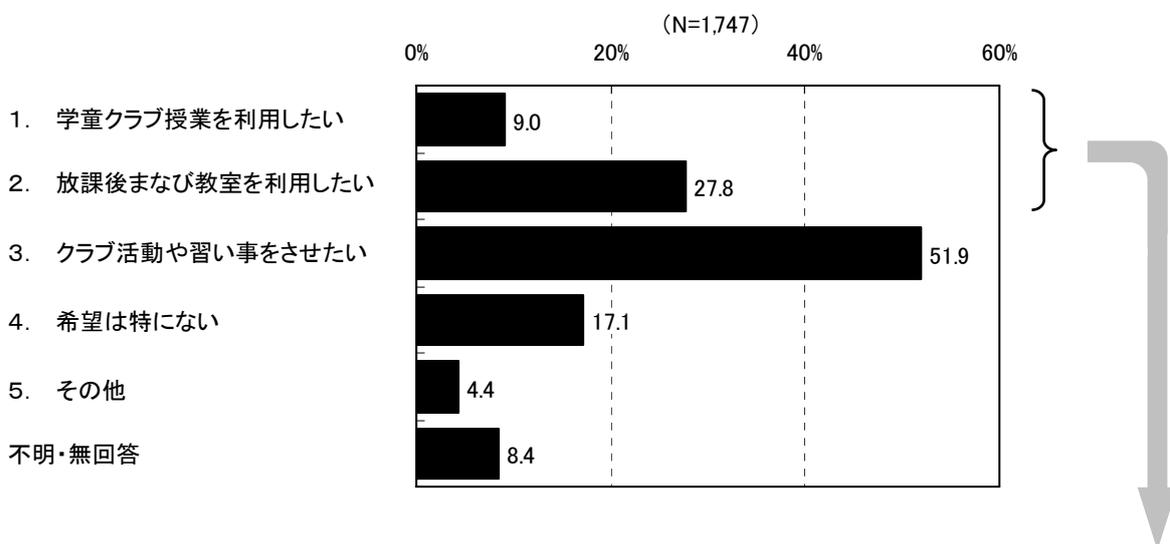
【家族類型別】

家族類型別にみると、「共働き」「両親ともパート」については、他の区分と比較して「利用したい」の割合が高くなっている。



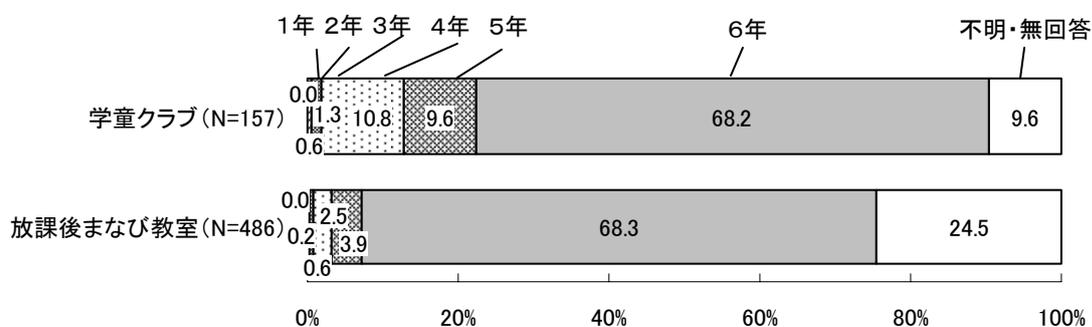
問 12 あて名のお子さんの小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。

「3. クラブ活動や習い事をさせたい」が51.9%と最も高く、次いで「2. 放課後まなび教室を利用したい」が27.8%と高くなっている。



〔学童クラブ・放課後まなび教室について、小学何年生まで利用したいか〕

学童クラブ、放課後まなび教室ともに小学「6年」までが高くなっている。



【こどもの学年別，居住区別】

こどもの学年別にみると，学年があがるにつれ「学童クラブ事業を利用したい」「放課後まなび教室を利用したい」の割合が低くなっている。

居住区別にみると，他の区分と比較して，「東山区」「右京区（京北地域）」については，「学童クラブ事業を利用したい」，「上京区」「中京区」「山科区」については，「放課後まなび教室を利用したい」の割合が高くなっている。

単位：%

		回答者数 (人)	学童クラブ 事業を利用 したい	放課後まな び教室を利用 したい	クラブ活動 や習い事を させたい	希望は特に ない	その他	不明・ 無回答
学年別	1年生	270	13.7	37.4	51.9	14.4	3.0	4.8
	2年生	277	13.4	32.9	54.2	10.8	4.7	8.3
	3年生	297	11.1	33.3	47.5	15.5	3.7	10.1
	4年生	282	6.7	25.2	52.1	19.1	5.0	7.1
	5年生	265	4.2	20.4	55.8	19.6	5.7	8.7
	6年生	300	4.7	19.3	49.0	23.3	5.0	9.7
居住区別	北 区	168	8.3	27.4	54.8	14.9	6.0	9.5
	上京区	81	11.1	33.3	48.1	12.3	6.2	11.1
	左京区	189	11.6	21.7	39.2	19.0	7.4	12.2
	中京区	118	7.6	34.7	53.4	15.3	3.4	5.9
	東山区	33	12.1	24.2	66.7	9.1	9.1	3.0
	山科区	160	6.9	32.5	50.0	18.8	4.4	8.8
	下京区	75	2.7	26.7	48.0	18.7	2.7	9.3
	南 区	111	9.9	27.0	49.5	18.9	1.8	10.8
	右京区 (京北地域除く)	204	6.4	28.9	52.9	17.6	3.9	5.9
	右京区 (京北地域)	33	12.1	27.3	57.6	21.2	-	9.1
	西京区 (洛西支所管内除く)	124	7.3	22.6	54.8	12.9	5.6	8.1
	西京区 (洛西支所管内)	103	8.7	25.2	56.3	20.4	2.9	6.8
	伏見区(深草・ 醍醐支所管内除く)	191	11.5	31.4	57.1	17.3	2.1	7.3
	伏見区 (深草支所管内)	76	11.8	23.7	57.9	18.4	3.9	5.3
	伏見区 (醍醐支所管内)	63	9.5	27.0	50.8	17.5	6.3	4.8

【学童クラブの利用状況別，家族類型別】

学童クラブの利用状況別にみると、「利用していない」では「クラブ活動や習い事をさせたい」の割合が最も高くなっているが、「放課後まなび教室を利用したい」についても2割以上の割合となっている。

家族類型別にみると、「両親ともパート」については、他の区分と比較して「学童クラブ事業を利用したい」「放課後まなび教室を利用したい」の割合が高くなっている。

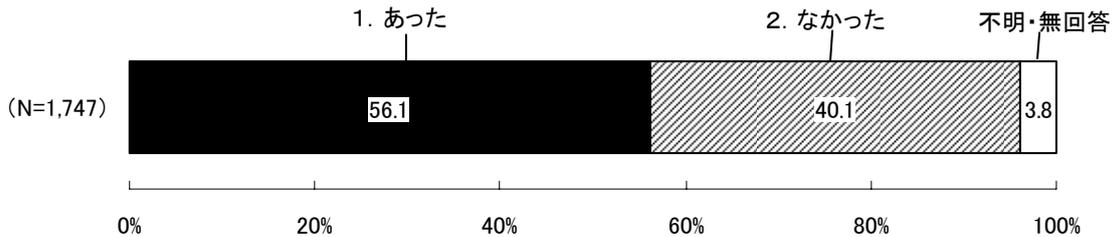
単位：％

		回答者数 (人)	学童クラブ 事業を利用 したい	放課後まな び教室を利 用したい	クラブ活動 や習い事を させたい	希望は特に ない	その他	不明・ 無回答
学童クラブの 利用状況別	利用している	202	41.1	40.1	44.6	3.5	2.5	5.4
	利用していない	1,451	4.8	26.3	54.0	19.4	4.7	7.0
家族類型別	ひとり親	165	11.5	25.5	46.1	18.2	2.4	10.9
	共働き	242	19.8	33.5	53.3	11.2	3.3	5.8
	フルタイム・パート	455	7.7	30.8	47.3	18.2	5.5	8.8
	専業主婦(夫)	487	3.5	23.2	61.0	18.5	4.1	6.0
	両親ともパート	10	40.0	60.0	40.0	-	10.0	10.0
	両親とも無業	10	-	20.0	40.0	20.0	-	30.0

4 病気・病後時の対応について

問 13 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありましたか。

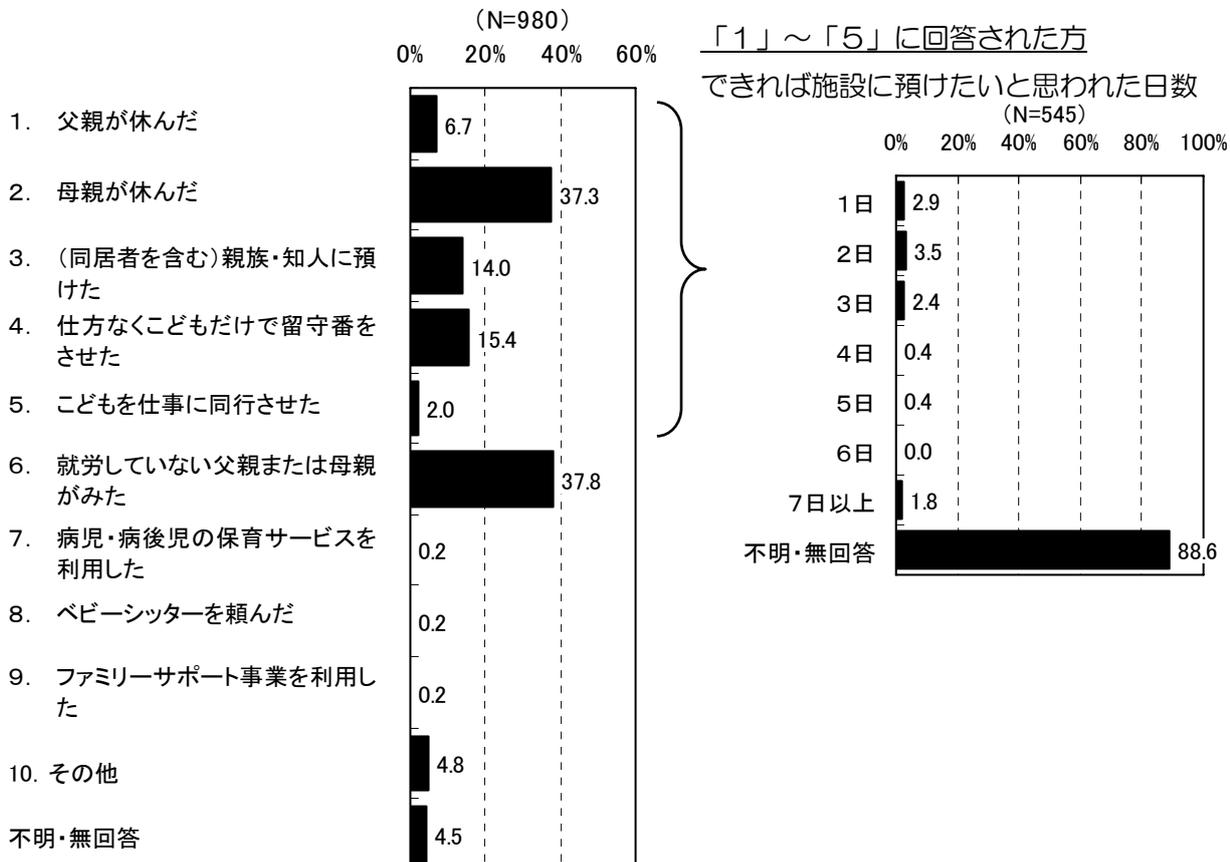
「1. あった」が56.1%と半数を超えている。



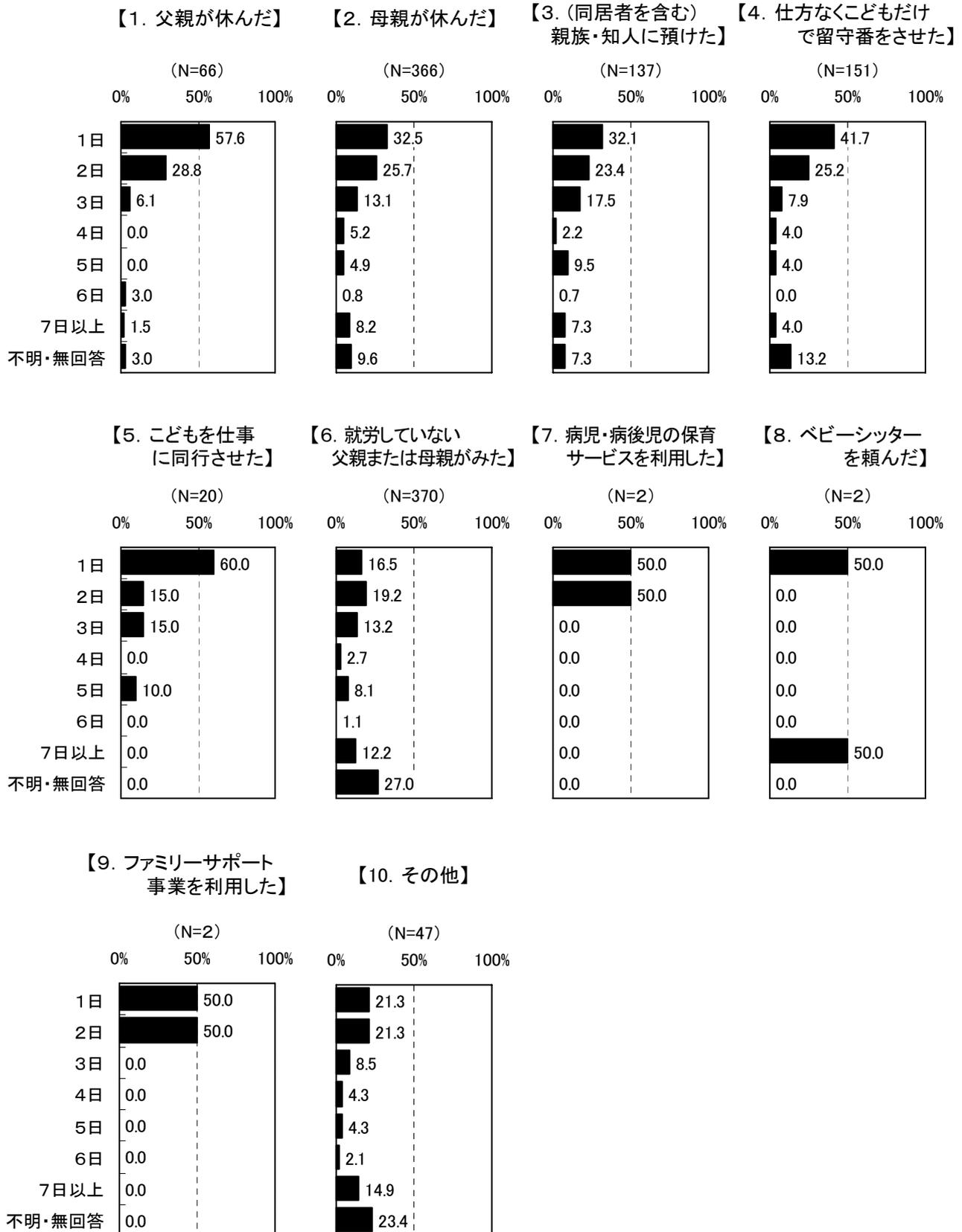
問 13-1 問 13 で「1」を選ばれた方におうかがいします。

この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。（あてはまるものすべて）

「6. 就労していない父親または母親がみた」が37.8%と最も高く、次いで「2. 母親が休んだ」が37.3%と高くなっている。



〔対処方法別日数〕



【こどもの学年別，家族類型別】

こどもの学年別にみると、「1年生」「2年生」「5年生」「6年生」では「就労していない父親または母親がみた」、「3年生」と「4年生」では「母親が休んだ」の割合が最も高くなっている。

家族類型別にみると、「専業主婦（夫）」と「両親とも無業」では「就労していない父親または母親がみた」、その他の区分では「母親が休んだ」の割合が最も高くなっている。

単位：%

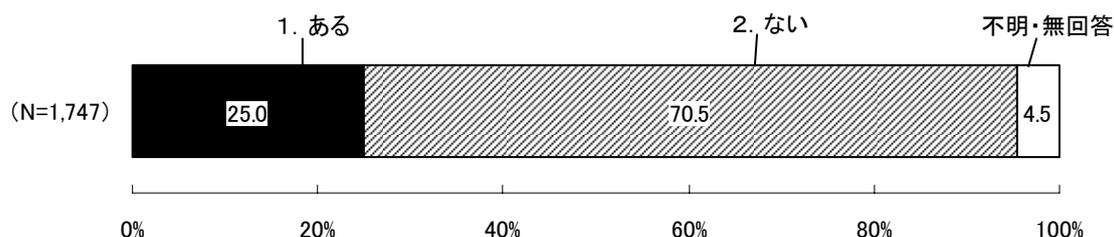
		回答者数 (人)	父親が 休んだ	母親が 休んだ	(同居者を含む)親族・知 人に預けた	仕方なくこど もだけで留守 番をさせた	こどもを仕事 に同行させた	就労していな い父親または 母親が みた
学年別	1年生	148	8.1	35.1	14.2	6.1	2.0	43.2
	2年生	177	8.5	37.3	16.9	10.2	2.8	41.2
	3年生	184	7.1	45.1	15.8	13.0	3.8	35.3
	4年生	149	9.4	46.3	12.1	18.1	2.0	33.6
	5年生	131	3.1	29.0	15.3	20.6	0.8	35.1
	6年生	158	4.4	31.6	10.1	26.6	-	35.4
家族類型別	ひとり親	89	3.4	41.6	24.7	23.6	3.4	15.7
	共働き	145	16.6	63.4	29.0	17.2	6.2	4.8
	フルタイム・パート	263	6.8	57.8	16.7	27.0	1.5	11.8
	専業主婦(夫)	278	1.4	5.8	1.4	2.5	-	84.9
	両親ともパート	6	16.7	83.3	16.7	-	-	16.7
	両親とも無業	5	-	-	-	-	-	80.0

		回答者数 (人)	病児・病後児 の保育サー ビスを利用し た	ベビーシッ ターを頼んだ	ファミリーサ ポート事業を 利用した	その他	不明・無回答
学年別	1年生	148	0.7	-	-	4.1	2.7
	2年生	177	-	0.6	-	5.6	4.0
	3年生	184	0.5	0.5	1.1	3.8	6.0
	4年生	149	-	-	-	4.7	3.4
	5年生	131	-	-	-	6.9	6.1
	6年生	158	-	-	-	4.4	3.8
家族類型別	ひとり親	89	-	-	-	5.6	3.4
	共働き	145	1.4	0.7	0.7	8.3	1.4
	フルタイム・パート	263	-	0.4	0.4	6.1	3.0
	専業主婦(夫)	278	-	-	-	1.4	6.1
	両親ともパート	6	-	-	-	-	-
	両親とも無業	5	-	-	-	20.0	-

5 宿泊を伴わない一時預かりについて

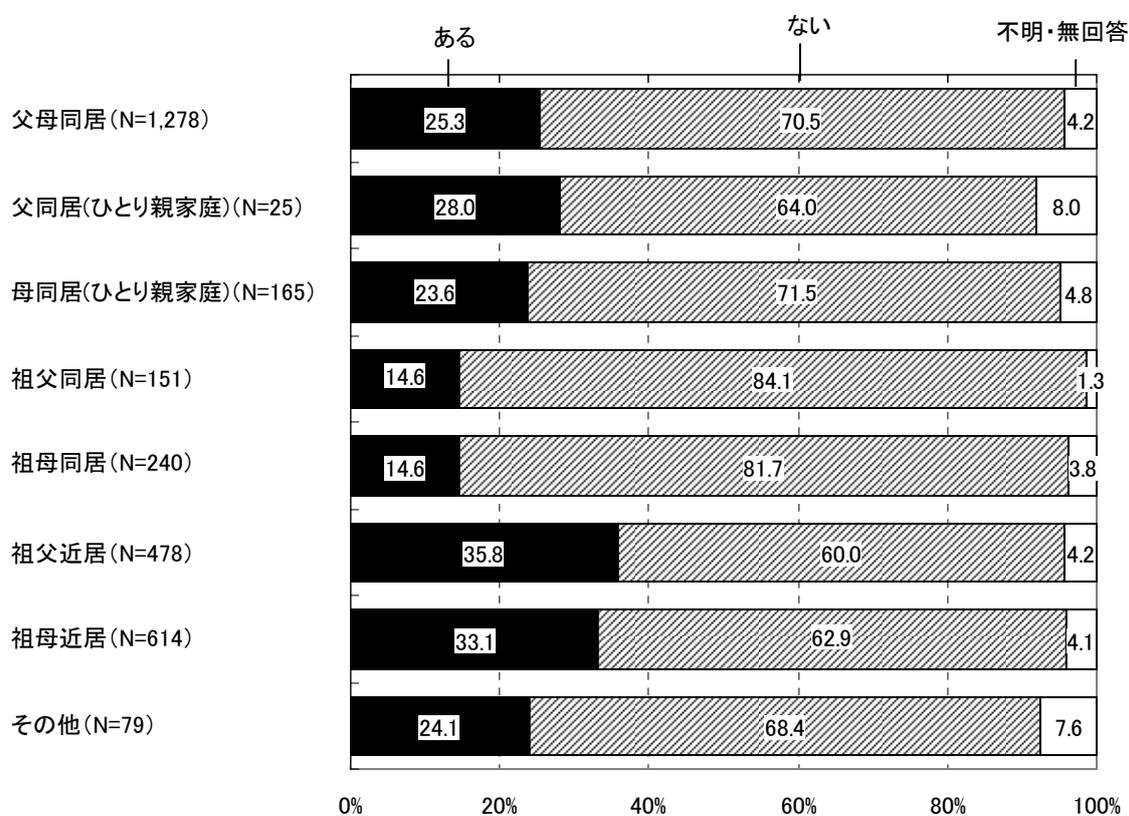
問 14 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や保護者の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。

「1. ある」が25.0%となっている。



【同居・近居の状況別】

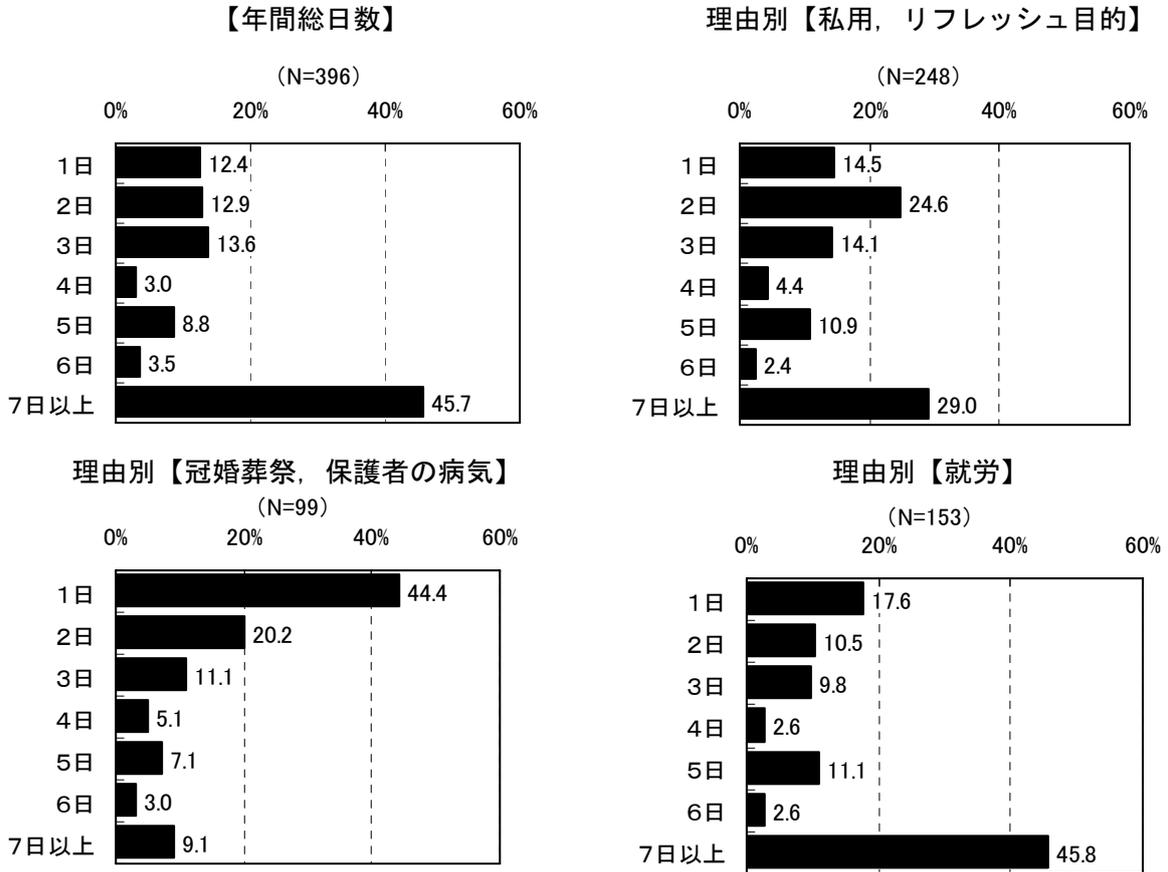
同居・近居の状況別にみると、「祖父近居」については、他の区分と比較して「ある」の割合が高くなっている。



〔こどもを家族以外に預けた日数〕

預けた年間総日数については「7日以上」が約4割以上と最も高くなっている。

理由別では、「私用，リフレッシュ目的」では「7日以上」，「冠婚葬祭，保護者の病気」では「1日」，「就労」では「7日以上」がそれぞれ最も高くなっている。

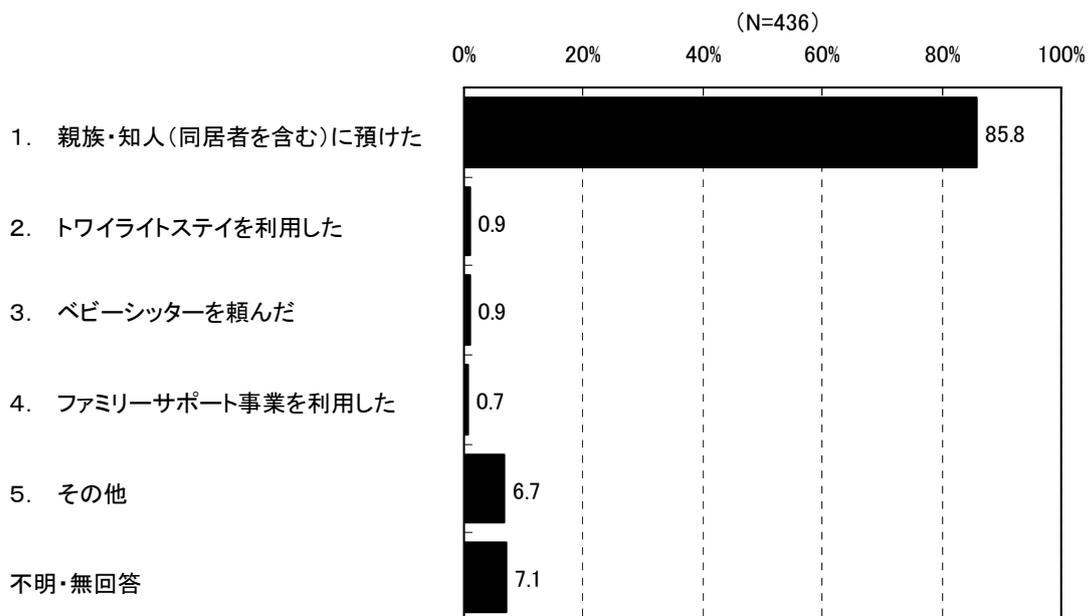


※不明・無回答除く

問 14-1 問 14 で「1」を選ばれた方におうかがいします。

この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。(あてはまるものすべて)

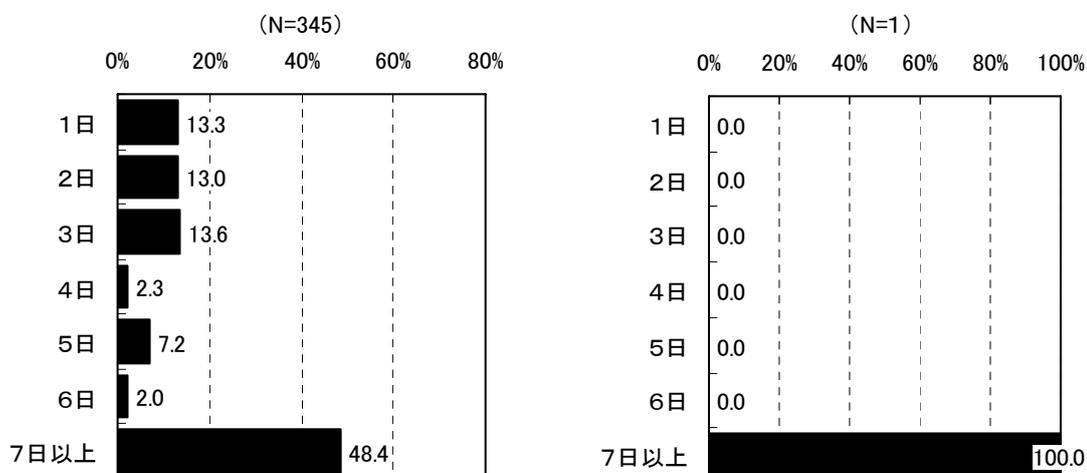
この1年間に、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことがある方の対処方法については「1. 親族・知人(同居者を含む)に預けた」が8割以上を占めている。



〔対処方法別日数〕

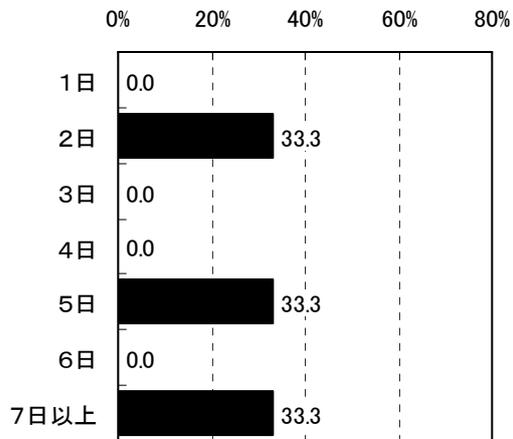
対処方法別日数については、すべての対処方法で「7日以上」が最も多くなっている。

【1. 親族・知人(同居者を含む)に預けた】 【2. トワイライトステイを利用した】



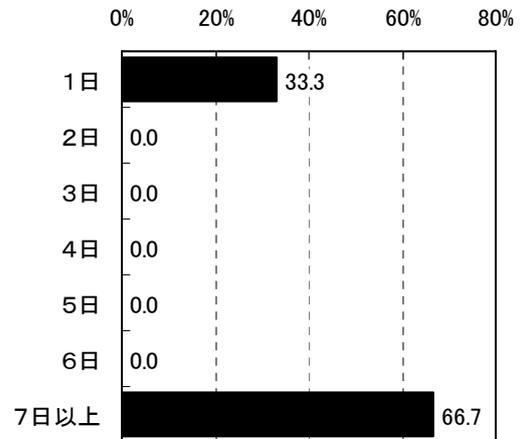
【3. ベビーシッターを頼んだ】

(N=3)



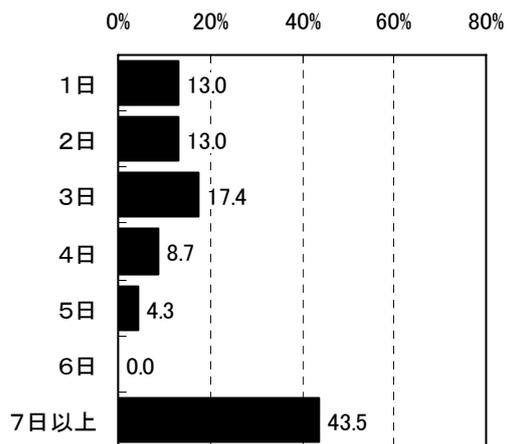
【4. ファミリーサポート事業を利用した】

(N=3)



【5. その他】

(N=23)

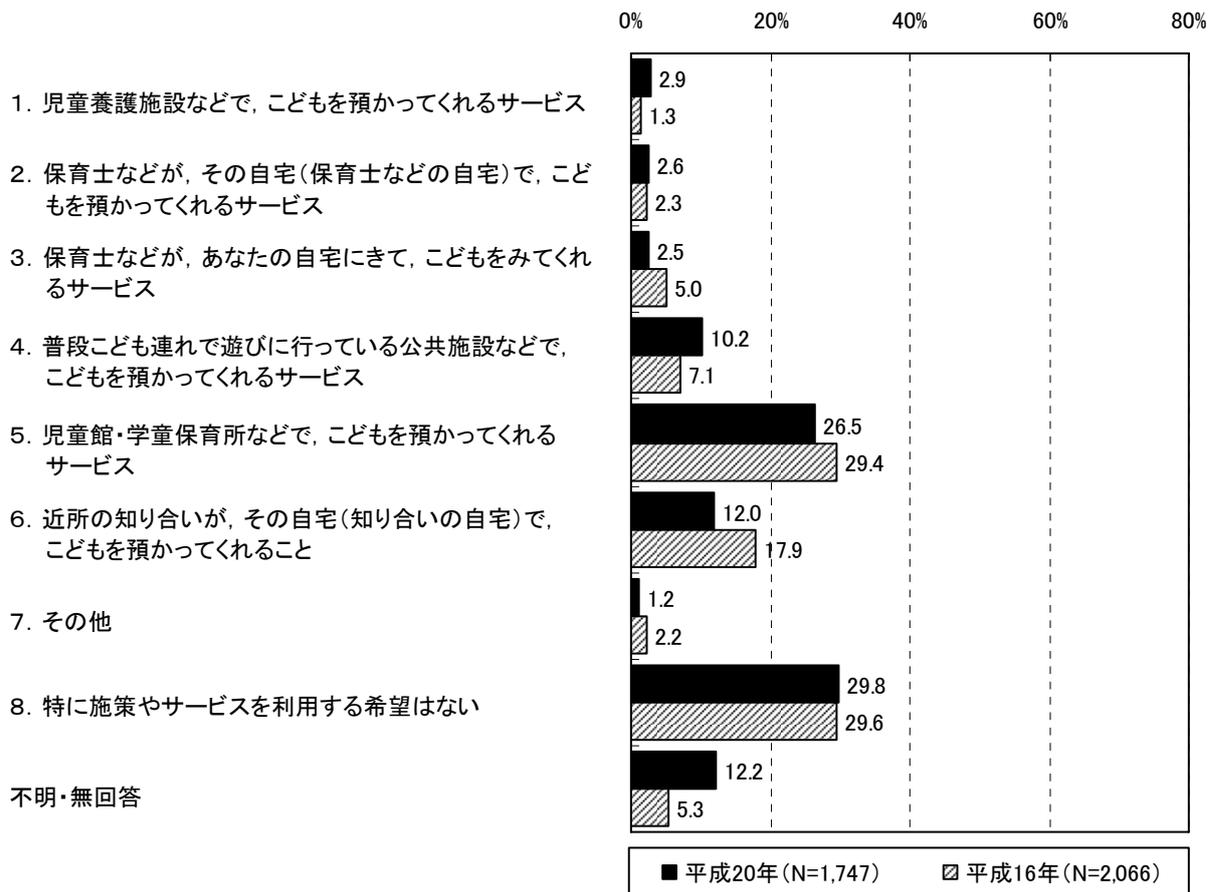


※不明・無回答除く

問 15 日中（宿泊を伴わない時間帯）に一時的にお子さんを預けたい場合、どのような子育て支援施策・サービスを最も利用したいと思いますか。

「8. 特に施策やサービスを利用する希望はない」が29.8%と最も高く、次いで「5. 児童館・学童保育所などで、子どもを預かってくれるサービス」が26.5%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



【こどもの学年別】

こどもの学年別にみると、「1年生」～「3年生」では「児童館・学童保育所などで、こどもを預かってくれるサービス」、「4年生」～「6年生」では「特に施策やサービスを利用する希望はない」の割合が最も高くなっている。

単位：%

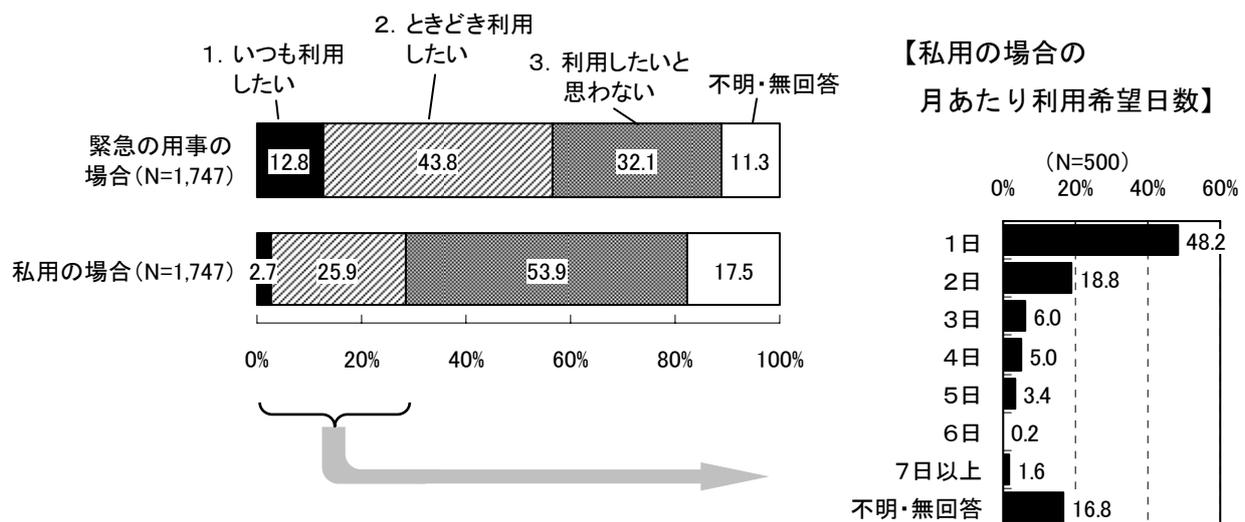
		回答者数 (人)	児童養護施設などで、こどもを預かってくれるサービス	保育士などが、その自宅(保育士などの自宅)で、こどもを預かってくれるサービス	保育士などが、あなたの自宅にきて、こどもをみてくれるサービス	普段こども連れで遊びに行っている公共施設などで、こどもを預かってくれるサービス	児童館・学童保育所などで、こどもを預かってくれるサービス
学年別	1年生	270	4.4	3.3	1.9	12.2	37.0
	2年生	277	2.9	1.8	4.0	11.6	33.6
	3年生	297	2.7	3.0	3.0	10.1	29.6
	4年生	282	3.9	3.5	1.8	10.3	20.9
	5年生	265	2.3	0.8	1.9	9.4	21.5
	6年生	300	1.3	3.3	3.0	8.0	17.3

		回答者数 (人)	近所の知り合いが、その自宅(知り合いの自宅)で、こどもを預かってくれること	その他	特に施策やサービスを利用する希望はない	不明・無回答
学年別	1年生	270	12.2	1.5	18.5	8.9
	2年生	277	14.1	1.4	17.3	13.4
	3年生	297	11.4	1.3	26.3	12.5
	4年生	282	9.6	1.1	35.5	13.5
	5年生	265	13.2	1.5	36.6	12.8
	6年生	300	12.0	0.3	43.3	11.3

問 15-1 上記のような施策やサービスをどの程度利用したいと思いますか。緊急の用事（冠婚葬祭，保護者・家族の病気など）と私用（美容院，習い事，趣味の活動など）の別にお答えください。

緊急の用事の場合は「2. ときどき利用したい」が4割を超えているが，私用の場合は「3. 利用したいと思わない」が半数を占めている。

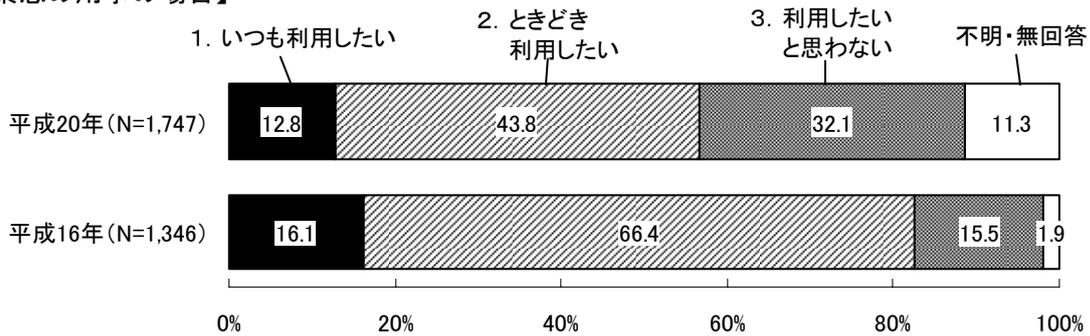
私用の場合の1月あたりの利用希望日数は「1日」が半数近くを占めている。



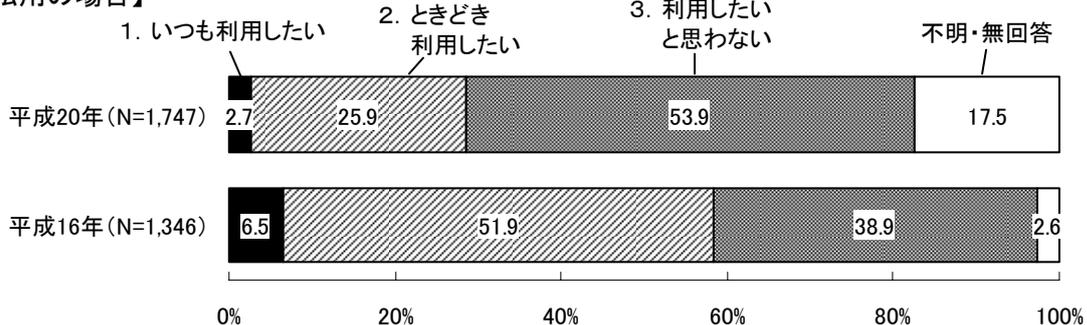
【平成16年調査との比較】

平成16年調査と比較すると，緊急の用事の場合について「3. 利用したいと思わない」が15.5%から32.1%と，16.6ポイント高くなっている。また，私用の場合も同様に「3. 利用したいと思わない」が38.9%から53.9%と，15.0ポイント高くなっている。

【緊急の用事の場合】



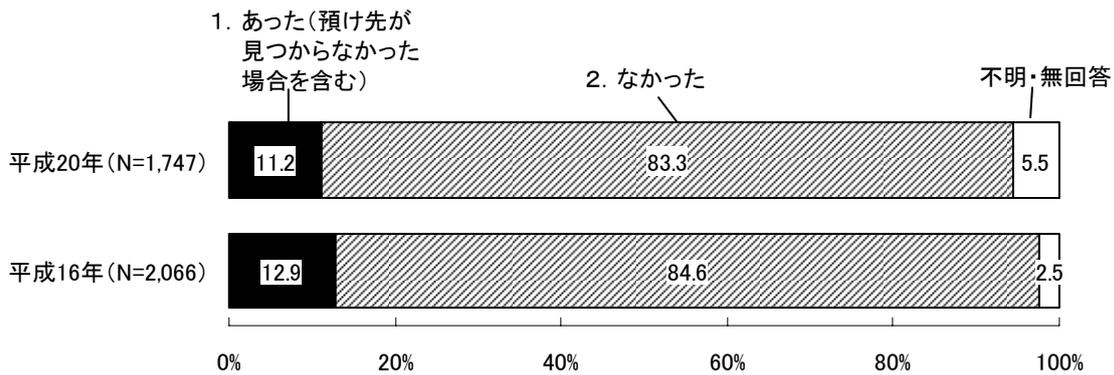
【私用の場合】



6 宿泊を伴う一時預かりについて

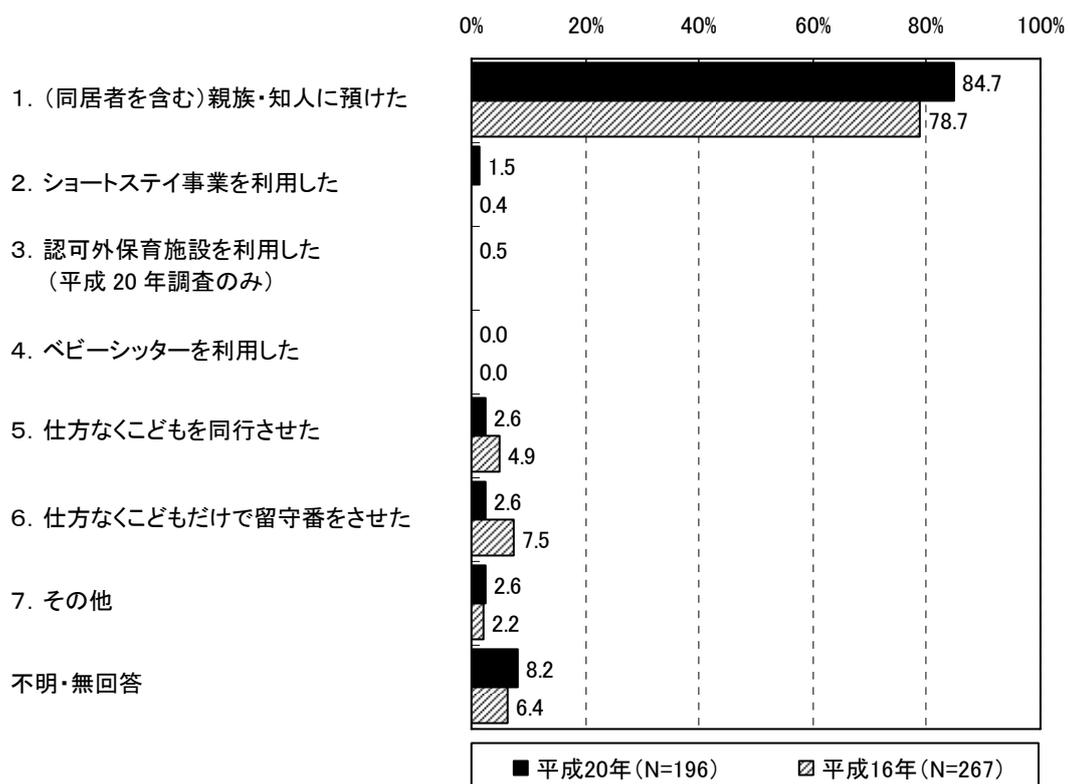
問 16 この 1 年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

「1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」が 11.2%となっている。
平成 16 年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



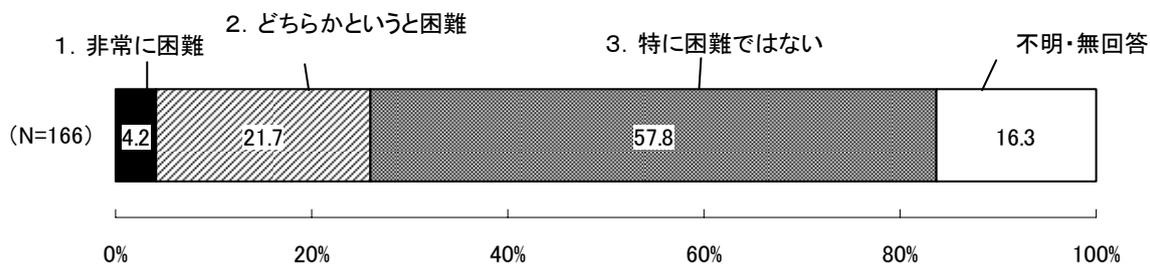
問 16-1 問 16 で「1」を選ばれた方におうかがいします。

この 1 年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。（あてはまるものすべて）



問 16-2 問 16-1 で「1」に回答された方におうかがいします。

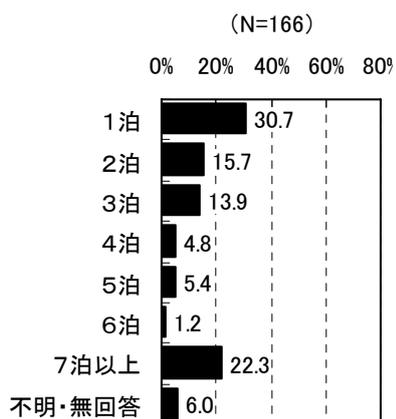
その際、その場合の困難度はどの程度でしたか。



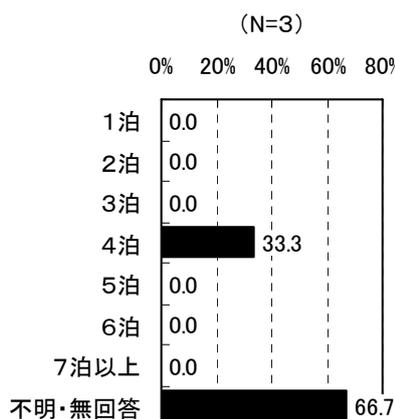
〔対処方法別泊数〕

「1. (同居者を含む) 親族・知人に預けた」場合の泊数では「1泊」～「3泊」までの比較的短い泊数が高いが、「7泊以上」も22.3%と高くなっている。

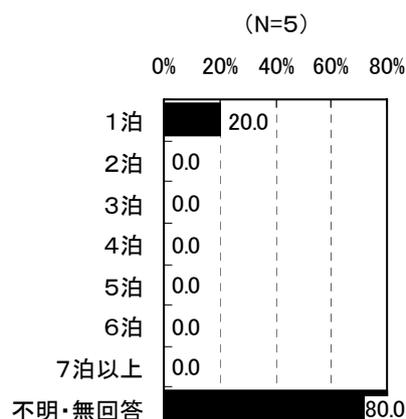
【1. (同居者を含む) 親族・知人に預けた】



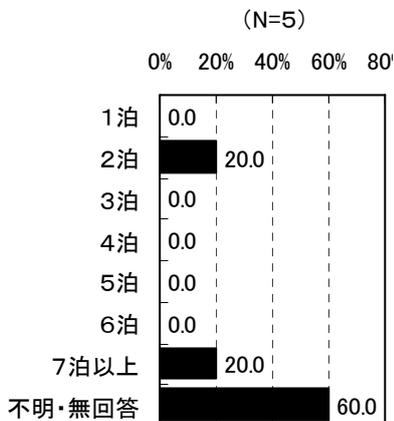
【2. ショートステイ 事業を利用した】



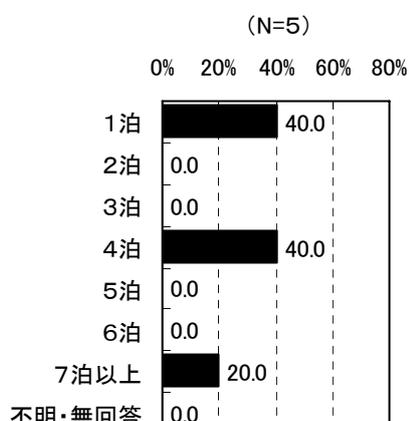
【5. 仕方なく子どもを同行させた】



【6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた】



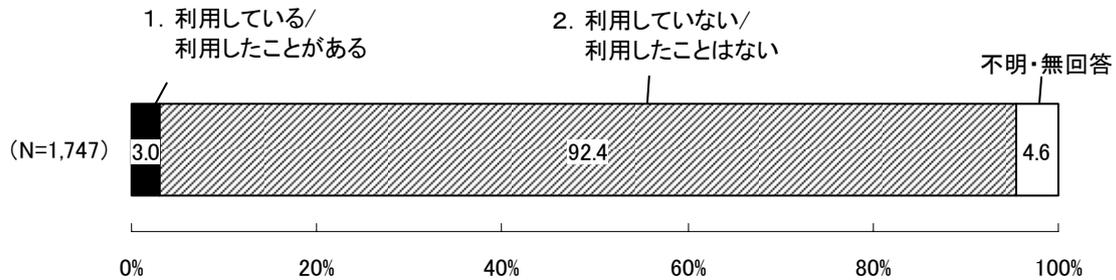
【7. その他】



※「3. 認可外保育施設を利用した」の回答はすべて不明・無回答、「4. ベビーシッターを利用した」は回答なし

7 ベビーシッターの利用について

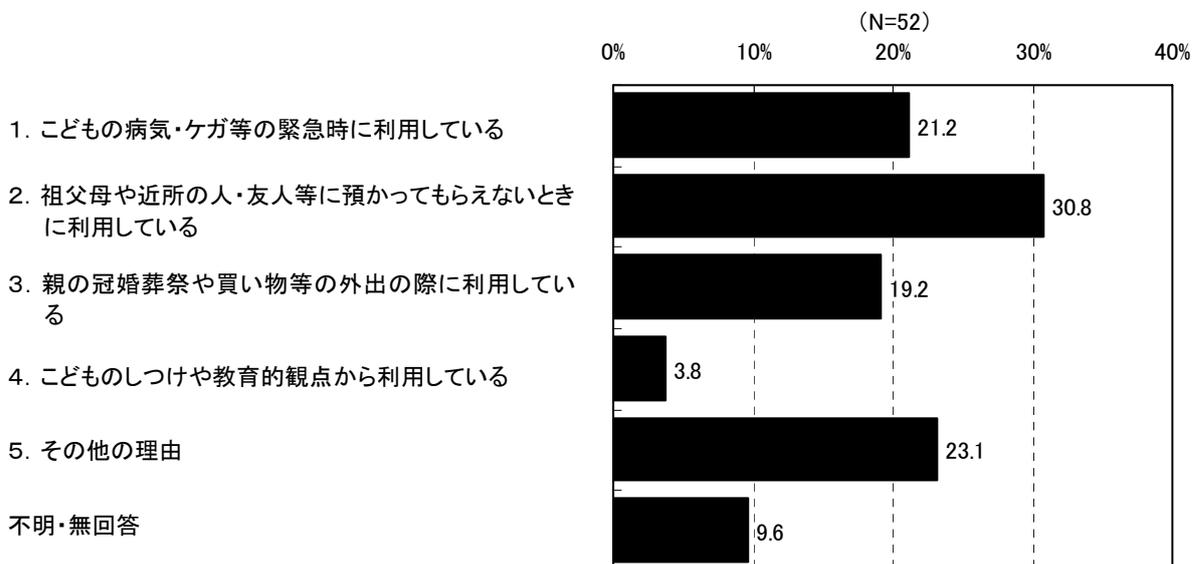
問 17 ベビーシッターを利用していますか。



問 17-1, 問 17-2 は, 問 17 で「1」を選ばれた方におうかがいします。

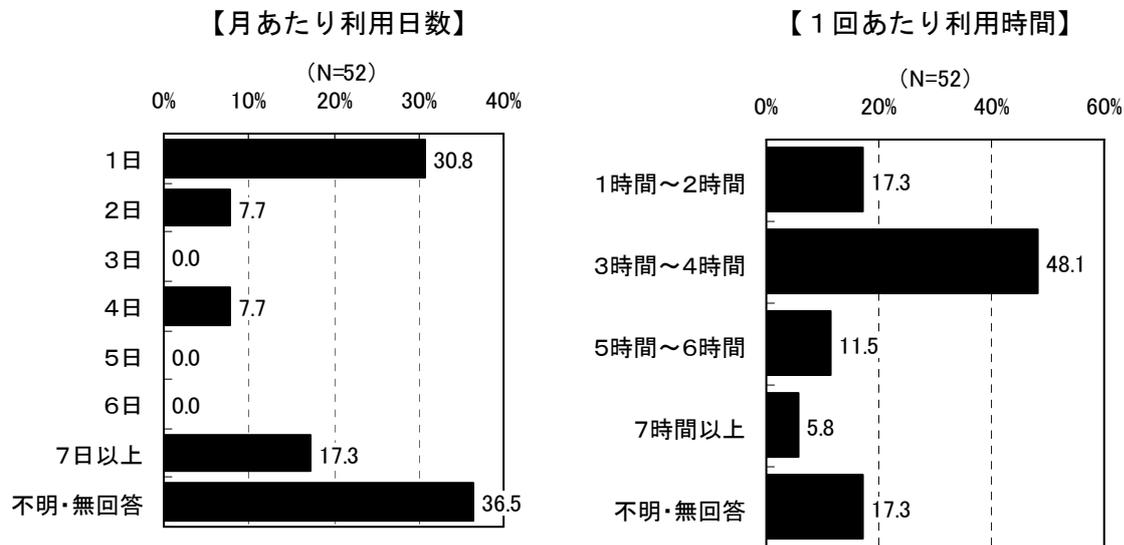
問 17-1 どのような目的で利用していますか。(あてはまるものすべて)

「2. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」が 30.8%と最も高くなっている。



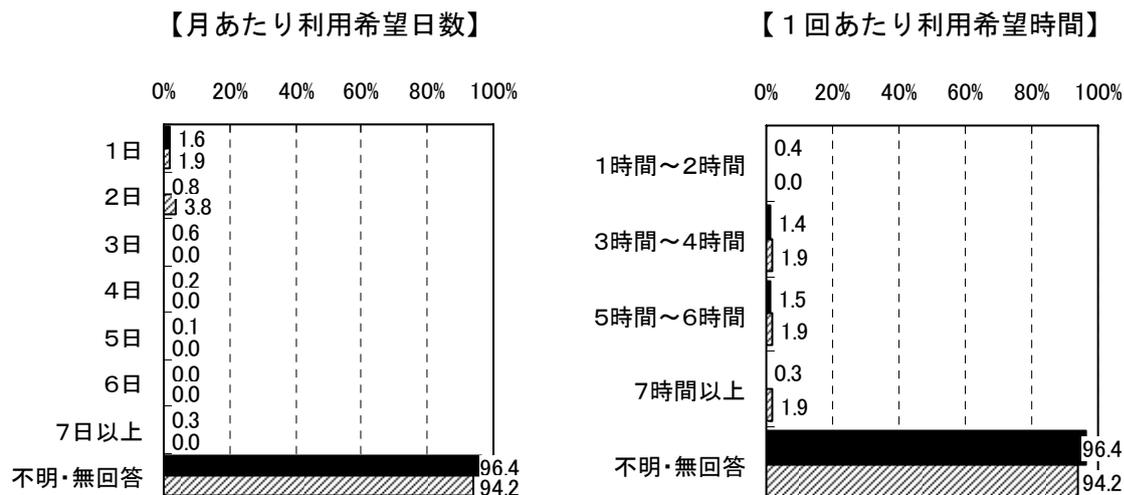
問 17-2 どれくらいの頻度で利用していますか。

月あたりの利用日数は、「1日」が30.8%と最も高く、1回あたりの利用時間は、「3時間～4時間」が48.1%と最も高くなっている。



問 17-3 (1) 今は利用していないができれば利用したい,あるいは,(2) 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方はどの程度利用したいと思いますか。

1月あたりの利用希望日数は、「1日」「2日」が高く、1回あたりの利用希望時間は、3時間～6時間が高くなっている。利用希望のない方は未記入のため、「不明・無回答」の割合が高くなっている。



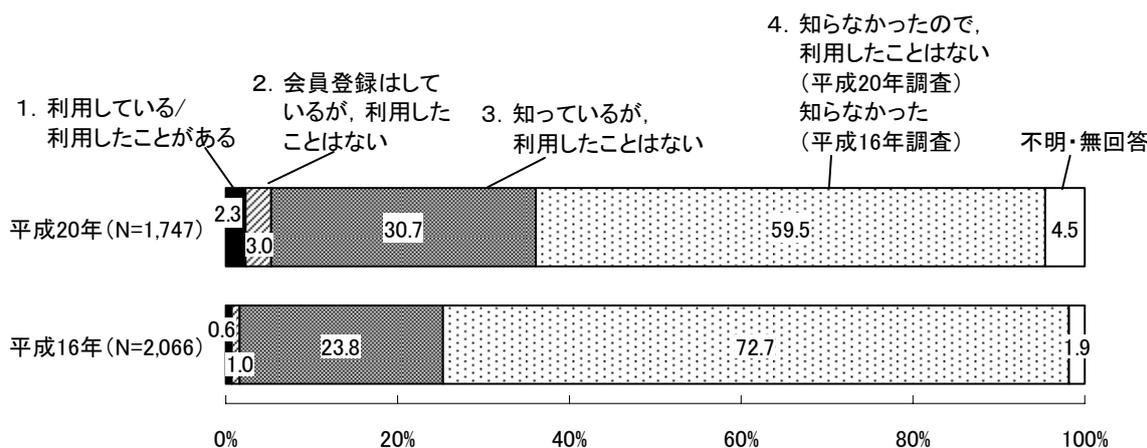
■ (1) 今は利用していないができれば利用したい (N=1,615)
 ▨ (2) 利用日数・回数を増やしたい (N=52)

8 ファミリーサポート事業の利用について

問 18 ファミリーサポート事業を利用していますか。

「4. 知らなかったので、利用したことはない」が59.5%、「3. 知っているが、利用したことはない」が30.7%と高くなっている。

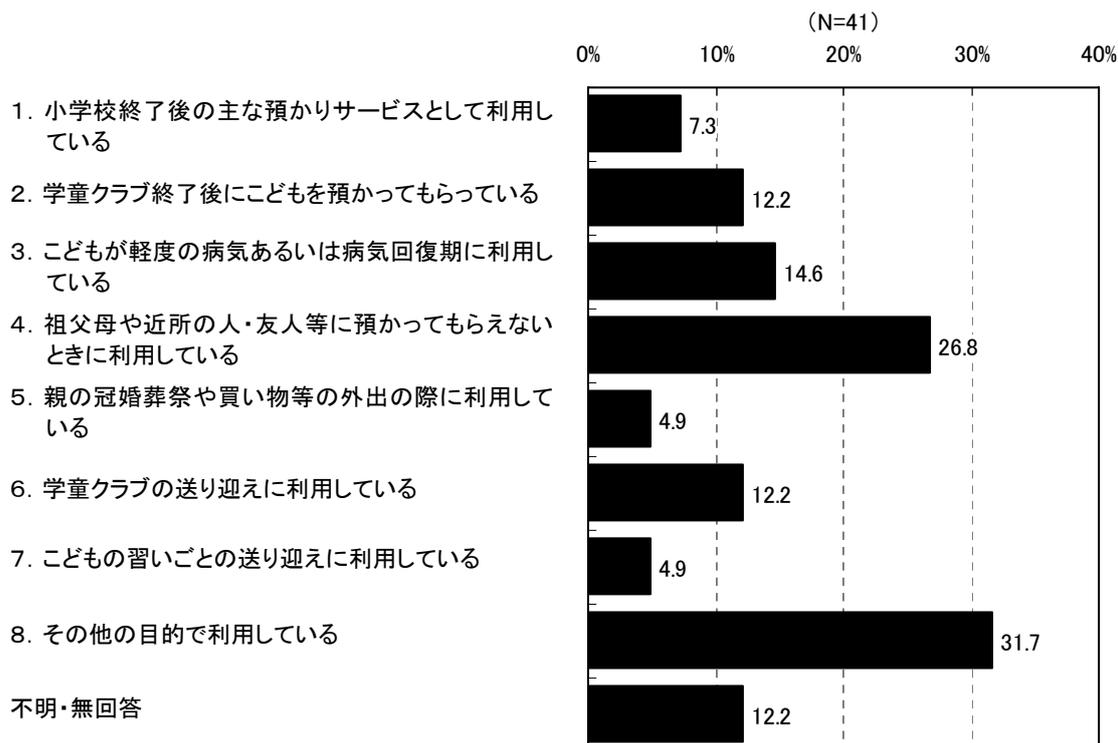
平成16年調査と比較すると、「4. 知らなかったので、利用したことはない（平成20年調査）／知らなかった（平成16年調査）」が13.2ポイント低くなっている。



問 18-1～問 18-3 は、問 18 で「1」を選ばれた方におうかがいします。

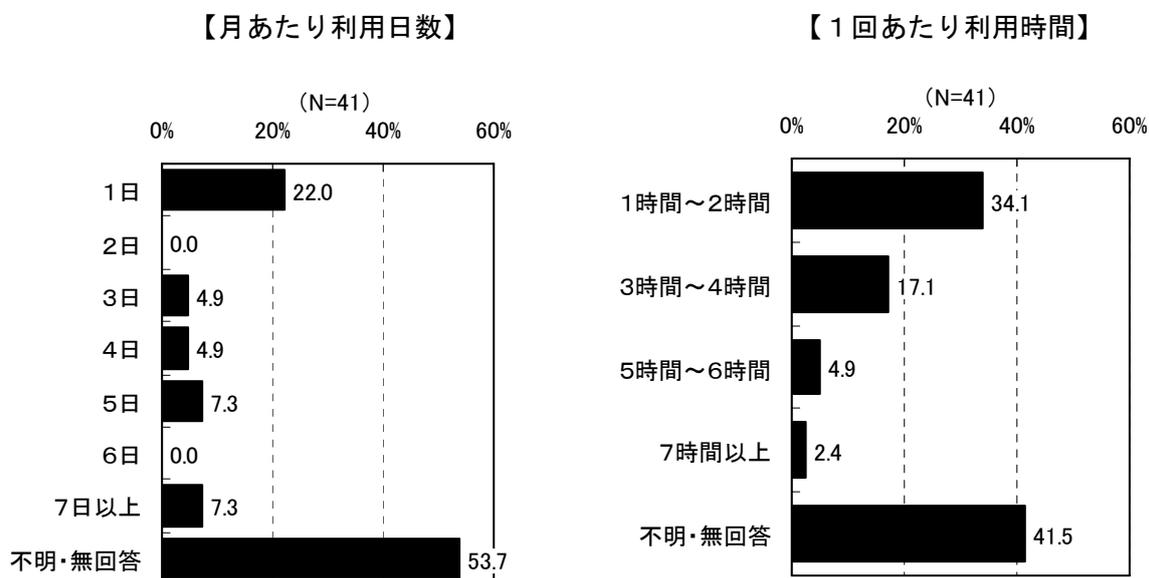
問 18-1 どのような目的で利用していますか。（あてはまるものすべて）

「4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」が26.8%、「3. こどもが軽度の病気あるいは病気回復期に利用している」が14.6%と高くなっている。



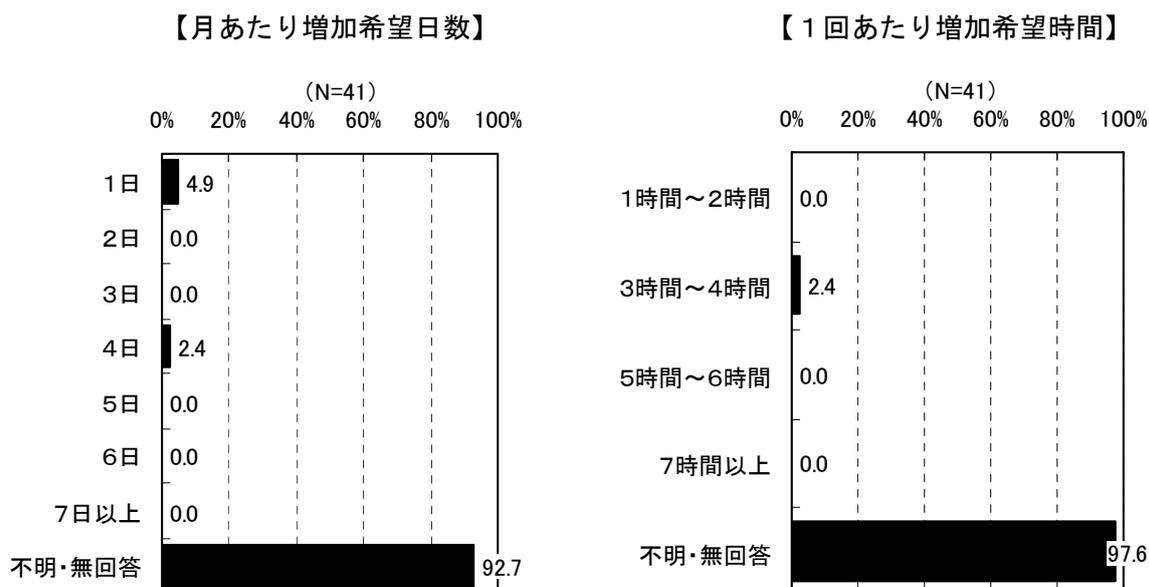
問 18-2 どれくらいの頻度で利用していますか。

1月あたりの利用日数は、「1日」が22.0%と高く、1回あたりの利用時間は、「1時間～2時間」が34.1%と高くなっている。



問 18-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方はどの程度増やしたいと思いますか。

1月あたりの増やしたい利用日数は「1日」、1回あたりの増やしたい利用時間は「3時間～4時間」が多くなっています。利用希望のない方は未記入のため、「不明・無回答」の割合が高くなっている。

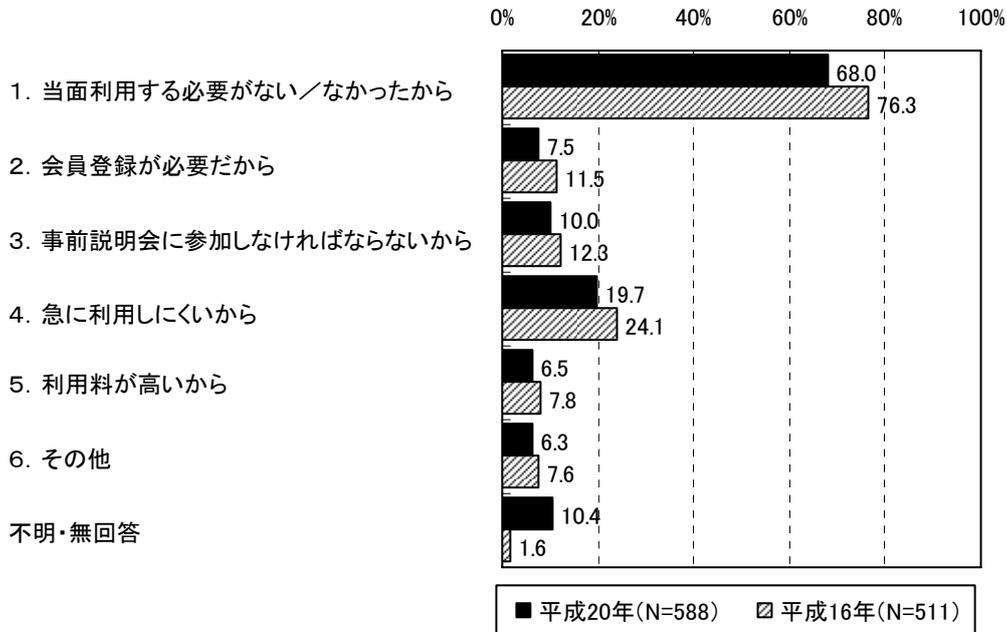


問 18-4 問 18 で「2」, 「3」を選ばれた方におうかがいします。

利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべて）

利用していない理由については「1. 当面利用する必要がない／なかったから」が 68.0%と最も高く、次いで「4. 急に利用しにくいから」が 19.7%となっている。

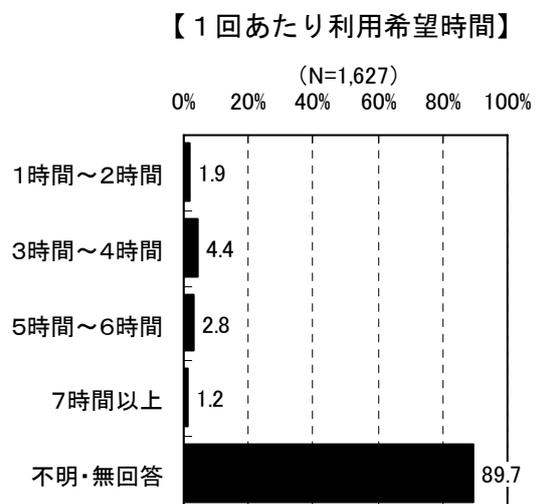
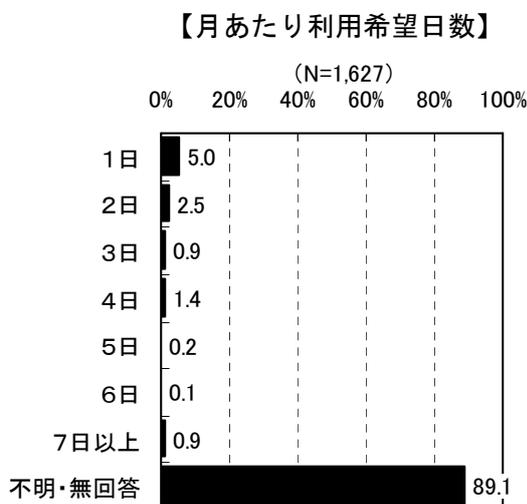
平成 16 年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



問 18-5 問 18 で「2」, 「3」, 「4」を選ばれた方におうかがいします。

今は利用していないが、できれば利用したい方は、どの程度利用したいと思いますか。

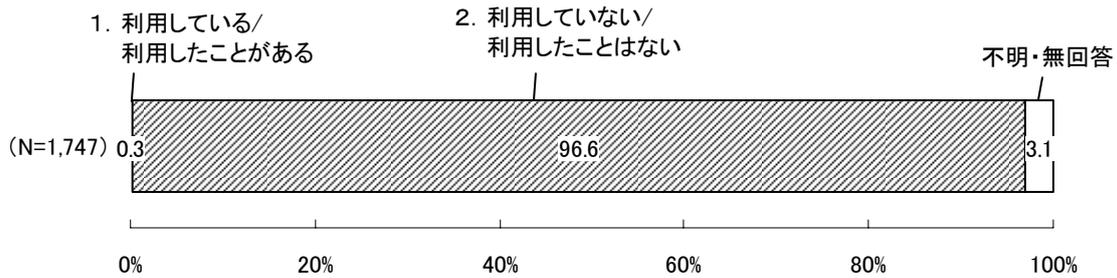
1 月あたりの利用希望日数は「1 日」、1 回あたりの利用時間は「3 時間～4 時間」が多くなっている。利用希望のない方は未記入のため、「不明・無回答」の割合が高くなっている。



9 トワイライトステイの利用について

問 19 トワイライトステイを利用していますか。

トワイライトステイの利用についてみると「2. 利用していない／利用したことはない」が96.6%と大半を占めている。



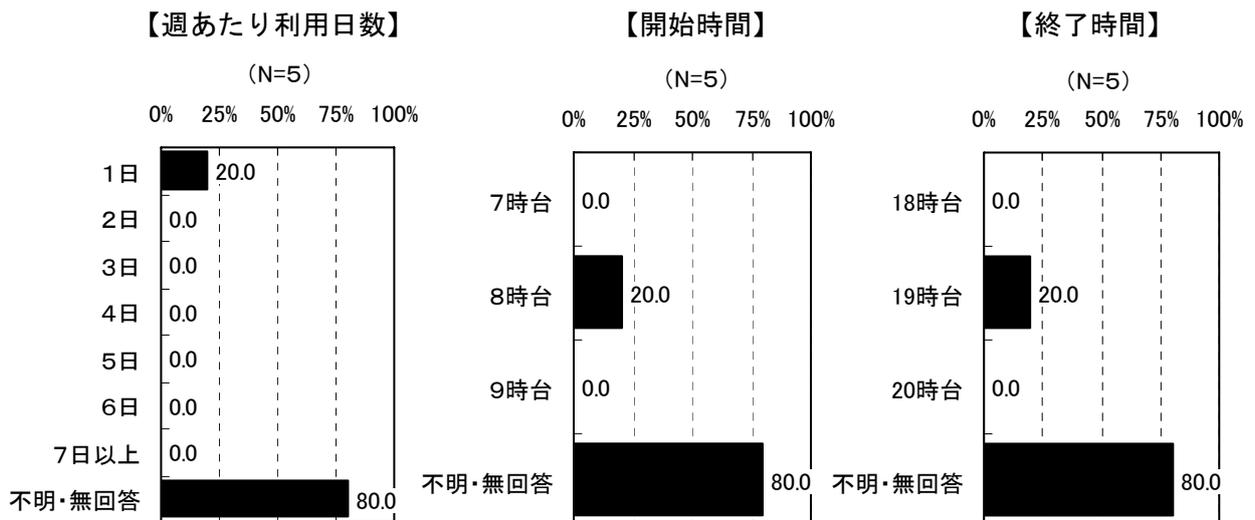
問 19-1 問 19 で「1」を選ばれた方におうかがいします。

どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。

〔利用頻度〕

利用している方の週あたり利用日数については「1日」が20.0%となっている。

開始時間については「8時台」が20.0%，終了時間については「19時台」が20.0%となっている。



問 19-2 今は利用していないができれば利用したい,あるいは,利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方はどの程度利用したいと思いませんか。

①利用希望

今は利用していないができれば利用したい方の利用希望日数については「1日」が最も高くなっている。

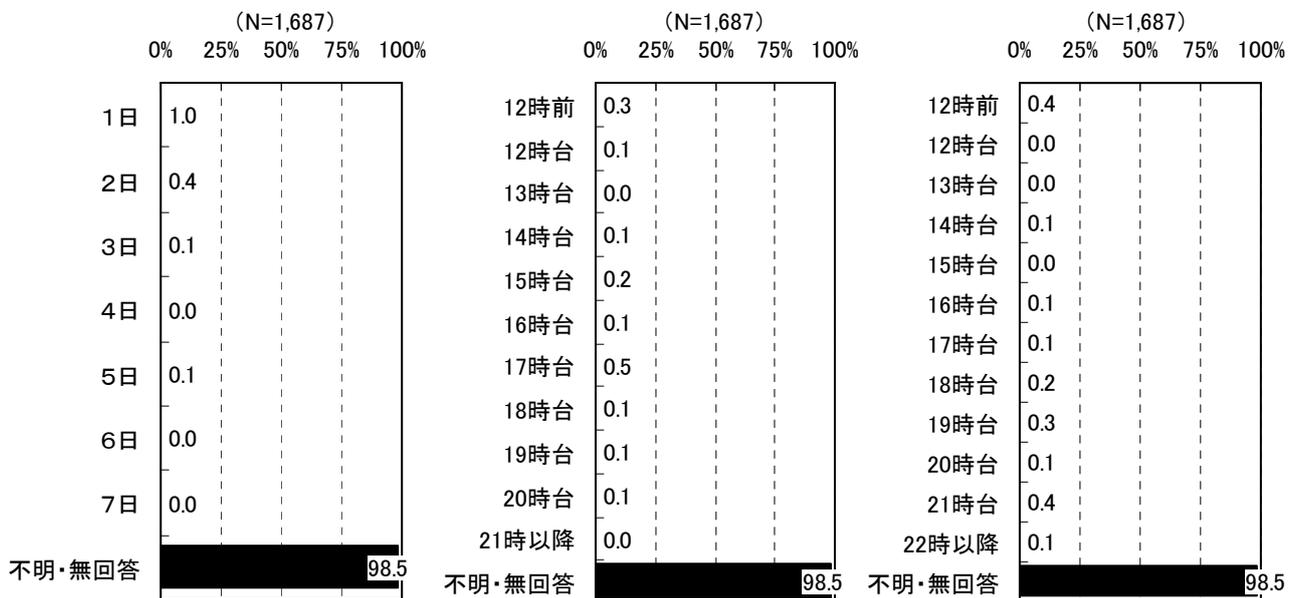
希望する開始時間については「17時台」が高く,終了時間については「12時前」,「21時台」が高くなっている。

利用希望のない方は未記入のため,「不明・無回答」の割合が高くなっている。

【利用希望日数】

【希望開始時間】

【希望終了時間】

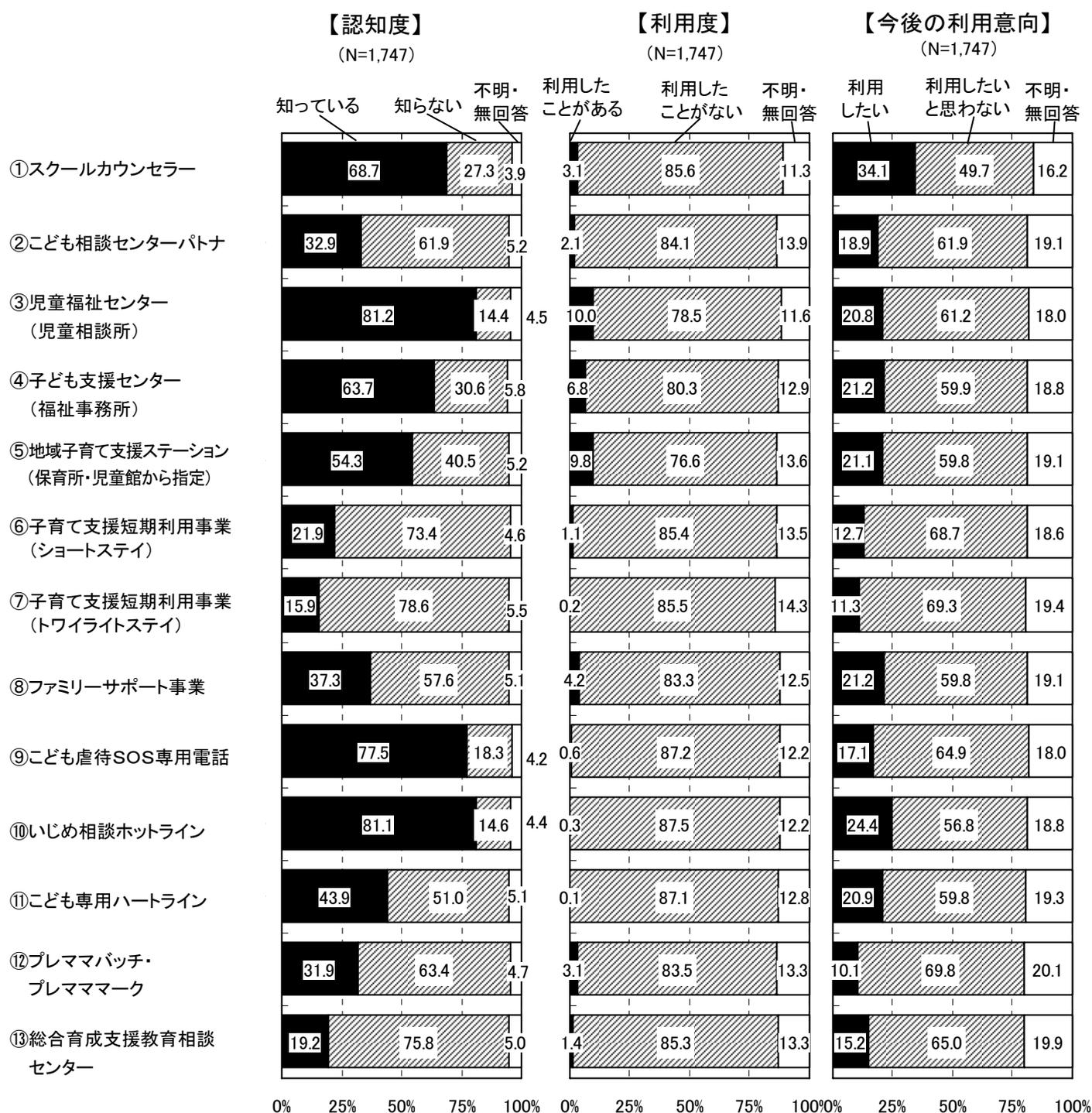


②増加希望

※回答者なし

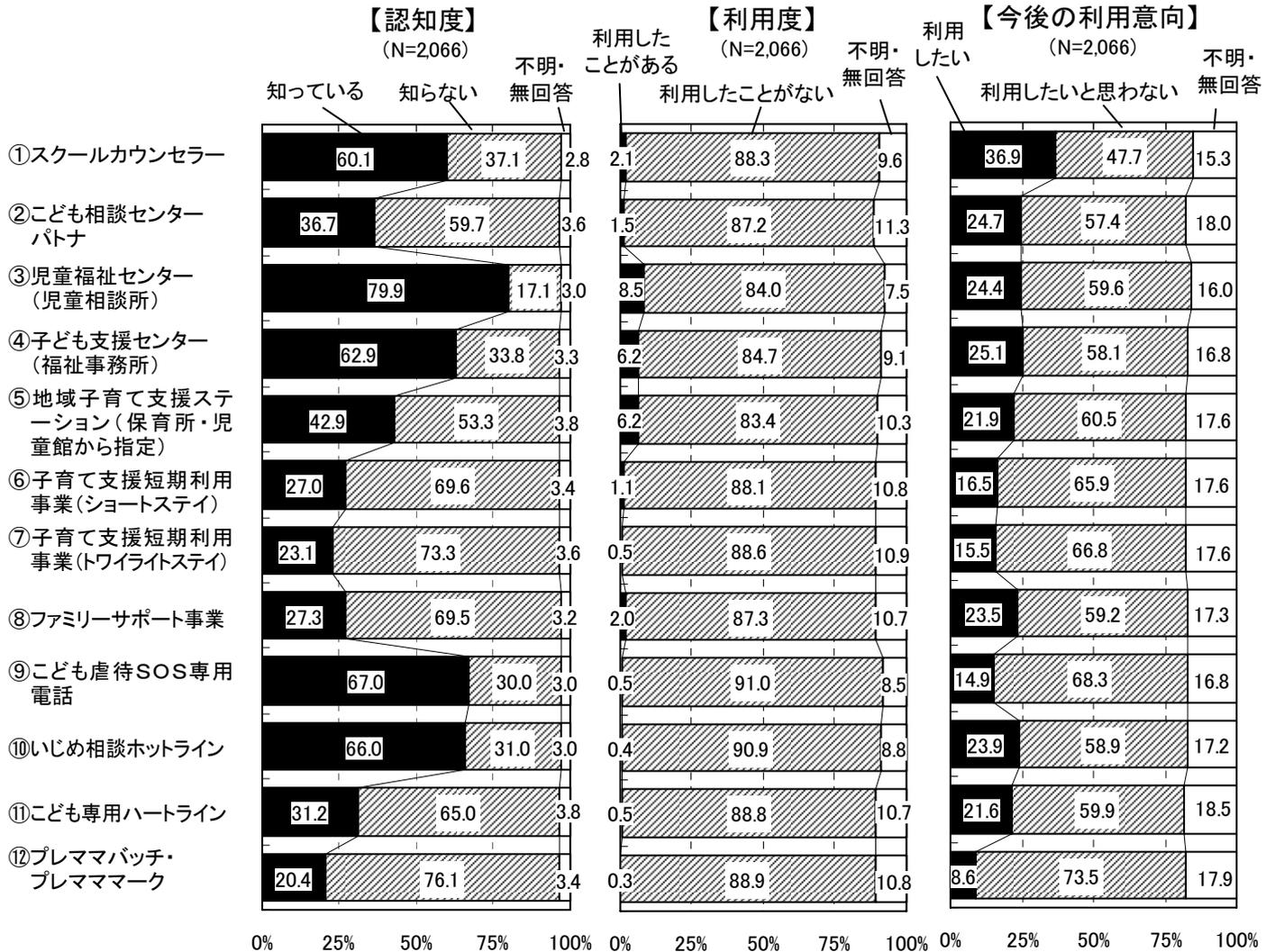
10 子育て支援施策・サービスの認知度， 利用度について

問 20 以下の①～⑬の子育て支援施策・サービスを知っていたり，これまでに利用したことがありますか。また，今後利用したいと思いますか。



平成 16 年調査と比較すると、認知度について「②こども相談センターパトナ」「⑥子育て支援短期利用事業（ショートステイ）」「⑦子育て支援短期利用事業（トワイライトステイ）」を除くすべての項目で平成 16 年調査より平成 20 年調査が高くなっている。利用度、今後の利用意向についてはほぼ同様の結果となっている。

【平成 16 年調査】

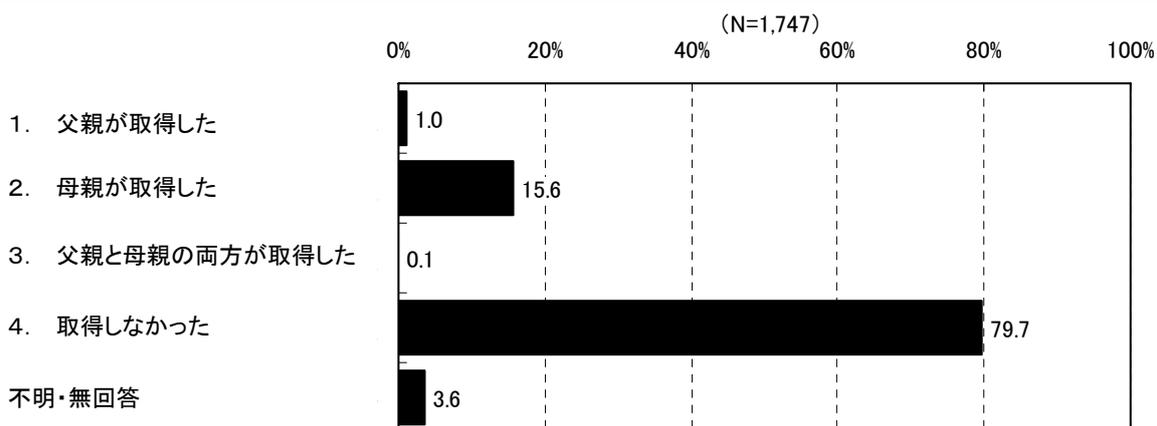


※「⑬総合育成支援教育相談センター」は平成 20 年調査のみ

11 子育てと仕事（育児休業制度の利用など）について

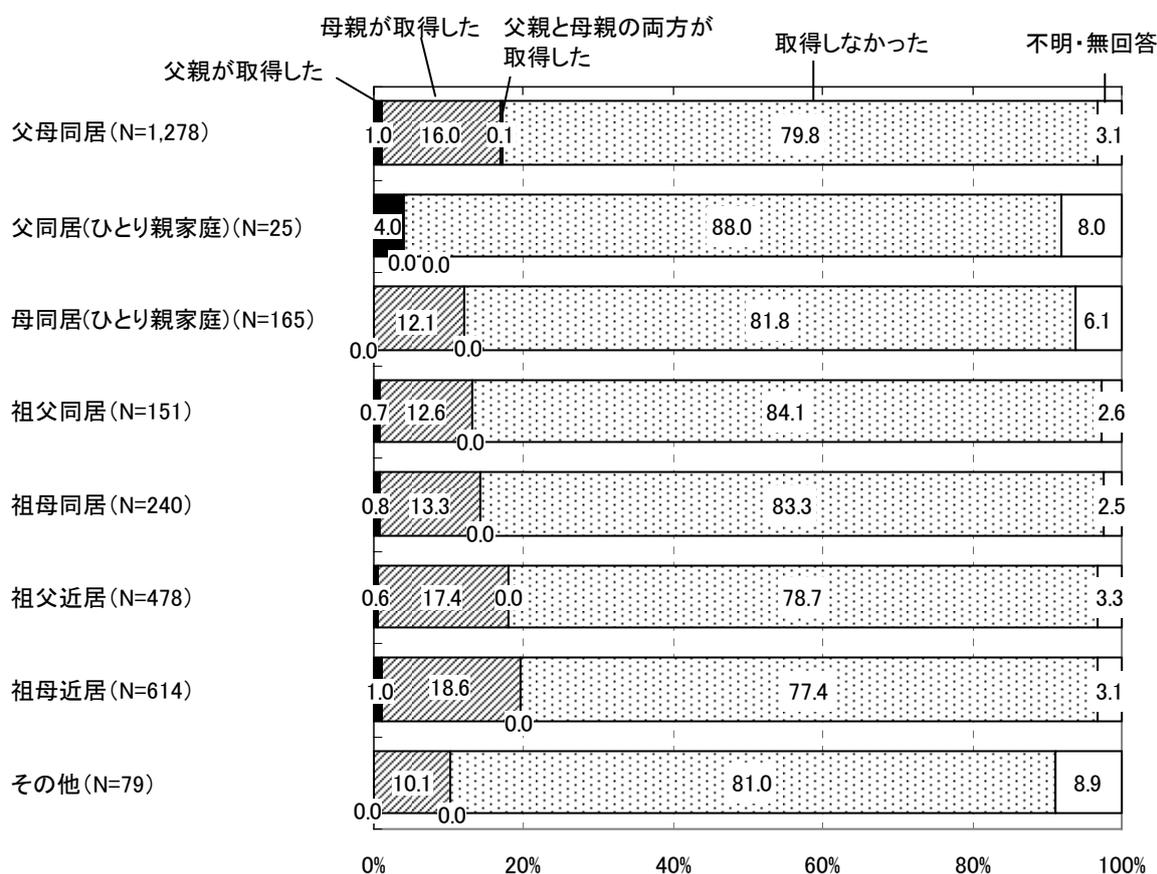
問 21 あて名のお子さんについて、父親または母親が育児休業を取得されましたか。

育児休業を取得したかについてみると「4. 取得しなかった」が79.7%と最も高く、次いで「2. 母親が取得した」が15.6%となっている。



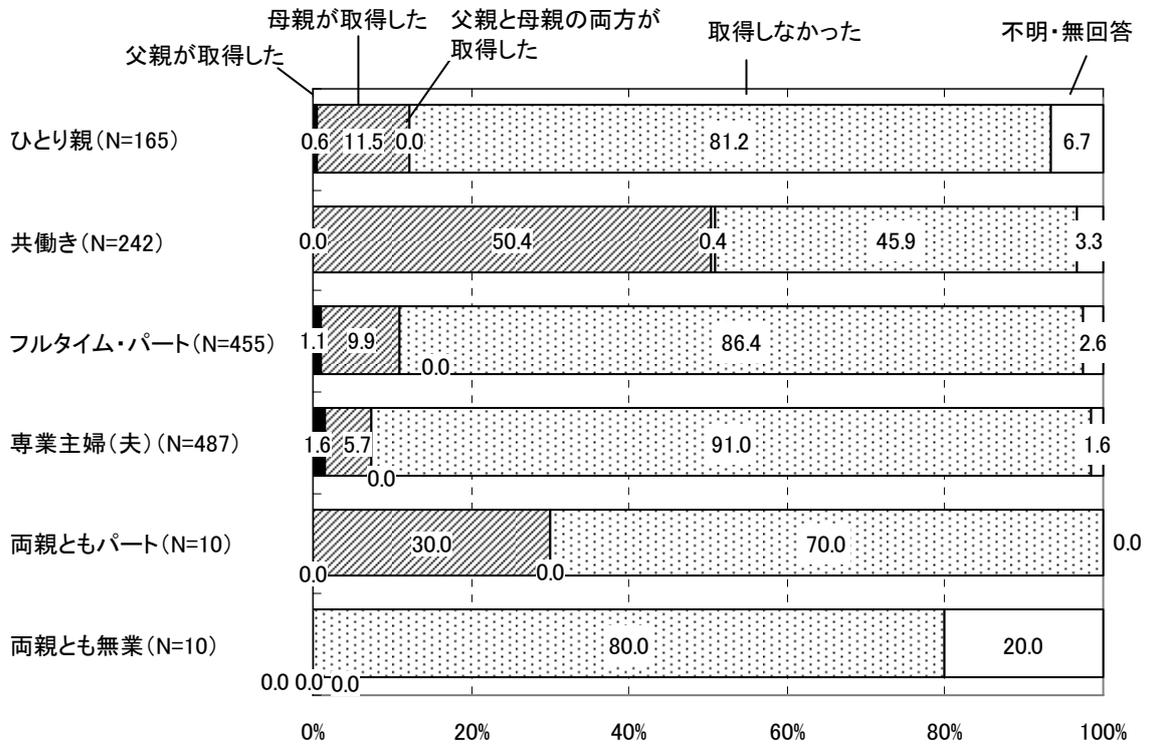
【同居・近居の状況別】

同居・近居の状況別にみると、「父同居（ひとり親家庭）」については、他の区分と比較して「取得しなかった」の割合が高くなっている。



【家族類型別】

家族類型別にみると、「共働き」については、他の区分と比較して「母親が取得した」の割合が半数と高くなっている。

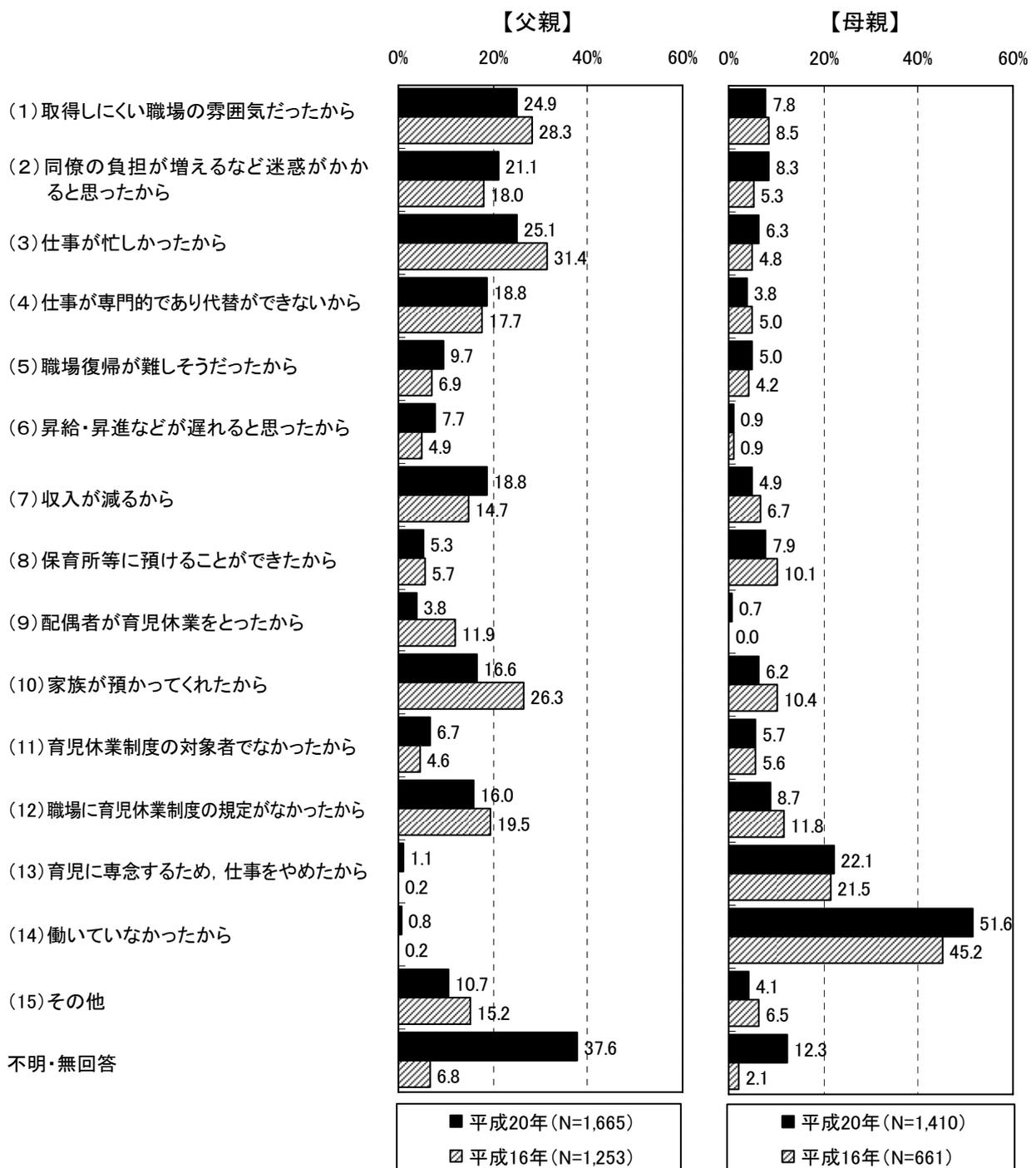


問 21-1 問 21 で「1」、「2」、「4」を選んだ方におうかがいします。

育児休業を取得しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべて)

育児休業を取得しなかった理由についてみると、「父親」では「(3) 仕事が忙しかったから」が 25.1%と最も高く、次いで「(1) 取得しにくい職場の雰囲気だったから」が 24.9%となっており、仕事のことを理由となっている。「母親」では「(14) 働いていなかったから」が 51.6%と最も高く、次いで「(13) 育児に専念するため、仕事をやめたから」が 22.1%となっている。

平成 16 年調査と比較すると、「父親」について「(10) 家族が預かってくれたから」が 26.3%から 16.6%と、9.7 ポイント低くなっている。また、「母親」については、ほぼ同様の結果となっている。



【家族類型別】

家族類型別にみると、「父親」については、「フルタイム・パート」「両親ともパート」「両親とも無業」では「取得しにくい職場の雰囲気だったから」、「ひとり親」「共働き」「専業主婦（夫）」では「仕事が忙しかったから」の割合が最も高くなっている。

「母親」については、すべての区分で「働いてなかったから」、「両親ともパート」では「取得しにくい職場の雰囲気だったから」、「共働き」では「保育所等に預けることができたから」も同じく、最も高い割合となっている。

単位：%

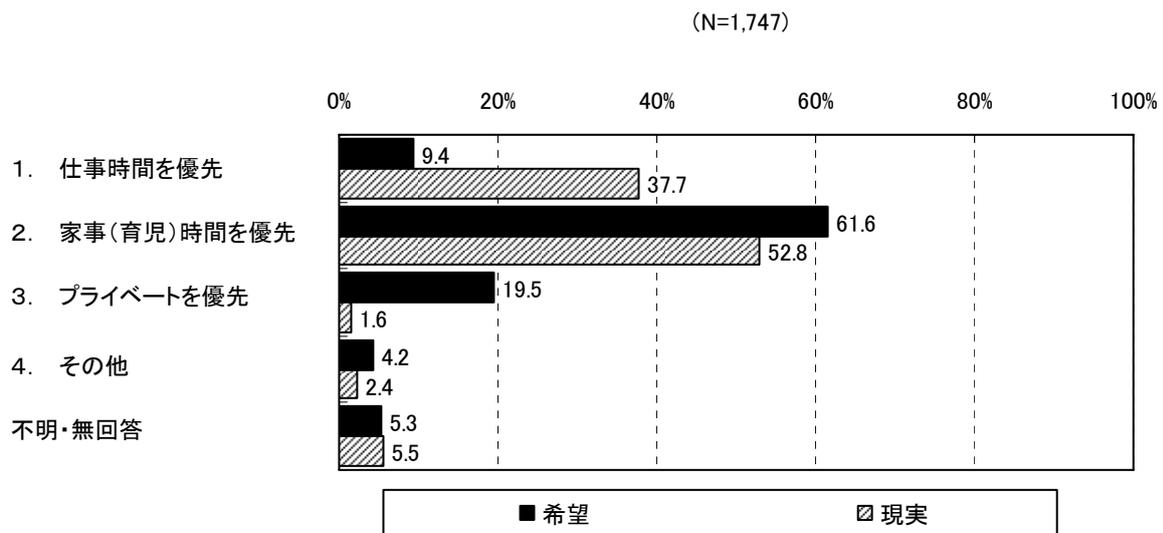
		回答者数 (人)	取得しにくい 職場の雰 囲気だっ たから	同僚の負担 が増えるな ど迷惑がか かると思っ たから	仕事が忙し かったから	仕事が専門 的であり代 替ができな いから	職場復帰が 難しそうだ ったから	昇給・昇進 などが遅れ ると思ったか ら	収入が減る から	保育所等に 預けることが できたから
家族類型別 (父親)	ひとり親	153	11.8	11.1	13.7	9.2	6.5	4.6	12.4	5.2
	共働き	233	15.5	15.5	17.6	14.6	7.3	5.6	13.3	9.4
	フルタイム・ パート	438	29.7	23.5	28.5	21.7	10.0	10.0	24.4	8.0
	専業主婦 (夫)	471	26.1	24.2	28.2	20.4	12.3	8.7	18.5	2.3
	両親ともパ ート	10	40.0	20.0	10.0	20.0	10.0	-	30.0	-
	両親とも無 業	8	50.0	50.0	37.5	25.0	12.5	25.0	50.0	-
家族類型別 (母親)	ひとり親	135	11.1	14.1	9.6	3.7	5.2	3.7	10.4	15.6
	共働き	111	17.1	15.3	17.1	12.6	8.1	0.9	10.8	25.2
	フルタイム・ パート	398	8.3	7.5	4.8	2.5	6.5	0.3	4.0	7.0
	専業主婦 (夫)	451	2.9	4.0	2.0	1.3	3.1	-	1.3	2.2
	両親ともパ ート	7	28.6	-	-	14.3	14.3	-	-	-
	両親とも無 業	8	-	-	-	-	-	-	-	-

		回答者数 (人)	配偶者が育 児休業をと ったから	家族が預 かってくれ たから	育児休業制 度の対象者 でなかった から	職場に育児 休業制度の 規定がな かったから	育児に専念 するため、 仕事をやめ たから	働いていな かったから	その他	不明・ 無回答
家族類型別 (父親)	ひとり親	153	2.6	7.8	3.3	12.4	2.0	-	3.9	68.0
	共働き	233	8.2	9.0	6.0	10.3	1.7	0.4	5.2	58.8
	フルタイム・ パート	438	3.0	14.4	8.0	19.6	0.5	0.7	11.6	29.9
	専業主婦 (夫)	471	2.8	24.4	6.2	17.2	1.3	0.8	14.0	25.5
	両親ともパ ート	10	-	10.0	20.0	10.0	-	-	20.0	30.0
	両親とも無 業	8	-	37.5	12.5	12.5	-	12.5	-	12.5
家族類型別 (母親)	ひとり親	135	0.7	8.9	8.1	13.3	9.6	34.8	5.2	19.3
	共働き	111	1.8	18.9	6.3	16.2	21.6	25.2	9.0	9.9
	フルタイム・ パート	398	0.5	5.8	9.3	11.8	31.4	51.5	3.3	9.3
	専業主婦 (夫)	451	0.2	2.0	1.1	3.3	20.8	65.0	1.6	11.8
	両親ともパ ート	7	14.3	-	-	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6
	両親とも無 業	8	-	-	-	-	25.0	87.5	-	-

問 22 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についておうかがいします。

「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についてみると、「希望」では「2. 家事（育児）時間を優先」が61.6%と最も高く、「現実」でも52.8%と最も高くなっており、希望と現実が近い状態となっている。

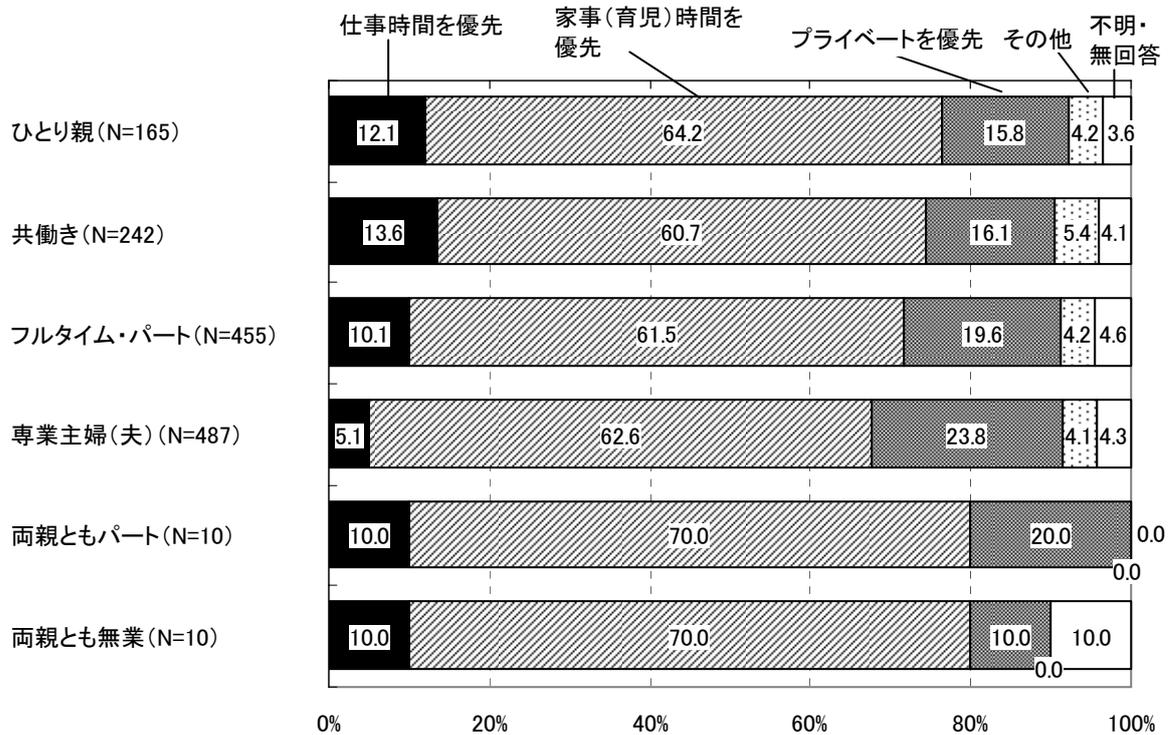
一方、「1. 仕事時間を優先」については、「現実」が「希望」より28.3ポイント高く、「3. プライベートを優先」では17.9ポイント「希望」が「現実」より高くなっており、希望と現実の差が大きくなっている。



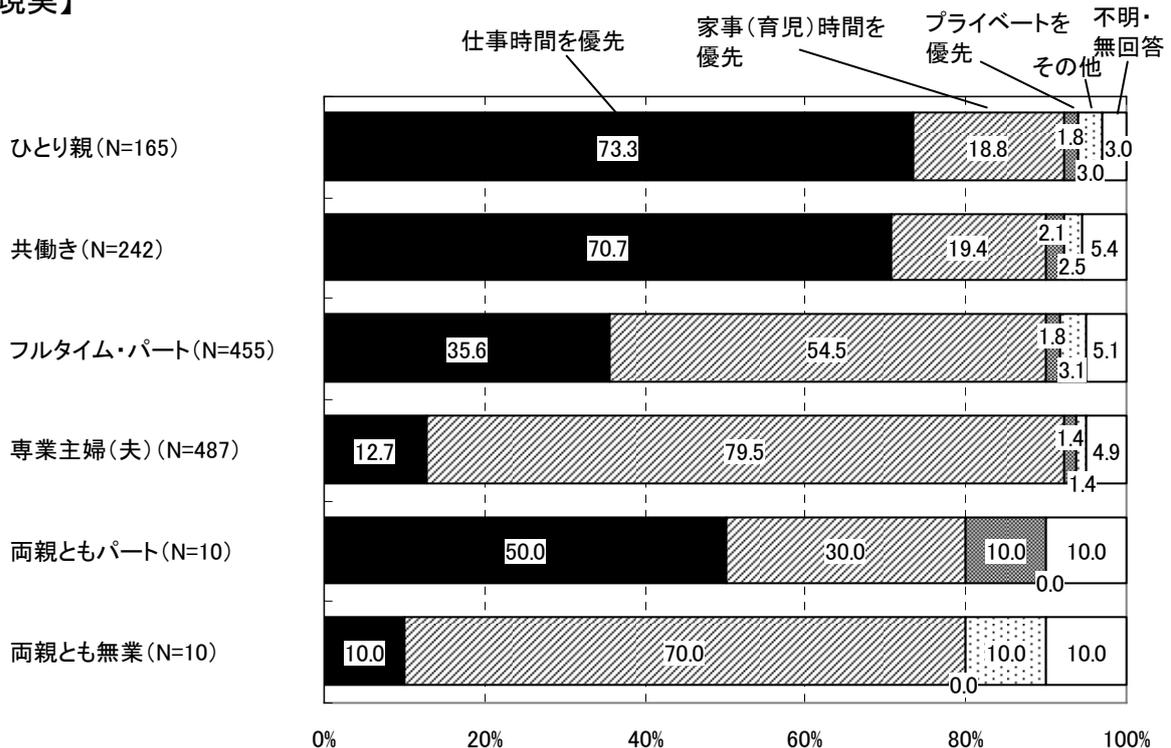
【家族類型別】

家族類型別にみると、「ひとり親」や「共働き」について、「希望」では「家事（育児）時間を優先」が6割を超えているが、「現実」では2割弱と、希望と現実との差が大きくなっている。

【希望】



【現実】

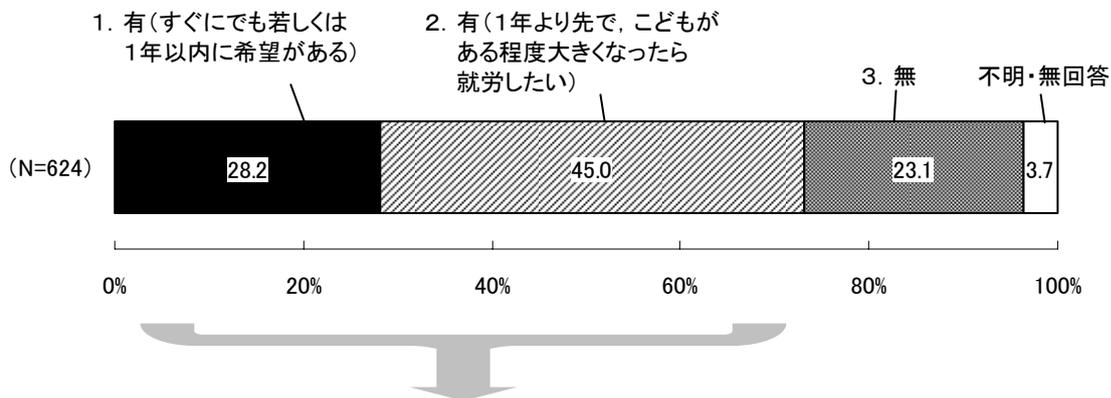


問 23～問 23-3 は現在、就労されていない母親の方におうかがいします。

問 23 就労希望はありますか。

就労希望者の割合は 73.2%となっている。

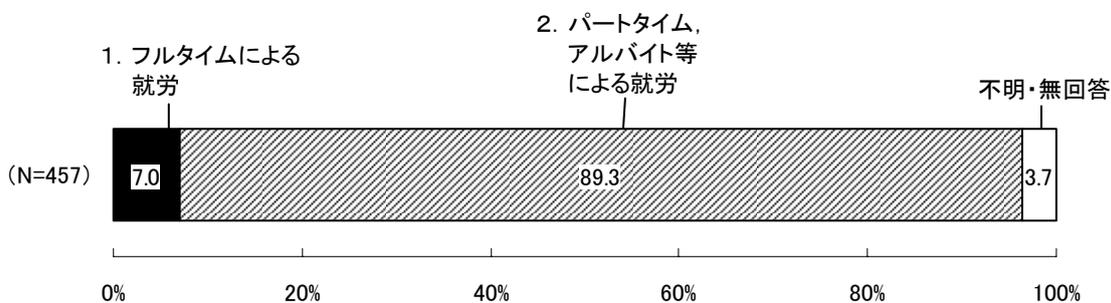
就労希望の形態は「2. パートタイム、アルバイト等による就労」が 89.3%, 「1. フルタイムによる就労」が 7.0%となっている。



問 23-1, 問 23-2 は問 23 で「1」, 「2」を選んだ方におうかがいします。

問23-1 就労希望の形態はどのようなものですか。

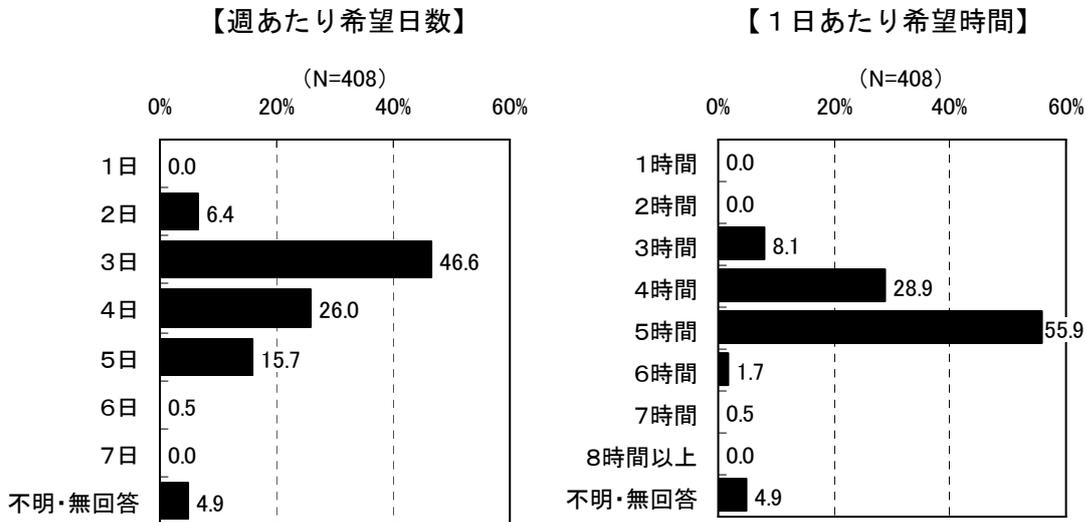
パートタイム、アルバイトを希望の方は一週あたり日数および一日あたり時間もお答えください。



〔パートタイム、アルバイト等による就労を希望する場合の就労希望日数・時間〕

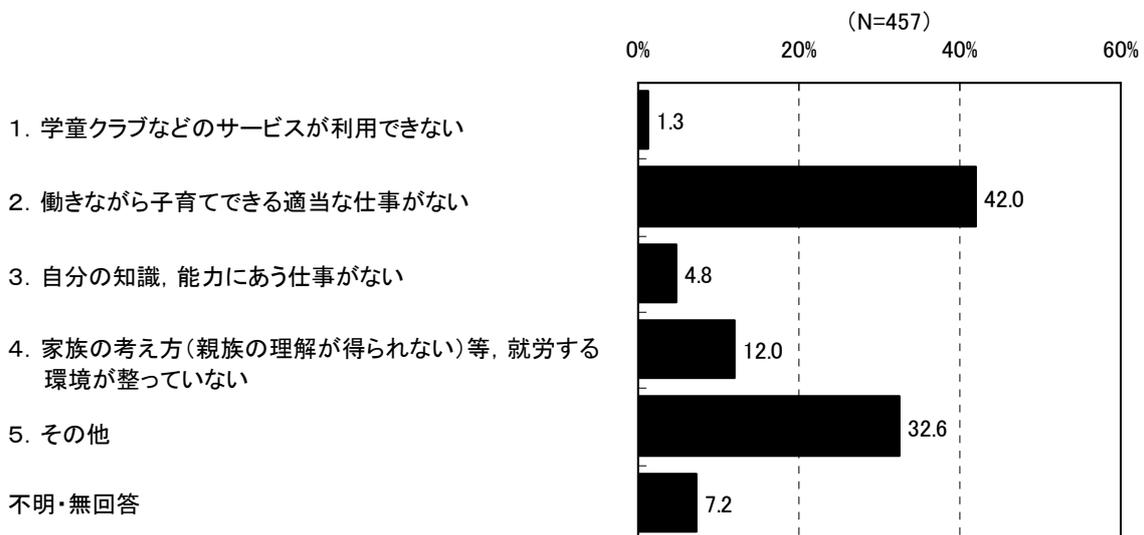
1週あたりの就労希望日数は、「3日」が46.6%と最も高い。

1日あたりの就労希望時間は、「5時間」が55.9%と最も高い。



問 23-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。

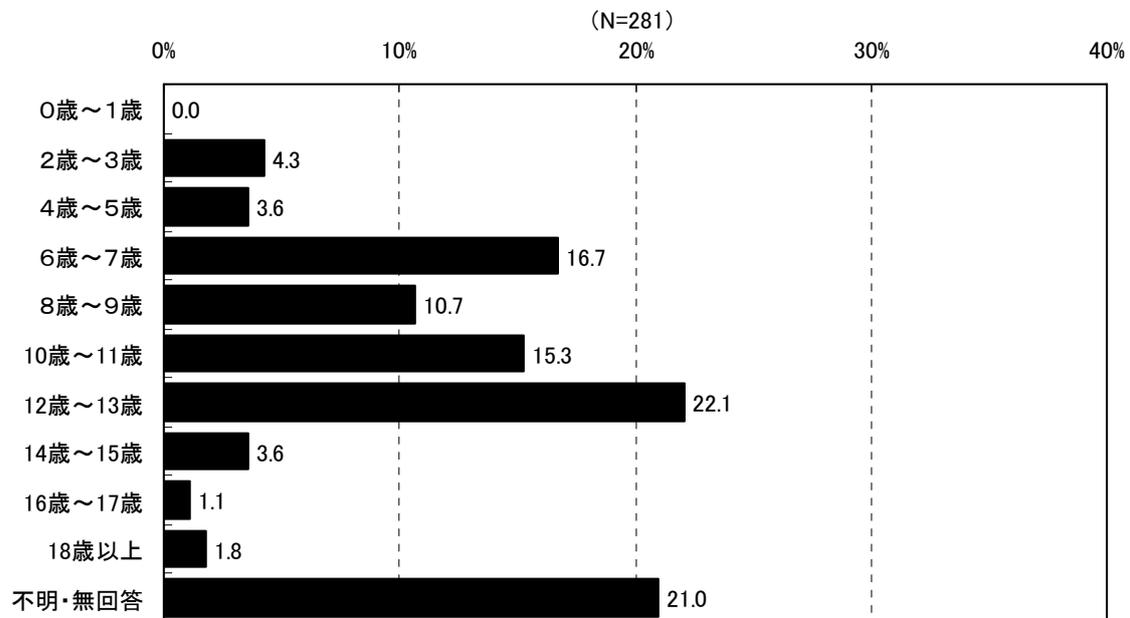
「2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない」が42.0%、「4. 家族の考え方（親族の理解が得られない）等、就労する環境が整っていない」が12.0%と高くなっている。



問 23-3 問 23 で「2」を選ばれた方におうかがいします。

あて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

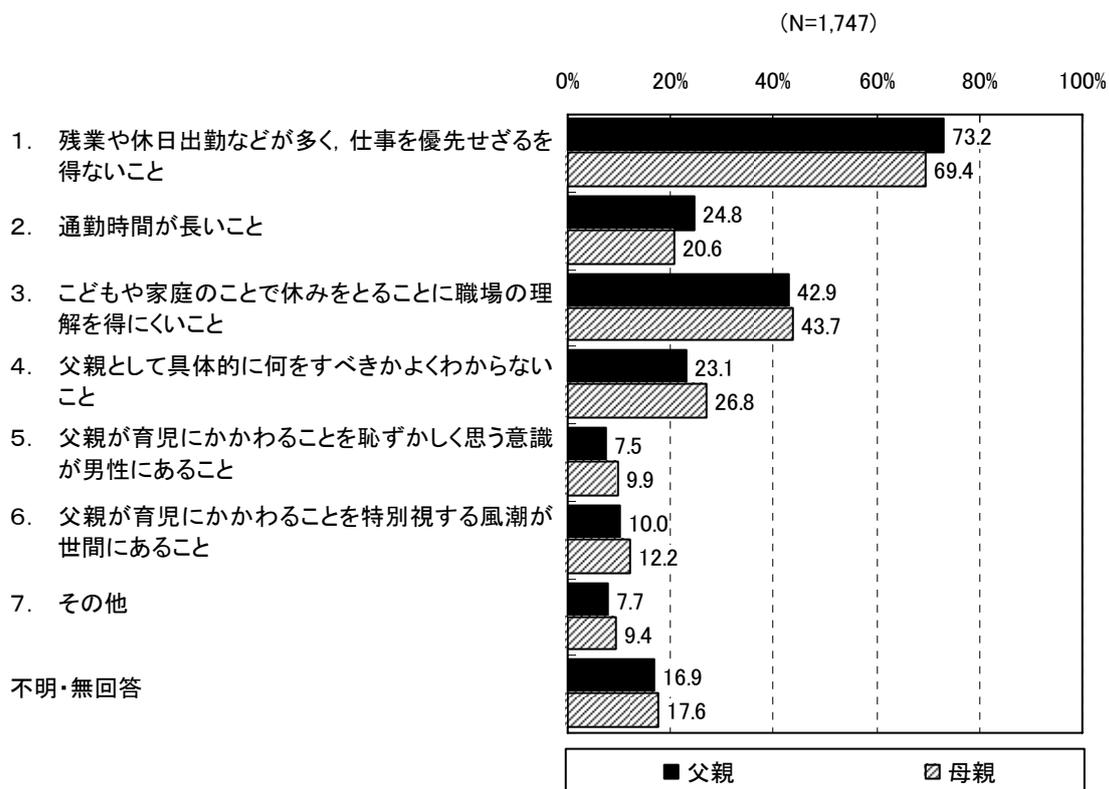
「12歳～13歳」が22.1%、「6歳～7歳」が16.7%となっている。



12 子育て環境などについて

問 24 近年、子育て中の家庭での父親不在（父親が、子育てにあまりかかわらない、かかわる時間がないこと）が問題となっていますが、父親が子育てにかかわりづらいのは、どうしてだと思いますか。（あてはまるもの3つまで）

父親が子育てにかかわりづらい理由についてみると、「父親」「母親」ともに「1. 残業や休日出勤などが多く、仕事を優先せざるを得ないこと」が約7割と最も高く、次いで「3. こどもや家庭のことで休みをとることに職場の理解を得にくいこと」が4割以上となっている。



【家族類型別】

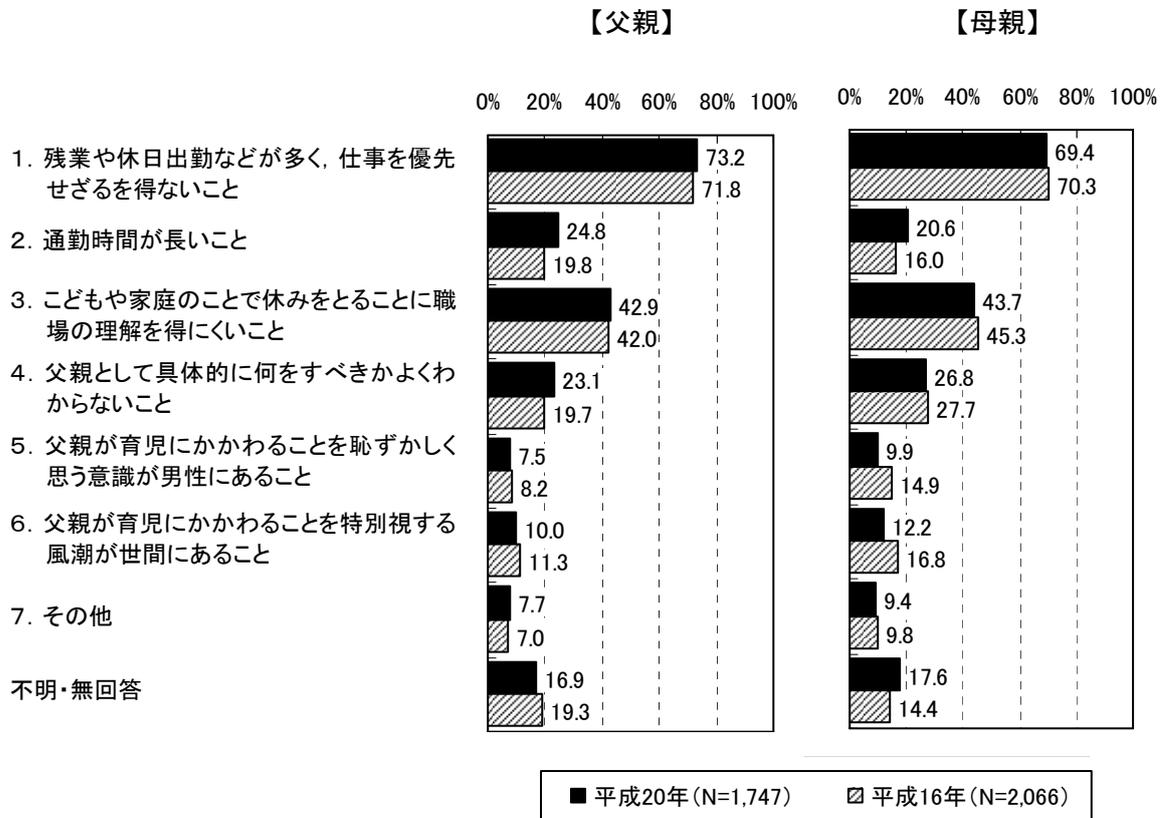
家族類型別にみると、「父親」「母親」ともに、すべての区分で「残業や休日出勤などが多く、仕事を優先せざるを得ないこと」が最も高い割合となっている。

単位：％

		回答者数 (人)	残業や休日 出勤などが 多く、仕事を 優先せざる を得ない こと	通勤時間が 長いこと	子どもや家 庭のことで 休みをとるこ とに職場の 理解を得にく いこと	父親として 具体的に何 をすべきか よくわからな いこと	父親が育児 にかかわる ことを恥ずか しいと思う意 識が男性に あること	父親が育児 にかかわる ことを特別視 する風潮が 世間にある こと	その他	不明・ 無回答
家族類型別 (父親)	ひとり親	165	22.4	7.3	16.4	9.7	3.6	4.2	2.4	73.3
	共働き	242	81.0	24.8	47.5	24.8	8.7	9.9	7.9	10.3
	フルタイム・ パート	455	79.6	28.4	46.4	27.3	6.4	11.6	7.9	8.4
	専業主婦 (夫)	487	82.8	28.5	50.5	23.6	8.2	9.4	8.4	6.8
	両親ともパー ト	10	50.0	30.0	40.0	10.0	10.0	20.0	10.0	20.0
	両親とも無業	10	90.0	20.0	50.0	30.0	10.0	30.0	-	-
家族類型別 (母親)	ひとり親	165	53.9	9.7	40.6	23.6	8.5	10.3	9.7	33.9
	共働き	242	80.2	23.1	50.8	31.0	10.3	12.4	11.6	7.9
	フルタイム・ パート	455	67.5	21.1	47.7	28.8	12.5	14.9	8.8	16.3
	専業主婦 (夫)	487	75.2	23.8	43.1	26.5	9.0	12.9	7.8	14.6
	両親ともパー ト	10	60.0	20.0	50.0	10.0	10.0	10.0	10.0	30.0
	両親とも無業	10	80.0	20.0	50.0	20.0	20.0	30.0	-	-

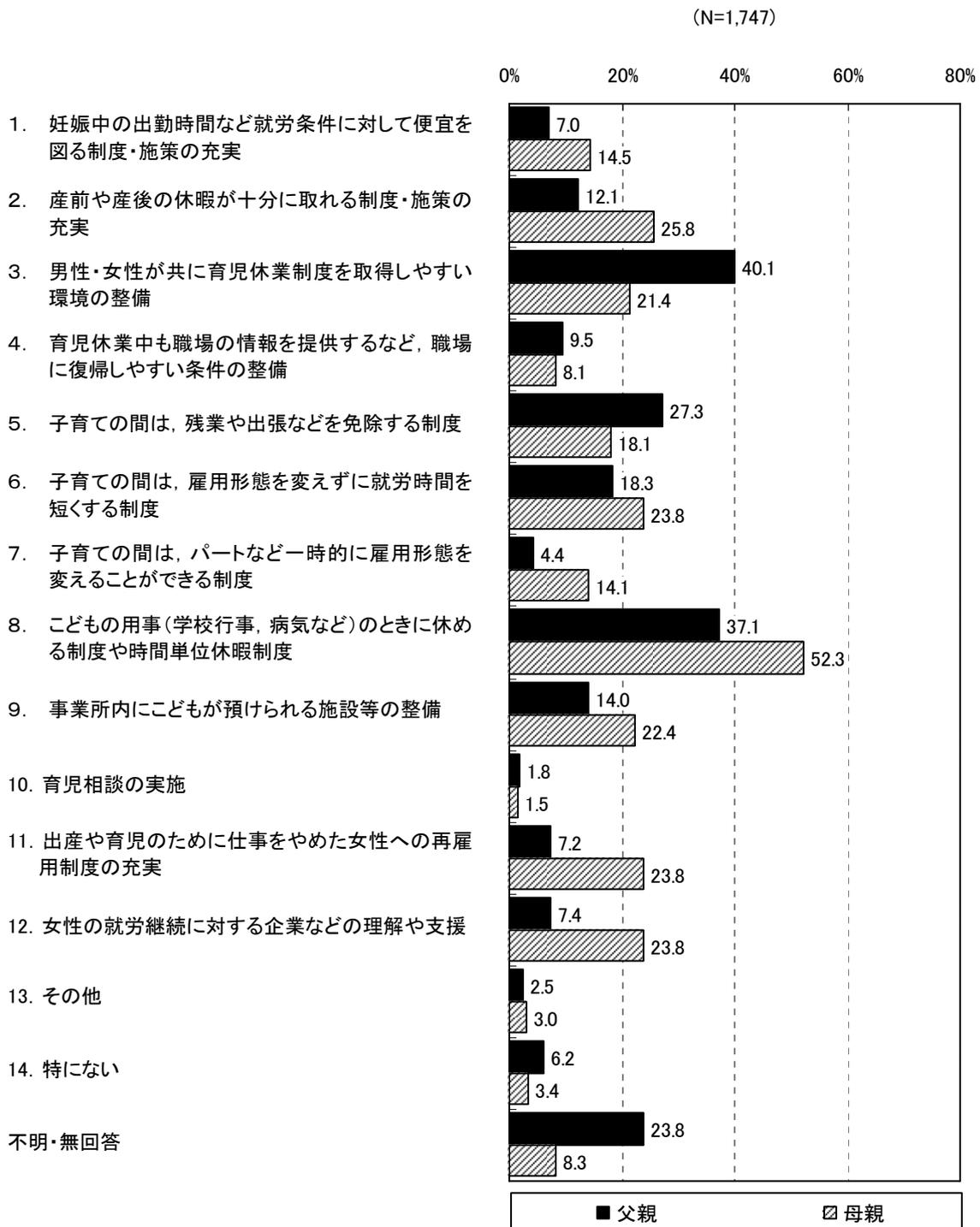
【平成16年調査との比較】

平成16年調査と比較すると、「父親」「母親」ともにほぼ同様の結果となっている。



問 25 子育てと仕事の両立を支援していくため、社会全体でどのような制度や支援策に取り組んでほしいと思いますか。(あてはまるもの3つまで)

子育てと仕事の両立のために希望する制度や支援策についてみると、「3. 男性・女性が共に育児休業制度を取得しやすい環境の整備」では「父親」と「母親」の差が18.7ポイントと「父親」が高く、「8. こどもの用事（学校行事、病気など）のときに休める制度や時間単位休暇制度」については15.2ポイント「母親」が高く、「父親」と「母親」との差が大きくなっている。



【家族類型別】

家族類型別にみると、「父親」については、「ひとり親」「共働き」では「こどもの用事（学校行事、病気など）のときに休める制度や時間単位休暇制度」、その他の区分では「男性・女性が共に育児休業制度を取得しやすい環境の整備」の割合が最も高くなっている。

「母親」については、すべての区分において、「こどもの用事（学校行事、病気など）のときに休める制度や時間単位休暇制度」、「両親ともパート」では「男性・女性が共に育児休業制度を取得しやすい環境の整備」「出産や育児のために仕事をやめた女性への再雇用制度の充実」も同じく、最も高い割合となっている。

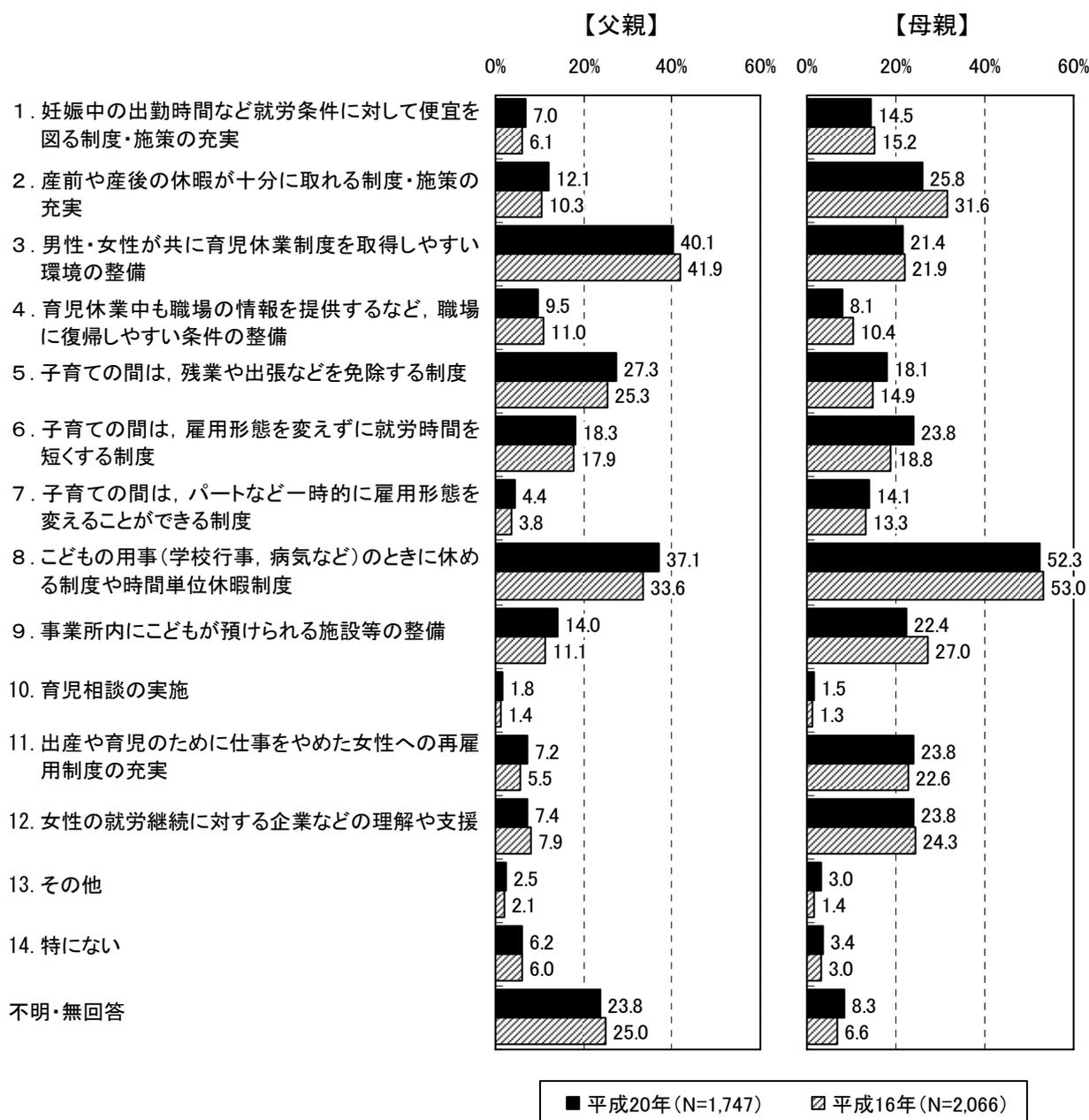
単位：%

		回答者数 (人)	妊娠中の出勤時間など就労条件に対して便宜を図る制度・施策の充実	産前や産後の休暇が十分に取れる制度・施策の充実	男性・女性が共に育児休業制度を取得しやすい環境の整備	育児休業中も職場の情報を提供するなど、職場に復帰しやすい条件の整備	子育ての間は、残業や出張などを免除する制度	子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度	子育ての間は、パートなど一時的に雇用形態を変えることができる制度	こどもの用事（学校行事、病気など）のときに休める制度や時間単位休暇制度
家族類型別 (父親)	ひとり親	165	1.2	3.0	9.1	3.0	5.5	3.0	0.6	12.7
	共働き	242	10.3	13.2	38.8	5.8	30.6	22.3	2.5	44.6
	フルタイム・パート	455	8.6	12.7	45.9	9.9	28.1	18.9	4.8	42.2
	専業主婦(夫)	487	7.0	15.8	45.0	10.9	33.5	20.5	5.3	41.3
	両親ともパート	10	10.0	10.0	40.0	20.0	40.0	30.0	10.0	30.0
	両親とも無業	10	-	40.0	60.0	20.0	50.0	20.0	10.0	10.0
家族類型別 (母親)	ひとり親	165	10.3	17.6	15.2	11.5	15.2	21.2	11.5	49.1
	共働き	242	16.1	25.6	22.3	6.6	26.4	38.0	10.7	54.5
	フルタイム・パート	455	15.4	27.5	22.4	8.1	15.4	22.4	18.7	54.5
	専業主婦(夫)	487	14.2	28.3	22.6	7.4	19.7	19.7	12.7	54.2
	両親ともパート	10	10.0	40.0	50.0	20.0	30.0	20.0	-	50.0
	両親とも無業	10	40.0	30.0	-	10.0	-	10.0	10.0	70.0

		回答者数 (人)	事業所内にこどもが預けられる施設等の整備	育児相談の実施	出産や育児のために仕事をやめた女性への再雇用制度の充実	女性の就労継続に対する企業などの理解や支援	その他	特にない	不明・無回答
家族類型別 (父親)	ひとり親	165	4.8	1.2	1.8	1.2	-	2.4	80.0
	共働き	242	15.3	1.2	5.8	12.0	4.5	7.9	16.1
	フルタイム・パート	455	15.4	1.1	8.4	8.6	3.1	5.9	14.9
	専業主婦(夫)	487	15.8	2.1	9.9	5.7	2.1	7.0	14.4
	両親ともパート	10	20.0	10.0	20.0	20.0	-	-	10.0
	両親とも無業	10	-	10.0	-	20.0	-	-	10.0
家族類型別 (母親)	ひとり親	165	17.0	1.8	15.8	25.5	3.0	4.8	20.6
	共働き	242	17.8	2.9	14.5	27.3	5.4	1.7	4.1
	フルタイム・パート	455	26.6	1.1	25.1	25.3	2.9	2.4	5.5
	専業主婦(夫)	487	23.0	1.0	32.9	21.6	1.4	4.9	5.5
	両親ともパート	10	-	-	50.0	20.0	-	-	-
	両親とも無業	10	30.0	-	20.0	30.0	-	-	-

【平成16年調査との比較】

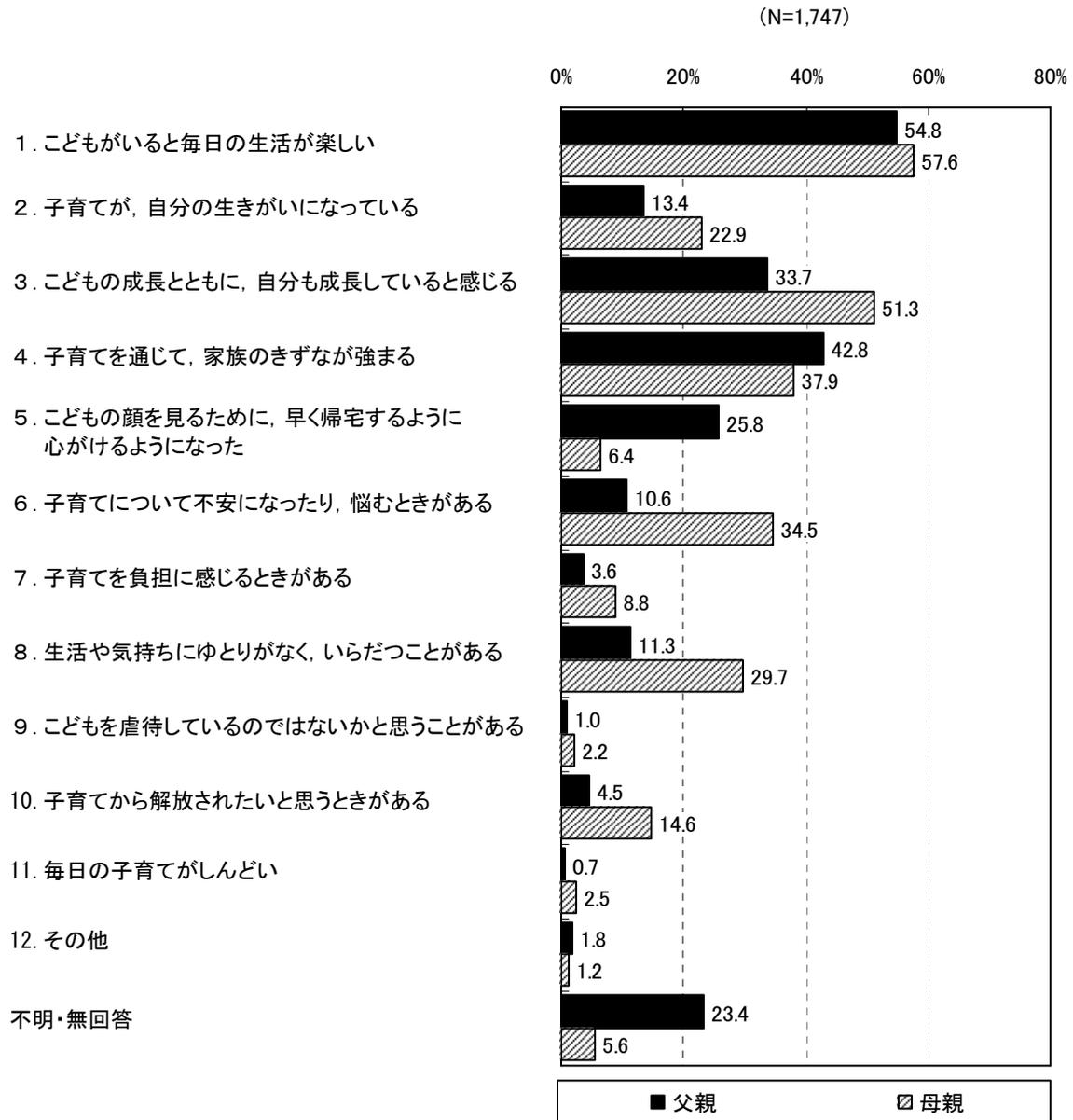
平成16年調査と比較すると、「父親」「母親」ともにほぼ同様の結果となっている。



問 26 子育てをしている今はどんな気持ちですか。（あてはまるもの3つまで）

子育て中の感情についてみると、「父親」、「母親」ともに「1. こどもがいると毎日の生活が楽しい」が5割を超えている。

「6. 子育てについて不安になったり、悩むときがある」については、「父親」と「母親」の差が23.9ポイント、「8. 生活や気持ちにゆとりがなく、いらだつことがある」については、18.4ポイント「母親」が高く、父親と母親の差が大きくなっている。



【同居・近居の状況別，親の地域活動参加の有無別】

同居・近居の状況別，親の地域活動参加の有無別にみると，「父親」，「母親」でともに「こどもがいると毎日の生活が楽しい」の割合が最も高くなっている。

※「親の地域活動参加の有無別」については，後出，問38のデータによりクロス集計を行った。

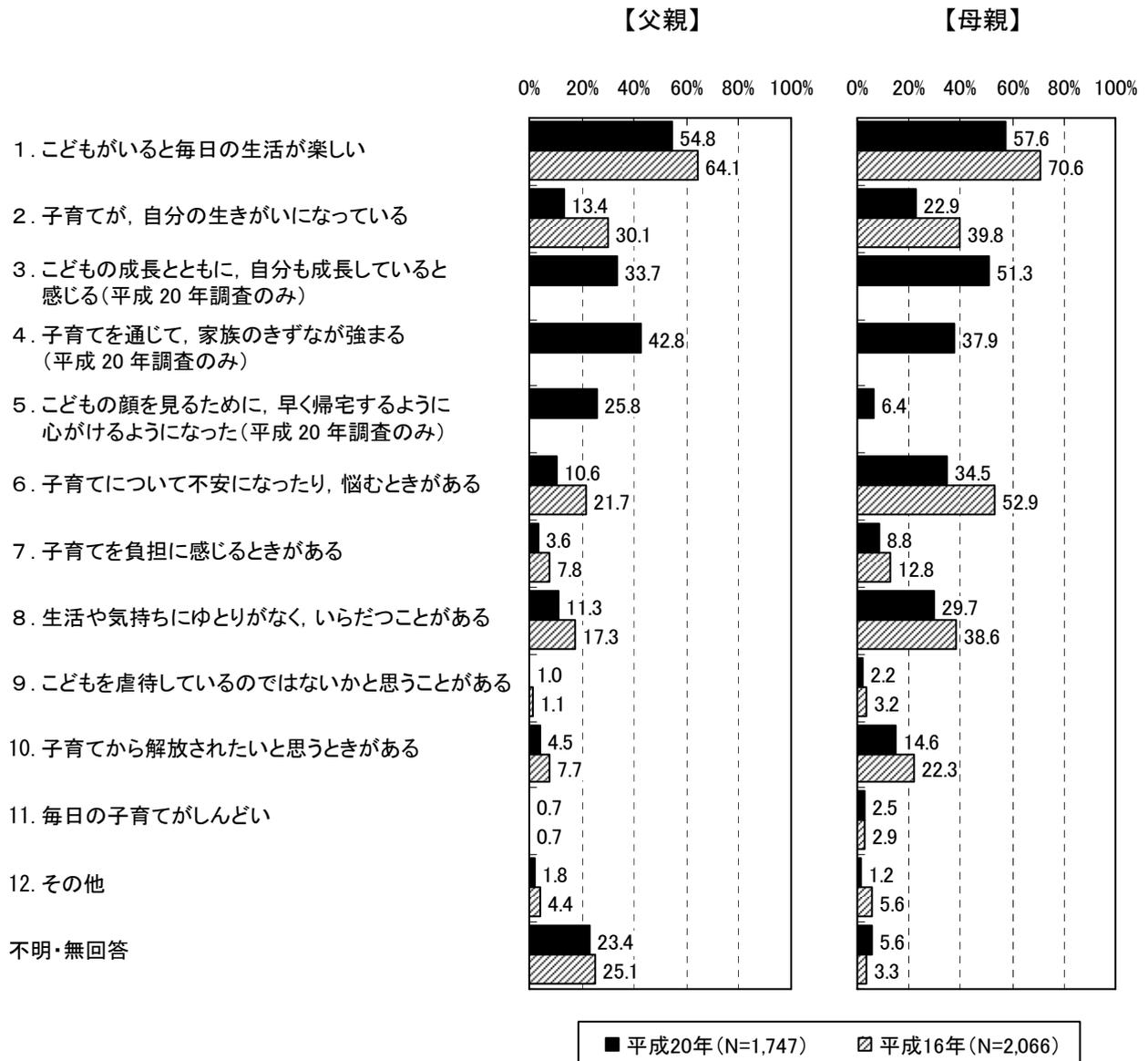
単位：％

		回答者数 (人)	こどもが いると毎日の 生活が 楽しい	子育てが， 自分の生き がいに なっている	こどもの成 長とともに， 自分も成長 していると 感じる	子育てを通 じて，家族 のきずなが 強まる	こどもの顔 を見るため に，早く帰 宅するよう に心がける ように なった	子育てにつ いて不安に なったり， 悩むときが ある	子育てを負 担に感じる ときがある
同居・近居の 状況別(父親)	父母同居	1,278	61.8	14.2	37.4	47.7	29.1	11.1	4.0
	父同居(ひとり親家庭)	25	56.0	20.0	48.0	28.0	12.0	36.0	12.0
	母同居(ひとり親家庭)	165	5.5	1.8	2.4	3.0	1.8	1.2	-
	祖父同居	151	51.7	11.9	29.1	39.1	23.8	8.6	2.0
	祖母同居	240	57.9	15.0	31.3	41.3	24.6	8.8	2.5
	祖父近居	478	57.7	12.1	34.9	46.4	28.0	11.3	3.8
	祖母近居	614	57.2	13.0	34.2	44.8	29.5	10.9	3.1
	その他	79	44.3	17.7	25.3	39.2	20.3	12.7	3.8
同居・近居の 状況別(母親)	父母同居	1,278	59.9	23.5	52.9	41.4	5.3	34.4	8.0
	父同居(ひとり親家庭)	25	12.0	8.0	8.0	12.0	4.0	8.0	4.0
	母同居(ひとり親家庭)	165	56.4	26.1	49.1	18.8	12.1	36.4	12.7
	祖父同居	151	60.3	24.5	52.3	42.4	8.6	34.4	6.6
	祖母同居	240	60.0	24.2	55.0	40.4	9.6	32.5	7.1
	祖父近居	478	59.6	21.5	50.4	38.7	5.2	34.9	7.7
	祖母近居	614	57.8	22.0	51.1	38.8	6.4	34.5	8.3
	その他	79	54.4	16.5	45.6	38.0	6.3	34.2	8.9
親の地域活動参加 の有無別(父親)	現在参加している	1,015	59.5	14.3	35.2	46.9	26.3	11.0	3.7
	参加していない	649	49.2	11.9	33.7	37.9	25.6	10.0	3.7
親の地域活動参加 の有無別(母親)	現在参加している	1,015	60.7	23.5	54.7	40.1	5.7	34.1	7.8
	参加していない	649	54.7	23.6	47.5	35.4	7.6	35.4	10.5

		回答者数 (人)	生活や気持 ちにゆとり がなく，いら だつたこと がある	こどもを虐 待している のではない かと思うこ とがある	子育てから 解放されたい と思うとき がある	毎日の 子育てが しんどい	その他	不明・ 無回答
同居・近居の 状況別(父親)	父母同居	1,278	12.1	1.1	4.9	0.5	1.7	14.9
	父同居(ひとり親家庭)	25	28.0	-	16.0	4.0	4.0	8.0
	母同居(ひとり親家庭)	165	1.8	-	-	-	1.2	93.3
	祖父同居	151	9.9	0.7	2.0	-	2.6	32.5
	祖母同居	240	9.2	-	1.7	1.3	2.1	28.3
	祖父近居	478	10.7	1.3	4.8	0.8	1.0	19.5
	祖母近居	614	10.4	1.0	4.4	0.8	1.5	20.0
	その他	79	13.9	1.3	3.8	2.5	6.3	25.3
同居・近居の 状況別(母親)	父母同居	1,278	29.3	2.0	15.0	2.7	1.1	3.6
	父同居(ひとり親家庭)	25	-	-	4.0	-	-	80.0
	母同居(ひとり親家庭)	165	39.4	4.8	9.7	3.0	3.6	4.2
	祖父同居	151	25.8	0.7	10.6	0.7	-	7.9
	祖母同居	240	22.5	0.8	12.1	0.4	0.8	7.5
	祖父近居	478	31.0	3.1	15.1	2.9	1.0	4.8
	祖母近居	614	31.8	2.8	16.1	2.6	1.3	4.1
	その他	79	26.6	1.3	10.1	2.5	5.1	11.4
親の地域活動参加 の有無別(父親)	現在参加している	1,015	11.7	1.1	3.7	0.7	2.1	18.8
	参加していない	649	10.9	0.6	5.5	0.6	1.2	27.9
親の地域活動参加 の有無別(母親)	現在参加している	1,015	29.3	2.3	14.3	2.3	1.2	3.9
	参加していない	649	31.3	2.3	15.3	2.9	1.2	5.1

【平成 16 年調査との比較】

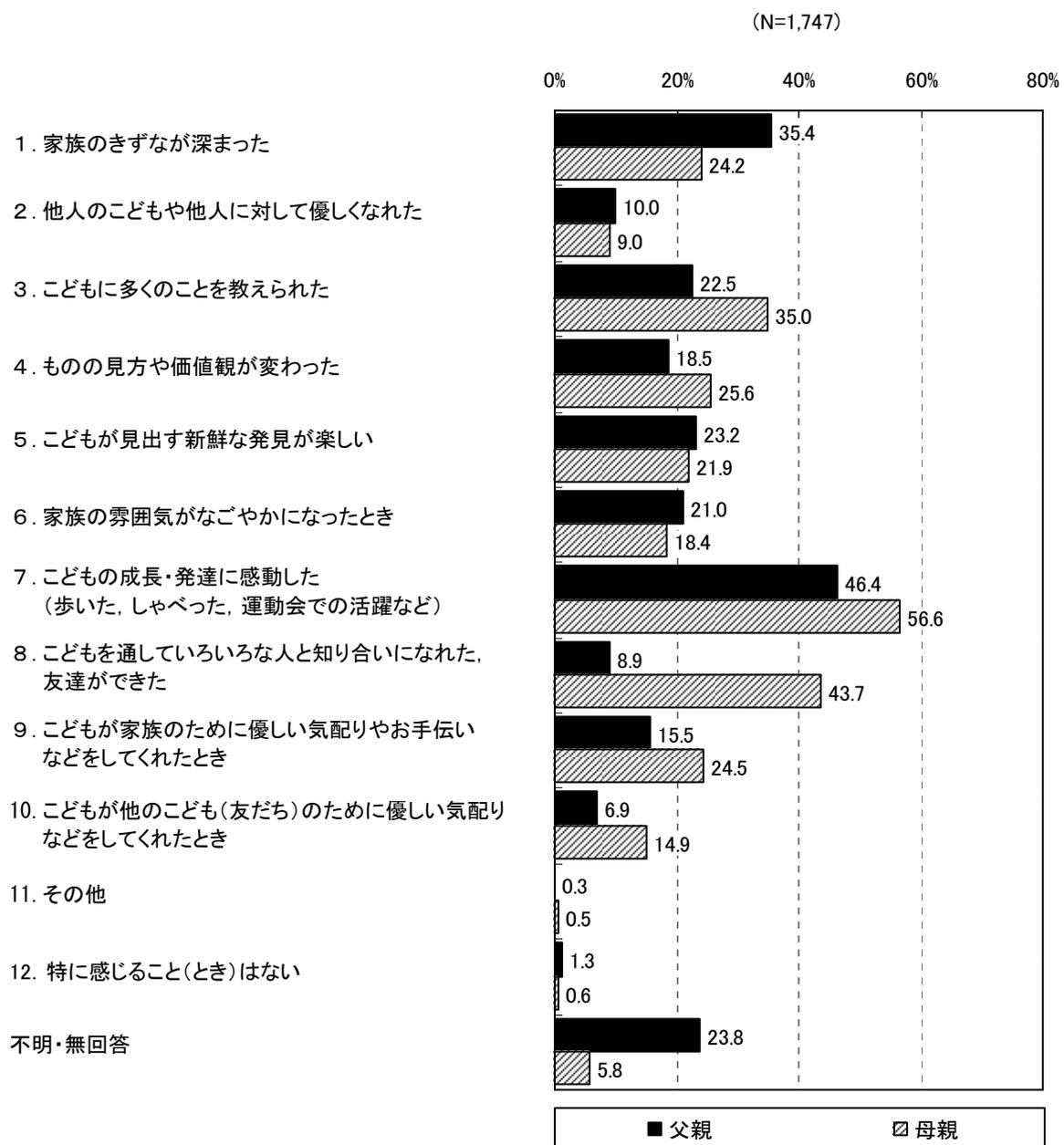
平成 16 年調査と比較すると、「父親」については「1. こどもがいると毎日の生活が楽しい」が 64.1%から 54.8%と、9.3 ポイント低くなっている。また、「母親」についても「1. こどもがいると毎日の生活が楽しい」が 70.6%から 57.6%と、13.0 ポイント低くなっている。



問 27 子育てをしていて、「楽しい」「良かった」と感じる事、感じる時はどのようなこと（とき）ですか。（あてはまるもの3つまで）

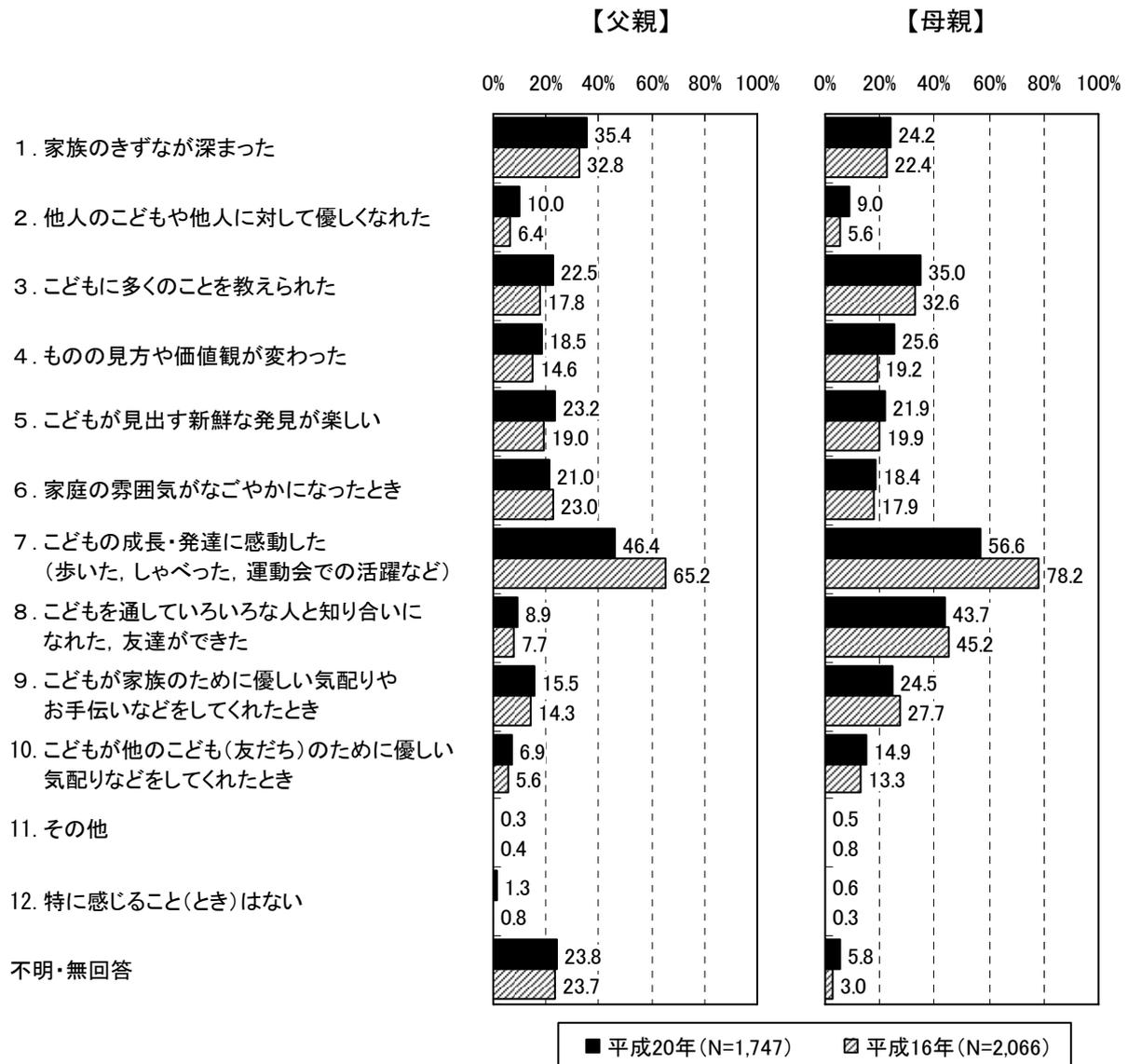
子育てをしていて、「楽しい」「良かった」と感じる事、感じる時についてみると、「父親」「母親」ともに「7. こどもの成長・発達に感動した（歩いた、しゃべった、運動会での活躍など）」が約5割程度となっている。

「8. こどもを通していろいろな人と知り合いになれた、友達ができた」については、34.8 ポイント「母親」が高く、父親と母親の差が大きくなっている。



【平成 16 年調査との比較】

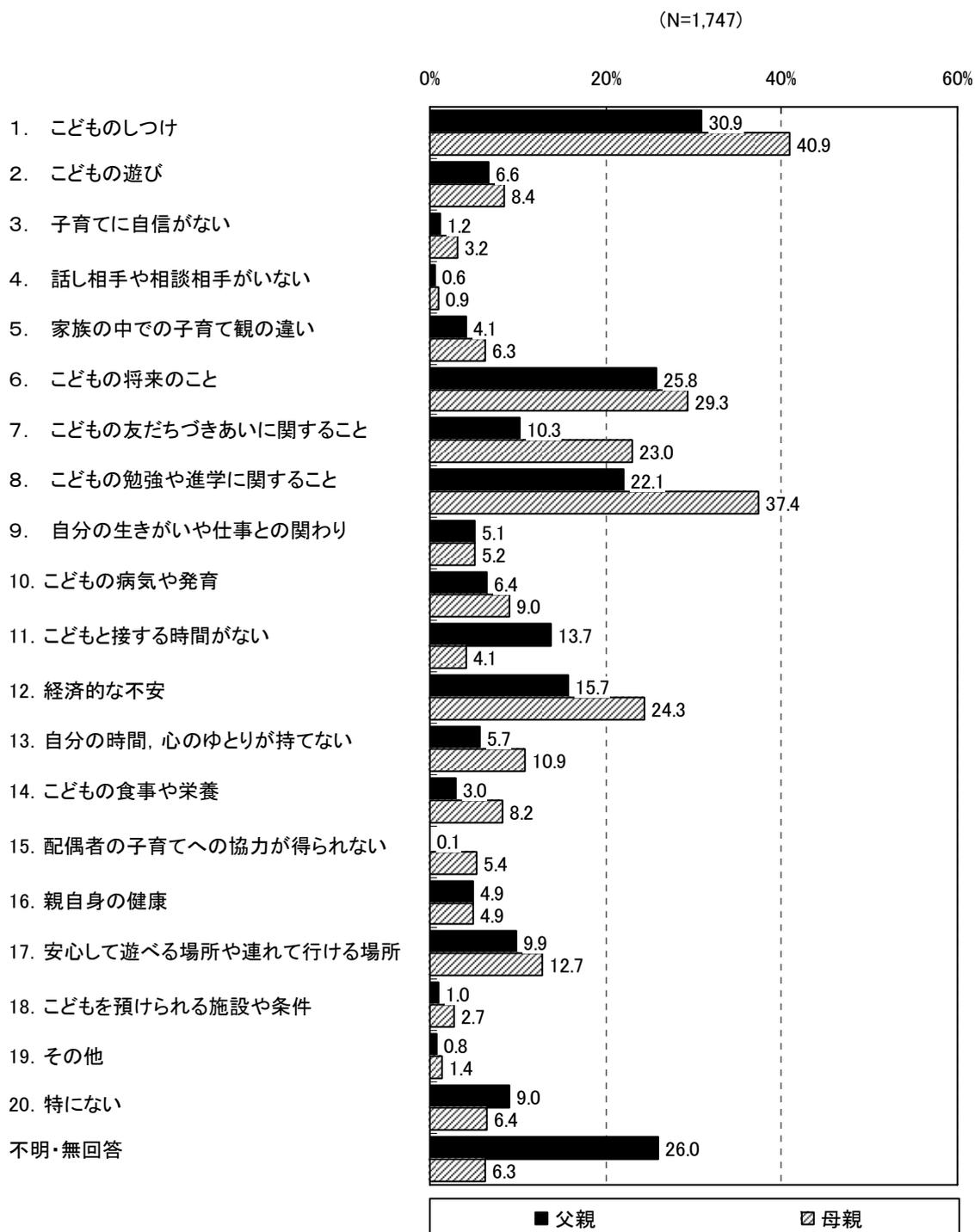
平成 16 年調査と比較すると、「父親」については「7. こどもの成長・発達に感動した（歩いた、しゃべった、運動会での活躍など）」が 65.2%から 46.4%と、18.8 ポイント低くなっている。また、「母親」についても「7. こどもの成長・発達に感動した（歩いた、しゃべった、運動会での活躍など）」が 78.2%から 56.6%と、21.6 ポイント低くなっている。



問 28 あて名のお子さんを育てていて、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。(あてはまるもの3つまで)

子育てをしていて、日頃悩んでいること、または気になることについてみると、「父親」「母親」ともに「1. こどものしつけ」が最も高くなっている。

「8. こどもの勉強や進学に関すること」については、「母親」が「父親」より 15.3 ポイント高くなっている。



【こどもの学年別、同居・近居の状況別】

こどもの学年別にみると、「父親」については「6年生」以外の区分で「こどものしつけ」の割合が最も高くなっているが、「母親」については「1年生」～「3年生」の区分で「こどものしつけ」、「4年生」～「6年生」の区分で「こどもの勉強や進学に関すること」の割合が高くなっている。

同居・近居の状況別にみると、「父親」については「父同居（ひとり親家庭）」「祖父同居」「その他」の区分で「こどもの将来のこと」の割合が最も高く、その他の区分では「こどものしつけ」の割合が最も高くなっている。「母親」についても、「こどものしつけ」の割合が高くなっているが、「母同居（ひとり親家庭）」の区分で「経済的な不安」の割合が高くなっている。

単位：%

		回答者数 (人)	こどもの しつけ	こどもの 遊び	子育てに 自信が ない	話し相手や 相談 相手がない	家族の中で の 子育て親の 違い	こどもの 将来の こと	こどもの 友だち つきあいに 関すること	こどもの勉強や進学に 関すること	自分の生き がいや仕事 との関わり	こどもの 病気や 発育	こどもと 接する時間 がない
	2年生	277	34.3	8.3	0.7	-	4.0	23.1	14.1	18.4	5.1	7.2	12.3
	3年生	297	30.3	7.7	0.7	0.7	2.7	26.9	8.8	22.2	5.7	5.4	17.8
	4年生	282	28.0	6.7	2.5	1.8	3.9	27.7	7.4	22.7	5.7	6.4	12.8
	5年生	265	30.6	6.4	1.5	-	4.2	24.9	11.3	27.2	4.2	6.4	14.0
	6年生	300	25.3	4.7	0.3	0.7	4.3	30.7	9.3	26.7	5.0	5.7	11.3
学年別 (母親)	1年生	270	48.5	7.8	3.7	0.4	5.6	23.7	25.2	20.4	5.2	10.7	5.2
	2年生	277	41.9	11.9	4.3	0.4	7.2	24.9	28.5	32.5	4.0	13.0	2.5
	3年生	297	45.8	9.4	4.0	0.7	5.1	29.0	25.3	36.0	6.4	7.4	5.1
	4年生	282	39.4	7.8	3.9	2.1	6.7	32.6	19.5	42.9	3.9	10.3	3.9
	5年生	265	37.0	5.7	1.1	0.8	8.7	32.1	18.1	44.2	6.4	5.7	3.8
	6年生	300	35.7	8.3	2.7	1.3	5.0	34.0	21.7	47.3	5.3	6.3	5.0
同居・近居の 状況別(父親)	父母同居	1,278	34.0	7.6	1.4	0.6	4.2	27.9	10.6	25.2	5.1	7.2	14.8
	父同居(ひとり親家庭)	25	32.0	8.0	-	4.0	-	48.0	8.0	32.0	12.0	12.0	16.0
	母同居(ひとり親家庭)	165	3.6	-	-	-	0.6	3.0	1.8	1.8	1.8	1.2	2.4
	祖父同居	151	30.5	7.9	0.7	0.7	5.3	31.1	6.6	19.2	5.3	6.6	9.3
	祖母同居	240	31.3	7.1	1.3	0.4	4.6	29.2	10.0	20.8	6.7	7.1	7.9
	祖父近居	478	32.0	4.6	1.5	0.4	4.8	28.9	10.9	23.0	5.0	5.6	16.7
	祖母近居	614	31.1	5.5	1.3	0.7	4.1	27.4	10.6	22.5	5.4	6.7	15.8
	その他	79	26.6	3.8	-	-	2.5	30.4	8.9	21.5	6.3	10.1	16.5
同居・近居の 状況別(母親)	父母同居	1,278	42.7	8.8	3.2	0.8	6.7	29.1	24.0	38.6	5.6	9.6	3.2
	父同居(ひとり親家庭)	25	8.0	-	4.0	-	-	12.0	4.0	12.0	-	-	-
	母同居(ひとり親家庭)	165	33.3	7.9	3.0	3.0	1.2	35.8	19.4	33.3	4.2	7.9	10.3
	祖父同居	151	44.4	12.6	0.7	-	8.6	37.1	19.9	37.1	3.3	10.6	4.0
	祖母同居	240	45.0	10.8	1.7	-	6.7	32.9	18.3	36.3	2.9	8.8	5.0
	祖父近居	478	42.1	8.6	3.3	0.4	5.6	28.0	24.9	37.2	6.1	8.8	4.8
	祖母近居	614	40.6	7.7	2.9	0.8	6.0	28.3	24.3	39.3	6.7	9.9	4.6
	その他	79	25.3	7.6	3.8	1.3	6.3	30.4	17.7	35.4	5.1	6.3	7.6

		回答者数 (人)	経済的な 不安	自分の時間、心のゆとりがない	こどもの食事や栄養	配偶者の子育てへの協力が得られない	親自身の健康	安心して遊べる場所や連れて行ける場所	こどもを預けられる施設や条件	その他	特になし	不明・無回答	
													学年別 (父親)
	2年生	277	14.1	5.1	3.6	-	7.6	16.6	0.7	0.7	10.8	21.3	
	3年生	297	15.2	6.7	2.0	-	3.7	10.4	1.0	0.7	9.1	26.6	
	4年生	282	14.9	5.7	3.5	-	5.0	7.4	0.7	-	6.0	29.8	
	5年生	265	16.2	4.9	2.6	0.4	4.5	6.4	-	1.1	10.6	25.3	
	6年生	300	19.3	7.3	2.7	-	3.7	5.3	0.3	1.0	9.7	26.3	
学年別 (母親)	1年生	270	20.4	17.8	8.5	7.0	4.8	17.0	7.8	1.9	5.6	5.2	
	2年生	277	21.3	10.1	8.7	5.1	3.6	20.6	1.8	1.1	7.9	5.1	
	3年生	297	24.9	12.5	8.1	4.0	5.1	9.1	3.0	1.3	5.4	4.7	
	4年生	282	25.9	11.7	8.5	5.7	4.3	13.5	1.8	1.4	5.0	4.6	
	5年生	265	23.0	6.8	7.9	6.8	5.7	9.1	1.1	1.5	7.9	9.1	
	6年生	300	29.3	7.7	7.3	3.0	5.3	6.3	1.0	1.3	7.3	7.7	
同居・近居の 状況別(父親)	父母同居	1,278	17.8	6.1	3.3	0.2	5.6	11.1	1.3	0.9	9.9	18.3	
	父同居(ひとり親家庭)	25	36.0	20.0	16.0	-	8.0	16.0	-	-	-	8.0	
	母同居(ひとり親家庭)	165	1.8	0.6	1.2	-	-	1.8	-	-	-	1.2	91.5
	祖父同居	151	11.3	4.6	1.3	-	2.6	11.9	1.3	0.7	6.6	34.4	
	祖母同居	240	16.3	6.7	2.9	-	5.4	12.1	1.7	1.3	4.6	30.4	
	祖父近居	478	16.9	5.9	1.7	0.4	4.8	8.8	0.6	0.6	10.9	21.8	
	祖母近居	614	15.3	5.9	2.6	0.3	5.0	8.8	0.7	0.5	10.7	22.3	
	その他	79	19.0	5.1	3.8	-	2.5	6.3	2.5	1.3	11.4	25.3	
同居・近居の 状況別(母親)	父母同居	1,278	22.2	10.6	8.3	5.9	4.1	13.8	2.0	1.6	6.7	4.3	
	父同居(ひとり親家庭)	25	8.0	-	8.0	-	4.0	-	-	-	-	80.0	
	母同居(ひとり親家庭)	165	49.1	11.5	8.5	2.4	9.1	9.7	6.1	-	5.5	4.8	
	祖父同居	151	25.8	5.3	10.6	1.3	6.0	11.9	-	-	5.3	7.3	
	祖母同居	240	25.8	7.9	11.3	2.9	5.0	10.4	1.3	1.3	7.5	7.5	
	祖父近居	478	23.6	10.7	6.1	6.3	4.2	14.4	1.5	1.3	6.7	6.3	
	祖母近居	614	22.6	11.2	7.0	6.2	4.4	14.0	1.8	1.8	6.2	5.4	
	その他	79	29.1	7.6	8.9	5.1	10.1	3.8	6.3	2.5	7.6	11.4	

【家族類型別】

家族類型別にみると、「父親」については「ひとり親」と「両親ともパート」以外の区分で「こどものしつけ」の割合が高くなっている。「母親」については「ひとり親」と「両親ともパート」の区分で「経済的な不安」の割合が高く、「両親とも無業」の区分で「こどもの将来のこと」と「こどもの勉強や進学に関すること」の割合が高くなっている。

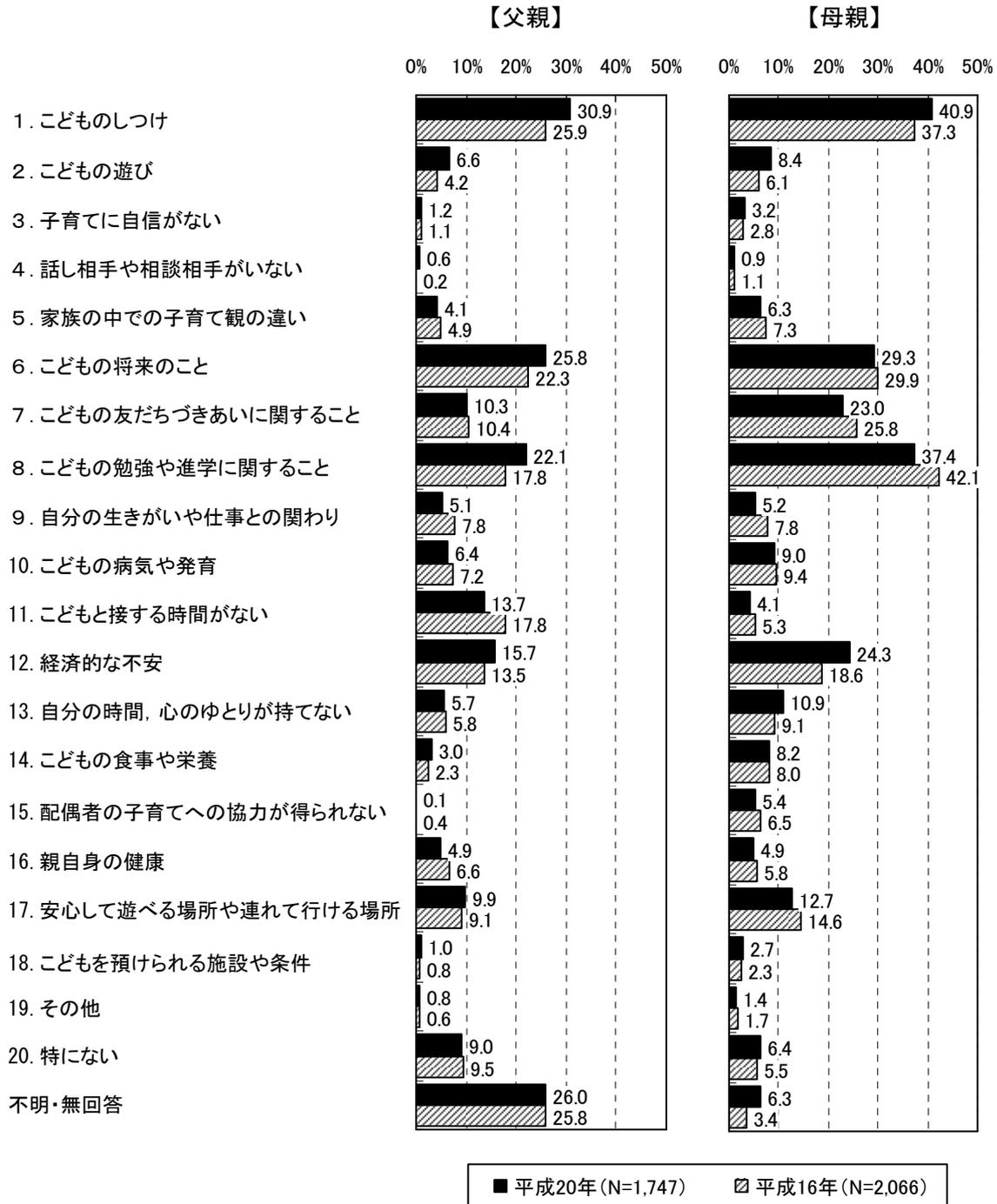
単位：％

	回答者数 (人)	こどもの しつけ	こどもの 遊び	子育てに 自信が ない	話し相手や 相談 相手が いない	家族の中で の 子育て親の 違い	こどもの 将来の こと	こどもの 友だち づきあい に関する こと	こどもの 勉強や 進学に 関すること	自分の生き がいがいい や仕事 との関わり	こどもの 病気や 発育	こどもと 接する時間 がない
家族類型別 (父親)	ひとり親	165	6.1	1.2	-	0.6	6.7	3.0	4.2	2.4	2.4	3.6
	共働き	242	35.5	8.7	1.2	0.8	6.2	26.0	9.5	24.4	4.5	13.2
	フルタイム・パート	455	31.2	6.8	1.8	0.4	4.2	27.0	10.1	25.1	6.4	17.4
	専業主婦(夫)	487	37.6	7.8	1.2	0.6	3.5	31.0	11.7	24.6	3.9	14.8
	両親ともパート	10	20.0	20.0	-	-	20.0	30.0	-	20.0	30.0	10.0
	両親とも無業	10	50.0	-	-	-	-	10.0	10.0	50.0	10.0	20.0
家族類型別 (母親)	ひとり親	165	30.9	7.9	3.6	2.4	1.2	30.9	16.4	29.7	3.6	9.1
	共働き	242	43.0	12.0	0.8	1.7	9.9	26.4	19.8	36.0	7.9	11.2
	フルタイム・パート	455	41.5	8.4	3.3	0.2	5.5	29.9	27.0	41.5	4.4	9.2
	専業主婦(夫)	487	45.8	8.2	4.5	0.8	6.4	29.6	24.8	37.8	5.1	10.5
	両親ともパート	10	30.0	20.0	-	-	-	30.0	10.0	40.0	-	10.0
	両親とも無業	10	30.0	-	-	-	10.0	40.0	20.0	40.0	10.0	-

	回答者数 (人)	経済的な 不安	自分の時 間、心の ゆとりが 持てない	こどもの 食事や 栄養	配偶者の 子育て への協 力が得 られない	親自身 の健康	安心して 遊べる 場所や 連れて 行ける 場所	こどもを 預けら れる施 設や 条件	その他	特にな い	不明・ 無回答
家族類型別 (父親)	ひとり親	165	4.8	3.6	1.8	-	0.6	3.6	-	1.2	83.6
	共働き	242	14.0	9.1	4.1	-	2.5	12.0	3.3	8.3	20.2
	フルタイム・パート	455	22.0	5.1	2.9	-	5.9	9.0	1.1	11.2	16.3
	専業主婦(夫)	487	15.6	6.0	3.7	0.2	6.8	12.1	0.8	14.4	17.5
	両親ともパート	10	40.0	-	-	-	10.0	-	-	-	20.0
	両親とも無業	10	40.0	-	-	-	30.0	10.0	-	-	-
家族類型別 (母親)	ひとり親	165	44.2	10.9	7.9	1.2	7.9	9.1	4.8	4.8	14.5
	共働き	242	22.3	14.0	8.7	7.4	2.9	8.7	4.1	1.7	5.4
	フルタイム・パート	455	25.1	9.5	8.8	5.1	4.0	15.4	0.9	1.3	7.9
	専業主婦(夫)	487	17.5	10.9	8.0	5.5	4.5	15.0	2.3	1.6	3.7
	両親ともパート	10	70.0	10.0	10.0	-	10.0	-	-	-	10.0
	両親とも無業	10	30.0	-	-	10.0	10.0	30.0	-	10.0	10.0

【平成 16 年調査との比較】

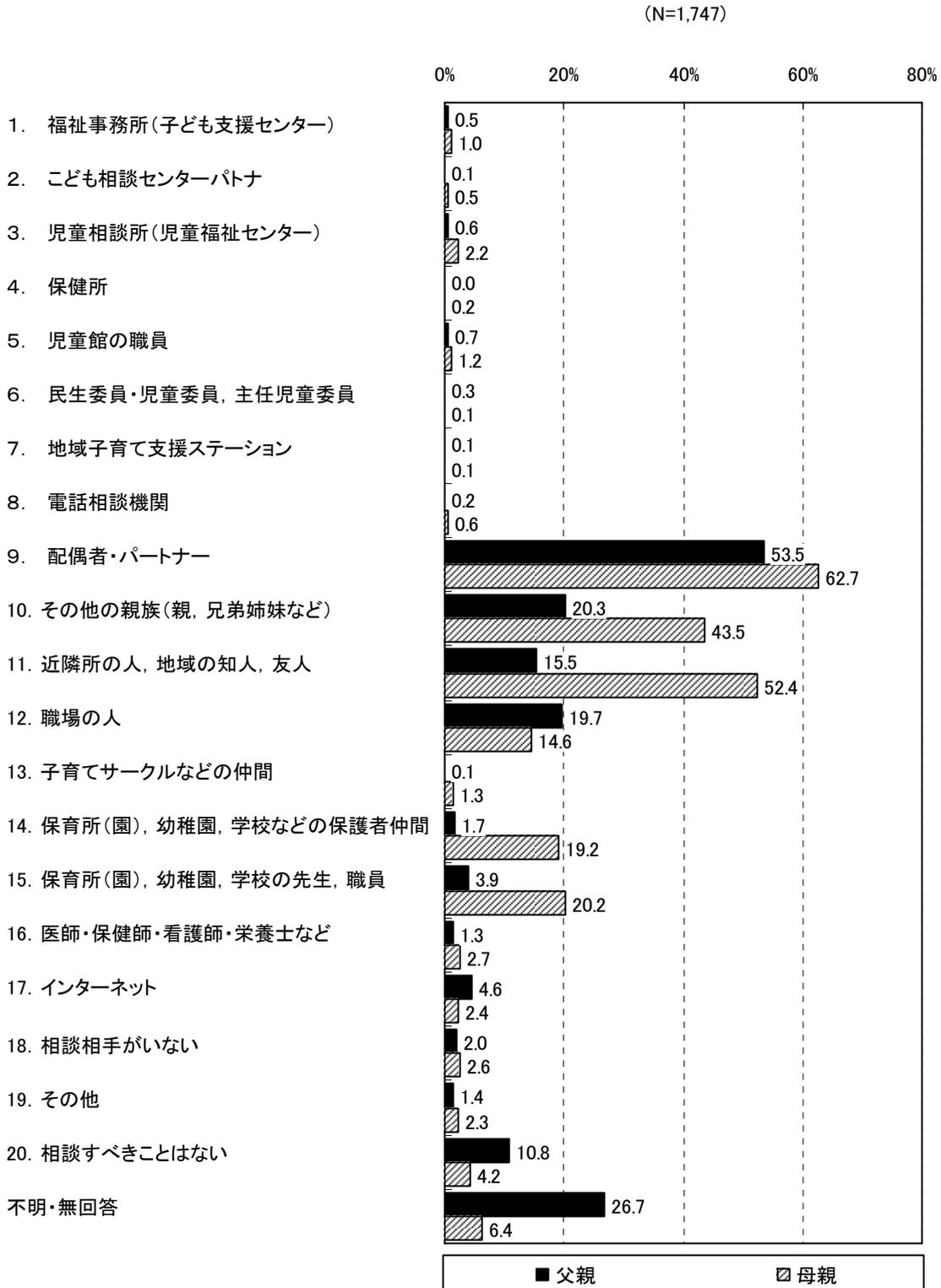
平成 16 年調査と比較すると、「父親」についてはほぼ同様の結果となっている。また、「母親」については、平成 16 年調査では「8. こどもの勉強や進学に関すること」が最も高くなっていたのに対して、平成 20 年調査では、「1. こどものしつけ」が最も高くなっている。



問 29 あて名のお子さんを育てるうえで、日頃感じられる悩みや不安を、誰に、またはどこに相談していらっしゃるでしょうか。(あてはまるもの3つまで)

相談先についてみると、「父親」「母親」とともに「9. 配偶者・パートナー」が最も高くなっている。

「11. 隣近所の人、地域の知人、友人」については、「母親」が「父親」より36.9ポイントと高くなっている。



【こどもの学年別】

こどもの学年別にみると、「父親」についてはすべての区分で「配偶者・パートナー」の割合が最も高くなっている。「母親」については「5年生」の区分で「隣近所の人、地域の知人、友人」の割合が最も高く、その他の区分では「配偶者・パートナー」の割合が最も高くなっている。

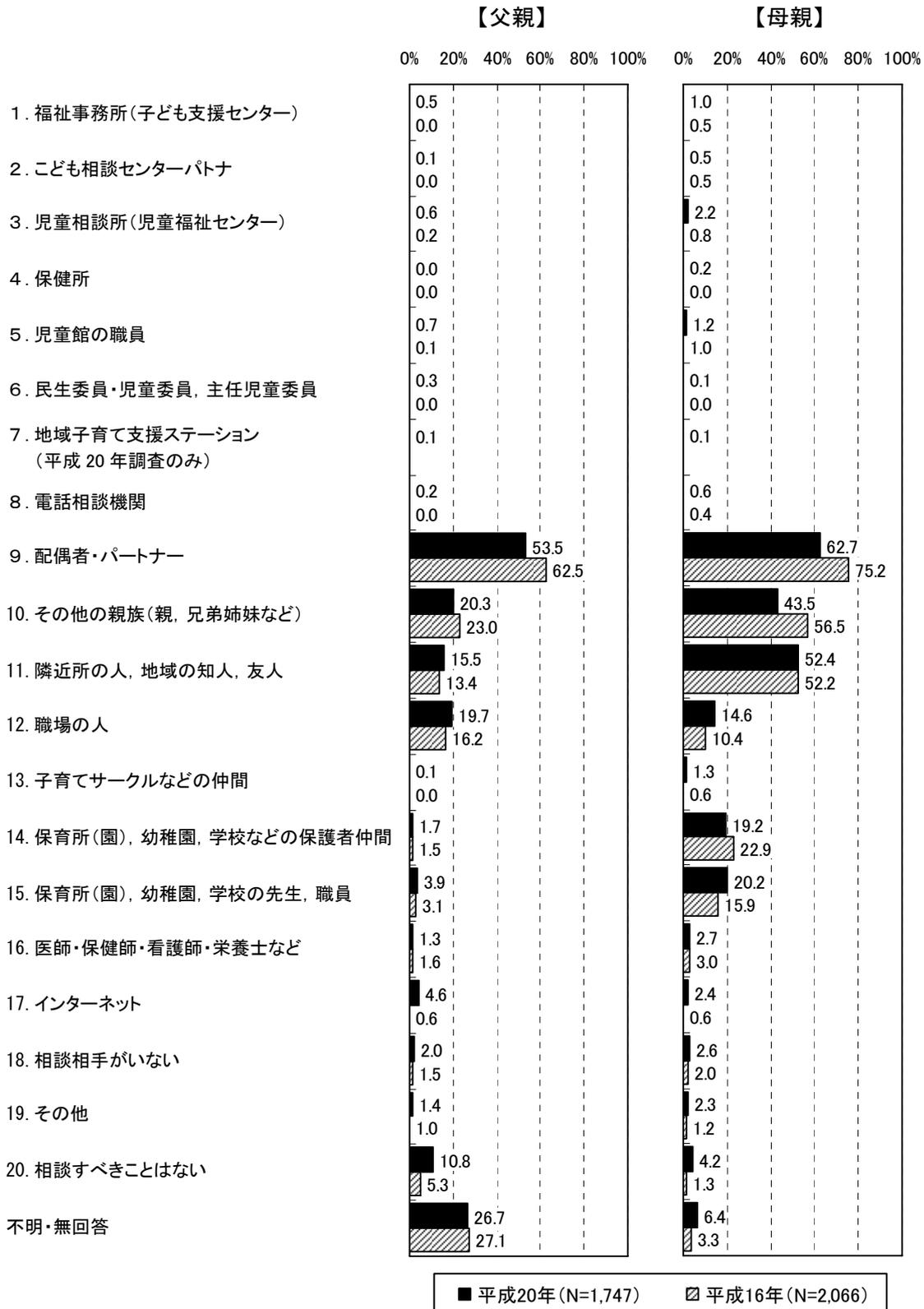
単位：%

	学年別	回答者数 (人)	福祉事務所 (子ども 支援セン ター)	こども相 談セン ター・パ ーナ	児童相談 所(児童 福祉セン ター)	保健所	児童館の 職員	民生委 員・児童 委員, 主任児童 委員	地域子育 て支援ス テーショ ン	電話相談 機関	配偶者・ パート ナー	その他の 親族(親, 兄弟姉妹 など)	隣近所の 人, 地域 の知人, 友人
(父親)	1年生	270	0.4	-	0.4	-	-	-	-	-	55.9	25.2	14.8
	2年生	277	0.4	-	1.4	-	1.4	-	-	-	57.8	20.6	14.4
	3年生	297	0.3	0.3	-	-	1.0	-	-	0.3	56.6	20.5	16.8
	4年生	282	1.1	-	0.7	-	-	1.1	0.4	0.7	49.6	17.4	17.4
	5年生	265	0.4	-	0.8	-	1.1	0.4	-	0.4	48.7	16.6	14.0
	6年生	300	0.3	-	0.7	-	0.3	0.3	-	-	52.7	22.0	15.0
(母親)	1年生	270	1.1	0.7	3.3	0.7	1.5	0.4	-	0.7	65.9	44.8	53.0
	2年生	277	1.4	-	2.5	-	1.8	-	0.4	-	69.3	44.4	49.8
	3年生	297	0.7	0.7	0.3	-	1.3	-	-	0.7	64.3	47.8	52.2
	4年生	282	0.7	-	2.8	0.4	1.1	0.4	-	0.7	59.9	40.4	52.1
	5年生	265	0.8	0.8	1.9	-	1.5	-	-	0.8	55.1	42.3	57.7
	6年生	300	1.7	1.0	3.0	-	-	-	-	0.7	60.3	42.3	50.7

	学年別	回答者数 (人)	職場の人	子育て サークル などの 仲間	保育所 (園), 幼 稚園, 学 校などの 保護者 仲間	保育所 (園), 幼 稚園, 学 校の先 生, 職員	医師・保 健師・看 護師・栄 養士など	インター ネット	相談相手 がない	その他	相談すべ きことは ない	不明・ 無回答
(父親)	1年生	270	20.7	-	1.9	4.1	0.7	6.7	1.1	1.1	11.1	24.8
	2年生	277	21.3	-	2.2	5.8	2.5	4.3	1.1	0.7	10.1	22.0
	3年生	297	20.5	-	2.0	4.7	1.3	3.4	1.7	1.7	7.7	26.9
	4年生	282	18.8	-	1.1	2.5	0.7	4.3	2.5	0.7	11.7	31.6
	5年生	265	21.1	-	1.5	1.9	1.5	5.7	3.8	1.9	13.2	26.0
	6年生	300	18.7	0.3	1.7	3.7	1.0	4.7	2.0	2.3	11.3	26.7
(母親)	1年生	270	13.0	1.5	21.9	23.7	3.0	3.3	1.1	2.6	3.3	4.4
	2年生	277	13.7	2.5	27.4	27.8	3.2	1.8	0.4	1.4	2.5	5.4
	3年生	297	13.5	2.0	19.9	21.9	3.0	2.0	3.0	2.0	5.7	4.4
	4年生	282	16.3	1.1	17.0	17.4	2.5	3.5	6.7	2.8	5.0	3.2
	5年生	265	15.8	0.4	15.1	14.7	1.9	2.6	2.6	1.5	3.4	10.6
	6年生	300	17.0	-	14.7	18.0	2.3	1.0	1.0	3.0	5.3	9.0

【平成 16 年調査との比較】

平成 16 年調査と比較すると、「父親」については「9. 配偶者・パートナー」が 62.5%から 53.5%と、9.0 ポイント低くなっている。また、「母親」についても「9. 配偶者・パートナー」が 75.2%から 62.7%と、12.5 ポイント低くなっている。

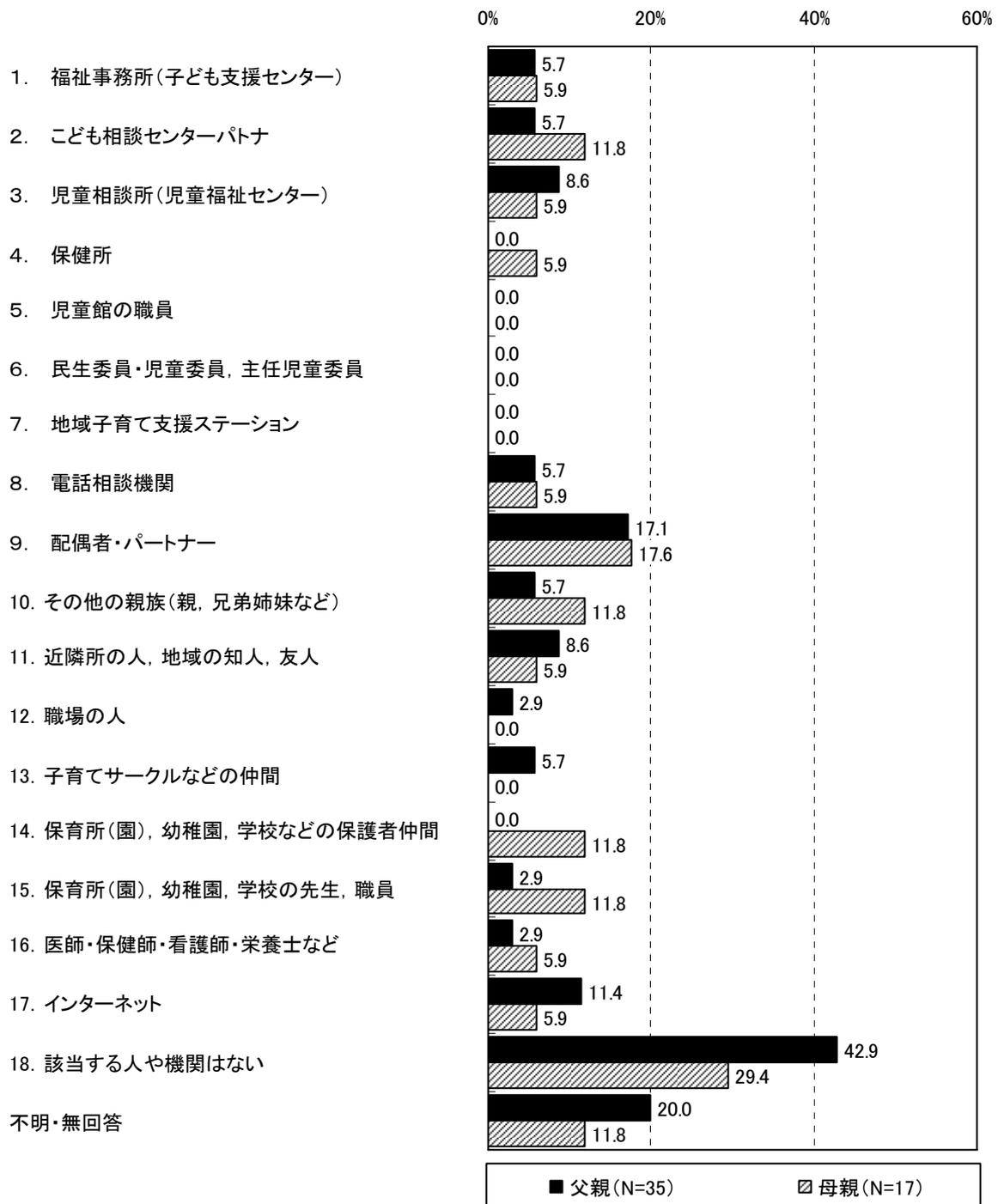


問 29-1 問 29 で「18」を選ばれた方におうかがいします。

次のうち、もう少し気軽に相談できるなど条件が整っていれば、相談してみようと思う人や機関はありますか。（あてはまるもの3つまで）

もう少し気軽に相談できるなど条件が整っていれば、相談してみようと思う人や機関についてみると、「父親」「母親」ともに「18. 該当する人や機関はない」が最も高くなっている。

「14. 保育所（園）、幼稚園、学校などの保護者仲間」については、11.8 ポイント「母親」が高く、父親と母親の差が大きくなっている。

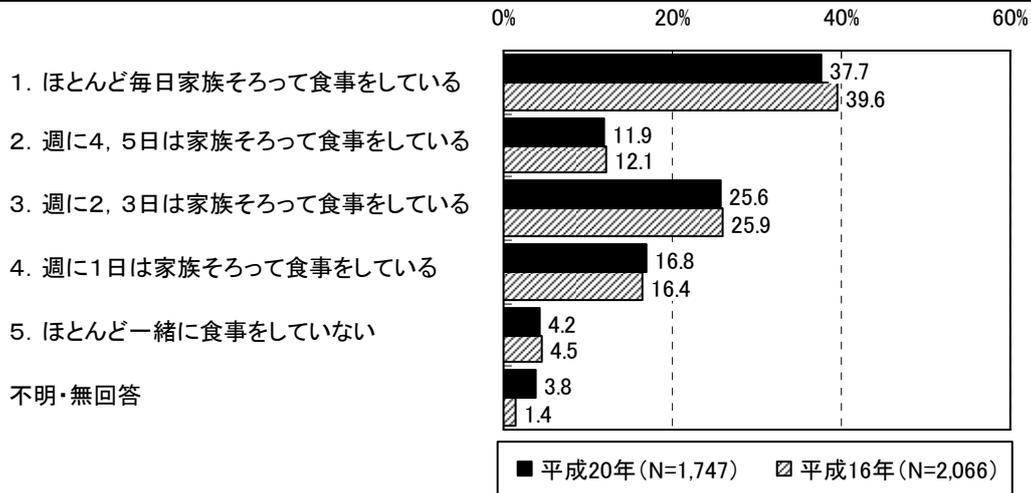


問 30 あて名のお子さんの食生活についてお答えください。

(1) ふだん家族そろって食事をすることがどのくらいありますか。

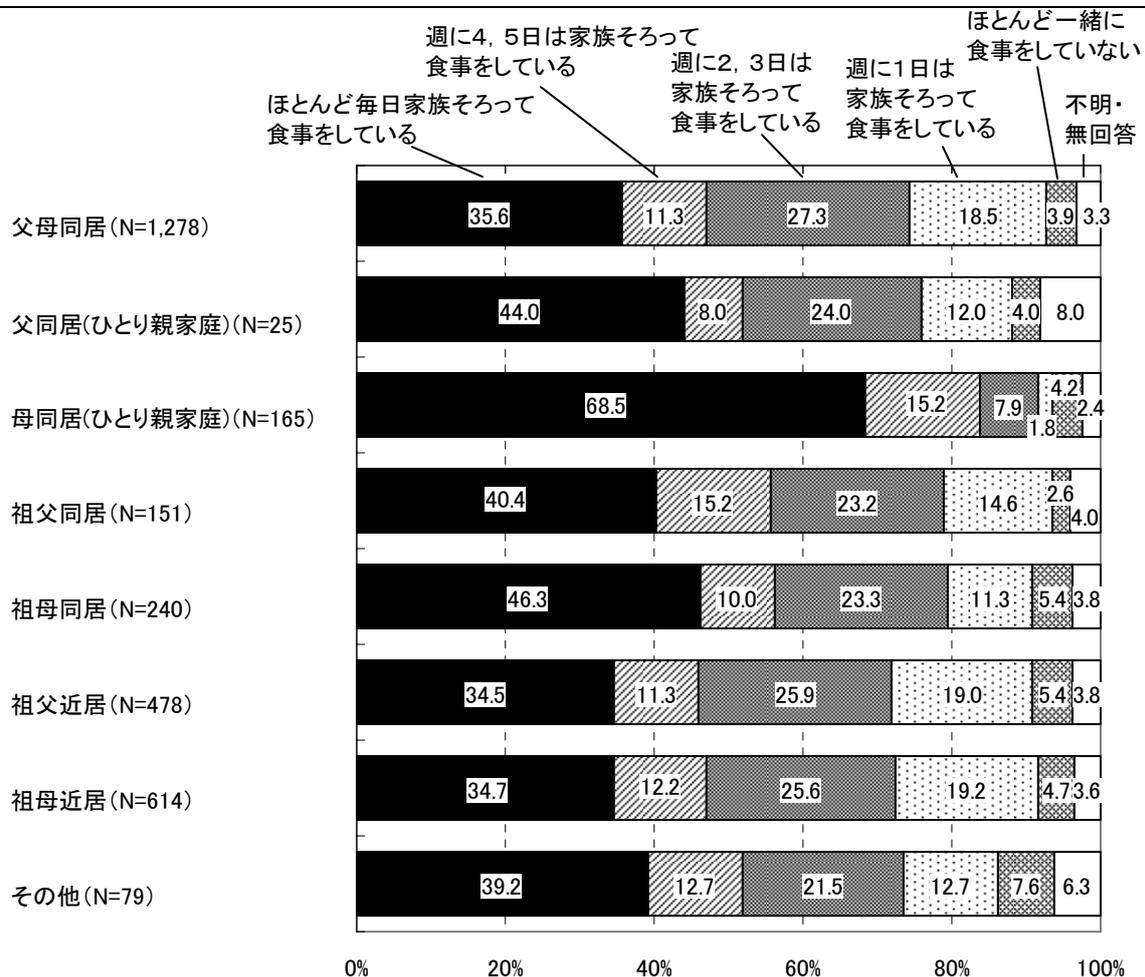
ふだん家族そろって食事をすることがどれくらいあるかについてみると「1. ほとんど毎日家族そろって食事をしている」が37.7%と最も高く、次いで「3. 週に2, 3日は家族そろって食事をしている」が25.6%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



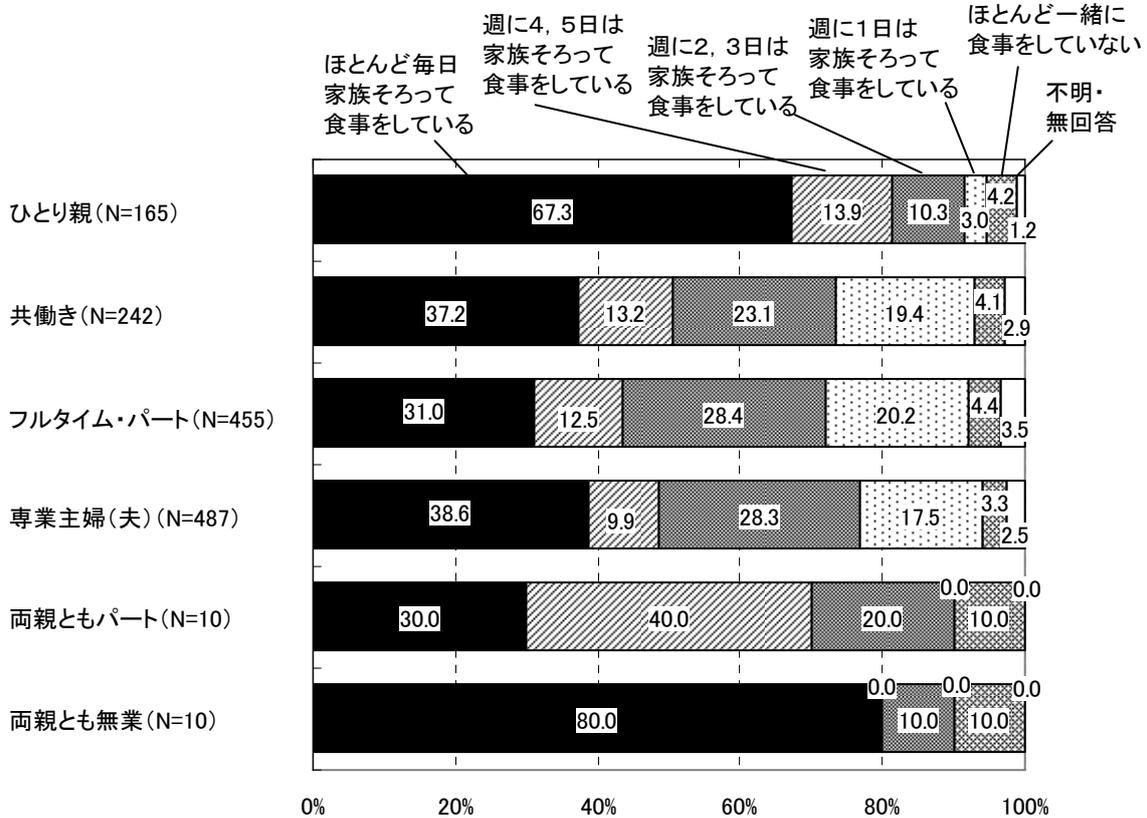
【同居・近居の状況別】

同居・近居の状況別にみると、すべての区分で「ほとんど毎日家族そろって食事をしている」の割合が3割を超えているが、「母同居（ひとり親家庭）」の区分が6割を超え最も高くなっている。



【家族類型別】

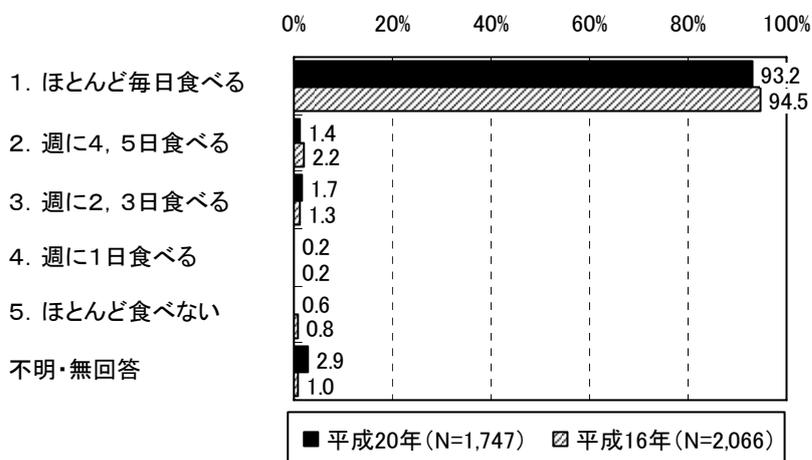
家族類型別にみると、「両親ともパート」の区分で「週に4, 5日は家族そろって食事をしている」の割合が最も高く、その他の区分で「ほとんど毎日家族そろって食事をしている」の割合が最も高くなっている。



(2) あて名のお子さんは、ふだん朝食を食べていますか。

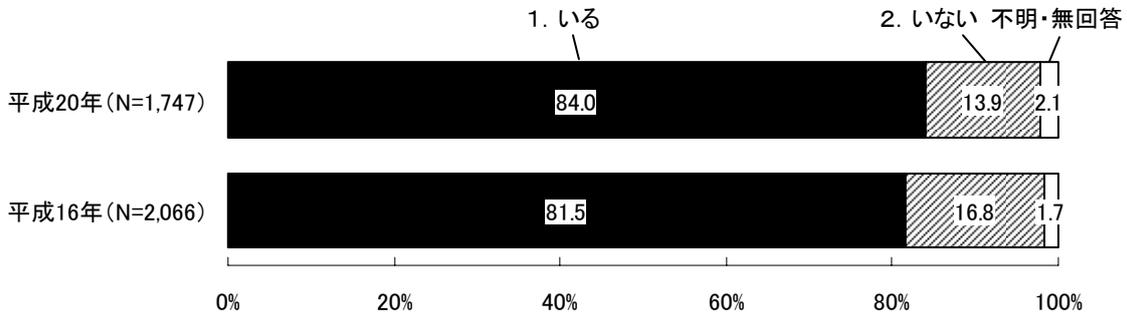
ふだん朝食を食べているかについてみると「1. ほとんど毎日食べる」が 93.2%と大半を占めている。

平成 16 年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



問 31 あて名のお子さんには、かかりつけの医師がいますか。

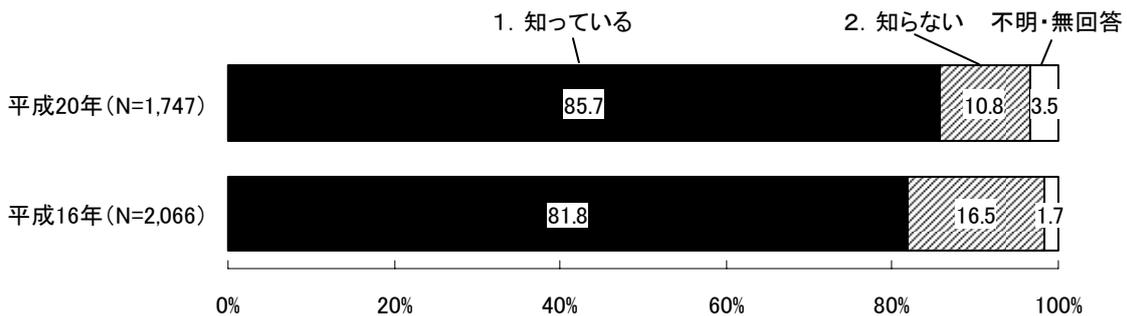
平成 16 年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



問 32 あなたは、休日・夜間に診てもらえる小児救急医療機関を知っていますか。

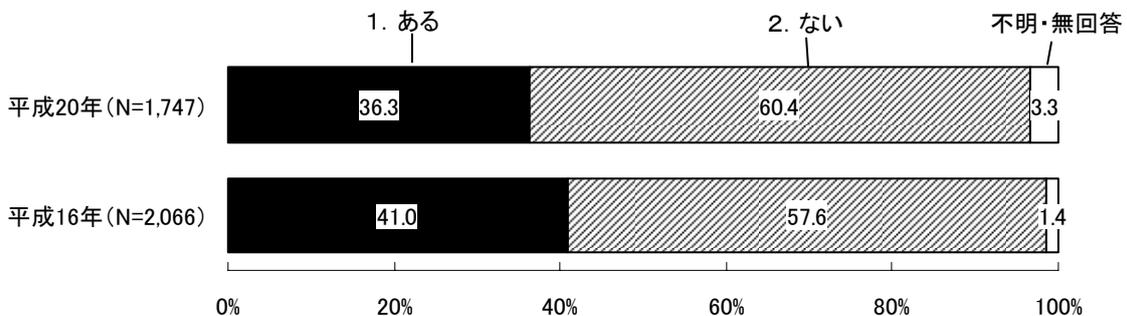
休日・夜間に診てもらえる小児救急医療機関を知っているかについてみると「1. 知っている」が85.7%、「2. 知らない」が10.8%となっている。

平成 16 年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



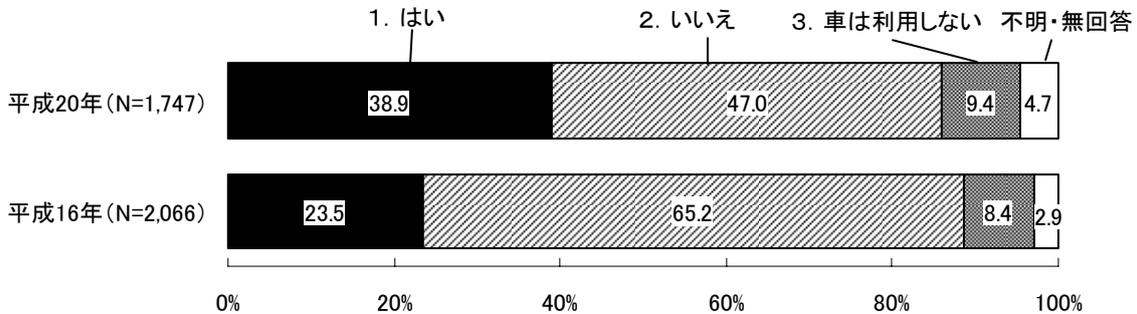
問 33 あて名のおさんは、いままでに事故（転倒・交通事故・やけど・誤飲・溺水など）にあったことがありますか。

平成 16 年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



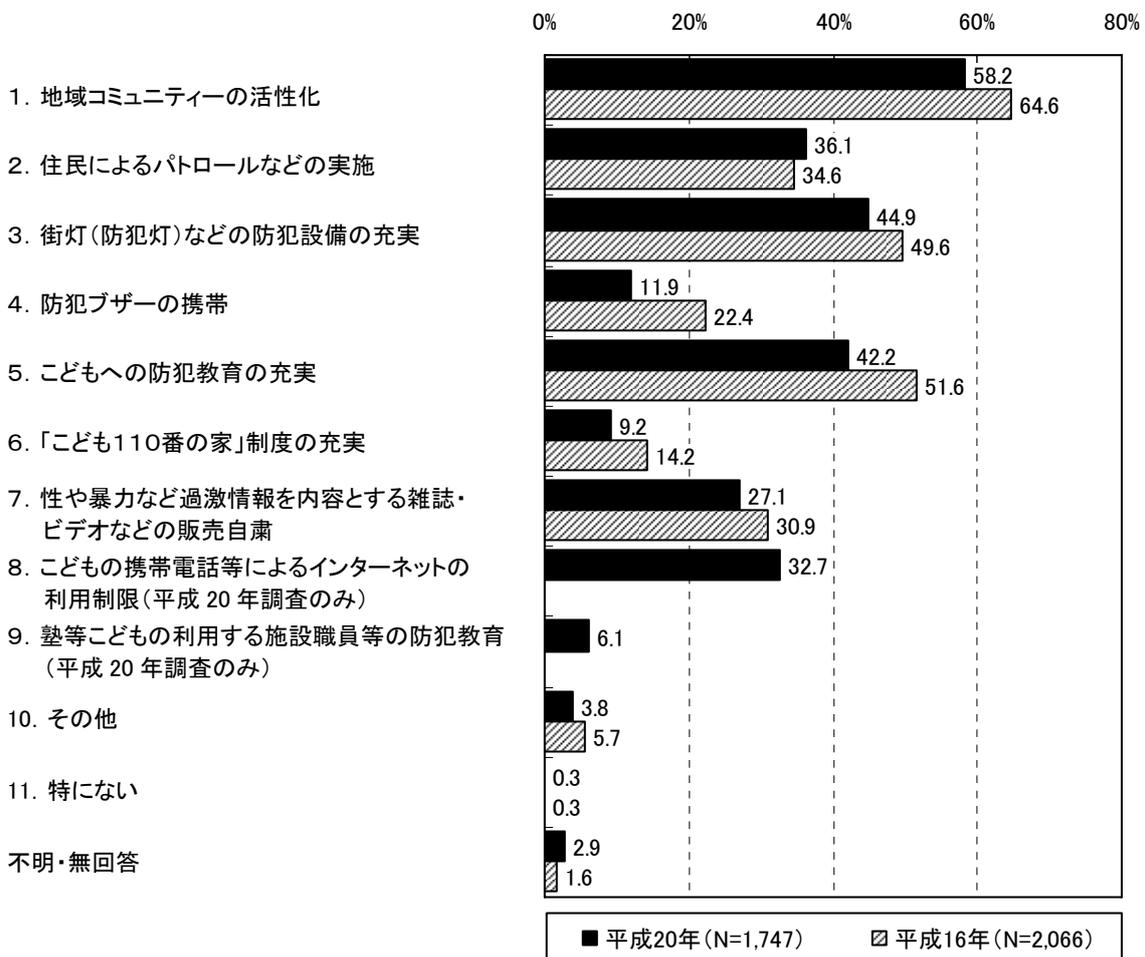
問 34 車で外出する際に、あて名のお子さんにはチャイルドシート・ジュニアシートを着用させていますか。

平成 16 年調査と比較すると、「1. はい」が 23.5%から 38.9%と、15.4 ポイント高くなっている。



問 35 こどもが被害者となる犯罪が社会問題となっていますが、被害を予防・防止するために特に必要なことは何だと思えますか。（主なもの3つまで）

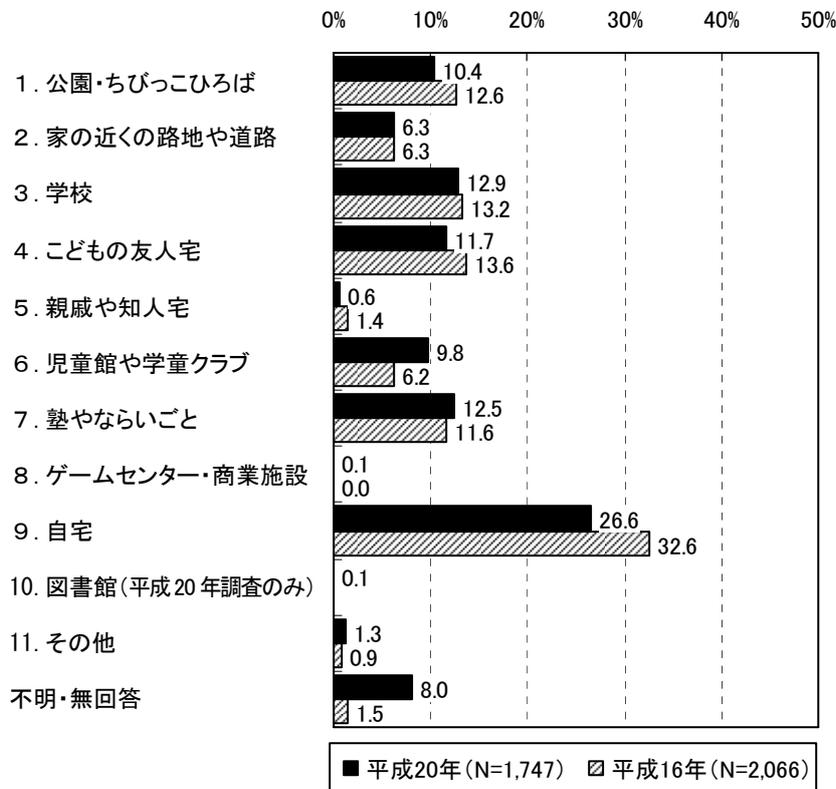
被害を予防・防止するために特に必要なことについてみると「1. 地域コミュニティの活性化」が 58.2%と最も高く、次いで「3. 街灯(防犯灯)などの防犯設備の充実」が 44.9%となっている。平成 16 年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



問 36 あて名のお子さんは、平日の放課後どこで過ごすことが多いですか。

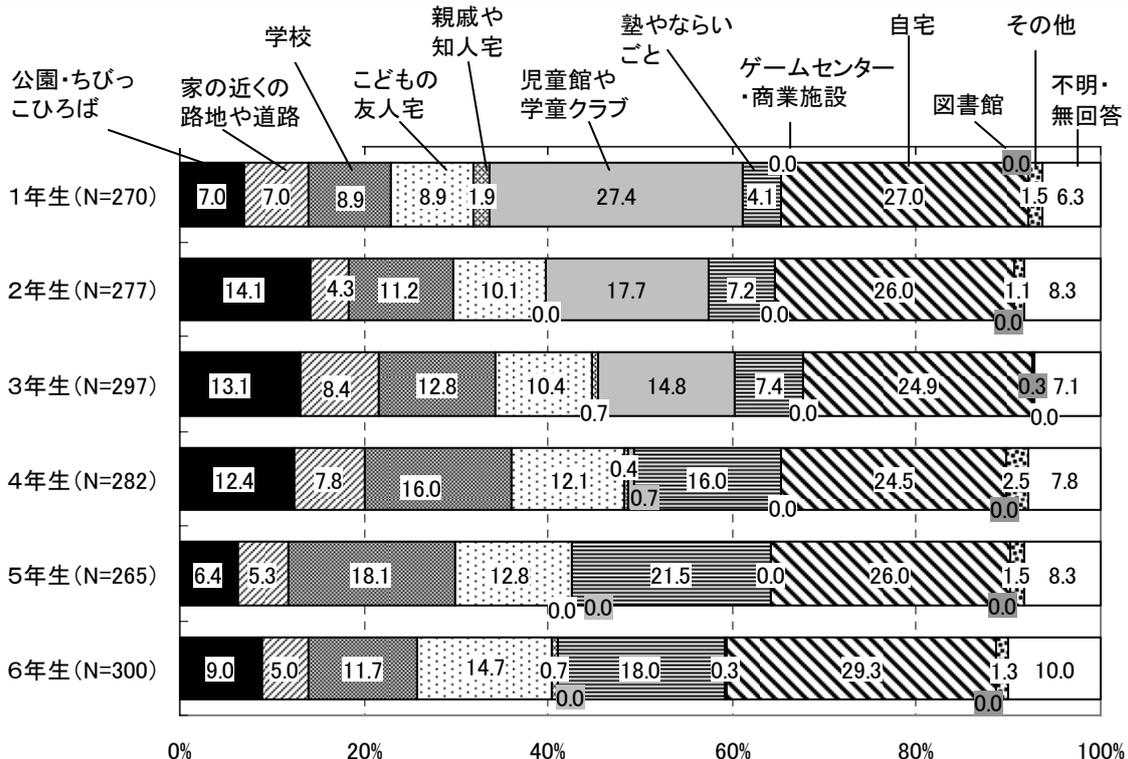
平日の放課後どこで過ごすかについてみると「9. 自宅」が 26.6%と最も高く、次いで「3. 学校」が 12.9%となっている。

平成 16 年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



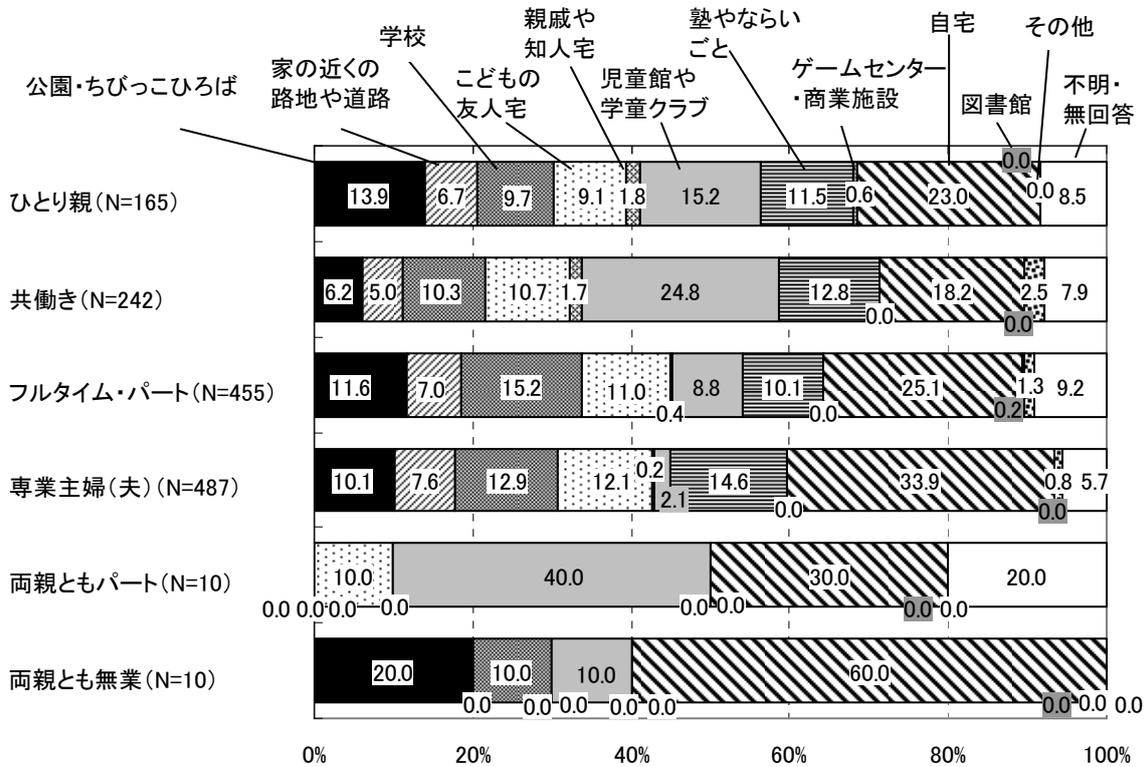
【こどもの学年別】

こどもの学年別にみると、「1年生」については「児童館や学童クラブ」の割合が高くなっているが、その他の区分では「自宅」の割合が高くなっている。



【家族類型別】

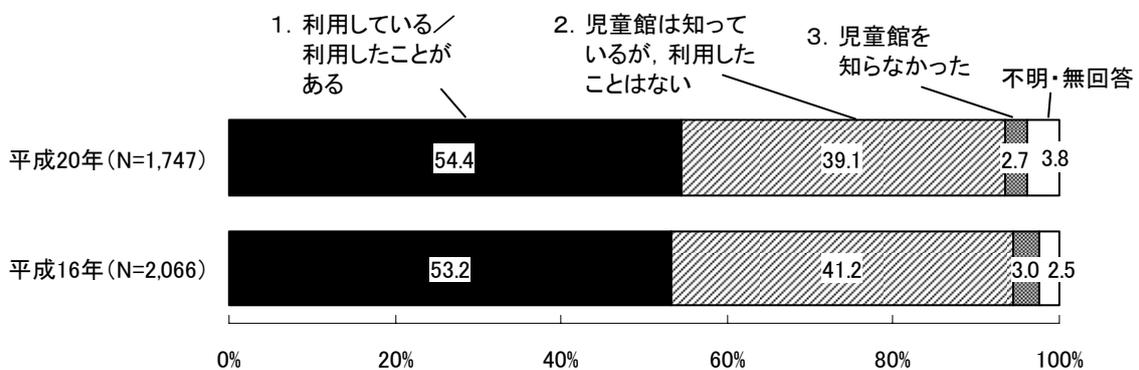
家族類型別にみると、「共働き」「両親ともパート」は「児童館や学童クラブ」の割合が高く、その他の区分では「自宅」の割合が高くなっている。



問 37 京都市では、遊びを通じて児童の健全育成を図る地域の拠点として、児童館の整備・運営を行っています。あて名のお子さんは、これまでに児童館を利用したことがありますか。

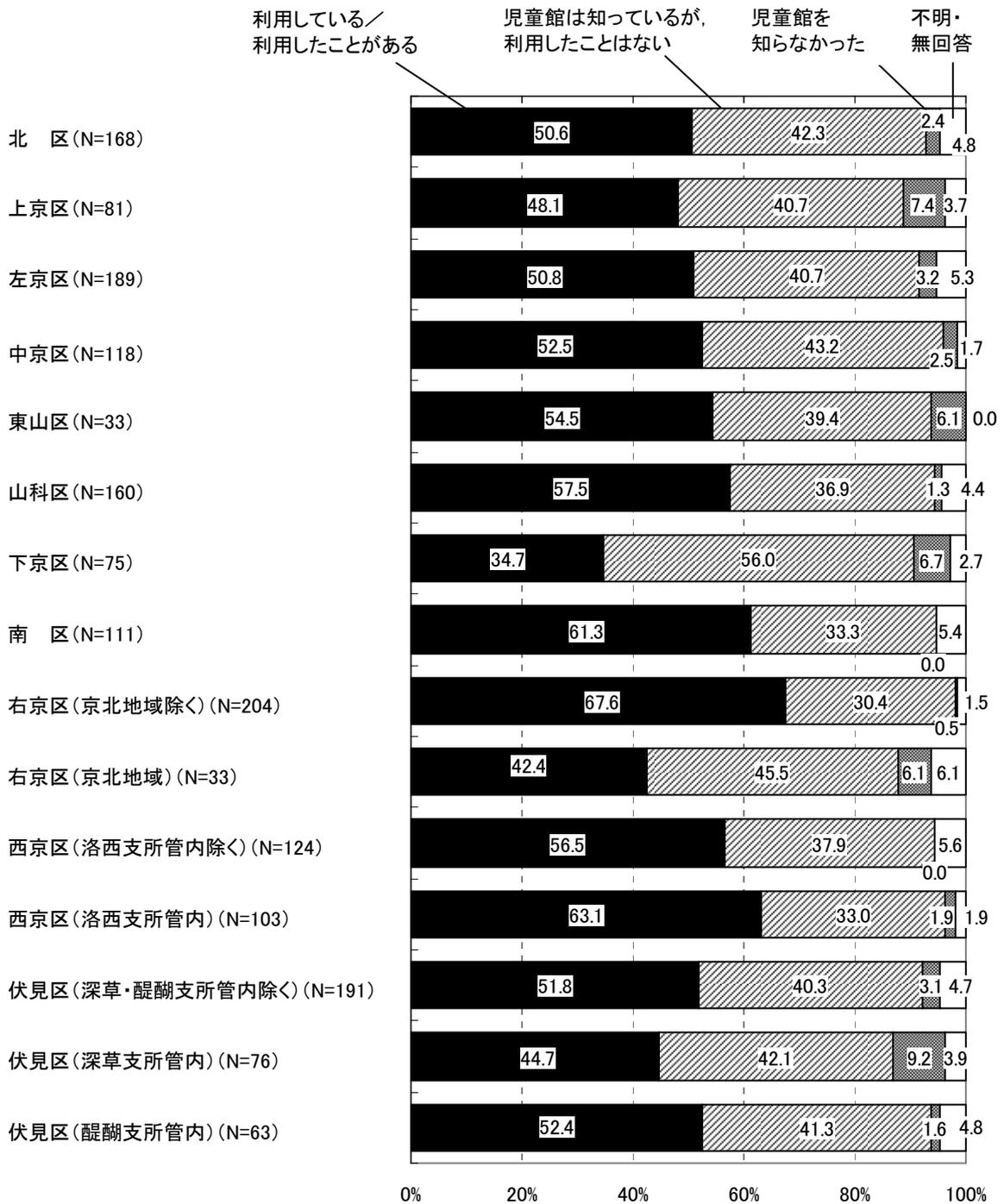
これまで児童館を利用したことがあるかについてみると「1. 利用している／利用したことがある」が54.4%と最も高く、次いで「2. 児童館は知っているが、利用したことはない」が39.1%となっている。

平成 16 年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



【居住区別】

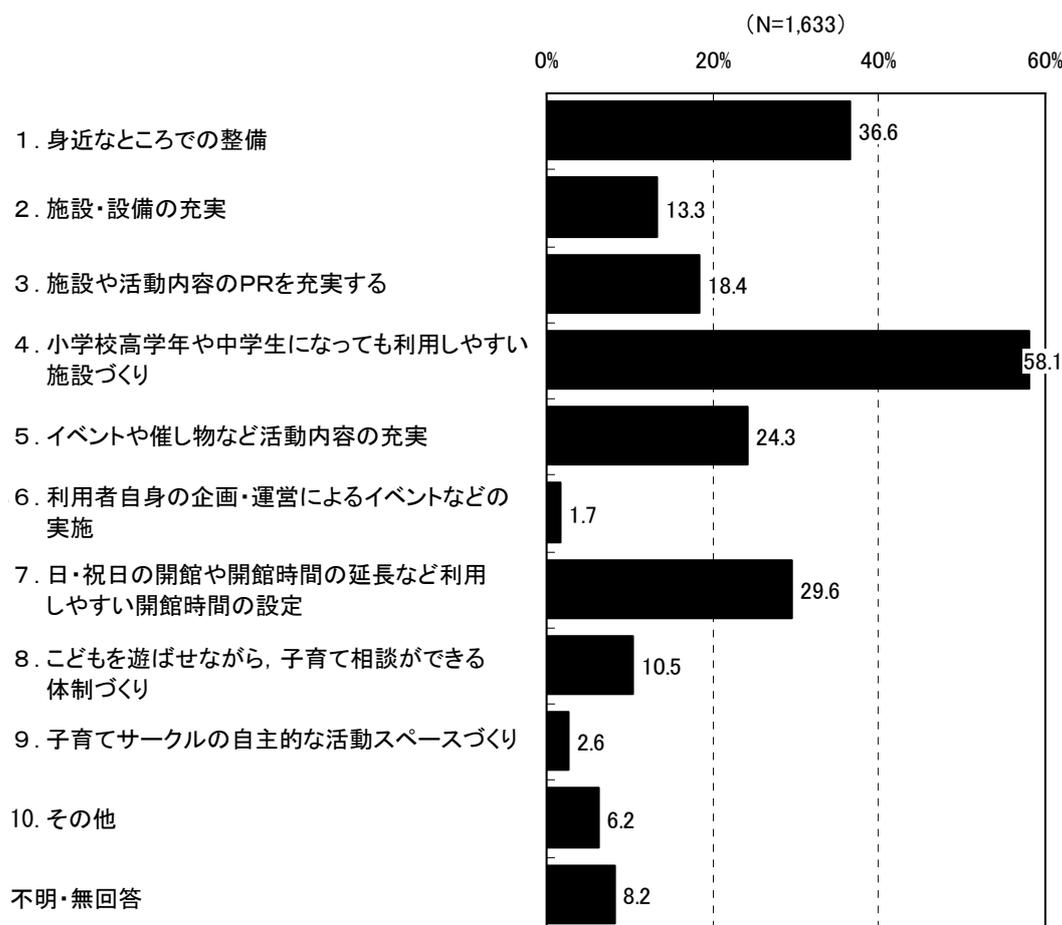
居住区別にみると、ほとんどの区分で「利用している／利用したことがある」の割合が5割を超えているのに対して、「下京区」「右京区（京北地域）」「伏見区（深草支所管内）」「上京区」は「利用している／利用したことがある」の割合が低くなっている。



問 37-1 問 37 で「1」、「2」を選ばれた方におうかがいします。

あて名のお子さんが利用しやすくするために、児童館について期待すること
は何ですか。（主なもの3つまで）

児童館に期待することについてみると「4. 小学校高学年や中学生になっても利用しやすい施設づくり」が58.1%と最も高く、次いで「1. 身近なところでの整備」が36.6%となっている。



【家族類型別】

家族類型別にみると、すべての区分で「小学校高学年や中学生になっても利用しやすい施設づくり」の割合が最も高くなっている。

単位：％

		回答者数 (人)	身近なところでの 整備	施設・設備の充実	施設や活動内容のPRを充実する	小学校高学年や中学生になっても利用しやすい施設づくり	イベントや催し物など活動内容の充実	利用者自身の企画・運営によるイベントなどの実施
家族類型別	ひとり親	151	35.1	11.3	11.9	64.9	18.5	-
	共働き	227	36.1	17.2	15.4	67.4	18.9	3.5
	フルタイム・パート	436	34.6	16.5	16.1	60.3	25.5	2.3
	専業主婦(夫)	454	39.9	9.7	24.2	51.8	27.3	1.1
	両親ともパート	9	33.3	44.4	22.2	66.7	11.1	11.1
	両親とも無業	10	50.0	10.0	10.0	40.0	20.0	-

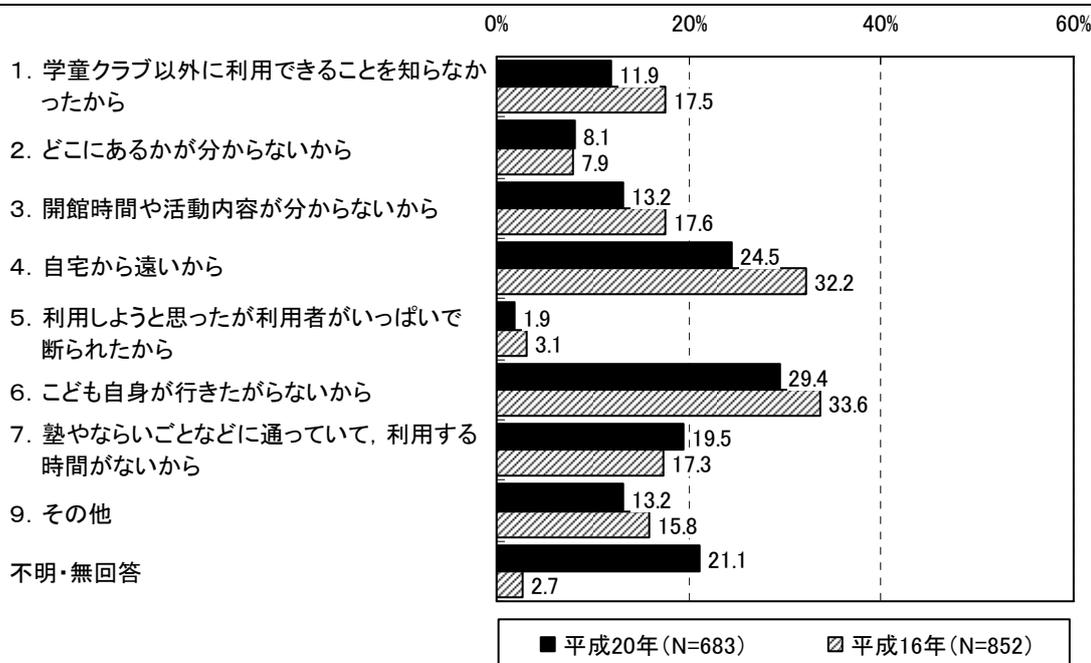
		回答者数 (人)	日・祝日の開館や開館時間の延長など利用しやすい開館時間の設定	子どもを遊ばせながら、子育て相談ができる体制づくり	子育てサークルの自主的な活動スペースづくり	その他	不明・無回答
家族類型別	ひとり親	151	39.7	10.6	0.7	8.6	8.6
	共働き	227	37.0	7.0	3.1	7.0	4.0
	フルタイム・パート	436	29.4	8.9	1.4	6.7	6.7
	専業主婦(夫)	454	24.0	13.4	2.2	4.8	11.5
	両親ともパート	9	11.1	-	22.2	-	11.1
	両親とも無業	10	20.0	10.0	-	-	20.0

問 37-2 問 37 で「2」を選ばれた方におうかがいします。

あて名のお子さんが児童館を利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべて）

児童館を利用していない理由についてみると「6. こども自身が行きたがらないから」が29.4%と最も高く、次いで「4. 自宅から遠いから」が24.5%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



【こどもの学年別】

こどもの学年別にみると、「1年生」「2年生」「4年生」は「自宅から遠いから」の割合が高く、「2年生」以上については「こども自身が行きたがらないから」の割合が最も高く、高学年では3割を超えている。

単位：%

学年別	学年	回答者数 (人)	学童クラブ以外に利用できることを知らなかったから	どこにあるかが分からないから	開館時間や活動内容が分からないから	自宅から遠いから	利用しようと思ったが利用者がいっぱい断られたから
			1年生	91	13.2	7.7	14.3
2年生	106	13.2	9.4	15.1	29.2	3.8	
3年生	118	12.7	11.0	14.4	22.0	1.7	
4年生	110	17.3	7.3	15.5	26.4	1.8	
5年生	114	10.5	7.0	12.3	20.2	1.8	
6年生	121	6.6	5.0	5.8	24.0	0.8	

学年別	学年	回答者数 (人)	こども自身が行きたがらないから	塾やならいごとなどに通っていて、利用する時間がないから	その他	不明・無回答
			1年生	91	24.2	8.8
2年生	106	29.2	19.8	16.0	16.0	
3年生	118	29.7	14.4	10.2	22.0	
4年生	110	26.4	24.5	11.8	20.0	
5年生	114	36.0	28.1	13.2	18.4	
6年生	121	31.4	20.7	13.2	27.3	

【居住区別】

居住区別にみると、「左京区」「東山区」では「自宅から遠いから」が4割を超えて高くなっている。また、「南区」「西京区（洛西支所管内）」では「こども自身が行きたがらないから」が4割を超えて高くなっている。

単位：%

		回答者数 (人)	学童クラブ以外に利用できることを知らなかったから	どこにあるかが分からないから	開館時間や活動内容が分からないから	自宅から遠いから	利用しようと思ったが利用者がいっぱい断られたから
居住区別	北 区	71	9.9	8.5	8.5	19.7	1.4
	上京区	33	9.1	3.0	12.1	27.3	3.0
	左京区	77	7.8	7.8	10.4	41.6	-
	中京区	51	13.7	15.7	23.5	19.6	-
	東山区	13	-	7.7	15.4	46.2	-
	山科区	59	10.2	8.5	13.6	25.4	3.4
	下京区	42	11.9	14.3	14.3	23.8	2.4
	南 区	37	13.5	2.7	8.1	13.5	5.4
	右京区 (京北地域除く)	62	11.3	1.6	8.1	32.3	1.6
	右京区 (京北地域)	15	-	-	13.3	20.0	-
	西京区 (洛西支所管内除く)	47	10.6	-	8.5	27.7	4.3
	西京区(洛西支所管内)	34	29.4	8.8	20.6	17.6	2.9
	伏見区(深草・醍醐支所管内除く)	77	15.6	14.3	18.2	15.6	1.3
	伏見区 (深草支所管内)	32	12.5	12.5	15.6	25.0	-
	伏見区 (醍醐支所管内)	26	11.5	3.8	11.5	11.5	3.8

IV 調査結果（小学生児童調査）

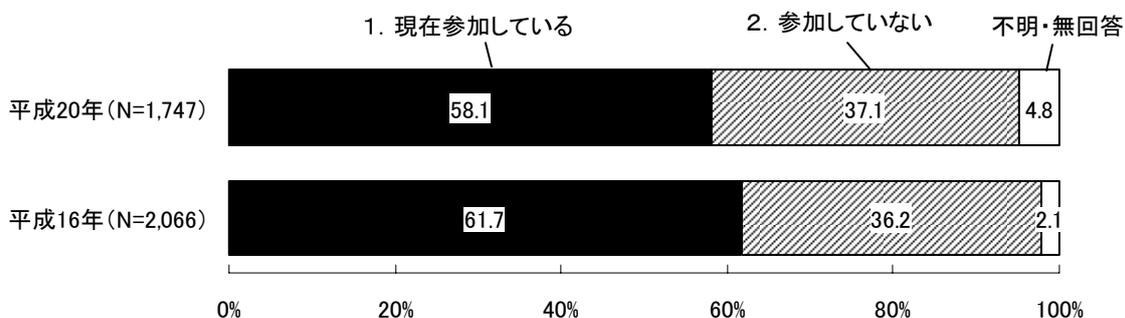
単位：%

	回答者数 (人)	子ども自身が 行きたがらな いから	塾やならいご となどに通っ て、利用す る時間がない から	その他	不明・ 無回答	
居住区別	北 区	71	25.4	19.7	23.9	14.1
	上京区	33	33.3	21.2	12.1	24.2
	左京区	77	28.6	22.1	19.5	11.7
	中京区	51	29.4	25.5	9.8	23.5
	東山区	13	30.8	7.7	-	23.1
	山科区	59	23.7	16.9	10.2	23.7
	下京区	42	26.2	19.0	11.9	28.6
	南 区	37	45.9	8.1	10.8	21.6
	右京区 (京北地域除く)	62	30.6	25.8	9.7	21.0
	右京区 (京北地域)	15	26.7	13.3	13.3	33.3
	西京区 (洛西支所管内除く)	47	36.2	23.4	10.6	21.3
	西京区(洛西支所管内)	34	41.2	26.5	8.8	8.8
	伏見区(深草・ 醍醐支所管内除く)	77	31.2	16.9	15.6	16.9
	伏見区 (深草支所管内)	32	15.6	18.8	6.3	31.3
	伏見区 (醍醐支所管内)	26	19.2	11.5	15.4	42.3

問 38 あて名のお子さんを主に面倒をみられている方の地域活動の参加状況についておうかがいします。あなたは地域活動に参加していますか。

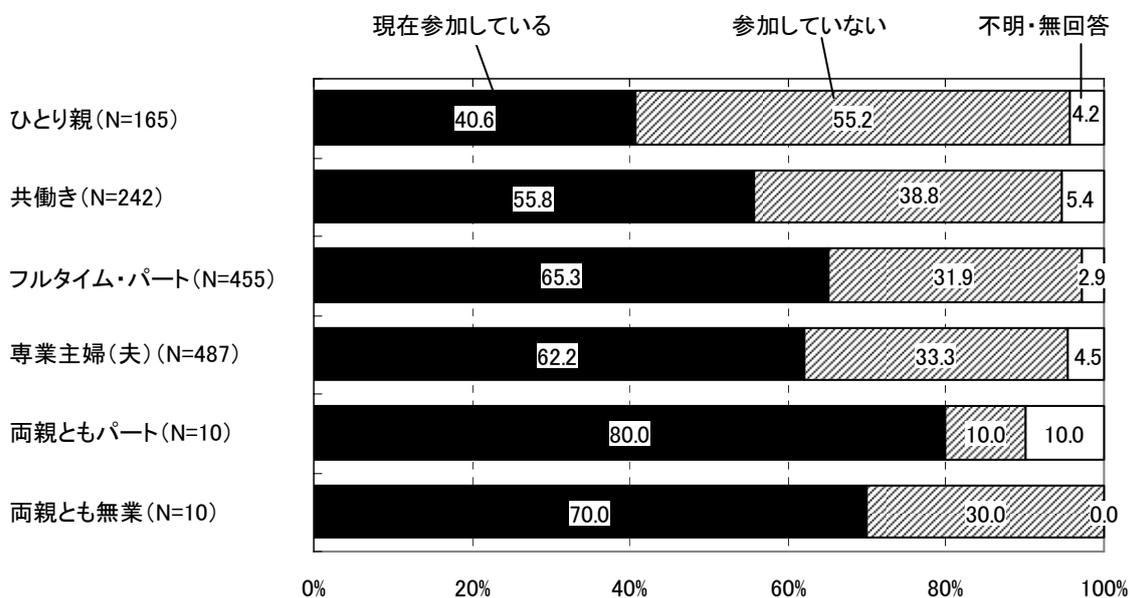
地域活動に参加しているかについてみると「1. 現在参加している」が58.1%、「2. 参加していない」が37.1%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



【家族類型別】

家族類型別にみると、「ひとり親」は他の区分と比較して「現在参加している」の割合がやや低くなっている。

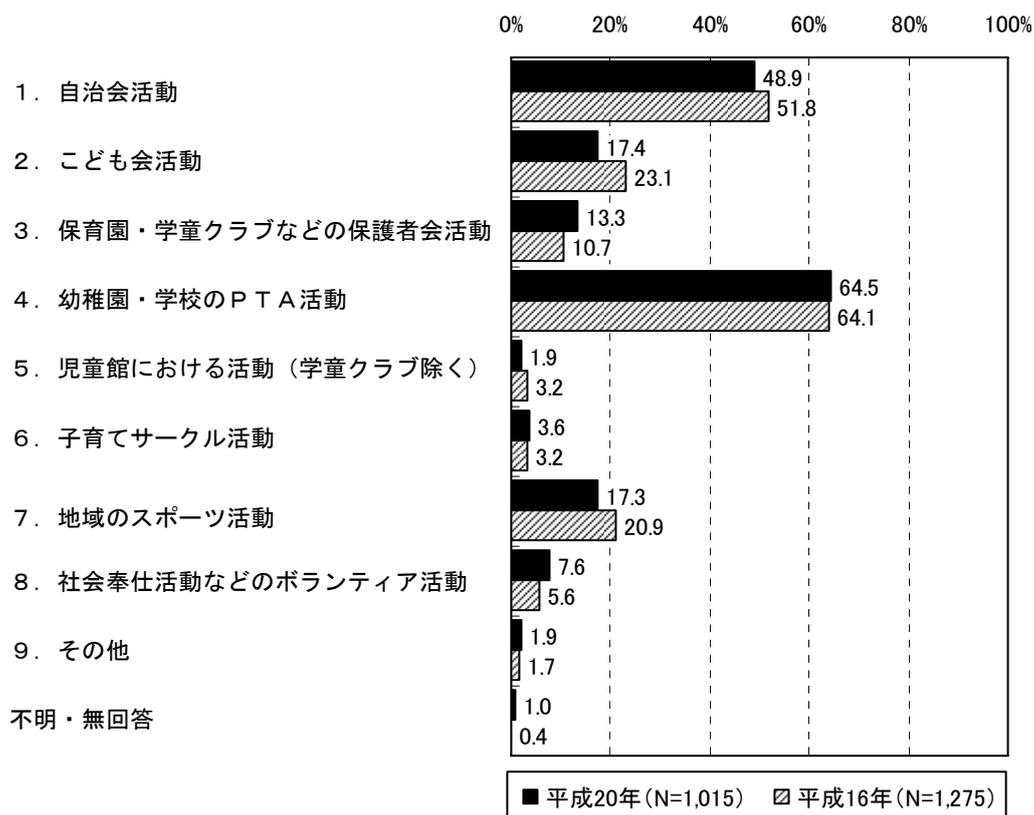


問 38-1 問 38 で「1」を選ばれた方におうかがいします。

それはどんな活動ですか。（あてはまるものすべて）

地域活動の内容についてみると「4. 幼稚園・学校のPTA活動」が64.5%と最も高く、次いで「1. 自治会活動」が48.9%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



【居住区別】

居住区別にみると、「下京区」「右京区（京北地域）」「西京区（洛西支所管内除く）」については、「自治会活動」の割合が高くなっているが、その他の区分については「幼稚園・学校のPTA活動」の割合が高くなっている。

単位：％

		回答者数 (人)	自治会活動	こども会活動	保育園・学童 クラブなどの 保護者会 活動	幼稚園・学校 のPTA活動	児童館にお ける活動(学 童クラブ除く)
居住 区 別	北 区	102	40.2	12.7	14.7	61.8	2.0
	上京区	45	42.2	6.7	24.4	68.9	-
	左京区	114	42.1	16.7	14.9	71.1	2.6
	中京区	56	50.0	16.1	7.1	64.3	1.8
	東山区	19	36.8	5.3	10.5	73.7	5.3
	山科区	93	49.5	17.2	6.5	72.0	3.2
	下京区	41	51.2	12.2	4.9	51.2	2.4
	南 区	70	41.4	20.0	8.6	71.4	-
	右京区 (京北地域除く)	143	54.5	21.7	15.4	64.3	0.7
	右京区 (京北地域)	22	59.1	27.3	22.7	45.5	9.1
	西京区 (洛西支所管内除く)	76	61.8	32.9	13.2	48.7	-
	西京区(洛西支所管内)	67	58.2	22.4	13.4	62.7	3.0
	伏見区(深草・ 醍醐支所管内除く)	92	46.7	8.7	22.8	68.5	1.1
	伏見区 (深草支所管内)	38	50.0	23.7	7.9	65.8	2.6
	伏見区 (醍醐支所管内)	29	41.4	10.3	6.9	69.0	-

単位：%

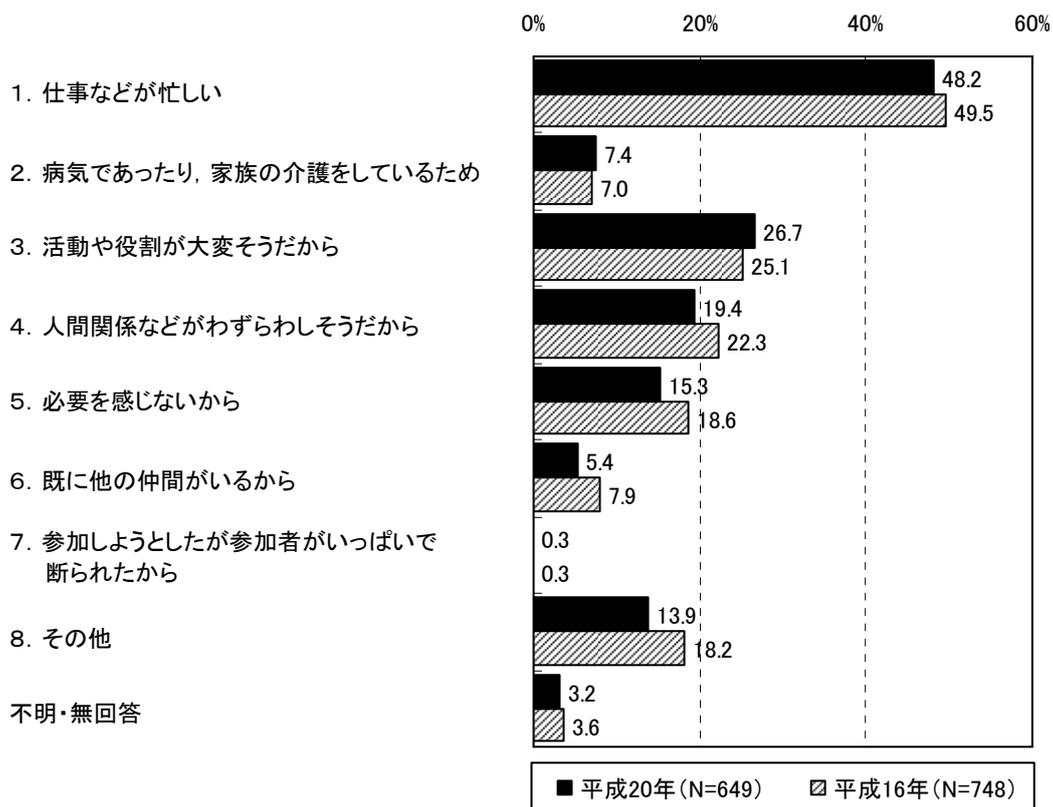
		回答者数 (人)	子育てサー クル活動	地域のス ポーツ活動	社会奉仕活 動などのボラ ンティア活動	その他	不明・ 無回答
居住区別	北 区	102	3.9	12.7	10.8	-	2.9
	上京区	45	2.2	26.7	11.1	-	-
	左京区	114	3.5	18.4	9.6	5.3	0.9
	中京区	56	8.9	17.9	3.6	3.6	3.6
	東山区	19	-	15.8	5.3	-	5.3
	山科区	93	1.1	20.4	8.6	1.1	-
	下京区	41	7.3	24.4	7.3	-	-
	南 区	70	2.9	14.3	4.3	4.3	-
	右京区 (京北地域除く)	143	3.5	14.7	7.0	2.1	-
	右京区 (京北地域)	22	4.5	31.8	9.1	-	-
	西京区 (洛西支所管内除く)	76	5.3	21.1	3.9	-	1.3
	西京区(洛西支所管内)	67	1.5	17.9	6.0	4.5	-
	伏見区(深草・ 醍醐支所管内除く)	92	3.3	10.9	7.6	-	1.1
	伏見区 (深草支所管内)	38	-	18.4	10.5	2.6	-
	伏見区 (醍醐支所管内)	29	10.3	10.3	6.9	-	3.4

問 38-2 問 38 で「2」を選ばれた方におうかがいします。

参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべて)

地域活動に参加していない理由についてみると「1. 仕事などが忙しい」が48.2%と最も高く、次いで「3. 活動や役割が大変そうだから」が26.7%となっている。

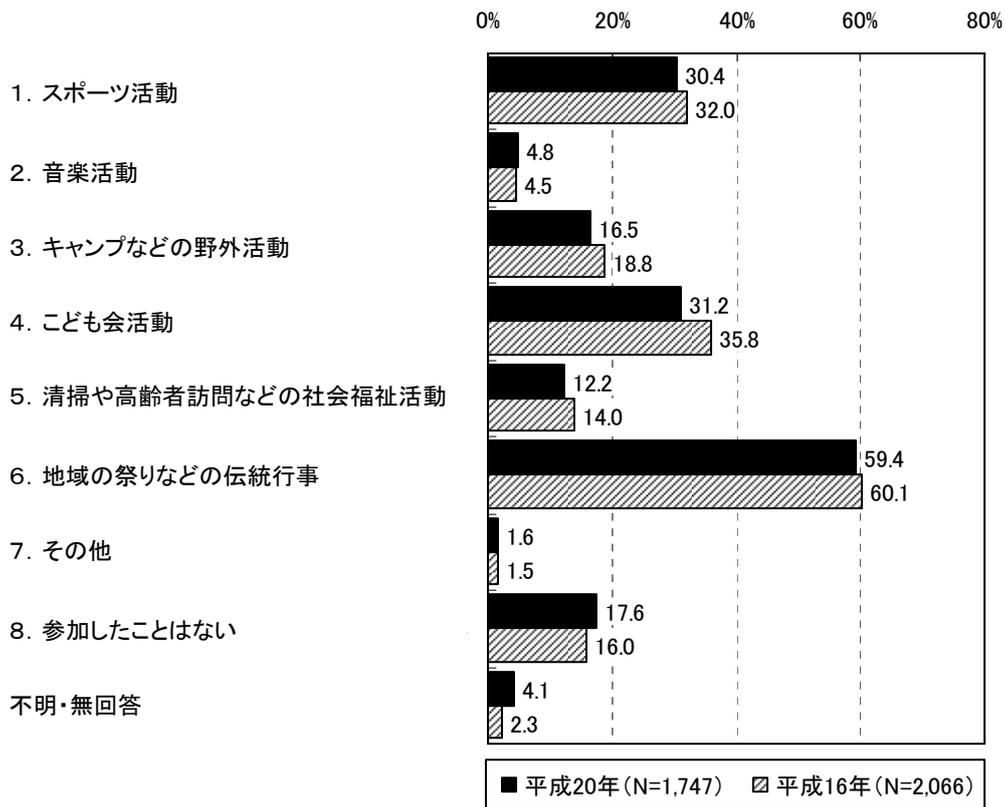
平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



問 39 あて名のお子さんは、地域的なグループ活動に参加したことがありますか。（あてはまるものすべて）

地域的なグループ活動に参加したことがあるかについてみると「6. 地域の祭りなどの伝統行事」が59.4%と最も高く、次いで「4. こども会活動」が31.2%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



【こどもの学年別】

こどもの学年別にみると、すべての区分について「地域の祭りなどの伝統行事」の割合が最も高くなっている。

単位：％

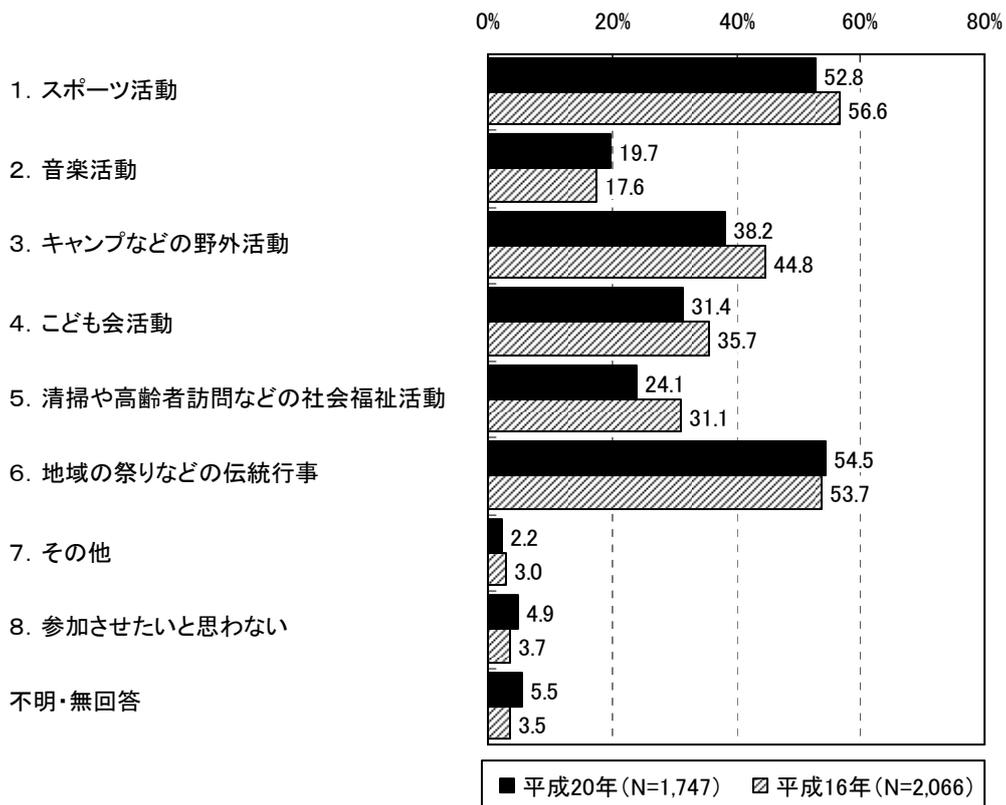
		回答者数 (人)	スポーツ活動	音楽活動	キャンプなどの の野外活動	こども会活動	清掃や高齢者 訪問などの社 会福祉活動
学年別	1年生	270	18.5	2.2	10.0	28.9	11.5
	2年生	277	25.6	2.5	11.2	32.9	11.9
	3年生	297	29.6	4.7	13.5	29.0	8.8
	4年生	282	34.0	8.2	19.5	28.0	15.2
	5年生	265	34.7	6.0	20.8	39.2	14.7
	6年生	300	40.0	5.0	24.0	31.0	12.7

		回答者数 (人)	地域の祭りな どの伝統行事	その他	参加したことは ない	不明・ 無回答
学年別	1年生	270	57.0	1.9	23.0	4.1
	2年生	277	62.8	2.2	15.2	3.2
	3年生	297	56.2	0.7	18.5	5.7
	4年生	282	60.3	1.1	17.0	2.5
	5年生	265	60.4	2.6	14.7	4.9
	6年生	300	60.0	0.7	16.7	4.0

問 40 今後、あて名のお子さんを、どのような地域的なグループ活動に参加させたいと思いますか。（あてはまるものすべて）

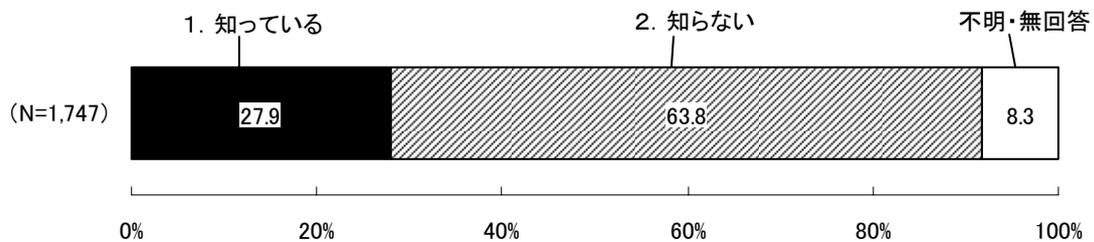
どのような地域的なグループ活動に参加させたいかについてみると「6. 地域の祭りなどの伝統行事」が54.5%、「1. スポーツ活動」が52.8%となっている。

平成16年調査と比較すると、平成16年調査では「スポーツ活動」が最も高くなっていたのに対して、平成20年調査では「地域の祭りなどの伝統行事」が最も高くなっている。



問 41 平成 19 年 2 月制定の「子どもを共に育む京都市民憲章」についておうかがい
 します。あなたは、この憲章を知っていますか。また、憲章の実践について
 どう思われますか。

「子どもを共に育む京都市民憲章」についてみると「2. 知らない」が 63.8%、「1. 知っている」が 27.9%となっている。



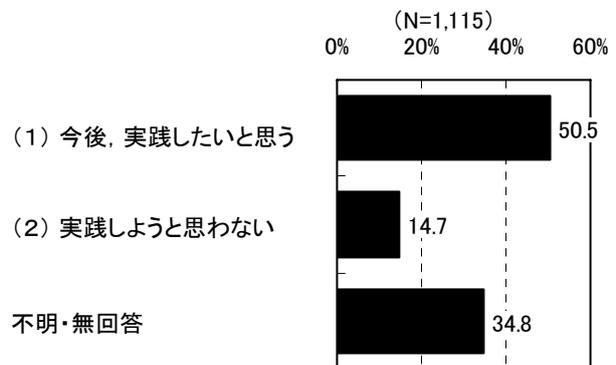
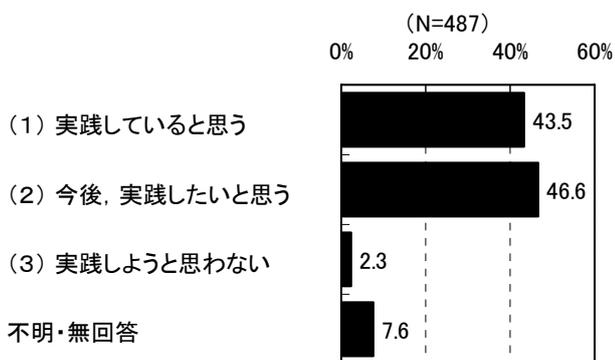
【憲章の実践について】

憲章を知っている方についてみると「(2) 今後、実践したいと思う」が 46.6%と最も高く、次いで「(1) 実践していると思う」が 43.5%となっている。

知らない方についてみると「(1) 今後、実践したいと思う」が 50.5%、「(2) 実践しようとは思わない」が 14.7%となっている。

【知っている】

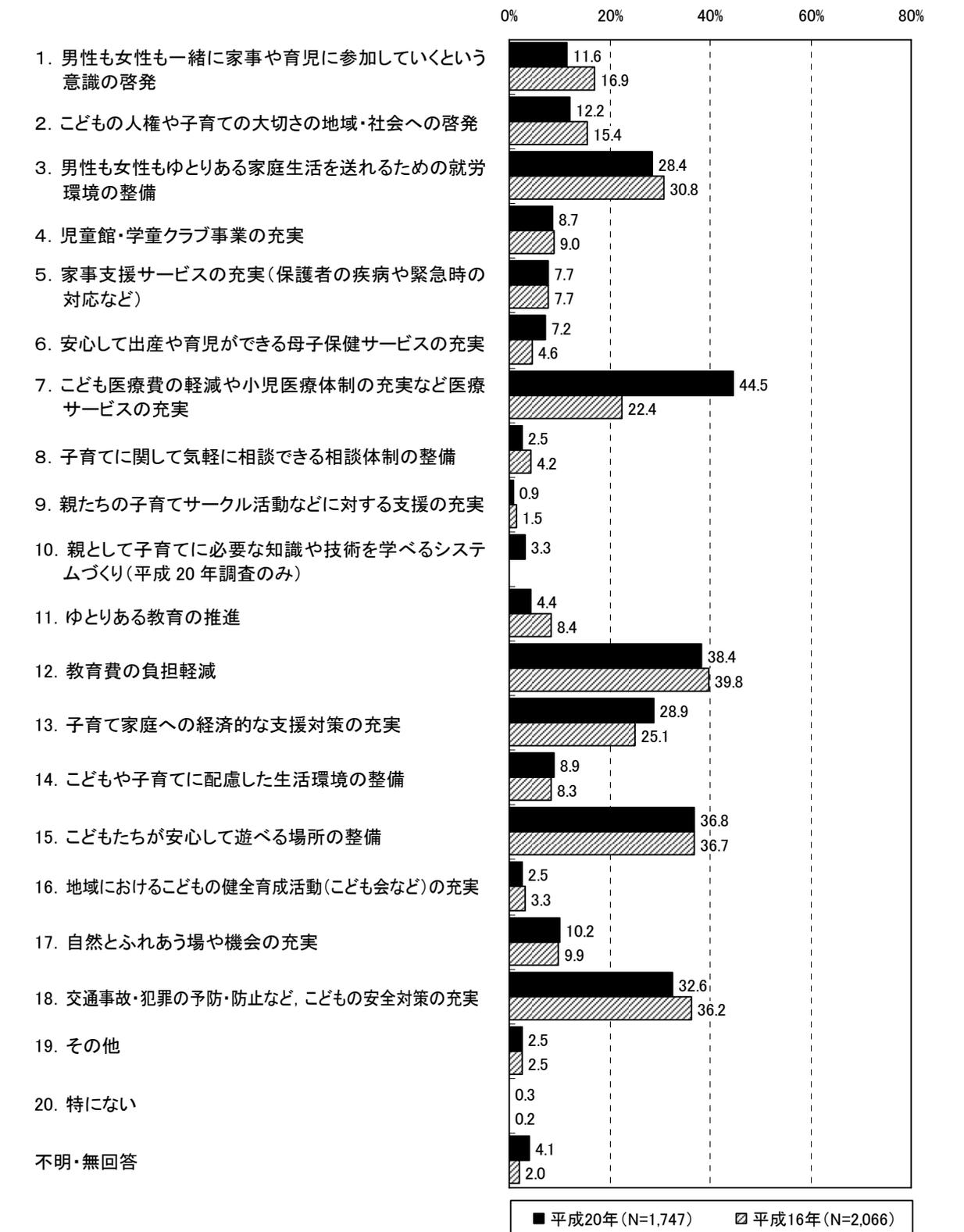
【知らない】



問 42 あなたは、あて名のお子さんを健やかに育てるために、今後、京都市・京都府・国にどのようなことを期待しますか。（あてはまるもの3つまで）

子育てのために行政に期待することについてみると「7. こども医療費の軽減や小児医療体制の充実など医療サービスの充実」が44.5%と最も高く、次いで「12. 教育費の負担軽減」が38.4%となっている。

平成16年調査と比較すると、「こども医療費の軽減や小児医療体制の充実など医療サービスの充実」が22.4%から44.5%と、22.1ポイント高くなっている。



【こどもの学年別、家族類型別】

こどもの学年別にみると、「1年生」～「4年生」については「こども医療費の軽減や小児医療体制の充実など医療サービスの充実」の割合が高く、「5年生」「6年生」は「教育費の負担軽減」の割合が高くなっている。

家族類型別にみると、「ひとり親」については「子育て家庭への経済的な支援対策の充実」の割合が高く、その他の区分については「こども医療費の軽減や小児医療体制の充実など医療サービスの充実」の割合が高くなっている。

単位：％

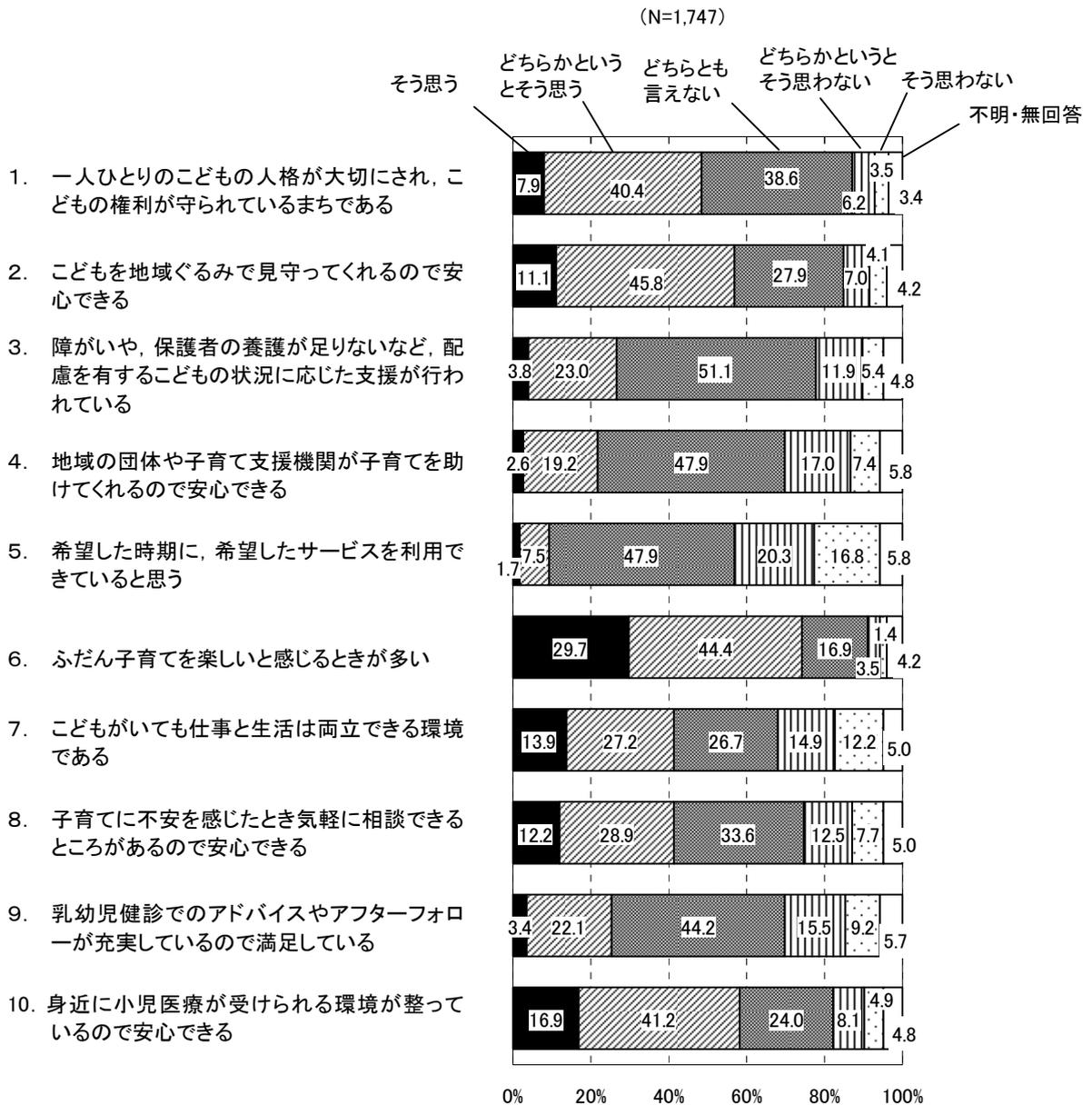
	回答者数 (人)	男性も女性も一緒に家事や育児に参加しているという意識の啓発	こどもの人権や子育ての大切さの地域・社会への啓発	男性も女性もゆとりある家庭生活を送るための就労環境の整備	児童館・学童クラブ事業の充実	家事支援サービスの充実(保護者の疾病や緊急時の対応など)	安心して出産や育児ができる母子保健サービスの充実	こども医療費の軽減や小児医療体制の充実など医療サービスの充実	子育てに関して気軽に相談できる相談体制の整備	親たちの子育てサークルなどに対する支援の充実	親として子育てに必要な知識や技術を学べるシステムづくり	ゆとりある教育の推進	
学年別	1年生	270	14.1	12.2	29.6	14.4	8.1	8.9	53.3	2.2	1.1	2.6	3.7
	2年生	277	10.1	10.5	31.4	12.3	7.2	6.5	49.8	0.7	0.7	4.3	4.0
	3年生	297	8.4	11.8	30.0	8.8	7.4	7.1	50.2	1.7	0.7	1.7	4.0
	4年生	282	11.7	14.2	25.5	6.4	8.2	5.7	39.4	4.3	1.1	4.3	5.7
	5年生	265	7.9	12.5	22.3	4.5	7.9	6.4	38.9	2.6	1.1	3.4	4.9
	6年生	300	17.0	12.7	31.3	5.7	8.3	7.7	36.7	3.7	0.3	3.3	4.0
家族類型別	ひとり親	165	8.5	12.1	35.8	7.9	10.3	7.9	26.1	3.0	1.2	4.2	4.2
	共働き	242	13.6	12.8	35.5	16.9	7.9	5.4	41.7	2.9	1.2	2.1	5.8
	フルタイム・パート	455	11.9	12.1	26.4	9.5	4.6	5.9	48.6	2.2	0.2	2.4	3.5
	専業主婦(夫)	487	10.1	10.3	24.4	3.9	7.8	7.4	52.2	2.5	1.4	3.9	3.1
	両親ともパート	10	20.0	20.0	50.0	30.0	20.0	20.0	80.0	-	-	10.0	10.0
	両親とも無業	10	10.0	10.0	30.0	-	-	-	60.0	-	-	-	-

	回答者数 (人)	教育費の負担軽減	子育て家庭への経済的な支援対策の充実	こどもや子育てに配慮した生活環境の整備	こどもたちが安心して遊べる場所の整備	地域におけるこどもの健全育成活動(こども会など)の充実	自然とふれあう場や機会の充実	交通事故・犯罪の予防・防止など、こどもの安全対策の充実	その他	特になし	不明・無回答	
学年別	1年生	270	38.5	28.1	10.4	40.7	3.0	10.7	24.8	1.5	-	2.6
	2年生	277	27.8	29.6	8.7	37.9	2.9	11.2	36.5	2.9	-	4.0
	3年生	297	36.0	31.6	10.4	37.4	3.0	9.4	35.0	1.7	0.3	5.1
	4年生	282	38.3	27.0	9.6	35.1	1.4	11.7	28.0	4.3	1.1	3.5
	5年生	265	40.8	29.8	10.2	41.5	2.6	9.1	33.6	2.6	0.8	4.2
	6年生	300	45.0	29.3	4.3	31.0	2.0	8.3	34.7	2.3	-	4.3
家族類型別	ひとり親	165	33.3	42.4	8.5	29.7	3.6	9.1	32.7	3.6	0.6	5.5
	共働き	242	36.8	28.1	9.9	32.6	2.9	9.9	35.5	3.7	0.4	2.5
	フルタイム・パート	455	42.4	31.6	6.8	39.6	2.4	9.0	29.2	1.8	0.4	3.7
	専業主婦(夫)	487	39.2	26.9	11.3	41.1	2.7	9.9	35.1	1.6	0.4	2.5
	両親ともパート	10	40.0	30.0	10.0	30.0	-	10.0	20.0	10.0	-	-
	両親とも無業	10	20.0	40.0	-	60.0	-	10.0	40.0	-	-	-

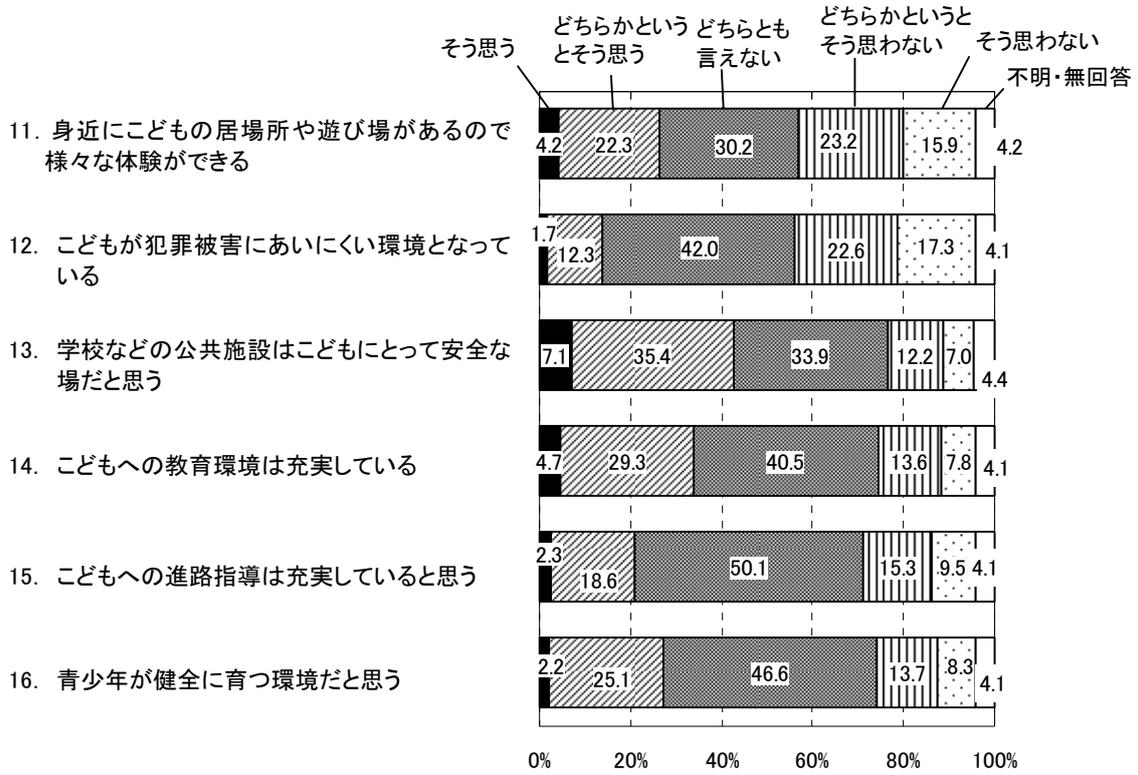
問 43 下記の問いについてあなたの実感に近いものに○をつけてください。

住民実感についてみると「5. 希望した時期に、希望したサービスを利用できていると思う」について、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計）が約1割とすべての項目の中で最も低くなっている。

「6. ふだん子育てを楽しんでいると感じるときが多い」については『そう思う』が7割以上とすべての項目の中で最も高く、次いで「10. 身近に小児医療が受けられる環境が整っているので安心できる」が6割近くとなっている。

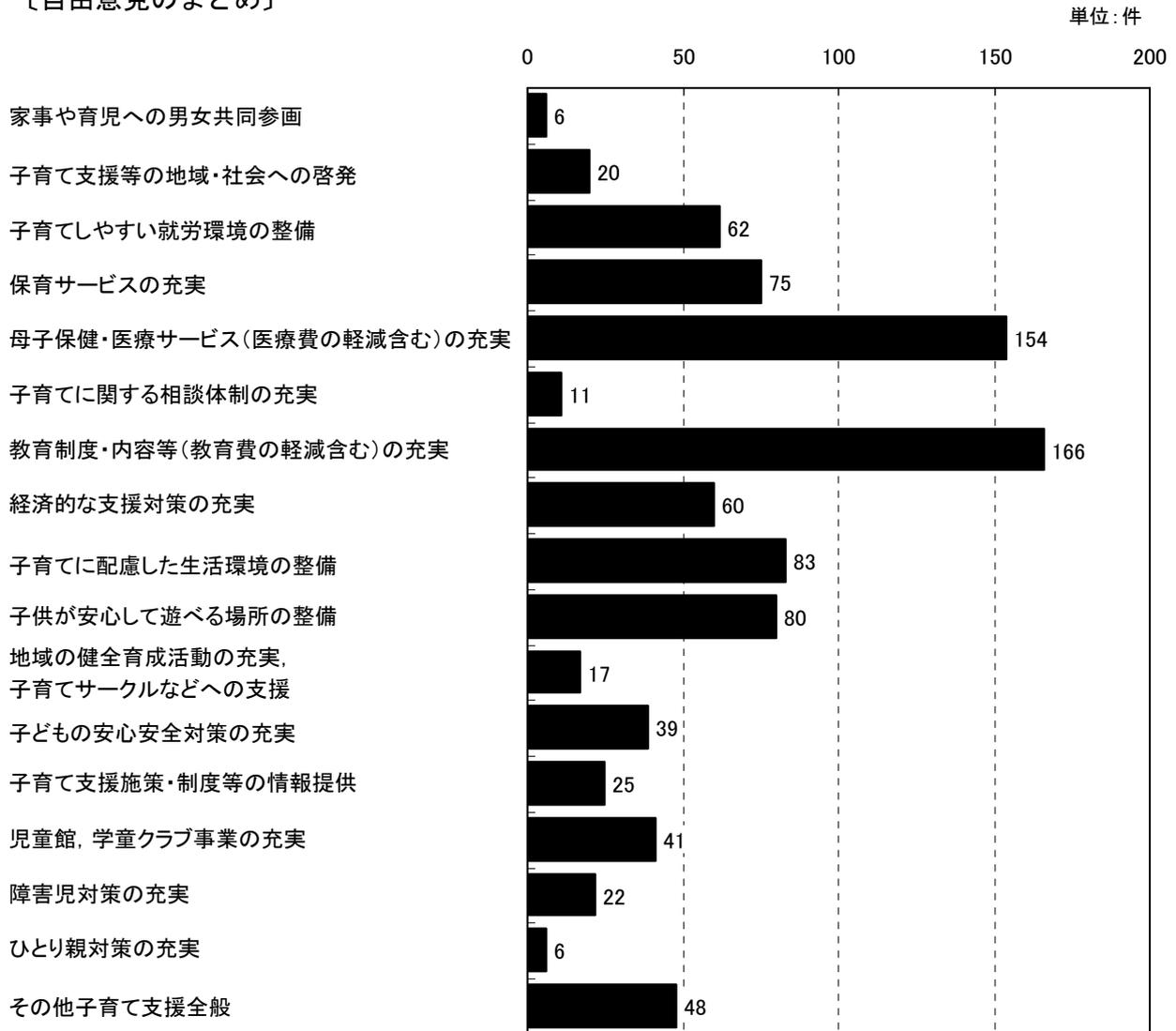


(N=1,747)



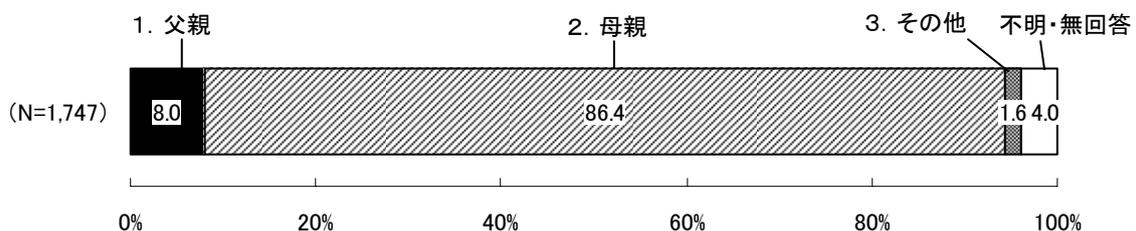
問 44 安心してこどもを産み、こどもを健やかに育てていくための行政の施策や、社会の制度のあり方について、特に望むことやご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

〔自由意見のまとめ〕



問 45 この調査票にご記入されている方はどなたですか。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

回答者についてみると「2. 母親」が86.4%, 「1. 父親」が8.0%となっている。



V 資料編